

EPSON

PX-M8010FX

ユーザーズガイド

印刷

コピー

スキャン

ファクス

プリンターのお手入れ

困ったときは

目次

マニュアルのご案内 8

マニュアルの種類と内容	9
製品使用上のご注意（紙マニュアル）	9
使い方ガイド（紙マニュアル）	9
掲示用マニュアル（電子マニュアル）	9
ユーザーズガイド（電子マニュアル）	9
最新マニュアルのご案内	9
情報の探し方	9
ページを指定して印刷する方法	10
マニュアルの見方	11
記号の意味	11
画面とイラストの前提	11
OS表記の仕方	12
商標	12
マニュアルのご注意	14

製品のご注意 15

本製品の不具合に起因する付随的損害	16
インターネットへの接続に関するご注意	16
電波に関するご注意	16
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意	17
セキュリティに関するご注意	17
管理者パスワードに関するご注意	17
管理者パスワードの初期値	18
管理者パスワードの変更	18
管理者パスワードの入力が必要な操作	18
管理者パスワードの初期化	19
外部記憶装置に関するご注意	19
外部メモリの使用に関する注意事項	19
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	20
本製品の使用限定	20
本製品の保存情報の消去	20

各部の名称と働き 21

前面	22
背面	26

操作パネルの見方と使い方 28

操作パネル	29
タッチパネル使用上のご注意	30
ホーム画面の見方	31
ネットワークアイコンの見方	32
メニュー画面の見方	33
ジョブ/状態画面の見方	34
ジョブ予約	35
ジョブアイコンの見方	35
文字入力の仕方	36

プリンターの準備と初期設定 37

プリンターの準備と初期設定の全体の流れ	38
一般ユーザーがプリンターの設定を変更できないようにする	38
ネットワークの接続	38
各機能の利用に必要な準備の概要	38
プリンターの設定手段	39
ネットワークの接続と設定	40
管理者パスワードの変更	40
パネルロックで設定を保護する	42
プリンターをネットワークに接続する	43
ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）	50
ネットワーク接続時のトラブル対処	50
増設ネットワーク設定時のトラブル対処	60
用途に合わせた設定	60
オプションの給紙装置を使えるようにする	60
メールサーバーを登録する	62
ネットワークフォルダーを作成する	66
アドレス帳の登録	77
ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定	92
LDAPサーバーのユーザー情報を宛先に使用するための設定	93
ファクスサーバーを利用したファクス送信	98
印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定	99
印刷の初期設定	99
スキャン/コピーの初期設定	109
ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）	113
NGNを利用したIPファクスを使えるようにする	146
設定時のトラブルを解決する	153

トラブルを解決するための糸口	153
Web Configにアクセスできない	154

拡張機能の紹介 156

拡張機能の概要	157
拡張機能一覧	157
ライセンスキーの登録	157
赤色消去	163
赤色消去機能の概要	163
赤色消去機能を有効にする（ライセンスキーの登録）	164
赤色消去機能を使用する	164
IPファクス	165
IPファクス機能の概要	165
IPファクスを使えるようにする	167
IPファクスを使用する	183
Epson Print Admin Serverless	184
Epson Print Admin Serverlessの概要	184
Epson Print Admin Serverlessの導入・管理	185
Epson Print Admin Serverlessの使い方	186

用紙のセット 187

用紙取り扱い上のご注意	188
用紙サイズと種類の登録	189
用紙種類の設定値	189
検知できる用紙サイズの一覧	190
用紙をセットする	191
いろいろな用紙のセット方法	191
封筒のセット方法	191
ハガキのセット方法	192
穴あき用紙のセット方法	193
長い用紙のセット方法	193

原稿のセット 194

原稿のセット	195
ADFにセットできない原稿	196
自動検知できる原稿サイズ	197

外部メモリのセットと取り外し 198

USB接続機器をセットする	199

USB接続機器を取り外す	199
外部メモリのデータを共有する	200

印刷 201

文書を印刷する	202
コンピューターから文書を印刷する (Windows)	202
PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する (Windows)	229
コンピューターから文書を印刷する (Mac OS)	235
Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する	247
スマートデバイスから文書を印刷する	254
ハガキ、年賀状、封筒に印刷する	256
コンピューターからハガキや封筒に印刷する	256
スマートデバイスからハガキに印刷する	257
外部メモリ内のデータを印刷する	258
外部メモリ内のJPEGデータを印刷する	258
外部メモリ内のPDFデータを印刷する	259
外部メモリ内のTIFFデータを印刷する	259
外部メモリ印刷時の設定メニュー	260
ウェブページを印刷する	263
スマートデバイスからウェブページを印刷する	263
クラウドサービスで印刷する	264
割り込み印刷をする	264

コピー 266

このプリンターでできるコピー	267
コピーする	267
両面にコピーする	268
拡大または縮小してコピーする	268
割り付けてコピーする	269
ページ順でコピーする	270
原稿の影やパンチ穴を消してきれいにコピーする	270
カードの表裏を用紙の片面に並べてコピーする	271
見開き2ページを1ページずつに分けてコピーする	271
バーコードのにじみを抑えてコピーする	272
製本できるように割り付けてコピーする	272
赤色を消去してコピーする	273
封筒やハガキをコピーする	274
試しコピーをする	275
割り込みコピーをする	275
コピー時のメニューの説明	276
コピー時の基本設定メニュー	276
コピー時の応用設定メニュー	278

スキャン 281

このプリンターでできるスキャン 282

原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する	282
原稿をスキャンしてメールに添付する	283
原稿をスキャンしてコンピューターに保存する ..	285
原稿をスキャンして外部メモリーに保存する	286
原稿をスキャンしてクラウドに転送する	286
Mopria Scanでスキャンする	287
原稿をスキャンしてスマートデバイスに保存する	287

スキャンの設定メニューの説明 288

カラーモード：	288
ファイル形式：	288
解像度：	288
両面設定：	288
原稿読み取り：	289
原稿種類	289
原稿セット方向：	289
原稿サイズ混載：	289
濃度：	289
背景除去：	289
影消し：	289
パンチ穴消し：	289
白紙ページスキップ：	290
ADF連続読込：	290
IDカード：	290
赤色消去: 	290
件名：	290
添付最大ファイルサイズ：	290
ファイル名：	291
メールの暗号化：	291
デジタル署名：	291

e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン 291

ファクス 293

ファクスを使う前に 294

ファクス機能の紹介 295

機能：ファクス送信	295
機能：ファクス受信	296
機能：コンピューターからの送受信 (Windows/Mac OS)	299
機能：いろいろなファクスレポート	299
機能：ファクスのジョブやログの確認	300
機能：ファクスボックス	300
機能：安全なファクス送受信（セキュリティー） ..	301
機能：その他の役に立つファクス機能	302

プリンターからファクスを送信する 302

宛先を選択する	304

便利な送信方法	304

プリンターでファクスを受信する 311

相手先から送られてきたファクスを受信する	312
相手先にダイヤルしてファクスを受信する	315
受信ファクスの保存と転送	317
受信したファクスをプリンターの画面で確認する	319

ファクスメニューの説明 320

宛先	320
ファクス設定	320
応用	323

ファクスボックスメニューの説明 325

受信/親展	325
待機文書送信：	327
ポーリング送信/掲示板	328

ファクスのジョブ状態や履歴を確認する 332

受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示	332
実行中のファクスジョブを確認する	333
ファクス送受信履歴を確認する	334
印刷した受信文書を再印刷する	334

コンピューターからファクスを送信する 335

アプリケーションで作成した文書を送信する (Windows)	335
アプリケーションで作成した文書を送信する (Mac OS)	338

コンピューターでファクスを受信する 340

新着ファクスを確認する (Windows)	340
新着ファクスを確認する (Mac OS)	341
コンピューターでのファクス受信をやめる	342

増設G3ファクス（オプション） 342

増設G3ファクスボード	342
プリンターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着）	342
コンピューターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）	343
回線の状態を確認する（増設G3ファクスボード装着時）	344

IPファクス 344

IPファクス機能	344
プリンターからIPファクスを送信する	345
ファクス送信した回線の確認	345

プリンターのお手入れ 347

消耗品の状態を確認する 348

用紙カセットからの給紙不良を改善する 348

印刷やコピー、スキャン、ファクスの品質を改善する 349

印刷トラブルを解決する	349
用紙ごとに印刷トラブルを解決する	350
おまかせクリーニングをする	351
プリントヘッドのノズルチェックとクリーニングをする	352
強力クリーニングをする	353
ノズルの目詰まりを防ぐ	353
罫線のズレを調整する	354
用紙経路の汚れを拭き取る	354
原稿台の汚れを拭き取る	355
ADFをクリーニングする	356

こんなときは 361

コンピューターを買い替えたときは	362
ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする	362
ソフトウェアを個別にインストールする	362
PostScript プリンタードライバーをインストールする	365
エプソン純正プリンターを追加する (Mac OS のみ)	366
ソフトウェアをアンインストール (削除) する	366
コンピューターとの接続設定をする	368
プリンターのネットワーク接続状態を調べたい (ネットワーク接続診断)	368
デバイスとプリンターを直接接続する方法 (Wi-Fi Direct)	369
Wi-Fi Direct (シンプルAP) とは	369
デバイスをWi-Fi Direct接続する	369
コンピューターをWi-Fi Direct接続する	370
Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を切断する	372
Wi-Fi Direct (シンプルAP) のSSIDなどを変更する	372
無線LAN (Wi-Fi) からUSBへ接続変更する	373
利用者制限されたプリンターの使い方	374
操作パネルからプリンターにログオンする	374
コンピューターからプリンターにログオンする	375
プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する (Windows)	375
利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する	376
プリンターの持ち運びや輸送	376
プリンターを移動する	377
プリンター台付きのプリンターの移動	378
キャビネット付きのプリンターの移動	379
増設カセットユニット付きのプリンターの移動	380
プリンターを輸送する	380
マニュアルステーブルの使い方	381

困ったときは 382

トラブルの自己診断	383
プリンターのエラー状態を確認	383
プリンターの接続を確認	383
プリンターの設定を確認	384
印刷、コピー、スキャン、ファクスができない 385	
アプリやプリンタードライバーが正常に動作しない	385
USB接続できない	390
コピーできない	391
ファクスの送信も受信もできない	391
給紙や排紙が正しくできない	398
きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない	403
きれいに印刷できない	403
きれいにコピーできない	411
きれいにスキャンできない	418
ファクスをきれいに送信できない	421
ファクスをきれいに受信できない	424
プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された	424
プリンター画面にメッセージが表示された	424
ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された	426
用紙が詰まった	433
針が詰まった	433
紙詰まりを防ぐには	434
インクパックの交換が必要になった	435
インクパック取り扱い上のご注意	435
インクパックを交換する	436
使用済みインクパックの回収	436
使用済みインクパックの廃棄	436
メンテナンスボックスの交換が必要になった	436
メンテナンスボックス取り扱い上のご注意	436
メンテナンスボックスを交換する	437
使用済みメンテナンスボックスの回収	437
使用済みメンテナンスボックスの廃棄	437
給紙ローラーの交換が必要になった	438
用紙カセット1の給紙ローラーを交換する	438
用紙カセット2~4の給紙ローラーを交換する	443
ステーブルカートリッジを交換する	447
思い通りに操作できない	448
電源が入らない、切れない	448
動作が遅い	449
プリンターの画面が暗くなった	451
プリンターの画面が反応しない	451
操作パネルから操作できない	451
画面に「×」が表示されて写真を選択できない	451
印刷が中断される	452

外部メモリーが認識されない	452
外部メモリーにデータを保存できない	452
動作音が大きい	453
日付や時刻がずれている	453
ルート証明書の更新が必要になった	453
印刷設定メニューが表示されない (Mac OS)	454
意図しないコピーやファクス送信がされた	454
発信者番号表示機能 (ナンバー・ディスプレイ 対応) が働かない	454
送信元のファクス番号が表示されない	455
受信ファクスに表示された送信元のファクス番 号が間違っている	455
外付け電話機から電話ができない	455
留守番電話が応答しない	455
迷惑ファクスがよく届く	455
どうしても解決できないときは	456
印刷やコピーの問題が解決できない	456

製品情報 457

用紙情報	458
印刷できる用紙とセット枚数	458
印刷できない用紙	465
消耗品情報	466
純正インクパックの型番	466
メンテナンスボックスの型番	466
給紙ローラーの型番	467
ステープルカートリッジの型番	467
オプション品情報	467
オプションの型番	467
ソフトウェア情報	468
コンピューターから印刷するためのソフトウェ ア (Windowsプリンタードライバー)	468
コンピューターから印刷するためのソフトウェ ア (Mac OSプリンタードライバー)	469
PostScriptフォントなどが印刷できるソフト ウェア (Windows PostScript プリンタードラ イバー)	470
PostScriptフォントなどが印刷できるソフト ウェア (Mac OS PostScriptプリンタードラ イバー)	471
書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro)	471
スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)	473
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア (FAX Utility)	473
ファクス送信するソフトウェア (PC-FAXドラ イバー)	474
アドレス帳変換ツール (Windowsのみ)	474
ブラウザ上でプリンターの設定や変更をする ソフトウェア (Web Config)	475

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフ トウェア (Epson Software Updater)	477
ネットワーク上のデバイスを設定するソフト ウェア (EpsonNet Config)	478
ネットワーク上のデバイスを管理するソフト ウェア (Epson Device Admin)	478
エプソン 認証印刷システム (Epson Print Admin)	479
設定メニュー一覧	479
本体設定	479
印刷ページ数の確認	521
消耗品情報	521
プリンターのお手入れ	521
言語選択/Language 	522
情報確認/印刷	523
アドレス帳管理	524
ユーザー設定 	525
認証装置ステータス	525
Epson Open Platform情報	525
製品仕様	526
プリンター部の仕様	526
スキャナー部の仕様	528
ADFの仕様	528
ファクス部の仕様	528
プリンターが使用するポート	529
インターフェイスの仕様	531
ネットワークの仕様	531
PostScript Level 3との互換性	536
対応している他社サービス	536
対応外部メモリーの仕様	537
印刷できるファイルの仕様	537
外形寸法と質量の仕様	538
電氣的仕様	538
動作時と保管時の環境仕様	539
設置場所と設置スペース	539
対応OS	540
フォントの仕様	541
オプションの仕様	550
増設カセットユニットの仕様	550
専用プリンター台の仕様	551
専用キャビネットの仕様	551
増設G3ファクスボードの仕様	551
増設ネットワークインターフェイスボード仕様	551
規格と規制	552
電源高調波	552
瞬時電圧低下	552
電波障害自主規制	552
IPファクスの認可番号	552
著作権	552
複製が禁止されている印刷物	552
揮発性物質の放散	553

管理者向け情報 554

プリンターの管理	555
遠隔地にあるプリンターの情報を確認する	555
ネットワーク接続を管理する	555
イベント発生時にメール通知を受け取る	560
操作パネルの動作を設定する	562
パネル操作を制限する	563
無操作時の省電力設定をする	565
音の設定をする	565
内蔵ストレージのデータ消去方法を設定する	566
プリンター設定をバックアップやインポートする	567
ファームウェアをアップデートする	568
タイムサーバーと日付/時刻を同期する	571
内蔵メモリーのデータを消去する	572
アドレス帳を管理する	572
Web Configを使ってプリンターの電源を管理する	573
ホーム画面のレイアウトを編集する	573
本体のセキュリティ設定	574
利用できる機能を制限する	574
USB接続や外部メモリーの接続を制限する	577
監査ログ機能を利用する	578
パスワード暗号化の設定	578
PDLによるファイル操作を制限する	580
Web Configから管理者パスワードを変更する	580
サブ管理者アカウントを設定する	581
起動時のプログラム検証を有効にする	582
宛先ドメイン制限を設定する	583
ネットワークセキュリティ設定	584
利用するプロトコルを制御する	584
電子証明書を使う	589
プリンターとのSSL/TLS通信	597
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する	599
IEEE802.1X環境にプリンターを接続する	611
S/MIMEの設定	614
ネットワークセキュリティのトラブルを解決する	617
Epson Open Platformを利用する	623
Epson Open Platformの概要	623
Epson Open Platformを設定する	623

サービスとサポートのご案内 625

サービスとサポートのご案内	626
保守サービスのご案内	626
保守サービスの提供について	626
補修用性能部品および消耗品の保有期間	626
保守サービスの種類	626
お問い合わせ先	627

マニュアルのご案内

マニュアルの種類と内容	9
情報の探し方	9
ページを指定して印刷する方法	10
マニュアルの見方	11
商標	12
マニュアルのご注意	14

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンター本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

製品使用上のご注意（紙マニュアル）

製品を安全に使用するための注意事項を記載しています。

使い方ガイド（紙マニュアル）

プリンターを使えるようにするための準備、基本的な使い方や困ったときの解決方法などを説明しています。

掲示用マニュアル（電子マニュアル）

よく使われる機能の操作手順を1シートにまとめて説明しています。ポスターのように印刷できるので、プリンターの近くの壁などに貼って活用できます。

ユーザーズガイド（電子マニュアル）

このマニュアルです。PDFマニュアルとWebマニュアルがあります。プリンターの使い方全般やトラブルへの対処方法を説明しています。

最新マニュアルのご案内

最新のマニュアルを閲覧するには、以下のウェブサイトアクセスし、製品名を入力して「サポート」をクリックしてください。

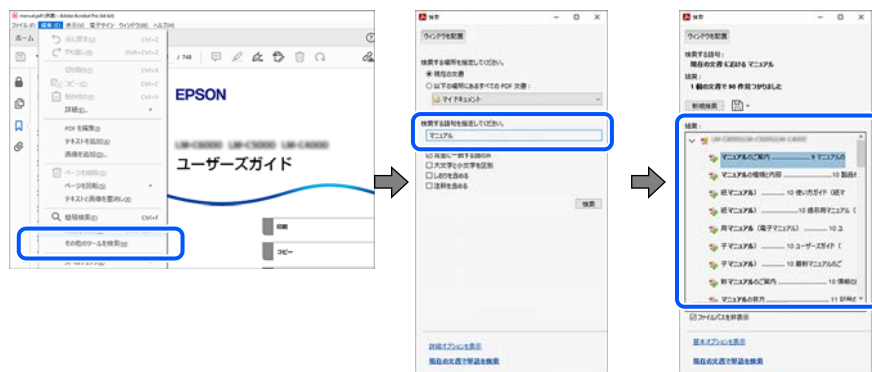
<https://epson.sn>

情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Acrobat Reader DCで開いた場合の使い方を説明します。

キーワードで検索する

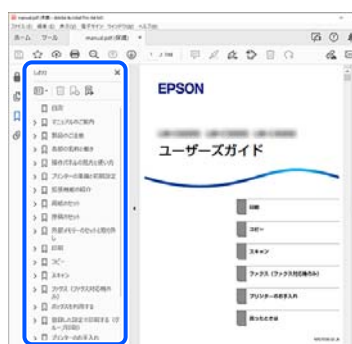
〔編集〕メニューの〔高度な検索〕をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、〔検索〕をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。〔+〕または〔>〕をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows：〔Alt〕キーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS：commandキーを押したまま←キーを押します。



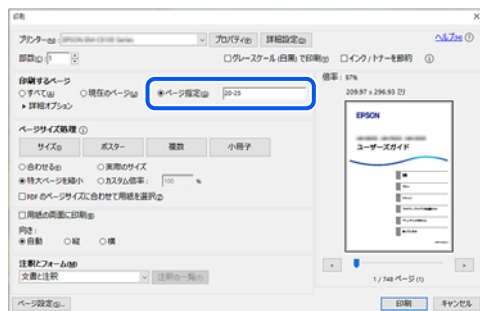
ページを指定して印刷する方法

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。〔ファイル〕メニューの〔印刷〕または〔プリント〕をクリックし、〔印刷するページ〕の〔ページ指定〕で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25

- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。

例：5,10,15



マニュアルの見方

マニュアルに記載されている記号の意味やマニュアル記載の前提、OS表記について説明します。

記号の意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

📺 操作手順をWeb動画マニュアルで確認できます。URLからご覧ください。
プリンターの操作パネルのメニューを説明するときに、以下のアイコンを使用しています。

🔒 管理者ロックによって操作を制限される項目です。

🔧 オプションが取り付けられているときに表示される項目です。

🔑 ライセンスキーを登録すると使用できるようになる項目です。

画面とイラストの前提

- プリンタードライバーの画面は、Windows 10またはmacOS High Sierra (10.13) での表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。

- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- プリンター画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。
- QRコードは専用アプリで読み取れます。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X 10.9.5」以降、「macOS 10.12」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

商標

- Microsoft、Azure、Excel、Microsoft 365、Microsoft Edge、PowerPoint、SharePoint、Windows、Windows Server、Windows Vista、Windows XP は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、TrueType、iBeaconは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- IOSIは、米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。

- The Mopria® word mark and the Mopria® Logo are registered and/or unregistered trademarks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
- Chrome、ChromeOS、Chromebook、Android、Google Play はGoogle LLCの商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- Adobe、Adobe Reader、Acrobat、Photoshop、PostScriptは、米国ならびに他の国におけるAdobeの登録商標または商標です。
Copyright ©2024 Adobe Inc. All Rights Reserved.
- Albertus, Arial, Coronet, and Times New Roman are trademarks of Monotype Imaging Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- CG Omega, CG Times, Courier, Garamond Antiqua, Garamond Halbfett, Garamond Kursiv, and Garamond Kursiv Halbfett are trademarks of Monotype Imaging Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Helvetica, Palatino, Times, and Univers are trademarks of Monotype Imaging Inc. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats are trademarks of Monotype ITC Inc. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and which may be registered in certain other jurisdictions.
- New Century Schoolbook is a trademark of Linotype AG and/or its subsidiaries.
- Wingdings is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- Antique Olive is a trademark of Madame Marcel Olive.
- Marigold is a trademark of Alpha Omega Typography.
- HPは米国ヒューレットパッカード社の登録商標です。
- “SAP” および全ての SAPロゴは、SAP AG 社のドイツまたはその他の複数の国における商標もしくは登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。Wi-Fi Protected Setup™、WPA™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Nマークは、NFC Forum, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。
- FeliCa（フェリカ）およびPaSoRi（パソリ）は、ソニー株式会社の登録商標です。
- SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- 「ナンバー・ディスプレイ」、「フレッツ光ネクスト」は東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。



microSDHC is built into the product and cannot be removed.

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

©2024 Seiko Epson Corporation

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害	16
インターネットへの接続に関するご注意	16
電波に関するご注意	16
無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意	17
セキュリティに関するご注意	17
管理者パスワードに関するご注意	17
外部記憶装置に関するご注意	19
外部メモリーの使用に関する注意事項	19
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	20
本製品の使用限定	20
本製品の保存情報の消去	20

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピューター、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

インターネットへの接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：J26H005
- 認証番号：003-170261

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまでを使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、保守サービス実施店までお問合せください。

参考

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。採用している変調方式はDS-SS変調方式(干渉距離40m)、OFDM変調方式(干渉距離40m)、FHSS変調方式(干渉距離20m)です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。



無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

管理者パスワードに関するご注意

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。

管理者パスワードの初期値

管理者パスワードの初期値は、製品本体に貼られている以下のようなラベルに記載されています。



(1)、(2) のようなラベルが両方貼られている場合は、(1)のラベルに記載されているPASSWORDの値が初期値です。この例での初期値は03212791です。

参考 (1) のPASSWORDラベルは目につきにくい場所に貼られているため、リンク先の情報を参考にラベルの位置を確認してください。

<https://support.epson.net/manu/adminpw/index.html>

(1) のPASSWORDラベルが見つからない場合は、(2) のラベルに記載されている製造番号（シリアルナンバー）が初期値です。この例での初期値はX3B8153559です。

増設ネットワーク用の初期パスワードは、MACアドレスの下8桁です。MACアドレスは、プリンターの操作パネルで増設ネットワーク回線のネットワーク情報で「有線接続状態」を選択すると確認できます。増設ネットワークインターフェイスボードの貼付ラベルでも確認できます。

管理者パスワードの変更

セキュリティ対策のため、管理者パスワードは初期値から変更することをお勧めします。

製品の操作パネル、Web ConfigおよびEpson Device Adminから変更できます。パスワードを変更する場合は、8文字以上の半角英数字および記号で設定してください。

関連情報

- ➡ 「操作パネルから管理者パスワードを変更する」 41ページ
- ➡ 「コンピューターから管理者パスワードを変更する」 41ページ

管理者パスワードの入力が必要な操作

以下の操作で管理者パスワードの入力を要求されたときは、管理者パスワードを入力してください。

- コンピューターやスマートデバイスから本体のファームウェアをアップデートするとき
- Web Configの詳細設定にログオンするとき
- 本体の設定変更ができるFAX Utilityなどのアプリケーションで設定するとき
- 管理者ロックがかかったメニューをプリンターの操作パネルで選択するとき

関連情報

- ➡ 「管理者ロックの対象項目」 563ページ

管理者パスワードの初期化

管理者設定メニューから、管理者パスワードを初期設定に戻すことができます。パスワードを忘れて初期設定に戻せない場合は、修理が必要です。保守サービス実施店にご連絡ください。

関連情報

- ➡ [「操作パネルから管理者パスワードを変更する」 41ページ](#)
- ➡ [「コンピューターから管理者パスワードを変更する」 41ページ](#)
- ➡ [「お問い合わせ先」 627ページ](#)

外部記憶装置に関するご注意

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

外部記憶装置を譲渡、廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に消去することをお勧めします。コンピューター上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊することをお勧めします。

外部メモリーの使用に関する注意事項

外部メモリーをプリンターに接続していると、プリンターと同じネットワークに接続しているデバイスから、外部メモリーにアクセスできる可能性があります。

アクセスを防止するためには、Web Configで以下の設定が無効になっている必要があります。

〔ネットワーク〕 タブ - 〔MS Network〕 - 〔ファイル共有〕

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の保存情報の消去

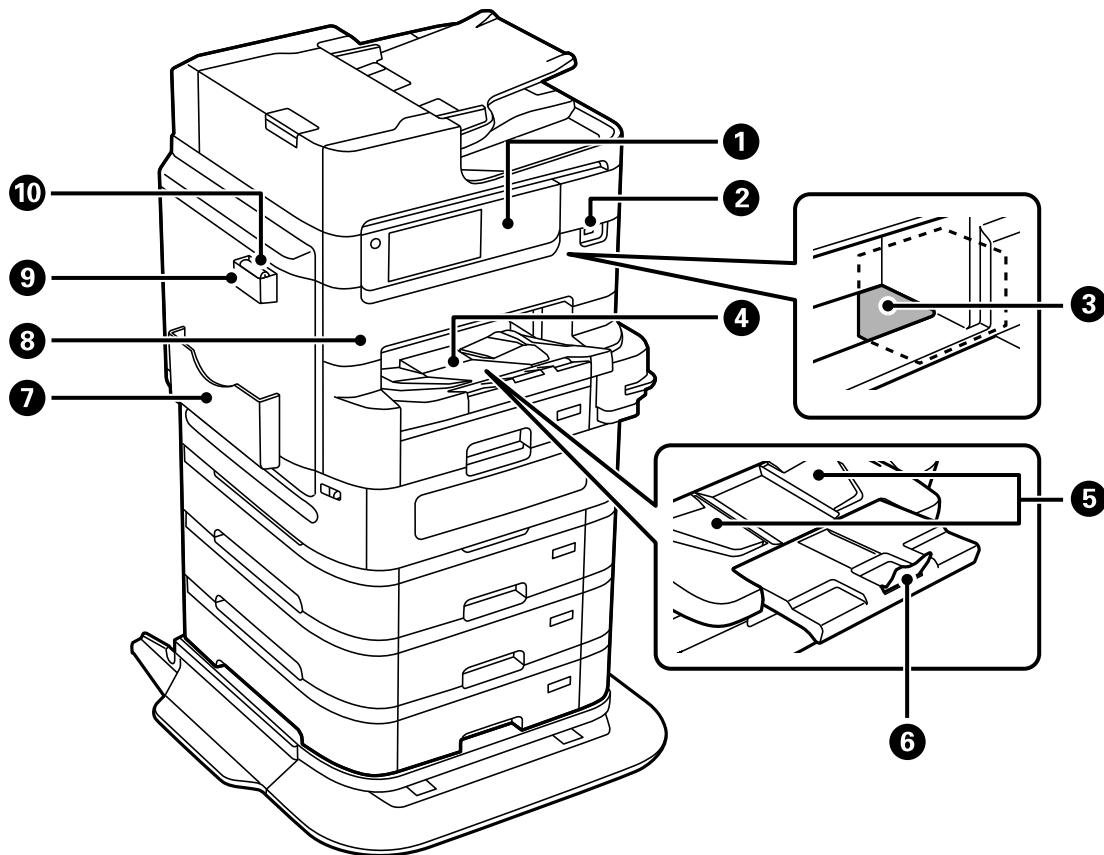
本製品の利用環境を変更する際は、本製品のメモリーに保存されている、お客様の固有情報の流出による不測の事態を回避するために、本体の初期化を実行してください。本体の設定情報（ネットワーク設定、ファクス搭載機の電話番号や宛先名称など）や自動的に保存されている情報（印刷やコピーデータ、フォントやマクロの作業領域など）も消去されます。

操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔管理者用設定〕 - 〔初期状態に戻す〕 - 〔全メモリー/設定の初期化〕 - 〔高速〕、〔上書き〕、または〔3回上書き〕の順に選択します。

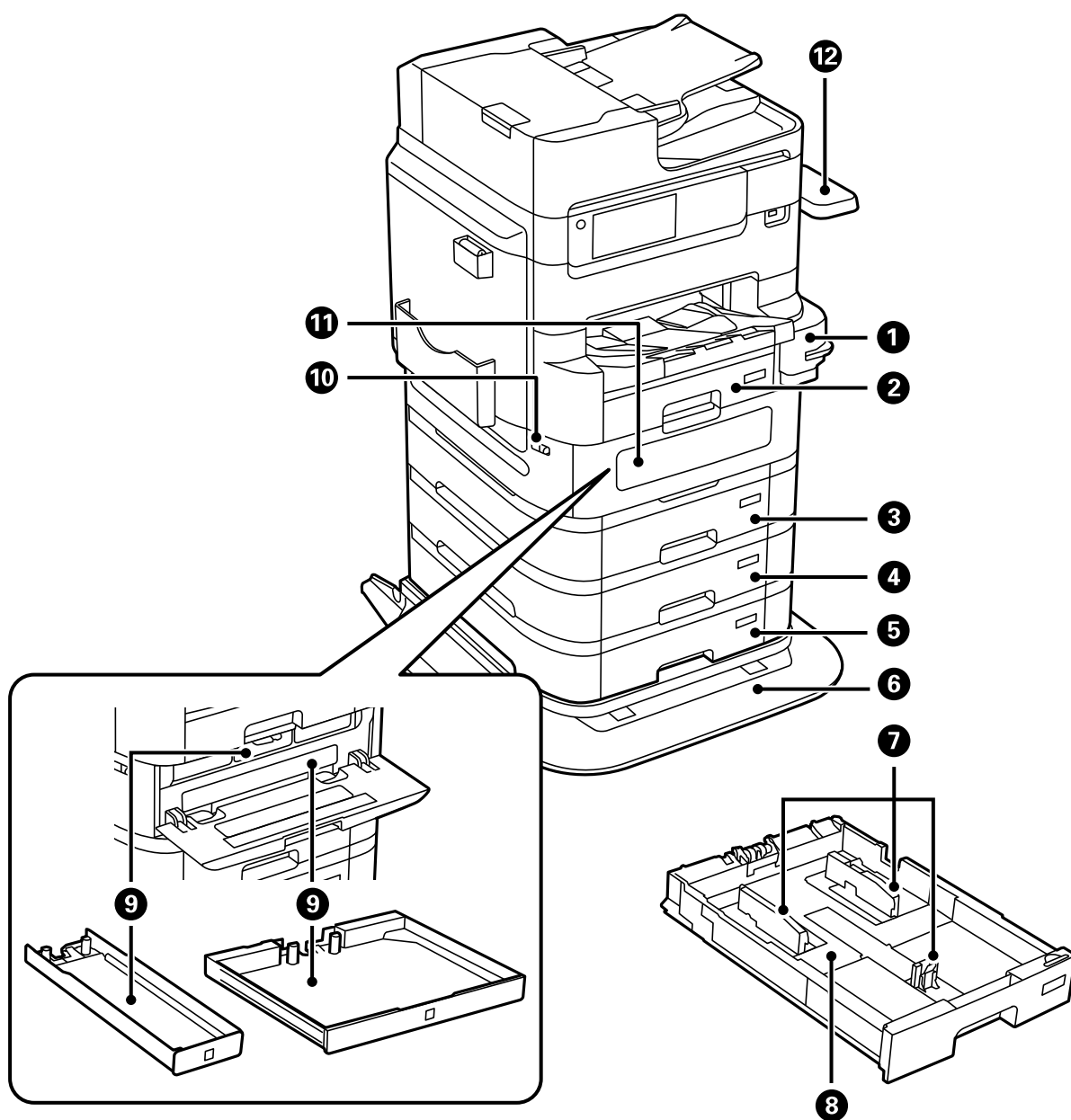
各部の名称と働き

前面	22
背面	26

前面

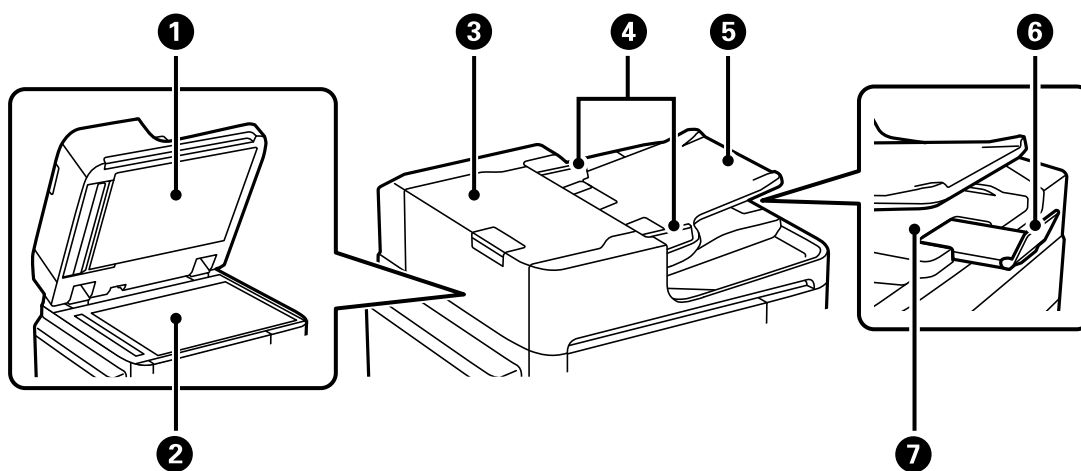


①	操作パネル	プリンターの操作や設定をします。また、プリンターの状態を表示します。
②	外部機器接続用USBポート	外部メモリーを挿入します。
③	プリントヘッド	インクを吐出します。
④	排紙トレイ	排紙された用紙を保持します。 A4より大きいサイズ of 用紙を印刷すると、自動で出てきます。収納は手で押して戻してください。
⑤	排紙ガイド	用紙が正しい順序で排出されないときは、排紙トレイの右側にあるレバーを手前に引いて排紙ガイドを立てます。
⑥	ストッパー	排出された用紙の落下を防ぎます。
⑦	マニュアル入れ	マニュアルなどを収納します。
⑧	前面カバー (A)	内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
⑨	クリーニングクロス入れ	クリーニングクロスを収納します。
⑩	クリーニングクロス	スキャナーユニットやADFの読み取りガラスの表面をきれいにします。

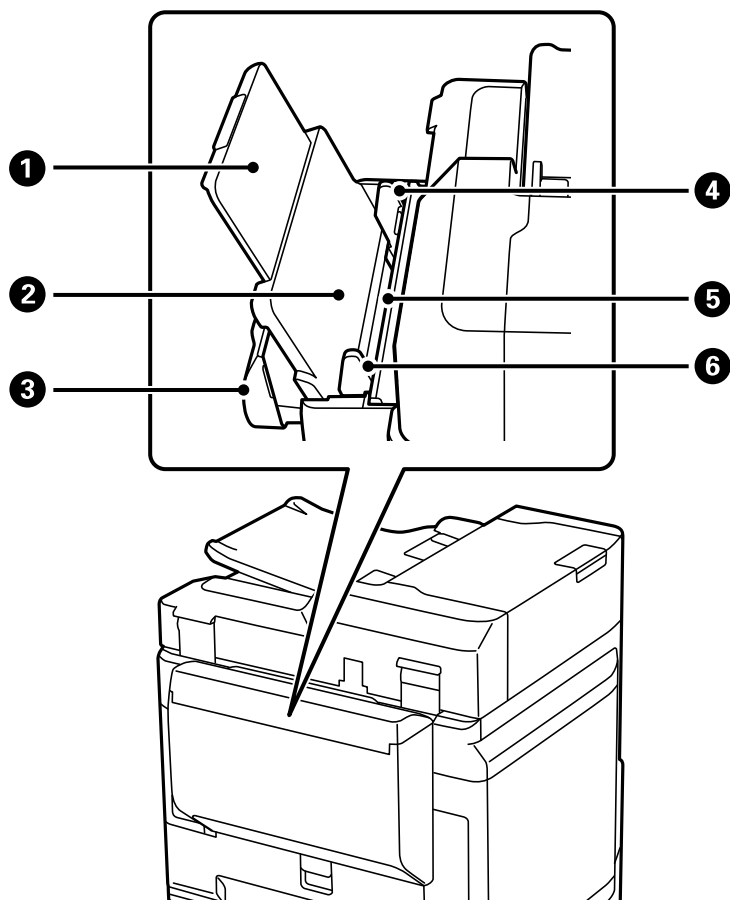


①	マニュアルステープル（オプション）	印刷物をホチキス止めします。
②	用紙カセット1（C1）	用紙をセットします。
③	用紙カセット2（C2）	用紙をセットします。オプションの増設カセットユニットです。
④	用紙カセット3（C3）	
⑤	用紙カセット4（C4）	
⑥	専用プリンター台（オプション）	プリンターを床に置いたときの転倒を防止します。キャスター付きなので簡単に移動もできます。
	専用キャビネット（オプション）	プリンター台の代わりに、キャスター付きのキャビネットを装着することもできます（用紙カセット3と4は装着不可）。印刷用紙や消耗品などが収納できます。

⑦	用紙ガイド	用紙をまっすぐ給紙するためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
⑧	用紙カセット	用紙をセットします。
⑨	インクパックトレイ	インクパックをセットします。
⑩	カバーロック	インクパックカバーをロックします。
⑪	インクパックカバー（P）	インクパックを交換するときに開けます。
⑫	認証デバイス台・P2（オプション）	認証装置をセットしておきます。使用するときは認証カードをかざすとログオンできます。

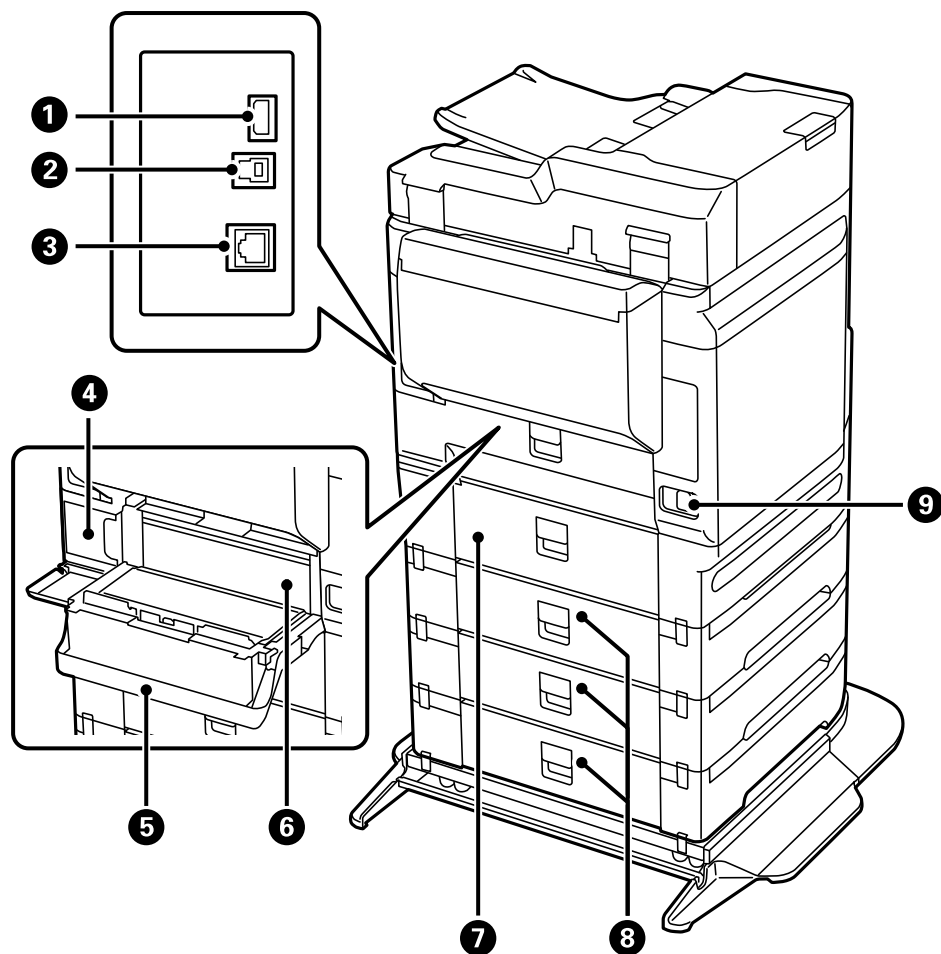


①	原稿カバー	原稿の読み取り時に外部の光を遮ります。
②	原稿台	原稿をセットします。ADFで給紙できない封筒や本など、厚みのある原稿もセットできます。
③	ADF（オートドキュメントフィーダー）カバー（F）	ADFに詰まった原稿を取り除くときに開けます。
④	ADF原稿ガイド	原稿をまっすぐ送るためのガイドです。原稿の側面に合わせてください。
⑤	ADFトレイ	原稿を自動で送ります。複数枚の原稿を一度にセットできます。
⑥	ストッパー	排出された原稿がADF排紙トレイから落下するのを防ぎます。
⑦	ADF排紙トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。

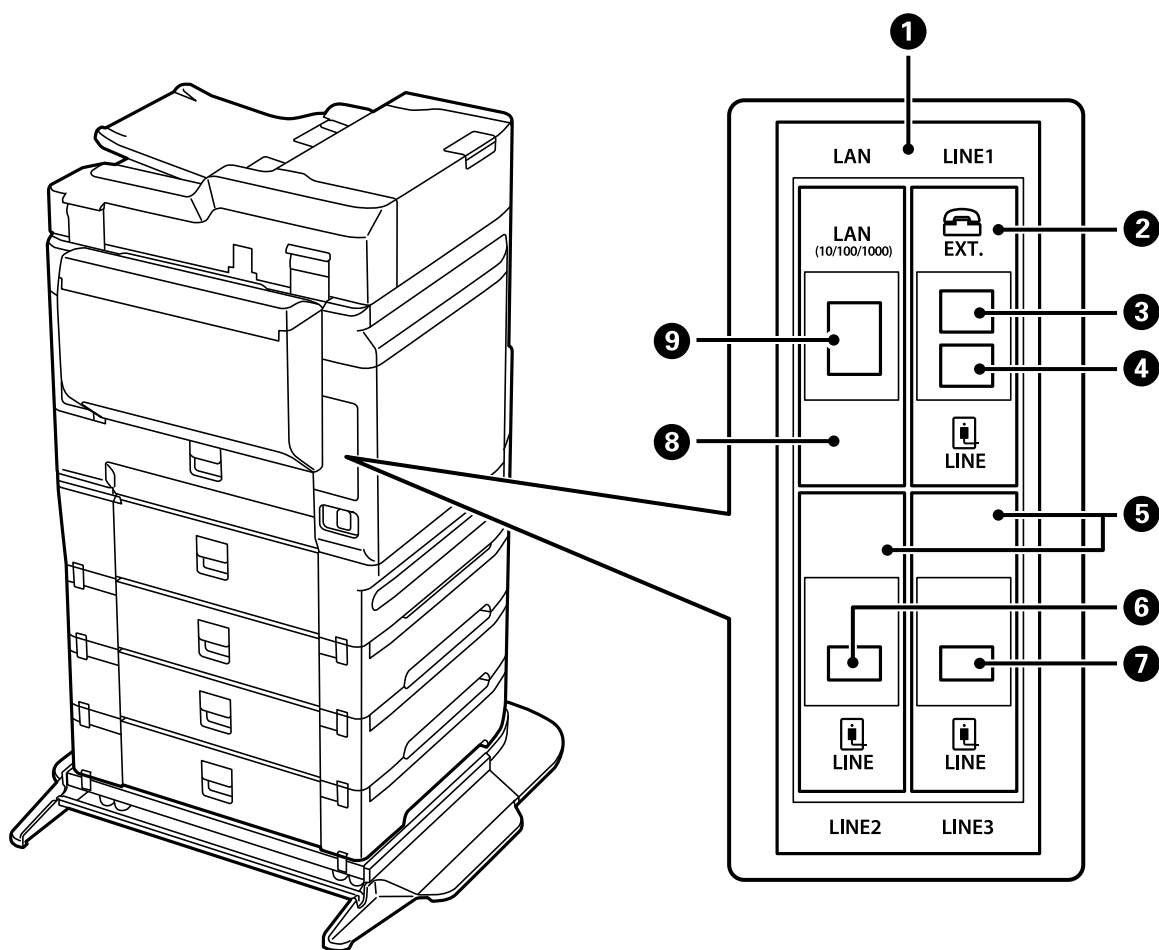


①	用紙サポート	セットした用紙を支えます。
②	手差しトレイ (B)	用紙をセットします。
③	手差しトレイカバー	内部に異物が入ることを防ぎます。通常は閉めておいてください。
④	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
⑤	給紙口カバー	内部に異物が入ることを防ぎます。通常は閉めておいてください。
⑥	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。

背面



①	サービス用ポート	通常は使用しません。シールを剥がさないでください。
②	USBポート	コンピューターと接続するためのUSBケーブルを接続します。
③	LANポート	LANケーブルを接続します。
④	メンテナンスボックス	クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。
⑤	背面カバー（D1）	メンテナンスボックスの交換や内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
⑥	両面印刷ユニット（D2）	詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
⑦	背面カバー（D3）	詰まった用紙を取り除くときに開けます。
⑧	背面カバー（E）	
⑨	電源コネクター	電源コードを接続します。

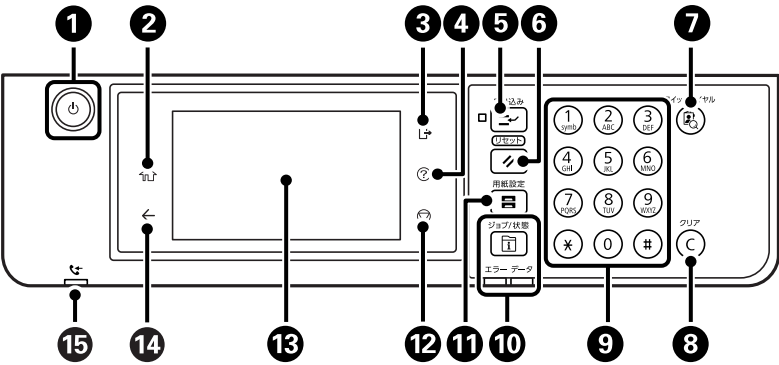


①	増設用スロット	増設ボードを取り付けます。
②	G3ファクスボード	標準のファクスボードです。
③	EXT.ポート	外付け電話機を接続します。
④	LINE1ポート	電話回線を接続します。ファクスの送受信用です。
⑤	増設G3ファクスボード (オプション)	増設G3ファクスボードの装着により、複数の電話回線に接続できます。ファクスとして使用することも、ネットワークファクスとしてコンピュータで文書を送受信することもできます。また、1つの回線をファクス受信専用にする事で、着信できない時間を減らすこともできます。
⑥	LINE2ポート	
⑦	LINE3ポート	
⑧	増設ネットワークインターフェイスボード (オプション)	増設ネットワークインターフェイスボードの装着により、2つの有線LANネットワークを使用できます。
⑨	LANポート	

操作パネルの見方と使い方

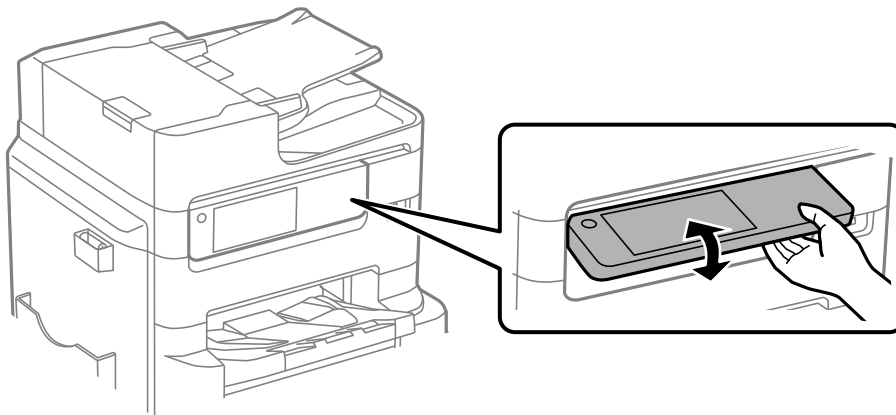
操作パネル	29
ホーム画面の見方	31
メニュー画面の見方	33
ジョブ/状態画面の見方	34
文字入力の仕方	36

操作パネル



1	電源を入/切します。 電源コードを抜くときは、電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
2	ホーム画面を表示します。
3	〔利用者制限〕が有効なときは、プリンターからログオフします。 〔利用者制限〕が無効のときは、このアイコンも無効になっています。
4	〔ヘルプ〕画面を表示します。困ったときの対処方法やプリンターの基本操作手順が確認できます。
5	実行中のジョブを中断して、他のジョブを割り込んで実行します。割り込み動作終了後に押すと、中断した動作を再開します。
6	操作中の設定を変更前の状態に戻します。ユーザーデフォルト設定がされていないときは、購入時の設定に戻します。
7	〔アドレス帳〕検索画面を表示します。アドレスを登録、編集、および削除できます。
8	コピー部数などの数値設定をクリアします。
9	数字やアルファベット、記号を入力します。
10	〔ジョブ/状態〕メニューを表示します。プリンターの状態やジョブ履歴が確認できます。 エラーランプ（左）はエラー発生時に点滅または点灯します。 データランプ（右）はデータ処理中に点滅します。待機中のジョブがあると点灯します。
11	〔用紙設定〕画面を表示します。給紙装置ごとに用紙のサイズと用紙の種類が設定できます。
12	現在実行中の動作を中止します。
13	項目やメッセージを表示します。 操作パネルの角度は変更できます。一定の時間以上操作しないとスリープモードになり、表示が消えます。タッチパネルをタップすると復帰します。設定によっては、操作パネルのボタンを押すことにより、スリープモードから元の明るさに復帰します。
14	前の画面に戻ります。
15	未処理（未読や印刷してない、未保存など）の受信文書があるときに点灯します。

操作パネルは角度を変えることができます。



タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- パネルを強く押さえつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、保守サービス実施店に修理を依頼してください。

ホーム画面の見方



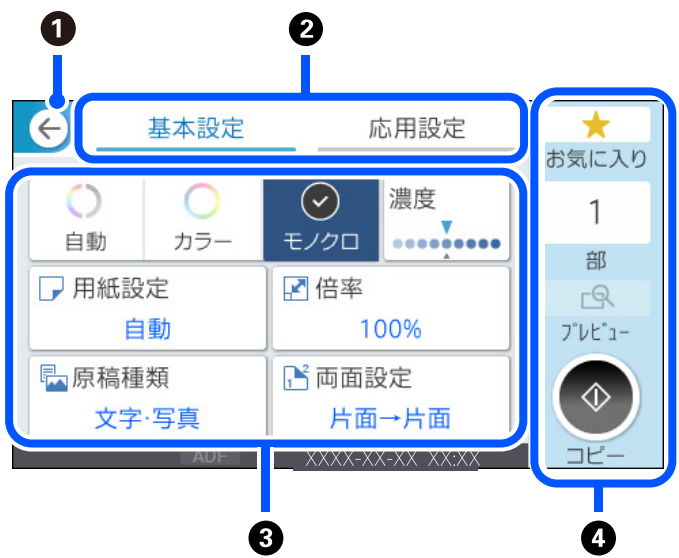
①		新しいファームウェアがあると表示されます。 ファームウェアをアップデートして、プリンターの機能を向上させる場合にタップします。最新版にしてお使いください。
②		〔プリンター状態〕 画面を表示します。 インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。
③		ネットワークの接続状態を表示します。詳しくは以下を参照してください。 〔ネットワークアイコンの見方〕 32ページ
④		〔機器出力音設定〕 画面を表示します。 〔ミュート〕 と 〔動作音低減モード〕 を設定できます。この画面から 〔音の設定〕 メニューを表示することもできます。
		〔動作音低減モード〕 になっているかいないかを示しています。プリンターの動作音は抑えられますが、印刷速度は遅くなります。ただし、選択した用紙種類や印刷品質によっては、動作音が変わらないことがあります。
		〔ミュート〕 になっていることを示しています。
⑤		アイコンを選択すると、スリープモードに移行します。アイコンがグレースアウトしているときは、スリープモードにできません。
⑥		利用者が制限されていることを示します。アイコンを選択するとログオン画面が表示されます。ユーザー名を選択して、パスワードを入力してください。ログオン情報は、プリンターの管理者に確認してください。 が表示されているときは、利用を許されているユーザーがログオン中です。アイコンを選択してログオフします。
⑦		〔ファクスデータ情報〕 画面を表示します。表示される件数は、受信してから未処理（未読や未出力）となっているファクスの件数です。

8		各メニューが表示されます。 • コピー 文書をコピーできます。 • ファクス ファクスを送信できます。 • スキャン 文書をスキャンして外部メモリーやコンピューターに保存できます。 • お気に入り コピーやファクス、スキャンでよく使う設定値をお気に入りとして登録できます。 登録後、お気に入り設定を呼び出すショートカットアイコンをホーム画面に追加できます。コピーとスキャンのお気に入り設定は、アイコンをタップするだけですぐに実行できる設定にすることもできます。 • 外部メモリーから印刷 プリンターにセットしたUSBメモリーなどの外部メモリー内のJPEGやTIFF、PDFデータを印刷します。 • ファクスボックス 受信した文書の保存や送信する文書の蓄積、受信側の操作で送信（ポーリング送信）する文書の蓄積ができます。 • 本体メモリーからの印刷 プリンタードライバーから送信したジョブを一旦プリンター本体に保存してから印刷します。パスワード印刷や複数部印刷するときの試し印刷ができます。 • 本体情報を送信 スマートチャージサーバーにプリンターの状態（個人情報を除く）を送信します。保守サービス実施店の指示に従って操作してください。 • おまかせクリーニング きれいに印刷できないときに試していただきたいお手入れのメニューです。自動でノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返すことで印刷結果を改善します。 • 設定 プリンターのお手入れやいろいろな機能、動作に関する設定ができます。
9	ジョブ/状態	実行中や実行待ちのジョブ数を表示します。タップするとジョブの内容や受付時間、ユーザー名などの一覧が表示されます。表示される件数は、現在溜まっているジョブ件数です。
10		画面を右にスクロールします。

ネットワークアイコンの見方

	有線LAN非接続または無線LAN非接続
	有線LAN接続中
	SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または弱い
	無線LAN（Wi-Fi）接続中 線の本数は電波の状態を示します。線の本数が多いほど、電波の状態は良好です。
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続無効
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続有効

メニュー画面の見方



①	前の画面に戻ります。	
②	設定項目の一覧をタブで切り替えます。[基本設定] タブでは、よく使われる設定項目が表示されます。[応用設定] タブには、必要に応じて設定する項目が表示されます。	
③	設定項目の一覧が表示されます。  が表示されているときは、アイコンを選択すると補足情報を確認できます。設定値を選択する（チェックを付ける）か、設定項目をタップして表示される画面で設定します。ユーザーデフォルト設定や出荷時の設定から変更した項目には、  が表示されます。  は、環境に配慮した設定の場合に表示されます。 グレー表示の項目は設定できません。タップすると、設定できない理由が確認できます。 項目に問題がある場合は、  が表示されます。アイコンを選択すると、対処方法を確認できます。	
④	現在の設定で操作を実行します。表示される項目はメニューによって異なります。	
	お気に入り	お気に入りリストを表示します。現在の設定をお気に入りとして登録したり、登録したお気に入りを読み込んだりできます。
	部	数字を選択するとキーパッド画面が表示されて、部数を入力できます。
	プレビュー	印刷やコピー、ファクス送信などの前にイメージを確認できます。
	◇	印刷やコピー、スキャン、ファクスを開始します。

ジョブ/状態画面の見方

 ボタンを押してジョブ/状態メニューを表示します。プリンターの状態やジョブの確認ができます。



①	表示するリストを切り替えます。
②	機能別にジョブを絞ります。
③	「実行中」のリストでは、実行中または予約中のジョブを表示します。 「履歴」のリストでは、ジョブ履歴を表示します。 ジョブのキャンセルや、失敗したジョブのエラーコードを履歴で確認できます。
④	プリンターに発生したエラーを表示します。エラーメッセージを確認するには、リストからエラーを選択してください。
⑤	インク残量を示します。
⑥	メンテナンスボックスの空き容量を示します。
⑦	推定消費電力量を表示します。 表示電力量は一般的な使用の目安値であり、本製品の使用方法によって異なる場合があります。 推定消費電力はプリンター単体（オプション非装着）での稼働を基準に以下の計算式で算出されます。 推定消費電力 = $A \times B + C$ A：印刷時にプリントヘッドが用紙幅を1往復するのにかかる電力量 B：過去7日間の印刷でプリントヘッドが往復した回数 C：用紙の搬送などにかかる電力量 本製品の消費電力について 本製品のTEC値^{*1}は、国際エネルギースターププログラムに適合するための基準値^{*2}の約1/2です。

*1： TEC（Typical Electricity Consumptionの略）は、標準的な1週間（稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間＋スリープ/オフの2日間）の消費電力量（kWh）です。この値は、「国際エネルギースターププログラム」に適合するための基準値として使用されています。

本製品のTEC値は、国際エネルギースターププログラム測定方法のTEC基準に基づき、エプソン独自で算出したものです。本製品のTEC値および測定条件についてはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

*2： 国際エネルギースターププログラムに適合するための基準値は、省エネ性能の優れた上位25%の製品が適合となるように設定されています。

関連情報

➡ [「ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された」 426ページ](#)

ジョブ予約

コピーや印刷中でも、ADFや原稿台を使っていないときには、ジョブを予約できます。

予約には特別な操作は不要です。通常の操作でを選択すると、実行中のジョブが終わり次第印刷されます。

予約できるジョブの種類は以下の通りです。実行中のジョブを含めて最大150件まで予約できます。

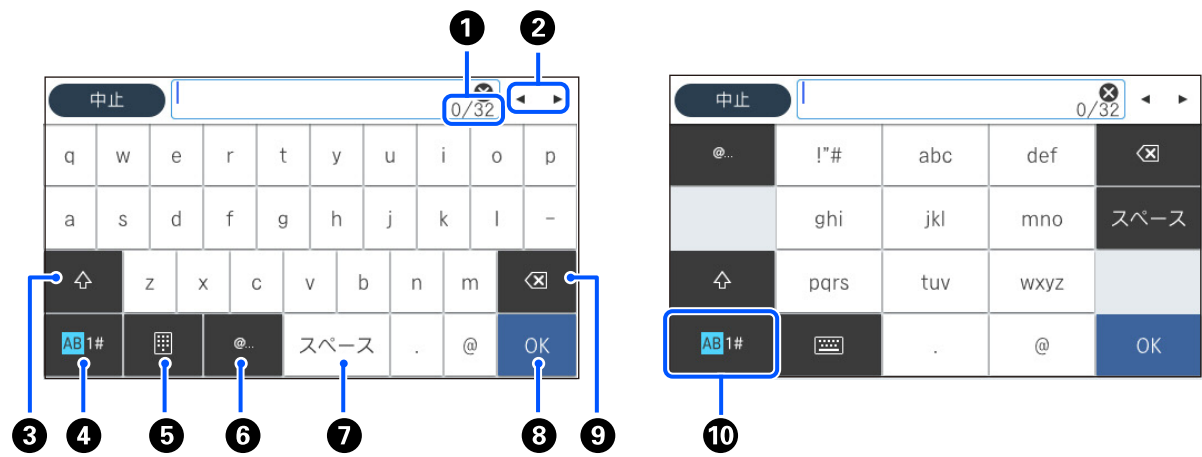
- 印刷
- コピー
- ファクス送信

ジョブアイコンの見方

	コピー印刷ジョブを表します。
	外部機器印刷などコピー以外の印刷ジョブを表します。
	ファクスレポート印刷などレポートの印刷ジョブを表します。
	スキャンデータ送信などデータ送信ジョブを表します。
	ファクス受信ジョブを表します。
	ファクス送信ジョブを表します。
	ファクス受信印刷を表します。
	ファクス外部メモリー保存などデータの保存ジョブを表します。
	スキャンtoメール送信などメールの送信ジョブを表します。

文字入力の仕方

ネットワーク設定のパスワード入力などでは、キーボード画面で文字を入力します。



①	入力済みの文字数/入力可能な最大文字数
②	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
③	アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。
④	文字種を切り替えます。 AB: アルファベット 1#: 数字と記号
⑤	キーボードの種類を切り替えます。
⑥	メールアドレスやURLでよく使われるドメイン名（@やwww.の後）を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。
⑦	スペースを入力します。
⑧	入力した文字を確定します。
⑨	カーソル（入力位置を示す縦棒）の左側の1文字を削除します。
⑩	文字種を切り替えます。 AB: アルファベット 1#: 数字と記号

プリンターの準備と初期設定

プリンターの準備と初期設定の全体の流れ	38
ネットワークの接続と設定	40
用途に合わせた設定	60
印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定	99
設定時のトラブルを解決する	153

プリンターの準備と初期設定の全体の流れ

ここでは、本製品をネットワークに接続して共有プリンターとして利用できるようにするために、必要な作業について説明します。

プリンターの管理者が作業してください。

関連情報

- ➡ [「パネルロックで設定を保護する」 42ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの接続」 38ページ](#)
- ➡ [「各機能の利用に必要な準備の概要」 38ページ](#)
- ➡ [「プリンターの設定手段」 39ページ](#)

一般ユーザーがプリンターの設定を変更できないようにする

一般ユーザーがプリンターの設定を変更できないように、本製品をご利用になる前に以下を行うことをお勧めします。

- 管理者パスワードの変更
- [パネルロック] の設定（プリンター管理者が操作パネルのメニュー項目をロックできる機能）

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの変更」 40ページ](#)
- ➡ [「パネルロックで設定を保護する」 42ページ](#)

ネットワークの接続

本製品をネットワークに接続して共有プリンターとして利用できるようします。

必要に応じてTCP/IPやプロキシサーバーの設定などをします。

増設ネットワークインターフェイスボードが取り付けられているときは、標準または増設のネットワークで設定します。

関連情報

- ➡ [「ネットワークの接続と設定」 40ページ](#)

各機能の利用に必要な準備の概要

プリンターの利用方法や使用環境に応じて以下の操作ができます。

項目	説明
メールサーバーを設定する	スキャンしたデータや受信したファクスデータをメールに転送したり、プリンターの状態を特定の人にメール通知したりする場合は、メールサーバーの設定をします。 「メールサーバーを登録する」 62ページ

項目	説明
共有ネットワークフォルダーを設定する	スキャンしたデータや受信したファクスデータを共有フォルダーに転送する場合に設定します。
アドレス帳を使えるようにする	ファクスやメールやスキャンしたデータやファクス転送データの宛先をアドレス帳に登録する場合に設定します。 「アドレス帳の登録」 77ページ
LDAPサーバーの登録ユーザーを宛先に利用できるようにする。	LDAPサーバーをご利用の場合は、本製品からLDAPサーバーのアドレス帳を利用できるように設定します。
印刷の初期設定	給紙装置の設定や印刷のデフォルト設定をご利用の環境に合わせてカスタマイズします。他社の印刷サービスを使うための設定などを行います。
スキャンの初期設定	コンピューターからのスキャン機能や、操作パネルからスキャン to XXX機能を使うための設定などを行います。 「スキャンの前に必要な準備」 109ページ
ファクス機能を使えるようにする	電話回線への接続、ファクスの送受信設定を行います。

本製品へのセキュリティ設定、その他の管理設定は以下の関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「用途に合わせた設定」 60ページ](#)
- ➡ [「印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定」 99ページ](#)
- ➡ [「管理者向け情報」 554ページ](#)

プリンターの設定手段

プリンターを設定するにはいくつかの方法があります。

関連情報

- ➡ [「プリンターの操作パネルで設定する」 39ページ](#)
- ➡ [「コンピューターからWeb Configで設定する」 40ページ](#)
- ➡ [「コンピューターからEpson Device Adminで設定する（Windowsのみ）」 40ページ](#)

プリンターの操作パネルで設定する

パネルロックを有効にしている場合は、ロックされた機能进行操作するには管理者パスワードが必要になります。詳細は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

コンピューターからWeb Configで設定する

Web Configは、設定確認や変更がブラウザー上でできる、プリンター内蔵のウェブページです。ネットワークに接続されているプリンターを管理者のコンピューターから操作できます。

Web Configを使用するには、事前にプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

- 参考**
- IPアドレスの設定前は、コンピューターとプリンターをLANケーブルで直接接続して初期値のIPアドレスを指定すると、Web Configを開くことができます。
 - HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。
 - 標準ネットワーク、増設ネットワークそれぞれの設定ページがあります。プリンターのIPアドレスは標準ネットワークと増設ネットワークで異なります。
 - Web Config起動後に管理用ページを開くには、管理者パスワードでログオンが必要です。
 - 管理者パスワードの初期値は標準ネットワークと増設ネットワークで異なります。

詳細は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」 475ページ](#)

コンピューターからEpson Device Adminで設定する（Windowsのみ）

複数のプリンターをまとめてセットアップする場合は、Epson Device Adminを使用してください。

ネットワークの接続と設定

ここでは、同じネットワーク内のユーザーがプリンターを利用できるように、必要な設定について説明します。

管理者パスワードの変更

本製品には管理者パスワードが設定されています。本製品をご利用になる前に初期パスワードの変更をお勧めします。管理者パスワードを忘れてしまうと、管理者ロック項目の設定変更ができなくなり、サービスマンによる解除が必要になりますのでご注意ください。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードに関するご注意」 17ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから管理者パスワードを変更する」 41ページ](#)
- ➡ [「コンピューターから管理者パスワードを変更する」 41ページ](#)

操作パネルから管理者パスワードを変更する

1. プリンターの操作パネルで「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「管理者用設定」 - 「セキュリティ設定」 - 「管理者設定」 - 「管理者パスワード」 - 「変更」の順に選択します。
3. 現在のパスワードを入力します。

参考 管理者パスワードの初期値は、関連情報をご覧ください。

4. 画面の指示に従い、新しいパスワードを設定します。

参考 パスワードを初期設定に戻す場合は、操作パネルで以下のメニューを選択します。
「本体設定」 - 「管理者用設定」 - 「セキュリティ設定」 - 「管理者設定」 - 「管理者パスワード」 - 「初期設定に戻す」

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

コンピューターから管理者パスワードを変更する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。Web Config使用時は、プリンターをネットワークに接続する必要があります。プリンターがネットワークに接続していない場合は、標準、または増設のLANポートとコンピューターをLANケーブルで直接接続してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
「設定」 - 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - （「標準」または「増設」） - 「ネットワーク情報」 - 「有線・無線接続状態」
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
「ログオン」を選択し、管理者でログオンして「設定」をクリックします。
3. 「本体セキュリティ」 - 「管理者パスワード変更」を選択します。
4. 「現在のパスワード」と「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」にパスワードを入力します。
必要に応じてユーザー名を入力します。

参考 管理者パスワードの初期値は、関連情報をご覧ください。

5. 「設定」を選択します。

参考 管理者パスワードを初期パスワードに戻すには、「管理者パスワード変更」画面で「購入時の設定に戻す」を選択します。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

パネルロックで設定を保護する

ネットワークに接続されているときに、権限のないユーザーによるプリンター設定やネットワーク設定の閲覧や変更ができないように、管理者がパネルロックの機能で操作パネルのメニュー項目をロックすることができます。ロックされたメニュー項目を操作するには管理者でログオンする必要があります。

 **参考** パスワードは後で変更できます。

関連情報

➔ [「操作パネルの動作を設定する」562ページ](#)

操作パネルを使って管理者ロックを有効にする

1. プリンターの操作パネルで **〔設定〕** を選択します。
2. **〔本体設定〕** - **〔管理者用設定〕** - **〔セキュリティ設定〕** - **〔管理者設定〕** の順に選択します。
3. **〔管理者ロック〕** から **〔オン〕** を選択します。

確認画面で **〔はい〕** を選択します。

ホーム画面に  が表示されていることを確認してください。

管理者ロックが有効になっている場合、ロックされたメニューに入るには管理者としてログオンする必要があります。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

コンピューターから管理者ロックを有効にする

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
〔設定〕 - **〔本体設定〕** - **〔ネットワーク設定〕** - (**〔標準〕**) - **〔ネットワーク情報〕** - **〔有線・無線接続状態〕**
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
〔デバイス管理〕 タブ- **〔パネル〕**
4. **〔パネルロック〕** から **〔オン〕** を選択します。

5. 「設定」をクリックします。

ホーム画面に  が表示されていることを確認してください。

管理者ロックが有効になっている場合、ロックされたメニューに入るには管理者としてログオンする必要があります。

関連情報

- ➡ 「管理者パスワードの初期値」 18ページ
- ➡ 「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」 475ページ

操作パネルからプリンターにログオンする

1.  をタップします。
2. 管理者パスワードを入力して、「[OK]」をタップします。

認証されると画面に  が表示され、ロックされているメニュー項目が操作できるようになります。

ログオフするには  をタップします。

参考 「設定」 - 「本体設定」 - 「基本設定」 - 「無操作タイマー設定」を「オン」にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

プリンターをネットワークに接続する

プリンターをネットワークに接続するには、以下の方法があります。

- 操作パネルで詳細設定して接続する
- インストーラーを起動して接続する
インストーラーはウェブサイトやソフトウェアディスク（プリンターにソフトウェアディスクが同梱されていて、ソフトウェアディスクを使用できる場合）から起動できます。

ここでは、プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続する手順を説明します。

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	- 有線LAN - 無線LAN	プリンターをネットワークに接続する方法を決定します。 有線LANは、LANスイッチ（ハブ）に接続します。 無線LANはアクセスポイントのSSIDに接続します。
LAN接続情報	- IPアドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ	プリンターに割り当てるIPアドレスを決定します。 静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。
無線LAN接続情報	- SSID - パスワード	プリンターを接続するアクセスポイントのSSID（ネットワークの名称）、パスワードです。 MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、プリンターを登録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。 対応している規格は以下をご覧ください。 「無線LANの仕様」531ページ
DNSサーバー情報	- プライマリーDNSのIPアドレス - セカンダリーDNSのIPアドレス	DNSサーバーを指定する場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーターのIPアドレスを設定します。
プロキシサーバー情報	プロキシサーバー名	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、プリンターが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。 以下の機能はプリンターが直接インターネットにアクセスします。 - Epson Connectサービス - 他社のクラウドサービス - ファームウェア更新
ポート番号情報	開放するポート番号	プリンターやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認して、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放してください。 プリンターが使用するポート番号の情報は以下をご覧ください。 「プリンターが使用するポート」529ページ

IPアドレスの割り当て

IPアドレス（IPv4）の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でプリンター（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないため、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、プリンターやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec／IPフィルタリングなどのセキュリティ機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをプリンター（ホスト）に割り当てます。ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。

デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。

IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

参考 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。コンピューターやプリンターがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。

その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。これによりコンピューターやプリンターなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信ができるようになります。プリンターがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。

プリンターのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てる場合は自動設定されます。プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入り口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティの向上が期待できます。プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、プリンターにプロキシサーバーの設定をしてください。

操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。

IPアドレスを設定する

「IPアドレス」や「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」など、基本的なIPアドレス設定をします。ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面にが表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

参考 ネットワーク増設時は、標準、増設それぞれのネットワーク回線の設定をしてください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. プリンターのホーム画面で「設定」 - 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」を選択します。

参考 ネットワーク増設時は、ネットワーク設定メニューの構成は増設と標準で分かれます。

3. 「詳細設定」 - 「TCP/IP」の順に選択します。

4. [TCP/IP設定方法] を [手動設定] にします。

IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は [自動設定] を選択してください。この場合は、手順5、6の [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] も自動設定になるので入力できません。手順7へ進んでください。

5. IPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

6. 同様に [サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

！重要 [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の組み合わせが不正の場合、[設定を開始する] が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

7. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

IPアドレスを [自動設定] にすると、DNSサーバー設定は [手動設定]、[自動設定] を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に [手動設定] を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。[自動設定] を選択した場合は、手順9へ進んでください。

8. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。

9. [設定を開始する] をタップします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

プロキシサーバーを設定する

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面に  が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。プロキシサーバーは標準ネットワーク回線のみで使用できます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。

IPアドレスの設定に続いて設定するときは、[詳細設定] 画面が表示されています。手順3に進んでください。

2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [標準] - [詳細設定] の順に選択します。

3. [プロキシサーバー] を選択します。

4. [プロキシサーバー使用設定] を [使用する] にします。
5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。
6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認します。
7. [設定を開始する] をタップします。

有線LANに接続する

LANケーブルで標準ネットワークに接続して、接続の確認をします。

管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面に  が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。
2. ホーム画面で [設定] を選択します。
3. [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準] -) [接続診断] を選択します。
有線LANの接続状態が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

無線LAN（Wi-Fi）に接続する

プリンターを無線LAN（Wi-Fi）に接続する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

関連情報

- ➡ [「Wi-Fi 5GHz使用時の注意事項」 47ページ](#)
- ➡ [「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 48ページ](#)
- ➡ [「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 48ページ](#)
- ➡ [「PINコードで設定する（WPS）」 49ページ](#)

Wi-Fi 5GHz使用時の注意事項

本製品はWi-Fi Direct（シンプルAP）接続時に基本的にW52(36ch)を使用します。無線LAN（Wi-Fi）接続時のチャネルは自動選択のため、Wi-Fi Direct接続との同時利用の場合、使用チャネルが異なることがあります。チャネルが異なるとプリンターへのデータ送信が遅くなることがあります。使用に差し支えなければ2.4GHz帯のSSIDに接続してご利用ください。2.4GHzの周波数帯では、使用チャネルは一致します。

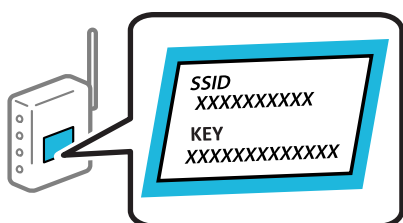
5GHzで無線LAN設定する場合は、Wi-Fi Directを無効にして設定することをお勧めします。

プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をプリンターの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとパスワードの情報がが必要です。管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面に  が表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

参考 無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。



1. プリンターのホーム画面で  をタップします。

2. [ルーター] を選択します。

3. [設定に進む] をタップします。

プリンターがネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は[無線LAN接続に変更する]または[設定を変更する]をタップします。

4. [無線LANルーターを検索] を選択します。

5. この後は、画面の指示に従ってSSIDを選択し、パスワードを入力して設定を開始します。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、関連情報をご覧ください。

- 参考**
- SSIDがわからない場合は無線LANルーターのラベルに書かれていないかを確認してください。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。情報が見つからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。
 - パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
 - SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルに書かれていないかを確認してください。ラベルには、「暗号化キー」「XXXX Key」などと書かれています。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。

関連情報

- ➡ [「プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断）」 368ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 50ページ](#)

プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）

無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンで無線LAN（Wi-Fi）を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面にが表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

- 無線LANルーター（アクセスポイント）がAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

1. プリンターのホーム画面でをタップします。

2. [ルーター] を選択します。

3. [設定に進む] をタップします。

プリンターがネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は[無線LAN接続に変更する] または [設定を変更する] をタップします。

4. [プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)] を選択します。

5. この後は、画面の指示に従って操作してください。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、関連情報をご覧ください。

参考 接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

関連情報

➔ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」50ページ](#)

PINコードで設定する（WPS）

PINコードを使って無線LANルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線LANルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードを無線LANルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。

管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面にが表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

1. プリンターのホーム画面でをタップします。

2. [ルーター] を選択します。

3. [設定に進む] をタップします。

プリンターがネットワーク接続している場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は[無線LAN接続に変更する] または [設定を変更する] をタップします。

4. [その他] - [PINコード自動設定(WPS)] の順に選択します。

5. この後は、画面の指示に従って操作してください。

設定完了後に接続状態を確認したい場合は、関連情報をご覧ください。



PINコードの入力方法は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

関連情報

➔ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」50ページ](#)

ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）

プリンターの操作パネルを使った以下のスキャンやファクス機能は、標準または増設のいずれかのネットワーク回線で使用できます。

- スキャン to メール機能
- スキャン to ネットワークフォルダー機能
- スキャン to Document Capture Pro
- ファクス to メール機能
- ファクス to フォルダー機能

これらのスキャンやファクス機能を使用するネットワーク回線を選択するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク送信経路】の順に選択します。
3. スキャンやファクス機能を使うネットワーク回線を【標準】または【増設】から選択します。

ネットワーク接続時のトラブル対処

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

管理者ロックが有効になっているプリンターの設定を変更する場合は、管理者としてログオンする必要があります。

プリンターの画面にが表示されている場合は、このアイコンをタップして、管理者としてログオンしてください。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - （【標準】 - ）【接続診断】の順に選択します。
診断が始まります。
3. 診断結果が画面に表示されるので、指示に従ってください。
エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を印刷して対処してください。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク設定」488ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」54ページ](#)

ネットワークに接続できない

IPアドレスが正しく割り当てられていません。

IPアドレスが「169.254.XXX.XXX」、サブネットマスクが「255.255.0.0」の場合は、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。

プリンターの操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕の順に選択して、プリンターに割り当てられているIPアドレスとサブネットマスクを確認してください。

無線LANルーターの電源を入れ直すか、プリンターのネットワークを再設定してください。

プリンターのネットワーク設定が間違っている場合は、ネットワーク環境に合わせてプリンターのネットワークを再設定してください。

増設ネットワークボードが装着されているプリンターは、以下のメニュー構成になります。

- 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔標準〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕
- 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔増設〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕

関連情報

- ➡ [「操作パネルでネットワークに接続する」45ページ](#)

IEEE802.3az（省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続しています。

IEEE802.3az（Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット）に対応した機器を使って有線LAN接続する場合、一部のハブやルーターを使用したときに以下の現象が発生することがあります。

- 接続したりしなかったりして不安定になる
- 接続できなくなる
- 通信速度が遅くなる

以下の手順で、コンピューターとプリンターのIEEE802.3azを無効にして接続してください。

1. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。
2. コンピューターのIEEE802.3azが有効になっている場合は、無効にします。
詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。
3. LANケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
4. プリンターで、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
[「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」50ページ](#)
5. ネットワーク接続診断レポートで、プリンターのIPアドレスを確認します。

6. コンピューターで、Web Configを起動します。

Webブラウザを起動し、プリンターのIPアドレスを入力してください。

[「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\)」 475ページ](#)

7. [ログオン] を選択して、管理者パスワードを入力します。

8. [ネットワーク] - [有線LAN] の順に選択します。

9. [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。

10. [次へ] をクリックします。

11. [設定] をクリックします。

12. コンピューターとプリンターそれぞれにつながっているLANケーブルを外します。

13. 手順2でコンピューターのIEEE802.3azを無効にした場合は、有効にします。

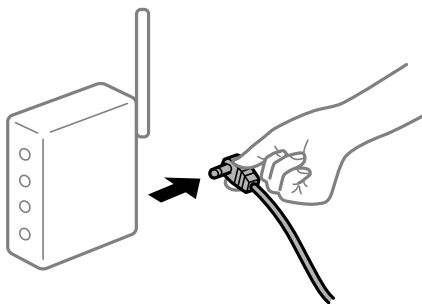
14. 手順1で外したLANケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

無線LAN接続でネットワーク機器に何らかの問題があります。

お使いの環境で無線LANルーター（アクセスポイント）のリセットが可能な場合は、以下をお試しください。

ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。



機器と無線LANルーターが離れていて電波が届いていません。

お使いの環境で機器の移動が可能な場合は、以下をお試しください。

コンピューターまたはスマートデバイスとプリンターを無線LANルーターの近くに移動して、無線LANルーターの電源を入れ直してください。

無線LANルーターを交換した場合、設定が新しいルーターに合っていない。

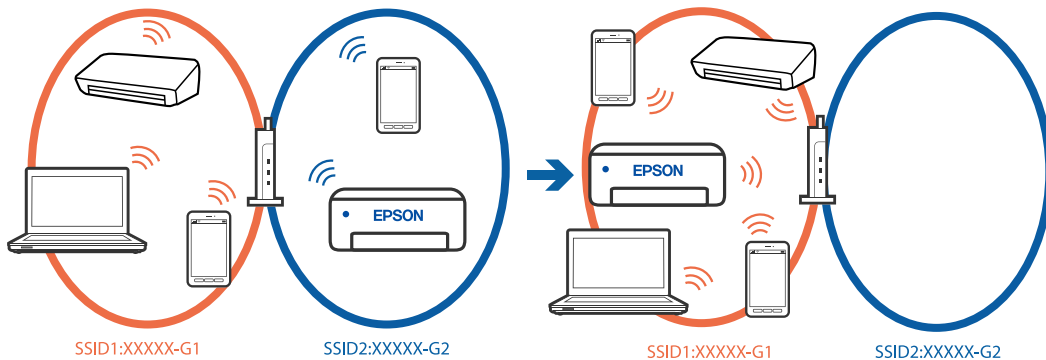
新しい無線LANルーターに合うように、接続設定をやり直してください。

関連情報

➡ [「操作パネルでネットワークに接続する」45ページ](#)

接続しているSSIDがコンピューターやスマートデバイスとプリンターで異なります。

複数の無線LANルーターを使用している場合や、1台で複数のSSIDを使用できる無線LANルーターの場合、コンピューターやスマートデバイスが接続しているSSIDとプリンターが接続しているSSIDが異なっていると接続できません。



コンピューターやスマートデバイスを同じSSIDに接続してください。

- プリンターが接続しているSSIDを、ネットワーク接続診断レポートを印刷して確認してください。
- プリンターと接続したい全てのコンピューターやスマートデバイスで、接続しているWi-Fiまたはネットワークの名前を確認してください。
- プリンターとコンピューターやスマートデバイスでネットワークの接続先が異なる場合は、プリンターが接続している接続先（SSID）に機器を接続し直してください。

無線LANルーターのプライバシーセパレーター機能が有効になっています。

ほとんどのワイヤレスルーターには、同じSSID内のデバイス間の通信をブロックするセパレーター機能があります。プリンターとコンピューターまたはスマートデバイスが同じネットワークに接続されていても通信できない場合は、無線ルーターのセパレーター機能を無効にしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。

ネットワーク接続診断レポート

診断結果 NG

エラー番号 (E-7)

以下のネットワーク設定情報を確認し、「ネットワーク (SSID)」が無線接続したいSSIDかを確認してください。
正しければパスワードを確認し、設定し直してください。

何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。

診断項目

指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティ方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
パスワードの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断

ネットワーク設定情報

プリンター名	EPSON XXXXXX
プリンター型番	XX-XXX Series
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク (SSID)	
無線セキュリティ設定	WPA2-PSK (AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	

a. エラー番号

b. ネットワーク環境に関するメッセージ

関連情報

- ➡ [「E-1」 55ページ](#)
- ➡ [「E-2, E-3, E-7」 55ページ](#)
- ➡ [「E-5」 56ページ](#)
- ➡ [「E-6」 56ページ](#)
- ➡ [「E-8」 56ページ](#)
- ➡ [「E-9」 57ページ](#)
- ➡ [「E-10」 57ページ](#)
- ➡ [「E-11」 58ページ](#)
- ➡ [「E-12」 58ページ](#)
- ➡ [「E-13」 59ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク環境に関するメッセージ」 59ページ](#)

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線LAN（Wi-Fi）で使用したい場合は、プリンターの無線LANが有効になっていないため、無線LAN 接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線LANルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線LANルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力したSSIDが正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
- 1つの無線LANルーターに複数のSSIDが存在する場合、表示されたSSIDから選択してください。SSIDが非対応の周波数を使用していると、SSIDは表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線LANルーターがWPSに対応しているか確認してください。WPSに対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- 無線LANルーターに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。無線LANルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
<https://epson.sn> > [セットアップ]
 - お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS／WPS）で設定したか
 - この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
 - 株式会社バッファロー製の無線LANルーターで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか

関連情報

- ➡ 「コンピューターとの接続設定をする」 368ページ
- ➡ 「無線LAN（Wi-Fi）に接続する」 47ページ

E-5

対処方法：

無線LANルーターが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティー方式を使用するよう無線LANルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES)*
- WPA2 PSK (TKIP/AES)*
- WPA3-SAE (AES)
- WPA2-Enterprise
- WPA3-Enterprise

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録してフィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。
- 無線LANルーターのWEPセキュリティー方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 無線LANルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターのネットワーク設定をし直してください。

関連情報

➡ [「コンピューターとの接続設定をする」368ページ](#)

E-8

対処方法：

- 無線LANルーターのDHCPが有効の場合は、プリンターのTCP/IP設定を「自動」にしてください。
- プリンターのTCP/IP設定を手動設定をしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外(0.0.0.0 など)のため、無効になっています。有効なIPアドレスをプリンターの操作パネルから設定してください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターのネットワーク設定をし直してください。

関連情報

➡ [「IPアドレスを設定する」 45ページ](#)

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

それでも状況が変わらない場合は、ネットワーク接続診断レポートに記載のプリンターのIPアドレスをご確認のうえ、お使いのルーターメーカーへお問い合わせください。

関連情報

➡ [「コンピューターとの接続設定をする」 368ページ](#)

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動にしているときは、ネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

関連情報

➡ [「IPアドレスを設定する」 45ページ](#)

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

関連情報

➡ [「IPアドレスを設定する」45ページ](#)

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下をお試しください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

<https://epson.sn> > [セットアップ]

- セキュリティタイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキー登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

➡ [「IPアドレスを設定する」45ページ](#)

➡ [「コンピューターとの接続設定をする」368ページ](#)

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線LANルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が固定で、プリンターのTCP/IP設定のみが自動になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試してください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<https://epson.sn> > [セットアップ]
- セキュリティタイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキー登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

- ➡ 「IPアドレスを設定する」 45ページ
- ➡ 「コンピューターとの接続設定をする」 368ページ

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。無線LANルーターの電源を入れ直してください。それでも解消しないときは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。	プリンターを無線LANルーターの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてから無線LANルーターの電源を入れ直します。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除するか他のネットワークに接続させてから追加してください。 同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。
周囲にWi-Fi Directと重複するSSIDが存在します。スマートデバイス(無線機器)をプリンターに接続できないときは、Wi-Fi DirectのSSIDを変更してください。	プリンターの操作パネルからWi-Fi Direct設定の画面を表示し、設定を変更するメニューから接続名を変更してください。接続名はDIRECT-XX-の後に続く文字列を変更できます。半角22文字以内で入力します。

関連情報

- ➡ 「ステータスシート印刷：」 490ページ

増設ネットワーク設定時のトラブル対処

使用するネットワークの経路が違っています。

メールサーバーやLDAPサーバーの設定をした場合は、標準または増設のどちらのネットワークに属するかを確認し、ネットワーク経路を正しく設定してください。

コンピューターからの印刷やスキャンができない

標準ネットワークまたは増設ネットワークの設定が正しくない。

標準ネットワーク、増設ネットワークそれぞれの設定が必要です。両方の設定を確認してください。

操作パネルからのスキャンやファクス機能（スキャン to クラウド機能を除く）が正常に動作しない

操作パネルからのスキャンやファクス機能を使うネットワークが正しく選択されていない。

操作パネルからのスキャンやファクス機能は、標準、増設のいずれかのネットワーク回線で使用できます。スキャンやファクス機能を使うネットワーク回線が正しく選択されているか確認してください。

用途に合わせた設定

オプションの給紙装置を使えるようにする

コンピューターから印刷するときにオプションの給紙装置などを使用するにはプリンタードライバーの設定が必要です。

オプションの装置を使えるようにする - Windows

 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. プリンターのプロパティの [環境設定] タブを表示します。

- Windows 11
スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetoothとデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。お使いのプリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。

- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
 - Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、[プロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
2. [プリンターから取得] を選択して、[取得] をクリックします。
 3. [OK] をクリックします。

オプションの装置を使えるようにする - Windows PostScript

 **参考** 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. プリンターのプロパティの [デバイスの設定] タブを表示します。
 - Windows 11
スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetoothとデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。お使いのプリンターを選択し、[プリンターのプロパティ] を選択して、[デバイスの設定] タブをクリックします。
 - Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[デバイスの設定] タブをクリックします。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[デバイスの設定] タブをクリックします。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[デバイスの設定] タブをクリックします。
 - Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、[プロパティ] を選択して、[デバイスの設定] タブをクリックします。

2. [インストール可能なオプション] から使用するオプションを選択します。
3. [OK] をクリックします。

オプションの装置を使えるようにする - Mac OS

1. アップルメニューの [システム環境設定] (または [システム設定]) - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション] (または [ドライバ]) の順にクリックします。
2. オプションユニットの種類に合わせて設定します。
3. [OK] をクリックします。

オプションの装置を使えるようにする - Mac OS PostScript

1. アップルメニューの [システム環境設定] (または [システム設定]) - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション] (または [ドライバ]) の順にクリックします。
2. オプションユニットの種類に合わせて設定します。
3. [OK] をクリックします。

メールサーバーを登録する

設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがネットワークに接続されていること
- メールサーバーの設定情報
インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。

参考 メールサーバーの設定をしなくても、エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を経由して、スキャンした画像をメールで送信できます。詳しくは、スキャン to クラウド 機能をご確認ください。
[「スキャン to クラウド 機能の準備」111ページ](#)

登録方法

WebConfigを起動し、[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の順に選択します。

[「WebブラウザからWeb Configを起動する」475ページ](#)

プリンターの操作パネルからも設定できます。[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順に選択します。

メールサーバーの設定項目

項目	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない（オフ）	メールサーバーが認証を必要としない場合に設定します。
	SMTP認証	メール送信時にSMTPサーバー（メール送信サーバー）で認証をします。メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	メール送信する前にPOP3サーバー（メール受信サーバー）で認証をします。選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	〔認証方式〕に〔SMTP認証〕または〔POP before SMTP〕を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII（0x20-0x7E）の255文字以内です。 〔SMTP認証〕を選択した場合、SMTPサーバーの認証用アカウントを入力してください。〔POP before SMTP〕を選択した場合、POP3サーバーの認証用アカウントを入力してください。	
認証用パスワード	〔認証方式〕に〔SMTP認証〕または〔POP before SMTP〕を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII（0x20-0x7E）の70文字以内です。 〔SMTP認証〕を選択した場合、SMTPサーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。〔POP before SMTP〕を選択した場合、POP3サーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。	
送信元アドレス	システム管理者のアドレスなど送信元のメールアドレスを入力します。認証にも使用されるため、お使いのメールサーバーに登録されていて実際に送信できるアドレスを入力してください。入力できる文字は、: () < > [] ; ¥ を除くASCII（0x20-0x7E）で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド（.）は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。	
セキュア接続	メールサーバーとの通信の暗号化方式を選択します。	
	なし	〔認証方式〕で〔POP before SMTP〕を選択した場合は暗号化しません。
	SSL/TLS	〔認証方式〕で〔認証しない〕または〔SMTP認証〕を選択したときに選択できます。通信の開始から暗号化します。
	STARTTLS	〔認証方式〕で〔認証しない〕または〔SMTP認証〕を選択したときに選択できます。通信の開始は暗号化せず、受信環境によってその後の通信を暗号化するかが変わります。
証明書の検証（Web Configのみ）	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。〔有効〕にすることをお勧めします。設定するには、相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートする必要があります。 サーバーの安全性が確認できないというエラーメッセージが表示されたときは、以下を参照してください。 「日付や時刻がずれている」 453ページ 「ルート証明書の更新が必要になった」 453ページ	

項目	設定値と説明
POP3サーバーアドレス	〔認証方式〕に〔POP before SMTP〕を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A～Z a～z 0～9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。
POP3サーバー ポート番号	〔認証方式〕で〔POP before SMTP〕を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1～65535の範囲で、半角数字で入力します。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

メールサーバーとの接続を確認する

1. 接続確認のメニューを選択します。

- **Web Configで設定する場合：**
〔ネットワーク〕タブ-〔メールサーバー〕-〔接続確認〕-〔確認開始〕を選択します。
- **操作パネルで設定する場合：**
〔設定〕-〔本体設定〕-〔ネットワーク設定〕-〔詳細設定〕-〔メールサーバー〕-〔コネクションテスト〕の順に選択します。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。

2. テストの結果を確認します。

- 〔接続に成功しました。〕が表示されたら成功です。
- エラーが表示されたときは、メッセージに従ってエラーを解決してください。
[「メールサーバー接続確認結果」64ページ](#)

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した

メッセージ	原因
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・POP3サーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・SMTPサーバーポート番号	サポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・日付/時刻	プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。 「日付や時刻がずれている」453ページ
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。 「ルート証明書の更新が必要になった」453ページ
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、製品はSMTP認証を実行していません。

メッセージ	原因
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、製品はSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

ネットワークフォルダーを作成する

プリンターから送信されるファイルを保存するためのネットワークフォルダーを作成します。コンピューターは、プリンターと同じネットワークに接続されている必要があります。ファイルを保存するとき、プリンターは共有フォルダーのあるコンピューターに、コンピューターのユーザーとしてログオンします。また、共有フォルダーと一緒にMS Networkを設定してください。ネットワークフォルダーの設定方法は環境によって異なります。ここでは、以下の環境でコンピューターのデスクトップにネットワークフォルダーを作成する例を説明します。

- オペレーティングシステム：Windows 10
- フォルダー作成場所：デスクトップ
- フォルダーパス：C:\¥Users¥xxxx¥Desktop¥scan_folder（デスクトップに"scan_folder"というネットワークフォルダーを作成）

1. ネットワークフォルダーを作成するコンピューターへ、管理者権限のあるユーザーアカウントでログオンします。

参考 管理者権限のあるユーザーアカウントがわからないときは、コンピューターの管理者に確認してください。

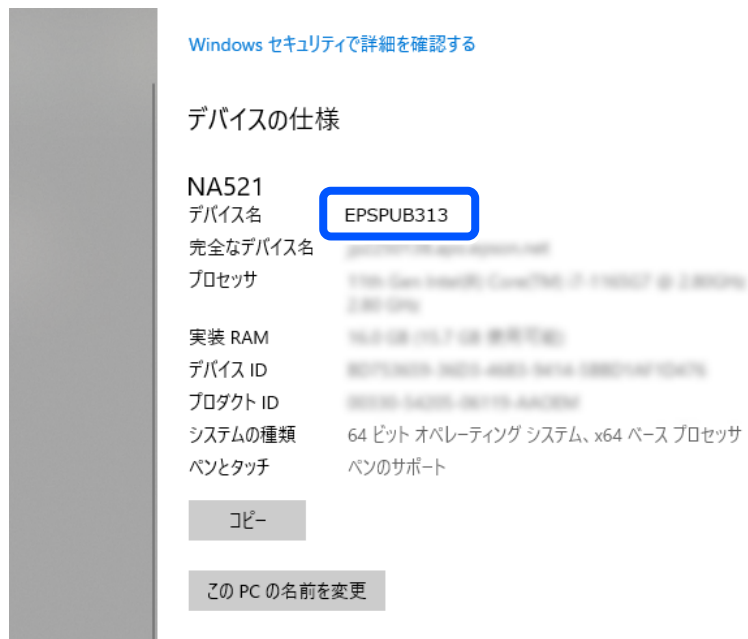
2. デバイス名（コンピューター名）に全角文字が含まれていないかを確認します。Windowsのスタートボタンをクリックし、 **設定** - **システム** - **詳細情報** を選択します。

参考 デバイス名に全角文字が含まれていると、ファイルの保存が失敗する可能性があります。

3. **【デバイスの仕様】 - 【デバイス名】** に表示されている文字列に、全角文字が含まれていないかを確認します。

デバイス名が半角文字だけで構成されていれば問題ありません。画面を閉じてください。

例：EPSPUB313

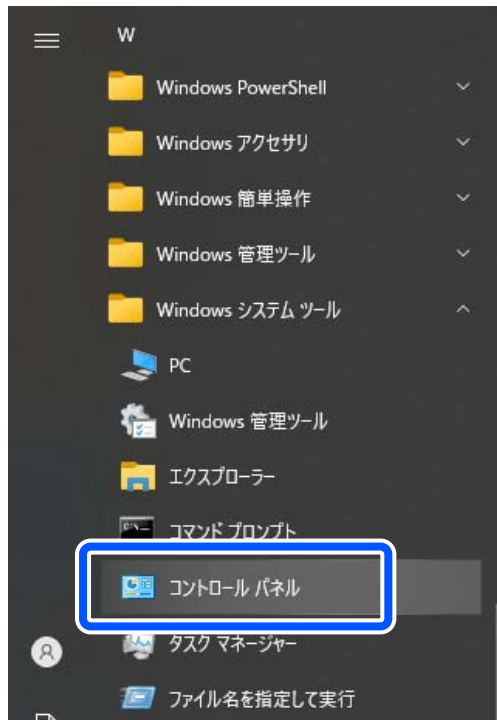


！重要

デバイス名に全角文字が含まれているときは、含まれていないコンピューターを使用するか、デバイス名を変更してください。
デバイス名を変更する場合、コンピューターの管理やリソースへのアクセスに影響が出る可能性があるので、必ずコンピューターの管理者に確認してください。

次に、コンピューターの設定を確認します。

4. Windowsのスタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] を選択します。

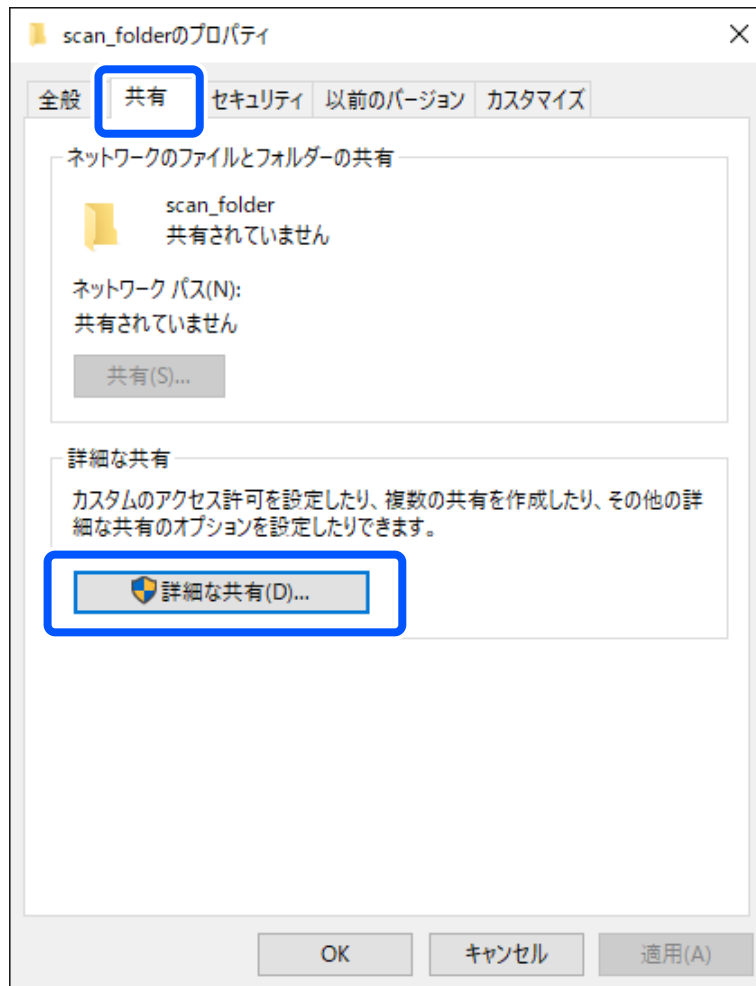


5. コントロールパネルで、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] [共有の詳細設定の変更] をクリックします。
ネットワークプロファイルが表示されます。
6. (現在のプロファイル) とあるネットワークプロファイルの [ファイルとプリンターの共有] で [ファイルとプリンターの共有を有効にする] が選択されているか確認します。
選択されている場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。
変更した場合は、[変更の保存] をクリックして画面を閉じます。
次に、ネットワークフォルダーを作成します。
7. デスクトップにフォルダーを作成し、名前を付けます。
フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。
例：scan_folder

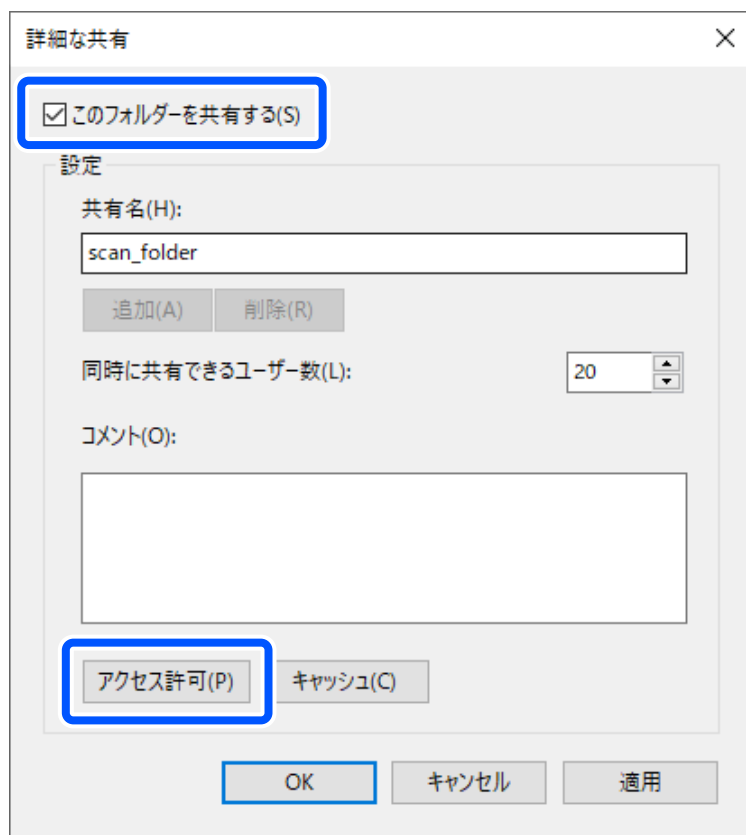
8. フォルダーを右クリックして「プロパティ」を選択します。



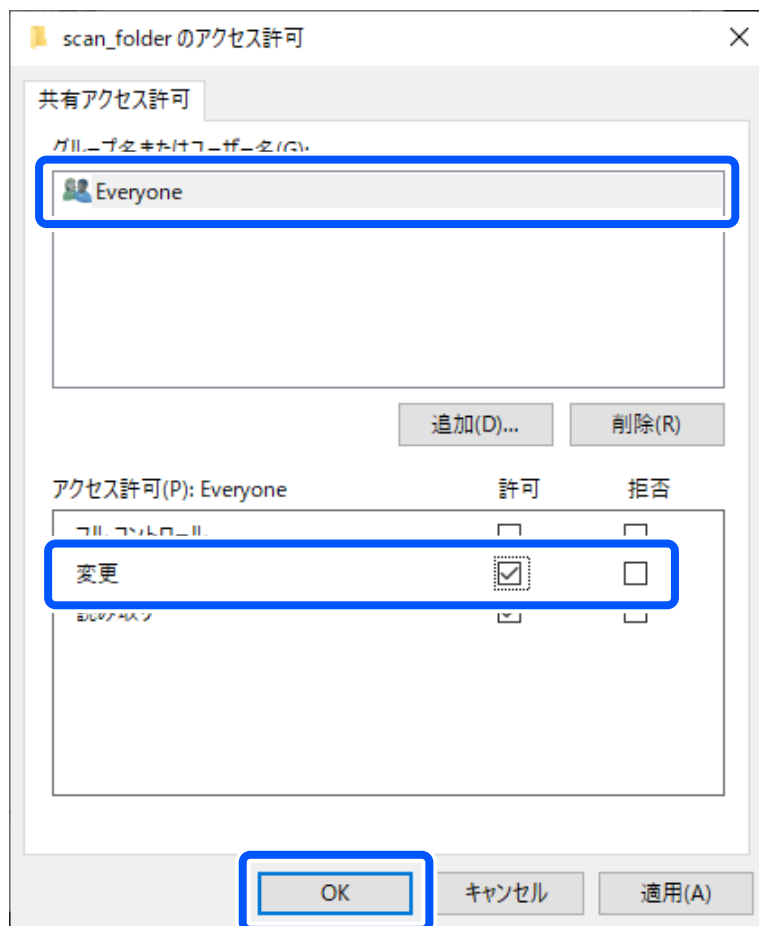
9. 「共有」タブの画面で「詳細な共有」をクリックします。



10. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。

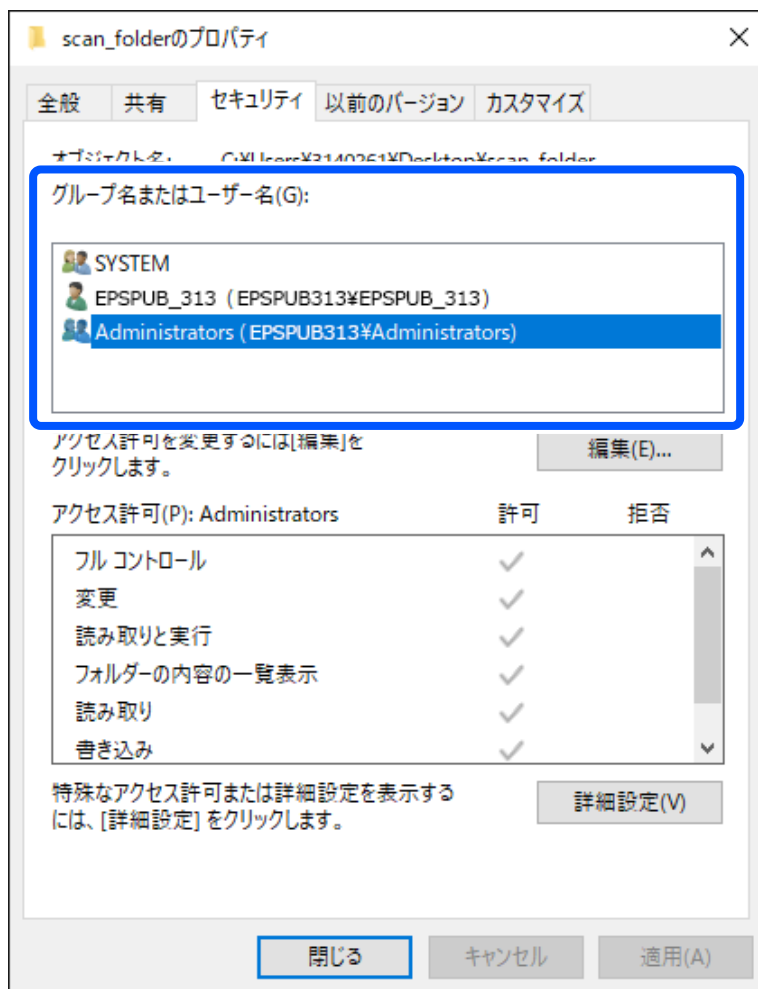


11. [グループ名またはユーザー名] の [Everyone] グループを選択し、[変更] の [許可] にチェックを入れて [OK] をクリックします。



12. [OK] をクリックして画面を閉じ、プロパティ画面に戻ります。

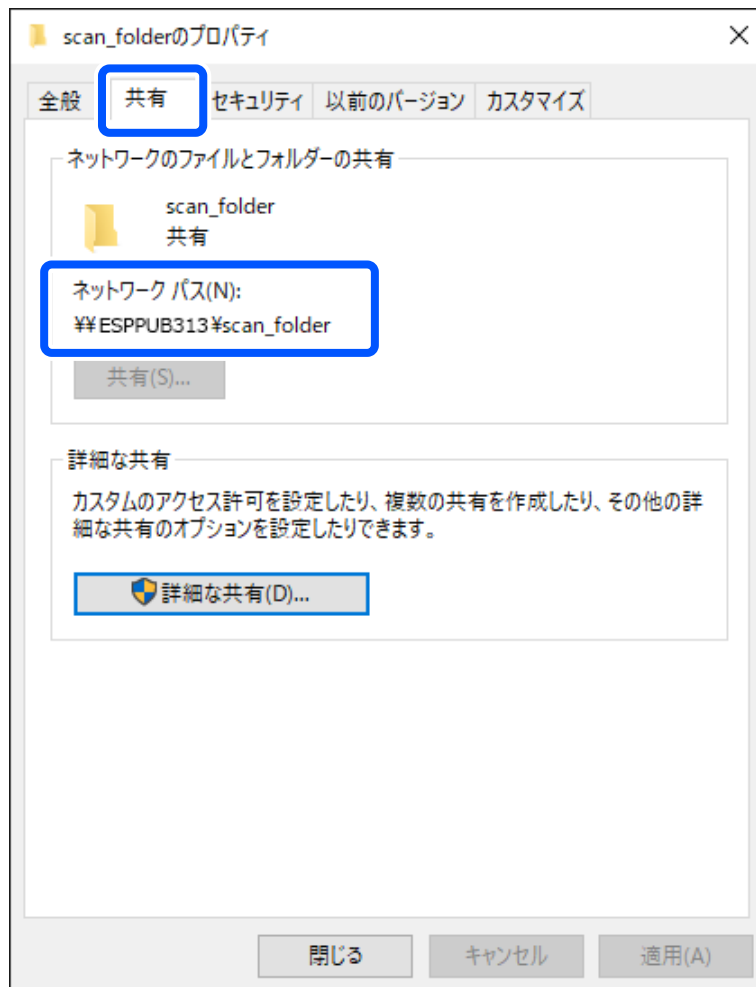
- 参考** ネットワークフォルダーにアクセスできるグループまたはユーザーは、[セキュリティ] タブ - [グループ名またはユーザー名] で確認できます。
 例：コンピューターにログオンしているユーザーとAdministrators（管理者）がネットワークフォルダーにアクセスできる場合



13. [共有] タブを選択します。

ネットワークフォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使します。メモやコピーをしておいてください。

例：¥¥EPSPUB313¥scan_folder



14. [閉じる] または [OK] をクリックして、画面を閉じます。

以上でネットワークフォルダーの作成は完了です。

Microsoftネットワーク共有を使用する

有効にすると、プリンターから共有フォルダーにファイルを保存できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
[ネットワーク] タブ- [MS Network]
4. [Microsoftネットワーク共有を使用する] を有効にします。
5. 必要に応じて各項目を設定します。
6. [次へ] をクリックします。
7. 設定内容を確認して [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

共有フォルダーのトラブル対処

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

ネットワークフォルダーへのスキャン時に操作パネルにメッセージが表示される

操作パネルにメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってエラーを解決してください。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	コンピューターに接続できません。以下を確認してください。 - プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳に登録し直してください。 - コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 記入例：\\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN - 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 - 保存先のコンピューターのファイアウォール、セキュリティソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティソフトの設定を確認してください。 - ネットワークの場所が「パブリックネットワーク」になっているときは、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 - IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 - DNSの設定に問題がないか確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 - DNSサーバーの管理テーブルが更新されていないときは、コンピューター名とIPアドレスが一致していないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。
認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	アドレス帳に登録されたネットワークフォルダーと通信できません。以下を確認してください。 - Web Configなどで、「Microsoftネットワーク共有を使用する」が無効になっていないかを確認してください。 Web Configでは、「ネットワーク」 - 「MS Network」で確認できます。 - プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの「共有」タブと「セキュリティ」タブの両方に追加されている必要があります。また、変更の「許可」にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の設定を変更してください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。

■ エラーの発生箇所を確認する

対処方法

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログイン	ユーザー名とパスワードを入れてログインする。	認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

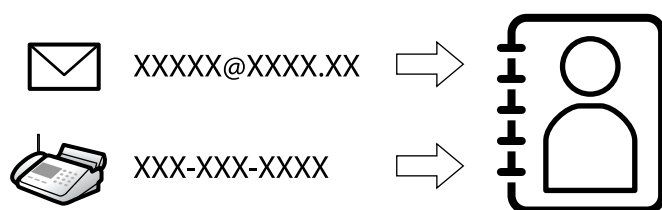
■ 「ドメインネーム」と「IPアドレス」を対応させる名前解決に時間がかかっています。

対処方法

以下の設定を確認してください。

- DNSの設定に問題がないか確認してください。
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか確認してください。
- DNSドメイン名が正しく設定されているか確認してください。

アドレス帳の登録



スキャンやファクスの宛先をプリンターのアドレス帳に登録しておくと、簡単に宛先を入力できます。

参考 アドレス帳には、以下の種類の宛先を、合計で2000件まで登録できます。

ファクス	ファクスの宛先

メール	メールの宛先 メールサーバーの設定が必要です。
ネットワーク フォルダー(SMB)	スキャンデータやファクス転送データの保存先
ネットワークフォルダー	

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpson Device Admin、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。

機能	Web Config	Epson Device Admin	操作パネル
宛先登録	○	○	○
宛先編集	○	○	○
グループ登録	○	○	○
グループ編集	○	○	○
宛先やグループの削除	○	○	○
宛先の一括削除	○	○	-
ファイルのインポート	○	○	-
ファイルへエクスポート	○	○	-
常用の指定	○	○	○
常用の並べ替え	-	-	○

 **参考** ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

アドレス帳への宛先登録

アドレス帳には宛先を2000 件まで登録できます。

Web Configからアドレス帳に宛先を登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔スキャン/コピー〕タブまたは〔ファクス〕タブ - 〔アドレス帳〕

4. 登録したい番号を選択して〔編集〕をクリックします。

5. 〔登録名〕と〔検索名〕を入力します。

6. 設定したい宛先の〔種別〕を選択します。

参考 登録後は〔種別〕を変更できません。登録後に種類を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

7. 〔ファクス番号〕にファクス番号を入力します。

8. 必要な項目を設定して、〔適用〕をクリックします。

関連情報

- ➡ 「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ
- ➡ 「管理者パスワードの初期値」 18ページ
- ➡ 「Web Configからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）」 85ページ
- ➡ 「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」 282ページ
- ➡ 「原稿をスキャンしてメールに添付する」 283ページ

アドレスの設定項目（Web Config）

項目	設定値と説明
共通の設定	
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。

項目	設定値と説明
検索名	検索に使われる名称を、Unicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
カテゴリー名	カテゴリー名を選択します。
種別	登録するアドレスの種類を選択します。
常用指定	チェックを付けると登録したアドレスを常用にします。 常用に設定すると、ファクスやスキャンのトップ画面に表示され、アドレス帳を開かなくても宛先を指定できるようになります。
ファクス	
回線選択	ファクス送信するときに使用する回線を選択します。
ファクス番号	〔回線選択〕で〔G3〕を選択したときに、0～9の数字、- * # または半角スペースを使用し、1から64文字以内で入力します。
SIP URI	〔回線選択〕で〔IP-LAN〕（ライセンスキーの登録が必要）か〔IP-NGN〕を選択したときに、ASCII (0x20～0x7E) で表せる1～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<> \ ^ \ " は除きます。
通信モード	宛先に応じたファクス通信速度を選択します。
Fコード(SUB/SEP)	ファクス送信時に付加されるFコードを設定します。0～9の数字、* # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード(SID/PWD)	Fコードのパスワードを設定します。0～9の数字、* # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
メール	
メールアドレス	A～Z a～z 0～9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ~ @ を使用し、1～255文字以内で入力します。
ネットワークフォルダー (SMB)	
保存先	\\ "フォルダーパス" 保存フォルダーのパスを、Unicode (UTF-8) で表せる1～253文字以内 ("\"を除く) で入力します。 ブラウザーによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。
ユーザー名	ネットワークフォルダーのユーザー名を、Unicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f、0x7f) は除きます。
パスワード	ネットワークフォルダーのパスワードを、Unicode (UTF-8) で表せる70文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f、0x7f) は除きます。
FTP	
セキュア接続	FTPサーバーがサポートしているファイル転送プロトコルによって、FTPまたはFTPSを選択します。セキュアな通信をするには〔FTPS〕を選択します。
保存先	FTPサーバーのアドレスを、Unicode (UTF-16) で表せる1～253文字以内 ("/"を除く) で入力します。ただし、制御文字 (0x0000～0x001f、0x007f) は除きます。

項目	設定値と説明
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を、Unicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f、0x7F) は除きます。匿名による接続を認めているサーバーでは、AnonymousやFTPなどを入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするパスワードを、Unicode (UTF-8) で表せる70文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f、0x7F) は除きます。指定しないときは空白にします。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPサーバーの間にファイアウォールがある場合は、[パッシブモード] を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
証明書の検証	有効にするとFTPサーバーの証明書の正当性をチェックします。[セキュア接続] が [FTPS] のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしておいてください。
SharePoint(WebDAV)	
セキュア接続	HTTPサーバーがサポートしているプロトコルに従って、HTTPまたはHTTPSを選択します。セキュアな通信をするには [HTTPS] を選択します。
保存先	HTTPサーバーのアドレスを、Unicode (UTF-16) で表せる1～253文字以内 ("/" を除く) で入力します。ただし、制御文字 (0x0000～0x001f、0x007F) は除きます。
ユーザー名	HTTPサーバーにアクセスするためのユーザー名を、Unicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f、0x7F) は除きます。匿名による接続を認めているサーバーでは、Anonymousなどを入力します。指定しないときは空白にします。
パスワード	HTTPサーバーにアクセスするパスワードを、Unicode (UTF-8) で表せる70文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f、0x7F) は除きます。指定しないときは空白にします。
証明書の検証	有効にするとHTTPサーバーの証明書の正当性をチェックします。[セキュア接続] が [HTTPS] のときに選択できます。 設定の前に相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしておいてください。
プロキシサーバー	HTTPサーバーにアクセスする際にプロキシサーバーを使用するかどうかを選択します。

操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する

1. 操作パネルで以下の順に選択します。
[設定] - [アドレス帳管理]
2. [アドレス帳登録・変更] を選択します。

3. 以下のいずれかを行ってください。

- 新しいアドレスを登録するとき：[宛先登録] を選択して、[宛先を作成] を選択します。
- アドレスを編集するとき：対象のアドレスの > を選択して、[編集] を選択します。
- アドレスを削除するとき：対象アドレスの > を選択し、[削除] を選択して、[はい] を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。

4. 設定したい宛先の [登録種別選択] を選択します。

 登録後は [種別] を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

5. [登録番号] で登録したい番号を選択します。

6. [登録名] と [よみがな(検索名)] を入力します。

7. 各項目を設定します。

8. [OK] を選択して設定を保存します。

関連情報

- ➡ [「操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）」 86ページ](#)
- ➡ [「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」 282ページ](#)
- ➡ [「原稿をスキャンしてメールに添付する」 283ページ](#)

宛先をグループとして登録

種別が [ファクス] や [メール] の宛先の場合、種別ごとに、複数の宛先をまとめて1つのグループとしてアドレス帳に登録できます。

アドレス帳には、宛先とグループの合計で2000 件まで登録できます。

Web Configから宛先をグループに登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[スキャン/コピー] タブ または [ファクス] タブ - [アドレス帳]

4. 登録したい番号を選択して [編集] をクリックします。

5. [種別] で登録したいグループを選択します。

6. 「グループに入れる宛先」の「選択」をクリックします。
登録できるアドレスが一覧で表示されます。
7. グループに登録するアドレスを選択して、「選択」をクリックします。



8. 「登録名」と「検索名」を入力します。
9. グループを常用登録するかを選択します。
参考 アドレスは複数のグループに登録できます。

10. 「適用」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

操作パネルから宛先をグループに登録する

1. 操作パネルで以下の順に選択します。
[設定] - [アドレス帳管理]
2. [アドレス帳登録・変更] を選択します。
3. [宛先登録] - [グループ登録] の順に選択します。
4. 設定したい宛先の「登録種別選択」を選択します。

参考 登録後は「種別」を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

5. [登録番号] で登録したい番号を選択します。
6. [グループ登録名 (必須項目)] と [よみがな(検索名)] を入力します。
7. [グループに入れる宛先 (必須項目)] を選択し、追加したい宛先を選択して、[閉じる] を選択します。
8. [OK] を選択して設定を保存します。

アドレス帳への宛先登録 (増設G3ファクスボード装着時)

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定で [回線選択] を選択できます。

Web Configからアドレス帳に宛先を登録する (増設G3ファクスボード装着時)

アドレス帳に宛先を登録するときに、使用する回線も一緒に登録できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[スキャン/コピー] タブまたは [ファクス] タブ - [アドレス帳]
4. 登録したい番号を選択して [編集] をクリックします。
5. [登録名] と [検索名] を入力します。
6. [種別] で [ファクス] を選択します。
 登録後は [種別] を変更できません。登録後に種別の変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。
7. [回線選択] で回線を選択して [適用] をクリックします。
[回線選択] の初期設定は [G3-自動選択] です。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する (増設G3ファクスボード装着時)

アドレス帳に宛先を登録するときに、使用する回線も一緒に登録できます。

1. 操作パネルで以下の順に選択します。
[設定] - [アドレス帳管理]
2. [アドレス帳登録・変更] を選択します。
3. 以下のいずれかを行ってください。
 - 新しいアドレスを登録するとき：[宛先登録] タブを選択して、[宛先を作成] を選択します。
 - アドレスを編集するとき：対象のアドレスを選択して、[編集] を選択します。
 - アドレスを削除するとき：対象のアドレスを選択し、[削除] を選択して、[はい] を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。
4. 種別を選択する画面で[ファクス] を選択します。
 登録後は種別を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。
5. [ファクス宛先(必須項目)] を選択します。
6. [回線選択] で回線を選択して、[閉じる] を選択します。
7. 宛先を入力します。
8. [OK] を選択して設定を保存します。

アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定でIPファクスを選択できます。

Web Configからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定でIPファクス（[IP-LAN] または [IP-NGN] ）を選択できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （[標準]） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[スキャン/コピー] タブまたは [ファクス] タブ - [アドレス帳]
4. 登録したい番号を選択して [編集] を選択します。

5. 「登録名」と「検索名」を入力します。

6. 「種別」で「ファクス」を選択します。

参考 登録後は「種別」を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

7. 「回線選択」で「IP-LAN」（ライセンスキーの登録が必要）または「IP-NGN」を選択します。

参考 VoIPゲートウェイ経由で送信するときは、「IP-LAN」を選択してください。

8. 「SIP URI」に宛先を入力します。

[「IPファクスの宛先」87ページ](#)

9. 必要に応じその他各項目を設定して、「適用」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する（IPファクス利用時）

アドレス帳に宛先を登録するときに、回線の設定で「IPファクス」を選択できます。

- 操作パネルで以下の順に選択します。
[設定] - [アドレス帳管理]
- [アドレス帳登録・変更]を選択します。
- 以下のいずれかを行ってください。
 - 新しいアドレスを登録するとき：[宛先登録]タブを選択して、[宛先を作成]を選択します。
 - アドレスを編集するとき：対象のアドレスを選択して、[編集]を選択します。

- アドレスを削除するとき：対象のアドレスを選択し、[削除]を選択して、[はい]を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。

4. 種別を選択する画面で[ファクス]を選択します。

参考 登録後は種別を変更できません。登録後に種別を変更したいときは、アドレスを削除して再登録してください。

5. [ファクス宛先(必須項目)]を選択します。

6. [回線選択]で[IPファクス(LAN)]または[IPファクス(NGN)]を選択します。

7. 宛先を入力します。

8. [OK]を選択して設定を保存します。

IPファクスの宛先

IPファクス送信の仕方に応じた書式で宛先を入力してください。

送受信の仕方		宛先入力
イントラネット (LAN) 内	SIPサーバーを使用しない場合	送信先のファクス機に設定された[本体URI] (SIP URI形式)を入力してください。 例1: 1111@host.local 例2: User1@192.168.1.1 例3: User1@[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]
	SIPサーバーを使用する場合	送信先のファクス機に設定された[本体URI] (SIP URI形式)のSIPユーザー名を入力してください。 例1: 1111 例2: User1
NGN		ファクス番号 例: 0312345678
G3ファクス機 (VoIPゲートウェイ経由)		ファクス番号 例: 0312345678

よく使うアドレスの登録 (常用指定)

よく使うアドレスをWeb Configから登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。
[スキャン/コピー] タブ または [ファクス] タブ - [アドレス帳]
4. 登録したい番号を選択して [編集] を選択します。
5. [常用指定] で [する] を選択してください。
Web Configの画面からは、常用登録したアドレスの表示順を変更できません。
6. [適用] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

よく使うアドレスをプリンターの操作パネルから登録する

1. ホーム画面で [設定] をタップします。
2. [アドレス帳管理] - [常用管理] の順にタップします。
3. 登録するアドレスの種類を選択します。
4. [常用編集] をタップします。
5. 頻繁に使う宛先を指定して [OK] をタップします。選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。
6. [閉じる] をタップします。

アドレス帳のエクスポートとインポート

アドレス帳は、Web Configや他のツールを使用してバックアップやインポートができます。

Web Configの場合

- アドレス帳を含めてプリンター設定をエクスポートするとバックアップできます。エクスポートされたファイルはバイナリーファイルのため編集できません。
- アドレス帳を含むプリンター設定をインポートすると、アドレス帳は上書きされます。

Epson Device Adminの場合

- デバイスのプロパティ画面からアドレス帳だけをエクスポートできます。
- パスワードなどセキュリティ項目を含めずにエクスポートするとSYLK形式やcsv形式に保存できるので、編集してからインポートできます。
- 複数台のプリンターに一括で登録できます。アドレス帳だけをバックアップする場合や、プリンターの置き替え時に置き替え前のプリンターからアドレス帳を引き継ぐような場合に役立ちます。
詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Web Configを使ってアドレス帳をエクスポートまたはインポートする

Web Configからアドレス帳をインポートする

本プリンターにインポートできるアドレス帳を持った別のプリンターをお持ちの場合、そのプリンターのバックアップデータをインポートすることで、アドレス帳に登録できます。

参考 本プリンターにインポートできる、別のプリンターのアドレス帳をバックアップする方法については、その別のプリンターのマニュアルをご覧ください。

バックアップデータからインポートする手順は以下です。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート]
4. [ファイル] で、バックアップデータファイルを選択し、暗号化パスワードを入力して、[次へ] をクリックします。
5. [アドレス帳] を選択し、[次へ] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

Web Configを使ってアドレス帳をエクスポートする

プリンターの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。プリンターに登録されているアドレス帳は、Web Configでコンピューターにエクスポートしてバックアップができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート]

4. [アドレス帳] のどれか1つにチェックを付けます。

例えば、[スキャン/コピー] カテゴリーの [アドレス帳] を選択すると、[ファクス] カテゴリーの [アドレス帳] も選択されます。

5. エクスポートするファイルを暗号化するための、任意のパスワードを入力します。

ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

6. [エクスポート] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

Epson Device Adminを使ってアドレス帳をエクスポートまたはインポートする

Epson Device Adminを使ってアドレス帳をエクスポートする

アドレス帳の情報をファイルに保存します。

SYLK形式やcsv形式で保存したファイルは表計算ソフトやテキストエディターなどで編集できます。情報の削除や追加などをしてから一括で登録できます。

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含む情報は、パスワードを設定したバイナリー形式で保存できます。このファイルは編集できません。セキュリティ項目を含む情報のバックアップとして活用できます。

1. Epson Device Adminを起動します。

2. サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。

4. リボンメニューの [ホーム] タブから [デバイスの設定] をクリックします。

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して [OK] をクリックします。

5. [共通] - [アドレス帳] の順にクリックします。

6. [エクスポート] - [エクスポートする項目] からエクスポート形式を選択します。

- 全ての項目

暗号化したバイナリーファイルをエクスポートします。パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含めたい場合に選択します。このファイルは編集できません。こちらを選択した場合はパスワードの設定が必要です。[設定] をクリックして、パスワードをASCII文字（8～63文字）で設定します。このパスワードはバイナリーファイルのインポート時に入力が必要です。

- セキュリティー情報を除く項目
SYLK形式またはcsv形式のファイルをエクスポートします。エクスポートした情報を編集したい場合に選択します。

7. [エクスポート] をクリックします。
8. ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの種類を選択して[保存] をクリックします。
エクスポート完了メッセージが表示されます。
9. [OK] をクリックします。
指定した場所にファイルが保存されていることを確認してください。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

Epson Device Adminを使ってアドレス帳をインポートする

アドレス帳の情報をファイルからインポートします。

SYLK形式やcsv形式で保存したファイルや、セキュリティー項目を含む情報をバックアップしたバイナリーファイルをインポートできます。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで[デバイス] を選択します。
3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
4. リボンメニューの[ホーム] タブから[デバイスの設定] をクリックします。
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して[OK] をクリックします。
5. [共通] - [アドレス帳] をクリックします。
6. [インポート] の[参照] をクリックします。
7. インポートしたい番号を選択して[開く] をクリックします。
バイナリーファイルを選択した場合、[パスワード] にファイルをエクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。
8. [インポート] をクリックします。
確認画面が表示されます。
9. [OK] をクリックします。
読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。
 - 読み込んだ情報を編集する
読み込んだ情報を個別に編集したい場合にクリックします。

- 更にファイルを読み込む
複数のファイルをインポートしたい場合にクリックします。

10. [インポート] をクリックし、インポート完了画面で [OK] をクリックします。

デバイスのプロパティ画面に戻ります。

11. [送信] をクリックします。

12. 確認メッセージで [OK] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

13. 送信完了画面で [OK] をクリックします。

プリンターの情報が更新されます。

Web Configや操作パネルからアドレス帳を開き、更新されていることを確認してください。

関連情報

➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア \(Epson Device Admin\) 」 478ページ](#)

ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定

インターネットを利用したEpson Connect (エプソンコネクト) サービスを使うと、受信ファクスをクラウドアカウントへ転送できます。

このサービスの利用には、**Epson Connect**のセットアップ (ユーザー登録、プリンター登録、クラウド転送先の登録) が必要です。

Epson Connectのセットアップ方法やクラウドアカウントの登録など、詳しくはEpson Connectのヘルプをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/user>

Web Configからクラウド宛先を登録する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ファクス] タブ - [クラウド宛先リスト]

4. 登録したい番号を選択して [編集] をクリックします。

5. クラウド転送リストに登録したい宛先を選択します。

クラウド宛先リスト

宛先:

☒ 名前1
☐ 名前2
☐ 名前3
☐ 名前4
☐ 名前5
☐ 名前6
☐ 名前7
☐ 名前8
☐ 名前9
☐ 名前10

選択

中止

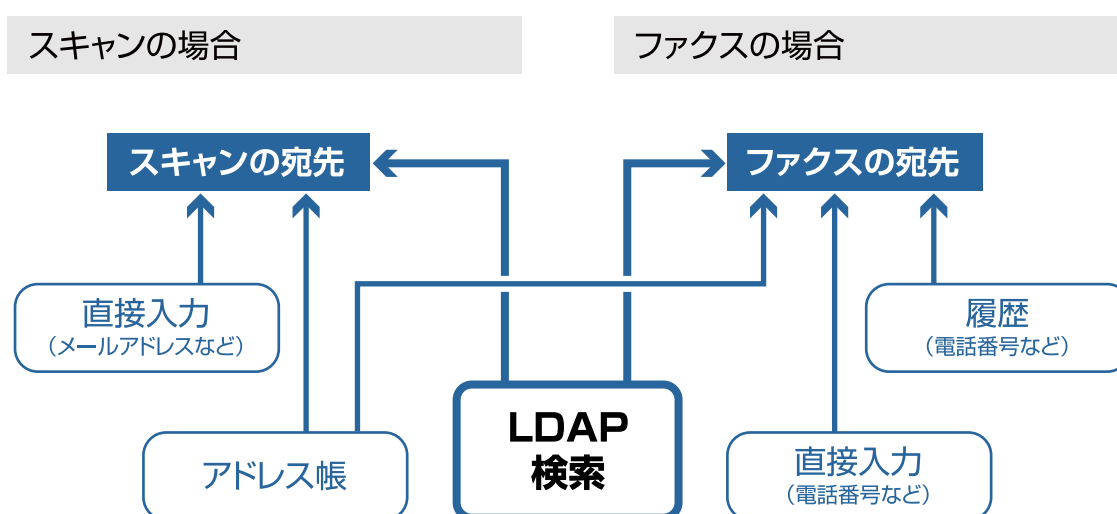
6. 「選択」をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ](#)

LDAPサーバーのユーザー情報を宛先に使用するための設定

LDAPサーバーと連携しておくと、LDAPサーバーに登録されているアドレス情報をメールやファクスの宛先に直接利用できます。



利用するLDAPサーバーがある回線を選択する（ネットワーク増設時）

標準、増設のいずれかのネットワーク回線にあるLDAPサーバーが利用できます。

利用するLDAPサーバーがあるネットワーク回線を選択するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「LDAPサーバー」の順に選択します。
3. LDAPサーバーがあるネットワーク回線を「標準」または「増設」から選択します。

LDAPサーバーを設定する

LDAPサーバーの情報を使用するには、LDAPサーバーをプリンターに登録します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
「設定」 - 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - （「標準」または「増設」） - 「ネットワーク情報」 - 「有線・無線接続状態」
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
「ネットワーク」タブ - 「LDAPサーバー」 - 「基本」
4. 各項目を設定します。
5. 「設定」を選択します。
設定結果が表示されます。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

LDAPサーバー設定項目

項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	「使用する」または「使用しない」を選択します。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
LDAPサーバーポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	プリンターがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。

項目	設定値と説明
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。[有効] にすることをお勧めします。 設定するには、プリンターに[相手サーバー検証用CA証明書] のインポートが必要です。
検索タイムアウト (秒)	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間 (秒) を5～300までの半角数字で入力します。
認証方式	認証方式を選択します。 [Kerberos認証] を選択する場合は、[Kerberos設定] を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 • プリンターとDNSサーバーが通信できること • プリンターとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー (LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー) の時刻の同期が取れていること • サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	[認証方式] で [Kerberos認証] を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode (UTF-8) で表せる128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字 (0x00～0x1F, 0x7F) は使用できません。この項目は [認証方式] を [Anonymous認証] にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode (UTF-8) で表せる128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字 (0x00～0x1F, 0x7F) は使用できません。この項目は [認証方式] を [Anonymous認証] にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

Kerberos設定

[ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [基本] - [認証方式] で [Kerberos認証] を選択したときは、[ネットワーク] タブ - [Kerberos設定] から以下のKerberos設定をしてください。Kerberos設定は10個まで登録できます。

項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII (0x20～0x7E)で表せる255文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式 (255文字以内) で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

LDAPサーバーの検索属性を設定する

検索属性を設定すると、LDAPサーバーに登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを利用できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔ネットワーク〕タブ - 〔LDAPサーバー〕 - 〔検索設定〕

4. 各項目を設定します。

5. 〔設定〕をクリックして、設定結果を表示します。

設定結果が表示されます。

関連情報

➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)

➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

LDAPサーバー検索設定項目

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode (UTF-8) で表せる0～128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode (UTF-8) で表せる1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。Unicode (UTF-8) で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、sn
ファクス番号属性	ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber

項目	設定値と説明
メールアドレス属性	メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail
任意情報属性1～任意情報属性4	LDAPサーバーにエントリしている他の任意属性を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou

LDAPサーバーとの接続を確認する

〔LDAPサーバー〕 - 〔検索設定〕 で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔ネットワーク〕 タブ - 〔LDAPサーバー〕 - 〔接続確認〕

4. 〔確認開始〕を選択します。

LDAPサーバーとの接続テストが開始されます。テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)

➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

LDAPサーバー接続確認結果

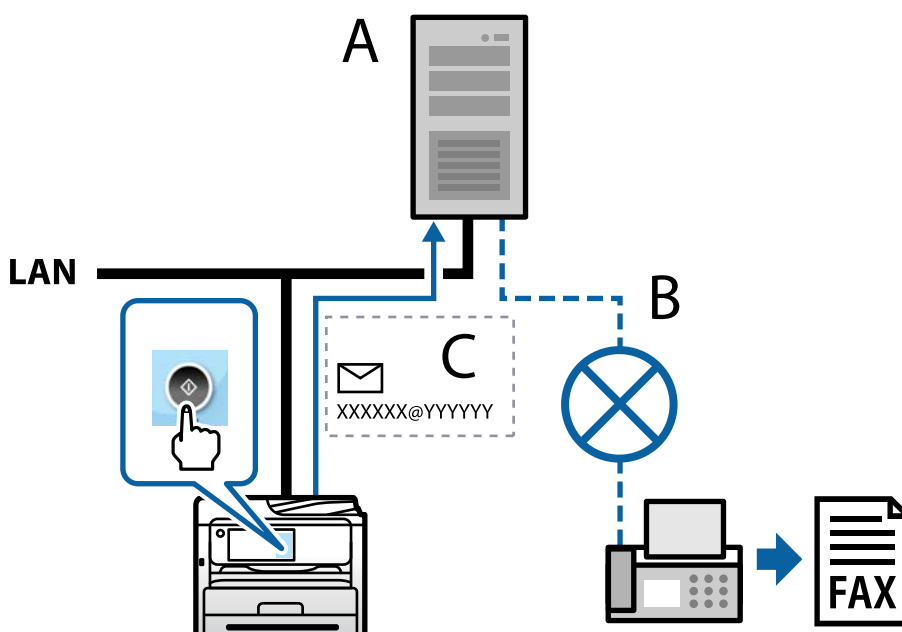
メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。

メッセージ	説明
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 - LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている - 通信タイムアウトが発生した 〔LDAPサーバーを使用する〕が〔使用しない〕設定になっている 〔認証方式〕に〔Kerberos認証〕を選択した場合に、Kerberos設定の〔レルム (ドメイン)〕、〔KDCアドレス〕、〔ポート番号(Kerberos)〕の設定が間違っている
接続に失敗しました。 製品、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。	プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。
サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 〔ユーザー名〕または〔パスワード〕が間違っている 〔認証方式〕に〔Kerberos認証〕が選択されているとき、時刻設定されていない
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

ファクスサーバーを利用したファクス送信

ネットワーク内のファクスサーバーを経由してファクス送信する機能です。ファクスサーバー経由で送信する設定をしておくと、通常のファクス送信操作によって、データがメールに添付されファクスサーバーに送信されます。ファクスサーバーは、メールに含まれるファクス番号の情報を使用して相手のファクス機にデータを送信します。ファクスサーバーを利用して送信する機能が有効なときは、プリンターのLINEポートからのファクス送信はできません。

参考 本機能を使用したい場合、導入前に保守サービス実施店までご相談ください。また、ファクスサーバーの詳細は、ファクスサーバーを提供している、インターネットファクスなどの事業者にお問い合わせください。



A：ファクスサーバー

B：公衆電話網

C：ファクスデータが添付されたメール

以下が可能なファクスサーバーを利用すると、本機能を使用できます。

- 「XXXXXX@YYYYYY」形式のメールでファクスデータを受け取り、ファクス番号XXXXXX宛てにファクス送信できる
XXXXXX：035555XXXXなどのファクス番号
YYYYYY：ファクスサーバーのドメイン名。プリンターによって付加されます。
- メールに添付されたファイル形式（マルチページ TIFF）のファクスデータを使用できる

印刷、スキャン、コピー、ファクスの設定

印刷の初期設定

用紙サイズや印刷エラーの表示など、プリンターの印刷に関する設定をします。

印刷できるようにする

ネットワーク接続でプリンターから印刷できるようにします。

ネットワークでプリンターを使用するには、プリンターのネットワーク接続以外に、コンピューターにネットワーク用のポート設定が必要です。

プリンター接続のタイプ

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。

- ピアツーピア型接続（直接印刷）
- サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

ピアツーピア型接続設定

プリンターとネットワーク上のコンピューターが直接通信する接続です。ネットワーク対応プリンターのみ接続できます。

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。

EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンター設定を含んだドライバーのパッケージを配布できます。

特徴：

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

サーバークライアント型接続設定

サーバーになるコンピュータがプリンターを共有する接続です。プリンターにサーバー経由以外の通信を遮断すると、セキュリティを強化できます。

USBで接続するとネットワーク機能がないプリンターも共有できます。

接続方法：

プリンターをLANスイッチやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、クライアントコンピュータのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。

Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピュータにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

ピアツーピア型接続での印刷設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターとクライアントコンピュータは一对一の関係になります。

プリンターを使用するそれぞれのコンピュータにプリンタードライバーをインストールします。

サーバークライアント型接続での印刷設定

サーバークライアント型で接続したプリンターから印刷できるようにします。

サーバークライアント型の接続では、先にプリントサーバーのコンピュータから印刷できるように設定してから、プリンターをネットワークで共有してプリントサーバー経由で印刷できるようにします。

USBケーブルでサーバーに接続した場合も同様に、コンピュータからプリンターに印刷できるように設定してからプリンターをネットワークで共有します。

ネットワークポートを設定する

一般的なStandard TCP/IPを使用してプリントサーバーのコンピュータにネットワーク印刷用のプリントキューを作成し、ネットワークポートを設定します。

ここではWindows Server 2012 R2を代表例として説明します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]） - [デバイスとプリンター] の順に選択します。

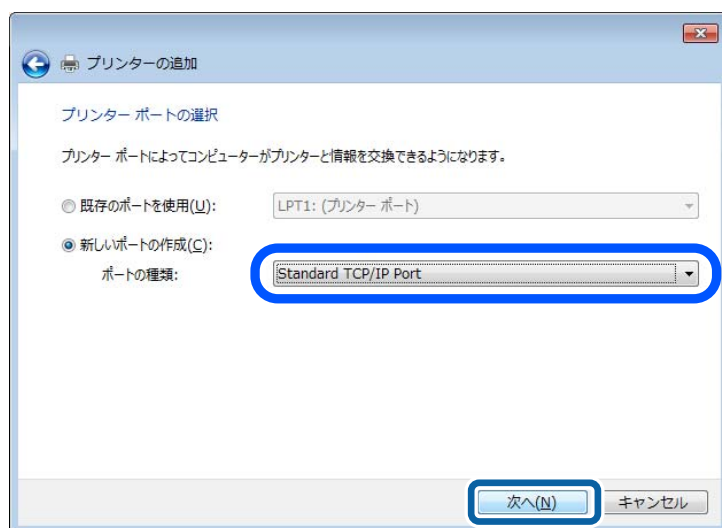
2. プリンターを追加します。

[プリンターの追加] をクリックして、表示される画面で [探しているプリンターはこの一覧にはありません] を選択します。

3. ローカルプリンターを追加します。

[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択して、[次へ] をクリックします。

4. [新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。



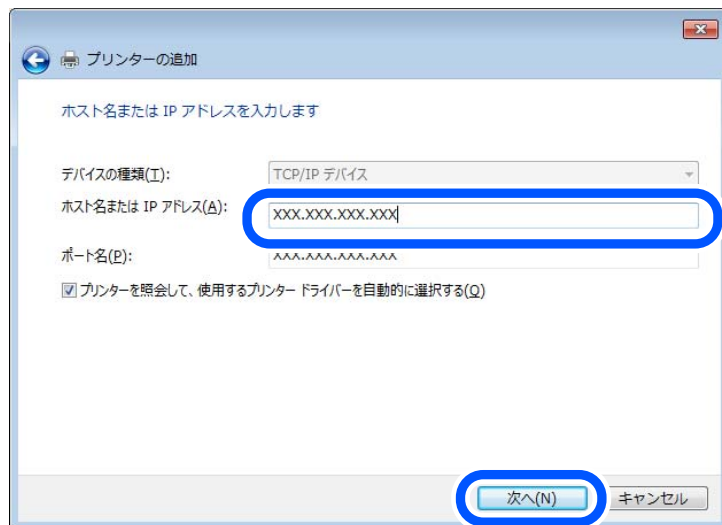
5. [ホスト名またはIP アドレス]（または [プリンター名またはIP アドレス]）にプリンター名、またはプリンターのIP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。

記入例：

- プリンター名：EPSONA1A2B3C
- IPアドレス：192.0.2.111

[ポート名] は変更しないでください。

〔ユーザーアカウント制御〕画面が表示されたときは〔続行〕をクリックします。



参考 名前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCPによってプリンターのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。

- プリンタードライバーがインストールされている場合
〔製造元〕 - 〔プリンター〕を選択します。〔次へ〕をクリックします。

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

〔デスクトップ〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ハードウェアとサウンド〕（または〔ハードウェア〕） - 〔デバイスとプリンター〕の順に選択します。

2. プリンターのプロパティ画面を開きます。

対象プリンターのアイコンを右クリックして、〔プリンターのプロパティ〕をクリックします。

3. 〔ポート〕タブをクリックし、〔標準のTCP/IPポート〕を選択して、〔ポートの構成〕をクリックします。

4. ポートの構成を確認します。

- RAWの場合
〔プロトコル〕で〔Raw〕が選択されていることを確認して、〔OK〕をクリックします。

- LPRの場合

[プロトコル] で [LPR] が選択されていることを確認します。[LPR 設定] の [キュー名] に「PASSTHRU」と入力します。[LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックします。

プリンターを共有する (Windowsのみ)

サーバークライアント型接続 (Windowsサーバーによるプリンター共有) でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プrintサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
2. 共有したいプリンターアイコン (プリントキュー) を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。
3. [このプリンターを共有する] を選択して、[共有名] を入力します。

Windows Server 2012をお使いの場合は、[共有オプションの変更] をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする (Windowsのみ)

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プrintサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
2. 共有したいプリンターアイコン (プリントキュー) を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。
3. [追加ドライバー] をクリックします。

Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。

4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン (プロセッサタイプ) を選択して、OKをクリックします。
5. プリンタードライバーの情報ファイル (*.inf) を指定してドライバーをインストールします。

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、[デバイスとプリンター] からプリンターを追加する手順を案内してください。

以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プrintサーバーのコンピューター名を [エクスプローラー] で開きます。
2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

給紙装置の設定をする

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[印刷] タブ- [給紙装置設定]

4. 各項目を設定します。

ご使用の環境によっては表示項目が異なります。

- 給紙装置名称
[手差しトレイ]、[用紙カセット1] など、設定対象の給紙装置名が表示されます。
- [用紙サイズ]
プルダウンメニューから設定する用紙のサイズを選択します。
- [単位]
ユーザー定義サイズの単位を選択します。[用紙サイズ] が [ユーザー定義サイズ] の場合に選択できます。
- [横の長さ]
ユーザー定義サイズの横の長さを設定します。
入力できる範囲は給紙装置に依存し、[横の長さ] の横に示されています。
[単位] で [mm] を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
[単位] で [inch] を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- [縦の長さ]
ユーザー定義サイズの縦の長さを設定します。
入力できる範囲は給紙装置に依存し、[縦の長さ] の横に示されています。
[単位] で [mm] を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
[単位] で [inch] を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- [用紙種類]
プルダウンメニューから設定する用紙の種類を選択します。

5. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

インターフェイスの設定をする

印刷ジョブのタイムアウト時間や各インターフェイスに割り当てる印刷言語を設定します。
この項目はPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順番で操作してください。

[印刷] タブ - [インターフェイス設定]

4. 各項目を設定します。

- [タイムアウト設定]
USB経由の印刷ジョブのタイムアウト時間を設定します。
1秒単位で5秒～300秒で設定できます。
タイムアウトしたくない場合は0を入力します。
- [印刷言語]
USBインターフェイス、ネットワークインターフェイスそれぞれの印刷言語を選択します。
[自動] を選択すると送られた印刷ジョブから判断されます。

5. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

エラーの設定をする

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[印刷] タブ - [エラー設定]

4. 各項目を設定します。

- 用紙サイズエラー
指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 用紙種類エラー
指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。

- 自動エラー解除
エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

5. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

外部機器（PC）の設定をする

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。
お使いのプリンターの対応印刷言語によって表示されない項目があります。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[印刷] タブ- [外部機器(PC)印刷設定]

4. 各項目を設定します。

5. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

基本設定

項目	説明
上印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
左印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
裏面上印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
裏面左印刷位置調整 (-30.0-30.0mm)	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
紙幅チェック印刷	印刷時に紙幅のチェックをするか設定します。
白紙節約モード	印刷データに白紙ページがあった場合、白紙を出さないように設定します。

PDL印刷設定

PostScript印刷時の設定ができます。

この項目はPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

共通設定

項目	説明
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
用紙種類	用紙の種類を選択します。
用紙方向	印刷する用紙の方向を選択します。
印刷品質	印刷品質を選択します。
インクセーブモード	インクの消費量を抑えた印刷をするか設定します。
印刷順序	印刷する順序を選択します。
コピー枚数設定(1-999)	印刷部数を設定します。
とじ位置	両面印刷時のとじ位置を選択します。
自動排紙設定	データ受信のタイムアウトが発生した場合、自動で排紙するか設定します。
両面印刷	両面で印刷するか設定します。

PS設定

項目	説明
PSエラーシート	PS3印刷のエラー時にエラーシートを印刷するか設定します。
Coloration	カラー印刷かモノクロ印刷かを設定します。
Binary	バイナリーデータを受け付けるかどうか設定します。
PDF印刷 用紙サイズ	PDF印刷時の用紙サイズを設定します。

ユニバーサル プリントを使えるようにする

ユニバーサル プリントを使うための設定をします。この機能を使用するためには、Microsoft 365サービスとAzure Active Directoryサービスの利用が必要です。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワーク] タブ- [ユニバーサル プリント]

4. [登録] をクリックします。

5. 表示されたメッセージを読んで、リンクをクリックします。

6. 画面の指示に従って、プリンターを登録します。

登録後、Web Config画面の登録状態が「登録済」になっていれば設定完了です。

参考 ユニバーサル プrintの使用法などAzure Active Directoryの操作については、Microsoftのウェブサイトを参照してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

AirPrintを使えるようにする

印刷やスキャンをAirPrintで行うための設定をします。

Web Configで [ネットワーク] タブ- [AirPrint設定] を選択します。

項目	説明
Bonjourサービス名	Bonjourのサービス名をASCII (0x20-0x7E)で表せる41文字以内で入力します。
ロケーション	プリンターの設定場所など任意のロケーション情報を、UTF-8で表せる127バイト以内の文字列で入力します。
位置情報 緯度、経度 (WGS84)	プリンターの位置情報を入力します。入力は任意です。 WGS-84測地系の値を使用し、緯度と経度を「.」で区切ります。 緯度は-90～+90、経度は-180～+180の範囲で入力できます。また、小数点以下は6位まで入力でき、+は省略できます。
最優先プロトコル	優先するプロトコルを、IPPとPort9100から選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。使用する場合、セグメントを越えた検索ができるように、プリンターがDNSサーバーに登録されている必要があります。
iBeacon対応機器からの探索	iBeacon対応機器からの探索の有効、無効を設定します。有効にするとiBeacon対応機器からの探索ができるようになります。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードの設定を必須にするかどうか設定します。[はい] を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。
AirPrintを有効にする	IPP、Bonjour、AirPrint (Scan Service)が有効になり、IPPはセキュア通信のみになります。

スキャン/コピーの初期設定

スキャンの前に必要な準備

操作パネルからのスキャンの事前準備

スキャン to ネットワークフォルダー 機能の準備

ここではネットワーク フォルダー(SMB)の設定を例に説明しています。

必要な作業	作業場所	説明
1. プリンターをネットワークに接続する (セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要)	プリンターとコンピュータ	プリンターをネットワークに接続します。 「プリンターをネットワークに接続する」 43ページ
2. ネットワークフォルダーを作成する	コンピュータ	スキャンした画像を保存するためのフォルダーを作成します。 ネットワーク上のコンピュータにフォルダーを作成して、共有できるように設定します。 「ネットワークフォルダーを作成する」 66ページ
3. フォルダーを [アドレス帳] に登録する	コンピュータ (Web Config) またはプリンターの操作パネル	作成したネットワークフォルダーを、プリンターの [アドレス帳] に登録します。スキャン実行時に宛先のフォルダーパスを入力しなくても、アドレス帳から選択できます。 「アドレス帳の登録」 77ページ
4. 操作パネルからスキャンを実行する	プリンターの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」 282ページ

スキャン to メール 機能の準備

スキャンした画像を指定したメールアドレスに送信するには、メールサーバーを設定して送信する方法と、クラウドサービスEpson Connectを使用して送信する方法の、2つの方法があります。

[「メールで送るには」 112ページ](#)

以下では、メールサーバーを設定してスキャンした画像をメールで送信する流れを説明します。

必要な作業	作業場所	説明
1. プリンターをネットワークに接続する (セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要)	プリンターとコンピュータ	プリンターをネットワークに接続します。 「プリンターをネットワークに接続する」 43ページ
2. メールサーバーの情報をプリンターに登録する	コンピュータ (Web Config) またはプリンターの操作パネル	スキャン to メール 機能では、スキャンした画像をメールサーバー経由で送信します。メールサーバーの情報をプリンターに登録します。 「メールサーバーに登録する」 62ページ

必要な作業	作業場所	説明
3. メールサーバーとの接続を確認する	コンピューター (Web Config) またはプリンターの 操作パネル	メールサーバーの接続テストを行います。 「メールサーバーとの接続を確認する」 64ページ
4. 送信先のメールアドレスを [アドレス帳] に登録する	コンピューター (Web Config) またはプリンターの 操作パネル	送信先のメールアドレスを、プリンターの [アドレス帳] に登録します。スキャン実行時に宛先のメールアドレスを入力しなくても、アドレス帳から選択できます。 「アドレス帳の登録」 77ページ
5. 操作パネルからスキャンを実行する	プリンターの操作 パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「原稿をスキャンしてメールに添付する」 283ページ

スキャン to コンピューター 機能の準備

スキャンした画像を、接続しているコンピューターに保存する流れを説明します。

必要な作業	作業場所	説明
1. ソフトウェアをコンピューターにインストールして、プリンターとコンピューターを接続する (セットアップ時にソフトウェアのインストールと接続をした場合は不要)	プリンターとコンピューター	以下の作業を行います。 - 必要なソフトウェアをコンピューターにインストールする ・ Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS) ・ Epson Scan 2 - プリンターとコンピューターを接続する インストーラーを使ってプリンターを設定できます。 「コンピューターとの接続設定をする」 368ページ
2. Document Capture Pro/Document Captureでジョブを作成して、操作パネルに割り当てる	コンピューター	スキャンした画像をPDFにして保存するジョブが初期設定されています。追加のジョブを登録したいときは、以下を参照してください。 Windows : 以下のURLから最新のDocument Capture Proのマニュアルをご覧ください。 https://support.epson.net/dcp/ Mac OS : 詳しくはDocument Captureのヘルプをご覧ください。
3. 操作パネルからスキャンを実行する	プリンターの操作 パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「原稿をスキャンしてコンピューターに保存する」 285ページ

スキャン to 外部メモリー 機能の準備

スキャンした画像を、プリンターに接続した外部メモリーに保存する流れを説明します。

必要な作業	作業場所	説明
1. プリンターに外部メモリーをセットする	プリンター	プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。 「USB接続機器をセットする」 199ページ
2. 操作パネルからスキャンを実行する	プリンターの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「原稿をスキャンして外部メモリーに保存する」 286ページ

スキャン to クラウド 機能の準備

エプソンのクラウドサービス『Epson Connect』を使用して、スキャンした画像を登録した宛先に転送します。

- 宛先にメールアドレスを登録すると、スキャンした画像を簡単にメールで送信できます。
- 宛先に他社のオンラインストレージサービスを登録すると、スキャンした画像を各サービスに転送できます。アカウントの登録方法など、詳しくは各サービスのWebサイトをご覧ください。利用できるサービスは予告なく変更されることがあります。

参考 Epson Connectのサービス概要を詳しく知りたいときは、以下のポータルサイトをご覧ください。
<https://www.epsonconnect.com/>

必要な作業	作業場所	説明
1. プリンターをネットワークに接続する (セットアップ時にネットワークに接続した場合は不要)	プリンターとコンピューター	プリンターをネットワークに接続します。 「プリンターをネットワークに接続する」 43ページ
2. 製品をEpson Connectに登録する	プリンターの操作パネルおよびコンピューター (Epson ConnectのWebサイト)	製品をEpson Connectに登録し、サービスを利用できるようにします。 プリンターの操作パネルで、[設定] - [本体設定] - [Webサービス設定] の順に選択し、画面の指示に従って登録してください。 参考 認証コードの入力を要求されたときは、以下のURLにアクセスしてコードを入力してください。 https://www.epsonconnect.com/activation
3. Epson Connectのユーザーページで宛先リストに登録する	コンピューター (Epson ConnectのWebサイト)	転送したい宛先を、Epson Connectのユーザーページで宛先リストに登録します。 以下のURLからユーザーページにアクセスし、[スキャン to クラウド 機能 (スキャンしてクラウドへ)] - [スキャン宛先リスト] - [追加] *をクリックして、画面の指示に従って宛先を追加してください。 https://www.epsonconnect.com/user 参考 メールアドレスを登録するときは、宛先の種別で [メールアドレス] を選択してください。
4. 操作パネルからスキャンを実行する	プリンターの操作パネル	操作パネルからスキャンを実行します。 「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」 286ページ

*Epson Connectサービスの内容は、予告なく変更されることがあります。

メールで送るには

コンピューターを使用せずに、プリンターのタッチパネルの操作のみでスキャンした画像をメールの添付ファイルとして送信できます。以下の2つの方法があります。

方法	エプソンのサービスで手軽に送信	メールサーバーを設定して送信
こんな方に	簡単な設定で手軽にメール送信をしたい	- 一度に複数宛先にメールを送付したい - 送信元のメールアドレスを選択したい
設定の案内	「スキャン to クラウド 機能の準備」111ページ 1. エプソンのサービス『Epson Connect』*にプリンターを登録 2. 宛先リストにメールアドレスを追加	「スキャン to メール 機能の準備」109ページ 1. メールサーバーの情報を確認 2. サーバーアドレスなどのメールサーバー情報をプリンターに登録 3. アドレス帳にメールアドレスを登録（任意）

* Epson Connect は、インターネットを使ってユーザーとプリンターを結ぶサービスです。プリンター情報とユーザー情報を登録するだけで、スキャンしたデータを指定のメールアドレスや他社クラウドサービスに送信できます。Epson Connectのサービス内容は、予告なく変更されることがあります。

使える機能の違い

方法	エプソンのサービスで手軽に送信	メールサーバーを設定して送信
送信元	Epson Connectの送信専用アドレス（変更不可）	任意のアドレスを設定
宛先の設定	事前に登録（Epson Connectの宛先リスト）	- 事前に登録（プリンター本体のアドレス帳） - 事前登録なしで、スキャン時に宛先を直接入力
宛先の複数選択	-	設定可能 アドレス帳で宛先をグループ登録することもできます。
添付ファイル名	-	設定可能（操作パネルで編集）
メールの件名	設定可能（宛先ごとに編集）	設定可能（操作パネルで編集）
メールの本文	設定可能（宛先ごとに編集）	-
最大の添付ファイルサイズ	-	設定可能（操作パネルで編集）

コンピューターからスキャンするには

コンピューターからネットワークを経由したスキャンをするには、ソフトウェアをインストールして、ネットワークスキャンサービスの有効を確認してください。

インストールするソフトウェア

- EPSON Scan 2
スキャナードライバーです。コンピュータからスキャンする場合、クライアントコンピュータそれぞれにインストールします。Document Capture Pro/Document Captureがコンピュータにインストールされている場合、本体のボタンに割り当てられたジョブを実行できます。
EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンタードライバーも一緒にパッケージして配布できます。
- Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS)
クライアントコンピュータへインストールします。ネットワーク上のDocument Capture Pro/Document Captureがインストールしてあるコンピュータに登録されたジョブを操作パネルから呼び出して実行できます。コンピュータからネットワークでスキャンもできます。スキャンするにはEpson Scan 2が必要です。

ネットワークスキャンサービスの有効を確認する

クライアントコンピュータからネットワークでスキャンをするにはネットワークスキャンサービスを設定します。工場出荷時には有効に設定されています。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピュータから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[スキャン/コピー] タブ- [ネットワークスキャン]

4. [Epson Scan 2] の [スキャン機能を有効にする] にチェックが入っていることを確認します。

入っている場合はここで終了です。Web Configを閉じます。

入っていない場合はチェックを入れ、次の手順に進みます。

5. [次へ] をクリックします。

6. [設定] をクリックします。

ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）

ファクスを使う前に

ファクスを使うには以下の作業をします。

- プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）の接続
「[プリンターを電話回線に接続する](#)」114ページ
- [ファクス設定ウィザード] で、必須の基本設定
「[プリンターでファクス送受信できるようにする](#)」118ページ

必要に応じて以下の設定をしてください。

- アドレス帳の登録
「[アドレス帳の登録](#)」77ページ
- ファクスの保存先や転送先、その設定で必要なネットワークやメールサーバーの設定
「[メールサーバーを登録する](#)」62ページ
「[ネットワークフォルダーを作成する](#)」66ページ
「[ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定](#)」92ページ
「[用途に応じてファクス機能の設定をする](#)」121ページ
「[ファクス設定（ファクス対応機のみ）](#)」495ページ
- [ユーザー設定] メニューの初期設定（[ファクス]）
「[ユーザー設定](#)」525ページ
- レポートを印刷する設定（[レポート設定]）
「[レポート設定](#)」512ページ
- ファクス設定時のトラブル解決
「[ファクスのトラブル対処](#)」139ページ

プリンターを電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。

以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- 光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- 通話中着信サービス「キャッチホン」など各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプターなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

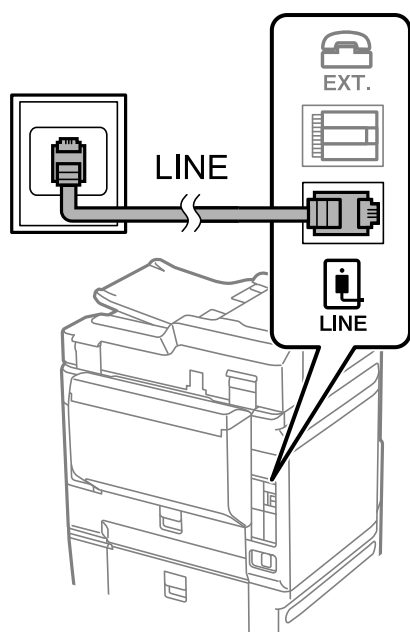
RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考 プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

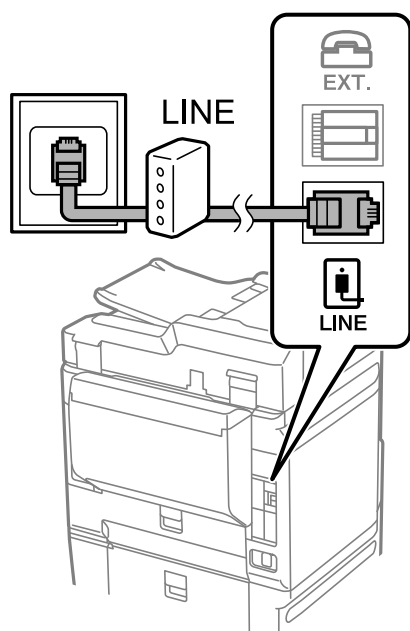
一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

電話回線やPBXポートと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



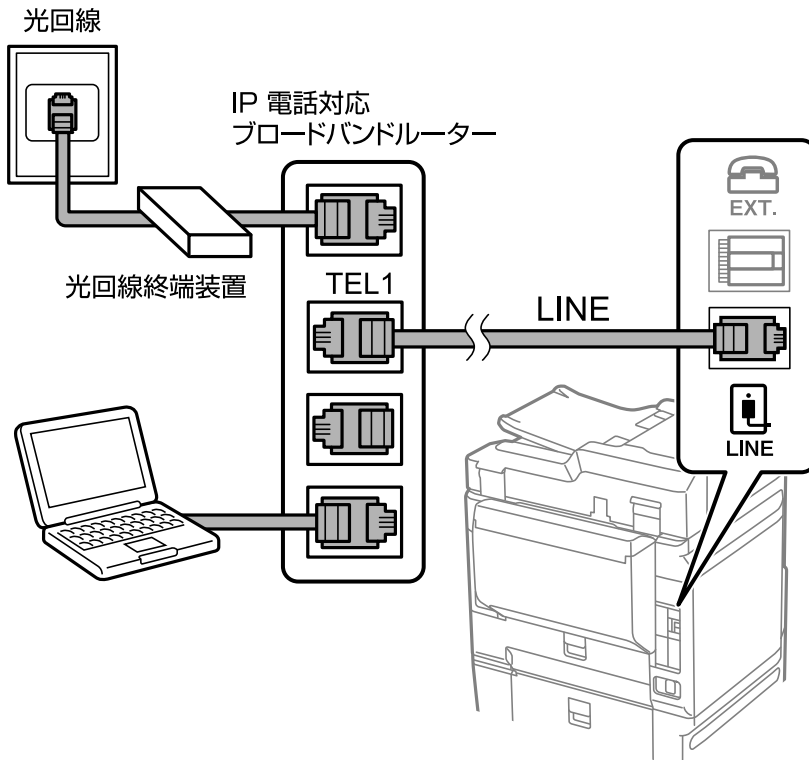
ISDNに接続する

ISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者にお問い合わせください。



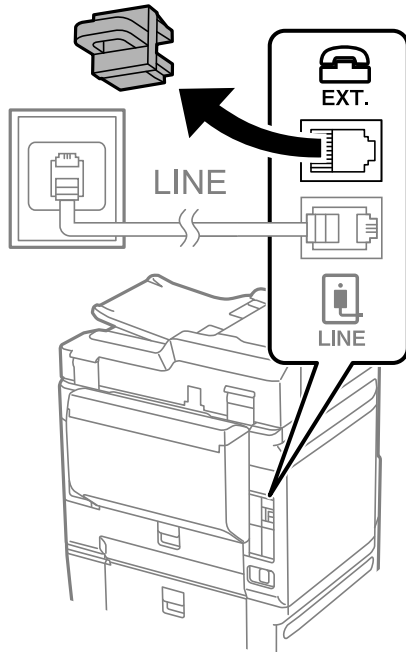
参考 2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

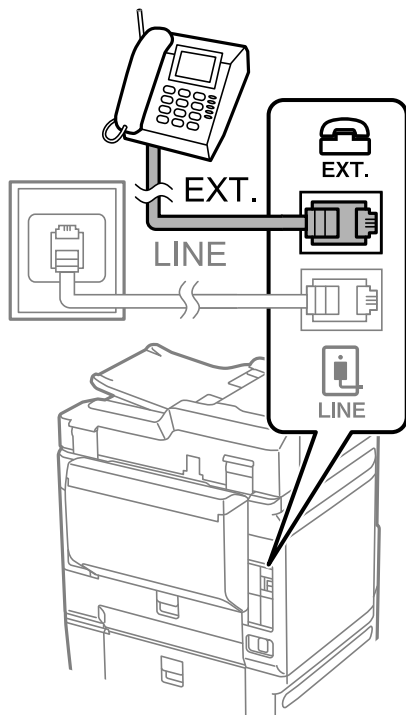
1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

- 参考**
- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。電話機の機種によってはファクス機能を完全に無効にできないため、外付け電話機として使用できない場合があります。
 - 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの【呼び出し回数】を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
 - ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、プリンターの【ナンバー・ディスプレイ対応】設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。

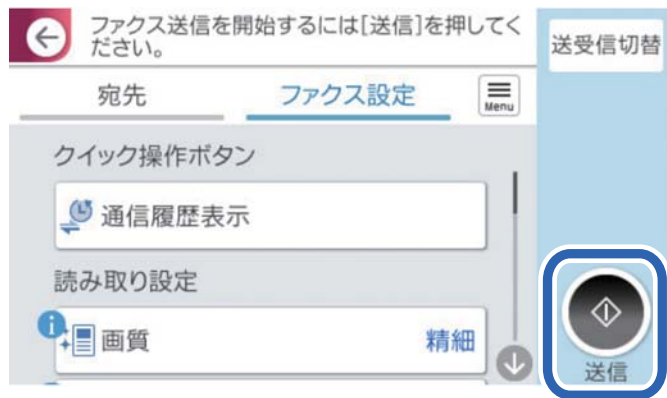


1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. プリンターの操作パネルで「ファクス」を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように送信開始（または受信開始）を促すメッセージが表示されれば、接続が成功しています。



関連情報

- ➔ [「プリンターでファクス送受信できるようにする」 118ページ](#)
- ➔ [「留守番機能付き電話機を使えるようにする」 128ページ](#)
- ➔ [「電話機の操作だけで受信できるようにする」 128ページ](#)
- ➔ [「受信モード：」 497ページ](#)

プリンターでファクス送受信できるようにする

【ファクス設定ウィザード】で基本設定が完了し、ファクス送受信が可能になります。ウィザードは、初回電源投入時に自動で表示されます。手動でプリンターの操作パネルからも表示できます。初回電源投入時にスキップした場合や設置場所を変更した場合は、手動で設定してください。

- ウィザードに従って設定する項目は以下です。
 - [発信元設定]（[発信元番号] と [発信元名]）
 - [受信モード]（[自動]、[ファクス/電話自動切替] または [手動]）
- 接続環境に応じて自動的に設定される項目は以下です。
 - [ダイヤル種別]（[プッシュ]、[ダイヤル(10PPS)] など）
[接続回線]が[構内交換機(PBX)]のとき、[ダイヤル種別]はファクス設定ウィザードで自動的に設定できないことがあります。[ダイヤル種別]が自動で設定されなかったときは、手動で設定してください。
- その他の基本設定はウィザードでは変更されません。

関連情報

- ➔ [「基本設定」 496ページ](#)

ファクス設定ウィザードを使ってファクス送受信できるようにする

1. プリンターの操作パネルで【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【ファクス設定ウィザード】の順に選択します。

3. 画面の指示に従って、発信元の名前（自局の名前や会社名など）や番号を入力します。

参考 発信元の名前と番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

4. 受信モードを設定します。

- プリンターに電話機を接続しない場合
[いいえ] を選択します。
[受信モード] は [自動] に設定されます。
- プリンターに電話機を接続する場合
[はい] を選択して、ファクスを自動受信するかどうかを選択します。

参考 [ファクスを自動受信する] で [はい] を選択すると、[受信モード] は [ファクス/電話自動切替] に設定されます。

5. 画面表示された設定結果を確認します。確認したら次の画面に進みます。

修正するときは  を選択してください。

6. [診断開始] を選択してファクスの接続チェックをします。チェックが完了したら [印刷開始] を選択して結果レポートを印刷します。

- 参考**
- レポートにエラーが表示されていたら、レポートの指示に従って対処してください。
[「ファクス機能診断レポートの見方」 119ページ](#)
 - [接続回線選択] 画面が表示されたら接続回線のタイプを選択してください。
 - ・ 構内交換機 (PBX) やターミナルアダプターに接続しているときは、[構内交換機(PBX)] を選択します。
 - ・ 一般加入電話回線 (PSTN) に接続しているときは [一般回線(PSTN)] を選択し、[確認] 画面で [検出し
ない] を選択します。ただし、[検出しない] にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番
号にダイヤルされてしまう可能性があります。

留守番機能付き電話機や、ナンバー・ディスプレイサービスに対応した電話機を接続したときは、他にも設定が必要です。外付け電話機接続時の設定を確認してください。以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- ➔ [「プリンターを電話回線に接続する」 114ページ](#)
- ➔ [「留守番機能付き電話機を使えるようにする」 128ページ](#)
- ➔ [「受信モード：」 497ページ](#)
- ➔ [「発信元の電話番号を表示する設定にする」 127ページ](#)
- ➔ [「電話機の操作だけで受信できるようにする」 128ページ](#)
- ➔ [「基本設定」 496ページ](#)

ファクス機能診断レポートの見方

[ファクス設定ウィザード]の接続チェックで印刷したレポートの見方を説明します。このレポートは以下のメニューでファクス診断を実行した後でも印刷できます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [ファクス診断]

XXXXXXXX

ファクス機能診断レポート

PAGE. 001/001
XX.XX.XXXX 09:02

① 名前 :

② ファクス :

③ 診断項目

④ 1. プリンター本体チェック

⑤ 2. 電話回線接続チェック

⑥ 3. 接続ポートチェック

⑦ 4. 回線状態チェック

⑦ 5. ダイヤルトーン検出

⑧ 診断結果 :

⑨ 対処方法1 :

⑨ 対処方法2 :

ダイヤルトーンを検出で

一般回線以外（構内交換機（PBX）やADSLなど）に接続しているときはファクス設定の[接続回線]を[構内交換機（PBX）]に設定するとダイヤルトーン検出の診断結果が「OK」になる可能性があります。

ファクス設定の[ダイヤルトーン検出]を[しない]に設定してください。設定方法はマニュアルをご覧ください。ただし、電話番号の最初が抜けるなどで、間違った番号に送信されるおそれがあります。

項目	説明	
①	[ファクス設定ウィザード] で入力した発信元の名前（自局の名前や会社名など）を表示します。[発信元名] で変更できます。 「発信元名：」 497ページ	
②	[ファクス設定ウィザード] で入力した自局のファクス番号を表示します。[発信元番号] で変更できます。 「発信元番号：」 497ページ	
診断項目	各診断項目の結果を表示します。「NG」の場合は以下の説明にある対処方法をお試しください。	
③	プリンター本体チェック	プリンター本体が故障している可能性があります。保守サービス実施店にご相談ください。
④	電話回線接続チェック	- プリンターのLINEポートに電話回線が接続されていません。プリンターのLINEポートに電話回線を接続してください。間違ってLANポートに接続していないか確認してください。 1つの電話回線を分岐または延長しているか、特殊機器が接続されています。プリンターと電話回線を直接接続してください。
⑤	接続ポートチェック	プリンターのEXT.ポートに電話回線が接続されています。プリンターのLINEポートに電話回線を接続してください。
⑥	回線状態チェック	1つの電話回線を分岐または延長しているか、特殊機器が接続されています。プリンターと電話回線を直接接続してください。
⑦	ダイヤルトーン検出	- 構内交換機（PBX）環境でご利用の場合、[接続回線] を[構内交換機(PBX)] に設定してください。この設定により、ダイヤルトーン/呼び出し信号の検出範囲が広がります。この設定は構内交換機（PBX）環境以外でご利用のお客様にも有効です。 「構内交換機（PBX）の設定」 121ページ - プリンターの[ダイヤルトーン検出] を[オフ] にしてファクスを送受信できるかご確認ください。なお、ダイヤルトーンを検出しない設定で行ったファクス機能診断の結果は「---」になります。

項目	説明
8	問題点を表示します。問題点に応じ、上の診断項目に記載の対処方法をお試しください。 問題ないときは「正常です」と表示されます。
9	診断結果に基づき、代表的な対処方法を表示します。

以上の 対処を実施したら再度ファックス機能診断をして、問題が解決したか確認してください。
以上の対処をしても問題が解決しないときは、ご契約の回線事業者にご相談ください。

用途に応じてファックス機能の設定をする

プリンターの操作パネルを使って、プリンターのファックス機能を個別に設定できます。〔ファックス設定ウィザード〕を使って設定した項目も変更できます。詳しくは、ファックス設定メニューの説明ページをご覧ください。

[「ファックス設定（ファックス対応機のみ）」495ページ](#)

- 参考**
- Web Configからもプリンターのファックス機能を設定できます。
 - Web Configでのメニュー名や表示場所は、プリンターの操作パネルのファックス設定と異なることがあります。

関連情報

- ➔ [「構内交換機（PBX）の設定」121ページ](#)
- ➔ [「使い方から受信方法を設定する」123ページ](#)
- ➔ [「外付け電話機接続時の設定をする」127ページ](#)
- ➔ [「受信ファックスの保存設定と転送設定」129ページ](#)
- ➔ [「特定の条件で受信ファックスを保存・転送する設定」132ページ](#)
- ➔ [「迷惑ファックスの受信拒否を設定する」137ページ](#)
- ➔ [「コンピューターからのファックス送受信を設定する」138ページ](#)

構内交換機（PBX）の設定

お使いの回線が構内交換機（PBX）に接続されているなどして、外線発信するときに外線発信番号（0や9などの番号）が必要な場合の設定には、以下の2通りがあります。

- 外線へのファックス送信時に外線発信番号をそのまま使う設定
発信前のダイヤルトーン検出は、「構内交換機（PBX）のダイヤルトーン」だけです。
「外線のダイヤルトーン」の検出は行わず、ポーズ時間を置いて発信が開始されます。
[「外線へのファックス送信時に外線発信番号をそのまま使う設定にする」121ページ](#)
- 外線へのファックス送信時に外線発信番号として#を使う設定
発信前のダイヤルトーン検出は、「構内交換機（PBX）のダイヤルトーン」の他に「外線のダイヤルトーン」も検出しますので、誤接続のトラブルのリスクを低減できます。
[「外線へのファックス送信時に外線発信番号として#を使う設定にする」122ページ](#)

外線へのファックス送信時に外線発信番号をそのまま使う設定にする

「0」や「9」などの外線発信番号をそのまま登録、発信する場合は以下のように設定します。

1. プリンターの操作パネルで〔設定〕を選択します。

2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] の順に選択します。
3. [接続回線] を選択して [構内交換機(PBX)] を選択します。
4. 実際の外線発信番号を使ってファクス送信したいときは、[外線発信番号] をタップして [使用しない] を選択します。
5. [OK] を選択して設定を保存します。

外線発信番号をそのまま使用してファクス送信したりアドレス帳登録したりするときの入力方法

(例) 外線発信番号が0、ファクス番号が035555XXXXの場合

先頭に外線発信番号「0」とポーズ「-」を入力してからファクス番号を入力します。

0-035555XXXX

電話発信時のプリンターの動作

- ① 構内交換機 (PBX) からのダイヤルトーンを検出する
- ② 0 (外線発信番号) をダイヤルする
- ③ ポーズ (3秒)
- ④ ファクス番号をダイヤルする

外線へのファクス送信時に外線発信番号として#を使う設定にする

実際の外線発信番号 (0や9などの番号) の代わりに#を使って、外線のファクス番号にファクスを送信できます。

1. プリンターの操作パネルで [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] の順に選択します。
3. [接続回線] を選択して [構内交換機(PBX)] を選択します。
4. [外線発信番号] ボックスを選択して、[使用する] を選択します。
5. [外線発信番号] ボックスをタップし、外線発信番号を入力して、OKをタップします。
6. [OK] を選択して設定を保存します。

ダイヤルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。#を使用すると、外線からのダイヤルトーンを検出してから外線発信するため、外線に接続するときのトラブル回避に役立ちます。



「0」や「9」などの外線発信番号付きでアドレス帳に宛先を登録した場合は、[外線発信番号] を [使用しない] に設定してください。設定しない場合はアドレス帳に外線番号を#で登録し直してください。

外線発信番号の代わりに#を使用してファクス送信したりアドレス帳登録したりするときの入力方法

(例) 外線発信番号が0、ファクス番号が035555XXXXの場合

先頭に、外線発信番号「0」の代わりに「#」を入力してから、ファクス番号を入力します。

#035555XXXX

電話発信時のプリンターの動作

- ① 構内交換機 (PBX) からのダイヤルトーンを検出する
- ② 0 (「#」に割り当てた外線発信番号) をダイヤルする
- ③ 外線からのダイヤルトーンを検出する
- ④ ファクス番号をダイヤルする

参考 「#」は、②と外線からのダイヤルトーン検出 (③) に置き換わります。

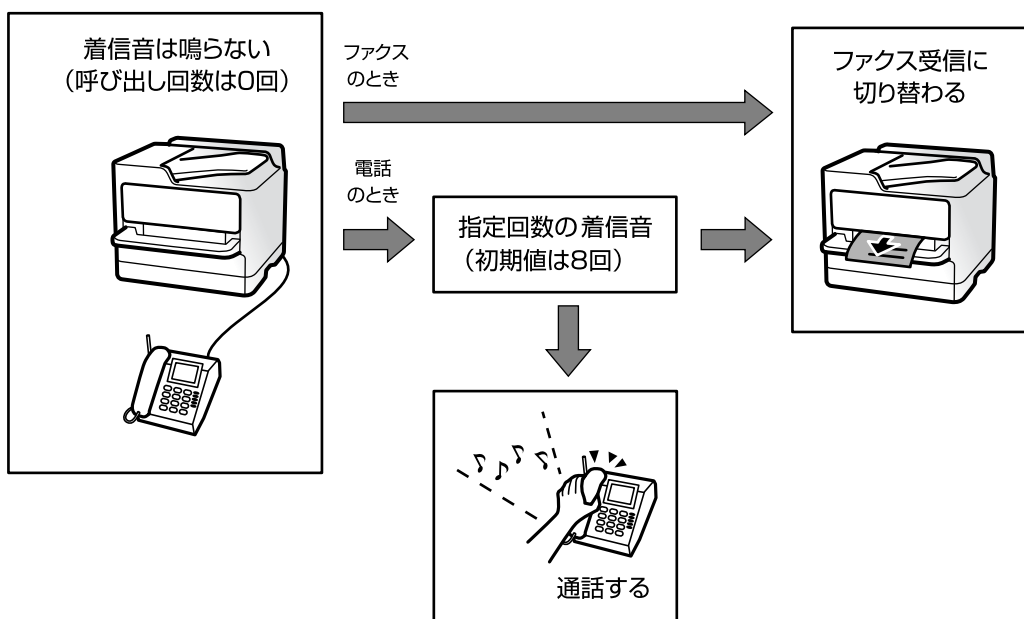
使い方から受信方法を設定する

ご使用の環境に合わせて受信方法を設定します。

関連情報

- ➡ 「ファクスと音声通話を自動で切り替える (ファクス優先の自動切り替え)」 123ページ
- ➡ 「ファクスと音声通話を自動で切り替える (電話優先の自動切り替え)」 124ページ
- ➡ 「ファクス専用で使用する (自動受信)」 125ページ
- ➡ 「外付け電話機で受けてから受信する (手動受信)」 126ページ
- ➡ 「電話着信時に留守番電話で応答する (留守番電話接続)」 127ページ

ファクスと音声通話を自動で切り替える (ファクス優先の自動切り替え)



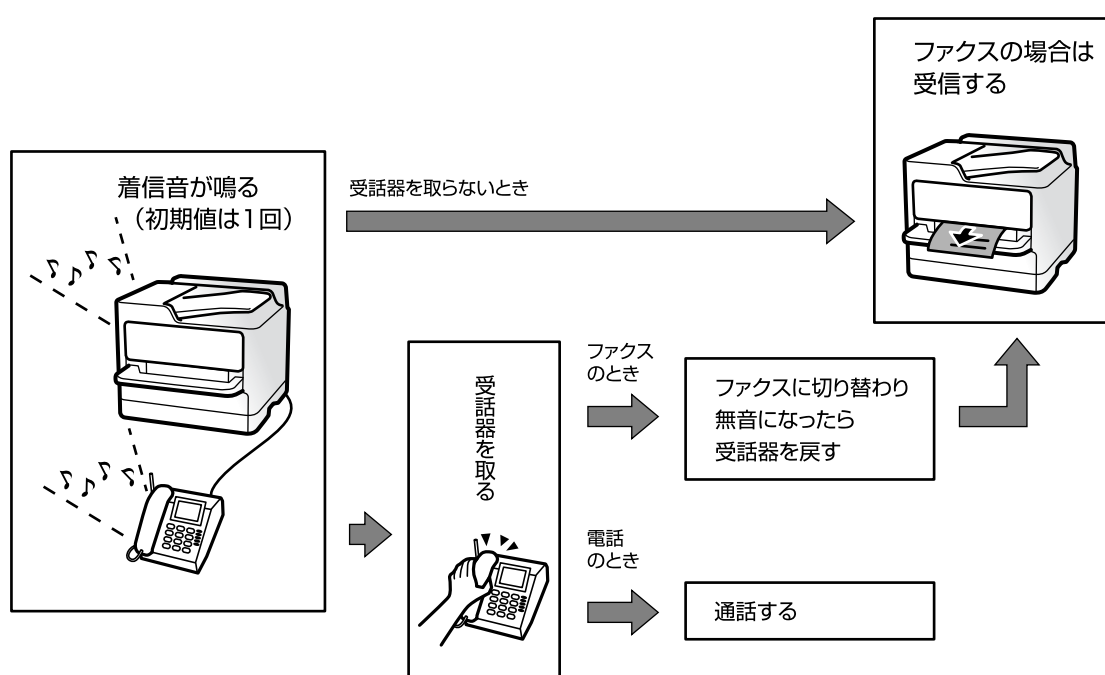
着信時にファクス受信または音声通話なのかをプリンターが自動で判断します。ファクスの場合は電話機を鳴らさずに自動で受信を開始して、音声通話の場合は外付け電話機を鳴らします（初期値は8回）。

1つの電話回線をファクスと電話の両方に使用していて、ファクス受信が多い場合にお勧めです。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	ファクス/電話自動切替	自動
呼び出し回数	[0] 回	[1] 回
電話呼び出し回数	[8] 回	[8] 回
ナンバー・ディスプレイ対応*	オン	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号はプリンターの操作パネルに表示されません。外付け電話機には表示されません。

ファクスと音声通話を自動で切り替える（電話優先の自動切り替え）



着信時には電話機が鳴ります。

電話に出て音声通話の場合は、そのまま通話します。ファクスの場合はファクス信号(ポー音)が聞こえ、しばらく待つとファクス受信が始まり無音になるので受話器を戻します。

着信音が鳴り終わるまでに電話に出ないとファクスが自動応答し、ファクスの場合は受信します。

1つの電話回線をファクスと電話の両方に使用していて、電話が多い場合にお勧めです。

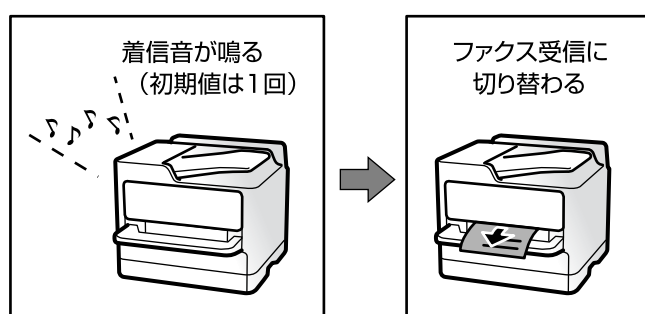
参考 ファクス受信が始まらない場合は、リモート受信を有効にして電話機の操作で受信してください。
[「電話機の操作だけで受信できるようにする」 128ページ](#)

設定項目	設定値	初期値
受信モード	自動	自動

設定項目	設定値	初期値
呼び出し回数	[8] 回	[1] 回
電話呼び出し回数	(無効)	[8] 回
ナンバー・ディスプレイ対応*	外付け電話機優先	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号はプリンターの操作パネルと外付け電話機の両方に表示されます。

ファックス専用で使用する（自動受信）

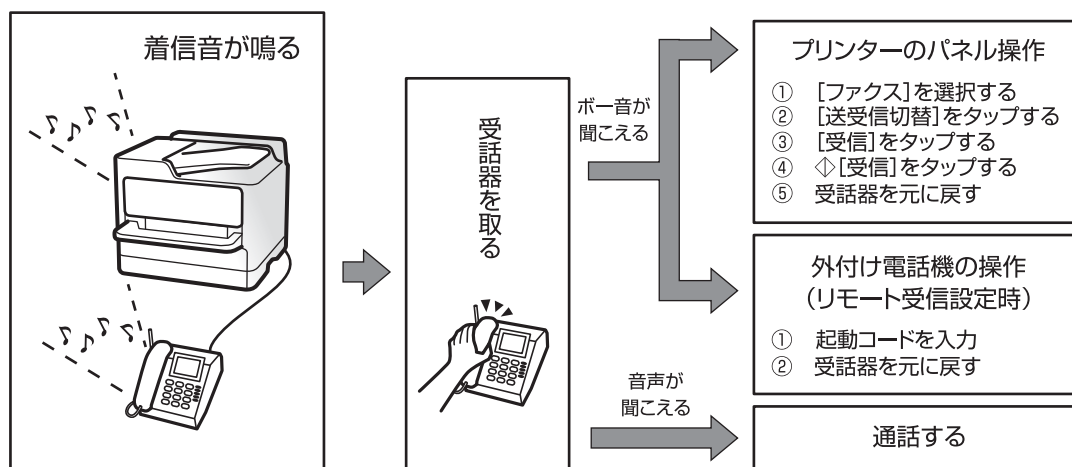


設定した回数（初期値は1回）の着信音が鳴り終わると、自動でファックス受信を開始します。呼び出し回数を0回に設定すると、着信音を鳴らさずにファックス受信できます（無鳴動受信）。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	自動	自動
呼び出し回数	[1] 回	[1] 回
電話呼び出し回数	(無効)	[8] 回
ナンバー・ディスプレイ対応*	オン	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号はプリンターの操作パネルに表示されます。外付け電話機には表示されません。

外付け電話機で受けてから受信する（手動受信）

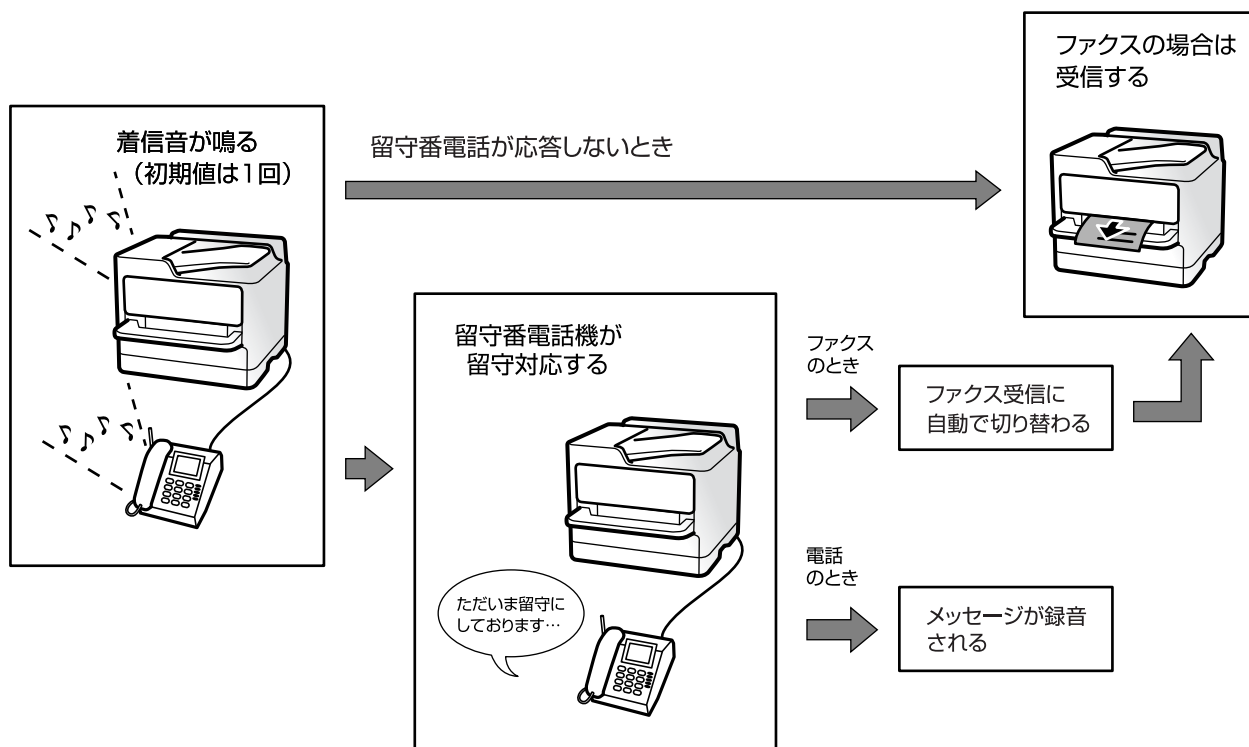


外付け電話機で電話を受けてからプリンターを操作して受信を開始します。ファクスの利用が少ない場合や、一度電話に出てから受信したい場合にお勧めです。[リモート受信]を有効にすると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	手動	自動
呼び出し回数	(無効)	[1] 回
電話呼び出し回数	(無効)	[8] 回
ナンバー・ディスプレイ対応*	外付け電話機優先	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号は、プリンターの操作パネルと外付け電話機の両方に表示されます。

電話着信時に留守番電話で応答する（留守番電話接続）



着信すると電話機が鳴り、留守番電話が応答します。

音声通話のときは、メッセージが録音されます。

ファクスのときは、ファクス信号を自動検出します。ファクス受信が始まると、留守番電話は遮断されます。

設定項目	設定値	初期値
受信モード	自動	自動
呼び出し回数	[8] 回（留守番電話の呼び出し回数より多く設定する）	[1] 回
電話呼び出し回数	（無効）	[8] 回
ナンバー・ディスプレイ対応*	外付け電話機優先	オフ

*：ナンバー・ディスプレイ回線の場合の設定です。発信元（相手先）の番号は、プリンターの操作パネルと外付け電話機の両方に表示されます。

外付け電話機接続時の設定をする

発信元の電話番号を表示する設定にする

電話番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイ回線の契約が必要です。
プリンターで以下を設定します。

1. プリンターの操作パネルで「設定」を選択します。

2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ナンバー・ディスプレイ対応] の順に選択します。
3. 設定を選択します。
 - オン：プリンターだけに電話番号を表示します。プリンターのアドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
 - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示します。

関連情報

- ➡ [「使い方から受信方法を設定する」123ページ](#)
- ➡ [「基本設定」496ページ](#)

留守番機能付き電話機を使えるようにする

留守番機能を使用するときの設定をします。

1. プリンターの操作パネルで[設定]を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] の順に選択します。
3. [受信モード] を [自動] に設定します。
4. プリンターの [呼び出し回数] を留守番電話の呼び出し回数より多く設定します。

少ないと留守番電話への録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの [受信モード] を [ファクス/電話自動切替] に設定することをお勧めします。

関連情報

- ➡ [「使い方から受信方法を設定する」123ページ](#)
- ➡ [「基本設定」496ページ](#)

電話機の操作だけで受信できるようにする

受話器を上げて外付け電話機を操作するだけ（プリンターでの操作なし）でファクスを受信できます。

[リモート受信] はトーン信号（ピッポッパッ）に対応した電話機で使用できます。

1. プリンターの操作パネルで[設定]を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [リモート受信] の順に選択します。
3. [リモート受信] をタップして [オン] にする
4. [起動コード] を選択し、2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力して [OK] をタップします。
5. [OK] を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ [「基本設定」496ページ](#)

受信ファクスの保存設定と転送設定

受信ファクスは印刷するように初期設定されています。この他に、受信文書の保存や転送をする設定ができます。

- 参考**
- Web Configからも、受信ファクスを保存したり転送したりする設定ができます。
 - 特定の条件で受信ファクスを保存・転送することもできます。
[「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」132ページ](#)

関連情報

➡ [「受信ファクスを保存する設定」129ページ](#)

➡ [「受信ファクスを転送する設定」130ページ](#)

受信ファクスを保存する設定

送信元や時間帯に依らず、ファクスを受信したら受信ボックスや外部メモリーに保存するように設定できます。受信ファクスは、プリンターの画面で内容を見てから印刷できます。

受信ファクスをコンピューターに保存 (PC-FAX受信) するには、次の関連情報を参照してください: [「機能: コンピューターからの送受信 \(Windows/Mac OS\)」299ページ](#)

- 参考**
- Web Configからも、受信ファクスを保存する設定ができます。[ファクス] タブ - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順に選択し、[処理方法] で保存先の設定をします。
 - 保存と同時に印刷や転送も処理もできます。上と同じ [処理方法] 画面から設定できます。

受信ファクスを保存する設定をする

1. プリンターの操作パネルで、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] の順に選択します。
2. [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順に選択します。
メッセージが表示されたら確認して [OK] をタップします。
3. 受信ファクスの保存先 (受信ボックスや外部メモリー) を設定します。



- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスを指定する場合
 - ① [受信ボックスに保存] をタップして [オン] にする
 - ② メッセージが表示されたら確認して [OK] を選択する
- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合
 - ① 外部メモリーをプリンターにセットする
 - ② [外部メモリーに保存] を選択する
 - ③ [オン] を選択する保存と同時に自動で印刷したいときは、[オン(印刷もする)] を選択する
 - ④ メッセージを確認して [作成開始] をタップするセットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。
 - ⑤ メッセージを確認して [閉じる] をタップ（またはメッセージが消えたら）、[閉じる] をタップする
 - ⑥ 続いてメッセージが表示された場合は、確認して [OK] をタップする

！重要 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

参考 受信ファクスの保存結果を電子メールで送信（1件だけ）する設定をします。必要に応じて [メール通知設定] を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

4. [閉じる] を選択して [条件なし保存・転送] の設定を完了します。

設定はここまでです。必要に応じて [共通設定] を設定してください。詳細は、[保存・転送設定] メニューの [共通設定] の説明をご覧ください。

参考 受信したファクスを条件付きで保存する場合は、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- ➔ [「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」 132ページ](#)
- ➔ [「共通設定：」 509ページ](#)
- ➔ [「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」 319ページ](#)

受信ファクスを転送する設定

転送先（メール、共有フォルダー、クラウドアカウント、他のファクス機）は、5件まで選択できます。

- 参考**
- 転送先とする宛先は、あらかじめアドレス帳かクラウド転送リストに登録しておく必要があります。どちらに登録するかは下表をご覧ください。

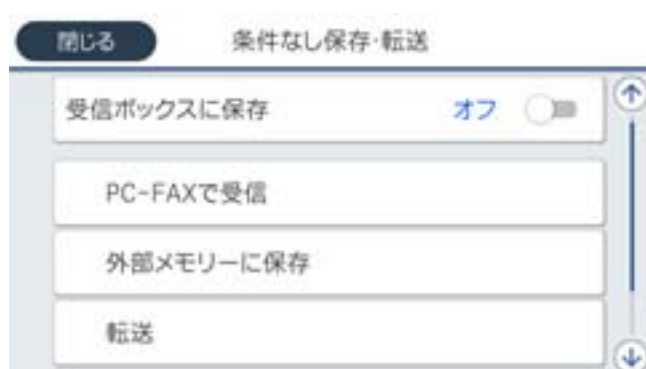
転送先の種別	アドレス帳	クラウド宛先リスト
メールアドレス	○	—
共有フォルダー	○	—
クラウドアカウント	—	○
他のファクス機	○	—

- 転送先の種別に従って以下の設定をしてください。
[「アドレス帳の登録」 77ページ](#)
[「メールサーバーを登録する」 62ページ](#)
[「ネットワークフォルダーを作成する」 66ページ](#)
[「ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定」 92ページ](#)
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

受信ファクスを転送するように設定する

- 参考**
- Web Configからも、受信ファクスを転送する設定ができます。[ファクス] タブ - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順に選択し、[処理方法] で転送先の設定をします。
 - 保存と同時に印刷や保存も処理もできます。上と同じ [処理方法] 画面から設定できます。

- プリンターの操作パネルで、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] の順に選択します。
- [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順に選択します。
メッセージが表示されたら確認して [OK] をタップします。
- 転送先を5件まで設定します。



- [転送] を選択する
- [オン] を選択する転送と同時に自動で印刷をしたいときは、[オン(印刷もする)] を選択します。
- [宛先] - [宛先を追加] の順に選択し、アドレス帳またはクラウド転送先から転送先（最大5件）を選択する

 をタップして  (クラウド宛先リスト) を選択するか、 をタップして  (アドレス帳) を選択することで、転送先のリストを切り替えられます。

- ④ [閉じる] をタップして転送先の指定を終えてから、[閉じる] をタップする
- ⑤ [転送失敗時の動作] で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する
- ⑥ [OK] をタップする

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。文書は速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

参考 受信ファクスの転送結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定ができます。必要に応じて [メール通知設定] を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

4. [閉じる] を選択して [条件なし保存・転送] の設定を完了します。

参考 設定はここまでです。必要に応じて [共通設定] を設定してください。詳細は、[保存・転送設定] メニューの [共通設定] の説明をご覧ください。

関連情報

➡ [「共通設定：」 509ページ](#)

転送先の有効性を確認する

ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。

プリンターの操作パネルから [スキャン] - [メール]、[スキャン] - [ネットワークフォルダー] の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。

クラウドのアカウントを選択した場合は、ボックスに保存した文書を宛先に転送することで宛先のテストができます。プリンターの操作パネルで [ファクスボックス] を選択し、文書が保存されているボックスの1つから文書を選択します。

文書の  (プレビューメニュー) から [転送(クラウド)] を選択し、宛先を選択して、転送を開始します。

特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定

特定設定条件で受信ファクスを保存・転送できます。

- 参考**
- 受信ファクスは印刷するように初期設定されています。
 - 無条件で受信ファクスを保存することもできます。
[「受信ファクスの保存設定と転送設定」 129ページ](#)

関連情報

- ➡ [「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」 132ページ](#)
➡ [「特定の条件で受信ファクスを転送する設定」 134ページ](#)

特定の条件で受信ファクスを保存する設定

受信ファクスを特定の時間に保存したり、特定の相手から受信したファクスを保存したりすることができます。受信ボックスや外部メモリーに保存できます。

複数の条件（条件保存・転送）を設定した場合、項目（1～100）順に参照され、最初に一致した［条件保存・転送］が実行されます。

親展ボックスや受信ボックスに保存した受信ファクスは、プリンターの画面で内容を見てから印刷できます。

特定の時間にファクス受信するには、［日付/時刻］と［時差］が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［日付/時刻設定］の順に選択します。

- 参考**
- Web Configからも、受信ファクスを保存する設定ができます。［ファクス］タブ - ［保存・転送設定］ - ［条件保存・転送］の順に選択し、登録番号を選択して［編集］をクリックしたら宛先を設定します。
 - 保存と同時に印刷や転送も処理もできます。上と同じ［編集］画面から設定できます。

特定の条件で受信ファクスを保存するように設定する

1. プリンターの操作パネルで、［設定］ - ［本体設定］ - ［ファクス設定］の順に選択します。
2. ［受信設定］ - ［保存・転送設定］ - ［条件保存・転送］の順に選択し、［条件保存・転送］の下にある未登録の条件設定をタップします。

参考 登録済みボックスの設定を変更したい場合は、 をタップして変更してください。

3. ［名称(必須項目)］を選択して、登録する名称を入力します。
4. ［条件］を選択して条件を設定します。設定後［閉じる］を選択します。
 - 相手先ID一致：相手先のIDが一致した場合に受信ファクスを保存します。
 ［ID］を選択して、ファクス番号などの相手先のIDを入力します。
 IPファクスのライセンスキーを登録しているときは、アドレス帳からSIP URIやファクス番号を選択することもできます。
 - Fコード(SUB)完全一致：Fコード（SUB）が完全一致した場合に受信ファクスを保存します。
 ［Fコード(SUB)］を選択して、Fコードを入力します。
 - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合に受信ファクスを保存します。
 ［パスワード(SID)］を選択して、パスワードを入力します。
 - 受信回線一致：LINEポートが一致した場合に受信文書を保存します。IPファクスのライセンスキーを登録しているときは、［IPファクス(LAN)］も選択できます。
 - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信ファクスを保存します。
 ［受信時間の設定］を有効にしてから［適用開始時刻］と［適用終了時刻］に時刻を設定します。
5. ［保存・転送先（必須項目）］を選択し、受信ファクスの保存先（ボックス、外部メモリー）を設定します。



- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスまたは親展ボックスを指定する場合：

- ① [ボックスに保存] を選択する
- ② [ボックスに保存] をタップして [オン] にする
- ③ 文書を保存するボックスを選択する
- ④ [OK] を選択する

- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合

- ① 外部メモリーをプリンターにセットする
- ② [外部メモリーに保存] を選択する
- ③ [外部メモリーに保存] をタップして [オン] にする
- ④ メッセージを確認して [作成開始] をタップする
- ⑤ [OK] を選択する

セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。

！重要 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

参考 [印刷] を [オン] にしておくと、同時に印刷もできます。

6. [OK] を選択して [保存・転送先] の設定を完了します。

参考 受信ファクスの保存結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。必要に応じて [メール通知設定] を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

7. [条件保存・転送] を完了する（[保存・転送設定] 画面に戻る）まで、[OK] を選択します。

8. 条件を登録したボックスを選択して、[有効] を選択します。

設定はここまでです。必要に応じて [共通設定] を設定してください。詳細は、[保存・転送設定] メニューの [共通設定] の説明をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「共通設定：」 509ページ](#)
- ➡ [「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」 319ページ](#)

特定の条件で受信ファクスを転送する設定

受信ファクスを特定の時間に転送したり、特定の相手から受信したファクスを転送したりすることができます。

複数の条件（条件保存・転送）を設定した場合、項目（1～100）順に参照され、最初に一致した [条件保存・転送] が実行されます。

メール、共有フォルダー、クラウドアカウント、他のファクス機に転送できます。

参考

- 転送先とする宛先は、あらかじめアドレス帳かクラウド転送リストに登録しておく必要があります。どちらに登録するかは下表をご覧ください。

転送先の種別	アドレス帳	クラウド宛先リスト
メールアドレス	○	—
共有フォルダー	○	—
クラウドアカウント	—	○
他のファクス機	○	—

- 転送先の種別に従って以下の設定をしてください。
[「アドレス帳の登録」 77ページ](#)
[「メールサーバーを登録する」 62ページ](#)
[「ネットワークフォルダーを作成する」 66ページ](#)
[「ファクス転送先としてクラウドサービスを使用する設定」 92ページ](#)
- 特定の時間にファクス受信するには、[日付/時刻] と [時差] が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定] の順に選択します。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

特定の条件で受信ファクスを転送するように設定する

参考

- Web Configからも、受信ファクスを転送する設定ができます。[ファクス] タブ - [保存・転送設定] - [条件保存・転送] の順に選択し、登録番号を選択して[編集] をクリックしたら、宛先を設定します。
- 保存と同時に印刷や保存も処理もできます。上と同じ[編集] 画面から設定できます。

- プリンターの操作パネルで、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] の順に選択します。
- [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件保存・転送] の順に選択し、[条件保存・転送] の下にある未登録の条件設定をタップします。

参考

登録済みボックスの設定を変更したい場合は、 をタップして変更してください。

- [名称(必須項目)] を選択して、登録する名称を入力します。
- [条件] を選択して条件を設定します。設定後[閉じる] を選択します。
 - 相手先ID一致：相手先のIDが一致した場合に受信ファクスを転送します。
[ID] を選択して、ファクス番号などの相手先のIDを入力します。
 - Fコード(SUB)完全一致：Fコード (SUB) が完全一致した場合に受信ファクスを転送します。
[Fコード(SUB)] を選択して、Fコードを入力します。
 - パスワード(SID)完全一致：パスワード (SID) が完全一致した場合に受信ファクスを転送します。
[パスワード(SID)] を選択して、パスワードを入力します。
 - 受信回線一致：LINEポートが一致した場合に受信文書を転送します。IPファクスのライセンスキーを登録しているときは、[IPファクス(LAN)] も選択できます。
 - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信ファクスを転送します。
[受信時間の設定] を有効にしてから [適用開始時刻] と [適用終了時刻] に時刻を設定します。

5. 「保存・転送先（必須項目）」を選択して、転送先の設定をします。



- ① 「転送」を選択する
- ② 「転送」をタップして「オン」にする
- ③ 「宛先を追加」を選択し、アドレス帳またはクラウド転送先から転送先を選択する（転送先に指定できるのは1件のみ）

 をタップして  クラウド宛先リストを選択するか、 をタップして  アドレス帳を選択することで、転送先のリストを切り替えられます。

- ④ 転送先を指定したら「閉じる」をタップする
- ⑤ 転送先が正しいことを確認して「閉じる」を選択する
- ⑥ 「転送失敗時の動作」で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する
- ⑦ 「OK」を選択する

！重要 受信ボックスまたは親展ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。文書は速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

参考 「印刷」を「オン」にしておくと、同時に印刷もできます。

6. 「OK」を選択して「保存・転送先」の設定を完了します。

参考 受信ファクスの転送結果を電子メールで送信（1件のみ）する設定ができます。必要に応じて「メール通知設定」を選択して、終了を通知したい処理の選択と送信先の設定をしてください。

7. 「条件保存・転送」を完了する（「保存・転送設定」画面に戻る）まで、「OK」を選択します。

8. 条件を登録したボックスを選択して、「有効」を選択します。

設定はここまでです。必要に応じて「共通設定」を設定してください。詳細は、「保存・転送設定」メニューの「共通設定」の説明をご覧ください。

参考 ・ 設定はここまでです。必要に応じて「共通設定」を設定してください。詳細は、「保存・転送設定」メニューの「共通設定」の説明をご覧ください。

関連情報

➔ 「共通設定：」509ページ

転送先の有効性を確認する

ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。

プリンターの操作パネルから [スキャン] - [メール]、[スキャン] - [ネットワークフォルダー] の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。

クラウドのアカウントを選択した場合は、ボックスに保存した文書を宛先に転送することで宛先のテストができます。プリンターの操作パネルで [ファクスボックス] を選択し、文書が保存されているボックスの1つから文書を選択します。

文書の  (プレビューメニュー) から [転送(クラウド)] を選択し、宛先を選択して、転送を開始します。

迷惑ファクスの受信拒否を設定する

プリンターで、迷惑ファクスを拒否する設定ができます。

- 着信拒否

ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、着信自体を拒否する設定ができます。

[着信拒否] を利用するには、ナンバー・ディスプレイ回線の契約が必要です。また、[ナンバー・ディスプレイ対応] 設定を有効にしておく必要があります。

- ファクス受信拒否

着信後に発信元ファクス番号を確認して受信拒否します。

1. プリンターの操作パネルで [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [着信・ファクス受信拒否] の順に選択します。
3. 拒否条件を設定します。
 - ナンバー・ディスプレイサービスを使って着信拒否する場合
[着信拒否] を選択し、以下を設定します。
 - ・ [拒否番号リスト] : 拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
 - ・ [非通知] : 非通知番号の着信を拒否します。

 **参考** 着信拒否の対象ファクスは呼び出しをせず、発信元に話し中を返します。

 - 着信後に発信元ファクス番号をチェックして受信拒否する場合
[ファクス受信拒否] を選択し、以下の項目を1つ以上有効にします。
 - ・ 拒否番号リスト : 拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
 - ・ 非通知 : 送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
 - ・ アドレス帳未登録 : 宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。
4.  をタップして [着信・ファクス受信拒否] 画面に戻ります。
5. [拒否番号リスト] を使う場合は、[拒否番号リスト編集] を選択して拒否番号リストを編集します。

着信拒否とファクス受信拒否の動作

動作に以下の違いがあります。

プリンターの動作	着信拒否	ファクス受信拒否
呼び出し音	鳴らない（呼び出さない）	鳴る（呼び出す） ただし、受信モードを〔自動〕か〔ファクス/電話自動切替〕に設定して〔呼び出し回数〕を0回に設定したときは鳴らない（呼び出さない）
発信元（相手先）への通知	話し中を返す（電話がつかまらない）	通信エラー を返す
着信履歴 *1	残る（着信拒否）	残る（着信あり）
ジョブ履歴*2	残らない	残る（受信拒否エラー）
通信管理レポート*3		

*1：〔ファクス〕 - 〔宛先〕 - 〔宛先履歴〕 から確認できます。

*2：〔ジョブ/状態〕 - 〔ジョブ〕 - 〔履歴〕 から確認できます。

*3：〔ファクス〕 - （〔応用〕） - 〔ファクスレポート印刷〕 - 〔通信管理レポート〕 から印刷できます。

コンピューターからのファクス送受信を設定する

コンピューターでファクス送受信するには、ネットワークかUSBでプリンターに接続したクライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールしておく必要があります。

コンピューターからファクス送信する設定

Web Configで設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
〔ファクス〕 タブ - 〔送信設定〕
4. 〔使用する〕で〔PC-FAX送信機能〕を選択します。
〔PC-FAX送信機能〕の初期値は〔使用する〕です。コンピューターから送信できないようにする場合は、〔使用しない〕を選択してください。
5. 〔設定〕ボタンをクリックします。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザーからWeb Configを起動する」 475ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

受信ファクスをコンピューターに保存する設定

FAX Utilityを使うと、受信ファクスをコンピューターに保存できます。クライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールして設定してください。設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

設定すると、プリンターの操作パネルにある以下の項目が「オン」になります。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕 - 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕

受信ファクスをコンピューターに保存してプリンターで印刷する設定

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. プリンターの操作パネルで〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順に選択します。
3. 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕 - 〔オン(印刷もする)〕の順に選択します。

コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定

プリンターから設定変更します。

 **参考** FAX Utilityからも変更できますが、プリンターに、コンピューターに未保存の受信ファクスが残っているときは変更できません。

1. プリンターの操作パネルで〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順に選択します。
3. 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕 - 〔オフ〕の順に選択します。

ファクスのトラブル対処

ファクスの送信も受信もできない

以下の原因が考えられます。

■ 電話回線に問題があります。

対処方法

電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へお問い合わせください。

■ 電話回線との接続に問題があります。

対処方法

プリンターの操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス診断〕 を選択してファクス診断を実行してください。印刷された診断結果レポートに従って対処してください。

■ 通信エラーが発生しています。

対処方法

プリンターの操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 の順に選択して、〔通信モード〕 を〔9.6kbps(G3)〕 に設定してください。

■ ISDN接続時に構内交換機（PBX）タイプの装置をご使用の場合、使用環境に何らかの問題があります。

対処方法

ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

■ ブロードバンドルーターやターミナルアダプターの状態に問題があります。

対処方法

電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。

■ エラー訂正（ECM）設定が無効の状態で、カラーファクスを送受信しようとしています。

対処方法

操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 の順に選択して、〔エラー訂正(ECM)〕 を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。

ファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

■ 構内交換機（PBX）が設置された環境で、接続回線がPSTNに設定されています。

対処方法

プリンターの操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 の順に選択して、〔接続回線〕 を〔構内交換機(PBX)〕 に設定してください。

■ お使いの電話番号が非通知に設定されています。

対処方法

ご契約の回線事業者にお問い合わせ、非通知設定を解除してください。送信先によっては非通知で送られたファクスを受け付けないことがあります。送信先によっては電話番号を通知することで受信できる ことがあります。

回線が非通知設定か確認するには、携帯電話などの、発信者番号表示できる別回線の電話機に、（オンフック）を使ってダイヤルします。電話機での着信履歴に番号表示がなければ非通知設定です。通知設定にすればファクス送信できるかは、ファクス番号の先頭に186を付けてダイヤルすると番号通知されるので確認できます。

ダイヤル回線を契約しているのにプッシュ回線の設定になっています。または、プッシュ回線を契約しているのにダイヤル回線の設定になっています。

対処方法

ダイヤル回線を使用している場合にプッシュ回線の設定を選択していると、またはプッシュ回線を使用している場合にダイヤル回線の設定を選択していると、話し中となりつながりません。ご契約の電話回線を確認して、回線に合った [ダイヤル種別]（ [プッシュ]、 [ダイヤル(20PPS)]、 [ダイヤル(10PPS)] ）を選択してください。

回線の種類がわからないときは、 [ファクス] 画面の （オンフック）をタップしてダイヤルトーンが聞こえたら117（時報）や自分の携帯電話などにダイヤルし、 [プッシュ] → [ダイヤル(20PPS)] → [ダイヤル(10PPS)] の順に設定を変えて、つながるかどうか試してください。

[ダイヤル種別] は操作パネルで以下の順に選択すると表示されます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤル種別]

プリンターで受信専用を設定した回線ポートからファクス送信しようとしています。

対処方法

ファクス送信に使用したい回線の [回線別通信設定] を、 [送受信兼用] か [送信専用] に設定してください。
[回線別通信設定] は、プリンターの操作パネルから以下の順に操作すると表示できます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [回線別通信設定]

発信元番号が登録されていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [発信元設定] の順に選択して、発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けられないことがあります。

ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。

また、プリンターが現在ファクス受信中かなどのプリンターの状態を [ジョブ/状態] から確認することをお勧めします。

外付け電話機使用時に、 [受信モード] が [手動] に設定されています。

対処方法

外付け電話機を接続してプリンターと電話回線を共有しているときは、プリンターの操作パネルで [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] を選択して、 [受信モード] を [ファクス/電話自動切替] に設定してください。

外付け電話機を不使用时に、受信モードが [ファクス/電話自動切替] に設定されています。

対処方法

外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [受信モード] を選択して、 [自動] に設定してください。

■ 呼び出し回数が多く設定されています。

対処方法

操作パネルで [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [呼び出し回数] を選択して、呼び出し回数を少なく設定してみてください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。

■ プリンターで送信専用を設定した回線の番号に、送信元からファクス送信しようとしています。

対処方法

ファクス受信に使用したい回線の [回線別通信設定] を、[送受信兼用] か [受信専用] に設定してください。[回線別通信設定] は、プリンターの操作パネルから以下の順に操作すると表示できます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [回線別通信設定]

■ Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使った受信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。

また、Fコードおよびパスワードが送信先のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信元に確認してください。

Fコードまたはパスワードを変更するには、操作パネルからメニューを以下の順に選択し、該当の親展ボックスを選択して、[条件] で修正してください。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件保存・転送]

■ 送信元のファクス番号が拒否番号リストに登録されています。

対処方法

送信元のファクス番号は、[拒否番号リスト] から削除してもよい番号か確認してから削除してください。プリンターの操作パネルで [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [着信・ファクス受信拒否] を選択し、[拒否番号リスト編集] から削除できます。または、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [着信・ファクス受信拒否] を選択し、[ファクス受信拒否] で [拒否番号リスト] を無効に設定してください。設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。

■ 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されていません。

対処方法

送信元のファクス番号をアドレス帳に登録してください。または、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [着信・ファクス受信拒否] - [ファクス受信拒否] で、[アドレス帳未登録] を無効に設定してください。設定を有効にしていると、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。

■ 発信元情報のないファクスが送信されてきています。

対処方法

送信元に、発信元情報を付けてファクスを送信してもらってください。または、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [着信・ファクス受信拒否] - [ファクス受信拒否] で、[非通知] を無効に設定してください。[非通知] を有効に設定しているとき、発信元情報の付いていないファクスは受信拒否されます。

■ 構内交換機（PBX）が設置された環境で、接続回線がPSTNに設定されています。

対処方法

プリンターの操作パネルで「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」の順に選択して、「接続回線」を「構内交換機(PBX)」に設定してください。

■ 構内交換機（PBX）接続で、標準と異なる呼び出し信号が設定されています。

対処方法

- プリンターが呼び出し信号に応答しないときは、「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「接続回線」を「構内交換機(PBX)」に設定してみてください。呼び出し信号の検出範囲が広がるためトラブルが解決することがあります。この設定は、ターミナルアダプターなどの、構内交換機（PBX）環境以外でご利用のお客様にも有効です。
- 呼び出し信号に内線呼び出し信号（SIR）が設定されているときは、外線呼び出し信号（IR）を設定すると解決することがあります。この設定は、ターミナルアダプターなどの、構内交換機（PBX）環境以外でご利用のお客様にも有効です。ご契約の回線業者に問い合わせてください。

■ ボイスワープなどの電話転送サービスを利用しています。

対処方法

ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。

■ ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。

対処方法

該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

■ Fネット（1300Hz呼び出し）には対応していません。

対処方法

該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

■ 接続されている電話回線が不安定です。

対処方法

接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

指定の時間にファクスを送信できない

■ 日付と時刻が正しく設定されていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで「設定」 - 「本体設定」 - 「基本設定」 - 「日付/時刻設定」の順に選択して、日付と時刻を正しく設定してください。

外部メモリーに受信文書を保存できない

- 受信ファクスを外部メモリーに保存する設定が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順に選択して、〔外部メモリーに保存〕を有効にしてください。

A3ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。

- 給紙装置の設定が間違っています。

対処方法

A3サイズ用の紙を入れている給紙装置の用紙サイズ設定がA3になっているか、またそのA3用紙が入った給紙装置をファクスで使う設定にしているか確認してください。〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔プリンター設定〕 - 〔給紙装置設定〕 - 〔給紙口自動選択〕 - 〔ファクス〕の順に選択して、有効になっている給紙装置を確認します。

- 〔受信紙宣言〕でA3が選択されていません。

対処方法

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 - 〔受信紙宣言〕の順に選択して、A3サイズが選択されていることを確認します。〔受信紙宣言〕では、本プリンターが受信できるファクスの最大サイズを設定できません。

受信ファクスが印刷されない

- 受信ファクスを印刷する設定になっていません。

対処方法

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕 - 〔保存・転送設定〕から、受信ファクスを印刷できるように設定変更してください。

ファクスをきれいに送受信できない

- エラー訂正機能が無効になっています。

対処方法

プリンターの操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕を選択して〔エラー訂正(ECM)〕を有効にしてください。回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復できることがあります。ただし、〔エラー訂正(ECM)〕を有効にすると、データの送受信に通常より時間がかかることがあります。

発信者番号表示機能（ナンバー・ディスプレイ対応）が働かない

以下の原因が考えられます。

■ ナンバー・ディスプレイサービスが契約されていません。

対処方法

発信元のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示するには、ナンバー・ディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイ対応が無効に設定されています。

対処方法

操作パネルで〔設定〕 - 〔本体設定 >〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 - 〔ナンバー・ディスプレイ対応〕の順に選択して、設定を有効にしてください。

■ 1回線を、電話機とプリンターで並列に接続して共有しています。

対処方法

1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。

■ 呼び出し回数が0回に設定されています。

対処方法

〔受信モード〕が〔自動〕で〔ナンバー・ディスプレイ対応〕が〔外付け電話機優先〕に設定されていても、〔呼び出し回数〕が0の場合は、外付け電話機に発信者番号が表示されません。〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕から、〔呼び出し回数〕を1以上の回数に設定してみてください。

以下の各設定モードの動作を参照ください。

[「使い方から受信方法を設定する」123ページ](#)

■ 電話呼び出し回数の呼び出し中です

対処方法

発信元の電話番号が外付け電話機に表示されるのは、ナンバー・ディスプレイ回線からの呼び出し中だけです。プリンターの〔ファクス/電話自動切替〕の動作で電話と判定した後に外付け電話機を呼び出す〔電話呼び出し回数〕の呼び出し中は、外付け電話機に発信者番号が表示されません。〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕から、〔受信モード〕を〔自動〕に設定してください。

以下の各設定モードの動作を参照ください。

[「使い方から受信方法を設定する」123ページ](#)

外付け電話機から電話ができない

■ 外付け電話機がプリンターに正しく接続されていません。

対処方法

プリンターのEXTポートと電話機を電話線で接続し、受話器を上げてみてください。受話器を通してダイヤルトーンが聞こえない場合は、電話線を正しく接続してください。

留守番電話が応答しない

■ プリンターの「呼び出し回数」が、留守番電話の呼び出し回数より少なく設定されています。

対処方法

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」の順に選択して、「呼び出し回数」を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。

迷惑ファクスがよく届く

■ 迷惑ファクスを防止する設定がされていません。

対処方法

プリンターの操作パネルで「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」の順に選択し、「着信・ファクス受信拒否」の設定をしてください。

[「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」137ページ](#)

NGNを利用したIPファクスを使えるようにする

NGNを利用したIPファクス送受信の概要

NGNを利用したファクスの送受信には以下のメリットがあります。

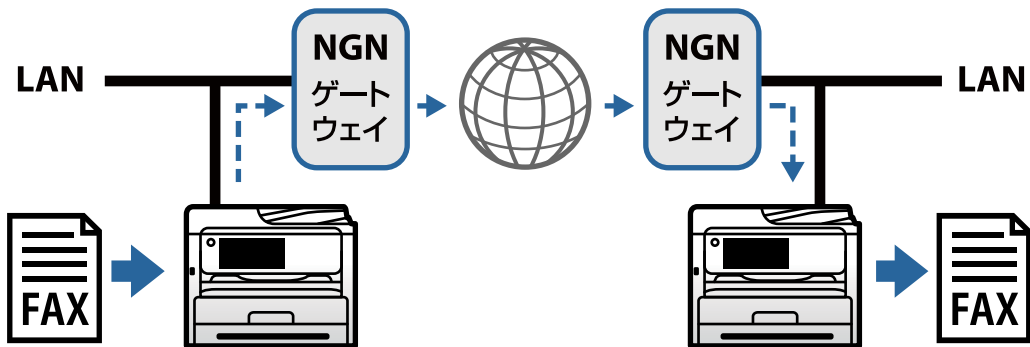
- 高速な通信ができる
- 電話回線網での通常のファクスと同様の、リアルタイムな通信ができる
通信品質を確保できるので、IPパケットの遅延が抑えられた安定した通信ができます。
- 傍受やなりすましなどの不正アクセスに対するセキュリティが向上する
- 通信費用を削減できる
ただし、NGN使用区間に通信費用が発生します（距離や時間に応じた従量課金）。

NGNを利用するには、以下をご用意ください。

- NTTの「フレッツ光ネクスト」との回線契約
- NGNゲートウェイ
ルーター機能や認証機能を備えた専用の機器です。「フレッツ光ネクスト」との回線契約時にNTTより提供されます。

宛先入力例

- ファクス番号：0312345678



設定の流れ

NGNを利用したIPファクスを使用するためには、以下の設定が必要です。設定はプリンターの管理者が行ってください。

1. 標準のファクスの設定をします（未設定の場合）。
[「ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）」113ページ](#)
2. ネットワークにプリンターを接続します。
[「プリンターをネットワークに接続する」43ページ](#)
3. NGNを利用して送受信する設定をします。
[「NGN利用時のIPファクス設定」147ページ](#)
4. IPファクスで使う宛先をアドレス帳に登録します。
[「アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）」85ページ](#)

NGN利用時のIPファクス設定

Web Configを使った個別設定

個別のプリンターごとにIPファクスの設定をする方法について説明します。

関連情報

- ➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」475ページ](#)

NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定）

NGNを利用してIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- NGNゲートウェイの設定

• 回線情報の設定

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - (〔標準〕) - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 次の順番で選択します。

〔ファクス〕 タブ - 〔IPファクス設定〕 - 〔NGN設定〕

4. 各項目を設定します。

5. 〔設定〕 をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「 〔IPファクス設定〕 - 〔NGN設定〕 の設定項目 」 148ページ](#)

➡ [「 ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\) 」 475ページ](#)

〔IPファクス設定〕 - 〔NGN設定〕 の設定項目

項目	設定値と説明
NGN使用	NGNを利用したIPファクス送受信を有効にするか無効にするかを選択します。
発信元番号	NGNを利用してIPファクスを送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。

NGNゲートウェイ設定

項目	設定値と説明
NGNゲートウェイアドレス取得方法	NGNゲートウェイのIPアドレスの取得方法を、〔手動〕、〔DHCP〕、〔DHCPv6〕から選択します。
ゲートウェイアドレス	NGN ゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII (0x20～0x7E) で表せる0～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\^ " は除きます。 〔NGNゲートウェイアドレス取得方法〕 で〔DHCP〕 または〔DHCPv6〕 を選択した場合、NGNゲートウェイのアドレスは自動的に取得されます。
最大使用帯域幅設定	NGNを利用したIPファクス通信に使用する最大帯域幅を、〔64kbps〕、〔512kbps〕、〔1000kbps〕 から選択します。

項目	設定値と説明
発信者ID通知を使用	プリンター本体のファクス番号（発信者ID）を相手先に通知するかどうかを選択します。

回線情報設定

項目	設定値と説明
回線情報自動設定	回線情報の取得方法を「手動設定」または「自動設定」から選択します。
外線番号	プリンター本体の外線番号を、0～9 * # +または半角スペースを使用し、32文字以内で入力します。
内線番号	プリンター本体の内線番号を1～99以内の半角数字で入力します。内線ファクスを使用する場合に入力してください。
ドメイン名	NGNゲートウェイに接続するときに使用するSIPドメイン名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および"<>\\' "は除きます。
ゲートウェイ接続ポート	NGNゲートウェイに接続するときに使用するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
ユーザー名	NGNゲートウェイに接続するためのユーザー名を入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～32文字以内で入力できます。ただし、空白文字および"<>\\' "は除きます。
パスワード	NGNゲートウェイに接続するためのパスワードを入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～32文字以内で入力できます。ただし、空白文字および"<>\\' "は除きます。

メディア(T.38)設定

項目	設定値と説明
T.38発信トランスポート*	SIPセッション確立後、データの送受信に使用するプロトコル「TCP」が表示されます。
T.38メディアタイプ	SIPセッション確立後、データの送受信に使用するメディアストリームの種類を「image」または「application」から選択します。
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。

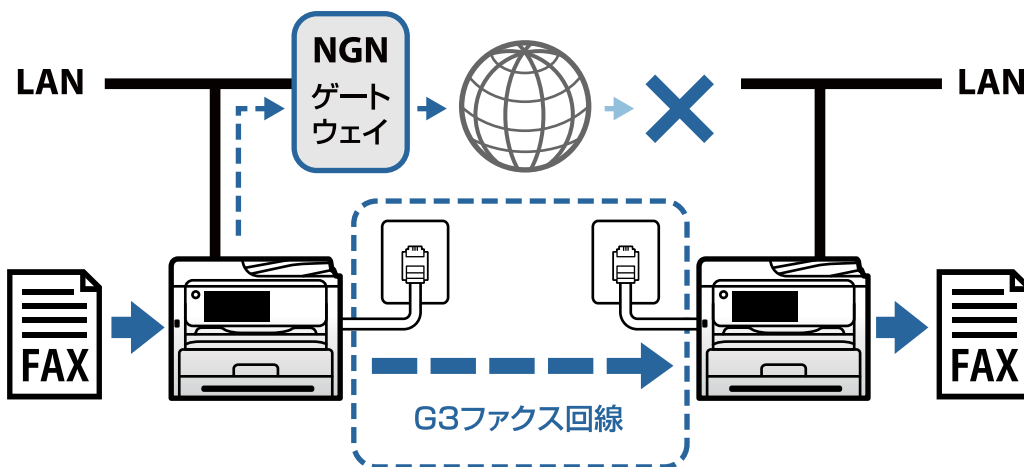
*: この項目はEpson Device Admin（設定テンプレート）の「ファクス」 - 「IPファクス設定」 - 「NGN設定」画面には表示されません。

関連情報

- ➡ [「NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定）」 147ページ](#)
- ➡ [「NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定）<Epson Device Admin>」 152ページ](#)

IPファクス（NGN）送信エラー時にG3ファクスで送信する

NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったとき、自動的にG3ファクスで再送信するように設定できます。



1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 次の順番で選択します。
[ファクス] タブ - [送信設定]
4. [IPファクス(NGN)送信エラー時にG3で送信] で [オン] を選択します。
初期値は [オン] です。NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったとき自動的にG3ファクスで再送信しないようにするには、[オフ] を選択します。
5. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」 475ページ](#)

Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のプリンターへ一度にIPファクスを設定できます。
詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➔ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ](#)

Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

Epson Device Admin.の設定テンプレートを使用してIPファクスの設定をします。以下の流れで設定値をプリンターに適用してください。

！重要 プリンターの管理者パスワードがEpson Device Adminに登録されていないときは、先にパスワードを登録してください。登録手順は以下を参照してください。

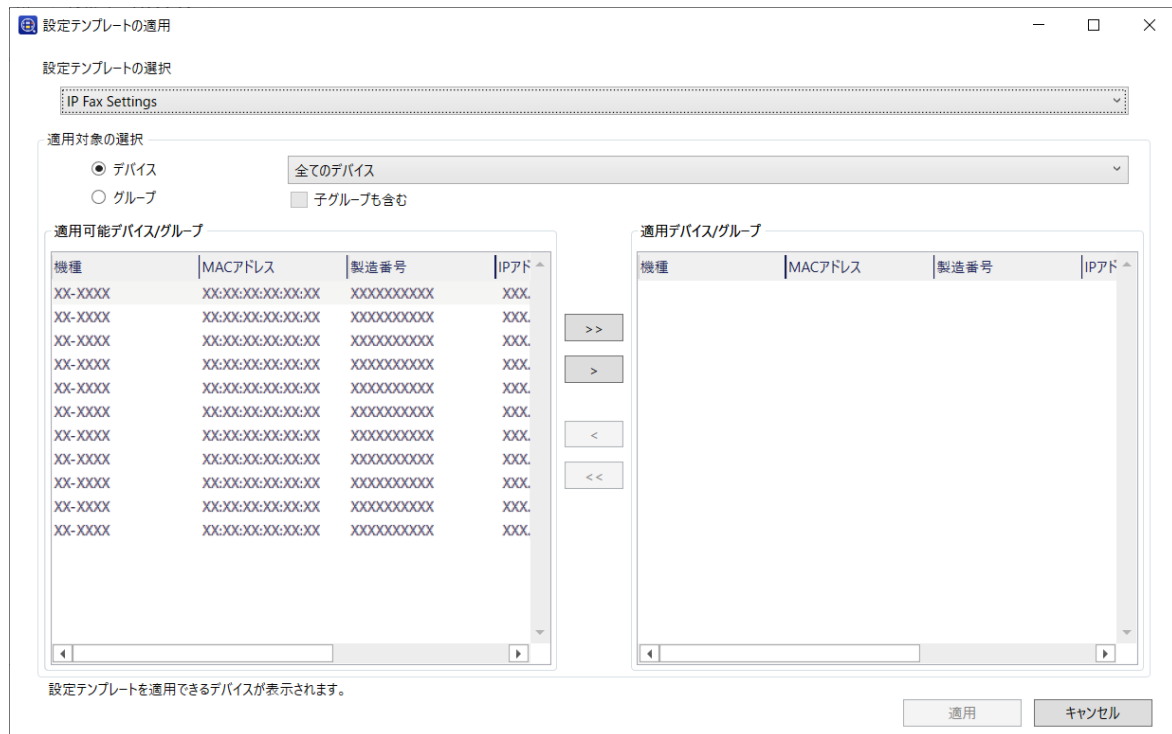
[「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」 159ページ](#)

1. 設定テンプレートを新規作成します。
2. 設定する機能の画面で設定値を入力または選択して、適用する項目にチェックを付けます。

以下は設定画面の例です。

3. 設定テンプレートを保存します。

4. 設定を適用するプリンターを選択して、設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報を参照してください。

関連情報

- ➡ [「設定テンプレートを新規作成する」 159ページ](#)
- ➡ [「設定テンプレートを適用する」 161ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ](#)

NGNを利用してIPファクスを送受信できるようにする（NGN設定） <Epson Device Admin>

NGNを利用してIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- NGNゲートウェイの設定
- 回線情報の設定

1. 設定テンプレートから、[ファクス] - [IPファクス設定] - [NGN設定] を選択します。

2. 各項目を設定します。

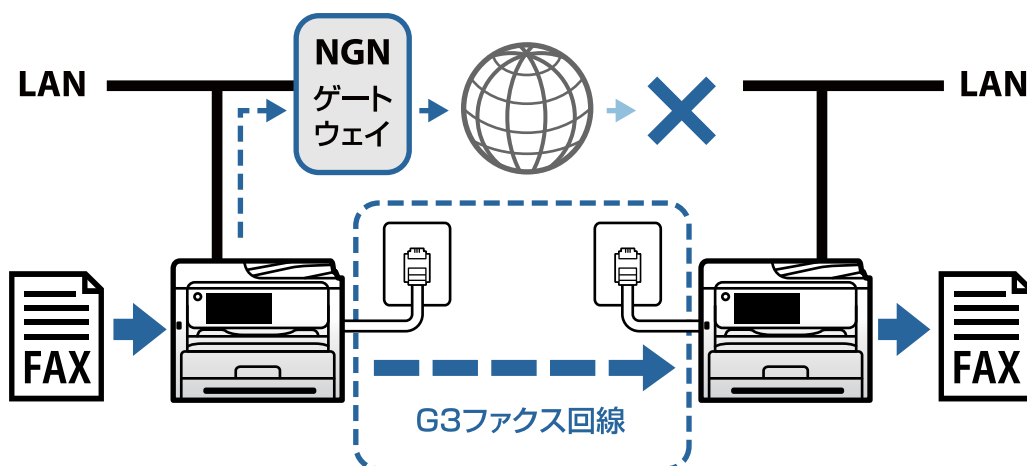
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「\[IPファクス設定\] - \[NGN設定\] の設定項目」 148ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ](#)

IPファクス（NGN）送信エラー時にG3ファクスで送信する <Epson Device Admin>

NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったとき、自動的にG3ファクスで再送信するように設定できます。



1. 設定テンプレートから、[ファクス] - [送信設定] を選択します。
2. [送信設定] にチェックを付けて、ファクス送信設定の各項目を設定します。
設定しない項目はチェックを外します。
3. [IPファクス(NGN)送信エラー時にG3で送信] で [する] を選択します。
NGNを経由して送信したIPファクスがエラーになったときに自動的にG3ファクスで再送信しないようにするには、[しない] を選択します。

関連情報

➡ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ](#)

設定時のトラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
何らかのトラブルが発生した場合、始めにプリンターの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- ネットワーク接続診断レポート
ネットワークとプリンターの状況を診断して、結果がレポートされます。
プリンター側から判別できるエラーを見つけることができます。
- 通信状態の確認
サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。

- 接続テスト
メールサーバーとの接続は、プリンターから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへの接続テストをして通信状態を確認します。
- 設定の初期化
設定や通信状態に問題がない場合、プリンターのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりすると、トラブルが解消する場合があります。

Web Configにアクセスできない

■ プリンターのIPアドレスが設定されていない

対処方法

プリンターに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。プリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

■ TLSのバージョンがサポートされていない

対処方法

TLSのバージョン1.2以上で通信する必要があります。

バージョン1.0、またはバージョン1.1は初期状態では無効になっています。

バージョン1.0、またはバージョン1.1で通信をする場合、最初にTLSのバージョン1.2以降で通信ができる機器からWeb Configにアクセスし、TLSのバージョン1.0、または1.1を有効にしてください。

➡ [「SSL/TLS通信の基本設定をする」 597ページ](#)

■ WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

対処方法

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで起動できます。使用しているブラウザが対応しているか確認してください。

- 80bit : AES256/AES128/3DES
- 112bit : AES256/AES128/3DES
- 128bit : AES256/AES128
- 192bit : AES256
- 256bit : AES256

■ CA署名証明書の有効期限が切れた

対処方法

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

■ 証明書とプリンターのコモンネームが一致していない

対処方法

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。

CA署名証明書の場合は該当のプリンター用に証明書を取得し直してください。

■ ブラウザーにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

対処方法

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、LAN (ローカルアドレス) にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS :
[システム環境設定] (または [システム設定]) - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。

記入例 :

192.168.1.* : ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0の場合

192.168.*.* : ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0の場合

拡張機能の紹介

拡張機能の概要	157
赤色消去	163
IPファクス	165
Epson Print Admin Serverless	184

拡張機能の概要

このプリンターで利用できる拡張機能について説明します。拡張機能は、ライセンスキーを登録することで有効にできます。ライセンスキーの入手方法については、保守サービス実施店にご確認ください。

拡張機能一覧

名称	説明
赤色消去	原稿の赤色の部分を消去したコピーやスキャンができます。赤文字の手書きメモを消して原稿を復元したい場合などに便利です。
IPファクス	IPネットワーク（イントラネット）上のIPファクス対応端末やゲートウェイ経由でG3ファクス機と通信する機能です。IPネットワーク上でデータを送受信するため、通常のファクス送信のような通信費はかかりません。 NGNを利用したファクス送受信はライセンスキーの登録をせずに使用できます。
Epson Print Admin Serverless	サーバー不要で認証印刷ができます。ログインしてから印刷すれば、人の目に触れずに安心です。 ログインしてからスキャンすれば、自分のメールアドレスにスキャンデータを送信したり、あらかじめ登録されている保存先フォルダーに保存したりできます。

関連情報

- ➡ [「赤色消去」 163ページ](#)
- ➡ [「IPファクス」 165ページ](#)
- ➡ [「Epson Print Admin Serverless」 184ページ](#)

ライセンスキーの登録

ライセンスキーをプリンターに登録して拡張機能を有効にします。

ライセンスキーをプリンターに登録するには、以下のいずれかの方法があります。プリンターをお使いの環境に応じて、適切な方法でライセンスキーを登録してください。

- Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）
- Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）

ここでは、以下の機能のライセンスキー登録方法を説明します。

- 赤色消去
- IPファクス機能（NGN利用を除く）

Epson Print Admin Serverlessのライセンスキー登録方法については、お使いの機種種の『Epson Print Admin Serverless導入・管理ガイド』をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）」 158ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）」 158ページ](#)

- ➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」475ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」478ページ](#)

Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）

個別に設定する場合はWeb Configを使います。

 **参考** プリンターの操作パネルからも設定できます。
[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [拡張機能]

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. [ログオン] をクリックします。
3. [現在のパスワード] に管理者パスワードを入力します。
4. [確認] をクリックします。
5. [デバイス管理] タブ - [拡張機能] を選択します。
6. 使用する拡張機能の [ライセンスキー] にライセンスキーを入力します。
7. [ライセンス認証] をクリックします。
「再起動が必要です」と表示されます。
8. [電源再起動] をクリックします。
9. 再起動確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
プリンターが再起動します。
再起動後、Web Configの表示を更新して、「ライセンス認証済み」と表示されていれば拡張機能は有効です。

関連情報

- ➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」475ページ](#)

Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）

Epson Device Adminの設定テンプレートを使うと、CSVファイルに記載された複数のライセンスキーを複数のプリンターに一度に適用できます。

1. 設定テンプレートを新規作成します。
2. 設定テンプレートにライセンスキーをインポートします。
3. 設定テンプレートを目的のプリンターに適用します。

関連情報

- ➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ
- ➡ 「設定テンプレートを新規作成する」 159ページ
- ➡ 「ライセンスキーをインポートする」 160ページ
- ➡ 「設定テンプレートを適用する」 161ページ

Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する

Epson Device Adminを使ってプリンターを設定する前に、Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録します。

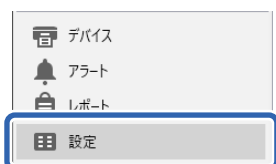
参考 プリンターの管理者パスワードを変更した場合は、Epson Device Adminに登録されているプリンターの管理者パスワードを更新してください。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
3. 「オプション」 - 「パスワード管理」を選択します。
4. 「自動パスワード管理機能を有効にする」にチェックを付けて、「パスワード管理」をクリックします。
5. 該当するプリンターを選択して「編集」をクリックします。
6. パスワードを設定して、「登録/更新」をクリックします。

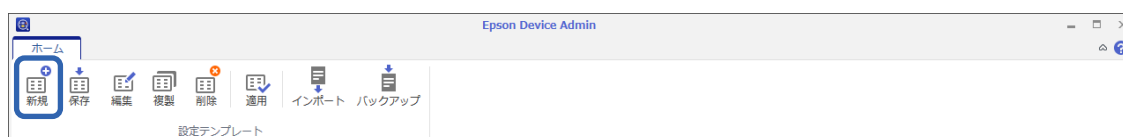
設定テンプレートを新規作成する

設定テンプレートを新規で作成します。

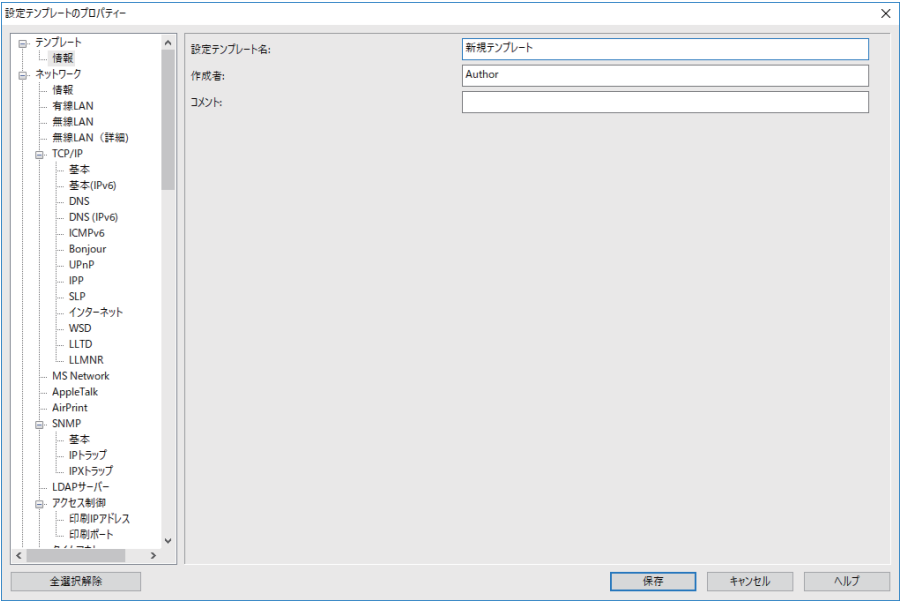
1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで「設定」を選択します。



3. リボンメニューで「新規」を選択します。



4. 各項目を設定します。



項目	説明
設定テンプレート名	設定テンプレートの名称です。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
作成者	テンプレートの作成者情報です。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
コメント	任意の情報を入力します。 Unicode（UTF-8）で表せる文字で、1024文字以内で入力します。

5. 左のメニューから設定したい機能を選択します。

参考 左のメニュー項目をクリックするとそれぞれの画面に切り替わります。設定した値は、キャンセルしなければ画面を切り替えても保持されます。全ての項目の設定が終了してから「保存」をクリックしてください。

ライセンスキーをインポートする

- 設定テンプレートのプロパティで、「管理者設定」 - 「ライセンス認証」を選択します。
- 「ライセンスキーリスト」を選択します。
- 「インポート」をクリックします。
- ライセンスキーのCSVファイルを指定し、「開く」をクリックします。
ファイルが読み込まれ、内容が表示されます。

参考

- リストからプリンターを選択して「削除」をクリックすると、リストからライセンスキーを削除できます。
- 「インポート」を再度クリックして、別のCSVファイルを追加できます。

5. [保存] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。
7. 保存完了メッセージ画面 [OK] をクリックします。

テンプレートが保存され、画面が閉じます。

参考 設定テンプレートを再度開くには、[設定テンプレート名] から保存した設定テンプレートを選択し、リボンメニューから [編集] をクリックしてください。

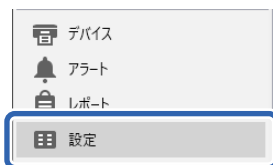
設定テンプレートを適用する

保存した設定テンプレートをプリンターに適用します。設定テンプレートのチェックのある項目が適用されます。対象プリンターに該当する機能がない場合は適用されません。

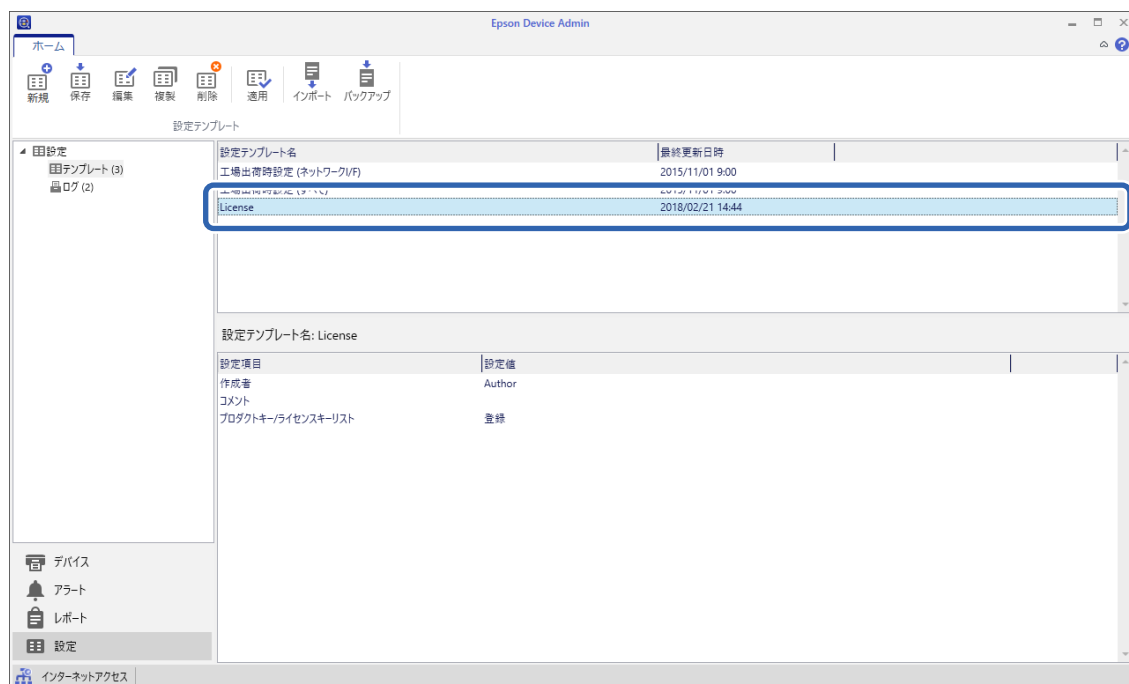
Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録していない場合は、この操作をする前にパスワードを登録してください。

[「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」159ページ](#)

1. サイドバースクメニューで [設定] を選択します。

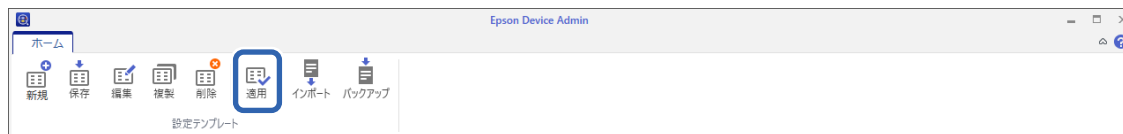


2. [設定テンプレート名] から適用する設定テンプレートを選択します。



3. リボンメニューで「適用」をクリックします。

デバイス選択画面が表示されます。



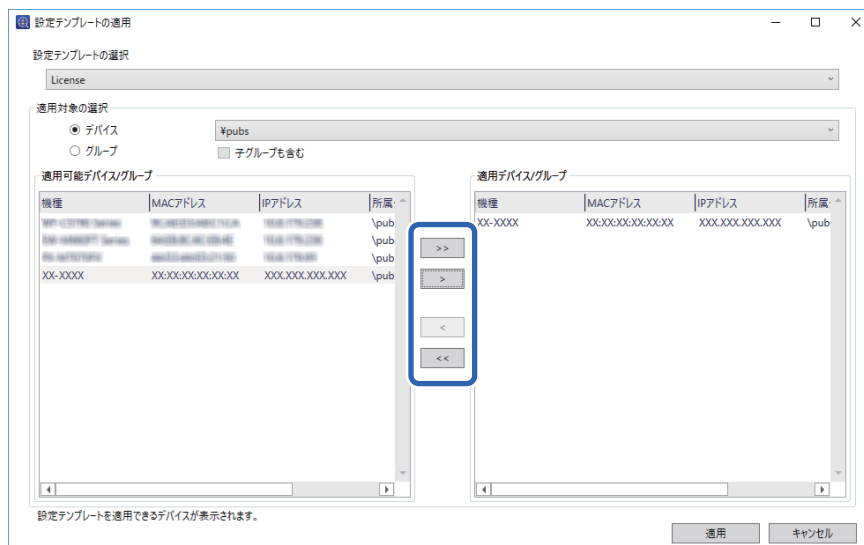
4. 設定テンプレートを適用する対象を選択します。

参考

- ・ 「デバイス」を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
- ・ 「グループ」を選択すると、グループが表示されます。「子グループも含む」にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

5. 適用するプリンターまたはグループを「>」、「>>」、「<」、「<<」を使って「適用デバイス/グループ」へ移動します。

「>」は選択したプリンターまたはグループ、「>>」は全てのプリンターまたはグループを移動できます。複数のプリンターやグループを選択するときは、「Ctrl」または「Shift」を押したままクリックして選択してください。

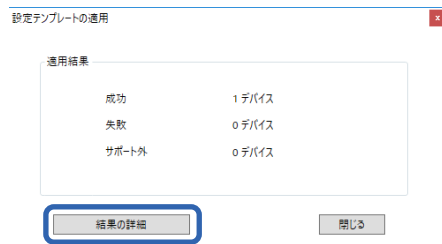


6. 「適用」をクリックします。

設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。

7. 「OK」をクリックします。

8. 「結果の詳細」をクリックして、適用内容を確認します。



適用した項目でが表示されていれば、適用は成功です。



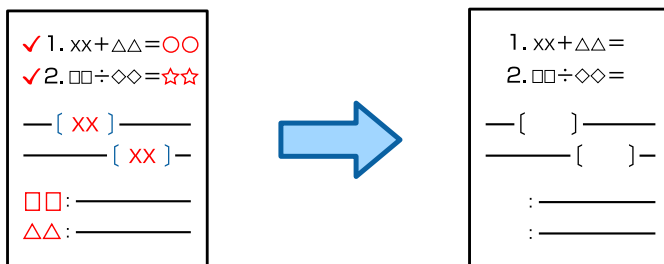
9. 「閉じる」をクリックします。

赤色消去

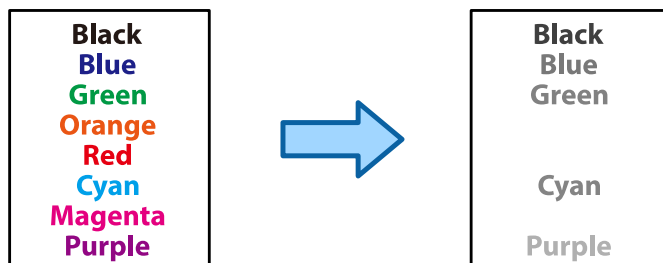
赤色消去機能の概要

赤色消去機能は、原稿の赤い部分を消してコピーやスキャンをする機能です。

例えば、回答を赤字で記入してあるテストの原稿を、赤色消去機能を使ってコピーすると、回答箇所だけを消した原稿を簡単に作成できます。



- 参考**
- ・ カラーモードでカラーを選択した場合、印刷結果はモノクロ調となります。
 - ・ 原稿によっては赤色消去できないことがあります。また、原稿によっては赤色に近い色（オレンジなど）が消去されたり、薄い黒色に置き換わったりすることがあります。



関連情報

- ➡ [「赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにコピーされる」 417ページ](#)
- ➡ [「赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにスキャンされる」 420ページ](#)

赤色消去機能を有効にする（ライセンスキーの登録）

ライセンスキーをプリンターに登録して、赤色消去機能を有効にします。
詳細は下の関連情報をご覧ください。

- 参考** ライセンスキーは、販売店などによってすでに登録されている場合があります。

関連情報

- ➡ [「ライセンスキーの登録」 157ページ](#)

赤色消去機能を使用する

コピー

赤色消去機能を使ってコピーする方法は以下をご覧ください。
[「赤色を消去してコピーする」 273ページ](#)

スキャン

赤色消去機能を使ってスキャンするには、操作パネルのスキャン設定で「赤色消去」を「オン」にしてください。

機能名	赤色消去	関連情報
ネットワークフォルダー	✓	「原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する」 282ページ
メール	✓	「原稿をスキャンしてメールに添付する」 283ページ
コンピューター	-	「原稿をスキャンしてコンピューターに保存する」 285ページ

機能名	赤色消去	関連情報
外部メモリー	✓	「原稿をスキャンして外部メモリーに保存する」 286ページ
クラウド	✓	「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」 286ページ
スキャン to マイメール 機能 (Epson Print Admin Serverless使用時)	✓	「スキャンについて」 185ページ
スキャン to マイフォルダー機能 (Epson Print Admin Serverless使用時)	✓	

✓ = 対応

- = 非対応

IPファクス

IPファクス機能の概要

IPファクスとはファクスの機能で、IPネットワークでデータの送受信をします。以下のメリットがあります。

- 通信費用を削減できる
- 高速な通信ができる
- 電話回線網での通常のファクスと同様、リアルタイムに通信できる

IPファクスを使用すると、以下のファクスの送受信ができます。

- イン트라ネット上のIPファクス対応機器間で送受信する
- IPネットワークと電話回線網を中継するVoIPゲートウェイという機器を使って、電話回線網に接続しているG3ファクス対応機と送受信する
ただし、VoIPゲートウェイから通信相手までの通信で費用が発生します（距離や時間に応じた従量課金）。
- NGN通信網を利用して送受信する（この機能は、ライセンスキーを登録しなくても使用できます）
[「NGNを利用したIPファクスをえるようにする」 146ページ](#)

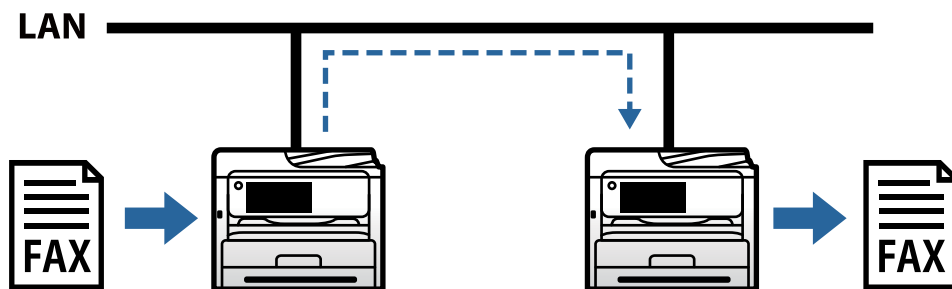
イントラネット（企業内ネットワーク）内で送受信する

IPアドレスやホスト名を使用して送受信する

通信する機器がそれぞれIPファクスに対応していれば、イントラネットでIPファクスを送受信できます。
宛先入力例：

- 例1：11111@host.local
- 例2：User1@192.168.1.1

- 例3：User1@[2001:0db8::1234:5678:90ab:cdef]



SIPサーバーを使用して送受信する

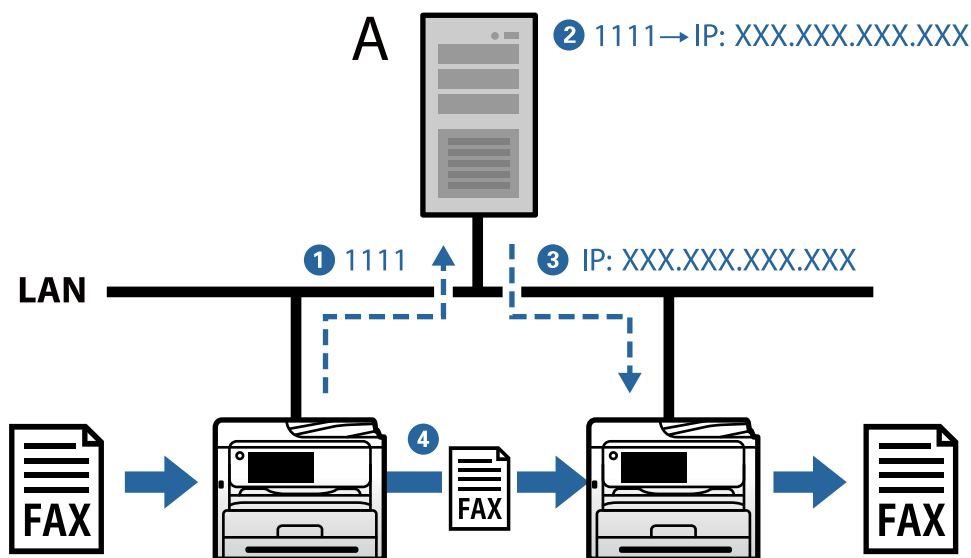
SIPサーバーとは、SIP（Session Initiation Protocol）を利用した電話サービスの管理や制御をするサーバーです。SIPサーバーの主な機能は以下の通りです。

- プロキシサーバー：SIPリクエストやSIPレスポンスを中継する
- レジストラサーバー：IPネットワークの機器のアドレス情報を受け取り、データベースに登録する
- リダイレクトサーバー：SIPリクエストに対して、アドレス情報を返す

SIPサーバーを使用して、SIPユーザー名やファクス番号で宛先を指定できます。

宛先入力例：

- SIPユーザー名：1111



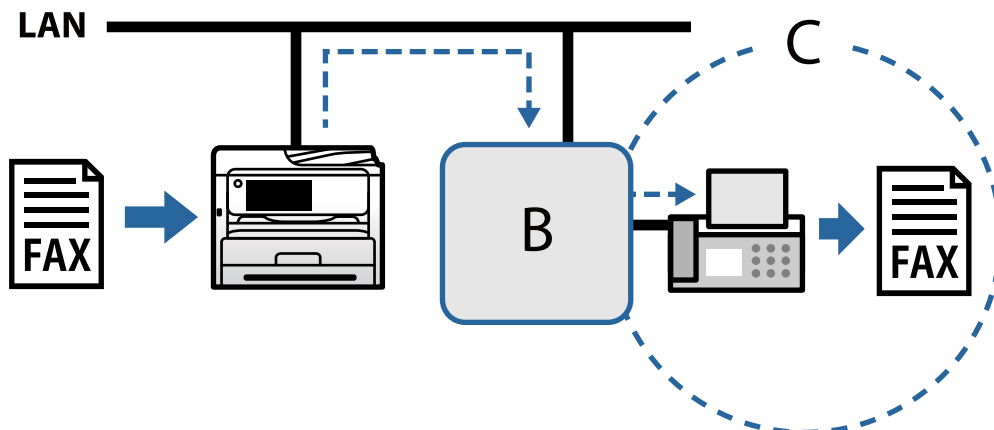
ASIPサーバー

G3ファクス対応機器を使用して送受信する（VoIPゲートウェイ経由）

VoIP（Voice over Internet Protocol）ゲートウェイは、IPネットワークと電話回線の中継を行う機器です。デジタルIPパケット（T.38）とアナログ音声データ（T.30）を相互変換することで通信します。VoIPゲートウェイを使用すれば、IPファクス対応機とG3ファクス対応機間で送受信できるようになります。

宛先入力例：

- ファクス番号：0312345678



B：VoIPゲートウェイ

C：公衆電話網

IPファクスを使えるようにする

設定の流れ

IPファクスを使用するためには、以下の設定が必要です。設定はプリンターの管理者が行ってください。

参考 NGN通信網を利用して送受信する機能は、ライセンスキーを登録しなくても使用できます。
[「NGNを利用したIPファクスを使えるようにする」 146ページ](#)

1. 標準のファクスの設定をします（未設定の場合）。
[「ファクスを使えるようにする（ファクス対応機のみ）」 113ページ](#)
2. プリンターをネットワークに接続します。
[「プリンターをネットワークに接続する」 43ページ](#)
3. ライセンスキーをプリンターに登録して、IPファクス機能を有効にします。
 - Web Configを使った個別設定
[「Web Configでライセンスキーを登録する（個別登録）」 158ページ](#)
 - Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定
[「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する（一括登録）」 158ページ](#)

参考 ライセンスキーは、販売店などによって既に登録されている場合があります。

4. 環境に応じた設定をします。

- Web Configを使った個別設定
 - イン트라ネット内で送受信する設定
[「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）」168ページ](#)
 - VoIPゲートウェイ経由でG3ファクス機と送受信する設定
[「VoIPゲートウェイ利用時のIPファクス設定」171ページ](#)
- Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定
 - イン트라ネット内で送受信する設定
[「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）＜Epson Device Admin＞」178ページ](#)
 - VoIPゲートウェイ経由でG3ファクス機と送受信する設定
[「G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）＜Epson Device Admin＞」179ページ](#)

5. IPファクスで使う宛先をアドレス帳に登録します。

[「アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）」85ページ](#)

関連情報

- ➡ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」475ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」478ページ](#)

IPファクスを使用するための設定

IPファクスを使用するために必要な設定を行います。

 **参考** NGN通信網を利用して送受信する機能は、ライセンスキーを登録しなくても使用できます。
[「NGNを利用したIPファクスを使えるようにする」146ページ](#)

Web Configを使った個別設定

個別のプリンターごとにIPファクスの設定をする方法について説明します。

関連情報

- ➡ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」475ページ](#)

イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）

イントラネット内でIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- SIPサーバーの設定（SIPサーバーを使用する場合）

1. Web Configで [ファクス] タブ - [IPファクス設定] - [LAN設定] を選択します。
2. 各項目を設定します。

3. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ 「[IPファクス設定] - [LAN設定] の設定項目」169ページ
- ➡ 「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」475ページ

[IPファクス設定] - [LAN設定] の設定項目

項目	設定と説明
LAN使用	イントラネット内でIPファクスの送受信を有効にするか無効にするかを選択します。
発信元番号	イントラネット (LAN) 内でIPファクス対応機にIPファクス送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
本体URI	使用する接続環境に合わせて以下のように設定します。 - SIPサーバーを使用しない場合: sip : 《ユーザー名》 @ 《プリンター本体のホスト名またはIPアドレス》 - SIPサーバーを使用する場合: sip : 《プリンター本体のSIPユーザー名》 * @ 《SIPサーバーのホスト名またはIPアドレス》
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
SIP発信トランスポート	SIPリクエストを送信する際に使用するプロトコルを、[UDP] または [TCP] から選択します。

*: SIPユーザー名とは、SIPサーバーにIPアドレスと関連付けて登録する名称のことです。IPファクス受信時の宛先として使用されます。内線番号のように、他のファクス機と重ならない数字または名前を設定してください。

SIPサーバー設定

項目		設定と説明
SIPサーバー使用		SIPサーバーを使用するかどうかを選択します。
プライマリーレジ ストラーサーバー	サーバーアドレス	プライマリーレジストラーサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。 ASCII（0x20～0x7E）の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\'`
	ポート番号	プライマリーレジストラーサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力 します。
	ユーザー名	プライマリーレジストラーサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。 ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字 は使用できません。"<>\'`
	パスワード	プライマリーレジストラーサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。 ASCII（0x20～0x7E）の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字 は使用できません。"<>\'`

項目		設定と説明
セカンダリーレジストラーサーバー	サーバーアドレス	セカンダリーレジストラーサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
	ポート番号	セカンダリーレジストラーサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	セカンダリーレジストラーサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
	パスワード	セカンダリーレジストラーサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
プライマリープロキシサーバー	サーバーアドレス	プライマリープロキシサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
	ポート番号	プライマリープロキシサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	プライマリープロキシサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
	パスワード	プライマリープロキシサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
セカンダリープロキシサーバー	サーバーアドレス	セカンダリープロキシサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
	ポート番号	セカンダリープロキシサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
	ユーザー名	セカンダリープロキシサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`
	パスワード	セカンダリープロキシサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～32文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。"<>\\^`

参考 1台のSIPサーバーが、レジストラーサーバーとプロキシサーバーの両方の機能を備えている場合があります。その場合は、[サーバーアドレス] に同じ値を入力してください。

メディア(T.38)設定

項目	設定と説明
T.38発信トランスポート	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するプロトコルを [UDPTL] または [TCP] から選択します。

項目	設定と説明
T.38メディアタイプ	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するメディアストリームの種類を [image] または [application] から選択します。
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
RTP受信ポート番号	RTP (Real-time Transport Protocol) の受信ポート番号を1024～65534以内の半角数字で入力します。

関連情報

- ➡ [「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）」 168ページ](#)
- ➡ [「イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定）<Epson Device Admin>」 178ページ](#)

VoIPゲートウェイ利用時のIPファクス設定

G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）

VoIPゲートウェイを経由し、G3ファクス対応機とIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- VoIPゲートウェイの登録

！重要 VoIPゲートウェイを使用するためには、VoIPゲートウェイを登録した後に、接続したいVoIPゲートウェイの優先順位を設定する必要があります。詳しくは以下を参照してください。
[「VoIPゲートウェイの優先設定」 173ページ](#)

1. Web Configで [ファクス] タブ - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。
 設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「 \[IPファクス設定\] - \[VoIPゲートウェイ設定\] の設定項目」 171ページ](#)
- ➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」 475ページ](#)

[IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の設定項目

項目	設定と説明
VoIPゲートウェイ使用	VoIPゲートウェイを経由したIPファクスの送受信を有効にするか無効にするかを選択します。

項目	設定と説明
発信元番号	VoIPゲートウェイ経由でG3ファクス対応機にIPファクス送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
本体URI	以下のように設定します。 sip : 《IPファクスで使用するファクス番号》* @ 《プリンター本体のホスト名またはIPアドレス》
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
SIP発信トランスポート	発信SIP要求の送信に使用するプロトコルを [UDP] または [TCP] から選択します。
VoIPゲートウェイ登録	接続したいVoIPゲートウェイを登録します。詳細は以下を参照してください。 「VoIPゲートウェイを登録する」 172ページ
VoIPゲートウェイ優先設定	接続したいVoIPゲートウェイの優先順位を設定します。詳細は以下を参照してください。 「VoIPゲートウェイの優先設定」 173ページ

*: このファクス番号が、G3ファクスとの送受信に使用されるプリンター本体のファクス番号になります。事前にこのファクス番号をVoIPゲートウェイに登録しておいてください。

メディア(T.38)設定

項目	設定と説明
T.38発信トランスポート	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するプロトコルの [UDPTL] が表示されます。
T.38メディアタイプ	SIPセッションの確立後、データの送受信に使用するメディアストリームタイプの [image] が表示されます。
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
RTP受信ポート番号	RTP (Real-time Transport Protocol) の受信ポート番号を1024～65534以内の半角数字で入力します。

関連情報

➡ [「G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする \(VoIPゲートウェイ経由\)」 171ページ](#)

VoIPゲートウェイを登録する

IPファクスの送受信に使用するVoIPゲートウェイを登録します。

1. Web Configにアクセスして、[ファクス] タブ - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順にクリックします。
2. [VoIPゲートウェイ登録] - [編集] の順にクリックします。
登録済みVoIPゲートウェイの一覧が画面に表示されます。
3. 登録または編集したい番号を選択し、[編集] ボタンをクリックします。

4. 各項目を設定します。

IPファクス設定 > VoIPゲートウェイ設定

登録名:

VoIPゲートウェイA

IPアドレス:

XXX.XXX.XXX.XXX

ポート番号:

XXXXX

番号:

0

設定

戻る

- 登録名
UTF-16の30文字以内でVoIPゲートウェイ名を入力します。ただし、制御文字(0x00～0x1Fおよび0x7F)は使用できません。
- IPアドレス
VoIPゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII (0x20～0x7E) の0～127文字で入力できます。ただし、空白または次の文字は使用できません。 "<>\\^`|}"
- ポート番号
VoIPゲートウェイのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。

5. [設定] ボタンをクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\) 」 475ページ](#)

VoIPゲートウェイの優先設定

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイを登録した後、VoIPゲートウェイの送信条件と優先順位を設定する必要があります。

- 送信条件：
送信先（G3ファクス対応機）のファクス番号の先頭数字を設定します。送信時に指定した送信先のファクス番号の先頭数字と送信条件が一致するVoIPゲートウェイがあると、そのVoIPゲートウェイを経由して送信されます。
- 優先度：
優先順位が高い方から順に送信条件を判定して、経由するVoIPゲートウェイを決定します。

例えば、3つのVoIPゲートウェイに対して、以下のように設定したとします。

優先度	送信条件	接続先
1	011	VoIPゲートウェイ A
2	012	VoIPゲートウェイ B
3	013	VoIPゲートウェイ A
4	01	VoIPゲートウェイ C

この場合、「011」「013」で始まるファクス番号の宛先にはVoIPゲートウェイ A経由で送信され、「012」で始まるファクス番号の宛先にはVoIPゲートウェイ B経由で送信されます。また、「014」～「019」で始まるファクス番号であれば、優先順位4の送信条件「01」と一致するため、VoIPゲートウェイ C経由で送信されます。

！重要

- VoIPゲートウェイを1つだけ登録した場合でも、[VoIPゲートウェイ優先設定] で送信条件と優先順位を設定してください。
- 送信先のファクス番号がVoIPゲートウェイ優先設定で設定された送信条件と1つも一致しない場合、ファクスは送信されません。

関連情報

- ➡ [「VoIPゲートウェイの送信条件を設定する」 174ページ](#)
- ➡ [「VoIPゲートウェイの優先度を設定する」 175ページ](#)

VoIPゲートウェイの送信条件を設定する

ここでは、登録したVoIPゲートウェイの送信条件の設定方法を説明します。

- Web Configにアクセスして、[ファクス] タブ - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順にクリックします。
- [VoIPゲートウェイ優先設定] - [編集] の順にクリックします。
登録済みVoIPゲートウェイの優先度の設定画面が表示されます。
- [設定] ボタンをクリックします。

IPファクス設定 > VoIPゲートウェイ設定

	優先度	条件	登録名
☐	1		
☐	2		
☐	3		
☐	4		

☒ 設定 ☐ 優先度

4. 送信条件を編集する項目を選択し、[編集] ボタンをクリックします。

IPファクス設定 > VoIPゲートウェイ設定

	優先度	条件	登録名
☒	1		
☐	2		
☐	3		
☐	4		

☒ 設定
 ☐ 優先度

編集
削除
閉じる

登録済みVoIPゲートウェイの送信条件の設定画面が表示されます。

5. 各項目を設定します。

IPファクス設定 > VoIPゲートウェイ設定

VoIPゲートウェイ設定:

☒ VoIPゲートウェイA

☐ VoIPゲートウェイB

☐ VoIPゲートウェイC

条件:

XX

設定

戻る

- VoIPゲートウェイ設定
送信条件が一致したときに接続するVoIPゲートウェイを選択します。
- 条件
送信先のファクス番号の先頭数字を入力します。

6. [設定] ボタンをクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

参考

- 送信条件を変更する場合は、[編集] ボタンをクリックします。
- 送信条件を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックします。

関連情報

➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」](#) 475ページ

VoIPゲートウェイの優先度を設定する

ここでは、登録したVoIPゲートウェイの優先度を設定する方法について説明します。

VoIPゲートウェイの送信条件の設定後に本設定を行う場合は、VoIPゲートウェイの優先度を設定する画面が表示されています。手順3に進んでください。

1. Web Configにアクセスして、[ファクス] タブ - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順にクリックします。
2. [VoIPゲートウェイ優先設定] - [編集] の順にクリックします。
登録済みVoIPゲートウェイの優先度の設定画面が表示されます。

3. [優先度] を選択します。

IPファクス設定 > VoIPゲートウェイ設定

	優先度	条件	登録名
☒	1	XX	VoIPゲートウェイA
☐	2	XX	VoIPゲートウェイB
☐	3	XX	VoIPゲートウェイC
☐	4		

☐ 設定 ☒ 優先度

4. 優先度を変更するには、[Up] または [Down] をクリックします。

IPファクス設定 > VoIPゲートウェイ設定

	優先度	条件	登録名
☐	1	XX	VoIPゲートウェイA
☒	2	XX	VoIPゲートウェイB
☐	3	XX	VoIPゲートウェイC
☐	4		

☐ 設定 ☒ 優先度

5. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」 475ページ](#)

Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のプリンターへ一度にIPファクスを設定できます。
詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ [「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ](#)

Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

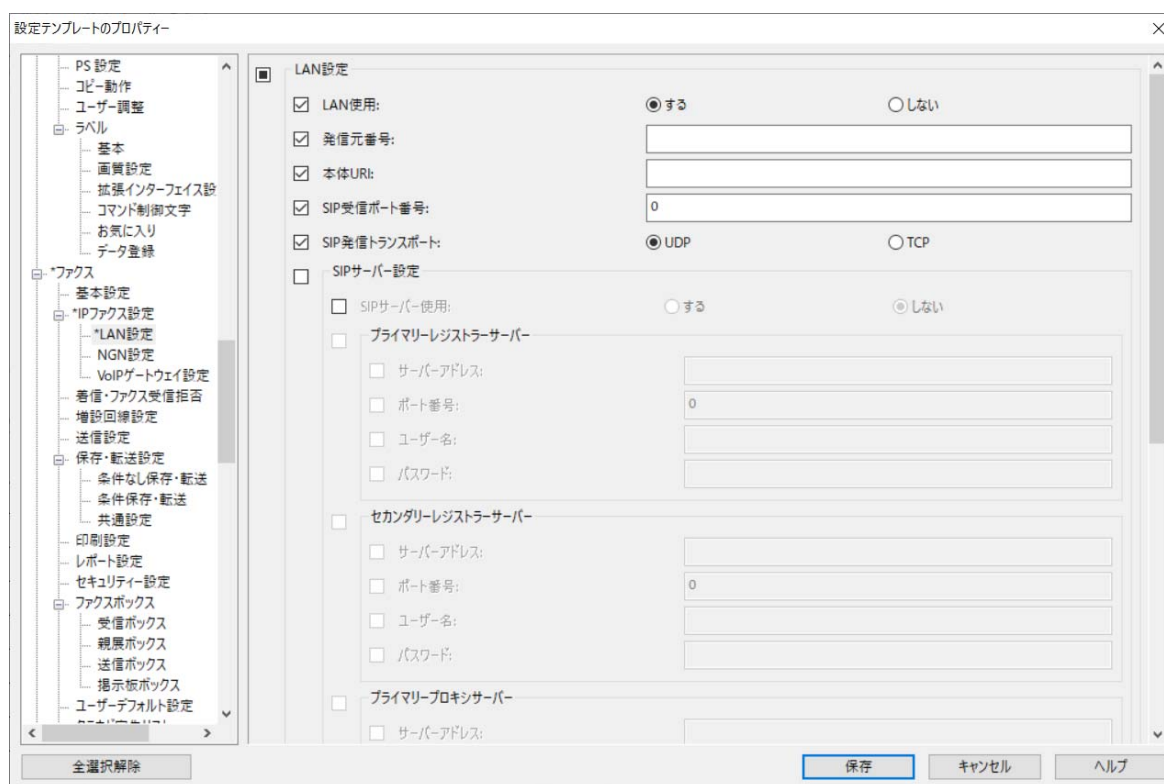
Epson Device Admin.の設定テンプレートを使用してIPファクスの設定をします。以下の流れで設定値をプリンターに適用してください。

！重要 プリンターの管理者パスワードがEpson Device Adminに登録されていないときは、先にパスワードを登録してください。登録手順は以下を参照してください。

[「Epson Device Adminにプリンターの管理者パスワードを登録する」 159ページ](#)

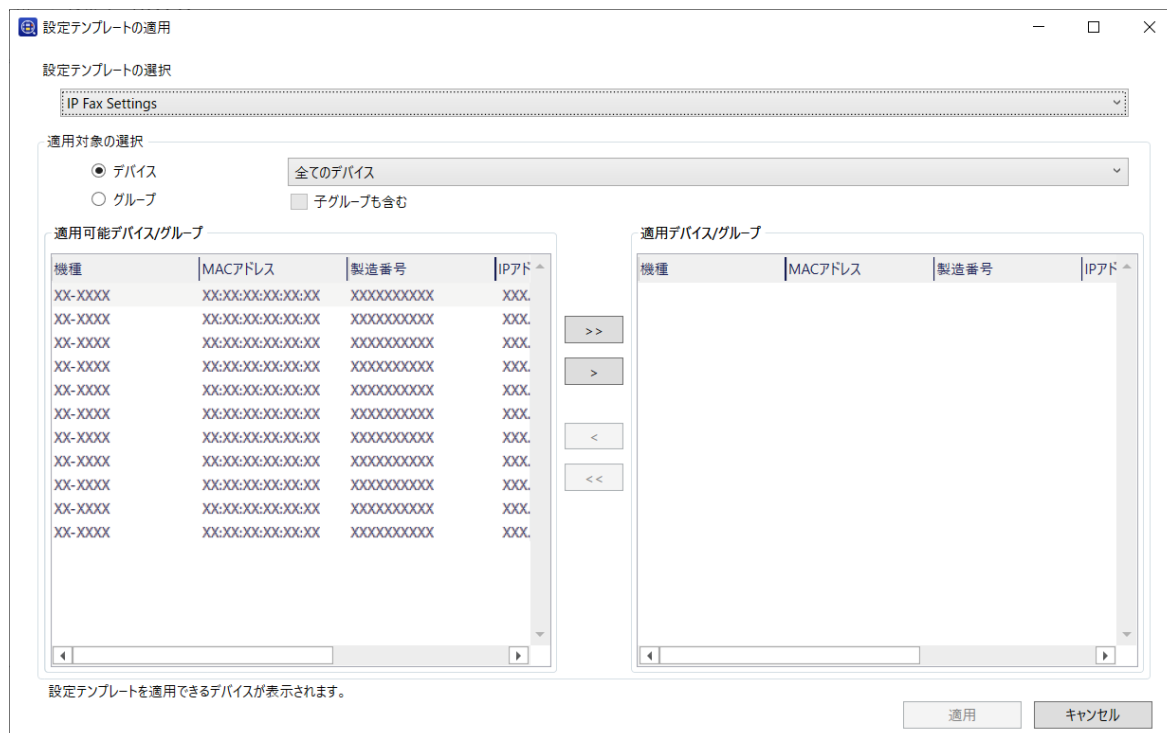
1. 設定テンプレートを新規作成します。
2. 設定する機能の画面で設定値を入力または選択して、適用する項目にチェックを付けます。

以下は設定画面の例です。



3. 設定テンプレートを保存します。

4. 設定を適用するプリンターを選択して、設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報を参照してください。

関連情報

- ➡ 「設定テンプレートを新規作成する」 159ページ
- ➡ 「設定テンプレートを適用する」 161ページ
- ➡ 「ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア（Epson Device Admin）」 478ページ

イントラネット内でIPファクスを送受信できるようにする（イントラネット設定） <Epson Device Admin>

イントラネット内でIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- SIPサーバーの設定（SIPサーバーを使用する場合）

1. 設定テンプレートから、[ファクス] - [IPファクス設定] - [LAN設定] の順に選択します。

2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➡ 「[IPファクス設定] - [LAN設定] の設定項目」 169ページ
- ➡ 「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ

G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする（VoIPゲートウェイ経由）＜Epson Device Admin＞

VoIPゲートウェイを経由し、G3ファクス対応機とIPファクスを送受信するためには、以下の設定が必要です。

- プリンター本体のSIP情報の設定
- VoIPゲートウェイの登録

！重要 VoIPゲートウェイを使用するためには、VoIPゲートウェイを登録した後に、接続するVoIPゲートウェイの優先順位の設定が必要です。詳細は以下を参照してください。
[「VoIPゲートウェイの優先設定＜Epson Device Admin＞」 181ページ](#)

1. 設定テンプレートから、[ファクス] - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順に選択します。
2. 各項目を設定します。

関連情報

- ➡ [「\[IPファクス設定\] - \[VoIPゲートウェイ設定\] の設定項目＜Epson Device Admin＞」 179ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ](#)

[IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の設定項目＜Epson Device Admin＞

項目	設定値と説明
VoIPゲートウェイ使用	VoIPゲートウェイを経由したIPファクス送受信を有効にするか無効にするかを選択します。
発信元番号	VoIPゲートウェイを経由してIPファクスを送信するときの発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 +または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
本体URI	以下のように設定します。 sip : 《IPファクスで使用するファクス番号》* @ 《プリンター本体のホスト名またはIPアドレス》
SIP受信ポート番号	SIPパケットを受信するポート番号を、1～65535以内の半角数字で入力します。
SIP発信トランスポート	発信SIP要求の送信に使用するプロトコルを [UDP] または [TCP] から選択します。

*： このファクス番号が、G3ファクスとの送受信に使用されるプリンター本体のファクス番号になります。事前にこのファクス番号をVoIPゲートウェイに登録しておいてください。

VoIPゲートウェイ登録

登録または編集したいVoIPゲートウェイの項目を選択し、[編集] をクリックします。詳細は以下を参照してください。
[「VoIPゲートウェイを登録する＜Epson Device Admin＞」 180ページ](#)

項目	設定値と説明
ID	VoIPゲートウェイの登録IDを表示します。
登録名	VoIPゲートウェイの名称を表示します。
IPアドレス	VoIPゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを表示します。

項目	設定値と説明
ポート番号	VoIPゲートウェイのポート番号を表示します。

VoIPゲートウェイ優先設定

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイの送信条件と優先順位を設定します。詳細は以下を参照してください。

[「VoIPゲートウェイの送信条件を設定する<Epson Device Admin>」 182ページ](#)

[「VoIPゲートウェイの優先度を設定する<Epson Device Admin>」 183ページ](#)

項目	設定値と説明
優先度	VoIPゲートウェイの優先度を表示します。
VoIPゲートウェイ(ID)	[VoIPゲートウェイ登録] の一覧に登録されている登録IDを表示します。
条件	宛先のファクス番号の先頭数字 (VoIPゲートウェイの送信条件) を表示します。

メディア(T.38)設定

項目	設定値と説明
T.38受信ポート番号	T.38の受信ポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
RTP受信ポート番号	RTP (Real-time Transport Protocol) の受信ポート番号を1024～65534以内の半角数字で入力します。

関連情報

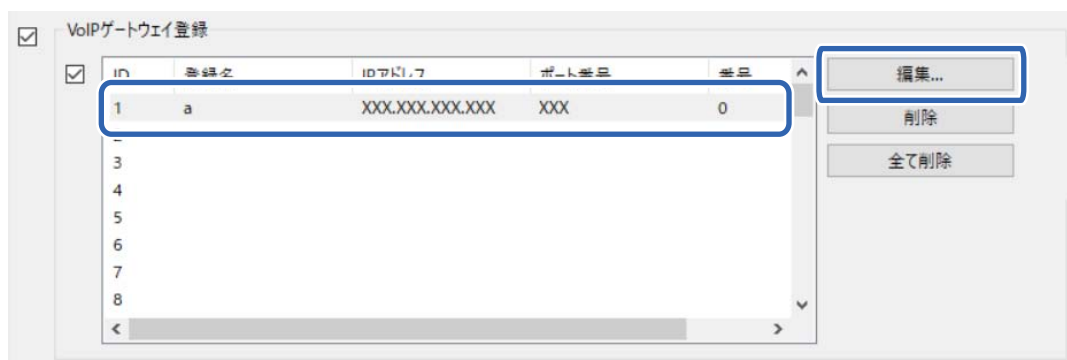
➡ [「G3ファクス対応機とIPファクスを送受信できるようにする \(VoIPゲートウェイ経由\) <Epson Device Admin>」 179ページ](#)

VoIPゲートウェイを登録する<Epson Device Admin>

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイを登録します。

設定テンプレートから、[ファクス] - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順に選択して、VoIPゲートウェイの登録と設定を併せて行います。

1. [VoIPゲートウェイ登録] の一覧から、登録する項目を選択して[編集] をクリックします。



[VoIPゲートウェイ登録] 画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。



The image shows a dialog box titled "VoIPゲートウェイ登録" (VoIP Gateway Registration). It contains five input fields: "ID:" with the value "1", "登録名:" (Registration Name) with "VoIP Gateway A", "IPアドレス:" (IP Address) with "XXX.XXX.XXX.XXX", "ポート番号:" (Port Number) with "XXX", and "番号:" (Number) with "0". At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

- 登録名
VoIPゲートウェイの名称を、UTF-16で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は除きます。
- IPアドレス
VoIPゲートウェイのホスト名またはIPアドレスを入力します。ASCII（0x20～0x7E）で表せる0～127文字以内で入力できます。ただし、空白文字および "<>\`{|" は除きます。
- ポート番号
VoIPゲートウェイのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。

3. [OK] をクリックします。

- 参考**
- VoIPゲートウェイの登録内容を変更するには、[VoIPゲートウェイ登録] の一覧から変更する項目を選択し、[編集] をクリックします。
 - VoIPゲートウェイの登録を削除するには、[VoIPゲートウェイ登録] の一覧から削除する項目を選択し、[削除] をクリックします。
 - VoIPゲートウェイの登録を全て削除するには、[VoIPゲートウェイ登録] の一覧から[全て削除] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「\[IPファクス設定\] - \[VoIPゲートウェイ設定\] の設定項目<Epson Device Admin>」 179ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ](#)

VoIPゲートウェイの優先設定<Epson Device Admin>

IPファクスの送受信で使用するVoIPゲートウェイを登録した後、VoIPゲートウェイの送信条件と優先順位を設定する必要があります。

VoIPゲートウェイの送信条件と優先順位の詳細については以下の関連情報を参照してください。

関連情報

- ➡ [「VoIPゲートウェイの送信条件を設定する<Epson Device Admin>」 182ページ](#)
- ➡ [「VoIPゲートウェイの優先度を設定する<Epson Device Admin>」 183ページ](#)

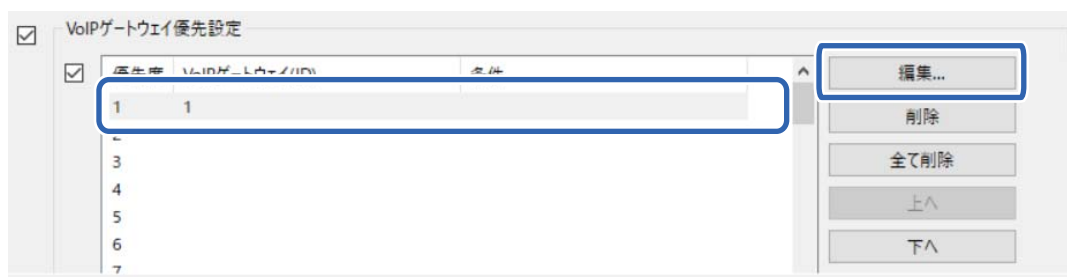
➡ 「[IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の設定項目<Epson Device Admin>」 179ページ

VoIPゲートウェイの送信条件を設定する<Epson Device Admin>

登録したVoIPゲートウェイ経由で送信する条件の設定手順を説明します。

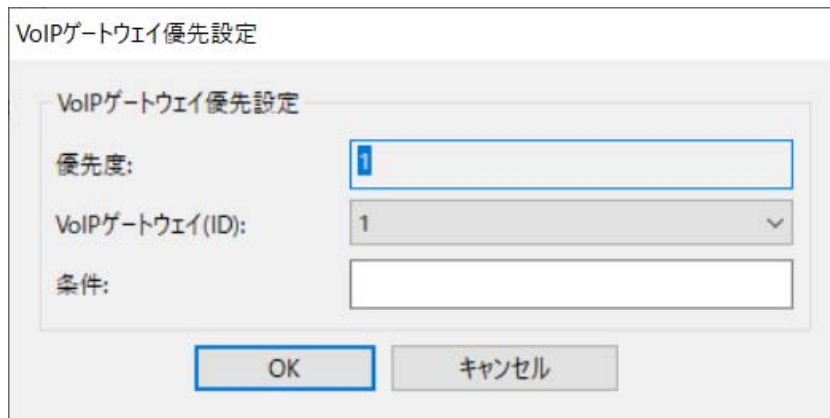
設定テンプレートから、[ファクス] - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順に選択して、登録済みのVoIPゲートウェイ経由で送信する条件を、その他のVoIPゲートウェイの設定項目と併せて設定します。

1. [VoIPゲートウェイ優先設定] の一覧から、送信条件を編集したい項目を選択して[編集] をクリックします。



[VoIPゲートウェイ優先設定] 画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。



- VoIPゲートウェイ(ID)
送信条件が一致したときに接続するVoIPゲートウェイの登録IDを選択します。
- 条件
宛先のファクス番号の先頭数値を入力します。

3. [OK] をクリックします。



- VoIPゲートウェイの送信条件を変更するには、[VoIPゲートウェイ優先設定] の一覧から変更する項目を選択し、[編集] をクリックします。
- VoIPゲートウェイの送信条件を削除するには、[VoIPゲートウェイ優先設定] の一覧から削除する項目を選択し、[削除] をクリックします。
- VoIPゲートウェイの送信条件を全て削除するには、[VoIPゲートウェイ優先設定] の一覧から[全て削除] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「 \[IPファクス設定\] - \[VoIPゲートウェイ設定\] の設定項目<Epson Device Admin>」 179ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ](#)

VoIPゲートウェイの優先度を設定する<Epson Device Admin>

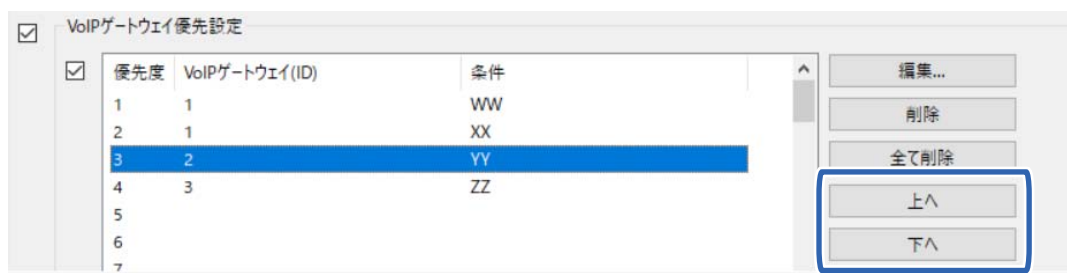
登録したVoIPゲートウェイの優先度を設定する手順を説明します。

設定テンプレートから、[ファクス] - [IPファクス設定] - [VoIPゲートウェイ設定] の順に選択して、登録済みのVoIPゲートウェイの優先度の設定を、その他のVoIPゲートウェイの設定と併せて行います。

1. [VoIPゲートウェイ優先設定] の一覧から、優先度を変更したい項目を選択します。



2. [上へ] または [下へ] をクリックして優先度を変更します。



関連情報

- ➡ [「 \[IPファクス設定\] - \[VoIPゲートウェイ設定\] の設定項目<Epson Device Admin>」 179ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要」 151ページ](#)

IPファクスを使用する

IPファクスを使用する方法は以下をご覧ください。

- [「アドレス帳への宛先登録（IPファクス利用時）」 85ページ](#)
- [「プリンターからIPファクスを送信する」 345ページ](#)

Epson Print Admin Serverless

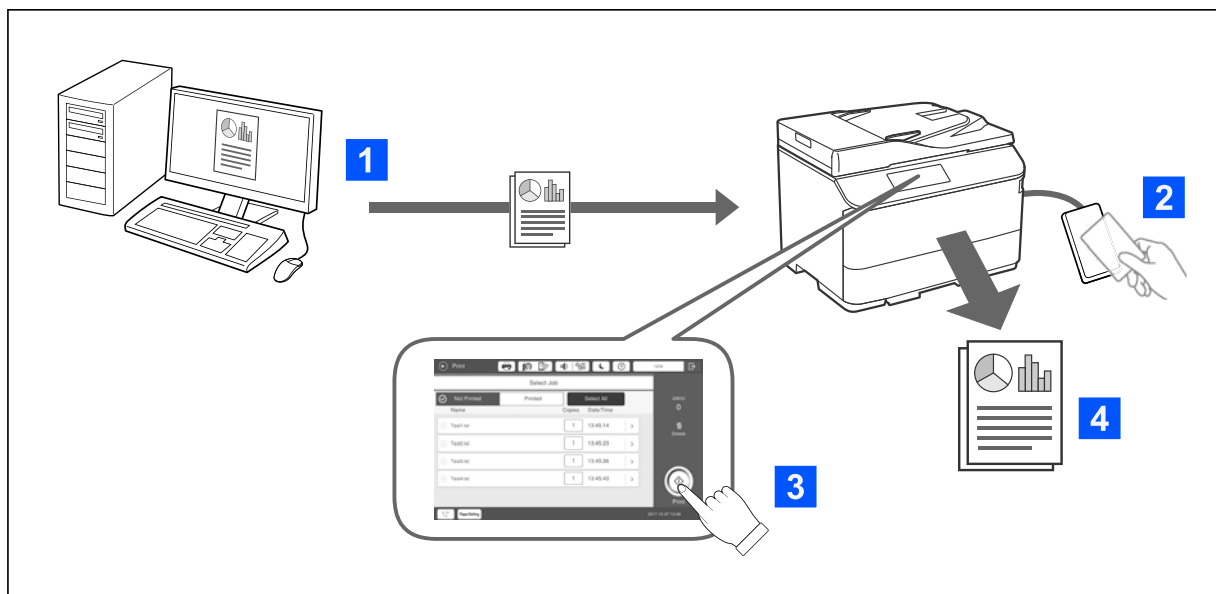
Epson Print Admin Serverlessの概要

Epson Print Admin Serverlessは、オフィスや学校などのネットワークで、プリンターを安全で効率良く使う環境を提供します。

以下のソリューションを提供します。

- セキュリティーの向上
認証したユーザーだけがプリンターを使えます。
認証したプリンターで印刷するため、機密文書の持ち去りや他人の印刷物との混在を防げます。
- 無駄な印刷を抑制
ジョブ一覧から文書を選択して印刷するので、無駄な印刷を軽減できます。
- 業務効率化
複雑な操作なしに、スキャンした文書を自分のメールアドレスに送信したり、あらかじめ登録されている保存先フォルダーに保存したりできます。
- 便利な管理機能
複数ユーザーの情報を一括で設定することや、ユーザーごとに利用できる機能を設定することができます。Epson Device Adminを使うと、複数プリンターの一括管理、LDAPサーバーとの連携や、利用履歴レポートの自動作成ができます。

認証印刷について

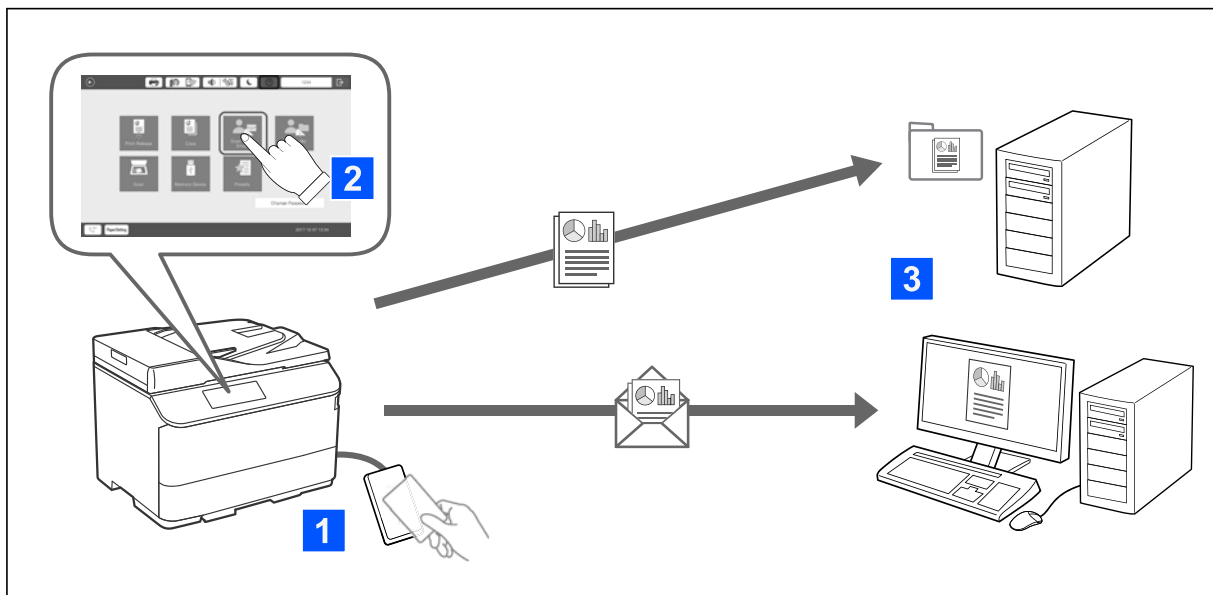


コンピューターからの印刷ジョブはプリンターに蓄積されます。ユーザー認証をじてプリンターにログインし、印刷ジョブを選択して印刷します。

- ログイン後の自動印刷
システム管理者の設定によっては、ログインすると全ての印刷ジョブが自動で印刷されます。

- プリンターに蓄積せずに印刷
システム管理者が許可している場合は、蓄積しないで直接印刷することもできます。
- どこでも印刷機能
どこでも印刷機能でプリンターが連携されていれば、どのプリンターからも印刷できます。

スキャンについて



ユーザー認証をしてプリンターにログオンすると、操作パネルを使った機能（スキャン、コピー、ファクスなど）を使用できます。

- 原稿をスキャンして自分宛てのメールに添付する
スキャンした結果を自分のメールアドレスに送信できます。
- 原稿をスキャンして登録されているネットワークフォルダーに保存する
スキャンした結果をEpson Print Admin Serverlessに登録されている保存先フォルダー（ネットワークフォルダーやFTPサーバー）の下にあるユーザーID名の個人フォルダー、またはユーザーごとに設定したフォルダーに保存できます。

Epson Print Admin Serverlessの導入・管理

Epson Print Admin Serverlessシステムの導入・設定、日常の運用や管理は、お使いの機種の『Epson Print Admin Serverless 導入・管理ガイド』をご覧ください。

- セットアップの概要
- 認証装置の接続
- 情報の登録とシステム設定（ライセンスキーの登録方法を含む）
- クライアントコンピュータの設定
- 日常の運用や管理

Epson Print Admin Serverlessの使い方

Epson Print Admin Serverlessの使い方は、お使いの機種種の『Epson Print Admin Serverless 使い方ガイド』をご覧ください。

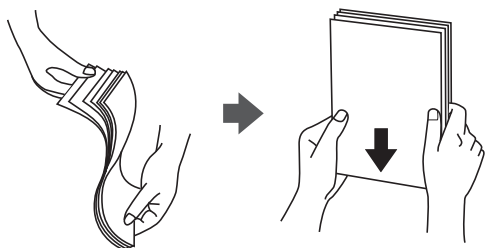
- 認証の方法
- 認証カードの登録
- 認証印刷
- スキャン

用紙のセット

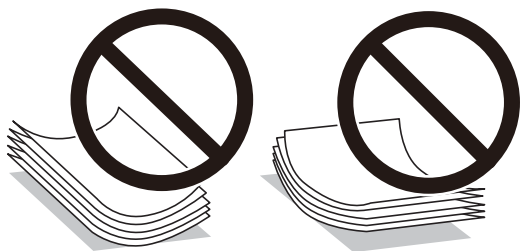
用紙取り扱い上のご注意	188
用紙サイズと種類の登録	189
用紙をセットする	191
いろいろな用紙のセット方法	191

用紙取り扱い上のご注意

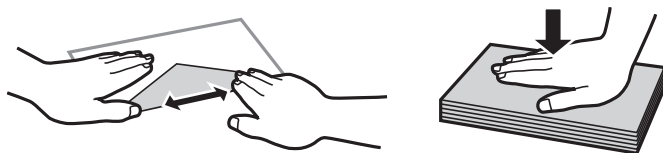
- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項を確認してください。
- エプソン製専用紙にきれいに印刷するには、用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている環境で使用してください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、上下左右の端をそろえてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 用紙が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反った用紙は紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。



- 片面印刷済みの用紙で手動両面印刷する場合は、給紙不良が発生しやすくなります。セット枚数を半分以下にするか、紙詰まりが続く場合は1枚ずつセットしてください。
- 用紙幅が105mm未満で横目の紙は、使用しないでください。
- 縦目の用紙を使用してください。縦目が横目かわからないときは、用紙のパッケージを確認するか、用紙の製造元にお問い合わせください。
- 封筒は、よくさばいて側面を整えてください。封筒の束が膨らんでいるときは平らになるように手でならして、膨らみを取り除いてください。



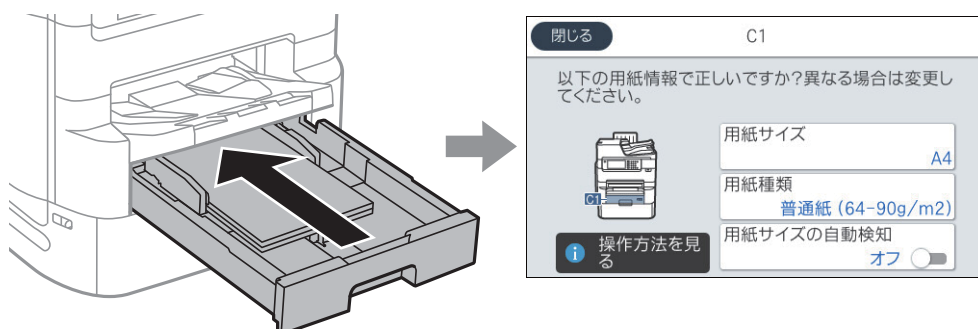
- 窓付き封筒を印刷すると、後から排紙された封筒が窓枠に引っかかり紙詰まりになることがあります。排紙された封筒は1枚ごとに取り除くことをお勧めします。
- ハガキの両面に印刷するときは、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。印刷こすれや汚れを防ぐために、宛名面から先に印刷することをお勧めします。

関連情報

➡ [「印刷できない用紙」465ページ](#)

用紙サイズと種類の登録

用紙カセット挿入時にプリンターに表示される画面で、用紙サイズと種類を登録しておく、登録情報と印刷設定が異なるときにプリンターがお知らせします。サイズを間違えて印刷してしまったり、用紙種類に合った印刷ができず色味が変わってしまったりすることを防ぎ、用紙やインクを無駄にせずに済みます。



表示された用紙サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は、項目を選択して変更してください。このままでいい場合は画面を閉じてください。

参考

- 用紙サイズと用紙種類の設定画面は、操作パネルの  ボタンを押しても表示できます。
- よく使うユーザー定義サイズは、[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [ユーザー定義サイズリスト] で登録できます。
- 用紙サイズでユーザー定義サイズを選択するには、[用紙サイズの自動検知] を [オフ] にしてください。

用紙種類の設定値

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した用紙種類を設定してください。
以下は2024年12月現在の情報です。

用紙名称	用紙種類		
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス *	PostScriptプリンタードライバー
両面上質普通紙<再生紙>	普通紙 (64-90g/m2)	普通紙(64 - 90 g/m2)	普通紙(64 - 90 g/m2)
ビジネス普通紙 インクジェット普通紙	ビジネス普通紙	ビジネス普通紙	ビジネス普通紙
写真用紙クリスピー<高光沢>	写真用紙クリスピー	EPSON 写真用紙クリスピー	EPSON 写真用紙クリスピー
写真用紙<光沢> 写真用紙<絹目調>	写真用紙	EPSON 写真用紙	EPSON 写真用紙
写真用紙ライト<薄手光沢>	写真用紙ライト	EPSON 写真用紙ライト	EPSON 写真用紙ライト
フォトマット紙	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙	EPSON フォトマット紙

用紙名称	用紙種類		
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス *	PostScriptプリンタードライバー
スーパーファイン紙 スーパーファイン専用ラベル シート	スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
両面マット名刺用紙	両面マット名刺用紙	EPSON 両面マット名刺用紙	—
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙
写真用紙＜絹目調＞ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：写真用紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON 写真用紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON 写真用紙
PMマットハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：フォトマット紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON フォトマット紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON フォトマット紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
往復ハガキ 郵便ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ
厚紙 (91～150 g/m ²)	厚紙1 (91-150g/m ²)	厚紙1(91 - 150 g/m ²)	厚紙1(91 - 150 g/m ²)
厚紙 (151～200 g/m ²)	厚紙2 (151-200g/m ²)	厚紙2(151 - 200 g/m ²)	厚紙2(151 - 200 g/m ²)
厚紙 (201～256 g/m ²)	厚紙3 (201-256g/m ²)	厚紙3(201 - 256 g/m ²)	厚紙3(201 - 256 g/m ²)
長尺用紙 (LPCCJY2)	厚紙1 (91-150g/m ²)	厚紙1(91 - 150 g/m ²)	厚紙1(91 - 150 g/m ²)

*： スマートデバイスからの印刷時は、Epson Smart Panelを使ったときのみこれらの用紙種類が選択可能

検知できる用紙サイズの一覧

〔用紙サイズの自動検知〕を有効にすると、用紙カセットにセットした以下の用紙サイズを自動で検知します。

B6、A5、B5、A4、B4、A3、ハガキ

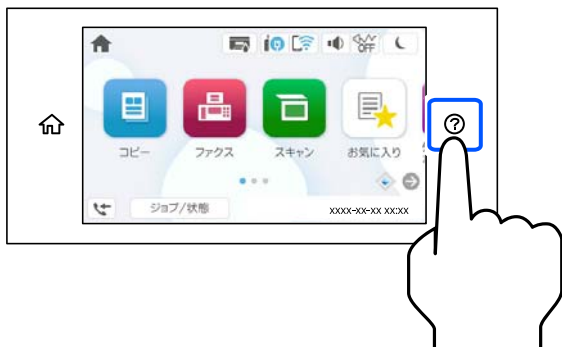
A4とLetterのように、同じようなサイズは誤検知されることがあります。Letter、LegalがA4、B4と検知されたときは、 ボタンを押して正しいサイズを指定してください。

自動検知できないサイズは、 ボタンを押して〔用紙サイズの自動検知〕機能を無効にし、セットした用紙のサイズを指定してください。

用紙をセットする

プリンターの画面に表示される動画を見ながら、用紙や封筒をセットできます。

②を選択して、[操作方法が知りたい] - [印刷用紙のセット] を選択します。



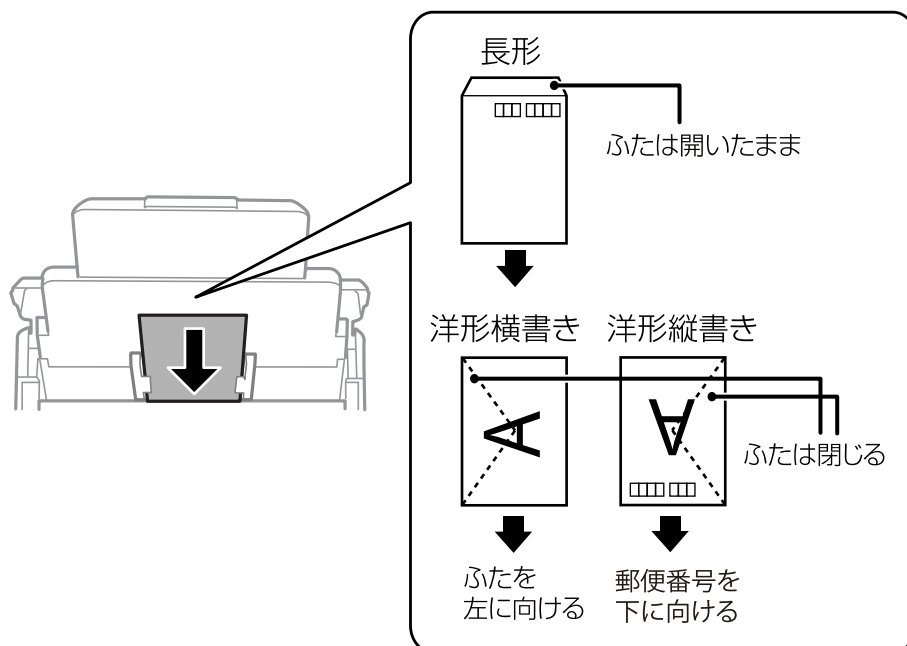
使用したい用紙の種類や給紙装置を選択して、動画を表示します。

動画の表示を止めたいときは画面を閉じます。

いろいろな用紙のセット方法

封筒のセット方法

印刷する面を手前にして手差しトレイの中央にセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。

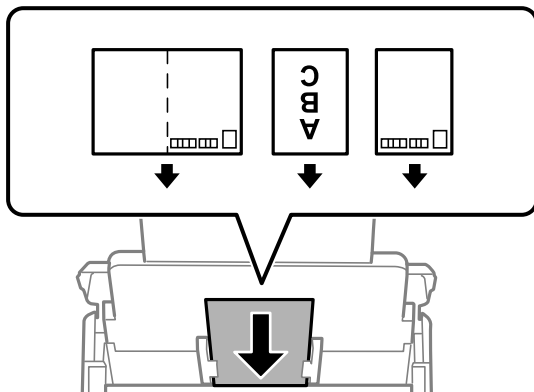


関連情報

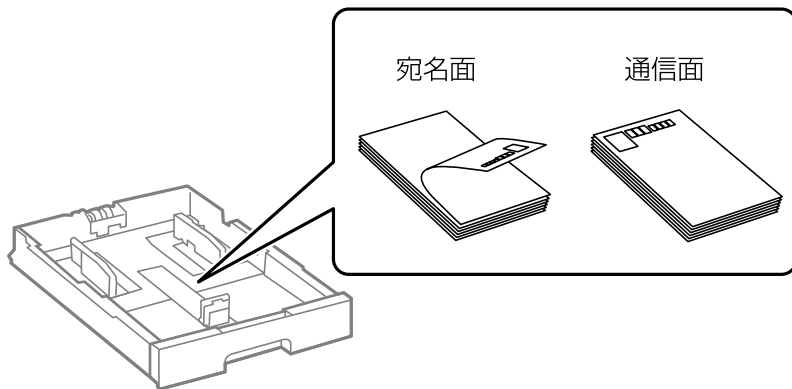
- ➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)
- ➡ [「印刷できない用紙」 465ページ](#)

ハガキのセット方法

手差しトレイにセットするときは、印刷する面を手前にして中央にセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。

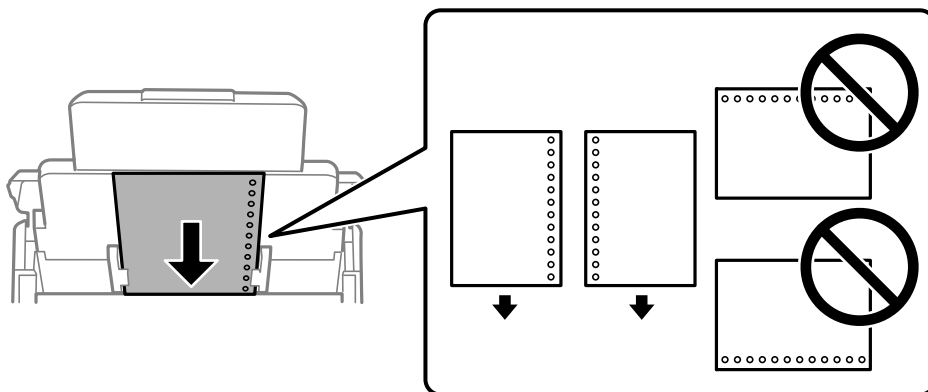


用紙カセットにセットするときは、印刷する面を下にしてセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



穴あき用紙のセット方法

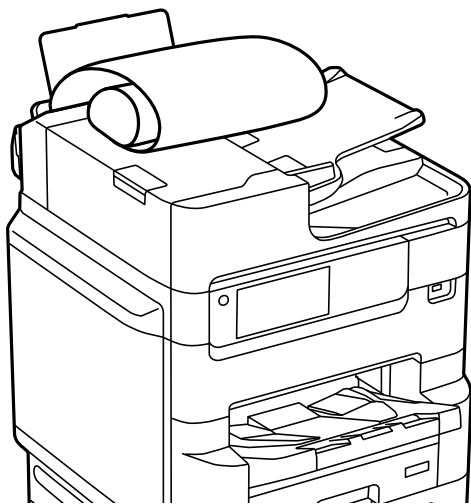
手差しトレイに穴あき用紙を1枚セットします。



- 印刷データが穴位置にかからないように調整してください。
- 自動両面印刷はできません。

長い用紙のセット方法

長尺紙は、用紙の先端を丸めて手差しトレイにセットしてください。[用紙サイズの自動検知]を[オフ]にして、用紙サイズの設定で[ユーザー定義サイズ]を選択してください。



- 長尺紙は排紙トレイで保持できません。箱などを準備して用紙が床面に落ちないようにしてください。
- 給排紙中の用紙に触らないでください。手を傷付けたり、印刷品質が悪くなったりすることがあります。

原稿のセット

原稿のセット	195
ADFにセットできない原稿	196
自動検知できる原稿サイズ	197

原稿のセット

プリンターの操作パネルに表示される動画を見ながら、原稿をセットできます。

②を選択して、[操作方法が知りたい] - [原稿のセット] を選択します。知りたい原稿セット方法を選択します。動画を閉じるときは、[終了する] を選択します。



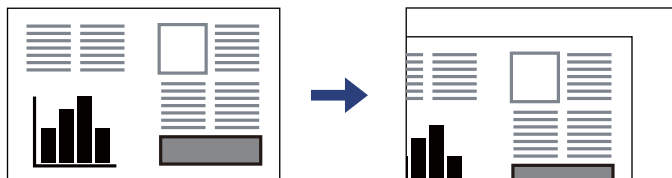
複数枚の原稿をコピーやスキャンするときは、ADFに全ての原稿をセットします。

原稿台を使用するとき

⚠ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要

- 厚みのある原稿（本など）を読み取るときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。原稿サイズが自動で検出できないことや、光が強いとコピーやスキャンした結果が白くなることがあります。
- 原稿台に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえつけないでください。強く押さえつけると、読み取った画像にシミやムラ、斑点が出る場合があります。
- 折り跡やしわがある原稿は、折り跡やしわを伸ばし、原稿台に密着するようにセットしてください。原稿台に原稿が密着していない部分の画質がぼやける場合があります。
- 原稿台にゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。読み取り前に、ゴミや汚れを取り除いてください。



- スキャンが終了したら、原稿を取り除いてください。原稿台に貼り付くことがあります。

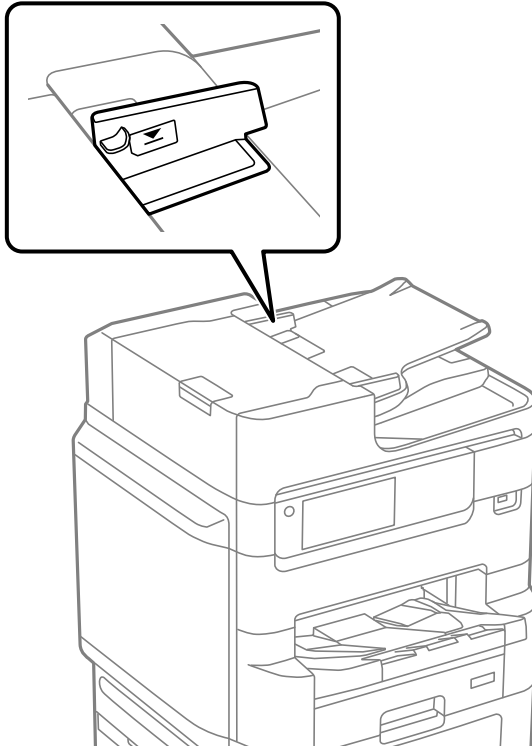
参考

- 原稿台の隅から約1.5mmの範囲はスキャンできません。
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。
- 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

ADFを使用するとき

！重要

- ADF原稿ガイドの三角マーク下の線を越えてセットしないでください。



- スキャン中に原稿を追加しないでください。

参考

- A4より小さい原稿は、ADFの給紙口に長辺が差し込まれる向きでもセットできます。
- 自動検知されない原稿サイズがあります。その場合は手動で原稿サイズを選択してください。

関連情報

- ➡ [「スキャナー部の仕様」528ページ](#)
- ➡ [「ADFにセットできない原稿」196ページ](#)

ADFにセットできない原稿

！重要

写真や、貴重な原稿はADFにセットしないでください。給紙エラーによって、原稿にしわが入ったり損傷したりすることがあります。原稿台を使ってスキャンしてください。

以下のような原稿は原稿台にセットしてください。ADFにセットすると紙詰まりの原因になります。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿

- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHPシートなど）、感熱紙や裏カーボンのある原稿

自動検知できる原稿サイズ

原稿サイズの設定を「自動検知」にすると、以下のサイズが自動で検知されます。

参考 以下の原稿サイズは正しく検知されないことがあります。原稿サイズが自動検知されないときは、操作パネルで原稿サイズを設定してください。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙

ADFに原稿をセットする場合

優先する設定*1	縦置き  *2	横置き  *3
A/Bサイズ優先	A5, B5, A4	B5, A4, B4, A3
インチサイズ優先	Executive, Letter	Legal, Executive, Letter, US B (11×17 in.)

*1： 初期充填後の設定画面で選択した項目です。

*2： 原稿の長辺を、ADFの給紙口に向けてセットします。

*3： 原稿の短辺を、ADFの給紙口に向けてセットします。

原稿台に原稿をセットする場合

優先する設定*1	縦置き  *2	横置き  *3
A/Bサイズ優先	B5、A4、A5	A5、B5、A4、B4、A3
インチサイズ優先	Executive, Letter, Half letter	Half letter, Executive, Letter, Legal, US B (11×17 in.)

*1： 初期充填後の設定画面で選択した項目です。

*2： 原稿の長辺を、原稿台の左側に向けてセットします。

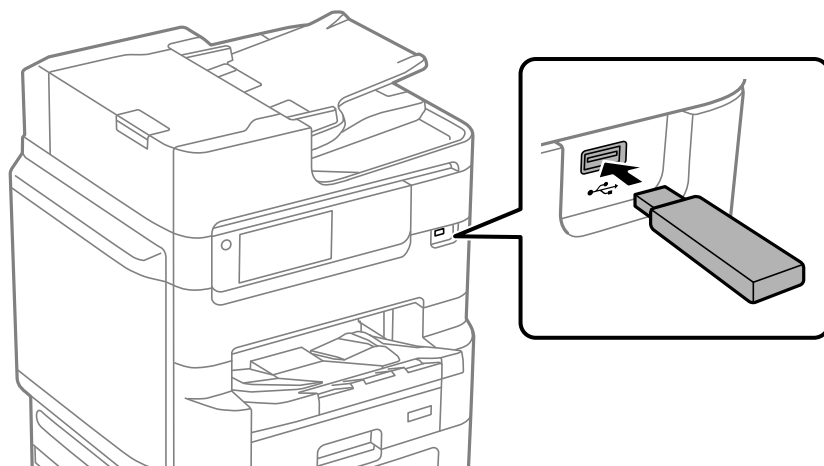
*3： 原稿の短辺を、原稿台の左側に向けてセットします。

外部メモリーのセットと取り外し

USB接続機器をセットする	199
USB接続機器を取り外す	199
外部メモリーのデータを共有する	200

USB接続機器をセットする

外部機器接続用USBポートにUSB接続機器をセットします。

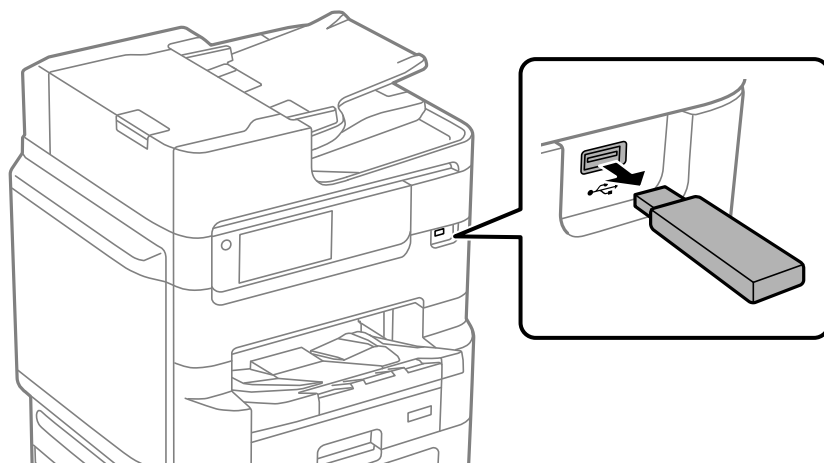


関連情報

➔ [「対応外部メモリーの仕様」537ページ](#)

USB接続機器を取り外す

USB接続機器を取り外します。



！重要 動作中にUSB接続機器を取り外すと、保存されているデータが壊れることがあります。

外部メモリーのデータを共有する

プリンターにセットされたUSB接続機器などの外部メモリーに、コンピューターからアクセスしてデータを書き込んだり読み込んだりできます。

！重要 USB接続とネットワーク接続されたコンピューターでプリンターにセットした外部メモリーを共有する場合、優先設定された接続方法のコンピューターからのみデータの書き込みができます。外部メモリーに書き込むときは、プリンターの操作パネルで [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [外部メモリー設定] - [ファイル共有] を選択し、優先する接続方法を選択してください。

参考 HDDが接続可能な機種で、2TBのHDDなど大容量の外部メモリーをファイル共有すると、コンピューターから認識するのに時間がかかることがあります。

Windows

[PC]（または [コンピューター]）で対象の外部メモリーを選択します。外部メモリーのデータが表示されます。

参考 インストーラーを使わずにプリンターをネットワーク接続した場合は、プリンターの外部機器接続用USBポートをネットワークドライブとして割り当てます。[ファイル名を指定して実行] を起動し、[名前] に\\XXXXXX（プリンター名）または\\XXX.XXX.XXX.XXX（プリンターのIPアドレス）を入力します。表示されたデバイスアイコンを右クリックしてネットワークドライブの割り当てをしてください。割り当てたネットワークドライブは、[PC]（または [コンピューター]）内に表示されます。

Mac OS

対象のデバイスアイコンを選択します。外部メモリーのデータが表示されます。

参考

- 外部メモリーを取り出すときは、デバイスアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。これをせずに取り出すと、別の外部メモリーをセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。
- 外部メモリーにネットワーク経由で接続するときは、デスクトップのメニューから [移動] - [サーバへ接続] の順に選択します。[サーバアドレス] 欄にcifs://XXXXXまたは smb://XXXXX（「XXXXX」はプリンター名）を入力して [接続] をクリックします。

関連情報

➡ [「対応外部メモリーの仕様」537ページ](#)

印刷

文書を印刷する	202
ハガキ、年賀状、封筒に印刷する	256
外部メモリー内のデータを印刷する	258
ウェブページを印刷する	263
クラウドサービスで印刷する	264
割り込み印刷をする	264

文書を印刷する

コンピューターから文書を印刷する (Windows)

プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用できる機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

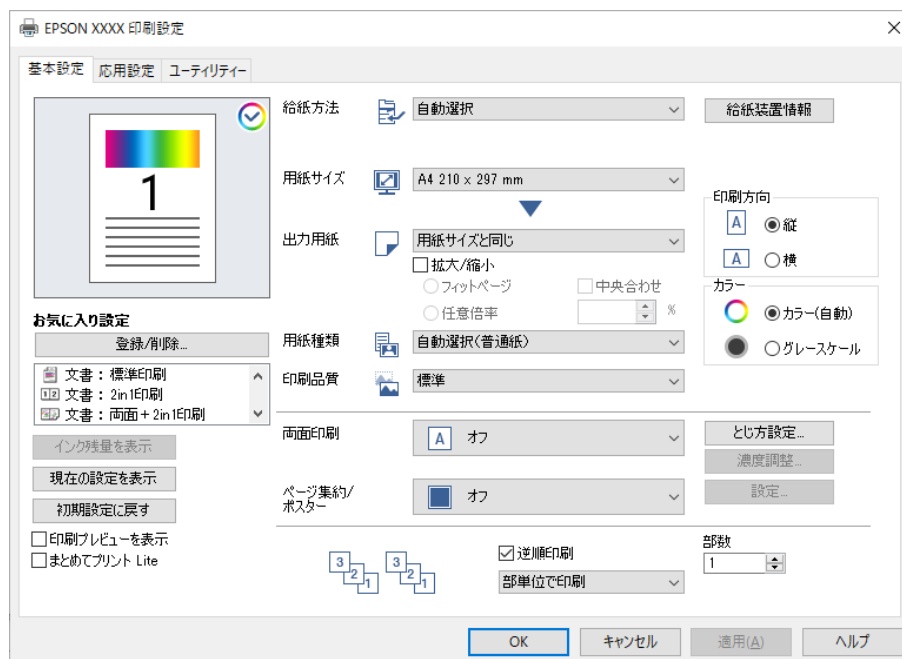
簡単な設定で印刷する



参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
[「用紙をセットする」 191ページ](#)
2. 印刷するファイルを開きます。
3. [ファイル] メニューの [印刷] (または [プリント] など) を選択します。
4. プリンターを選択します。

5. 「プロパティ」 (または「詳細設定」 など) をクリックして、プリンタードライバー (詳細な印刷設定) の画面を表示します。



6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

- 参考**
- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると「ヘルプ」が表示されます。
 - 「印刷プレビューを表示」にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

7. 「OK」 をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

8. 「印刷」 をクリックします。

- 参考**
- 「印刷プレビューを表示」にチェックしていると、プレビュー画面が表示されます。設定を変更する場合は、「キャンセル」 をクリックして手順3からやり直してください。
 - コンピューターから印刷を中止したい場合は、「デバイスとプリンター」 (または「プリンタ」 、 「プリンタとファクス」) で、お使いのプリンターを右クリックします。「印刷ジョブの表示」 をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、「キャンセル」 を選択します。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

関連情報

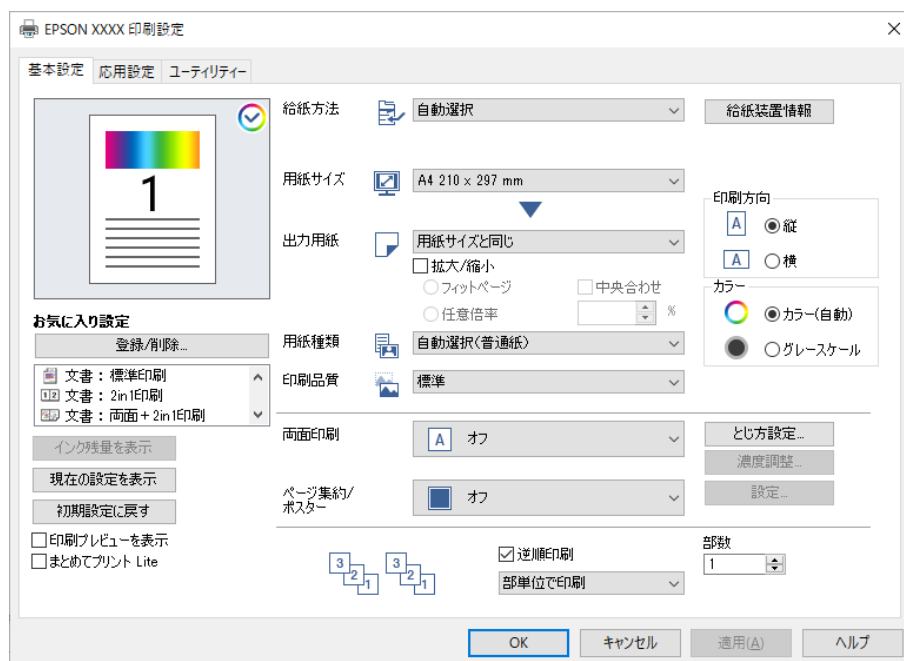
- ➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ
- ➡ 「用紙種類の設定値」 189ページ
- ➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」 203ページ

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

基本設定タブ



お気に入り設定：

登録/削除：

多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

インク残量を表示：

プリンターのインク残量の目安を表示します。この機能を有効にするにはEPSON プリンターウィンドウ!3をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

現在の設定を表示/現在の設定を非表示：

〔基本設定〕タブや〔応用設定〕タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す：

設定を初期状態に戻します。初期化は、〔応用設定〕タブにも適用されます。

印刷プレビューを表示：

印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。

まとめてプリント Lite：

異なるアプリケーションソフトで作成した複数の文書を1つの印刷ジョブにまとめて印刷します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。〔自動選択〕にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。〔ユーザー定義サイズ〕は、用紙の幅と長さを入力し、任意のサイズを登録できます。

出力用紙：

出力する用紙サイズを選択します。〔用紙サイズ〕と〔出力用紙〕のサイズが異なるときは、〔拡大/縮小〕が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。

拡大/縮小：

拡大、縮小印刷を有効にします。

フィットページ：

〔出力用紙〕のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。

任意倍率：

任意の倍率で拡大、縮小印刷します。

中央合わせ：

用紙の中央にデータを印刷します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。〔自動選択（普通紙）〕を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

普通紙、再生紙、ビジネス普通紙

ただし、プリンターの〔給紙口自動選択〕で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。〔きれい〕を選択すると、高品質で印刷できますが、印刷に時間がかかります。〔詳細設定〕は、任意で品質を設定できます。

給紙装置情報：

プリンターの各給紙装置に設定された用紙情報を表示します。

印刷方向：

印刷の向きを選択します。

カラー：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

両面印刷：

両面印刷やフェイスダウン排紙を有効にします。

とじ方設定：

出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。

濃度調整：

印刷する文書のタイプを選択することで、インクの濃度を調整し裏写りを防止します。[ユーザー設定] を選択すると、任意で濃度を調整できます。

ページ集約/ポスター：

割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。[設定] では、ページの配置順などが設定できます。

逆順印刷：

複数ページのデータを最後のページから印刷して、ページ順に仕上げます。

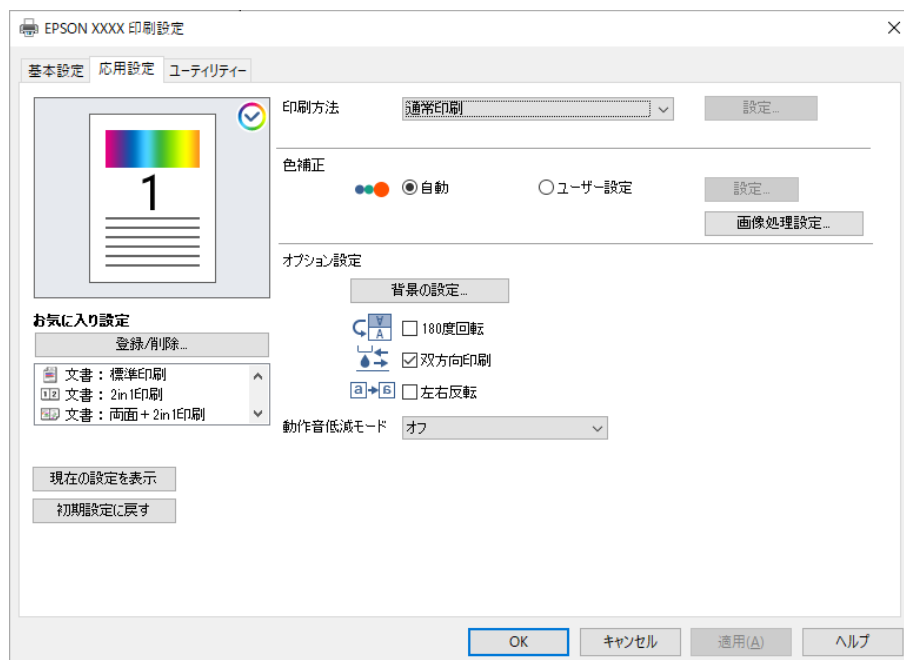
部単位で印刷/ページ単位で印刷：

複数ページの文書を部単位で印刷するには [部単位で印刷] を選択します。

部数：

印刷する部数を設定します。

応用設定タブ



お気に入り設定：

登録/削除：

多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。

現在の設定を表示/現在の設定を非表示：

〔基本設定〕タブや〔応用設定〕タブで設定されている項目を一覧で表示します。現在の設定一覧画面を表示、または非表示にすることができます。

初期設定に戻す：

設定を初期状態に戻します。初期化は、〔基本設定〕タブにも適用されます。

印刷方法：

〔パスワード印刷〕を選択してパスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。〔設定〕で、入力した内容の変更ができます。

色補正：

自動：

画像などの色を自動で補正して印刷します。

ユーザー設定：

画像などの色を手動で補正して印刷します。〔設定〕をクリックするとユーザー色補正画面が開き、色補正の詳細な方法が選択できます。〔画像処理設定〕をクリックするとカラーユニバーサルブリントの設定、文字や細線を鮮明にしたり、Webスモーキングや赤目補正を有効にしたりできます。

オプション設定：

背景の設定：

透かし印刷やスタンプマーク、ヘッダー/フッターの設定をします。

追加/削除：

任意の透かし印刷やスタンプマークを追加または削除できます。

設定：

透かしやスタンプマークのサイズ、濃度、位置などを設定します。

ヘッダー/フッター：

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。

180度回転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。

双方向印刷：

ヘッドの行きだけでなく帰りにもインクを吐出して印刷します。印刷速度は速くなりますが、印刷品質は低下することがあります。

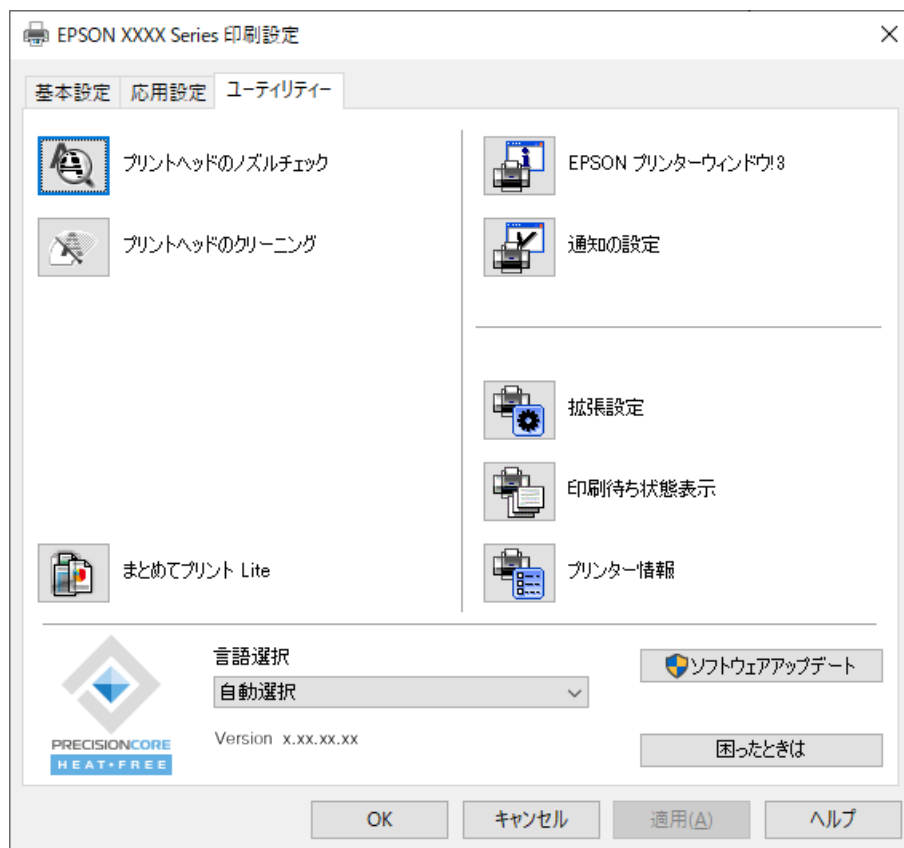
左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

動作音低減モード:

動作音を低減します。有効にすると、印刷速度が遅くなることがあります。

ユーティリティータブ



まとめてプリント Lite :

まとめてプリント Liteの画面を表示します。作業中のデータの保存や編集ができます。

EPSON プリンターウィンドウ!3 :

EPSON プリンターウィンドウ!3の画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。この機能を有効にするにはEPSON プリンターウィンドウ!3をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

通知の設定 :

EPSON プリンターウィンドウ!3の画面に表示する項目などを設定します。この機能を有効にするにはEPSON プリンターウィンドウ!3をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

拡張設定 :

より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。

印刷待ち状態表示：

印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。

プリンター情報：

総通紙枚数の確認や、利用者情報の登録ができます。利用者制限が有効になっているプリンターは、利用者を登録すると印刷できます。

言語選択：

プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。

ソフトウェアアップデート：

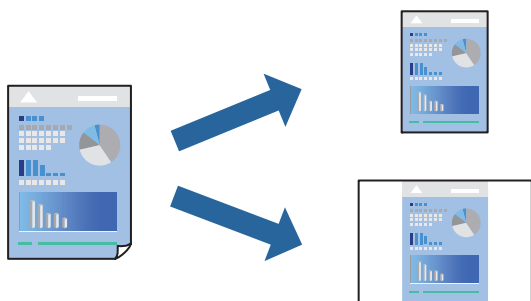
EPSON Software Updaterを起動して、インターネット上に更新できるソフトウェアがあるかを自動で確認します。

困ったときは：

お使いのコンピューターにマニュアルがインストールされている場合は、マニュアルを表示します。インストールされていない場合は、エプソンのウェブサイトへ接続してマニュアルやサポート内容が確認できます。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. プリンタードライバーの【基本設定】または【応用設定】タブの各項目（【用紙サイズ】や【用紙種類】など）を設定します。
2. 【お気に入り設定】の【登録/削除】をクリックします。
3. 【設定名】を入力し、必要に応じてコメントを入力します。
4. 【登録】をクリックします。

参考 登録した印刷設定を削除するには、【登録/削除】をクリックし、リストから削除する設定名を選択して削除します。

[「基本設定タブ」204ページ](#)

[「応用設定タブ」206ページ](#)

5. 【印刷】をクリックします。

次回同じ設定で印刷するときは、[お気に入り設定] から登録した設定名を選択して、[OK] をクリックします。

関連情報

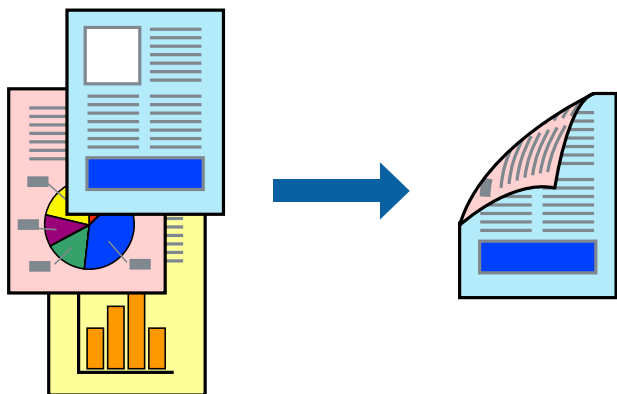
- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

両面に印刷する

両面印刷には以下の2種類があります。

- 自動両面印刷
- 手動両面印刷

おもて面の印刷が終了した用紙を裏返してセットしてください。裏面に印刷されます。



- 参考**
- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
[「両面印刷できる用紙」 464ページ](#)
 - 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。
 - [EPSON プリンターウィンドウ!3] で印刷状況を確認する場合は、[EPSON プリンターウィンドウ!3] をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
 - プリンターをネットワーク経由で操作、または共有プリンターとして使用していると、手動両面印刷できないことがあります。

1. [基本設定] タブの [両面印刷] でとじ方を選択します。
2. [とじ方設定] をクリックし、各項目を設定して [OK] をクリックします。
3. [濃度調整] をクリックし、文書タイプを設定して [OK] をクリックします。

文書タイプに合わせて [濃度調整] の設定項目が自動で調整されます。

- 参考**
- 手動で両面印刷するときは設定できません。
 - 自動両面印刷では、濃度調整画面の [文書タイプ] と [基本設定] タブの [印刷品質] の組み合わせによっては印刷速度が遅くなります。
4. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
[「基本設定タブ」 204ページ](#)

[「応用設定タブ」206ページ](#)

5. **【印刷】** をクリックします。

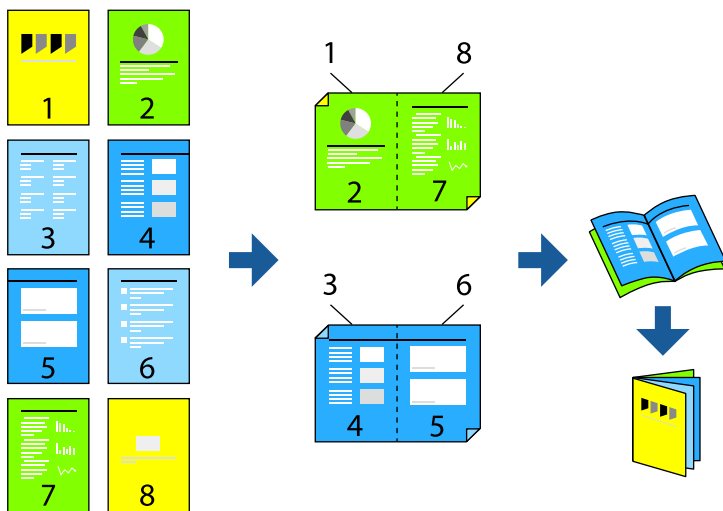
手動両面印刷では、おもて面の印刷が終了すると案内画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

関連情報

- ➔ [「印刷できる用紙とセット枚数」458ページ](#)
- ➔ [「用紙のセット」187ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」202ページ](#)

冊子になるように印刷する

用紙を折ったときに冊子になるように、ページを並べ替えて両面印刷できます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
[「両面印刷できる用紙」464ページ](#)
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。
- 【EPSON プリンターウィンドウ!3】で印刷状況を確認する場合は、【EPSON プリンターウィンドウ!3】をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。
- プリンターをネットワーク経由で操作、または共有プリンターとして使用していると、手動両面印刷できないことがあります。

- プリンタードライバーの**【基本設定】**タブの**【両面印刷】**で**長辺とじ**を選択します。
- 【とじ方設定】**をクリックし、**【製本】**にチェックして**【全ページ】**または**【分割する】**を選択します。
 - 全ページ：ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りできるときの方法です。
 - 分割する：1枚（4ページ）分ずつ印刷し、それぞれを二つ折りしてから1冊にまとめる方法です。
- 【OK】** をクリックします。

4. 写真や画像が多いデータを印刷する場合は、**〔濃度調整〕** をクリックし、文書タイプを設定して **〔OK〕** をクリックします。

文書タイプに合わせて **〔濃度調整〕** の設定項目が自動で調整されます。

参考 自動両面印刷では、濃度調整画面の **〔文書タイプ〕** と **〔基本設定〕** タブの **〔印刷品質〕** の設定の組み合わせによっては印刷速度が遅くなります。

5. **〔基本設定〕** タブと **〔応用設定〕** タブの各項目を設定して **〔OK〕** をクリックします。

[〔基本設定タブ〕 204ページ](#)

[〔応用設定タブ〕 206ページ](#)

6. **〔印刷〕** をクリックします。

関連情報

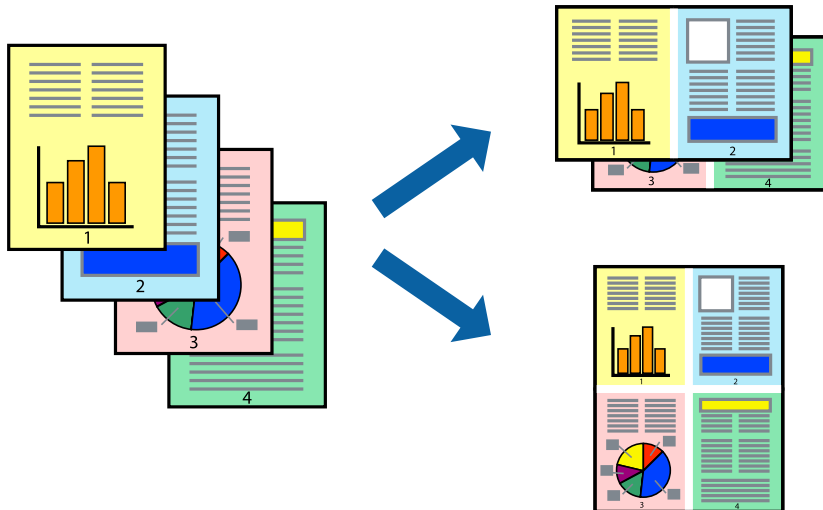
➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)

➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)

➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



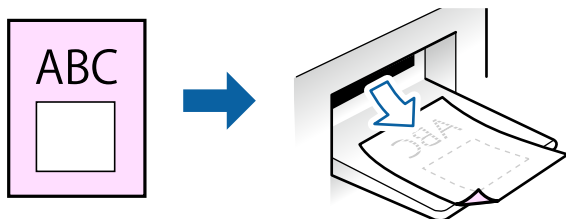
1. プリンタードライバーの **〔基本設定〕** タブの **〔ページ集約/ポスター〕** で **〔2in1〕**、**〔4in1〕**、**〔6in1〕**、**〔8in1〕**、**〔9in1〕**、**〔16in1〕** から割り付け方法を選択します。
2. **〔設定〕** をクリックし、各項目を設定して **〔OK〕** をクリックします。
3. **〔基本設定〕** タブと **〔応用設定〕** タブの各項目を設定して **〔OK〕** をクリックします。
[〔基本設定タブ〕 204ページ](#)
[〔応用設定タブ〕 206ページ](#)
4. **〔印刷〕** をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン）

用紙を下向きに排紙することで、印刷結果を他人に見られないようにできます。



フェイスダウンは、以下の用紙でのみ有効にできます。

普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、ビジネス普通紙、厚紙1

参考 通常よりも印刷時間がかかります。

1. **【基本設定】** タブの **【両面印刷】** から **【フェイスダウン】** を選択します。
2. **【濃度調整】** をクリックして、文書タイプに合わせて濃度を調整し、裏写りを防止できます。
3. **【基本設定】** タブと **【応用設定】** タブの各項目を設定して **【OK】** をクリックします。
[「基本設定タブ」 204ページ](#)
[「応用設定タブ」 206ページ](#)
4. **【印刷】** をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙をセットする」 191ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



1. プリンタードライバーの「基本設定」タブで以下の設定をします。

- 用紙サイズ：アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択
- 出力用紙：プリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択
「フィットページ」が自動的に選択されます。

参考 縮小した画像を用紙の真ん中に印刷するときは、「中央合わせ」をチェックします。

2. 「基本設定」タブと「応用設定」タブの各項目を設定して「OK」をクリックします。

[「基本設定タブ」204ページ](#)

[「応用設定タブ」206ページ](#)

3. 「印刷」をクリックします。

関連情報

➡ [「用紙のセット」187ページ](#)

➡ [「簡単な設定で印刷する」202ページ](#)

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



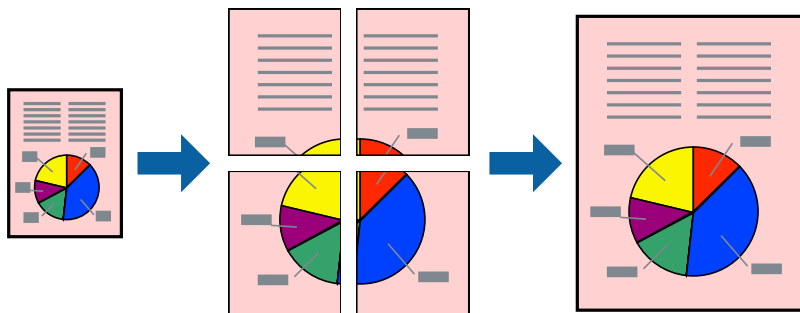
1. 「基本設定」タブの「用紙サイズ」から、印刷データのサイズを選択します。
2. 「出力用紙」で印刷したい用紙サイズを選択します。
3. 「任意倍率」を選択して、倍率を入力します。「出力用紙」が「用紙サイズと同じ」の場合は、先に「拡大/縮小」をチェックします。
4. 「基本設定」タブと「応用設定」タブの各項目を設定して「OK」をクリックします。
[「基本設定タブ」 204ページ](#)
[「応用設定タブ」 206ページ](#)
5. 「印刷」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

1 ページのデータを複数の用紙に分割して印刷する (ポスター印刷)

1 ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



参考 両面印刷との併用はできません。

1. プリンタードライバーで [基本設定] タブの [ページ集約/ポスター] から [2×1 ポスター]、[2×2 ポスター]、[3×3 ポスター]、[4×4 ポスター] のいずれかを選択します。
2. [設定] をクリックし、各項目を設定して [OK] をクリックします。

参考 [ガイド印刷] をチェックすると、貼り合わせガイドが印刷できます。

3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。

[「基本設定タブ」 204ページ](#)

[「応用設定タブ」 206ページ](#)

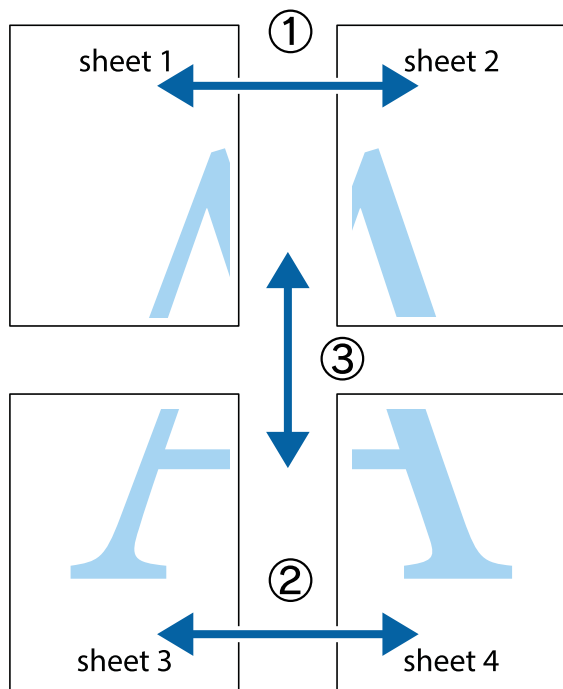
4. [印刷] をクリックします。

関連情報

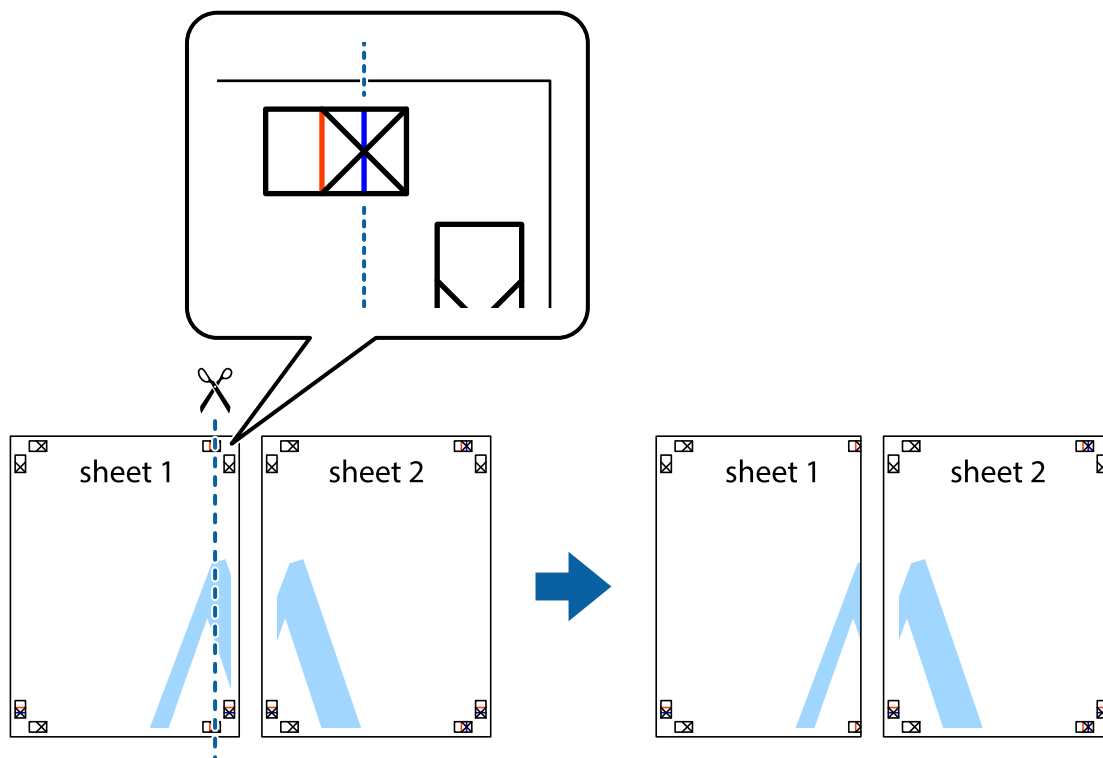
- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

用紙を貼り合わせてポスターを作る

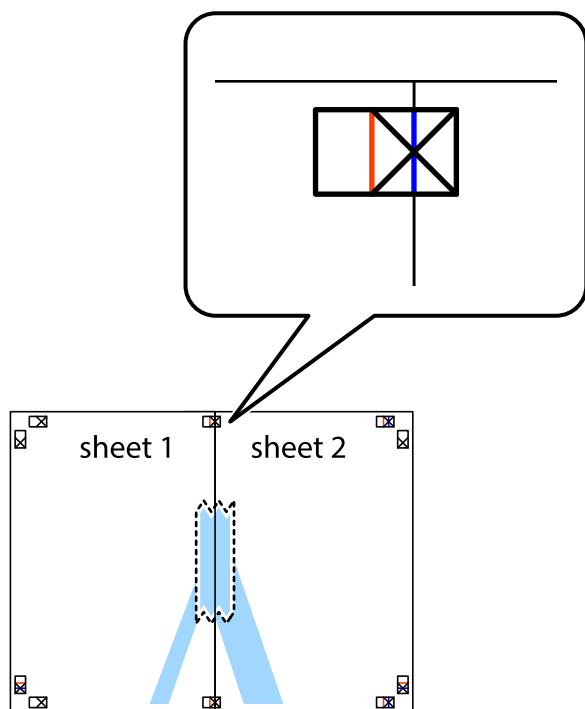
ここでは [2×2 ポスター] を選択して、[ガイド印刷] を [貼り合わせガイドを印刷] にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



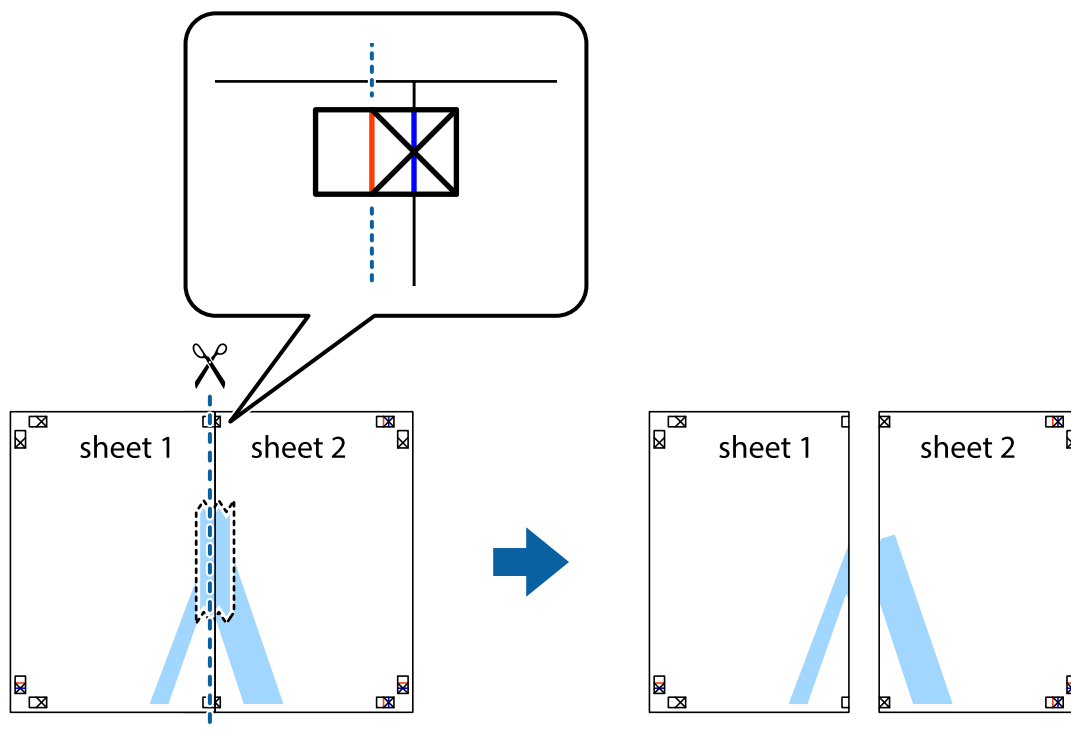
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



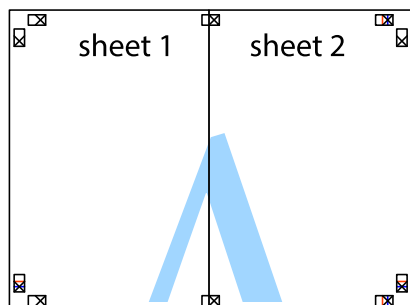
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



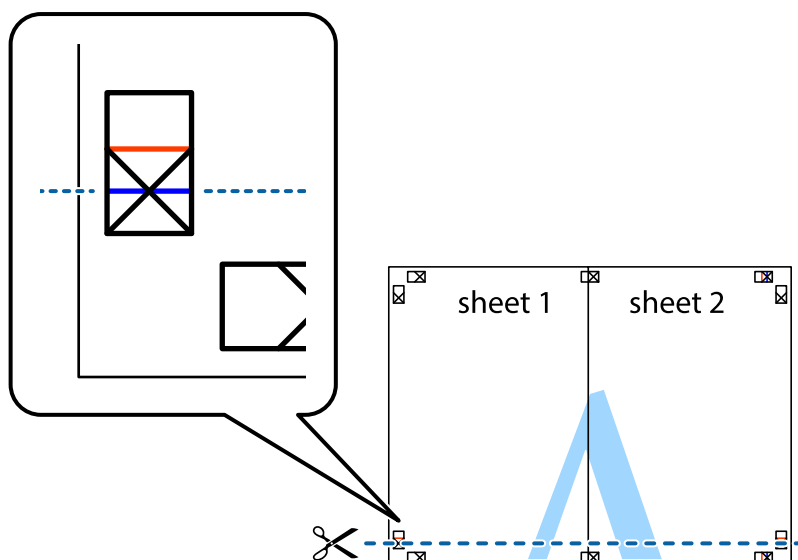
3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。



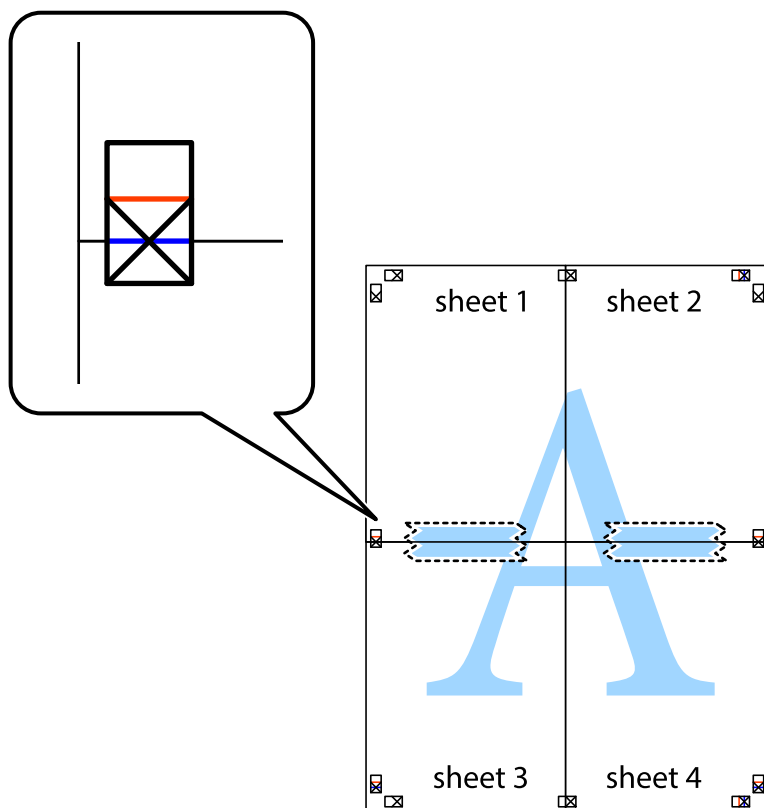
4. 裏面にテープを貼って合わせます。



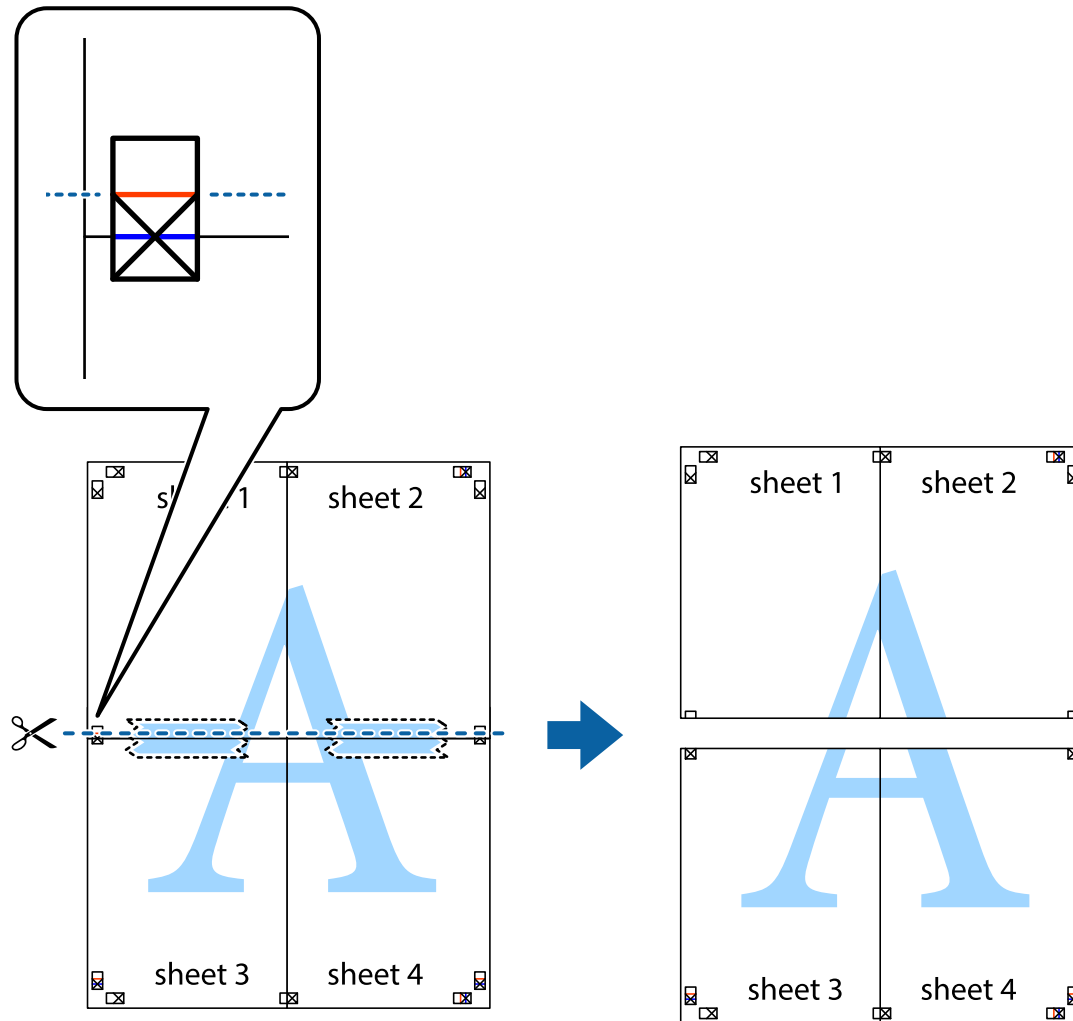
5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



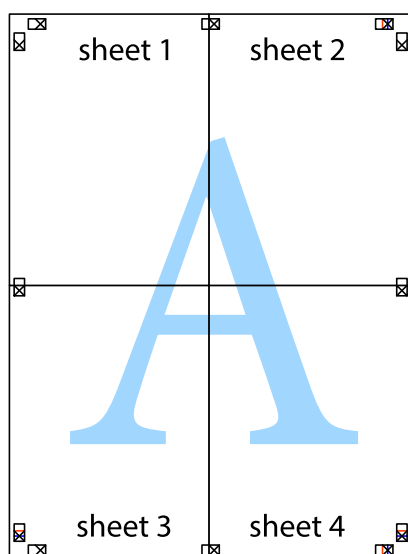
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



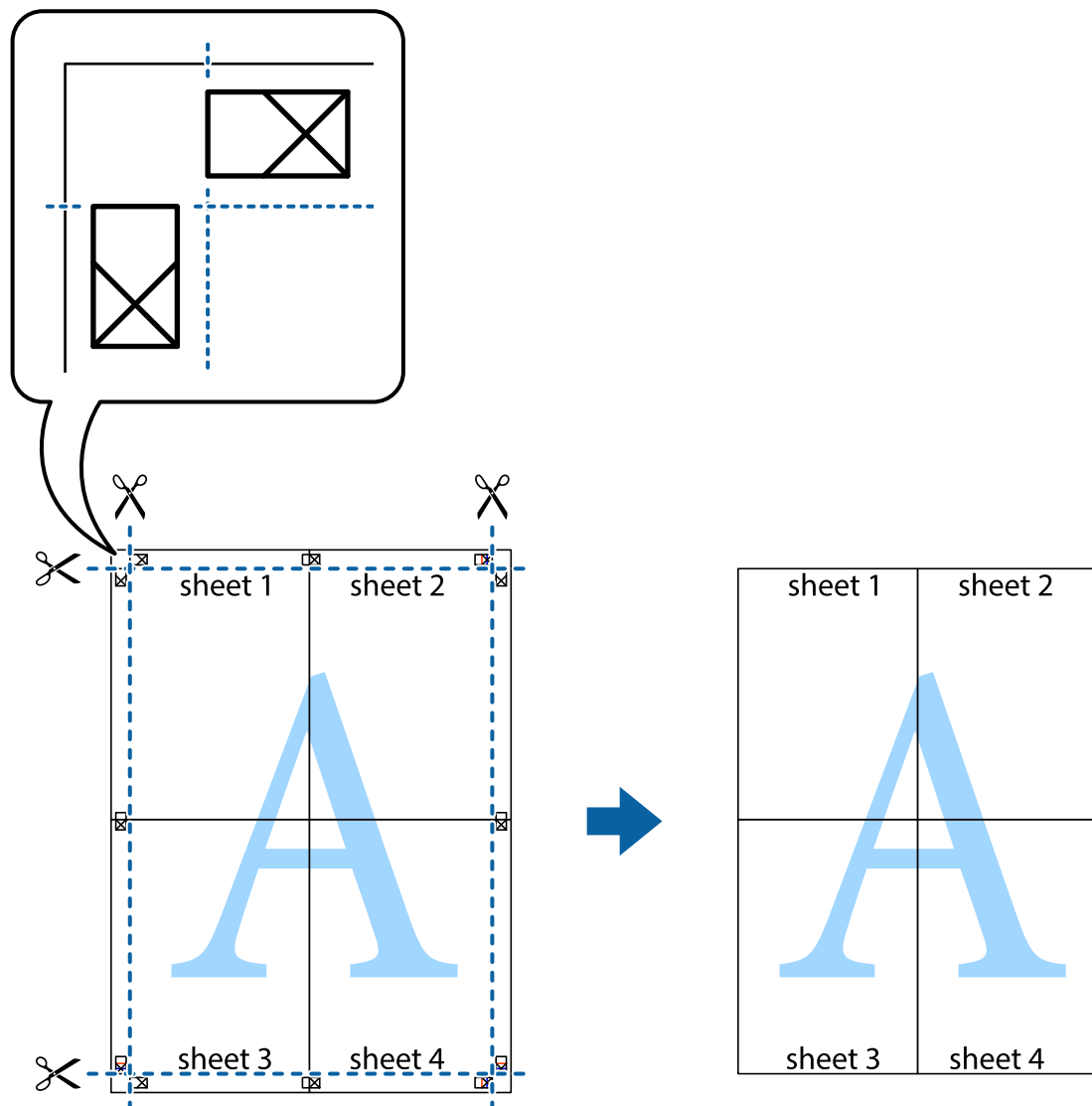
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

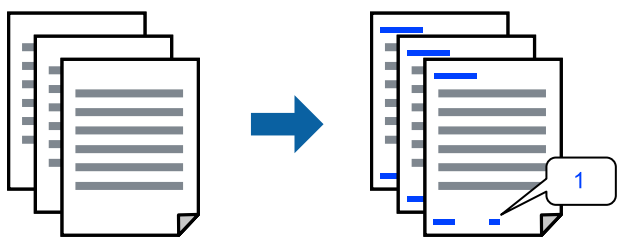


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

ヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



1. プリンタードライバーの [応用設定] タブで [背景の設定] をクリックして、[ヘッダー/フッター] にチェックします。

2. **【設定】** をクリックして印刷したい項目を選択し、**OK** をクリックします。

- 参考**
- ページ番号の最初の数字を指定する場合は、ヘッダーやフッターに印刷したい位置から [ページ番号] を選択し、その後 [開始番号] で数字を選択します。
 - ヘッダーまたはフッターに文字を印刷する場合は、印刷する位置を選択して [テキスト] を選択します。そしてテキスト欄に任意の文字を入力します。

3. **【基本設定】** タブと **【応用設定】** タブの各項目を設定して **【OK】** をクリックします。

[「基本設定タブ」 204ページ](#)

[「応用設定タブ」 206ページ](#)

4. **【印刷】** をクリックします。

関連情報

➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)

➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。プリンターからの印刷時は、指定した文字は印刷されず全体に薄い網をかけた状態になります。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、ビジネス普通紙、厚紙1
- 印刷品質：標準
- 両面印刷：オフ
- フェイスダウン：オフ
- 色補正：自動
- 再生紙の印刷コストを軽減する：無効

参考 任意の透かし文字を登録することもできます。

1. プリンタードライバーの **【応用設定】** タブで **【セキュリティ設定】** をクリックして、透かし印刷の種類を選択します。

2. **【設定】** をクリックして、透かし文字のサイズや濃度などを設定します。

3. **【基本設定】** タブと **【応用設定】** タブの各項目を設定して **【OK】** をクリックします。

[「基本設定タブ」 204ページ](#)

[「応用設定タブ」 206ページ](#)

4. 「印刷」 をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

スタンプマークを印刷する

印刷データに「マル秘」などのマークや単語を、スタンプのように重ね合わせて印刷できます。任意のスタンプマークも登録できます。



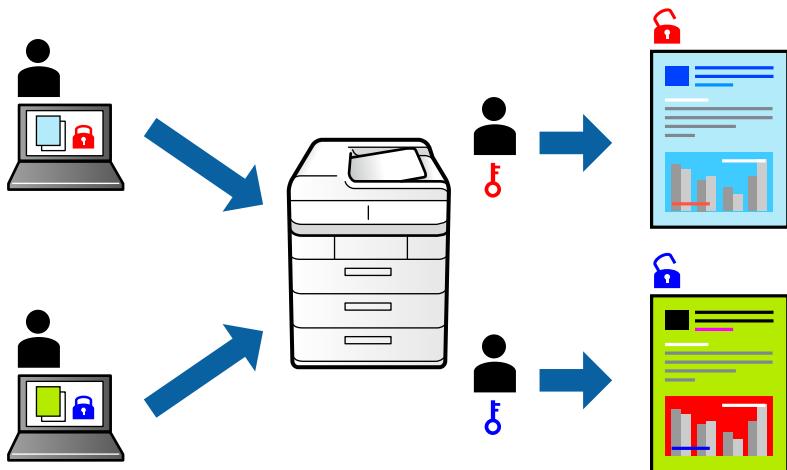
1. プリンタードライバーの「応用設定」タブで「背景の設定」をクリックして、スタンプマークの種類を選択します。
2. 「設定」をクリックして、スタンプマークの濃度や位置などを設定します。
3. 「基本設定」タブと「応用設定」タブの各項目を設定して「OK」をクリックします。
4. 「印刷」 をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

印刷ジョブにパスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



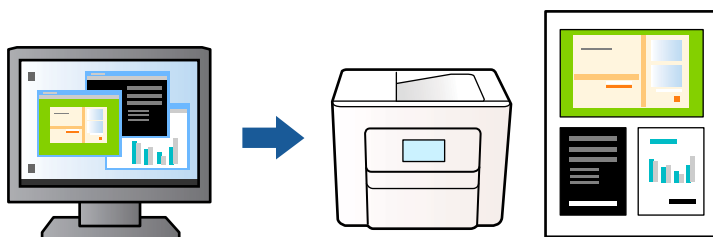
1. プリンタードライバーの [応用設定] タブの [印刷方法] から [パスワード印刷] を選択します。
2. パスワードを入力して [OK] をクリックします。
3. 必要に応じてその他の項目を設定して [OK] をクリックします。
4. [印刷] をクリックします。
5. 印刷するには、プリンターのホーム画面で [本体メモリーからの印刷] を選択します。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

複数ファイルを1つにまとめて印刷する (まとめてプリント)

まとめてプリント Liteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて印刷できます。複数ページのレイアウトや両面印刷など、結合されたファイルの印刷設定を指定できます。



1. プリンタードライバーの【基本設定】タブで【まとめてプリント Lite】にチェックを入れて【OK】をクリックします。
[「基本設定タブ」 204ページ](#)
2. 【印刷】をクリックします。
印刷を開始するとまとめてプリント Lite画面が表示されます。
3. まとめてプリント Lite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。
4. まとめてプリント Lite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。
5. 【ファイル】メニューの【印刷】をクリックして印刷を開始します。

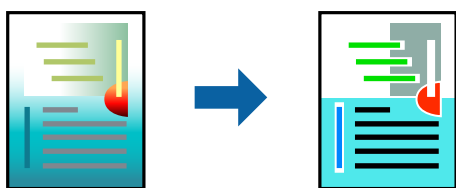
参考 全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリント Lite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。【ファイル】メニューの【保存】をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecf"です。
保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの【ユーティリティ】タブで【まとめてプリント Lite】をクリックして、まとめてプリント Lite画面を開きます。その後【ファイル】メニューの【開く】から、対象のファイルを選択します。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

カラーユニバーサルプリントで印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙、ビジネス普通紙、厚紙1
- 印刷品質：【標準】以上の高品位
- 印刷の色：【カラー】
- アプリケーションソフト：Microsoft® Office 2007以降
- 文字サイズ：96ポイント以下

1. プリンタードライバーで【応用設定】タブの【色補正】から【画像処理設定】をクリックします。
2. 【カラーユニバーサルプリント】の種類を選択します。
3. 【装飾の設定】をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。

4. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。

[「基本設定タブ」 204ページ](#)

[「応用設定タブ」 206ページ](#)

5. [印刷] をクリックします。

参考

- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「±」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

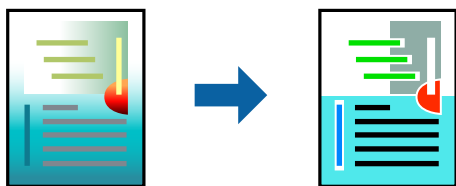
関連情報

➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)

➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



[オートフォトファイン!EX] はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考

[オートフォトファイン!EX] は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、[オートフォトファイン!EX] 以外のモードで印刷してください。

1. プリンタードライバーで、[応用設定] タブの [色補正] から、色補正の方法を選択します。

- 自動：用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
- ユーザー設定：[設定] をクリックすると、任意に設定できます。

2. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。

[「基本設定タブ」 204ページ](#)

[「応用設定タブ」 206ページ](#)

3. [印刷] をクリックします。

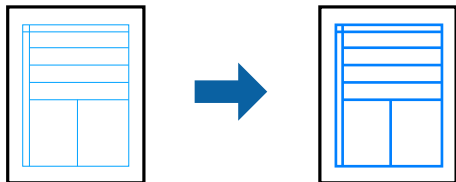
関連情報

➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)

➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



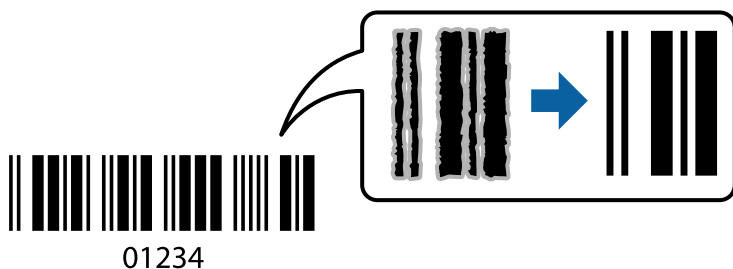
1. プリンタードライバーで [応用設定] タブの [色補正] から [画像処理設定] をクリックします。
2. [細線を鮮明にする] を選択します。
3. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
4. [印刷] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)
- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)

バーコードを鮮明に印刷する

印刷したバーコードがうまく読み取れないときに、インクのにじみを抑えて鮮明に印刷します。印刷したバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



この機能は以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、ビジネス普通紙、厚紙（紙厚91～256g/m²まで）、EPSON スーパーファイン紙、EPSON フォトマット紙、EPSON両面マット名刺用紙、郵便ハガキ、郵便ハガキ（インクジェット紙）、封筒
- 用紙種類：印刷する用紙に合わせて正しく設定する。
[「用紙種類の設定値」 189ページ](#)
- 印刷品質：[標準]、[きれい]
（郵便ハガキ（インクジェット紙）、EPSONスーパーファイン紙、EPSONフォトマット紙、EPSON両面マット名刺用紙および151～256g/m²までの厚紙は [きれい] に非対応）

参考 お使いのアプリケーションによっては、バーコードが読み取りやすくならないことがあります。

1. プリンタードライバーの【ユーティリティ】タブで【拡張設定】をクリックして、【バーコードモード】にチェックします。
2. 【基本設定】タブと【応用設定】タブの各項目を設定して【OK】をクリックします。
[「基本設定タブ」 204ページ](#)
[「応用設定タブ」 206ページ](#)
3. 【印刷】をクリックします。

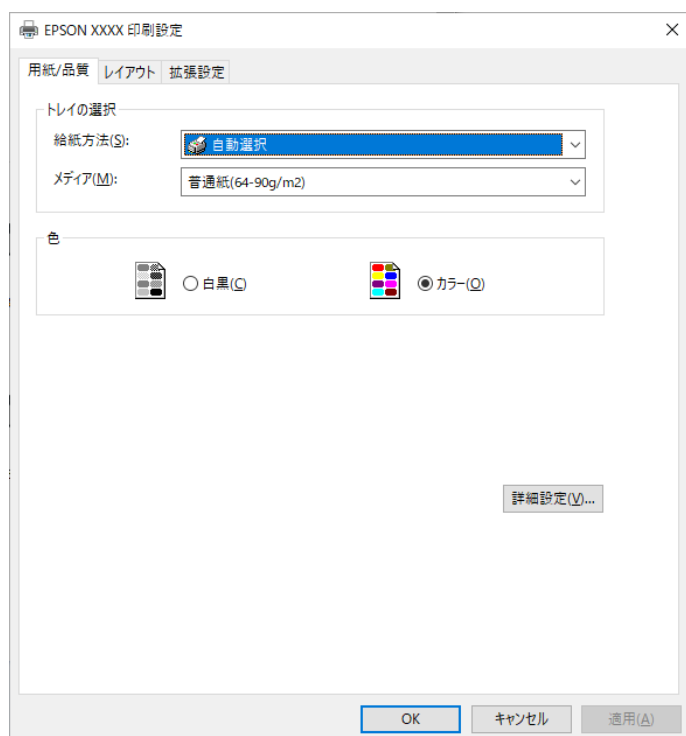
関連情報

- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 202ページ](#)

PostScriptプリンタードライバーを使って文書を印刷する (Windows)

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。
2. 【ファイル】メニューの【プリント】（または【印刷設定】など）を選択してプリント画面を表示します。
3. プリンターを選択します。
4. 【プロパティ】（または【詳細設定】など）をクリックして、プリンタードライバー（詳細な印刷設定）の画面を表示します。



5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. [OK] をクリックしてプリンタードライバーの詳細画面を閉じます。

7. [印刷] をクリックします。

関連情報

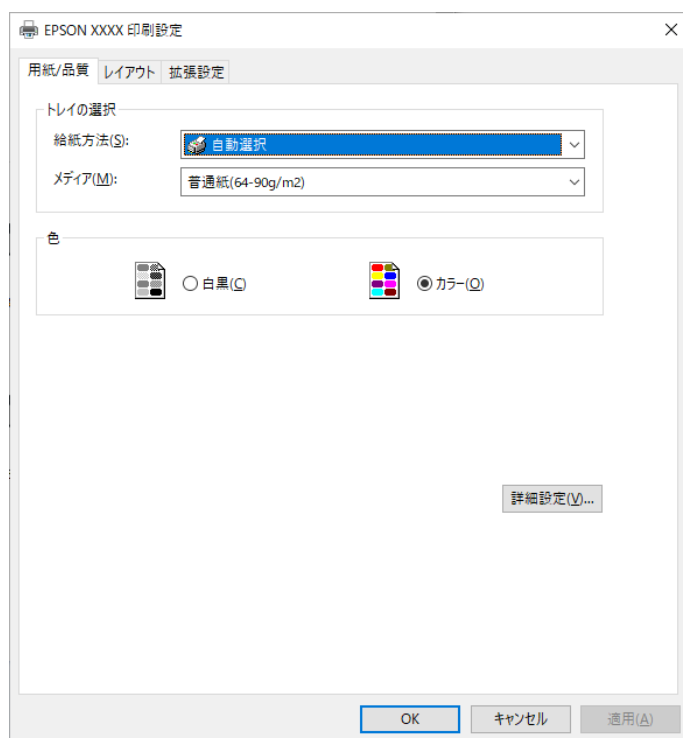
- ➡ 「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ
- ➡ 「用紙のセット」 187ページ
- ➡ 「用紙種類の設定値」 189ページ
- ➡ 「用紙/品質タブ」 230ページ
- ➡ 「レイアウトタブ」 231ページ

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

用紙/品質タブ



トレイの選択：

給紙方法とメディアを選択します。

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。

〔自動選択〕にしておくと、プリンターの〔用紙設定〕と一致する給紙装置を自動で選択します。

メディア：

印刷する用紙の種類を選択します。〔指定しない〕を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

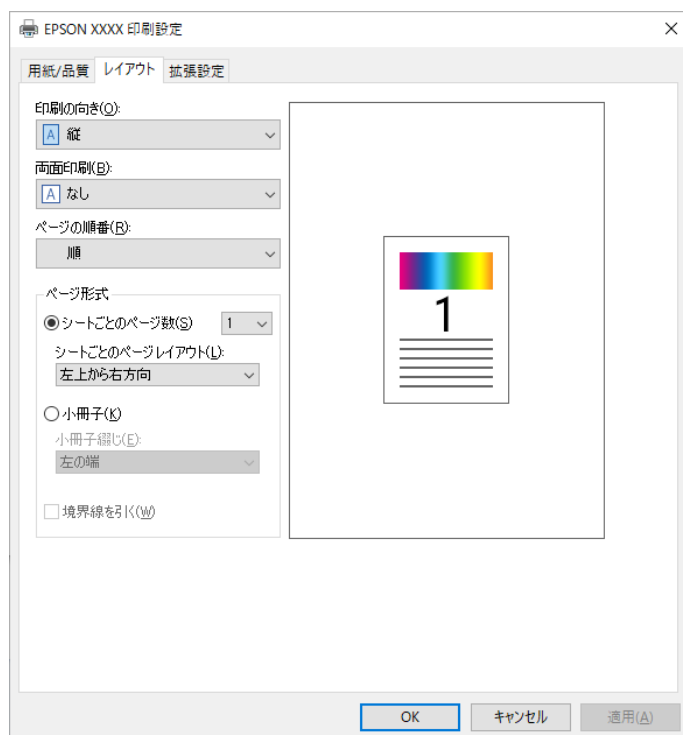
普通紙、再生紙、ビジネス普通紙

ただし、プリンターの〔給紙口自動選択〕で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

色：

印刷する色を選択します。

レイアウトタブ



印刷の向き：

データを印刷する向きを選択します。

両面印刷：

両面印刷を有効にします。

ページの順番：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。〔逆〕を選択するとページ順に仕上がります。

ページ形式：

シートごとのページ数：

シートごとのページレイアウト：

割り付け印刷時のページの配置順が設定できます。

小冊子：

小冊子綴じ：

冊子を作成するときのとじる位置を選択します。

境界線を引く：

1枚の用紙に複数のページを印刷したり、冊子を作成したりする場合に、ページごとに枠線を入れたいときに選択します。

拡張設定タブ

利用者制限設定：

管理者によってプリンターの使用が制限されている場合は、プリンタードライバに許可されているユーザー名とパスワードを登録すると印刷できます。ログオン情報はプリンターの管理者に確認してください。

情報の登録：

ユーザー名とパスワードの入力を有効にします。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

パスワード：

ファイルに設定されているパスワードを入力します。

ジョブ保存設定：

印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。

パスワード印刷：

「パスワード印刷」を選択してパスワードを入力します。プリンターの操作パネルでパスワードを入力するまで印刷されません。

パスワード：

パスワード印刷のパスワードを入力します。

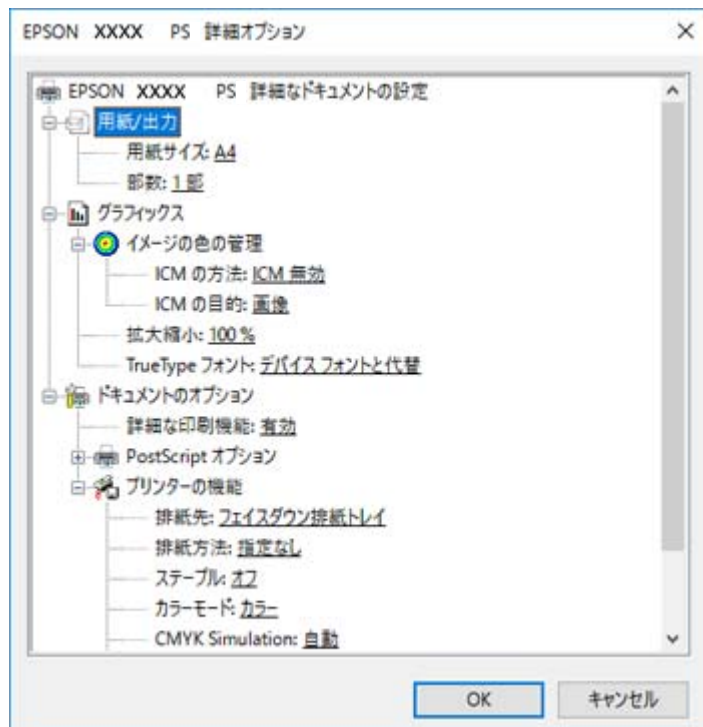
ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

ジョブ名：

ジョブ名を入力します。

詳細設定メニュー



用紙/出力：

用紙サイズと部数を選択します。

用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

部数：

印刷する部数を設定します。

グラフィックス：

次のメニューを設定します。

印刷品質：

印刷したい品質を選択します。

イメージの色の管理：

ICMの方法や目的を選択します。

拡大縮小：

拡大、縮小印刷を有効にします。

TrueType フォント：

フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。

ドキュメントのオプション：

詳細な印刷機能：

有効にすると詳細な印刷機能が設定できます。

PostScriptオプション：

オプションの設定ができます。

プリンターの機能：

次のメニューを設定します。

カラーモード：

カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選択します。

CMYKシミュレーション：

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

インクセーブ：

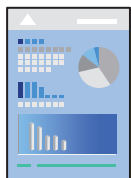
印刷濃度を薄くしてインクを節約します。

180度回転：

印刷データを180度回転して印刷します。

コンピューターから文書を印刷する (Mac OS)

簡単な設定で印刷する



参考 アプリケーションソフトによって操作や画面が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. プリンターに用紙をセットします。
[「用紙をセットする」191ページ](#)
2. 印刷するファイルを開きます。
3. [ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) を選択してプリント画面を表示します。
必要であれば [詳細を表示] (または▼) をクリックして詳細設定画面を開きます。
4. お使いのプリンターを選択します。
5. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。

参考

macOS Catalina (10.15)以降、macOS High Sierra (10.13)、macOS Sierra (10.12)、OS X El Capitan (10.11)、OS X Yosemite (10.10)、OS X Mavericks (10.9)で [印刷設定] メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。以下の方法で設定してください。

アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。

[「エプソン純正プリンターを追加する \(Mac OSのみ\)」 366ページ](#)

macOS Mojave (10.14)はテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトで [印刷設定] ができません。

6. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

7. [プリント] をクリックします。

参考

コンピューターから印刷を中止したい場合は、[Dock] 内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、プログレスメーター横の  をクリックします。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)
- ➡ [「用紙種類の設定値」 189ページ](#)
- ➡ [「印刷設定メニュー」 240ページ](#)

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考

項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

レイアウト

ページ数/枚: 1

レイアウト方向:

境界線: なし

両面: ☒ 切

☐ ページの方向を反転

☐ 左右反転

キャンセル プリント

ページ数/枚：

1枚の用紙に複数のページを印刷するときのページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

プリンタ: EPSON XXXX
プリセット: デフォルト設定
部数: 1
ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1
用紙サイズ: A4 210 x 297 mm
方向:
カラー・マッチング
☐ ColorSync ☒ EPSON Color Controls
キャンセル プリント

ColorSync/EPSON Color Controls :

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー

プリンタ: EPSON XXXX
プリセット: デフォルト設定
部数: 1 ☐ 両面
ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1
用紙サイズ: A4 210 x 297 mm
方向:
用紙処理
☒ 丁合い
プリントするページ: すべてのページ
ページの順序: 自動
☐ 用紙サイズに合わせる
出力用紙サイズ: 推奨用紙: A4
☐ 縮小のみ
キャンセル プリント

丁合い:

複数ページのデータを部ごとに印刷します。ページごとに印刷する場合はチェックを外します。

プリントするページ:

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

- 出力用紙サイズ：
出力する用紙サイズを選択します。
- 縮小のみ：
プリンターの用紙サイズに対して印刷データが大きすぎる場合のみ縮小します。

表紙メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 ☐ 両面

ページ： ☒ すべて
☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：

表紙

表紙をプリント： ☒ なし
☐ 書類の前
☐ 書類の後

表紙のタイプ： 標準

キャンセル プリント

OSのバージョンによっては、このメニューは表示されません。

表紙をプリント：

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、[書類の後]を選択します。

表紙のタイプ：

表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ☒ すべて
☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

印刷設定

給紙方法: 自動選択

用紙種類: 自動選択 (普通紙)

印刷方法: 通常印刷

印刷品質: 標準

☐ グレースケール
☐ 左右反転

キャンセル プrint

給紙方法：

どの給紙装置から給紙するかを選択します。〔自動選択〕にしておくと、プリンターの用紙設定と一致する給紙装置を自動で選択します。

用紙種類：

印刷する用紙の種類を選択します。〔自動選択（普通紙）〕を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

普通紙、再生紙、ビジネス普通紙

ただし、プリンターの〔給紙口自動選択〕で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

印刷方法：

〔パスワード印刷〕を選択すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。パスワードはユーティリティ画面の〔パスワード印刷設定〕で設定します。

印刷品質：

印刷品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。

グレースケール：

白黒で印刷したいときに選択します。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラーオプションメニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

カラーオプション

☒ 手動設定

☐ オートフォトファイン! EX

☐ 色補正なし

▶ 詳細設定:

キャンセル プrint

手動設定:

画像などの色を手動で補正して印刷します。〔詳細設定〕では、色補正の詳細な方法が選択できます。

オートフォトファイン! EX:

エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。

色補正なし:

色補正せずに印刷します。

自動両面/排紙設定メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：

自動両面/排紙設定

自動両面印刷： オフ

☐ フェイスダウン印刷

キャンセル プrint

自動両面印刷：

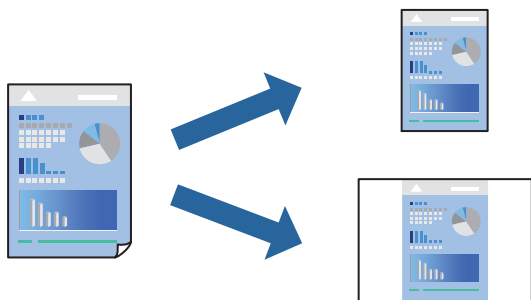
自動で用紙の両面に印刷します。

フェイスダウン印刷：

片面に印刷し、フェイスダウンで排紙します。

よく使う設定を登録して簡単に印刷する

よく使う印刷設定をプリンタードライバーに登録しておくと、リストから選択するだけで印刷できます。



1. [印刷設定] や [レイアウト] などの各項目（[用紙サイズ] や [用紙種類] など）を設定します。
2. [プリセット] をクリックし、現在の設定をプリセットとして保存します。

3. [OK] をクリックします。

参考 登録した印刷設定を削除するには、[プリセット] - [プリセットを表示] の順にクリックし、リストから削除するプリセット名を選択して削除します。

4. [プリント] をクリックします。

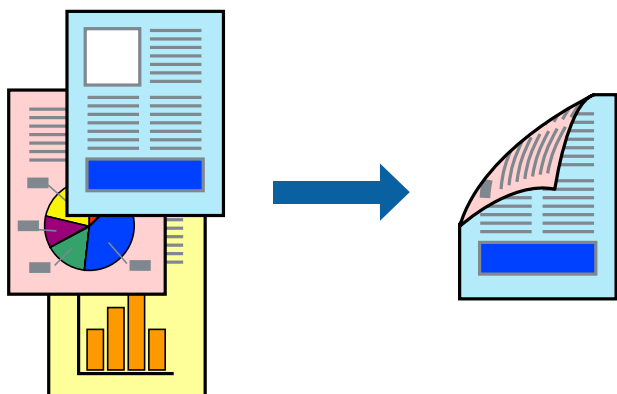
次回同じ設定で印刷するときは、[プリセット] から登録した登録名を選択して、OKをクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 235ページ](#)

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。



- 参考**
- 両面印刷に対応していない用紙を使用すると、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
[「両面印刷できる用紙」 464ページ](#)
 - 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

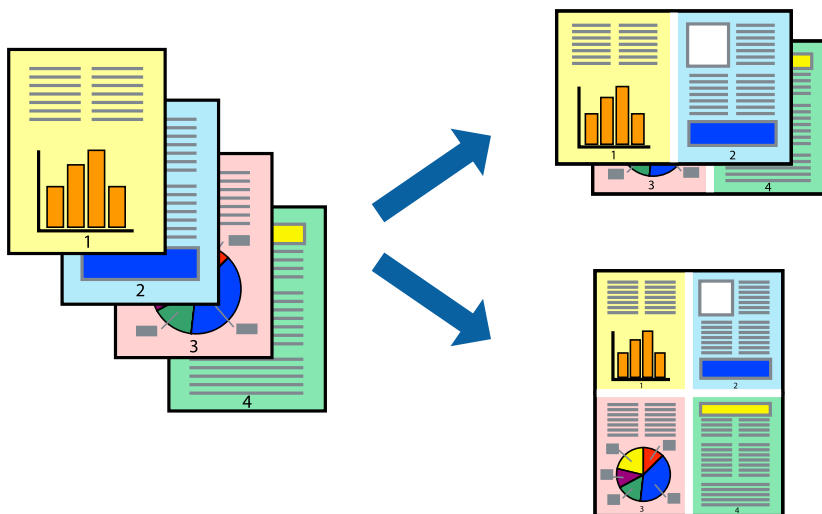
1. ポップアップメニューの[自動両面/排紙設定] を選択します。
2. [自動両面印刷] でとじ方を選択します。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. [プリント] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)
- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 235ページ](#)

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



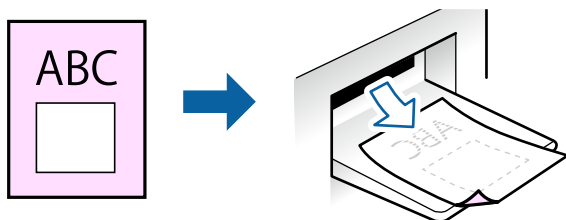
1. ポップアップメニューの「レイアウト」を選択します。
2. 「ページ数/枚」、「レイアウト方向」、「境界線」を設定します。
[「レイアウトメニュー」 237ページ](#)
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」 235ページ](#)

印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン）

用紙を下向きに排紙することで、印刷結果を他人に見られないようにできます。



フェイスダウンは、以下の用紙でのみ有効にできます。

普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、プレプリント、ビジネス普通紙、厚紙1(91～150g/m²)

参考 通常よりも印刷時間がかかります。

1. ポップアップメニューから「自動両面/排紙設定」を選択し、「フェイスダウン印刷」にチェックします。
2. 文書タイプを選択すると、文書タイプに合わせて濃度が調整できます。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4. 「プリント」をクリックします。

用紙サイズに合わせて印刷する

プリンターにセットした用紙のサイズに合わせて印刷できます。



1. 「用紙サイズ」はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択します。
2. ポップアップメニューの「用紙処理」を選択します。
3. 「用紙サイズに合わせる」をチェックします。
4. 「出力用紙サイズ」でプリンターにセットした印刷用紙のサイズを選択します。
5. 必要に応じてその他の項目を設定します。
6. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」235ページ](#)

任意の倍率で拡大または縮小して印刷する

任意の倍率で、拡大または縮小して印刷できます。



参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 以下のいずれかを実施します。

- アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから、[プリント] を選択します。[ページ設定] をクリックして、[対象プリンタ] でお使いのプリンターを選択します。[用紙サイズ] から印刷するデータのサイズを選択し、[拡大縮小] に倍率を入力して、[OK] をクリックします。
- アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから、[ページ設定] を選択します。[対象プリンタ] でお使いのプリンターを選択します。[用紙サイズ] から印刷するデータのサイズを選択し、[拡大縮小] に倍率を入力して、[OK] をクリックします。[ファイル] メニューから、[プリント] を選択します。

2. [プリンタ] でお使いのプリンターを選択します。

3. 必要に応じてその他の項目を設定します。

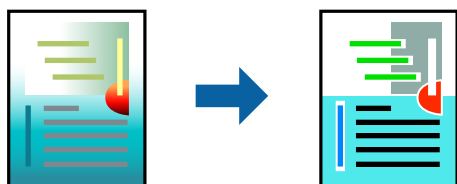
4. [印刷] または [プリント] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「用紙のセット」187ページ](#)
- ➔ [「簡単な設定で印刷する」235ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。元データは補正しません。



「オートフォトファイン!EX」はエプソン独自の画像解析、処理技術を用いて自動的に画像を高画質にして印刷します。

参考 「オートフォトファイン!EX」は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、「オートフォトファイン!EX」以外のモードで印刷してください。

1. ポップアップメニューの「カラー・マッチング」を選択し、「EPSON Color Controls」を選択します。
2. ポップアップメニューの「カラーオプション」を選択して、色補正の種類を選択します。
3. 「詳細設定」横の矢印をクリックして、各項目を設定します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」187ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」235ページ](#)

Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScriptプリンタードライバーはPostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。
プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。
2. 「ファイル」メニューの「プリント」（または「印刷」など）を選択してプリント画面を表示します。
必要であれば「詳細を表示」（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。
3. お使いのプリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの「プリンタの機能」を選択します。

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☐ 両面

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向: ☒ 縦向き ☐ 横向き

プリンタの機能

機能セット: 印刷品質

用紙種類: 普通紙

解像度: きれい

キャンセル プrint

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)
- ➡ [「用紙のセット」 187ページ](#)
- ➡ [「用紙種類の設定値」 189ページ](#)
- ➡ [「プリンタの機能メニュー」 253ページ](#)

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 ☐ 両面

ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：

レイアウト

ページ数/枚： 1

レイアウト方向：

境界線： なし

両面： 切

☐ ページの方向を反転

☐ 左右反転

キャンセル プリント

ページ数/枚：

用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。

レイアウト方向：

ページの並べ方を選択します。

境界線：

ページを区切る境界線の設定をします。

両面：

両面印刷を有効にします。

ページの方向を反転：

データを180度回転して印刷します。

左右反転：

データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☐ 両面

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

カラー・マッチング

☒ ColorSync ☐ プリンタのカラー

プロファイル: 自動

キャンセル プリント

ColorSync/プリンタのカラー：

色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。

用紙処理メニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☐ 両面

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

用紙処理

☒ 丁合い

プリントするページ: すべてのページ

ページの順序: 自動

☐ 用紙サイズに合わせる

出力用紙サイズ: 推奨用紙: A4

☐ 縮小のみ

キャンセル プリント

丁合い：

部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。

プリントするページ：

印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

ページの順序：

複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。

用紙サイズに合わせる：

出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。

出力用紙サイズ：

出力する用紙サイズを選択します。

縮小のみ：

縮小印刷時に選択します。

給紙メニュー

どの給紙装置から給紙するかを選択します。

すべてのページ：

〔自動選択〕にしておくと、プリンターの〔用紙設定〕と一致する給紙装置を自動で選択します。

先頭ページのみ/残りのページ：

ページの給紙方法が選択できます。

表紙メニュー

OSのバージョンによっては、このメニューは表示されません。

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☐ 両面

ページ: ☒ すべて
☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

表紙

表紙をプリント: ☒ なし
☐ 書類の前
☐ 書類の後

表紙のタイプ: 標準

キャンセル プリント

表紙をプリント:

表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、[書類の後]を選択します。

表紙のタイプ:

表紙に印刷される内容を選択します。

ジョブ設定メニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☒ 両面

ページ: ☒ すべて
☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

ジョブ設定

☐ パスワード印刷

ユーザ名:

ジョブ名:

パスワード: [0-9]

キャンセル プリント

パスワード印刷：

印刷ジョブのパスワードを入力します。

ユーザー名：

ユーザー名を入力します。

ジョブ名：

ジョブ名を入力します。

パスワード：

パスワードを入力します。

プリンタの機能メニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☐ 両面

ページ: ☒ すべて
☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向: ☒ 縦向き ☐ 横向き

プリンタの機能

機能セット: 印刷品質

用紙種類: 普通紙

解像度: きれい

キャンセル プrint

機能セット：

印刷品質:

用紙種類:

印刷する用紙の種類を選択します。[Unspecified]を選択すると、プリンターの給紙装置設定で用紙種類を以下に設定した給紙装置から印刷されます。

普通紙、再生紙、ビジネス普通紙

ただし、プリンターの[給紙口自動選択]で給紙装置がオフになっている給紙装置からは給紙されません。

解像度:

印刷したい品質を選択します。

カラー設定:

カラーモード:

カラー印刷かモノクロ印刷かを選択します。

CMYKシミュレーション:

オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。

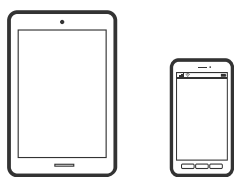
その他の設定:

インクセーブ:

印刷濃度を薄くしてインクを節約します。

スマートデバイスから文書を印刷する

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから文書を印刷できます。



Epson Smart Panelで印刷する

Epson Smart Panel (エプソン スマートパネル) は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、印刷、コピー、スキャンなど、プリンターを簡単に操作できるアプリケーションです。プリンターとスマートデバイスの無線LAN 接続をしたり、インク残量やプリンターの状態を確認したり、エラー発生時に対処方法を確認したりできます。また、ホーム画面にコピーのお気に入り登録して簡単にコピーできます。



以下のURLまたはQRコードから、Epson Smart Panelをインストールしてください。

<https://support.epson.net/smpdl/>



Epson Smart Panelを起動し、ホーム画面で印刷のメニューを選択します。

Epson印刷サービスプラグインで印刷する

Epson印刷サービスプラグインを使うと、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android7.0以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できます。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくとう便利です。

Google PlayからEpson印刷サービスプラグインを検索してインストールしてください。

お使いのスマートデバイスの[設定] から[印刷] を選択して、Epson印刷サービスプラグインを有効にします。ChromeなどのAndroidアプリケーションで、メニューアイコンをタップして印刷します。

参考 プリンターが見つからないときは、[すべてのプリンター] をタップして、お使いのプリンターを選択してください。

AirPrintで文書を印刷する

AirPrintを使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくてもiPhone、iPad、iPod touchやMacから簡単に無線で印刷できます。



参考 操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrintは使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連情報をご覧ください。

1. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。

<https://epson.sn>

2. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。

3. 機器からプリンターに印刷します。

参考 詳しくはアップル社ウェブサイトのAirPrintのページをご覧ください。

関連情報

➔ [「接続できているのに印刷できない \(iOS\)」 388ページ](#)

Mopria Print Serviceで印刷する

Mopria Print Serviceを使うと、Androidスマートフォンやタブレットから簡単に無線で印刷できます。

Google PlayからMopria Print Serviceをインストールしてください。



詳しくは<https://mopria.org>の使い方のページをご覧ください。

Chromebookから印刷する

Chrome OSのネイティブ印刷に対応しています。

1. プリンターを無線LANで利用できるか確認します。
プリンターが有線LANで接続されている場合は、Wi-Fi Direct接続でプリンターとChromebookを直接無線接続できます。接続方法は関連情報をご覧ください。
2. Chromebookとプリンターを同じ無線LANに接続します。
ChromebookでWi-Fiに接続する手順でプリンターがつながっているネットワークを指定してください。
3. 表示中のページ、画像、文書などから印刷を実行します。
Chromebookにプリンターを設定する方法は以下を参照してください。
同じネットワーク上にある場合
<https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7434>
プリンターを手動追加する場合
<https://support.epson.net/publist/vlink.php?code=NPD7469>

関連情報

➡ 「デバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）」 369ページ

ハガキ、年賀状、封筒に印刷する

ハガキ印刷のポイントは以下の通りです。

- 宛名（住所録）を印刷するときは、市販のアプリケーションソフトなどをご利用ください。
- 用紙設定では、[用紙サイズ]を[ハガキ]、[用紙種類]をハガキの種類に合わせて設定してください。
- ハガキをセットするときは、宛名面と通信面、郵便番号枠の向きに注意してください。

コンピューターからハガキや封筒に印刷する

ハガキや封筒に印刷する（Windows）

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキまたは封筒をセットします。
「用紙をセットする」 191ページ
2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」 363ページ

3. 印刷するファイルを開きます。
4. プリンタードライバーの画面を表示させます。
5. [基本設定] タブの [用紙サイズ] で [ハガキ] を選択して、[用紙種類] でハガキの種類を選択します。
6. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を設定して [OK] をクリックします。
7. [印刷] をクリックします。

ハガキや封筒に印刷する (Mac OS)

ここではプリンタードライバーを使って印刷する手順を説明します。

1. プリンターにハガキまたは封筒をセットします。
[「用紙をセットする」 191ページ](#)
2. エプソン純正プリンタードライバーをインストールしていない場合は、インストールします。
[「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する \(Mac OS\)」 365ページ](#)
3. 印刷するファイルを開きます。
4. [ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) を選択してプリント画面を表示させます。
5. [用紙サイズ] 設定で [はがき] を選択します。
6. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。
7. [用紙種類] 設定でハガキの種類を選択します。
8. 必要に応じてその他の項目を設定します。
9. [プリント] をクリックします。

スマートデバイスからハガキに印刷する

「スマホでカラリオ年賀」は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスで年賀状が作成できるアプリです。豊富なテンプレートとスタンプで、オリジナルの年賀状を簡単に作成できます。Epson Smart Panelのホーム画面からインストールしてください。

外部メモリー内のデータを印刷する

外部メモリー内のJPEGデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のJPEGデータを印刷します。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
[「USB接続機器をセットする」199ページ](#)
2. ホーム画面で「外部メモリーから印刷」を選択します。
3. 「JPEG印刷」を選択します。
4. ファイルを選択して次の画面に進みます。



 をタップすると、画像選択のサブメニューが表示されます。

5. 必要に応じて「基本設定」および「応用設定」の項目を設定して をタップします。

関連情報

➔ [「外部メモリー印刷時の設定メニュー」260ページ](#)

外部メモリー内のPDFデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のPDFデータを印刷します。

参考 以下の用紙種類とサイズは、PDFデータの印刷には対応していません。

- 用紙種類: 両面マット名刺用紙
- 用紙サイズ: 往復ハガキ、長形封筒（3号、4号）、洋形封筒（1号、3号、4号）、角形封筒（2号、20号）、16K（195×270mm）、8K（270×390mm）、L判、KGサイズ、2L判、六切、四切、ハイビジョン

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
[「USB接続機器をセットする」 199ページ](#)
2. ホーム画面で **「外部メモリーから印刷」** を選択します。
3. **「PDF印刷」** を選択します。
4. ファイルを選択します。



5. 必要に応じて **「基本設定」** および **「応用設定」** の項目を設定します。
6. **◇**をタップします。

関連情報

➡ [「PDF印刷」 261ページ](#)

外部メモリー内のTIFFデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のTIFFデータを印刷します。

1. プリンターの外部機器接続用USBポートに外部メモリーを挿入します。
[「USB接続機器をセットする」 199ページ](#)
2. ホーム画面で **「外部メモリーから印刷」** を選択します。
3. **「TIFF印刷」** を選択します。

4. ファイルを選択します。

をタップすると、ファイルの並び順を変更できます。



5. 必要に応じて「基本設定」および「応用設定」の項目を設定してをタップします。

関連情報

➡ [「TIFF印刷：」 262ページ](#)

外部メモリー印刷時の設定メニュー

JPEG印刷：



画像の並び順：

画像ファイルの表示順、選択や選択解除を設定します。（初期値は「昇順」）

昇順：

ファイルパス名の昇順で表示します。

降順：

ファイルパス名の降順で表示します。

全ての画像を選択：

表示されている全ての画像ファイルを選択します。

画像の選択解除：

ファイルの選択を解除します。

グループ選択：

グループごとに画像をまとめて選択します。外部メモリー内に999枚を超える画像が含まれる場合、画像は自動的に日付ごとにグループ化されます。

基本設定

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は [C1] ）

カラーモード：

通常印刷するときの色を設定します。

応用設定

レイアウト：

JPEGファイルの配置方法を選択します。[1面] は、1枚の用紙に1ファイルを印刷します。[20面] は、1枚の用紙に20ファイルを印刷します。[インデックス] は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は [1面] ）

トリミング：

[オン] にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱい印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は [オフ] ）

印刷品質：

[きれい] にすると、高品質で印刷できます。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は [標準] ）

日付表示：

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は [オフ] ）

自動画質補正：

エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。自動補正をしたくないときは、[自動補正なし] を選択します。（初期値は [自動補正なし] ）

赤目補正：

[オン] にすると、赤く撮影された目の色を補正することができます。元のファイルは補正しません。画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうことがあります。（初期値は [オフ] ）

PDF印刷

：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は [昇順] ）

基本設定

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は [自動] ）

カラーモード：

通常印刷するときの色を設定します。

応用設定

両面設定

両面印刷：

［オン］ にするとPDFを両面印刷できます。

開き方向(出力)：

両面印刷時のページ開きの方向を選択します。初期値は、［左右開き］

印刷順序：

印刷するページの順番が指定できます。（初期値は［正順印刷］）

TIFF印刷：

：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は［昇順］）

基本設定

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は［C1］）

カラーモード：

通常印刷するときの色を設定します。

応用設定

レイアウト：

マルチTIFFファイルの配置方法を選択します。［1面］ は、1枚の用紙に1ページ印刷します。［20面］ は、1枚の用紙に20ページ印刷します。［インデックス］ は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は［1面］）

トリミング：

［オン］ にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱい印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は［オフ］）

印刷品質：

［きれい］ にすると、高品質で印刷できます。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は［標準］）

印刷順序：

印刷するページの順番が指定できます。（初期値は〔正順印刷〕）

日付表示：

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は〔オフ〕）

ウェブページを印刷する

スマートデバイスからウェブページを印刷する

以下のURLまたはQRコードから、Epson Smart Panelをインストールしてください。

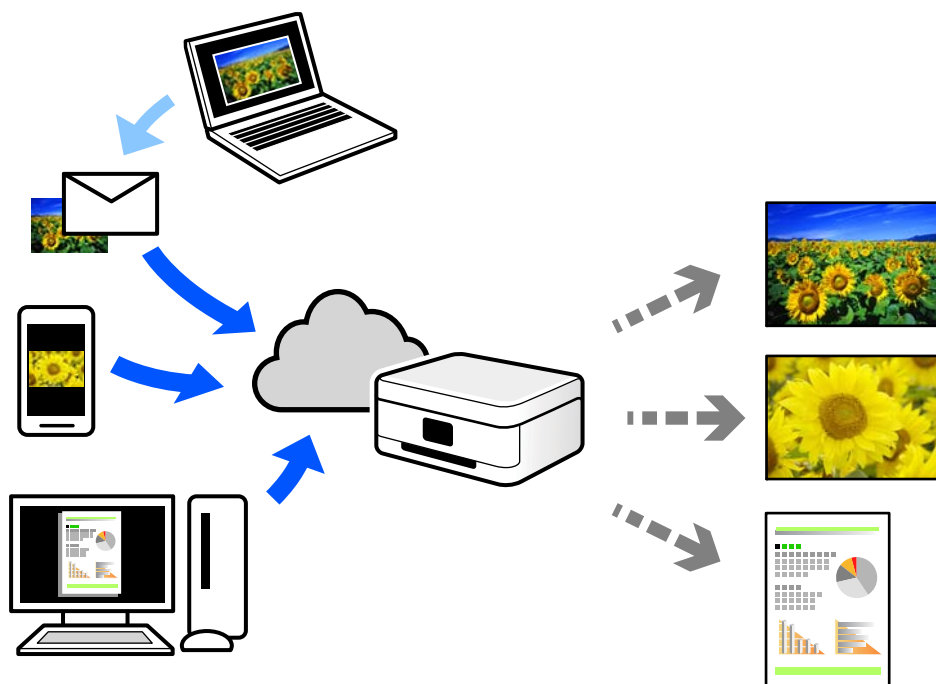
<https://support.epson.net/smpdl/>



ウェブブラウザアプリで印刷したいウェブページを開きます。ウェブブラウザアプリのメニューから〔共有〕をタップし、〔Smart Panel〕を選択して印刷します。

クラウドサービスで印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。



インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson Smart Panel
スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ウェブサイトのコンテンツなどを直接印刷できます。
- リモートプリントドライバー
リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

Epson Connectのセットアップ方法や印刷方法など、詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

割り込み印刷をする

実行中の印刷ジョブを中断して、プリンターが受信済みの印刷ジョブを優先して印刷できます。

参考 コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。

1. 印刷ジョブの実行中に、操作パネルのボタンを押します。
印刷が中断され、割り込みモードに移行します。
2. ホーム画面で [ジョブ/状態] を選択します。
3. [ジョブ] タブを選択して、割り込ませたい印刷ジョブを [実行中] のリストから選択します。
4. [詳細表示] を選択して、ジョブ詳細を表示します。
5. 表示された画面で [割り込み] を選択します。

目的の印刷ジョブが実行されます。

中断した印刷ジョブを再開するには、もう一度ボタンを押して、割り込みモードを解除します。また、印刷ジョブを中断した後一定時間操作がされないと、割り込みモードは解除されます。



コピー

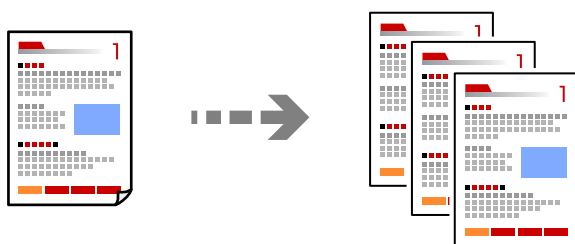
このプリンターでできるコピー	267
コピー時のメニューの説明	276

このプリンターでできるコピー

原稿を原稿台かADFにセットしてから、ホーム画面で［コピー］を選択してコピーします。

コピーする

定形サイズや、不定形サイズの原稿を、カラーまたはモノクロでコピーできます。



1. プリンターに用紙をセットします。
「用紙をセットする」191ページ
2. 原稿をセットします。
「原稿のセット」195ページ
3. ホーム画面で［コピー］を選択します。
4. 「基本設定」タブを選択して、「自動」、「カラー」または「モノクロ」を選択します。



5. 𠂇をタップします。

両面にコピーする

複数枚の原稿を用紙の両面にコピーします。



1. 読み取る面を上にして、ADFに全ての原稿をセットします。

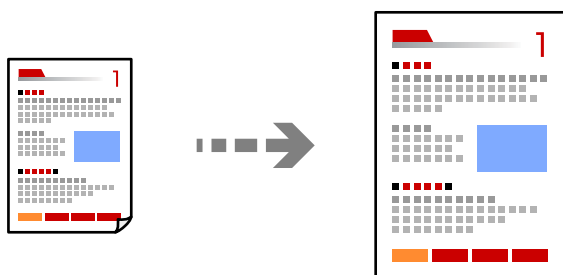
！重要 ADFに対応していない原稿をコピーしたい場合は、原稿台を使用してください。
[「ADFにセットできない原稿」 196ページ](#)

参考 原稿は原稿台にもセットできます。
[「原稿のセット」 195ページ](#)

2. ホーム画面で【コピー】を選択します。
3. 【基本設定】タブを選択して、【両面設定】を選択します。実行したい両面メニューを選択してください。
4. 原稿の向きと、原稿や用紙の開き方向などを指定します。
5. ◇をタップします。

拡大または縮小してコピーする

倍率を指定してコピーします。



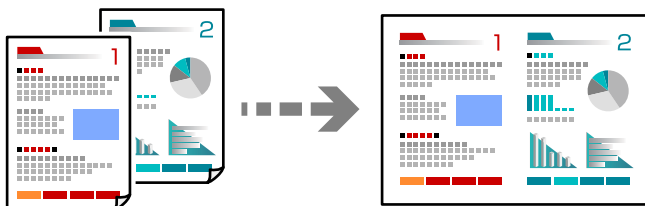
1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」 195ページ](#)
2. ホーム画面で【コピー】を選択します。
3. 【基本設定】タブを選択して、【倍率】を選択します。

4. 拡大縮小の倍率を指定します。

5. ◇をタップします。

割り付けてコピーする

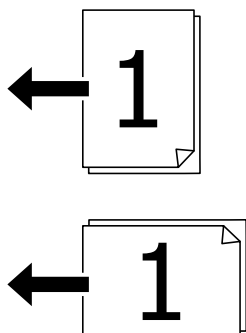
複数枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。



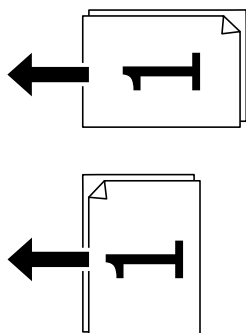
1. 読み取る面を上にして、ADFに全ての原稿をセットします。

図で示した向きで原稿をセットします。

- 読める向き



- 左向き



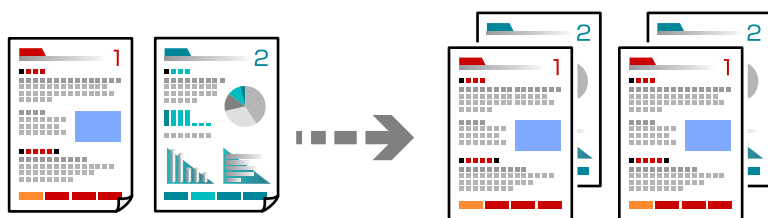
！重要 ADFに対応していない原稿をコピーしたい場合は、原稿台を使用してください。
[「ADFにセットできない原稿」 196ページ](#)

参考 原稿は原稿台にもセットできます。
[「原稿のセット」 195ページ](#)

2. ホーム画面で【コピー】を選択します。
3. 【応用設定】タブを選択し、【ページ集約】を選択して、【2in1】または【4in1】を選択します。
4. 割り付け順や、原稿のセット向きを指定します。
5. ◇をタップします。

ページ順でコピーする

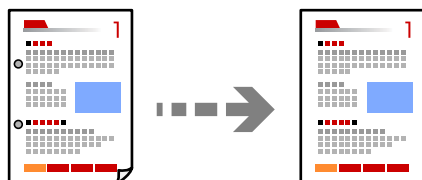
複数ページの原稿を複数部コピーするときに、1部ずつにまとめて排紙できます。



1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」195ページ](#)
2. ホーム画面で【コピー】を選択します。
3. 【応用設定】タブを選択して、【仕上げ】 - 【ソート(1部ごと)】を選択します。
4. ◇をタップします。

原稿の影やパンチ穴を消してきれいにコピーする

影やパンチ穴を消したり、画質調整をしたりしてきれいにコピーできます。

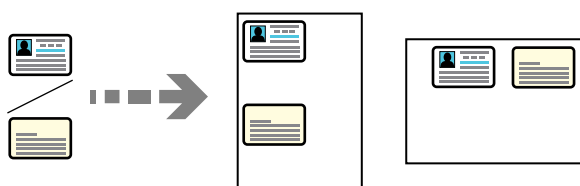


1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」195ページ](#)
2. ホーム画面で【コピー】を選択します。

3. 「[応用設定]」タブを選択して、「[影消し]」や「[パンチ穴消し]」を有効にするか、「[詳細画質調整]」で画質を調整します。
4. ◇をタップします。

カードの表裏を用紙の片面に並べてコピーする

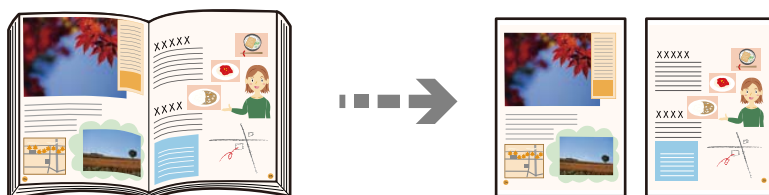
IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。



1. 原稿をセットします。
「[原稿のセット](#)」195ページ
2. ホーム画面で「[コピー]」を選択します。
3. 「[応用設定]」タブを選択し、「[IDカードコピー]」を選択して、設定を有効にします。
4. 「[原稿セット方向]」を設定します。
5. ◇をタップします。
画面の指示に従って、原稿の裏面をセットしてください。

見開き2ページを1ページずつに分けてコピーする

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。



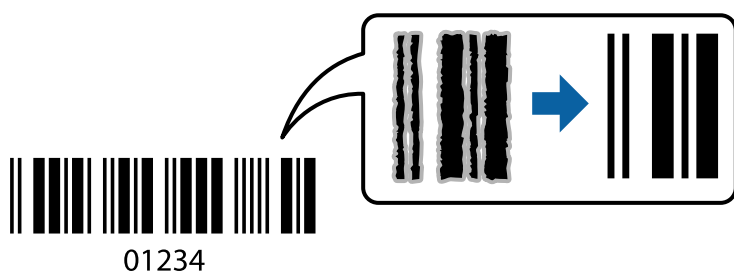
1. 原稿台に原稿をセットします。
「[原稿のセット](#)」195ページ
2. ホーム画面で「[コピー]」を選択します。
3. 「[応用設定]」タブを選択し、「[見開き→2ページ]」を選択して、設定を有効にします。

4. 「読み取り順序」を指定します。

5. ◇をタップします。

バーコードのにじみを抑えてコピーする

インクのにじみを抑えて印刷し、バーコードを読み取りやすくします。コピーしたバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



1. 原稿をセットします。

[「原稿のセット」195ページ](#)

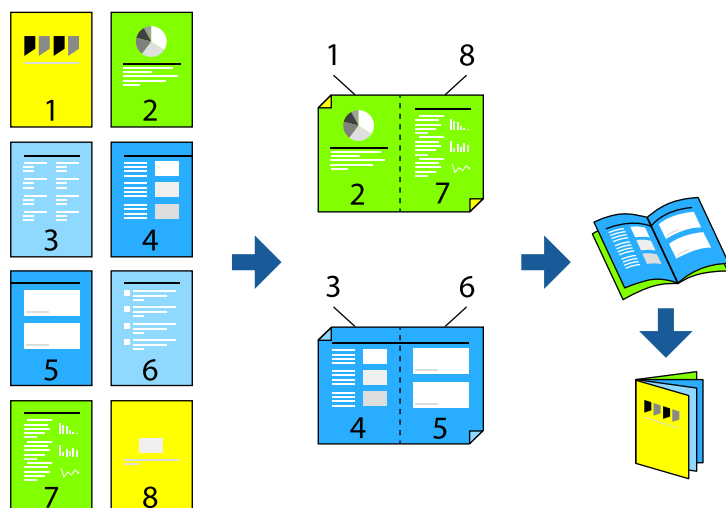
2. ホーム画面で「コピー」を選択します。

3. 「基本設定」タブを選択して、「原稿種類」 - 「バーコード」を選択します。

4. ◇をタップします。

製本できるように割り付けてコピーする

原稿をコピーして、製本割り付けして印刷します。おもて表紙やうら表紙を付けることもできます。



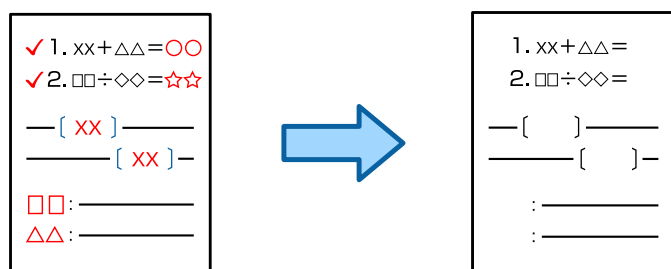
1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」195ページ](#)
2. ホーム画面で[コピー]を選択します。
3. [応用設定] タブを選択して、[製本割り付け]を選択します。
4. [製本割り付け]を有効にします。
自動で設定される項目の確認画面が表示された場合は、内容を確認して[OK]を選択します。
5. [開き方向]と[中とじしろ]を設定します。
6. 表紙を付けたいときは、[表紙]を有効にします。
[用紙設定]で表紙用の用紙をセットした給紙装置を選択し、[おもて表紙]や[うら表紙]で表紙の印刷設定をします。
7. 必要に応じて、その他の項目を設定します。
8. をタップします。

赤色を消去してコピーする

原稿の赤い部分を消してコピーできます。

詳細は以下をご覧ください。

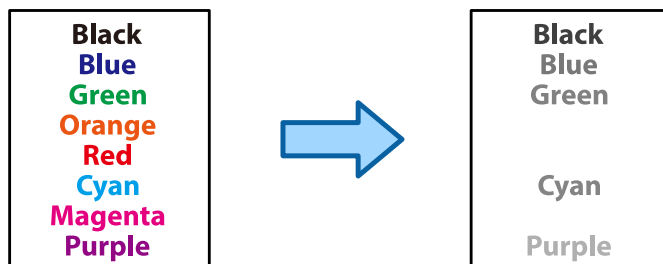
[「赤色消去機能の概要」163ページ](#)



！重要 この機能は、ライセンスキーを登録すると使用できます。

参考

- カラーモードでカラーを選択した場合、印刷結果はモノクロ調となりますが、カラー印刷としてカウントされます。
- カラーモードで自動を選択した場合、原稿がカラーと判別されたときは、印刷結果がモノクロ調であってもカラー印刷としてカウントされます。
- 原稿によっては赤色消去できないことがあります。また、原稿によっては赤色に近い色（オレンジなど）が消去されたり、薄い黒色に置き換わったりすることがあります。



1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」195ページ](#)
2. ホーム画面で〔コピー〕を選択します。
3. 〔応用設定〕タブを選択して、〔赤色消去〕を選択します。

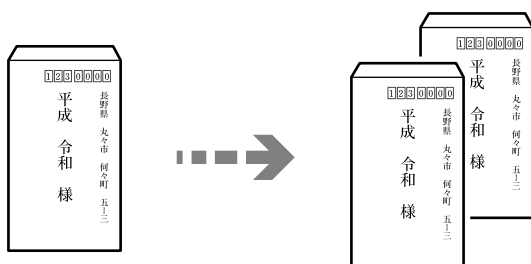
参考

プレビュー画面は赤色消去する前の状態が表示されます。

4. をタップします。

封筒やハガキをコピーする

封筒やハガキをコピーできます。

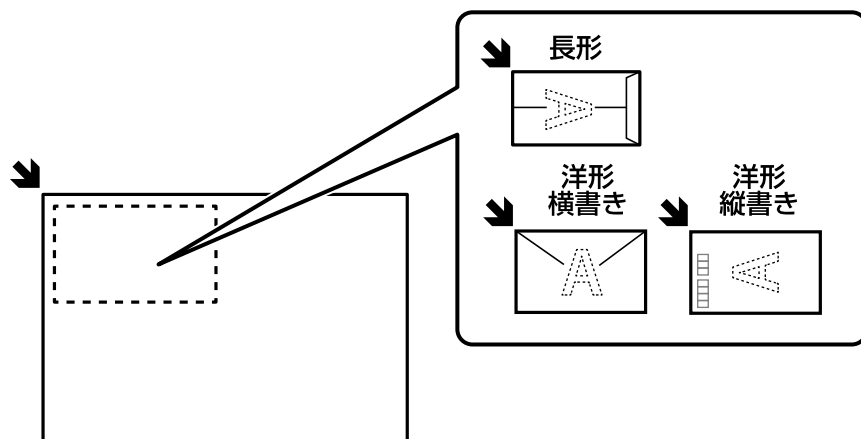


セット向きに気を付けてください。

- 用紙のセット方法
以下の関連情報をご覧ください。
[「用紙をセットする」191ページ](#)

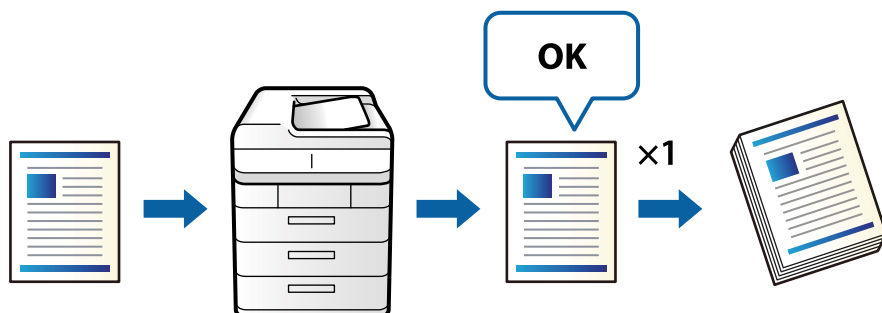
- 原稿のセット方法

原稿台にセットしてください。封筒をセットする場合は図の向きで封筒を置いてください。



試しコピーをする

複数部コピーするときに、1部だけコピーして結果を確認してから、残りをコピーできます。



1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」195ページ](#)
2. ホーム画面で [コピー] を選択します。
3. [応用設定] タブを選択して、[試しコピー] を選択します。
4. コピー部数を設定します。
5.  をタップします。
6. コピー結果を確認して、コピーを続けるか終了するかを選択します。

割り込みコピーをする

実行中の印刷ジョブを中断して、コピーを割り込んで実行できます。

1. 印刷ジョブの実行中に、操作パネルの**☒**ボタンを押します。

印刷が中断され、割り込みモードに移行します。

2. 原稿をセットします。

[「原稿のセット」195ページ](#)

3. ホーム画面で[コピー]を選択します。

4. 必要に応じて[基本設定]と[応用設定]の設定を変更します。

5. **◇**をタップします。

中断した印刷ジョブを再開するには、もう一度**☒**ボタンを押して割り込みモードを解除します。また、印刷ジョブを中断した後一定時間操作がされないと、割り込みモードは解除されます。

コピー時のメニューの説明

コピー時の基本設定メニュー

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

カラーでコピーするかモノクロでコピーするか選択します。（初期値は[モノクロ]）

- 自動

原稿をカラーかモノクロか自動で判別してコピーします。

ただし、原稿によってはモノクロの原稿をカラーと判別したり、カラーの原稿をモノクロと判別したりすることもあります。その場合は、[カラー]または[モノクロ]を選択してコピーするか、判定の度合いを調整することをお勧めします。判定の度合いは、ホーム画面で[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [コピーカラー判定]の順に選択すると設定できます。

- カラー

原稿をカラーでコピーします。

- モノクロ

原稿をモノクロ（白黒）でコピーします。

濃度：

コピー結果が薄いときは濃度を上げます。こすれが発生するときは濃度を下げます。（初期値は±0、最大値は±4）

用紙設定：

使用する給紙装置を選択します。[自動]を選択すると、自動で検出された原稿サイズと、設定した倍率から、最適な用紙サイズを自動で給紙します。（初期値は[自動]）

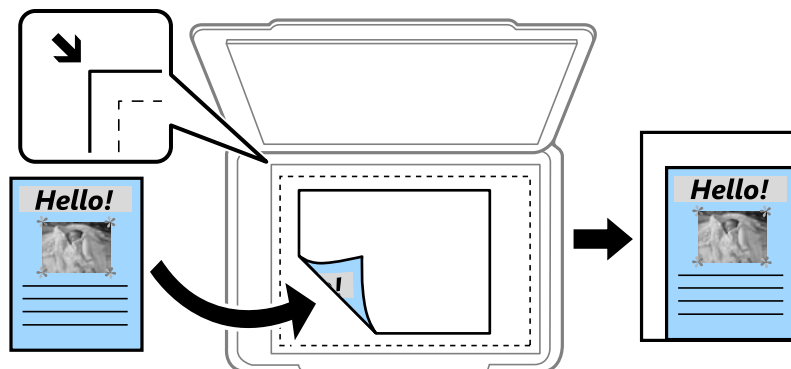
倍率：

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。任意の倍率（25～400％）を、数値をタップして指定してください。（初期値は「等倍」）

- 自動

設定した原稿サイズを、設定した用紙サイズの倍率に自動で拡大または縮小します。例えば、原稿サイズをA6、用紙サイズをA4で設定した場合、倍率は自動で200に設定されます。

原稿の周囲に余白がある場合、原点（）からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



- 小さめフィット

スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。

- 等倍

100％の倍率でコピーします。

- A3→A4など

定形サイズの前稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。原稿の種類に合わせて最適な品質でコピーします。（初期値は「文字・写真」）

両面設定：

両面コピーのレイアウトを選択します。（初期値は「片面→片面」）

- 片面→片面

原稿の片面を用紙の片面にコピーします。

- 両面→両面

両面の原稿を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと原稿と用紙の開き方向を選択します。

- 片面→両面

2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと用紙の開き方向を選択します。

- 両面→片面

両面の原稿を、2枚の用紙に片面ずつコピーします。原稿の向きと原稿の開き方向を選択します。

コピー時の応用設定メニュー

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

ページ集約：

コピーのレイアウトを選択します。（初期値は [しない] ）

- しない
1ページの原稿を、1枚の用紙にコピーします。
- 2in1
2枚の原稿を、1枚の用紙に2面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。
- 4in1
4ページの原稿を、1枚の用紙に4面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。

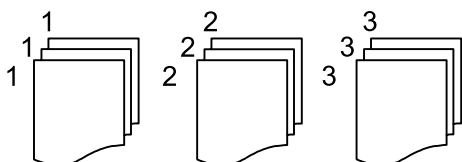
原稿サイズ：

原稿のサイズを選択します。[自動検知] を選択すると、原稿サイズが自動で検出されます。不定形サイズの原稿をコピーするときは、[ユーザー定義サイズ] を選択して、原稿サイズを指定してください。（初期値は [自動検知] ）

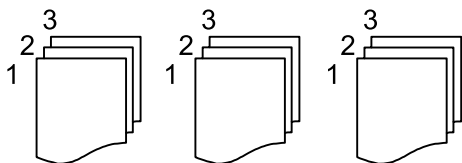
仕上げ：

複数ページの原稿を複数部コピーするときの排紙方法を選択します。（初期値は [グループ(ページごと)] ）

- グループ(ページごと)
ページごとにまとめてコピーします。



- ソート(1部ごと)
1部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。



製本割り付け：

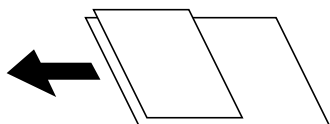
コピー結果を製本割り付けして排紙するときの設定をします。

- 製本割り付け
有効にすると製本割り付けして印刷します。（初期値は [オフ] ）
- 開き方向
用紙の開き方向を設定します。
- 中とじしろ
中とじしろ量を設定します。0～50mmの中で1mm単位で調整できます。

- 表紙
有効にすると製本したコピー結果に表紙を付けられます。
- 原稿サイズ
原稿のサイズを選択します。
- 用紙設定
印刷で使用する給紙装置を選択します。
- 両面設定
両面コピーのレイアウトを選択します。

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在してADFにセットできます。混在しても原稿と同じサイズの用紙に印刷します。セットするときは、図のように用紙の幅をそろえてセットしてください。（初期値は［オフ］）



原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。（初期値は［読める向き］）

見開き→2ページ：

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。（初期値は［オフ］）
スキャンする順番を選択します。（初期値は［右ページ→左ページ］）

連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のコピーとして実行できます。

詳細画質調整：

画質の設定を調整します。（初期値は±0、最大値は±4）

- コントラスト
明るい部分と暗い部分の差を調整します。
- 鮮やかさ
色の鮮やかさを調整します。
- 色調補正 レッド、色調補正 グリーン、色調補正 ブルー
各色の濃さを調整します。
- シャープネス
画像の輪郭を調整します。
- 色相調整
肌の色味を調整します。＋をタップすると冷たく（グリーンが増す）、－をタップすると温かく（レッドが増す）なります。
- 背景除去
背景色の濃さを調整します。＋をタップすると明るく（白く）、－をタップすると暗く（黒く）なります。

とじしろ：

原稿のとじ位置、とじ幅、原稿の向きを選択します。（初期値は［オフ］）

小さめフィット：

スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。（初期値は［オフ］）

影消し：

コピー結果から影を消します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅
厚い原稿をコピーしたときに周りが出る影を消します。
- 中央幅
冊子をコピーしたときに中央部に出る影を消します。

パンチ穴消し：

パンチ穴の影を消してコピーします。（初期値は［オフ］）

IDカードコピー：

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。（初期値は［オフ］）

試しコピー：

複数部コピーするときに、1部だけコピーして結果を確認してから、残りをコピーできます。（初期値は［オフ］）

赤色消去：

原稿の赤い部分を消してコピーします。（初期値は［オフ］）

スキャン

このプリンターでできるスキャン	282
スキャンの設定メニューの説明	288
e-文書法および電子帳簿保存法に適合したスキャン	291

このプリンターでできるスキャン

このプリンターでは、以下の方法でスキャンができます。

原稿をスキャンしてネットワークフォルダーに保存する

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存します。

事前に設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

[「スキャン to ネットワークフォルダー 機能の準備」109ページ](#)

参考 事前にプリンターの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで「設定」 - 「本体設定」 - 「基本設定」 - 「日付/時刻設定」の順に選択します。

1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」195ページ](#)
2. 操作パネルで「スキャン」 - 「ネットワークフォルダー」の順に選択します。
3. 宛先を指定します。



- 常用登録した宛先を選択する：「宛先」タブに登録されている宛先を選択します。
- キーボードで入力する：「直接入力」を選択します。「通信モード」を選択し、「保存先(必須項目)」に保存先を入力します。必要に応じてその他を設定します。
「参照」を選択すると、ネットワークに接続されたコンピューター上のフォルダーを検索できます。「参照」は、「通信モード」がSMBに設定されているときのみ使用できます。
保存先は、以下の書式で入力します。
アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
通信モードがSMBの場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用）：¥¥ホスト名（コンピューター名）
¥フォルダーパス
通信モードがFTPの場合（FTPサーバーを使用）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
通信モードがFTPの場合（FTPサーバーを使用）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
通信モードがWebDAV（HTTPS）の場合：https://ホスト名/フォルダーパス
通信モードがWebDAV（HTTP）の場合：http://ホスト名/フォルダーパス

- アドレス帳から選択する：「アドレス帳」を選択して、登録されている宛先を選択します。アドレス帳から宛先を検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。

参考  を選択すると、フォルダー保存の履歴を印刷できます。

4. 「スキャン設定」を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。

[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)



参考 ★ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

原稿をスキャンしてメールに添付する

スキャンした画像を、事前に設定したメールサーバーを経由して、プリンターから直接メールで送信できます。スキャンするためには事前の設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

[「スキャン to メール 機能の準備」 109ページ](#)

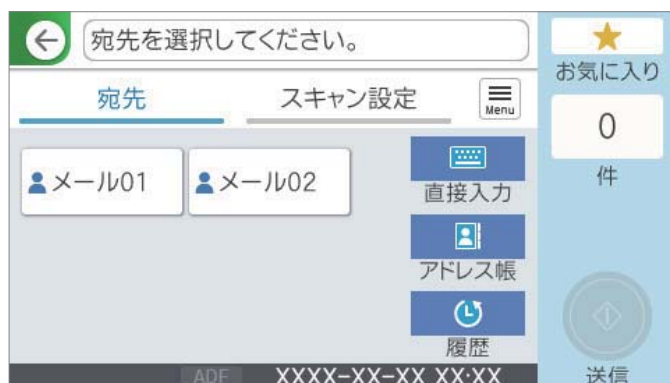
参考 スキャンする前に、プリンターの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで「設定」 - 「本体設定」 - 「基本設定」 - 「日付/時刻設定」の順に選択します。

1. 原稿をセットします。

[「原稿のセット」 195ページ](#)

2. 操作パネルで「スキャン」 - 「メール」の順に選択します。

3. 宛先を指定します。



- 常用登録した宛先を選択する：「宛先」タブに登録されている宛先を選択します。
- キーボードで入力する：「直接入力」を選択して、メールアドレスを入力します。
- アドレス帳から選択する：「アドレス帳」を選択して、登録されている宛先を選択します。アドレス帳から宛先を検索できます。画面上部の検索ボックスに検索ワードを入れてください。
- 履歴から選択：「履歴」を選択して、履歴から宛先を選択します。

- 参考**
- 選択した宛先の数画面の右側に表示されます。メールは最大10件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大200件のアドレスに送信できます。
 - 画面上部のボックスを選択すると、選択したアドレスの一覧を確認できます。
 -  を選択すると、送信履歴を表示または印刷したり、メールサーバーの設定を変更したりできます。

4. 「スキャン設定」を選択して保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。

[「スキャンの設定メニューの説明」288ページ](#)



- 参考** ★ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

原稿をスキャンしてコンピューターに保存する

スキャンした画像を、ネットワークで接続しているコンピューターに保存できます。

保存方法（ジョブ）は、コンピューター上のスキャンソフトウェア「Document Capture Pro」に登録されています。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブがあらかじめ登録されています。Document Capture Proを使って、新しいジョブを登録することもできます。

参考 スキャンする前に以下の設定が必要です。

- お使いのコンピューターに以下のソフトウェアをインストールする。
 - Document Capture Pro
 - Epson Scan 2

インストールされているソフトウェアを確認するためには、以下を参照してください。

Windows 11：スタートボタンをクリックし、[すべてのアプリ] - [Epson Software] フォルダーに [Document Capture Pro] があること、および [EPSON] フォルダーに [Epson Scan 2] があることを確認します。

Windows 10：スタートボタンをクリックし、[Epson Software] フォルダーに [Document Capture Pro] があること、および [EPSON] フォルダーに [Epson Scan 2] があることを確認します。

Windows 8.1/Windows 8：検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを確認します。

Windows 7：スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[Epson Software] フォルダーに [Document Capture Pro] があること、および [EPSON] フォルダーに [Epson Scan 2] があることを確認します。

Mac OS：[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択します。

- お使いのコンピューターをネットワークに接続する。

設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

[「スキャン to コンピューター 機能の準備」110ページ](#)

1. 原稿をセットします。

[「原稿のセット」195ページ](#)

2. 操作パネルで [スキャン] - [コンピューター] の順に選択します。

3. [コンピューターを選択してください。] を選択して、Document Capture Proがインストールされたコンピューターを選択します。

参考 操作パネルには、Document Capture Proがインストールされたコンピューターが最大110台表示されます。

4. ジョブを選択します。

5. ジョブ内容が表示されている部分を選択して、ジョブの詳細を確認します。

6. をタップします。

コンピューターが自動でDocument Capture Proを起動して、スキャンが始まります。

- 参考**
- 新規ジョブの作成や登録など、ソフトウェアの詳しい使い方はDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。
 - プリンターの操作パネルからだけでなく、コンピューターからもDocument Capture Proを使ってスキャンできます。詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

原稿をスキャンして外部メモリーに保存する

1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」 195ページ](#)
2. プリンターに外部メモリーをセットします。
3. 操作パネルで [スキャン] - [外部メモリー] の順に選択します。
4. スキャン設定をします。



[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)



★を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

原稿をスキャンしてクラウドに転送する

スキャンした画像を『Epson Connect』に登録した宛先に転送します。
事前に設定が必要です。設定の流れについては以下のリンクを参照してください。

[「スキャン to クラウド 機能の準備」 111ページ](#)

1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」 195ページ](#)
2. 操作パネルで [スキャン] - [クラウド] の順に選択します。
3. 画面上部の ⊕ を選択して、宛先を選択します。

4. スキャン設定をします。



[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)

参考 ★ を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

5. ◇ をタップします。

Mopria Scanでスキャンする

Mopria Scanを使うと、Androidスマートフォンやタブレットから簡単にネットワークでスキャンできます。



1. Google PlayからMopria Scanをインストールします。
2. 原稿をセットします。
3. プリンターをネットワークに接続します。以下のリンクをご覧ください。
<https://epson.sn>
4. お使いの機器を無線LAN（Wi-Fi）でプリンターと同じネットワークに接続します。
5. 機器からスキャンします。

参考 詳しくは<https://mopria.org>の使い方のページをご覧ください。

原稿をスキャンしてスマートデバイスに保存する

参考 スキャンする前に、Epson Smart Panelでプリンターとスマートデバイスを接続してください。

1. 原稿をセットします。
「[原稿のセット](#)」195ページ
2. スマートデバイスでEpson Smart Panel を起動します。
3. ホーム画面でスキャンのメニューを選択します。
4. 画面の指示に従い、スキャンした画像を保存します。

スキャンの設定メニューの説明

設定できる項目は、保存先および他の設定により異なります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

ファイル形式：

保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

ページ設定：

保存形式にPDF、PDF/A、高圧縮PDF、高圧縮PDF/A、またはTIFFを指定したときは、全ての原稿を1つのファイルに保存するか（マルチページ）、それぞれ別のファイルに保存するか（シングルページ）を選択できます。（初期値は［マルチページ］）

圧縮率：

スキャン画像の圧縮率を選択します。（初期値は［標準圧縮］）

PDF設定：

保存形式をPDFにすると、PDFのセキュリティが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は［設定しない］）

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。
- 開き方向(原稿)：
原稿のと同じ位置を選択します。

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。〔最大範囲〕を選択すると、原稿台の全ての領域をスキャンします。（初期値は〔自動検知〕）

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。

原稿種類

原稿の種類を選択します。（初期値は〔文字〕）

原稿セット方向：

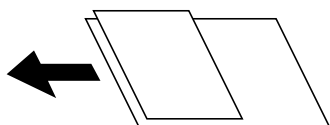
原稿の向きを選択します。（初期値は〔読める向き〕）

原稿サイズ混載：

以下の原稿は、混在させてADFにセットできます。

- A3とA4
- B4とB5
- A4とA5

混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は〔オフ〕）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

背景除去：

背景色の濃さを調整します。＋をタップすると明るく（白く）、－をタップすると暗く（黒く）なります。〔自動〕にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は〔オフ〕）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は〔オフ〕）

- 枠幅：
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅：
スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は〔オフ〕）

- 消し位置：
パンチ穴の影の位置を指定できます。

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。

白紙ページスキップ：

原稿の中に白紙ページがある場合、白紙ページをスキップしてスキャンします。（初期値は［オフ］）
思った通りの結果にならない場合は、検知レベルを調整します。

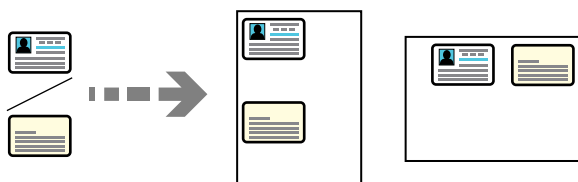
参考 白紙ページとして誤ってスキップされる場合があります。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

IDカード：

原稿台を使ってIDカードの両面をスキャンし、表面と裏面を並べて一枚の画像として保存します。（初期値は［オフ］）



スキャンするときは、以下の手順で両面を順番にスキャンします。

1. カードの表面を原稿台にセットしてスキャンします。
2. 表面の読み取りが完了したら、カードを裏返し原稿台にセットし直して、［読み取り開始］をタップします。
3. 裏面の読み取りが完了したら、［次の原稿なし］をタップして画像を保存します。

参考 保存される画像のサイズは、操作パネルの［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［原稿サイズ自動検知オプション］で設定した内容により異なります。

- A/Bサイズ優先のとき：A4
- インチサイズ優先のとき：Letter

- 原稿セット方向：
原稿の向きを選択します。

赤色消去: 

スキャンした画像から、赤い部分を消去します。（初期値は［オフ］）

この機能は、［コンピューター］では使用できません。

[「赤色消去機能の概要」163ページ](#)

[「赤色消去機能を使用する」164ページ](#)

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB、最大値は30 MB）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字および記号で入力します。（初期値は〔未入力〕）
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（初期値は〔オン〕）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（初期値は〔オン〕）

メールの暗号化：

Eメールを暗号化して送信します。（初期値は〔オフ〕）

デジタル署名：

メールに電子署名を追加します。（初期値は〔オフ〕）

e-文書法および電子帳簿保存法に適したスキャン

本製品では、以下のe-文書法および電子帳簿保存法の要件を満たした設定でスキャンできます。

解像度	200 dpi以上	
階調	重要書類	24 bit（RGB各色8 bit）
	一般書類	24 bit（RGB各色8 bit）または8 bitグレースケール
保存形式	PDF、JPEG、TIFF、BMP	
画質	- 改ざん痕を検出できる階調 4ポイントの文字を認識できる	

スキャンの設定方法

Epson Scan 2 の画面の〔お気に入り設定〕で、〔e-文書（カラー）〕または〔e-文書（グレイ）〕を選択してからスキャンしてください。

参考 保存形式などを変更するときは、e-文書法または電子帳簿保存法の要件を満たしていることを確認してください。

電子化文書作成時の注意

電子化文書作成時には、以下の点を必ずご確認ください。

- 本製品は、e-文書法および電子帳簿保存法に適した設定でスキャンできますが、スキャンしただけでは適正な電子化文書として認められません。必ず各法令およびガイドラインに従ってスキャンしたデータを管理、運用してください。
- スキャンした画像を必ず目視で確認してください。
 - 文字や画像などが欠けたりぼやけたりしていないこと
 - ページ抜けがないこと
- スキャンした画像データの加工・修正は行わないでください。

- 国税関係書類を電子化文書として保存して紙原本を廃棄するためには、法令に従い、対応するシステム、業務規程作成、運用管理などの法的要件を満たした上で、事前に所轄税務署の承認を得る必要があります。
- 法令などは予告なく変更される場合があります。必ず事前にご自身で確認してください。

関連情報

➡ [「スキャナーを制御するソフトウェア（Epson Scan 2）」473ページ](#)

ファクス

ファクスを使う前に	294
ファクス機能の紹介	295
プリンターからファクスを送信する	302
プリンターでファクスを受信する	311
ファクスメニューの説明	320
ファクスボックスメニューの説明	325
ファクスのジョブ状態や履歴を確認する	332
コンピューターからファクスを送信する	335
コンピューターでファクスを受信する	340
増設G3ファクス（オプション）	342
IPファクス	344

ファクスを使う前に

ファクスを使うには、ファクスプラン契約が必要です。お使いのプリンターがファクス使用可能かどうか、保守サービス実施店にご確認ください。

設定を確認したいときは、[ファクス機能設定リスト] でファクスの設定状態を印刷します。[ファクス] -  (応用) - [ファクスレポート印刷] - [ファクス機能設定リスト] の順に選択してください。プリンターの管理者がいる場合、プリンターの設定状態や接続状態は管理者にお問い合わせください。

ファクスを使用する前に、以下が完了しているか確認してください。

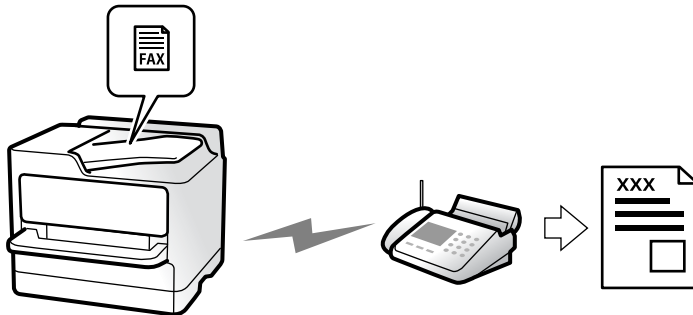
- プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）の接続
[「プリンターを電話回線に接続する」 114ページ](#)
- ファクスを使用するための基本設定
[「プリンターでファクス送受信できるようにする」 118ページ](#)
[「アドレス帳の登録」 77ページ](#)
- 使用環境に合わせたファクス設定
[「用途に応じてファクス機能の設定をする」 121ページ](#)
[「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」 495ページ](#)
[「メールサーバーを登録する」 62ページ](#)
[「ネットワークフォルダーを作成する」 66ページ](#)
- プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。
[「増設G3ファクスボード」 342ページ](#)
- IPファクスを利用する場合は、以下の情報もご覧ください。
[「IPファクス機能」 344ページ](#)

以下も参照してください。

- 困ったときは
[「ファクスの送信も受信もできない」 391ページ](#)
[「ファクスをきれいに送信できない」 421ページ](#)
[「ファクスをきれいに受信できない」 424ページ](#)
[「思い通りに操作できない」 448ページ](#)
- ファクス機能の設定メニュー
[「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」 495ページ](#)

ファクス機能の紹介

機能：ファクス送信



送信方法

- 自動送信
 - ◇（送信）をタップして原稿をスキャンすると、自動で宛先にダイヤルしてファクス送信します。
[「プリンターからファクスを送信する」 302ページ](#)
- 手動送信
 - 相手先にダイヤルしてつながったことを確認してから◇（送信）をタップするとファクスを直接送信します。
[「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」 305ページ](#)
[「外付け電話機からダイヤルして送信する」 306ページ](#)

宛先入力（送信時）

〔直接入力〕や〔アドレス帳〕、〔宛先履歴〕から入力できます。
[「宛先」 320ページ](#)
[「アドレス帳の登録」 77ページ](#)

原稿の読み取り設定（送信時）

〔画質〕や〔原稿サイズ(原稿台)〕などを指定して送信できます。
[「読み取り設定：」 321ページ](#)

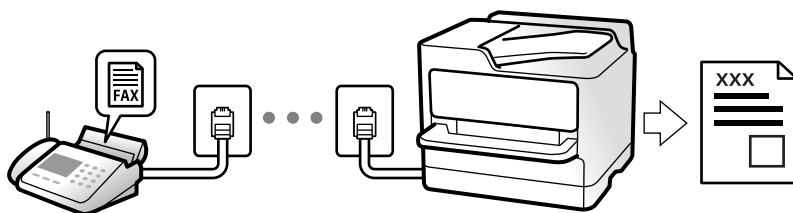
送信設定（送信時）

〔ダイレクト送信〕（大量原稿を安定送信）や、〔バックアップ送信設定〕（送信ファクスのバックアップ）などの〔送信設定〕ができます。バックアップは、送信失敗時にバックアップと合わせメールで通知するようにあらかじめ設定することもできます。
[「送信設定：」 322ページ](#)

[「バックアップエラーレポート：」 513ページ](#)

[「メールサーバーを登録する」 62ページ](#)

機能：ファクス受信



受信モード

1回線で、相手先から送られてきたファクスを受信する方法（受信モード）は3つあります。

ファクス専用で使用したい（外付け電話機は不要）：

[「自動モード」 313ページ](#)

ファクスが主だが、通話にも使用する

使い方に合わせた設定ができます。

- 外付け電話機の留守番電話機能を使用したい場合
[「自動モード」 313ページ](#)
- 外付け電話機に発信元（相手）番号を表示したい（ナンバー・ディスプレイ回線の契約がある）場合
[「自動モード」 313ページ](#)
- 外付け電話で発信元（相手）の番号表示も留守番電話機能も使用しない場合
[「ファクス/電話自動切替モード」 314ページ](#)

通話が主だが、ファクスにも使用する

[「手動モード」 312ページ](#)

外付け電話機の操作で受信する

外付け電話機で電話を受け、音声電話のときは相手と通話でき、ファクスのときはプリンター操作で受信を開始します。

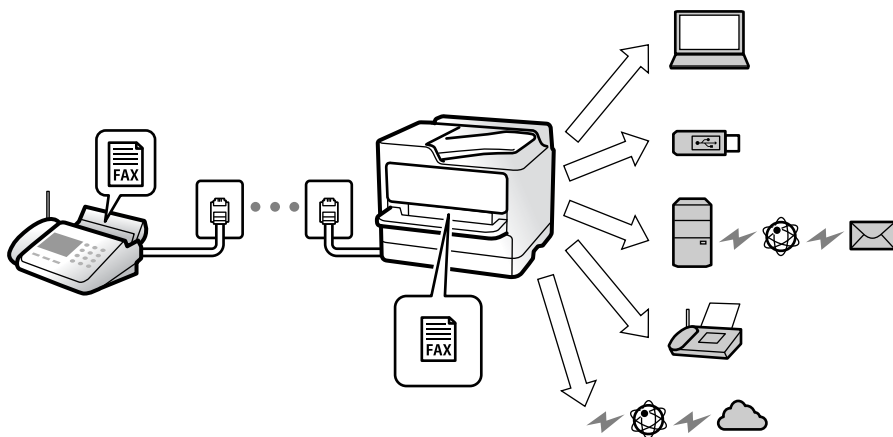
[「リモート受信：」 498ページ](#)

[「外付け電話機接続時の設定をする」 127ページ](#)

受信文書の出力先

条件なしで出力：

初期設定では、受信文書は自動でプリンターから印刷されます。出力先の設定をすることで、受信ボックスや外部メモリーへの保存、メールやフォルダーへの転送、他のファクスへ転送ができます。



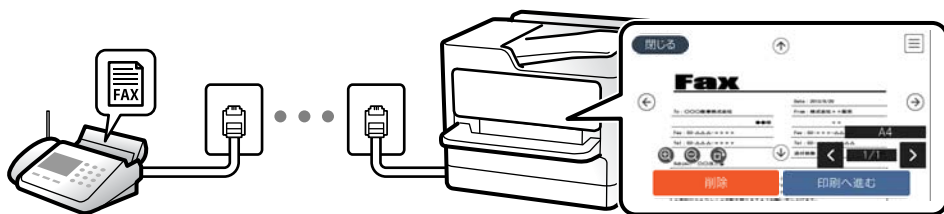
「条件なし保存・転送：」 503ページ

「受信ファクスを保存する設定」 129ページ

「受信ファクスを転送する設定」 130ページ

受信ボックスに保存すると画面で内容を確認できます。

「受信ボックス設定：」 509ページ

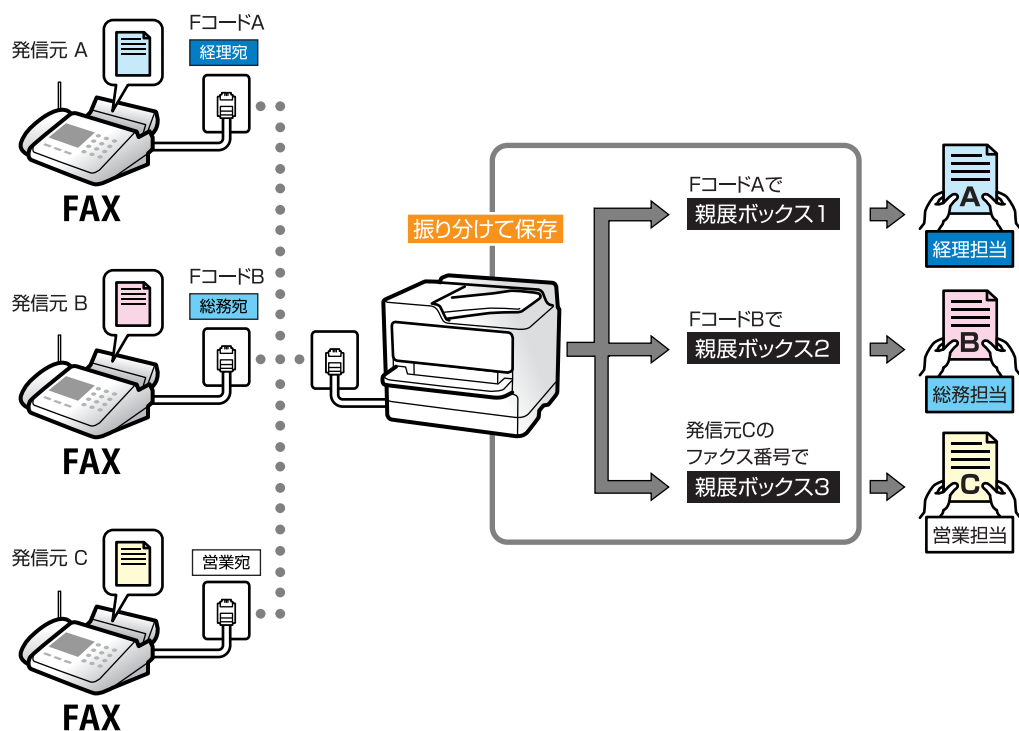


「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」 319ページ

条件一致で出力：

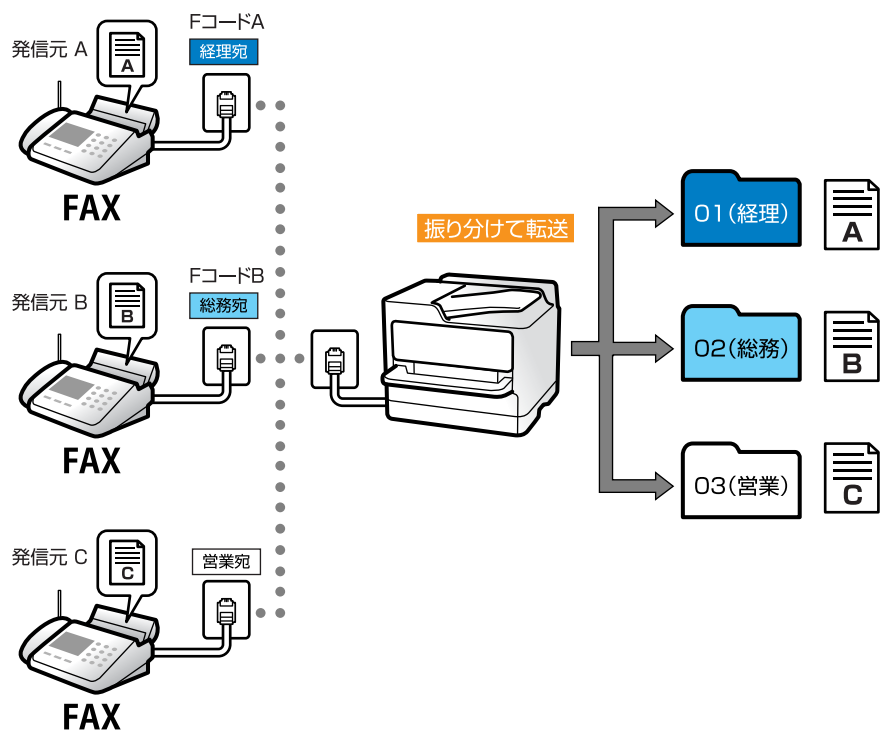
条件一致で、設定しておいた出力先に出力します。出力先には、プリンター内部の受信ボックスや親展ボックス、外部メモリー、メール転送、フォルダー転送、他のファクスへ転送などから選択できます。受信ボックスか親展ボックスに保存すると画面で内容を確認できます。

(例) 親展ボックスに保存



[「条件保存・転送：」 505ページ](#)

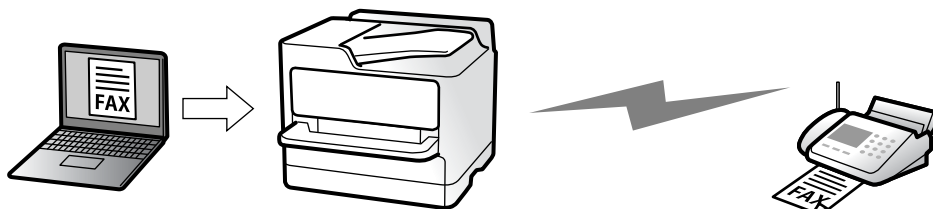
(例) ファクス転送



[「条件保存・転送リスト：」 324ページ](#)

機能：コンピューターからの送受信（Windows/Mac OS）

PC-FAX送信



コンピューターからファクスを送信できます。

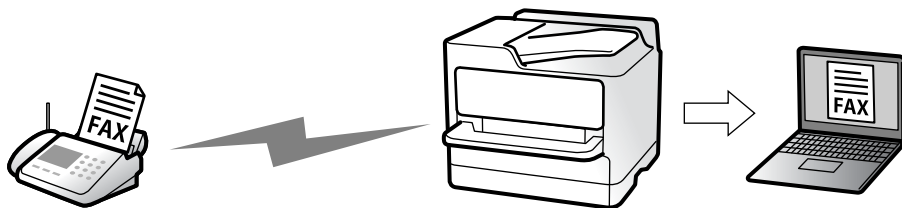
[「コンピューターからファクス送信する設定」 138ページ](#)

[「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」 473ページ](#)

[「ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）」 474ページ](#)

[「コンピューターからファクスを送信する」 335ページ](#)

PC-FAX受信



コンピューターでファクスを受信できます。

[「コンピューターからのファクス送受信を設定する」 138ページ](#)

[「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」 473ページ](#)

[「コンピューターでファクスを受信する」 340ページ](#)

機能：いろいろなファクスレポート

ファクスの送受信状況をレポートでチェックできます。

XX-XXXXXXXX							
ファクス通信管理レポート							
						PAGE.	001/001
						XXXXXX	XX
名前 : XXXX							
ファクス : XXXX XX XXXX							
受付番号	日付	時刻	種別	相手先番号	通信時間	枚数	通信結果
XXXX	XXXX	XXXX	XX	XX XXX XXXX	00:15	000	通信エラー
XXXX	XXXX	XXXX	XX	XX XXX XXXX	00:15	000	通信エラー
XXXX	XXXX	XXXX	XX	XX XXX XXXX	00:32	001	OK

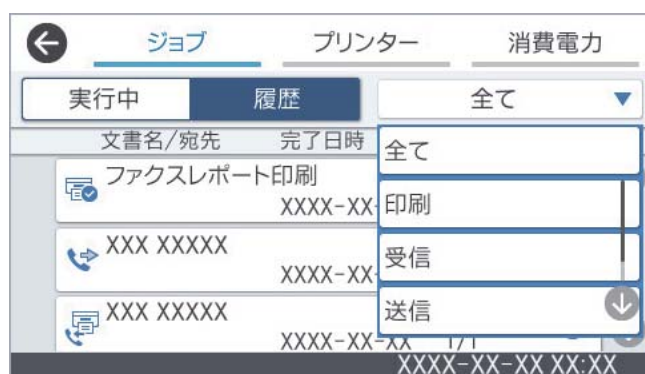
[「レポート設定」 512ページ](#)

[「送信設定：」 322ページ](#)

[「通信履歴表示：」 323ページ](#)

[「ファクスレポート印刷：」 323ページ](#)

機能：ファクスのジョブやログの確認



送受信の状況や履歴を確認できます。

[「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」 332ページ](#)

機能：ファクスボックス



受信ボックスと親展ボックス

受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存できます。

[「受信/親展」 325ページ](#)

待機文書送信ボックス

このボックスに保存しておいた文書を使ってファクス送信できます。

[「待機文書送信：」 327ページ](#)

ポーリング送信/掲示板ボックス

ポーリング送信ボックスや掲示板ボックスに保存した文書は、受信側からの要求で送信されます。

[「ポーリング送信/掲示板」 328ページ](#)

ファクスボックスのセキュリティ

ボックスごとにパスワードを設定できます。

[「機能：安全なファクス送受信（セキュリティ）」 301ページ](#)

機能：安全なファクス送受信（セキュリティ）

いろいろなセキュリティ機能が使えます。

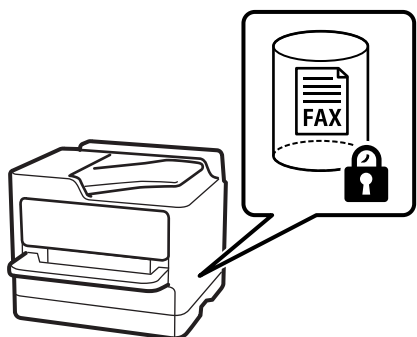
誤送信防止（[直接ダイヤル制限] など）や漏えい防止（[バックアップデータ自動消去] など）といったセキュリティ機能を備えています。

[「セキュリティ設定」 514ページ](#)

[「ボックス内文書削除設定：」 510ページ](#)

[「ファクスボックスメニューの説明」 325ページ](#)

ボックスにはパスワードが設定できます。

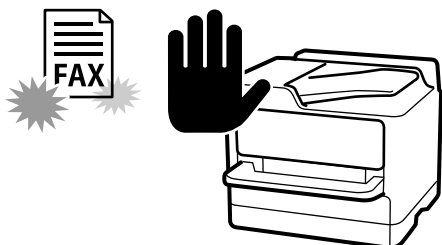


[「パスワード設定：」 509ページ](#)

[「ファクスボックスメニューの説明」 325ページ](#)

機能：その他の役に立つファクス機能

迷惑ファクス防止



迷惑ファクスの受信を拒否できます。

[「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」 137ページ](#)

ダイヤルしてからファクス受信

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機から文書を受信できます。

[「相手先にダイヤルしてファクスを受信する」 315ページ](#)

[「ポーリング受信：」 324ページ](#)

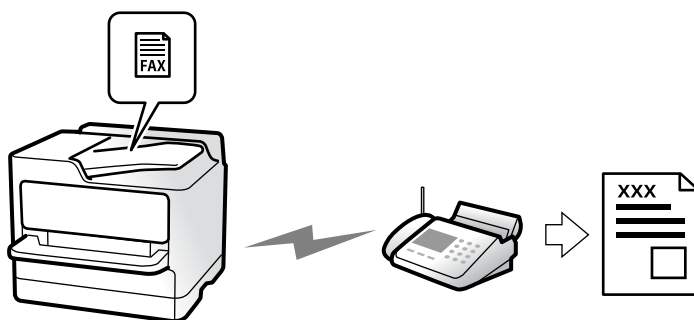
便利な送信機能

ファクス送信するときに頻繁に設定したい項目を、[ファクス設定] タブの先頭に表示できます。

[「クイック操作ボタン」 496ページ](#)

[「クイック操作ボタン：」 321ページ](#)

プリンターからファクスを送信する



操作パネルでファクスの宛先を入力して送信できます。

参考

- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
- 通話やファクス送受信で電話回線が使用中でも、モノクロ文書を50件まで予約できます。予約文書は [ジョブ/状態] から確認や削除ができます。

1. 原稿をセットします。

[「原稿のセット」 195ページ](#)

一度に送信できる原稿は200ページまでです。ただし、メモリー残量によっては200ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で [ファクス] を選択します。

参考

クイックダイヤルでファクス用の登録番号を入力すると、宛先が設定されたファクス画面が表示されます。この宛先だけに送信するときは手順4に、他の宛先にも送信するときは手順3に進みます。

3. 宛先を指定します。

[「宛先を選択する」 304ページ](#)

プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。

[「プリンターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着）」 342ページ](#)

IPファクス（拡張機能）が追加されているときは、以下の情報もご覧ください。

[「プリンターからIPファクスを送信する」 345ページ](#)

4. [ファクス設定] タブを選択し、必要に応じて [画質] や [ダイレクト送信] などを設定します。

[「ファクス設定」 320ページ](#)

5. ファクスのトップ画面で★（ [お気に入り] ）をタップすると、宛先を含めた現在の設定をお気に入りに登録できます。登録すると、後の送信時にいつでもこの設定を呼び出せるようになります。

ただし、宛先の入力方法によっては登録されないことがあります。

6. ◇をタップしてファクスを送信します。

参考

- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。プリンターの管理者は、以下のメニューから設定を変更できます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [送信設定] - [自動リダイヤル回数]

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [送信設定] - [自動リダイヤル間隔]

- 送信を中止するときは、⏏をタップします。
- カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

➡ [「実行中のファクスジョブを確認する」 333ページ](#)

宛先を選択する

〔宛先〕タブで宛先を指定してファクス送信できます。宛先の指定の仕方には以下があります。

ファクス番号を直接入力する

〔直接入力〕を選択し、ファクス番号を入力して、〔OK〕をタップします。
ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときは、ハイフン（-）を入力してください。
〔接続回線〕で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。

参考 直接入力できない場合は、〔セキュリティ設定〕で〔直接ダイヤル制限〕が〔オン〕に設定されています。アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定してください。

アドレス帳から宛先を選択する

〔アドレス帳〕を選択して宛先を選択します。送信したい宛先が〔アドレス帳〕に未登録のときは、 をタップして登録します。

発着信履歴から宛先を選択する

〔宛先履歴〕を選択して、宛先を選択します。

〔宛先〕タブに表示された一覧から宛先を選択する

〔設定〕 - 〔アドレス帳管理〕 - 〔常用管理〕で登録した宛先を選択します。

参考 選択または入力した宛先を解除するときは、画面のファクス番号または選択件数をタップして宛先リストを表示し、解除したい宛先を選択して〔選択を解除〕を選択します。

関連情報

- ➔ [「アドレス帳の登録」77ページ](#)
- ➔ [「アドレスの設定項目（Web Config）」79ページ](#)
- ➔ [「宛先」320ページ](#)

便利な送信方法

スキャンした文書を確認してから送信する



モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。

1. 原稿をセットします。
「[原稿のセット](#)」195ページ
2. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
3. 宛先を指定します。
「[宛先を選択する](#)」304ページ
4. 「ファクス設定」タブを選択し、必要に応じて設定をします。
「[ファクス設定](#)」320ページ
5.  をタップしてスキャンした文書のイメージを確認します。



    : 矢印方向に画面を移動

  : 縮小、拡大

  : 前ページへ移動、次ページへ移動

- 参考**
- ・ 「[ダイレクト送信]」が設定されているとプレビューできません。
 - ・ プレビュー中に無操作の時間が、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [送信設定] - [送信プレビュー無操作タイマー] での設定時間以上続くと、自動で送信を開始します。

6. 「送信開始」を選択します。送信しないときは「中止」を選択します。

参考 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）

送信先の状況（ダイヤル中、通信中、通話中）を音や音声としてスピーカーから流して、それを聞きながら送信できます。

1. ホーム画面で「ファクス」を選択します。

2. 「ファクス設定」タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。設定したら、「宛先」タブを選択します。

[「ファクス設定」 320ページ](#)

3.  をタップして、宛先を選択します。

 **参考** スピーカーの音量を調節できます。

4. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、画面右上の「送受信切替」を選択して「送信」を選択します。
5.  をタップしてファクス送信を開始します。

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや、自動で切り替わらないファクス機にファクスを送信したいときに、外付け電話機を使って送信できます。

1. 外付け電話機の受話器を上げて相手先のファクス番号をダイヤルします。

 **参考** 相手が電話に出たら、通話できます。

2. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
3. 「ファクス設定」で、必要に応じた設定をします。
[「ファクス設定」 320ページ](#)

4. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、 をタップして電話を切ります。

 **参考** 外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

受信相手の操作で送信する（ポーリング送信ボックス）

ポーリング送信ボックスにモノクロ文書をあらかじめ蓄積しておくと、相手側のファクス機からの操作で蓄積文書が送信されます。最大で200ページの文書を蓄積できます。

関連情報

➡ [「ポーリング送信：」 328ページ](#)

ポーリング送信ボックスを設定する

ポーリング送信ボックスに蓄積できるのは1文書だけです。必要に応じて以下のオプション設定を有効にします。

1. ホーム画面で「ファクスボックス」を選択し、「ポーリング送信/掲示板」を選択します。

2. [ポーリング送信] を選択し、 をタップして、[設定変更] を選択します。

参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。

3. 必要に応じて[送信結果メール通知]などの項目を設定します。

参考 [ボックスを開くパスワード]を設定すると、次回以降ボックスを開くたびにパスワード入力が必要です。

4. [OK] を選択して設定を保存します。

ポーリング送信ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で[ファクスボックス] - [ポーリング送信/掲示板]の順に選択します。

2. [ポーリング送信] を選択します。

パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

3. [文書を登録する] をタップします。

4. 送信画面が表示されたらファクス設定を確認して、 をタップします。

保存した文書の中身を確認するには、ホーム画面から[ファクスボックス] - [ポーリング送信/掲示板]の順に選択し、確認したい文書の入ったボックスを選択して、[文書を確認する]をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）

掲示板ボックスにモノクロ文書をあらかじめ蓄積しておくと、Fコード通信に対応している受信側ファクス機からの操作で蓄積文書が送信されます。掲示板ボックスは10件あり、ボックスごとに最大で200ページの文書を蓄積できます。掲示板ボックスに保存するには、事前登録が必要です。

関連情報

- ➡ [「未登録の掲示板：」330ページ](#)
- ➡ [「登録済み掲示板ボックス」330ページ](#)

掲示板ボックスを登録する

掲示板ボックスに保存するには、事前登録が必要です。登録手順は以下です。

1. ホーム画面で[ファクスボックス]を選択し、[ポーリング送信/掲示板]を選択します。

2. [未登録の掲示板]と表示されたボックスを選択します。

参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。

3. 画面に表示された項目の設定をします。

- [登録名(必須項目)] に登録名を入力する
- [Fコード(SEP)] にFコードを入力する
- [パスワード(PWD)] にパスワードを入力する

4. 必要に応じて [送信結果メール通知] などの項目を設定します。



「ボックスを開くパスワード」を設定すると、次回以降ボックスを開くたびにパスワード入力が必要です。

5. [OK] を選択して設定を保存します。

設定変更や登録削除をする画面を表示するには、変更や削除をしたいボックスを選択して  をタップします。

掲示板ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で [ファクスボックス] - [ポーリング送信/掲示板] の順に選択します。

2. 登録済みの掲示板のどれか1つをタップします。

パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

3. [文書を登録する] をタップします。

4. 送信画面が表示されたらファクス設定を確認して、 をタップします。

保存した文書の中身を確認するには、ホーム画面から [ファクスボックス] - [ポーリング送信/掲示板] の順に選択し、確認したい文書の入ったボックスを選択して、[文書を確認する] をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できないことがあります。[ダイレクト送信] を有効にするとこのトラブルを回避できます。原稿をスキャンしながら送信するため時間はかかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件だけです。

メニューを表示する

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。

[ファクス] - [ファクス設定] - [ダイレクト送信]

割り込んで送信する（優先送信）

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

参考 優先送信に設定しても、以下のプリンター動作中は割り込めないため、優先されません。

- モノクロ文書のダイレクト送信
- カラー文書送信
- 外付け電話機からダイヤルして送信
- コンピューターから送られた文書の送信（メモリー送信を除く）

メニューを表示する

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。

[ファクス] - [ファクス設定] - [優先送信]

関連情報

➡ [「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」 332ページ](#)

指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信ができるのはモノクロ送信だけです。

メニューを表示する

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。

[ファクス] - [ファクス設定] - [時刻指定送信]

この項目を有効にして、送信時刻を指定してから送信します。

参考 予約のキャンセルは  からできます。

関連情報

➡ [「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」 332ページ](#)

異なるサイズ of 原稿をADFから送信する（ADF連続読込）

サイズの異なる原稿を、1枚ずつまたはサイズごとに分けてADFにセットすると、A3、B4、A4それぞれの原稿サイズのまま1つの文書としてファクス送信できます。

- 参考**
- [ADF連続読込] が無効でも以下全ての条件を満たす場合は、サイズが混在していても正しいサイズで送信できます。
混在している原稿サイズがA3横置きとA4縦置きだけのとき
[回転送信] が [オン]（初期設定は [オン]）
[ダイレクト送信] が [オフ]（初期設定は [オフ]）
 - サイズの異なる原稿を混在してADFにセットしたときは、全ての原稿が一番大きな原稿の幅で、それぞれの原稿の長さ分だけ読み取って送信されます。

1. 最初にスキャンするサイズの原稿をセットします。

2. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
3. 宛先を指定します。
「宛先を選択する」[304ページ](#)
4. 「ファクス設定」タブを選択し、「ADF連続読込」をタップして「オン」にします。
必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. ◇（送信）をタップします。
6. 最初のサイズの下原稿スキャンが終わり、操作パネルに次の原稿をセットする旨のメッセージが表示されたら、次のサイズの下原稿をセットして「読み取り開始」を選択します。
サイズごとに手順6を繰り返します。

参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから、「原稿追加待ちタイマー」で設定した時間パネル操作がないと、蓄積を終了して送信を開始します。
7. 最後の原稿スキャンが終わったら「次の原稿なし」を選択します。
蓄積が終了して送信が開始されます。

Fコード(SUB)とパスワード(SID)でファクスを送信する

宛先のファクス機に、親展ファクス受信やファクス中継機能がある場合、宛先の親展ボックスや中継ボックスへファクス送信できます。Fコードやパスワードを付けて送信したファクスは、宛先で安全に受信したり、中継ボックスとして特定の相手へ転送したりできます。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
3. 「アドレス帳」を選択して、Fコードとパスワードを登録した宛先を選択します。
「宛先履歴」から、Fコードやパスワード付きで送信した履歴を選択しても、Fコードやパスワード付きで送信できます。
4. 「ファクス設定」タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
「ファクス設定」[320ページ](#)
5. ファクスを送信します。

関連情報

➡ 「アドレス帳の登録」[77ページ](#)

同じ文書を使って何度もファクス送信する

蓄積文書を使ってファクス送信できます。同じ文書を頻繁に送るときに、送信ごとのスキャン時間が省けます。最大200ページの文書をモノクロで蓄積できます。このボックスに蓄積できる文書数は最大10件です。

参考 保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を10件まで保存できないことがあります。

宛先を指定しない送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で【ファクスボックス】を選択します。
3. 【待機文書送信】を選択し、（ボックスメニュー）をタップして、【待機文書蓄積】を選択します。
4. 【ファクス設定】タブが表示されるので、必要に応じて画質などを設定します。
5. をタップして文書を蓄積します。

蓄積後、【ファクスボックス】 - 【待機文書送信】の一覧から蓄積文書のボックスをタップすると、文書の中身を表示できます。ボックス右のをタップすると文書を削除できます。

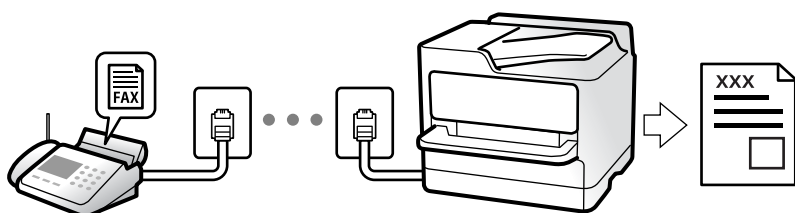
同じ文書を何度も送信する（待機文書送信）

1. ホーム画面で【ファクスボックス】 - 【待機文書送信】の順に選択します。
2. 送信したい文書を選択し、文書の中身を確認してから、【送信開始】を選択します。
[送信後、この文書を削除しますか?] が表示されたら【はい】か【いいえ】どちらかを選択します。
3. 宛先を指定します。
4. 【ファクス設定】タブを選択して、必要に応じて送信方法などを設定します。
[「ファクス設定」320ページ](#)
5. をタップしてファクスを送信します。

関連情報

- ➡ [「待機文書送信：」327ページ](#)
- ➡ [「ファクスのジョブ状態や履歴を確認する」332ページ](#)

プリンターでファクスを受信する



プリンターと電話回線、外付け電話機（使用する場合）が正しく接続されていて、[ファクス設定ウィザード] が完了していれば、ファクス受信ができます。

受信したファクスをプリンターに保存、プリンターの画面で確認、メールなどに転送する設定ができます。

初期設定では、ファクスを受信すると印刷します。

設定を確認したいときは、[ファクス機能設定リスト] でファクスの設定状態を印刷します。[ファクス] - （応用） - [ファクスレポート印刷] - [ファクス機能設定リスト] の順に選択してください。

参考

- ファクス受信中に以下はできません。
 - 同一回線で、同時に別のファクスを受信する
 - 同一回線で、受信と同時にファクスを送信する
- ファクス受信中でも、ファクス送信の操作（ジョブ予約まで）は可能です。
ただし、ジョブ予約できないファクス送信（[オンフック] による送信や [ダイレクト送信] など）の操作は受け付けません。

相手先から送られてきたファクスを受信する

3つの方法（[受信モード]）があります。

関連情報

- ➡ [「手動モード」 312ページ](#)
- ➡ [「自動モード」 313ページ](#)
- ➡ [「ファクス/電話自動切替モード」 314ページ](#)

手動モード

通話を主に、ファクス受信もするときの受信モードです。

受信の仕方

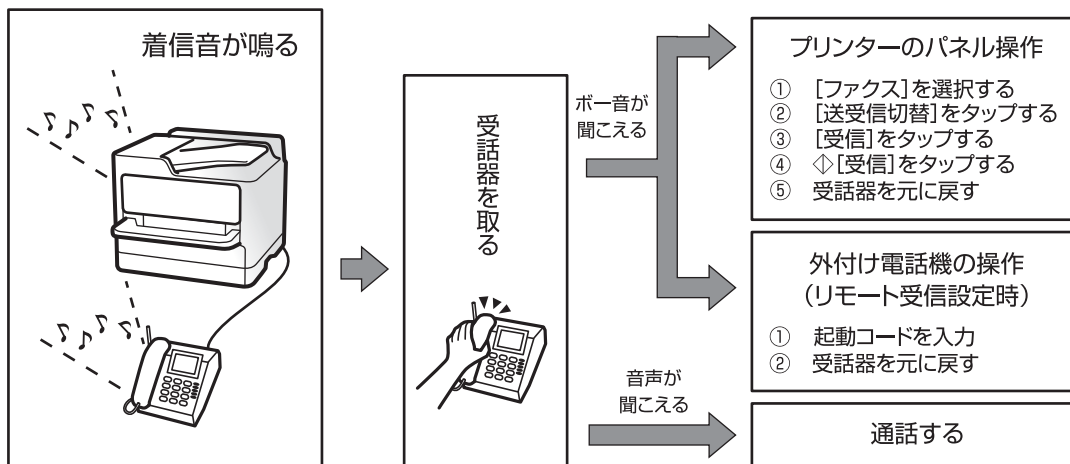
外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。

- ファクス信号（ボー音）が聞こえたとき：
ホーム画面で [ファクス] を選択し、[送受信切替] - [受信] の順に選択して、（受信）をタップします。ファクス受信が開始されたら受話器を元に戻します。
- 通話の呼び出しだったとき
そのまま通話できます。

外付け電話機の操作だけでの受信の仕方

[リモート受信] が設定してある場合、[起動コード] を入力するだけで受信できます。

外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、2桁の〔起動コード〕をダイヤルして受話器を元に戻します。起動コードは管理者に問い合わせてください。



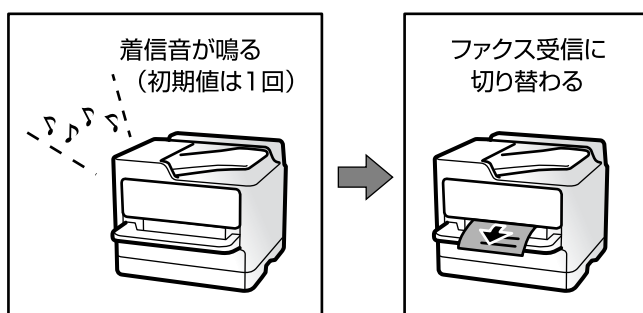
自動モード

回線を以下の用途で使用する受信モードです。

- ・ ファクス専用で使用する（自動受信）
- ・ 電話を主にファクス受信もする（電話優先の自動切り替え）
- ・ ファクスと留守番電話機を兼用で使用する

ファクス専用で回線を使用しているときの受信の仕方

〔呼び出し回数〕で指定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。



留守番電話機を接続しているときの受信の仕方

受信の仕方は以下です。

- ・ 〔呼び出し回数〕で指定した回数（初期値は1回）の呼び出し中に留守番電話が応答したとき（留守番電話接続時）：
 - ・ ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信に切り替わります。
 - ・ 通話の呼び出しだった：そのまま録音できます。

- 呼び出し中に受話器を取ったとき
 - ・ファクスの呼び出しだった：自動的にファクス受信が始まるまで待って受話器を元に戻します。すぐに受信開始したいときは、[手動] モードと同じ手順で受信を開始します（プリンターのホーム画面で [ファクス] - [送受信切替] の順に選択し、[受信] を選択して、 をタップします）。受信が開始されたら受話器を元に戻します。
 - ・通話の呼び出しだった：そのまま通話できます。
- 呼び出しが終わり自動でファクス受信モードに切り替わったとき
 - ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信が開始されます。
 - ・通話の呼び出しだった：この段階で通話はできません。電話をかけるか、発信元にかけて直しを依頼してください。

参考 留守番電話の呼び出し回数は、プリンターの [呼び出し回数] より少なく設定してください。留守番電話の呼び出し回数の方が多いと、録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

発信元（相手）の番号を外付け電話機に表示する動作

発信元の電話番号が外付け電話機に表示されるのは、ナンバー・ディスプレイを契約されている回線から、[呼び出し回数] で指定した回数（初期値は1回）の呼び出し中です。

- 参考**
- ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。詳細は回線事業者にお問い合わせください。
 - 以下の項目が [外付け電話機優先] に設定されているとき、着信すると外付け電話機に発信元(相手先)の番号が表示されます。プリンターの設定についてはプリンターの管理者にお問い合わせください。
[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ナンバー・ディスプレイ対応]
 - 以下の各設定モードの動作を参照ください。
[「使い方から受信方法を設定する」123ページ](#)

ファクス/電話自動切替モード

ファクスを主に、通話もするときの受信モードです。

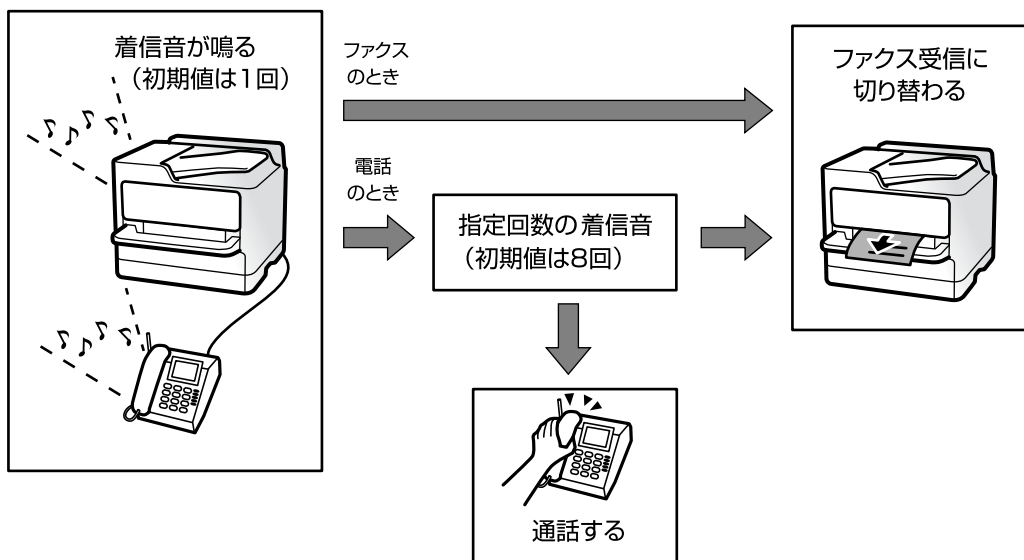
受信の仕方

着信音を指定回数（初期設定は1回）鳴らしてから、ファクスか電話かを自動判別します。

- ファクス信号（ボー音）を検知すると自動的にファクス受信を開始します。
- ファクス信号を検知できずに一定時間が経過すると、プリンターと外付け電話機の着信音を指定回数（初期設定は8回）鳴らします。

！重要

- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機の発信者番号表示（ナンバー・ディスプレイ対応）機能は使えません。
- 外付け電話機の留守番電話機能は使えません。



相手先にダイヤルしてファクスを受信する

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。

関連情報

- ➔ 「送信元の状況を確認してから受信する（オンフック）」 315ページ
- ➔ 「ポーリング受信する（ポーリング受信）」 316ページ
- ➔ 「掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）」 316ページ

送信元の状況を確認してから受信する（オンフック）

送信元の状況（ダイヤル中、通信中、通話中）を音や音声としてスピーカーから流して、それを聞きながら受信できます。ファクス情報サービスの音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. ホーム画面で【ファクス】を選択します。

2.  をタップして、宛先を選択します。

参考 スピーカーの音量を調節できます。

3. 送信元の応答を待ちます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、画面右上の【送受信切替】を選択して【受信】を選択します。

参考 ファクス情報サービスの音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

4. をタップしてファクス受信を開始します。

ポーリング受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。

- 参考**
- 音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。
 - 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、[オンフック]でダイヤルするか、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します。

1. ホーム画面で[ファクス]を選択します。
2. （応用）をタップします。
3. [拡張ファクス]を選択します。
4. [ポーリング受信]をタップして[オン]にします。
5. [閉じる]をタップしてから、[閉じる]をタップします。
6. ファクス番号を入力します。

- 参考** 直接入力できない場合は、[セキュリティ設定]で[直接ダイヤル制限]が[オン]に設定されています。アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定してください。

7. をタップして[ポーリング受信]を開始します。

掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機の掲示板に蓄積された文書を、Fコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信します。アドレス帳にFコード（SEP）とパスワード（PWD）を設定した宛先をあらかじめ登録してください。

1. ホーム画面で[ファクス]を選択します。
2. （応用）を選択します。
3. [拡張ファクス]を選択します。
4. [ポーリング受信]をタップして[オン]にする
5. [閉じる]をタップしてから、[閉じる]をタップします。

6. 「アドレス帳」を選択して、相手先の掲示板に一致するFコード（SEP）とパスワード（PWD）を登録した宛先を選択します。
7. ◇をタップして「ポーリング受信」を開始します。

関連情報

➡ [「アドレス帳の登録」77ページ](#)

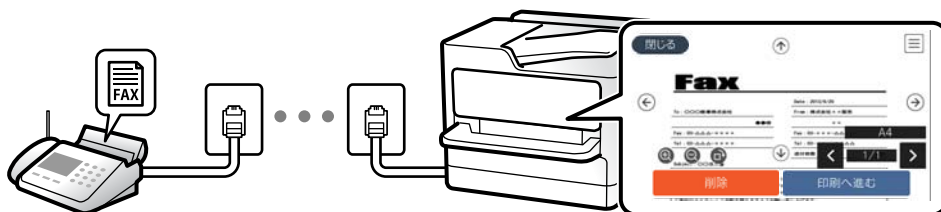
受信ファクスの保存と転送

機能の概要

管理者がいる場合、プリンターの設定状態や接続状態は管理者にお問い合わせください。

プリンターに保存

保存したファクスはプリンターの画面で閲覧できます。必要なファクスだけ印刷し、不要なものは削除できます。

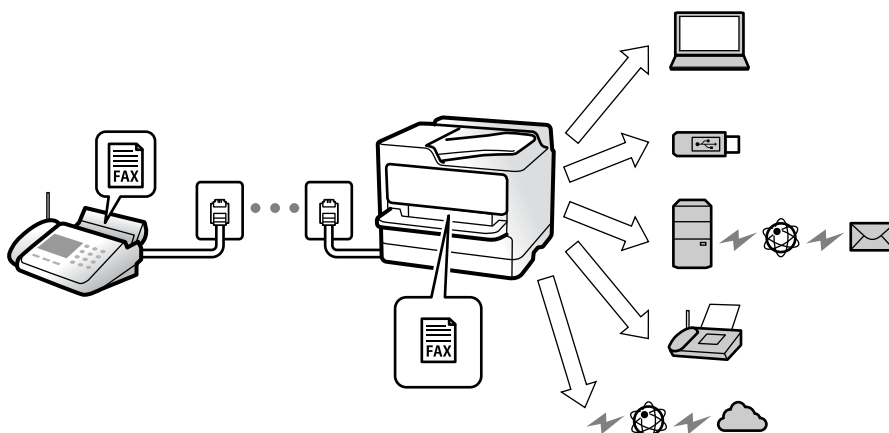


プリンター以外の場所への保存・転送

保存先、転送先に指定できるのは以下です。

- コンピューター（PC-FAX受信機能）
- 外部メモリー
- メールアドレス
- ネットワーク上の共有フォルダー
- クラウドサービス（オンラインストレージ）

- 他のファクス機

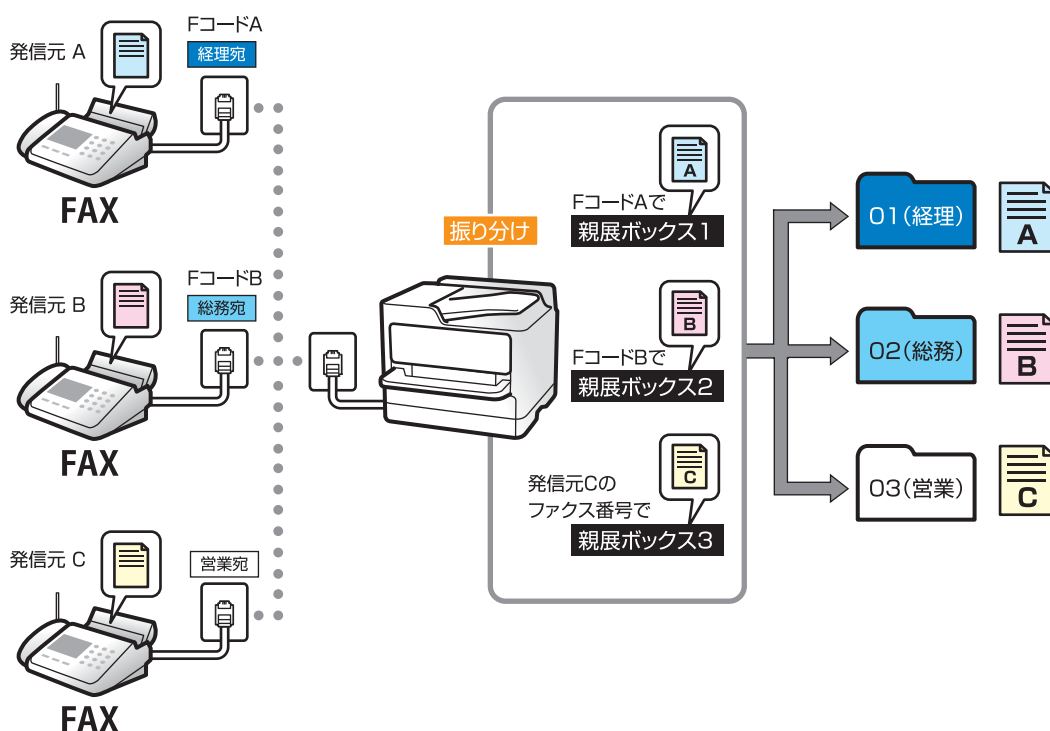


- 参考**
- クラウドサービスと他のファクス機を除き、ファクスデータはPDFかTIFFファイルとして保存されます。
 - クラウドサービスで、ファクスデータはPDFファイルとして保存されます。
 - カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。

Fコード通信などの条件を利用した振り分け保存や振り分け転送

プリンターの受信ボックスや親展ボックスにファクスを振り分けて保存できます。プリンター以外の場所にも振り分けて転送できます。

- メールアドレス
- ネットワーク上の共有フォルダー
- クラウドサービス（オンラインストレージ）
- 他のファクス機



参考

- クラウドサービスと他のファクス機を除き、ファクスデータはPDFかTIFFファイルとして保存されます。
- クラウドサービスで、ファクスデータはPDFファイルとして保存されます。
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 現在の設定を印刷できます。ホーム画面で [ファクス] -  (応用) - [ファクスレポート印刷] - [条件保存・転送リスト] の順に選択してください。

関連情報

- ➡ [「受信ファクスの保存設定と転送設定」 129ページ](#)
- ➡ [「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」 132ページ](#)
- ➡ [「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」 319ページ](#)

受信したファクスをプリンターの画面で確認する

受信したファクスをプリンターの画面で見えるには設定が必要です。

[「受信ファクスを保存する設定」 129ページ](#)

1. ホーム画面で [ファクスボックス] を選択します。

参考

未読の受信文書があると、ホーム画面の  に未処理件数が表示されます。

2. [受信/親展] を選択します。
3. 受信ボックスまたは親展ボックスを選択します。
4. 受信ボックスまたは親展ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワード、または親展ボックス用のパスワードを入力します。
5. 確認する文書をリストから選択します。
文書の内容が表示されます。



-  : 右に90° 回転
-  : 矢印方向に画面を移動

-   : 縮小、拡大
-   : 前ページへ移動、次ページへ移動
-  : 保存や転送などのメニューを表示します。
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

6. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

！重要 プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

- ➡ [「受信/親展」325ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

ファクスメニューの説明

宛先

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [宛先] タブ

直接入力：

宛先のファクス番号を直接入力します。

アドレス帳：

アドレス帳から宛先を選択します。宛先の新規登録や変更もできます。

宛先履歴：

発着信履歴から宛先を選択します。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

ファクス設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [ファクス設定] タブ

クイック操作ボタン：

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔クイック操作ボタン〕 で、〔通信履歴表示〕や〔原稿種類〕など使用頻度の高い項目3つまでを事前に割り当てておくと、〔ファクス設定〕タブのトップに表示できます。

読み取り設定：

画質：

送信する文書の画質を選択します。画質を優先するとデータのサイズが大きくなり、送信に時間がかかります。

初期設定：〔精細〕

濃度：

送信する文書の濃度を設定します。+にすると濃くなり、-にすると薄くなります。

初期設定：〔±0〕

原稿種類：

原稿の種類を選択します。

初期設定：〔文字〕

背景除去：

背景の明るさを選択します。+にすると背景が明るくなり、-にすると暗くなります。

〔自動〕にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。

初期設定：〔自動〕

シャープネス：

画像の輪郭を設定します。+にすると輪郭が鮮明になり、-にするとぼやけます。

初期設定：〔±0〕

ADF自動両面：

モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。

初期設定：〔オフ〕

ADF連続読込：

サイズの異なる原稿を1枚ずつセットするか、サイズごとに分けてセットすると、それぞれの原稿サイズで（原稿がA4ならA4で、A5ならA5で）1つの文書としてファクス送信できます。

初期設定：〔オフ〕

[「異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）」309ページ](#)

原稿サイズ(原稿台)：

原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。

初期設定：〔自動検知〕

カラーモード：

カラーかモノクロのどちらでスキャンするか選択します。

初期設定：〔モノクロ〕

送信設定：

ダイレクト送信：

モノクロ原稿をスキャンしながら送信します。メモリーを使わないので、大量原稿でもメモリー不足にならず送信できます。ただし、送信時間は長くなります。

以下の場合には使えません。

- [ADF自動両面] で送信するとき
- 複数の宛先に送信するとき

初期設定：[オフ]

[「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」308ページ](#)

優先送信：

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

初期設定：[オフ]

[「割り込んで送信する（優先送信）」308ページ](#)

時刻指定送信：

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信だけです。

初期設定：[オフ]

[「指定した時刻にモノクロで送信する（時刻指定送信）」309ページ](#)

発信元情報の付加：

発信元情報の付加：

発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または、入れずに送信するかを選択します。

- [付加しない]：発信元情報を入れずに送信します。
- [原稿外]：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
- [原稿内]：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報が重なって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。

初期設定：[原稿外]

発信元名：

宛先に合わせて発信元情報を選択します。あらかじめ発信元情報を複数登録しておく必要があります。

追加情報：

追加したい情報を、[発信元番号] と [宛先情報]、[なし] から1つ選択できます。

初期設定：[発信元番号]

送信結果メール通知：

ファクス送信後に、送信結果を通知します。

初期設定：[オフ]

宛先：

ファクス送信後に結果を通知する宛先を、アドレス帳から選択します。

通信結果レポート印刷：

ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。

〔エラー時のみ〕を選択したときは、ファクス送信時にエラーが発生すると結果レポートを印刷します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔レポート設定〕で〔レポート内画像添付〕が有効に設定されているときは、エラーとなったファクスもレポートと一緒に印刷されます。

初期設定：〔エラー時のみ〕

バックアップ送信設定：

スキャンしてプリンターのメモリーに保存された送信ファクスのバックアップを保存します。以下いずれかのときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- 〔時刻指定送信〕で送信する
- 〔バッチ送信〕で送信する
- 〔待機文書蓄積〕で送信する

初期設定：〔オフ〕

バックアップ先：

バックアップ先を選択します。

応用

ホーム画面の〔ファクス〕内にある  が〔応用〕メニューです。

通信履歴表示：

ファクスの送受信履歴を確認できます。

〔ジョブ/状態〕でも履歴確認ができます。

ファクスレポート印刷：

通信結果レポート：

最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。

通信管理レポート：

送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔レポート設定〕 - 〔通信管理レポート〕

ファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口にお問い合わせをするときは、事前に通信管理レポートを印刷しておくことをお勧めします。以下のメニューでレポート形式を〔詳細情報〕に変更してから印刷すると、エラー情報が増えて診断に役立ちます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [レポート形式]

蓄積文書リスト：

プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書（未完了のジョブなど）のリストを印刷します。

ファクス機能設定リスト：

現在のファクス設定を印刷します。

条件保存・転送リスト：

条件保存・転送リストを印刷します。

プロトコルログ：

最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。特定の相手とのファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口に問い合わせをするときは、事前に、通信管理レポートの印刷に加え、エラー直後のプロトコルログも印刷しておくことをお勧めします。

拡張ファクス：

ポーリング受信：

[オン] に設定してからダイヤルすることで、送信元のファクス機に蓄積されているポーリング用文書を受信できます。

[「ポーリング受信する（ポーリング受信）」 316ページ](#)

ポーリング送信/掲示板ボックス：

[オン] を選択して、ファクスの送信画面（[ファクス設定] タブ）からをタップすると、選択したボックスに文書を保存できます。

1つのボックスに1件の文書を保存できます。

[「受信相手の操作で送信する（ポーリング送信ボックス）」 306ページ](#)

プリンターの掲示板ボックスは10件あるので、合計で10件の文書を保存できます。[ファクスボックス] から事前に登録したボックスが使用できます。

[「受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）」 307ページ](#)

待機文書蓄積：

[オン] を選択して、ファクスの送信画面（[ファクス設定] タブ）からをタップすると、[待機文書送信] ボックスに文書を保存できます。このボックスに保存できる文書数は最大で10件です。

保存は、[待機文書送信] の[ファクスボックス] からでもできます。

[「宛先を指定しない送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）」 311ページ](#)

ファクスボックス：

ホーム画面の[ファクスボックス] メニューに移動します。

ファクスボックスには以下があります。

- 受信ボックス
- 親展ボックス
- 待機文書送信ボックス

- ポーリング送信ボックス
- 掲示板ボックス

[「ファクスボックスメニューの説明」 325ページ](#)

ファクス設定：

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] に移動します。プリンターの管理者として行ってください。
[「ファクス設定（ファクス対応機のみ）」 495ページ](#)

ファクスボックスメニューの説明

受信/親展

このメニューは、ホーム画面の [ファクスボックス] 内にあります。

受信ボックスと親展ボックス（一覧）

受信ボックスと親展ボックスは、[ファクスボックス] - [受信/親展] 内にあります。
受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに合計で200件まで保存できます。
1つの受信ボックスと10件の親展ボックスがあります。登録したボックス名称が各ボックスに表示されます。ボックス名の初期設定は [親展XX] です。

（ボックスメニュー）

全て印刷：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全ファクスを印刷します。[実行後削除] で [オン] を選択すると、印刷完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て外部メモリーに保存：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を外部メモリーに保存します。[実行後削除] で [オン] を選択すると、保存完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

既読文書を一括削除：

ボックス内に文書が存在しているときに表示されます。ボックス内の既読文書を全て削除します。

未読文書を一括削除：

ボックス内に文書が存在しているときに表示されます。ボックス内の未読文書を全て削除します。

全て削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を削除します。

設定変更：

以下は、[受信ボックス] - [ボックスメニュー] - [設定変更] の順に選択すると表示される項目です。

- 容量限界時の動作：受信ボックスがいっぱいになった後の新着ファクスの扱い（印刷か受信拒否か）を選択します。
初期設定：[受信しない]
- パスワード設定：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- 受信文書自動削除：[オン] を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。[ファクス設定に従う] を選択すると、以下での設定が適用されます。
[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] - [共通設定] - [ボックス内文書削除設定]

以下は、親展ボックスを選択してから [ボックスメニュー] - [設定変更] の順に選択すると表示される項目です。

- 登録名：親展ボックスに名称（適用条件名）を付けます。
- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- 受信文書自動削除：[オン] を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。

ボックスを削除：

親展ボックスを選択しているときに、[ボックスメニュー] を選択すると表示される項目です。ボックス内に保存されている文書があれば削除して未登録状態に戻します。

受信ボックスと親展ボックス

受信した文書の日付や発信元名、ページ数を一覧で表示します。

一覧から文書をタップするとプレビュー画面が開き、文書を閲覧できます。閲覧中の文書の削除や印刷ができます。

（プレビュー画面）

-  ：縮小、拡大
- ：右に90° 回転
-    ：矢印方向に画面を移動
-  ：前ページへ移動、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

（プレビューメニュー）

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- ファクス送信
- 詳細表示

〔実行後削除〕で〔オン〕を選択すると、〔外部メモリーに保存〕や〔転送(メール)〕などの完了時に、保存した文書を削除できます。

関連情報

- ➡ [「受信ファクスの保存設定と転送設定」129ページ](#)
- ➡ [「特定の条件で受信ファクスを保存・転送する設定」132ページ](#)
- ➡ [「ファクス送受信履歴を確認する」334ページ](#)

待機文書送信：

このメニューは、ホーム画面の〔ファクスボックス〕内にあります。

10件のモノクロ文書（1件当たり最大200ページ）を蓄積できます。1つの文書を頻繁に送るときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。

 **参考** 保存した文書のファイルサイズなどにより、文書を10件まで保存できないことがあります。

(ボックスメニュー)

待機文書蓄積：

〔ファクス〕メニューの〔ファクス設定〕タブだけを表示します。◇をタップすると文書をスキャンして待機文書送信ボックスに蓄積します。

全て印刷：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全ファクスを印刷します。〔実行後削除〕で〔オン〕を選択すると、印刷完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て外部メモリーに保存：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を外部メモリーに保存します。〔実行後削除〕で〔オン〕を選択すると、保存完了時にボックス内の全ファクスを削除します。

全て削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている全文書を削除します。

設定変更：

ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。

待機文書送信ボックス

蓄積した文書の日付とページ数を一覧で表示します。

一覧から文書をタップするとプレビュー画面が開きます。〔送信開始〕を選択すると送信画面へ進みます。

〔削除〕を選択すると蓄積した文書を削除できます。

(プレビュー画面)

-   : 縮小、拡大
-  : 右に90° 回転
-     : 矢印方向に画面を移動
-   : 前ページへ移動、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

 (プレビューメニュー)

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- 印刷

「実行後削除」で「オン」を選択すると、「外部メモリーに保存」や「転送(メール)」などの完了時に、保存した文書を削除できます。

関連情報

- ➡ [「同じ文書を使って何度もファクス送信する」310ページ](#)
- ➡ [「ファクス送受信履歴を確認する」334ページ](#)

ポーリング送信/掲示板

このメニューは、ホーム画面の「ファクスボックス」内にあります。
1つのポーリング送信ボックスと10件の掲示板ボックスがあります。ボックス1つにつき1文書（最大200ページ）を蓄積できます。

ポーリング送信：

このメニューは、「ファクスボックス」-「ポーリング送信/掲示板」内にあります。

ポーリング送信ボックス：

 (メニュー) の設定変更にある設定項目と設定値を表示します。

 (メニュー)

文書を削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている文書を削除します。

設定変更：

- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- ポーリング送信後自動削除：[オン] にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
初期設定：[オフ]
- 送信結果メール通知：[メール通知設定] を [オン] にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、[送信先] で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
初期設定：[オフ]

文書を登録する：

[ファクス] メニューの [ファクス設定] タブだけを表示します。◆をタップすると文書をスキャンして保存します。
ボックス内に文書があるときの表示は、[文書を確認する] です。

文書を確認する：

ボックス内に文書があるときは、文書の中身が閲覧できます。閲覧中の文書の印刷や削除ができます。

(プレビュー画面)

-  ：縮小、拡大
- ：右に90° 回転
-    ：矢印方向に画面を移動
-  ：前ページへ移動、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

 (プレビューメニュー)

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)
- 転送(クラウド)
- ファクス送信

[実行後削除] で [オン] を選択すると、[外部メモリーに保存] や [転送(メール)] などの完了時に、保存した文書を削除できます。

関連情報

- ➡ [「受信相手の操作で送信する（ポーリング送信ボックス）」 306ページ](#)
- ➡ [「ファクス送受信履歴を確認する」 334ページ](#)

未登録の掲示板：

このメニューは、[ファクスボックス] - [ポーリング送信/掲示板] - [未登録の掲示板] 内にあります。[未登録の掲示板] のいずれかをタップします。ボックス上の [未登録の掲示板] の表示は、登録すると登録名に変わります。掲示板は10件まで登録できます。

掲示板ボックス設定：

登録名(必須項目)：

掲示板ボックスに名称（適用条件名）を付けます。

Fコード(SEP)：

Fコード(SEP)を設定します。Fコード通信に対応している受信側ファクス機からの操作においてFコードが一致すると、蓄積文書が送信されます。

パスワード(PWD)：

パスワード(PWD)を設定します。Fコード通信のパスワードに対応している受信側ファクス機からの操作においてパスワードが一致すると、蓄積文書が送信されます。

ボックスを開くパスワード：

ボックスを開くためのパスワードの設定や変更をします。

ポーリング送信後自動削除：

[オン] にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。

初期設定：[オフ]

送信結果メール通知：

[メール通知設定] を [オン] にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、[送信先] で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。

初期設定：[オフ]

関連情報

- ➡ [「受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）」 307ページ](#)
- ➡ [「登録済み掲示板ボックス」 330ページ](#)

登録済み掲示板ボックス

このメニューは、[ファクスボックス] - [ポーリング送信/掲示板] 内にあります。登録名が表示されているボックスを選択してください。ボックス上に表示される名称は、[未登録の掲示板] 登録時に付けた登録名です。掲示板は10件まで登録できます。

(掲示板ボックスの登録名)



(メニュー) の [設定変更] にある設定項目とその値を表示します。

 (メニュー)

文書を削除：

ボックス内に文書が保存されているときに表示されます。ボックス内に保存されている文書を削除します。

設定変更：

- 登録名(必須項目)：掲示板ボックスの名称（適用条件名）を変更します。
- Fコード(SEP)：ファクスを受信するための条件を変更します。
- パスワード(PWD)：ファクスを受信するためのパスワードを変更します。
- ボックスを開くパスワード：ボックスを開くためのパスワードを設定します。
- ポーリング送信後自動削除：[オン] にすると、受信側からの要求で次のファクス送信（ポーリング送信）をした後、その文書を削除します。
初期設定：[オフ]
- 送信結果メール通知：[メール通知設定] を[オン] にすると、受信側からの要求でファクス送信（ポーリング送信）をした後に、[送信先] で設定した宛先に送信結果をメールで通知します。
初期設定：[オフ]

ボックスを削除：

ボックス内に保存されている文書があれば削除して未登録状態に戻します。

文書を登録する：

[ファクス] メニューの [ファクス設定] タブだけを表示します。◇をタップすると文書をスキャンして保存します。

ボックス内に文書があるときの表示は、[文書を確認する] です。

文書を確認する：

ボックス内に文書があるときは、文書の中身が閲覧できます。閲覧中の文書の印刷や削除ができます。

(プレビュー画面)

-  ：縮小、拡大
- ：右に90° 回転
-    ：矢印方向に画面を移動
-  ：前ページへ移動、次ページへ移動

操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

 (プレビューメニュー)

- 外部メモリーに保存
- 転送(メール)
- 転送(ネットワークフォルダー)

- 転送(クラウド)
- ファクス送信

「実行後削除」で「オン」を選択すると、「外部メモリーに保存」や「転送(メール)」などの完了時に、保存した文書を削除できます。

関連情報

- ➔ 「受信側の操作で送信する（掲示板ボックス）」 307ページ
- ➔ 「未登録の掲示板：」 330ページ
- ➔ 「ファクス送受信履歴を確認する」 334ページ

ファクスのジョブ状態や履歴を確認する

受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示

未処理の受信文書があると、下のホーム画面で示すにその件数が表示されます。未処理とは下表で示す状態です。

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。定期的に受信文書の内容を確認して削除してください。受信ボックスの未読文書を読み未処理件数が減ってもメモリーには残ったままです。

- 参考**
- メモリー使用量は、ホーム画面から「ファクス」を選択すると画面左下に％で表示されます。
 - メモリー内に保存されているファクス文書は、蓄積文書リストを印刷すると確認できます。
「蓄積文書リスト：」 324ページ



受信文書の処理設定	未処理状態	対処方法
印刷する*1	印刷待ち、または印刷中	• 印刷中や順番待ち中の場合は終わるまで待ってください。 • 紙詰まりエラーの場合は画面の指示に従ってエラーを解除してください。 • 用紙なしエラーの場合は画面の指示に従って用紙をセットしてください。

受信文書の処理設定	未処理状態	対処方法
プリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存する	受信ボックスまたは親展ボックスの受信文書が未読	- 未読ファクスを開封して内容を確認してください。 - 未読ファクスを削除してください（不要な場合）。
外部メモリーに保存する	装着した外部メモリーに受信ファクス保存専用フォルダーが未作成などの理由で保存できない	- 外部メモリーが正しく装着されているか確認してください。 - 外部メモリーの容量不足のときは、不要なファクスを削除してください。 - または、空き容量のある外部メモリーと交換して保存専用フォルダーを作成してください（プリンターの管理者）。
コンピューターに保存する	保存先のコンピューターが起動していないなどの理由で保存できない	- 保存先のコンピューターが起動しているか確認してください。 - 保存先のコンピューターとプリンターのネットワーク接続を確認してください（プリンターの管理者）。
転送する	転送されていない、または転送に失敗した*2。	転送先に応じた対処をします。 - 別のファクスに転送する場合、ファクス番号が正しいか、転送先の回線が使用中でないか確認してください。 - または、回線が送受信兼用になっているか確認してください（プリンターの管理者）。 - メール転送の場合、メールアドレスが正しいか、メールサーバーの設定が正しいか、送信先のドメインを制限していないかなどを確認してください（プリンターの管理者）。 - 共有フォルダーの場合、共有フォルダーとプリンターのネットワーク接続を確認してください（プリンターの管理者）。

*1 保存や転送をする設定にしていない、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定にしているとき。

*2 転送失敗文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは未読状態、印刷する設定にしているときは印刷されていない状態

参考 受信文書の処理を複数設定していると、1つの受信文書の未処理件数が2件や3件など複数になることがあります。例えば、受信ボックスとコンピューターの両方に保存する設定の場合、1つの受信文書が両方とも処理されなかったときは未処理件数が2になります。

関連情報

- ➡ [「受信したファクスをプリンターの画面で確認する」 319ページ](#)
- ➡ [「実行中のファクスジョブを確認する」 333ページ](#)

実行中のファクスジョブを確認する

処理が完了していないファクスのジョブを画面に表示して確認できます。確認画面に表示されるジョブは以下です。この確認画面から、印刷前のファクスの印刷や送信失敗文書の再送信もできます。

- 受信ファクス
 - 印刷前のファクス（印刷する設定の場合）
 - 未保存のファクス（保存先が設定されている場合）
 - 未転送のファクス（転送先が設定されている場合）
- 送信に失敗したファクス文書（「送信失敗文書保存」を有効にしてある場合）

確認画面を表示する手順は以下です。

1. ホーム画面で [ジョブ/状態] をタップします。
2. [ジョブ] タブをタップして、[実行中] をタップします。
3. 確認するファクスジョブを選択して、[詳細表示] を選択します。

関連情報

➡ [「受信ファクスが未処理（未読／未印刷／未保存／未転送）の表示」 332ページ](#)

ファクス送受信履歴を確認する

ファクスの送受信履歴（宛先や日時、送受信結果など）が確認できます。

1. ホーム画面で [ジョブ/状態] をタップします。
2. [ジョブ] タブ- [履歴] の順にタップします。
3. 画面右上の▼をタップして [送信] または [受信] を選択します。

確認するジョブ履歴が新しい順に一覧表示されます。確認する履歴をタップすると詳細が表示されます。

履歴印刷もできます。ホーム画面から [ファクス] -  (応用) - [ファクスレポート印刷] - [通信管理レポート] の順に選択してください。

関連情報

➡ [「応用」 323ページ](#)

印刷した受信文書を再印刷する

印刷履歴から、印刷した受信文書を再印刷できます。

ただし、プリンターのメモリーがいっぱいになると、印刷した受信文書は古いものから順に削除されます。

1. ホーム画面で [ジョブ/状態] をタップします。
2. [ジョブ] タブ- [履歴] の順にタップします。
3. 画面右上の▼をタップして [印刷] をタップします。
印刷ジョブ履歴の一覧が表示されます。一番上が最新の印刷ジョブです。
4.  アイコンのあるジョブをリストから選択します。
印刷したい文書かどうか、受信日時や送付元で確認します。
5. [再印刷] をタップして文書を印刷します。

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX UtilityとPC-FAXドライバーで行います。
操作方法は、FAX Utilityのオンラインヘルプの「基本の操作」をご覧ください。

- 参考**
- FAX UtilityとPC-FAX ドライバーがインストール済みかをあらかじめ確認しておいてください。
[「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 473ページ](#)
[「ファクス送信するソフトウェア \(PC-FAXドライバー\)」 474ページ](#)
 - FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater (エプソン ソフトウェアアップデーター) を使用してインストールしてください。
[「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア \(Epson Software Updater\)」 477ページ](#)

関連情報

➔ [「コンピューターからファクス送信する設定」 138ページ](#)

アプリケーションで作成した文書を送信する (Windows)

Microsoft WordやExcelなどの [印刷] メニューから、ご使用のファクス対応プリンター (PC-FAXドライバー) を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考 ここでは、Microsoft Wordを例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
モノクロデータは200ページまで、カラーデータは100ページまで一度に送信できます。
2. [ファイル] メニュー内の [印刷] をクリックします。
アプリケーションソフトの [印刷] ウィンドウが表示されます。

3. プリンターから [XXXXXX (FAX)] (XXXはご使用のプリンター名) を選択して、ファクス送信のための設定を確認します。



〔印刷部数〕では、〔1〕を入力してください。〔2〕以上を入力すると正常に送信できないことがあります。

4. 〔プリンターのプロパティ〕（または〔プロパティ〕）をクリックして、〔用紙サイズ〕、〔用紙方向〕、〔色〕、〔画質〕、〔文字の濃さ〕を設定します。

詳細はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

5. 〔印刷〕をクリックします。



お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、〔OK〕をクリックしてください。

FAX Utilityの〔送付先設定〕画面が表示されます。

6. 同時に他の文書を送るには、〔送信文書を追加する〕にチェックを付けます。

手順10で〔次へ〕をクリックすると、文書を追加する画面が表示されます。

7. 必要に応じて〔送付状を付ける〕を設定します。

8. 送付先を指定します。

- 〔PC-FAX電話帳〕から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
 - ① 〔PC-FAX電話帳〕タブをクリックする
 - ② 一覧から送付先を選択して〔追加〕をクリックする

- プリンターの電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
送付先がプリンターの電話帳に登録されているときは、以下をします。
 - ① [プリンターのアドレス帳] タブをクリックする
 - ② 一覧から送付先を選択して [追加] をクリックする（[送付先に追加] 画面が開きます）
 - ③ 一覧から送付先を選択して [編集] をクリックする
 - ④ 必要に応じて個人データ（[会社名/団体名] や [敬称] ）を追加し、[OK] をクリックする（[送付先に追加] 画面に戻ります）
 - ⑤ 必要に応じて [PC-FAX電話帳に登録する] にチェックを付ける
 - ⑥ [OK] をクリックする
- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
 - ① [直接入力] タブをクリックする
 - ② 情報を入力する
 - ③ [追加] をクリックする
 また、[電話帳に登録] をクリックすると、[PC-FAX電話帳] タブの一覧に登録されます。

- 参考**
- プリンターで接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「接続回線」内の「基本設定」をご覧ください。
 - FAX Utility（メイン画面）の [オプション設定]（PC-FAXの設定）で [送信時にファクス番号を2回入力する] を有効にしている場合は、[追加] または [次へ] をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

画面上部の [送付先一覧] に追加されます。

9. [送信オプション] タブをクリックして、送信時の通信設定を設定します。

プリンターにファクスを増設しているときは、以下の情報もご覧ください。

[\[Windowsからファクスを送信する \(増設G3ファクスボード装着時\)\]](#) 343ページ

- [送信方式]：
プリンターからの文書の送信方法を選択します。
 - ・ [メモリー送信]：プリンターの内部メモリーにデータを一時的に保存してからファクスを送信します。複数の送付先に、または複数のコンピューターから同時にファクスを送信する場合に選択します。
 - ・ [ダイレクト送信]：プリンターの内部メモリーにデータを一時的に保存しないでファクスを送信します。モノクロのページを一度に多数送信するときに選択して、プリンターメモリーの容量不足によるエラーを防ぎます。
- [時刻指定]：
指定時間にファクスを送信する場合は、[時刻を指定して送信する] にチェックを付けて、[送信時刻] に時刻を入力します。

10. [次へ] をクリックします。

- [送信文書を追加する] にチェックを付けた場合は、[送信文書追加] 画面で送信文書を追加します。
 - ① 追加する文書を開いて、[印刷] で同じプリンター名 (FAX) を選択します。文書が [結合する文書一覧] に追加されます。
 - ② [プレビュー] をクリックして結合された文書を確認します。
 - ③ [次へ] をクリックします。

- 参考** 最初の文書で選択していた [画質] と [色] が他の文書にも適用されます。

- 「送付状を付ける」にチェックを付けた場合は、「送付状設定」画面で送付状の内容を設定します。

- ① 「送付状」一覧から送付状のデザインを選択します。デザインの追加や作成はできません。
- ② 「件名」と「コメント」を入力します。
- ③ 「次へ」をクリックします。

参考

必要に応じて「送付状設定」で以下の設定をしてください。

- 「送付状書式設定」をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。「用紙サイズ」で送付状のサイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
- 「フォント」をクリックして、送付状に表示される文字のフォントを変更します。
- 「発信元設定」をクリックして、発信元情報を変更します。
- 「詳細プレビュー」をクリックして、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認します。

11. 送信内容を確認して「送信」をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。「プレビュー」をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。

12. ユーザー名とパスワードの未設定をお知らせするメッセージが表示された場合は画面の指示に従って入力します。

- ユーザー名とパスワードは、プリンターの管理者に問い合わせてください。
- ファクスの利用者制限が設定されたプリンターで送信するときに表示されます。
- メッセージを確認してOKをクリックした後の入力画面で、「情報の登録」チェックボックスを選択すると、ユーザー名とパスワードはFAX Utility内に保存され、次回から入力画面が表示されなくなります。

送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

参考

- 送信を中止するときは、送信データを選択して「中止」をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
- 送信中にエラーになると「通信エラー」画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
- ファクス送信モニター（上記の送信状態を確認できる画面）が表示されないときは、FAX Utilityを起動し、オプション設定で送信時にファクス送信モニターを表示にチェックを付けてください。

関連情報

➡ [「基本設定」496ページ](#)

アプリケーションで作成した文書を送信する (Mac OS)

市販アプリケーションソフトの「印刷」メニューからファクス対応プリンター (PC-FAXドライバー) を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考

ここでは、Mac OS添付のテキストエディットを例に説明します。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。

モノクロは100ページまで、カラーは100ページまでの2GB以下のデータを一度に送信できます。

2. 「ファイル」メニュー内の「印刷」をクリックします。

アプリケーションの「印刷」ウィンドウが表示されます。

3. [名前] からご使用のプリンター（ファクス名）を選択し、▼をクリックして詳細設定を表示し、[OK] をクリックします。

4. 次の設定をします。

[印刷部数] では、[1] を入力してください。[2] 以上を入力しても、実際に送信されるのは1部だけです。

参考 ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

5. ポップアップメニューでファクス設定を選択して、各項目を設定します。

各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下のをクリックします。

6. ポップアップメニューで送付先設定を選択して、送付状を設定します。

- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：

[追加] 項目に必要な事項を入力して  をクリックしてください。画面上部の送付先一覧に追加されます。

PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を2回入力する」が有効になっている場合は、 をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 プリンターで接続回線設定を「構内交換機(PBX)」にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

- 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：

送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、 をクリックします。一覧から送付先を選択して [追加] をクリックし、[OK] をクリックしてください。

ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 プリンターで接続回線設定を「構内交換機(PBX)」にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

7. 宛先設定して、[ファクス] をクリックします。

送信が始まります。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

- 参考**
- Dock内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして [削除] をクリックしてください。
 - 送信中にエラーになると [送信失敗] というメッセージが表示されます。[ファクス送信記録] 画面で送信記録を確認してください。
 - 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

関連情報

➡ [「基本設定」496ページ](#)

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書は、プリンターに接続したコンピューターにPDFかTIFFで保存できます。設定はFAX Utility (アプリケーション)で行います。

操作方法は、FAX Utilityのオンラインヘルプの「基本の操作」をご覧ください。設定中にパスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

参考

- FAX Utilityのインストールと設定が済んでいるかあらかじめ確認しておいてください。
[「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 473ページ](#)
- FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater (エプソン ソフトウェアアップデーター) を使用してインストールしてください。
[「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア \(Epson Software Updater\)」 477ページ](#)

重要

- コンピューターでファクス受信するときは、[受信モード] を [ファクス/電話自動切替] または [自動] に設定してください。操作パネルの [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] で [受信モード] の設定状態の確認や設定ができます。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信ファクスはプリンターのメモリーに一時保存されます。電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面の  に表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー (Adobe Readerなど) が必要です。

関連情報

➡ [「コンピューターからのファクス送受信を設定する」 138ページ](#)

新着ファクスを確認する (Windows)

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

参考

- コンピューターに受信ファクスデータが保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
- PDFファイルとして保存された受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー (Adobe Readerなど) が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う (Windows)

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。

-  : 待機中
-  : 新着ファクスの有無を確認中
-  : 新着ファクスの取り込みが完了した状態

2. アイコンを右クリックして「受信記録を見る」をクリックします。

「ファクス受信記録」画面が表示されます。

3. リストで日時と送信元を確認して目的のファクスデータ (PDFかTIFF) を開きます。



- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの「オプション設定」かそのヘルプをご覧ください。

待機中のときは、「新着ファクスの確認」を選択します。新着ファクスがあるかどうかすぐに確認できます。

受信通知ウィンドウを使う (Windows)

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。



何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。

「ファクス受信記録」画面が表示されます。

3. リストで日時と送信元を確認して目的のファクスデータ (PDFかTIFF) を開きます。



- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの「オプション設定」とそのヘルプをご覧ください。

新着ファクスを確認する (Mac OS)

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。「ファクス保存」(このコンピューターで保存する)]を設定したコンピューターだけで可能です。

- 保存フォルダー (「受信ファクスの出力設定」で指定) を開く
- ファクス受信モニターを開き、「新着ファクスの確認」をクリックする
- ファクスの新着通知を受け取る
FAX Utilityの「ファクス受信モニター」-「環境設定」で「ファクス受信をDockで通知する」をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く（Mac OS）

["ファクス保存"（このコンピュータで保存する）]を設定したコンピュータでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開けます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして【ファクス受信モニター】を開きます。
2. プリンターを選択して【保存フォルダーを開く】をクリックするか、プリンター名をダブルクリックします。
3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_XXXXXXXXX_nnnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

コンピュータでのファクス受信をやめる

FAX Utilityで、コンピュータでのファクス受信をやめるように設定できます。
設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

- 参考**
- コンピューターに保存されていない受信ファクスがプリンター内にあるときは変更できません。
 - 管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。
 - この設定変更はプリンターからもできます。管理者に問い合わせてください。

関連情報

➡ [「コンピュータへの受信ファクスの保存をやめる設定」139ページ](#)

増設G3ファクス（オプション）

増設G3ファクスボード

本プリンターは増設によりファクス回線が複数利用できるため、ファクス受信中に送信したり、複数ファクスを同時に受信したり送信したりできます。

！重要 増設ファクスの設定時にファームウェア更新のメッセージが表示されたときは、増設G3ファクスボードを装着した状態で、プリンターのファームウェアを更新してください。

プリンターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着）

操作パネルからファクスの回線を指定し、宛先入力して送信できます。

参考 送信の仕方は、標準のファクスと同じです。
[「プリンターからファクスを送信する」 302ページ](#)

1. 原稿をセットします。
[「原稿のセット」 195ページ](#)
2. プリンターの操作パネルで【ファクス】を選択します。

3. 【宛先】タブで宛先を指定します。

[「宛先を選択する」 304ページ](#)

直接入力するには、【直接入力】を選択して【回線選択】で使用する回線を選択します。【回線別通信設定】で、【送受信兼用】か【送信専用】に設定されている回線を選択します。受信専用に設定されている回線を選択した場合は送信できません。【回線選択】の初期設定は【G3-自動選択】です。次に、画面のキーボードで番号を入力し、【OK】を選択して入力を完了します。

参考 【セキュリティ設定】で【直接ダイヤル制限】が設定されているときは、アドレス帳や履歴でのみ宛先を指定できます。直接入力はできません。

4. 【ファクス設定】タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

[「ファクス設定」 320ページ](#)

5. ◇をタップしてファクス送信を開始します。

コンピューターからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）

Windowsからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）

Microsoft WordやExcelなどの【印刷】メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考

- ここでは、Microsoft Wordを例に説明します。
- 送信の仕方の基本は、以下をご覧ください。
[「アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）」 335ページ](#)
- ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
2. 【ファイル】メニュー内の【印刷】をクリックします。
アプリケーションソフトの【印刷】ウィンドウが表示されます。
3. プリンターから【XXXXXX（FAX）】（XXXはご使用のプリンター名）を選択して、ファクス送信のための設定を確認します。

4. 【プリンターのプロパティ】（または【プロパティ】）をクリックして、用紙サイズや画質などを必要に応じて設定します。
詳細はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
5. 【印刷】 をクリックします。
FAX Utilityの【送付先設定】画面が表示されます。
6. 送付先を指定します。
詳細は以下を参照してください。
[「アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）」 335ページ](#)
画面上部の【送付先一覧】に追加されます。
7. 【送信オプション】 タブをクリックして、【送信回線】.を設定します。
プリンターの操作パネルの【設定】 【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【基本設定】 - 【回線別通信設定】 で【送受信兼用】 か【送信専用】 に設定されている回線を指定してください。受信専用に設定されている回線を選択した場合は送信できません。
8. 【次へ】 をクリックして、必要に応じた設定をします。
9. 送信内容を確認して【送信】 をクリックします。
送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

Mac OSからファクスを送信する（増設G3ファクスボード装着時）

市販アプリケーションソフトの【印刷】メニューからファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。空いている回線を自動的に選択して送信します。送信の仕方は、標準のファクスと同じです。

回線の状態を確認する（増設G3ファクスボード装着時）

ファクス回線の状態（待機中か通信中かなど）を回線ごとに確認できます。
プリンターの操作パネルで  ボタンを押して、【プリンター状態】 - 【増設】 を選択するとを表示されます。

IPファクス

IPファクス機能

ファクスを使うには、ファクスプラン契約が必要です。加えてNGN利用を除くIPファクス（以下）を利用するにはライセンスキーの購入が必要です。

- イン트라ネット（企業内ネットワーク）内で送受信する

- G3ファクス対応機器を使用して送受信する（VoIPゲートウェイ経由）

お使いのプリンターがファクス使用可能かどうか、また、ライセンスキーの入手方法については、保守サービス実施店にご確認ください。

関連情報

- ➡ [「NGNを利用したIPファクスを使えるようにする」 146ページ](#)
- ➡ [「IPファクス」 165ページ](#)

プリンターからIPファクスを送信する

操作パネルからファクスの回線を指定し、宛先を入力して送信できます。

参考 送信の仕方は、標準のファクスと同じです。
[「プリンターからファクスを送信する」 302ページ](#)

1. 原稿をセットします。

[「原稿のセット」 195ページ](#)

2. プリンターの操作パネルで【ファクス】を選択します。

3. 【宛先】タブから宛先を指定します。

直接入力するには、【直接入力】を選択して、【回線選択】（初期設定は【G3-自動選択】）で【IPファクス(LAN)】または【IPファクス(NGN)】を選択します。次に、画面のテンキーから宛先を直接入力し、【OK】を選択して入力を完了します。

[「IPファクスの宛先」 87ページ](#)

- 参考**
- テンキーで入力できない文字を含む宛先は、直接入力できません。あらかじめアドレス帳に登録しておき、アドレス帳から宛先を指定してください。
 - 【セキュリティ設定】で【直接ダイヤル制限】が設定されているときは、アドレス帳や履歴、クイックダイヤルで宛先を指定できます。直接入力はできません。
 - 【回線別通信設定】で、【送受信兼用】か【送信専用】に設定されている場合に送信できます。受信専用に設定されている回線を選択した場合は送信できません。

直接入力以外で宛先を指定する方法は、以下のリンクをご覧ください。

[「宛先を選択する」 304ページ](#)

4. 【ファクス設定】タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

[「ファクス設定」 320ページ](#)

5. をタップしてファクス送信を開始します。

ファクス送信した回線の確認

IPファクス回線から送信したかどうかを確認したいときは以下どちらかのレポートを印刷します。どの回線からファクス送信したかがわかります。

- 通信結果レポートを印刷する

[ファクス] -  (メニュー) - [ファクスレポート印刷] - [通信結果レポート]

- 通信管理レポートを印刷する

[ファクス] -  (メニュー) - [ファクスレポート印刷] - [通信管理レポート]

プリンターのお手入れ

消耗品の状態を確認する	348
用紙カセットからの給紙不良を改善する	348
印刷やコピー、スキャン、ファクスの品質を改善する	349

消耗品の状態を確認する

プリンターの操作パネルでインク残量の目安とメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。ホーム画面で



を選択します。

- 参考** メンテナンスボックスの空き容量は以下のように表示されます。
- A：空き容量
B：廃インク量



インクが少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてインクパックを交換します。

- 参考**
- プリンタードライバーのステータスマニターからも、インク残量の目安とメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。Windowsの場合は、[EPSON プリンターウィンドウ!3] がインストールされている必要があります。
 - Windows
[ユーティリティ] タブの [EPSON プリンターウィンドウ!3] をクリックします。
[EPSON プリンターウィンドウ!3] が無効になっているときは、[ユーティリティ] タブの [拡張設定] をクリックして [EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する] をチェックしてください。
 - Mac OS
アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) - Epson(XXXX) - [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] - [EPSONプリンターウィンドウ]

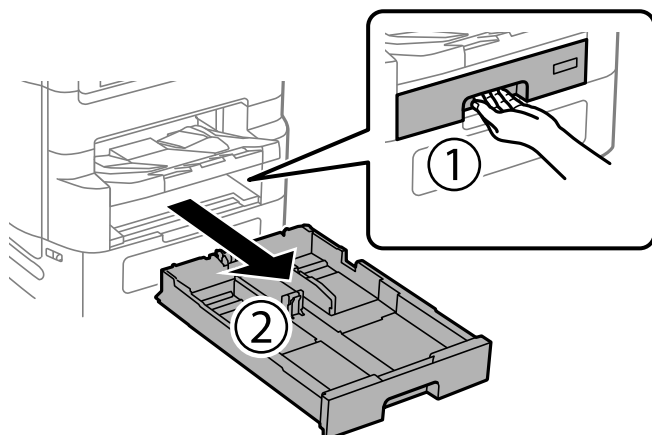
関連情報

- ➡ [「インクパックの交換が必要になった」 435ページ](#)
- ➡ [「メンテナンスボックスの交換が必要になった」 436ページ](#)

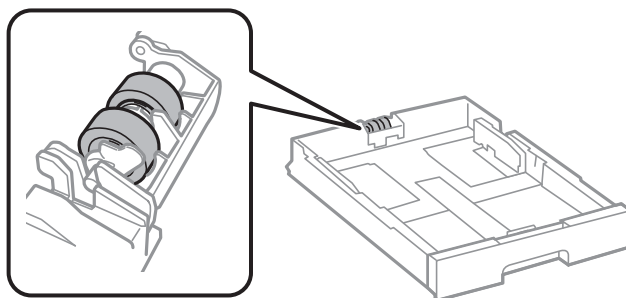
用紙カセットからの給紙不良を改善する

用紙カセットから用紙が正しく給紙されないときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

1. 用紙カセットを引き抜きます。



2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞ってローラーを拭きます。



！重要 乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。

3. 用紙カセットをセットします。

印刷やコピー、スキャン、ファクスの品質を改善する

印刷トラブルを解決する

印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたりぼやけたような印刷結果になったり、横縞模様のようなものが出たりするときに、印刷品質を調整します。用紙ごとに印刷調整をしたい場合は、この調整を先にしてください。用紙ごとに印刷調整した後この調整をした場合、用紙ごとの調整値はリセットされます。

1. プリンターの操作パネルで「設定」を選択します。
2. 「プリンターのお手入れ」 - 「印刷トラブル解決」の順に選択します。

3. 画面の指示に従って調整パターンを印刷し、スキャンします。

自動的に調整されます。

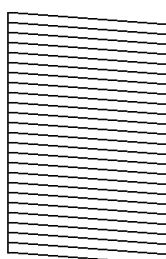
確認パターン印刷のメッセージが表示された場合は、次の手順に進みます。

4. 画面の指示に従ってパターンを印刷します。

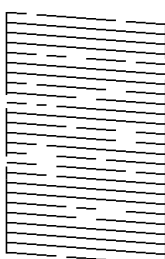
5. それぞれのパターンを確認して調整します。

- このパターンは、「なし」の図のように全ての線が印刷されていたら [OK] を選択します。
「あり」の図のように部分的に印刷されていなかったり、線が欠けたりしているときは [NG] を選択し、画面の指示に従って進めます。

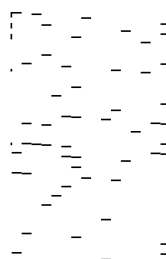
A) なし



B) あり
(ヘッドクリーニング必要)

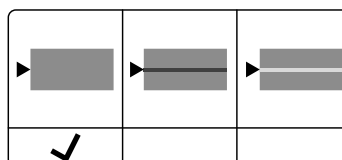


C) あり
(強力クリーニング必要)

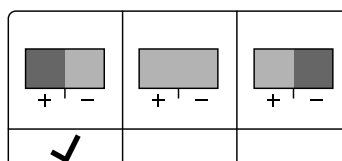


- これらのパターンは、左のパターンと右のチェックマークが付いたパターンと同じ状態なら [OK] を選択します。
パターンの状態が異なっている場合は [NG] を選択し、画面の指示に従って進めます。

#2



#3



用紙ごとに印刷トラブルを解決する

用紙ごとに印刷品質を調整して最適にします。普通紙、再生紙、上質普通紙、プレプリント、色つき、レターヘッド、厚紙1で設定できます。

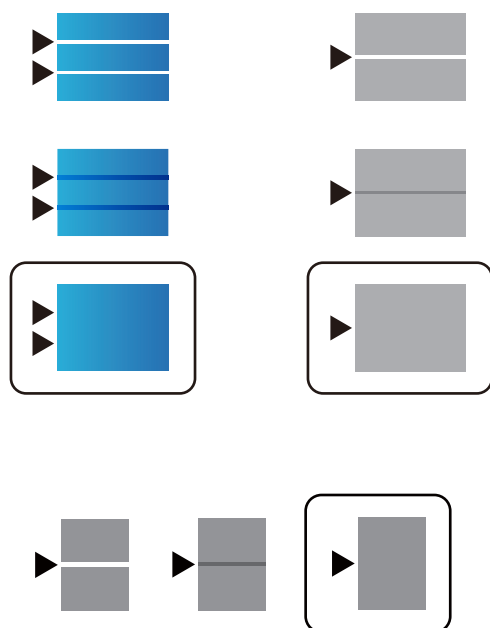
- 調整したい用紙をプリンターにセットします。
- プリンターのホーム画面で [設定] を選択します。
- [プリンターのお手入れ] - [用紙ごとの印刷トラブル解決] の順に選択します。
項目が表示されないときは、画面を上フリックしてください。

4. 【印刷して調整値を設定】または【調整値を直接入力】から設定方法を選択します。

5. プリンターにセットした用紙種類を選択します。

6. 画面の指示に従ってプリントヘッドの位置を調整します。

このパターン調整は、一定間隔で横縞模様のようなものが出るときに有効です。
隙間や重なりが最も目立たない状態のパターンの番号を入力します。



参考 画質を調整できる用紙種類で印刷する場合は、プリンタードライバーで【自動選択（普通紙）】を【用紙種類】に設定すると自動で調整値を適用できます。

7. 情報画面を閉じます。

この調整を行っても印刷品質が最適にならない場合は、【印刷トラブル解決】で基準となる調整値を設定後、再度用紙ごとの印刷トラブル解決を行っててください。

おまかせクリーニングをする

印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されるときは、ノズルが目詰まりしていることが考えられます。おまかせクリーニングは自動でプリントヘッドのノズルチェックとクリーニングを繰り返し、ノズルの目詰まりを解消します。

印刷品質に問題があるときや大量に印刷する前に、プリンターの操作パネルからを選択して、おまかせクリーニングを行うことをお勧めします。

！重要

- ・【おまかせクリーニング】中は、電源を切ったり、インクパックカバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ・おまかせクリーニングは、目詰まりが改善されるまでクリーニングを数回繰り返すため、時間がかかったり大量のインクを消費したりする場合があります。

参考

- ・ クリーニングはインクを消費するため、インク残量が少ないと実行できないことがあります。
- ・ 目詰まりの主な原因は乾燥です。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源は必ず  ボタンで切ってください。電源が入ったまま、直接電源コードを抜かないでください。

プリントヘッドのノズルチェックとクリーニングをする

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。また、目詰まりがひどいときには白紙で印刷されることもあります。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック機能を使用してノズルの目詰まりを確認してください。ノズルが目詰まりしているときはクリーニングをしてください。

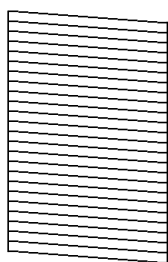
！重要

- ・ プリントヘッドのクリーニング中は、電源を切ったり、インクパックカバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ・ クリーニングはインクを消費するため、インク残量が少ないと実行できないことがあります。
- ・ ノズルチェックとクリーニングを交互に4回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で6時間以上放置した後、1回ノズルチェックとクリーニングを実行してください。  ボタンで電源を切って放置することをお勧めします。それでも改善されないときは、強力クリーニングを実行してください。
- ・ プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源が入ったまま電源プラグを抜かないでください。

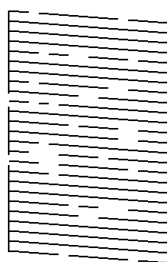
プリンターの操作パネルからプリントヘッドのノズルチェックとクリーニングを実行できます。

1. プリンターの操作パネルで **〔設定〕** を選択します。
2. **〔プリンターのお手入れ〕** - **〔プリントヘッドのノズルチェック〕** の順に選択します。
3. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
4. 印刷したパターンを見て、ノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。

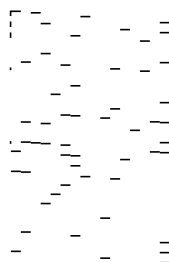
A) なし



**B) あり
(ヘッドクリーニング必要)**



**C) あり
(強力クリーニング必要)**



- ・ 「A) なし」と同じ：

全ての線が印刷されているので、目詰まりしていません。  を選択してください。以降の手順は必要ありません。

- ・ 「B) あり（ヘッドクリーニング必要）」に近い：

いくつかのノズルが目詰まりしています。  を選択して、次の画面で **〔プリントヘッドのクリーニング〕** を選択してください。

- 「C」あり（強力クリーニング必要）」以下：
ほとんどの線が欠ける、または大部分が印刷されていない場合は、ほとんどのノズルが目詰まりしています。
強力クリーニングをしてください。
[「強力クリーニングをする」353ページ](#)

5. プリントヘッドのクリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとクリーニングを繰り返します。

強力クリーニングをする

強力クリーニングを実行すると、以下の場合の品質が改善することがあります。

- ほとんどのノズルが目詰まりしている
- 4回クリーニングした後、印刷しない状態で6時間以上放置しても目詰まりが解消されない

参考 実行すると、メンテナンスボックスの空き容量が通常より早く限界に達します。メンテナンスボックスの空き容量が限界に達したら、メンテナンスボックスを交換してください。

強力クリーニングをする（操作パネル）

作業の前に、強力クリーニングの注意事項をお読みください。

1.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2.  ボタンと  ボタンを押したまま  ボタンを押し、電源ランプが点滅して確認画面が表示されたら手を離します。
3. 画面の指示に従って強力クリーニングを実行します。

参考 実行できなかったときは、画面のメッセージを確認して問題を解決してください。その後、手順1からやり直してください。

4. 強力クリーニングが終わったらノズルチェックをして、ノズルの目詰まりが改善されたか確認します。
ノズルチェックの仕方の詳細は、下の関連情報をご覧ください。

！重要 強力クリーニングを実行しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で6時間以上放置した後、再度ノズルチェックパターンを印刷します。印刷されたパターンの状態に応じて再度プリントヘッドのクリーニングまたは強力クリーニングを実行してください。それでも改善されないときは、保守サービス実施店にご連絡ください。

ノズルの目詰まりを防ぐ

プリンターの電源を切るときは、必ず電源ボタンを使用します。

電源コードを抜くときは、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。

インクは乾燥します。油性ペンなどのペン先にキャップをして乾燥を防ぐように、プリンターにもプリントヘッドにキャップをしてインクの乾燥を防ぐ機能があります。

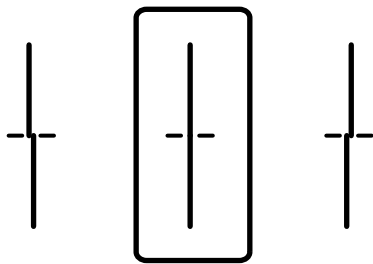
しかし、プリンターの動作中に電源プラグをコンセントから抜いたときや停電になったときは、プリントヘッドが正しくキャップされません。このまま放置すると、プリントヘッドが乾燥してノズル（インクの吐出口）が詰まる原因になります。

このような状況になった場合は、できるだけ速やかに電源を入れてからボタンで切り直してください。これにより、プリントヘッドが正しくキャップされます。

罫線のズレを調整する

縦線がガタついて見えるようなときは罫線のズレを調整してください。

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で「設定」を選択します。
3. 「プリンターのお手入れ」 - 「縦罫線ずれの改善」の順に選択します。
4. 画面の指示に従って調整パターンを印刷します。
5. 画面の指示に従って罫線のズレを調整します。上下の線にズレがなく、直線に見えるパターンの番号を入力します。



用紙経路の汚れを拭き取る

印刷物に汚れやこすれがあるときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

！重要 プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. A4サイズの普通紙をクリーニングしたい給紙装置にセットします。
2. ホーム画面で「設定」を選択します。
3. 「プリンターのお手入れ」 - 「内部ローラークリーニング」の順に選択します。

4. 給紙装置を選択して、画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

参考 印刷物に汚れがなくなるまでこの作業を繰り返してください。それでも解決できないときは、他の給紙装置をクリーニングしてみてください。

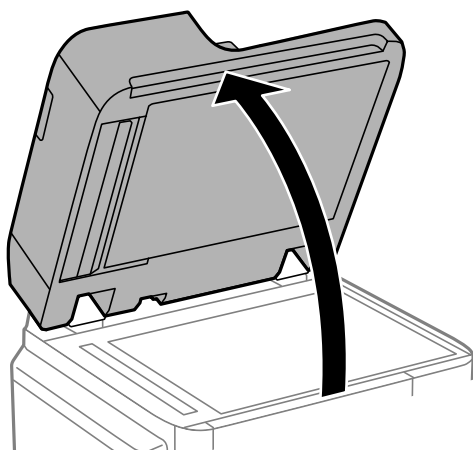
原稿台の汚れを拭き取る

印刷物に汚れがあるときや、スキャンしたデータにムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

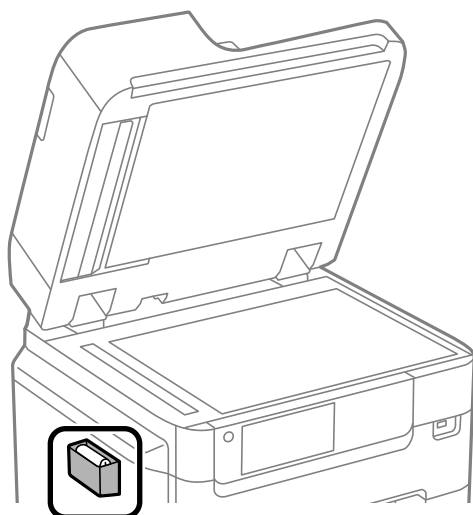
⚠ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

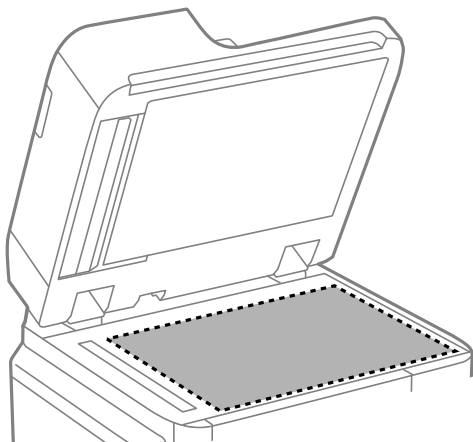
1. 原稿カバーを開けます。



2. クリーニングクロス入れからクリーニングクロスを取り出します。



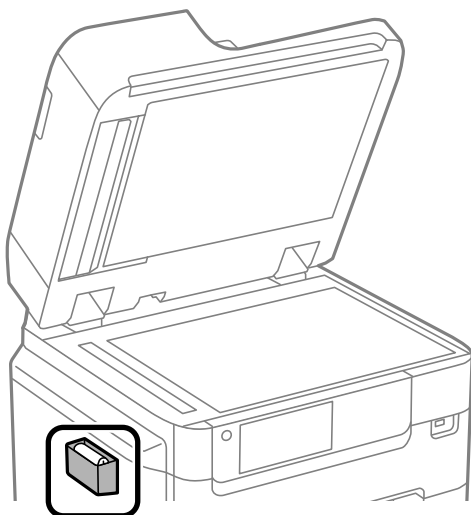
3. 原稿台のガラス面を、クリーニングクロスでから拭きします。



！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

4. クリーニングクロスをクリーニングクロス入れに戻します。



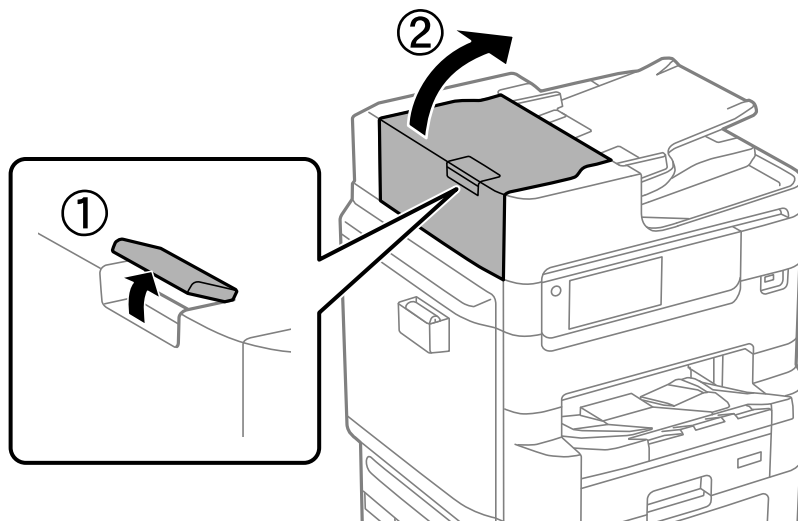
5. 原稿カバーを閉めます。

ADFをクリーニングする

ADFからコピーやスキャンなどをすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりするときは、ADFをクリーニングしてください。

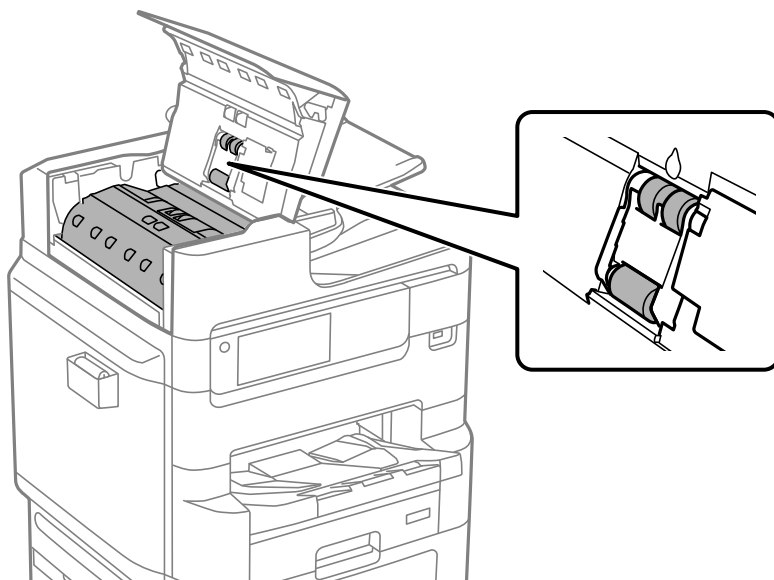
！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。



2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞って、ローラー部など内部に付着している紙粉やゴミ、ホコリなどを拭きます。

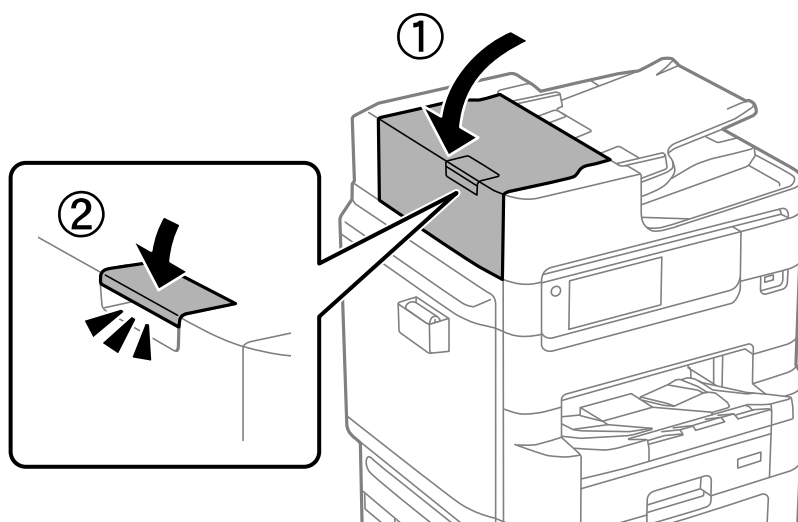
ローラーを回しながら拭いてください。



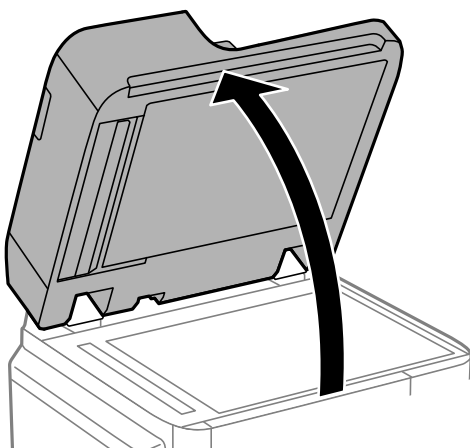
- ！重要**
- 乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。
 - ローラーが乾いてからお使いください。

3. ADFカバーを閉めます。

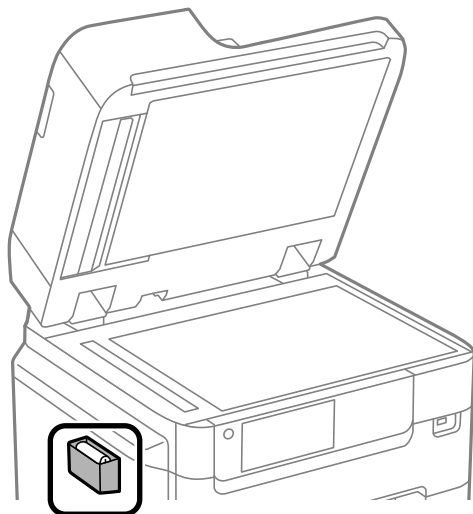
カチッと音がするまでレバーを押します。



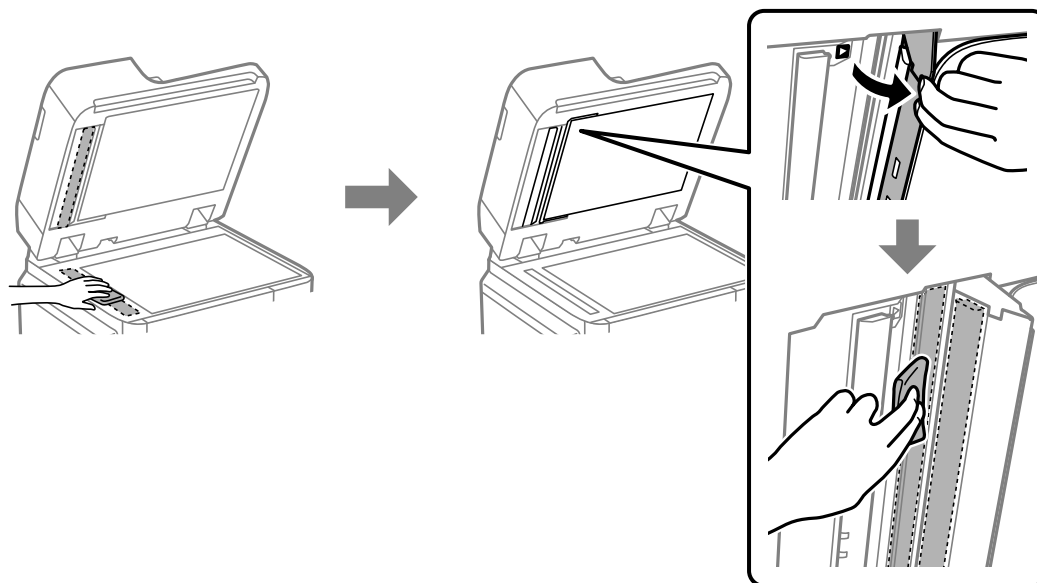
4. 原稿カバーを開けます。



5. クリーニングクロス入れからクリーニングクロスを取り出します。



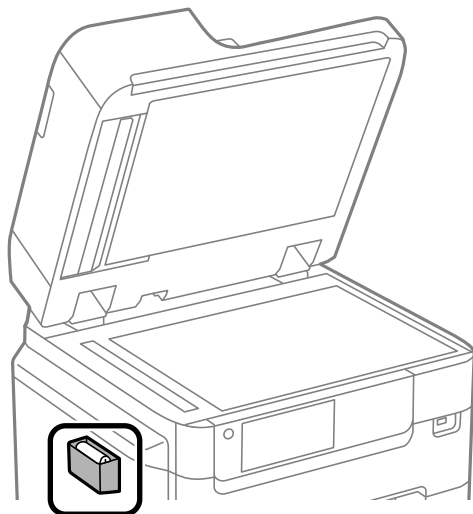
6. イラストで示した部分をクリーニングクロスでから拭きします。



！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

7. クリーニングクロスをクリーニングクロス入れに戻します。



8. 原稿カバーを閉めます。

こんなときは

コンピューターを買い替えたときは	362
ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする	362
コンピューターとの接続設定をする	368
プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断）	368
デバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）	369
無線LAN（Wi-Fi）からUSBへ接続変更する	373
利用者制限されたプリンターの使い方	374
プリンターの持ち運びや輸送	376
マニュアルステープルの使い方	381

コンピューターを買い替えたときは

以下の操作は、ユーザーによる操作が許可されている場合のみ行ってください。

新しいコンピューターにプリンタードライバーなどのソフトウェアのインストールが必要です。

以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ]に進み、作業を開始します。この後は、画面の指示に従って操作してください。

<https://epson.sn>

ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする

ネットワークに接続されているコンピューターでWeb上の最新版をインストールします。管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアを個別にインストールする

- 参考**
- 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてください。
 - 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
www.epson.jp/support/
 - Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. EPSON Software Updaterを起動します。

画面はWindowsでの一例です。



3. Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。
4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」 477ページ](#)
- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」 366ページ](#)

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Windows)

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

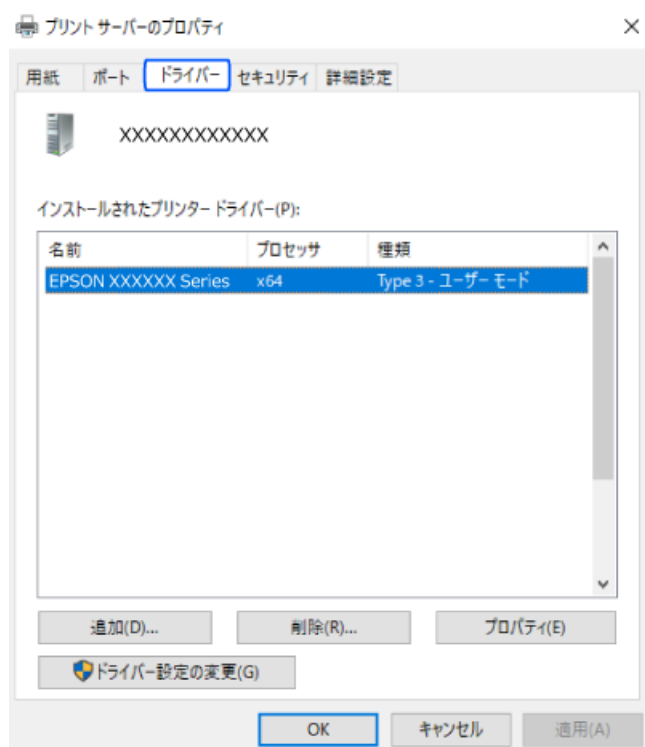
- Windows 11
スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetoothとデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択して、[関連設定] の [プリントサーバープロパティ] をクリックします。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）の順に選択し、プリンターアイコンをクリックして、画面上部の[プリントサーバープロパティ]をクリックします。



- Windows Server 2008
[プリンタ] フォルダー上で右クリックして、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。

[ドライバー] タブをクリックします。お使いのプリンター名が一覧に表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



関連情報

➡ [「ソフトウェアを個別にインストールする」 362ページ](#)

エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する (Mac OS)

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。
アップルメニューの [システム環境設定] (または [システム設定]) - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] をクリックして [オプション] タブと [ユーティリティ] タブが表示され、[ユーティリティ] タブをクリックすると [プリンタユーティリティを開く] ボタンが表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



関連情報

➡ [「ソフトウェアを個別にインストールする」 362ページ](#)

PostScriptプリンタードライバーをインストールする

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Windows

1. 以下のいずれかの方法でインストールを開始します。

- **ウェブサイトからダウンロードする**
以下からお使いの機種のパージにアクセスし、PostScriptプリンタードライバー (またはクライアントPPDファイル) をダウンロードして、実行ファイルを起動してください。
www.epson.jp/support/
- **ソフトウェアディスクを使用する (プリンターにソフトウェアディスクが同梱されていて、ソフトウェアディスクを使用できる場合)**
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、以下のフォルダーパスにアクセスして、SETUP64.EXE (またはSETUP.EXE) を起動します。
Driver\PostScript\WINX64 (または WINX86) \SETUP\SETUP64.EXE (または SETUP.EXE)

2. お使いの機種を選択します。

3. 画面の指示に従って操作します。
4. 接続方法を、ネットワーク接続またはUSB接続から選択します。
 - **ネットワーク接続の場合**
同じネットワークに接続されているプリンターが表示されます。
使いたいプリンターを選択してください。
 - **USB接続の場合**
画面の指示に従ってプリンターとコンピューターを接続してください。
5. 以降は画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Mac OS

以下のウェブサイトからプリンタードライバーをダウンロードして、インストールします。

www.epson.jp/support/

インストール時にプリンターのIPアドレスが必要です。

ホーム画面でネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

エプソン純正プリンターを追加する（Mac OSのみ）

1. アップルメニューの［システム環境設定］（または［システム設定］）-［プリンタとスキャナ］（または［プリントとスキャン］、［プリントとファクス］）の順に選択します。
2. ［+］（または［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加］）をクリックして、表示された画面でお使いのプリンターを選択します。
3. 以下の設定をします。
 - macOS Monterey (12.x)以降
［ドライバ］から［ソフトウェアを選択］をクリックし、表示された画面でお使いのプリンターを選択して［OK］をクリックします。
 - Mac OS X Mavericks (10.9)～macOS Big Sur (11.x)
［ドライバ］からお使いのプリンターを選択します。
4. ［追加］をクリックします。



- プリンター名がリストに表示されないときは、コンピューターとプリンターの接続状態が正しいか、プリンターの電源が入っているかを確認してください。
- USB接続やIP接続、Bonjour接続では、プリンタードライバーの追加後に増設カセットユニットの設定を手動で行ってください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログインしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
3. [コントロールパネル] を表示します。
 - Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Windowsツール] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
4. [プログラムのアンインストール]（または[プログラムの追加と削除]）を表示します。
[プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
5. 削除するソフトウェアを選択します
印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。
6. ソフトウェアをアンインストールします。
[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
 [ユーザーアカウント制御画面] が表示されたら、[続行] をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。
2. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、アップルメニューの[システム環境設定]（または[システム設定]） - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。
4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。

6. 削除するソフトウェアをチェックして、[アンインストール] をクリックします。

！重要 Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製インクジェットプリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製インクジェットプリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

関連情報

➡ [「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」477ページ](#)

コンピューターとの接続設定をする

プリンターの接続方法について管理者から指示がある場合は従ってください。

以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ] に進み、作業を開始します。

<https://epson.sn>

ネットワーク上の共有プリンターを設定するには、ネットワーク上で見つかったプリンターを選択して、設定を開始してください。

プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断）

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. プリンターのホーム画面で  をタップします。

2. [接続方法の説明] - [ネットワークにつながらないときは] - [接続診断] の順に選択します。
診断が始まります。

3. 画面の指示に従って、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
エラーがある場合は管理者に問い合わせてください。

関連情報

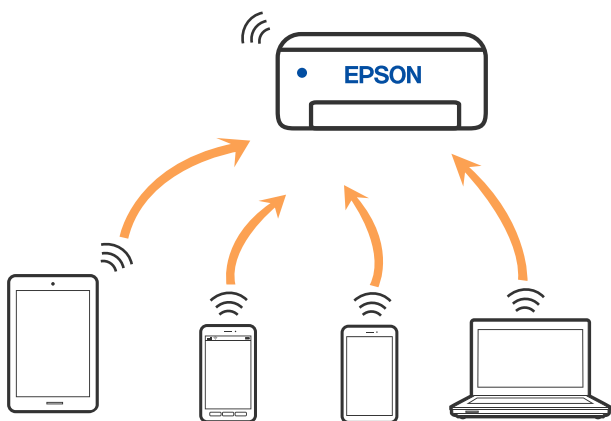
➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」54ページ](#)

デバイスとプリンターを直接接続する方法（Wi-Fi Direct）

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を使うと、無線LANルーターを使わずにデバイスとプリンターを直接接続して印刷できます。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）とは

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない、無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はプリンターが無線LANルーター（アクセスポイント）として動作し、複数台の機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



プリンターは無線LAN（Wi-Fi）または有線LANと、Wi-Fi Direct（シンプルAP）の同時接続ができます。ただし、無線LAN（Wi-Fi）で接続中にWi-Fi Direct（シンプルAP）設定を開始すると、無線LAN（Wi-Fi）接続は一時切断されます。

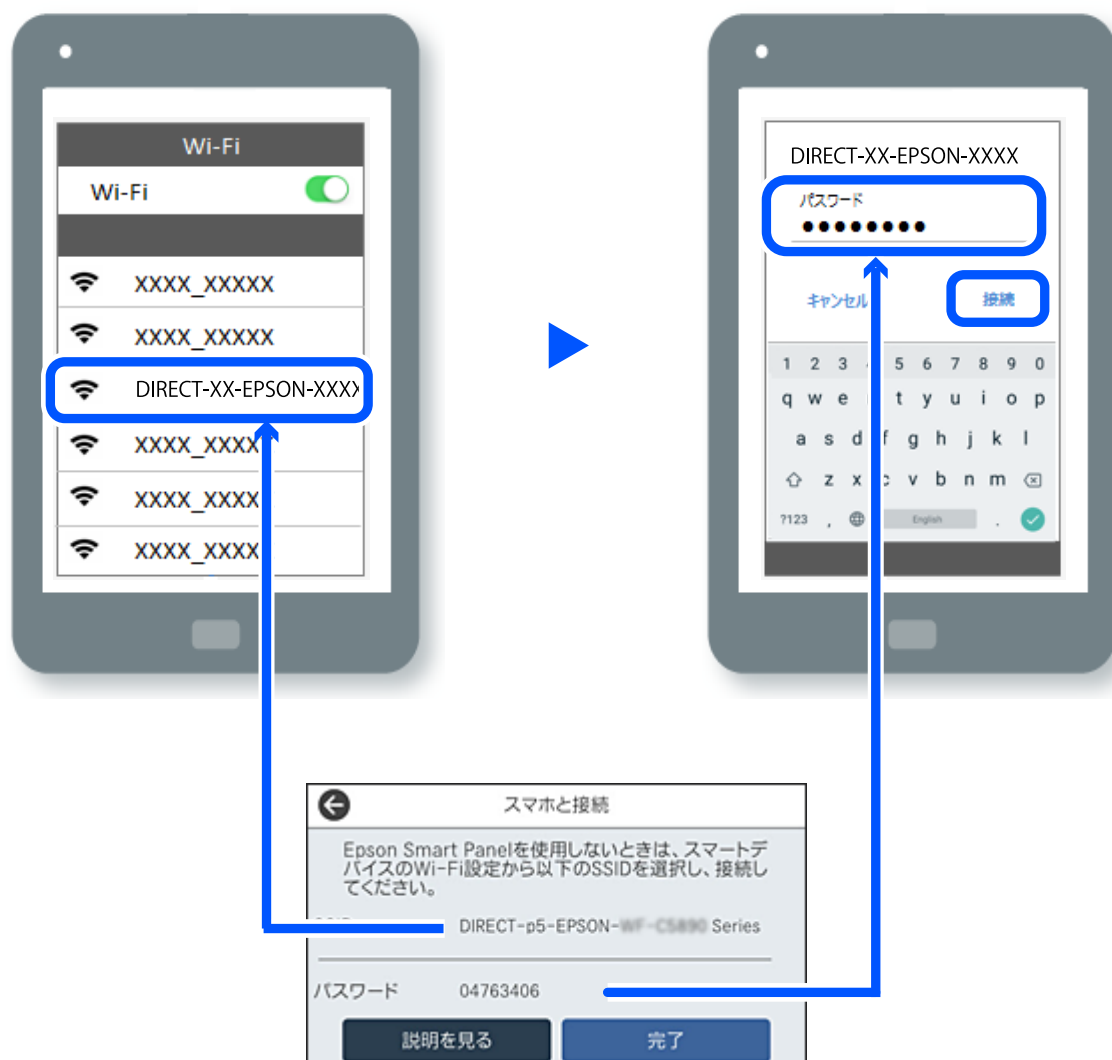
デバイスをWi-Fi Direct接続する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと機器を接続する方法です。

参考 iOS、Andoridをお使いの方はEpson Smart Panelから設定すると便利です。
以下の作業はプリンターと接続したいデバイスで、1回だけ設定してください。Wi-Fi Directを無効にしたり、ネットワーク設定を初期の状態に戻したりしない限り、設定をし直す必要はありません。

1. プリンターのホーム画面で  をタップします。
2. [Wi-Fi Direct] をタップします。
3. [設定に進む] をタップします。
4. [別の方法でつなぐ] を選択します。

5. 「[その他スマートデバイスとつなぐ]」を選択します。
6. 機器のWi-Fi接続画面を表示し、プリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択して、パスワードを入力します。



7. 印刷用アプリの画面で、接続するプリンターを選択します。
 8. プリンターの画面で「完了」を選択します。
- 一度接続設定をしたスマートデバイスから再度プリンターに接続する場合は、スマートデバイスのWi-Fi接続画面からプリンターの接続名を選択して接続してください。

参考 iPhone、iPad、iPod touchをお使いの方は、iOSの標準カメラでQRコードを読み取って接続することもできます。詳しい手順は、<https://epson.sn>でご確認ください。

コンピューターをWi-Fi Direct接続する

プリンターとコンピューターがWi-Fi Directで接続されている間は、コンピューターからインターネットにアクセスできません。プリンターに継続的に接続する必要がある場合は、Wi-Fi接続を使用することをお勧めします。

1. エプソンのウェブサイトアクセスし、使用するプリンターのプリンタードライバーを接続するコンピューターにダウンロードします。

<https://www.epson.jp>

2.  を選択して [Wi-Fi Direct] を選択します。

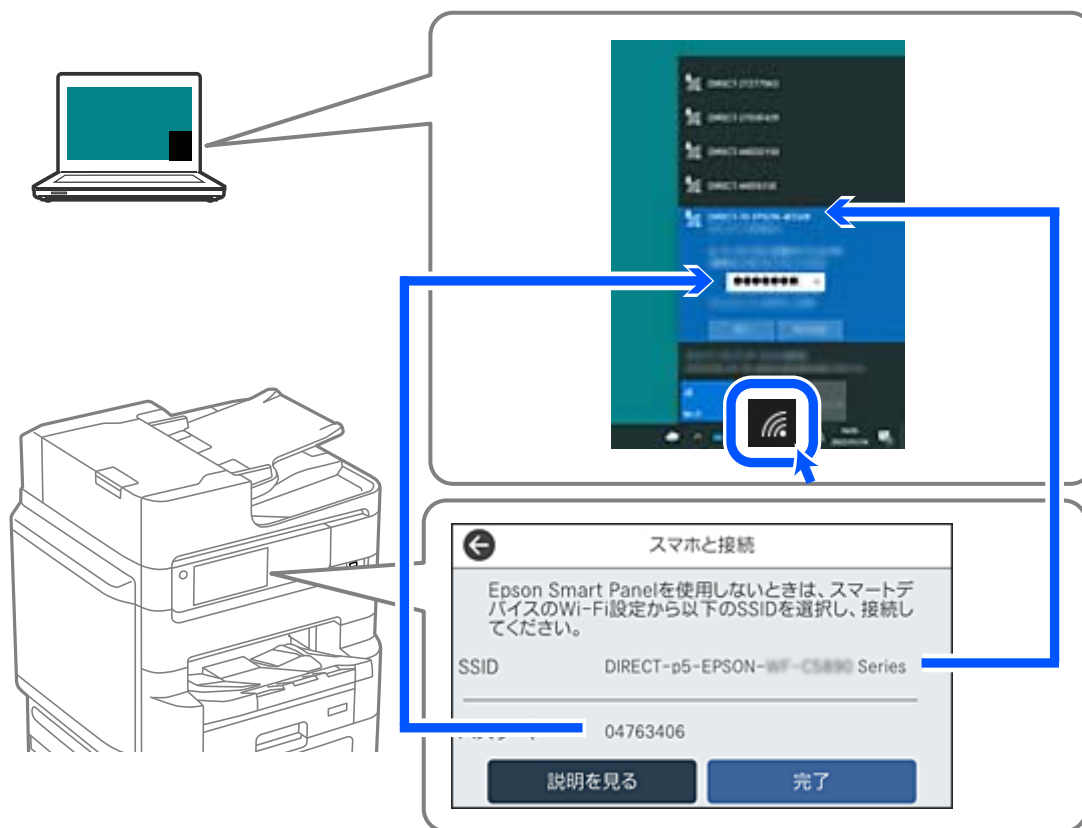
3. [設定に進む] を選択します。

4. [別の方法でつなぐ] を選択します。

5. [その他スマートデバイスとつなぐ] を選択します。

プリンターの画面にはWi-Fi Directの [接続名(SSID)] と [パスワード] が表示されます。

6. コンピューターのネットワーク接続画面を表示し、プリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択して、パスワードを入力します。



7. ダウンロードしたプリンタードライバーをダブルクリックしてインストールします。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

8. プリンターの画面で [完了] を選択します。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を切断する

参考 Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。

1. プリンターのホーム画面で  を選択します。

2. [Wi-Fi Direct] を選択します。

Wi-Fi Directの情報が表示されます。

3. [設定に進む] をタップします。

4.  をタップします。

5. [Wi-Fi Directを無効にする] を選択します。

6. [設定を無効にする] をタップします。

7. この後は、画面の指示に従って操作してください。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）のSSIDなどを変更する

Wi-Fi Direct（シンプルAP）が有効なとき、  - [Wi-Fi Direct] - [設定に進む] -  を選択すると、以下のメニューが表示され設定を変更できます。

接続名を変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の接続名（SSID）を任意の値に変更します。接続名（SSID）に設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。22文字以内で入力してください。

接続名（SSID）を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。接続名を変更した場合は、接続する機器から新しい接続名（SSID）で接続し直してください。

パスワードを変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）のパスワードを変更します。パスワードに設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。8～22文字以内で入力してください。

パスワードを変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。パスワードを変更した場合は、接続する機器から新しいパスワードで接続し直してください。

周波数帯を変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct（シンプルAP）の周波数帯を変更します。2.4GHzまたは5GHzに設定できます。

周波数帯を変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。再度接続してください。

周波数帯を5GHzに設定した場合、5GHz非対応のデバイスからは再接続できなくなります。

Wi-Fi Directを無効にする

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にします。無効にすると接続しているデバイスは全て切断されます。

初期設定に戻す

Wi-Fi Direct（シンプルAP）設定の全てを購入時の設定に戻します。

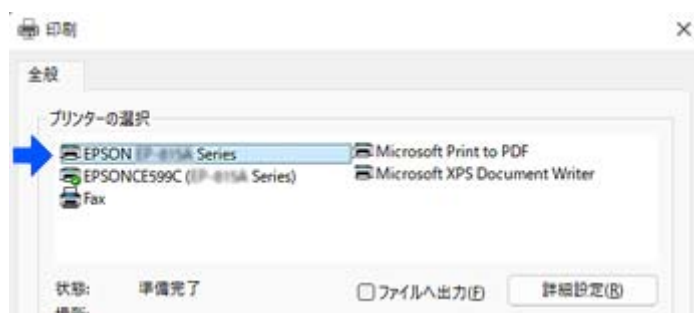
また、プリンターが保持しているWi-Fi Direct接続のスマートデバイスの情報を削除します。

無線LAN（Wi-Fi）からUSBへ接続変更する

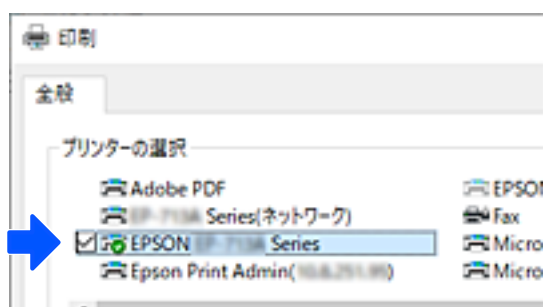
使用しているWi-Fiが不安定な場合や、より安定したUSB接続に変更したいときは以下のように操作します。

1. プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続します。
2. USB接続で印刷する場合は、（XXXXX）と表示されていないプリンターを選択してください。
XXXXXに表示されるプリンター名あるいは“ネットワーク”は、オペレーティングシステムのバージョンによって異なります。

Windows 11の例



Windows 10の例



USBケーブルでコンピューターに接続しているときにプリンターが認識されない場合は、管理者が外部インターフェースの接続を制限している可能性があります。その場合は、管理者に確認してください。

関連情報

- ➡ [「背面」 26ページ](#)
- ➡ [「USB接続や外部メモリーの接続を制限する」 577ページ](#)

利用者制限されたプリンターの使い方

プリンターの操作パネルにが表示されている場合、管理者によって利用者が制限されています。この場合、ユーザーはプリンター設定を変更できず、プリンターの一部の機能しか利用できません。利用時にプリンターへのログオンが必要になります。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

操作パネルからプリンターにログオンする

以下の説明は、パネルロックと利用者制限が有効なプリンターに、登録された利用者がログオンする場合の手順を例に説明しています。表示内容は機種や状況によって異なります。

1. プリンターの操作パネルでを選択します。



2. プリンターにログオンするユーザーを選択します。



3. プリンターにログオンするためのパスワードを入力します。

ユーザーのログオン情報はプリンター管理者にお問い合わせください。管理者パスワードはあらかじめ設定されています。詳しくは、関連情報をご覧ください。

登録ユーザーは、許可されている機能が使用できます。管理者でログオンすると、操作パネルからの設定ができます。

操作が終了したら、を選択してログオフします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

コンピューターからプリンターにログオンする

以下の説明は、管理者ロックと利用者制限の機能が有効なプリンターで、管理者が「登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する」を選択している場合について説明しています。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. ログオンをクリックします。
3. ユーザーのタイプを選択し、ユーザー名とパスワードを入力して、確認をクリックします。



付与された権限に応じてページにアクセスできます。
操作の実行が終了したら、ログオフを選択します。

プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する (Windows)

プリンターの利用者制限を有効にした場合、認証情報を登録できるドライバーにユーザーアカウント情報を登録すると、登録ユーザーがコンピューターからプリンターを利用できるようになります。
ここでは、エプソンのプリンタードライバーに認証情報を登録する手順を説明します。

1. エプソンのWindows用プリンタードライバーの画面を開きます。
2. 以下の順に選択します。
[ユーティリティ] タブ - [プリンター情報]
3. 「情報の登録」を選択して、「設定」をクリックします。
4. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。
管理者から提供されたユーザーアカウントを入力します。
5. 「OK」を数回クリックして、プリンタードライバー画面を閉じます。

関連情報

- ➡ [「コンピューターから印刷するためのソフトウェア \(Windowsプリンタードライバー\)」 468ページ](#)
- ➡ [「ユーザーアカウントを作成する」 574ページ](#)

利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する

利用者制限されているプリンターでは、Epson Scan 2でのスキャン時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

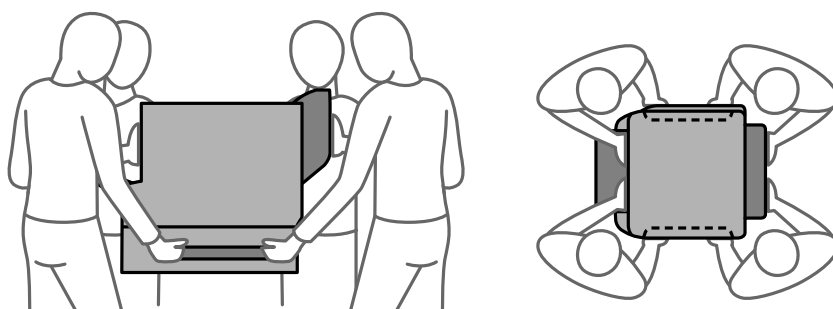
1. Epson Scan 2を起動します。
2. Epson Scan 2で、[スキャナー] に選択されているプリンターが正しいことを確認してください。
3. [スキャナー] で [設定] を選択し、[スキャナーの設定] 画面を開きます。
4. [利用者制限] をクリックします。
5. [利用者制限] 画面で、スキャンの権限を持つ [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
6. [OK] をクリックします。

関連情報

➡ [「ユーザーアカウントを作成する」574ページ](#)

プリンターの持ち運びや輸送

- ⚠ 注意**
- プリンターを持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
 - 本製品は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は4人以上で運んでください。
 - プリンターを持ち上げる際は、下図で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



- プリンターを移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

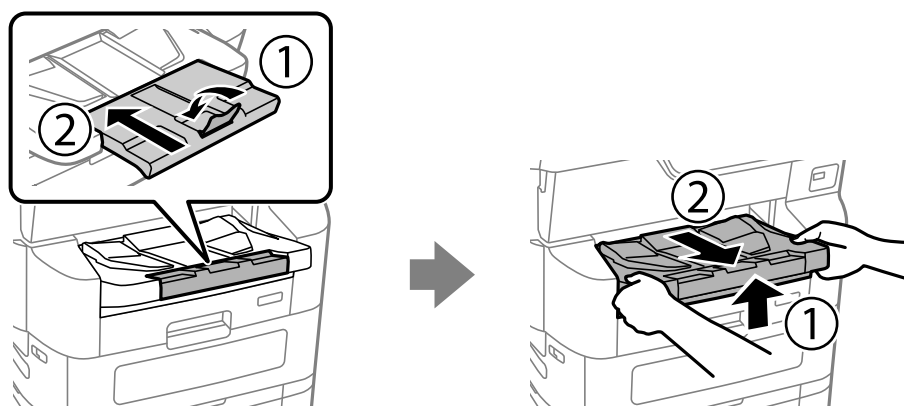
プリンターを移動する

⚠ 注意 不安定で危険なため、ADFの上に排紙トレイを置かないでください。移動の途中でプリンターが傾き排紙トレイが落下した場合、けがをするおそれがあります。

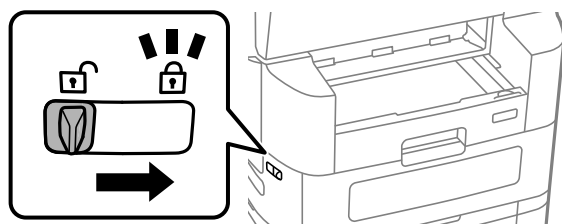
1. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 電源ランプの消灯を確認して、電源プラグをコンセントから抜きます。

！重要 電源プラグは電源ランプの消灯時に抜いてください。点灯時に抜くと、プリントヘッドがホームポジション（待機位置）に戻らず、乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

3. 電源コードやUSBケーブルなどのケーブル類を取り外します。
4. USB接続機器がセットされていないことを確認します。
5. セットされている全ての印刷用紙を取り除きます。
6. 原稿がないことを確認します。
7. 排紙トレイを取り外します。



8. 用紙サポートを収納します。
9. インクパックカバーが開かないようにカバーロックをロックします。



プリンターを移動できます。

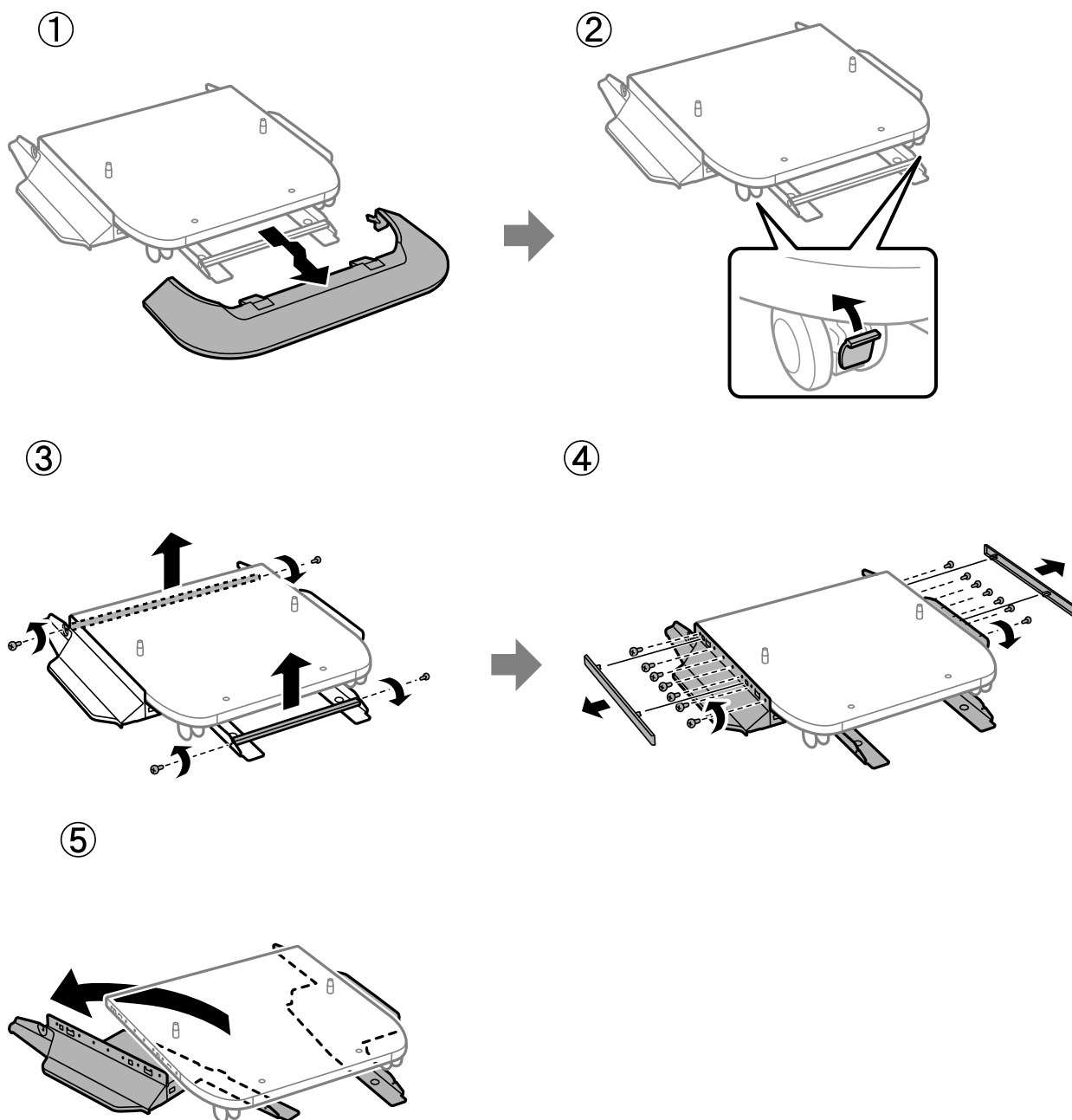
オプションを取り付けている場合は以下の関連情報をご確認ください。

関連情報

- ➡ 「プリンター台付きのプリンターの移動」 378ページ
- ➡ 「キャビネット付きのプリンターの移動」 379ページ
- ➡ 「増設カセットユニット付きのプリンターの移動」 380ページ

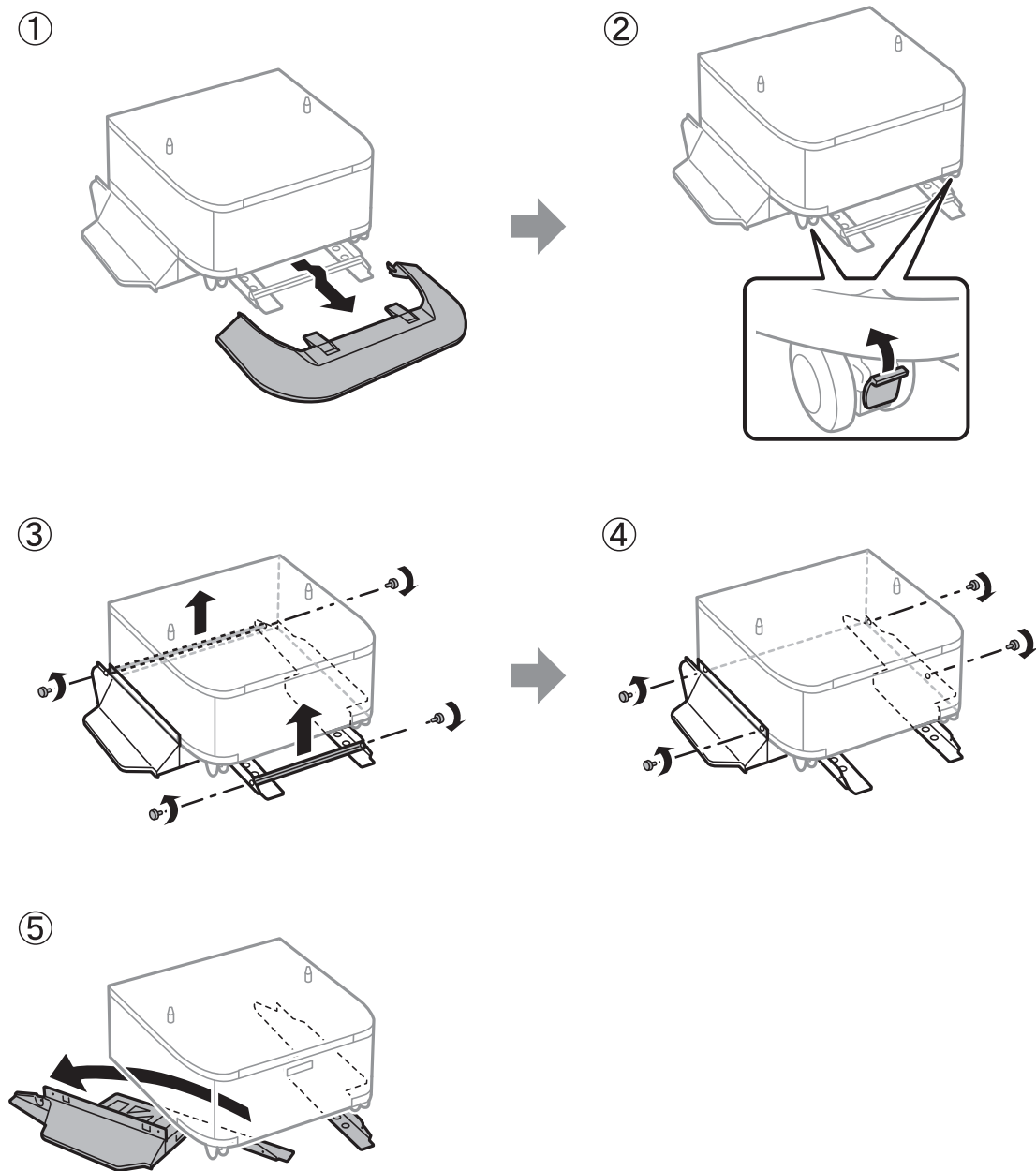
プリンター台付きのプリンターの移動

プリンターを移動させる前に、転倒防止脚を取り外します。プリンターを移動する手順を参照し、続いて以下の手順に従ってください。



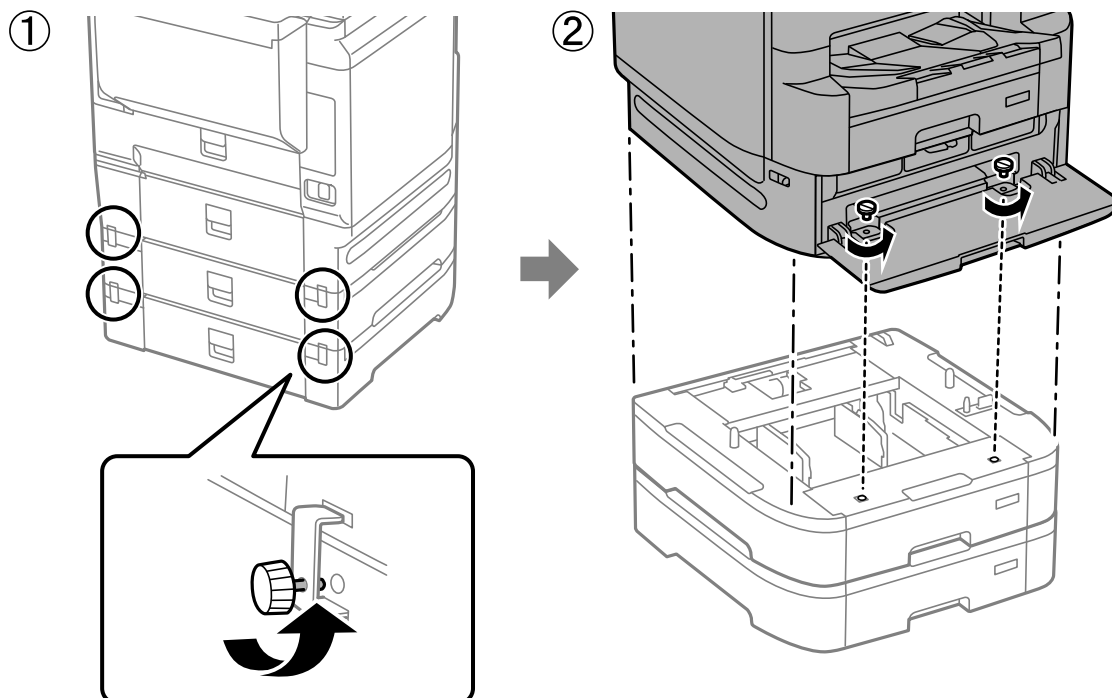
キャビネット付きのプリンターの移動

まず、プリンターを移動させるための手順を参考にしてキャビネットの転倒防止脚を取り外します。続いて以下の手順に従ってプリンターを移動してください。



増設カセットユニット付きのプリンターの移動

プリンターを移動させる準備ができたらかセット2、3、4を引き抜き、以下の作業をしてから移動させてください。



プリンターを輸送する

プリンターを移動するの手順に従い、続いて保護材を取り付けて箱に入れます。

！重要

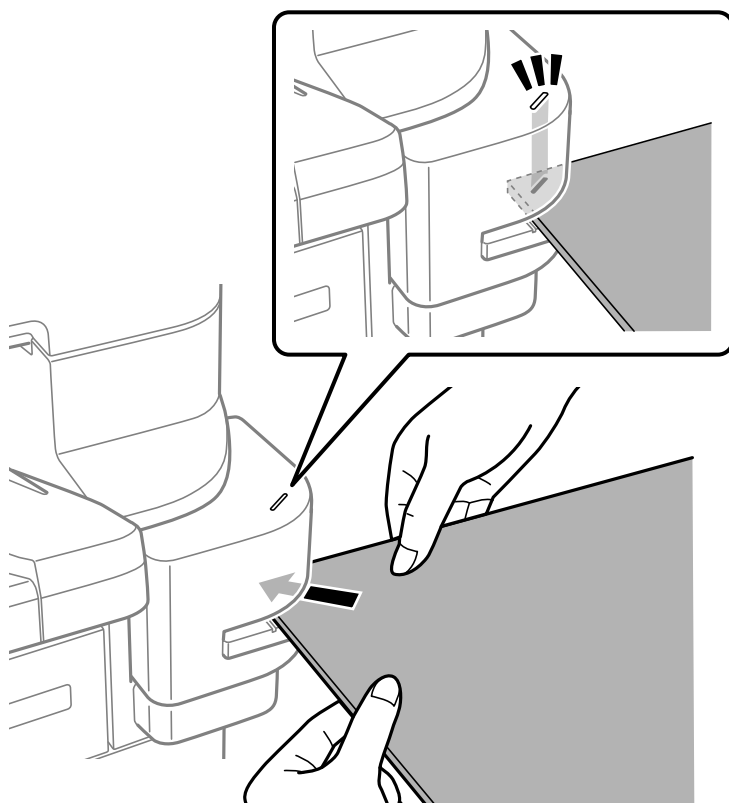
- 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクパックは取り外さないでください。取り外すと、プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- メンテナンスボックスは取り外さないでください。輸送時にインクが漏れるおそれがあります。

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングや位置の調整をしてください。

マニュアルステープルの使い方

1. ステープルしたい書類をマニュアルステープルに挿入します。

下の図の通り、刻印の下でステープルされます。



参考

- 一度に20枚（90g/m²、普通紙）ステープルできます。
- 角にステープルする際に紙を奥まで入れると、ステープルが印刷部分にかかり文字などが見えなくなることがあります。試し打ちをしてステープルされる位置を確認してください。
- フチなし画像が印刷された用紙の場合、センサーが感知できず、ステープルできません。約2mm以上のフチがある用紙をセットしてください。

！重要

- ステープル動作中はステープルカバーを開かないでください。不具合が起こりステープルができなくなります。そのような場合、電源を切り、ステープルカバーを閉じていることを確認して、電源を入れ直してください。
- 連続してステープルをするときは、内部の温度上昇を抑えるため、3秒以上間隔を空けて次の用紙をセットしてください。

困ったときは

トラブルの自己診断	383
印刷、コピー、スキャン、ファクスができない	385
きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない	403
プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された	424
用紙が詰まった	433
インクパックの交換が必要になった	435
メンテナンスボックスの交換が必要になった	436
給紙ローラーの交換が必要になった	438
ステープルカートリッジを交換する	447
思い通りに操作できない	448
どうしても解決できないときは	456

トラブルの自己診断

トラブルが発生したときは、以下を順番に確認して原因を特定してください。

プリンターのエラー状態を確認

プリンター本体に問題があるか確認をします。

チェックポイント	対処
プリンターにエラーが出ていませんか？	プリンターの画面にメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って対処してください。機能制限などでユーザーが対処できない場合は、管理者に問い合わせてください。
	用紙が詰まっている場合は、プリンターの画面で異常箇所を確認して、案内に従って取り除いてください。注意事項は、本書の該当する記載をご覧ください。
	消耗品交換に関するメッセージが表示されている場合は、画面の案内に従って交換してください。取り扱い上の注意事項は、本書の該当する記載をご覧ください。
ケーブル類や外観上の異常はありませんか？	カバー類がきちんと閉まっていない場合は、閉めてください。ケーブル類が外れかかっている場合は、しっかりと差し込んでください。
電源が切れていませんか？	電源が切れている場合は、  ボタンを押して電源を入れてください。

関連情報

- ➡ [「プリンター画面にメッセージが表示された」 424ページ](#)
- ➡ [「用紙が詰まった」 433ページ](#)
- ➡ [「インクパックの交換が必要になった」 435ページ](#)
- ➡ [「メンテナンスボックスの交換が必要になった」 436ページ](#)
- ➡ [「給紙ローラーの交換が必要になった」 438ページ](#)

プリンターの接続を確認

プリンターの接続に問題がないか確認してください。

チェックポイント	対処
プリンターは正常にネットワーク接続されていますか？	ネットワーク接続診断をしてネットワーク接続を確認します。 プリンターの画面で   - [接続方法の説明] - [ネットワークにつながらないときは] を選択します。ネットワーク接続診断レポートを印刷して、接続に問題があれば管理者に対処を依頼してください。

チェックポイント	対処
コンピューターにプリンタードライバーをインストールしましたか？	プリンタードライバーがインストールされているかは、コンピューターの〔設定〕 - 〔デバイス〕 - 〔プリンター〕 で確認できます。詳細な手順は関連情報をご覧ください。
コンピューターからプリンターの情報が表示されますか？	EPSONプリンターウィンドウ！3を使うと、コンピューターとプリンターの接続状態を確認できます。詳細な手順は関連情報をご覧ください。 プリンターの状態を確認できないときは正しいポートが選択されていないことがあります。ネットワーク上のプリンターと接続する場合は、〔EpsonNet Print Port〕を選択することをお勧めします。〔EpsonNetPrint Port〕がない場合は、プリンタードライバーを再インストールしてください。
コンピューターでUSB3.0デバイスを利用中に無線LAN（Wi-Fi）接続が途切れたり、接続できなかったりしますか？	コンピューターのUSB 3.0ポートに機器を接続して使用していると、無線周波数干渉が起ることがあります。以下をお試しください。 • USB 3.0ポートに接続している機器をコンピューターから離す。 • 使っていないUSB 3.0機器の電源を切る、または必要なときだけ接続する。 • プリンターを5GHzのSSIDに接続する。
お使いのコンピューターやスマートデバイスは、ネットワーク接続できますか？	お使いのコンピューターやスマートデバイス（データ通信をオフの状態）でウェブサイトを閲覧できるか確認してください。閲覧できない状態であればネットワークに問題があります。管理者に対処を依頼してください。

関連情報

- ➡ [「プリンターのネットワーク接続状態を調べたい（ネットワーク接続診断）」 368ページ](#)
- ➡ [「プリンターの状態に問題があります。」 386ページ](#)
- ➡ [「正しいポートが選択されていません。」 387ページ](#)
- ➡ [「USB接続できない」 390ページ](#)
- ➡ [「ソフトウェアを個別にインストールする」 362ページ](#)

プリンターの設定を確認

プリンターの設定を確認します。管理者によって管理されているプリンターは、本体設定を自由に変更されないように制限されている場合があります。ユーザーが操作できないときは、管理者に問い合わせてください。

チェックポイント	対処
印刷が始まらない	プリンターにデータが溜まっている場合があります。プリンターのキューを開いて印刷ジョブの状態を確認してください。エラーになって止まっている場合は、エラーを解除して再開するか、エラーのジョブを削除すると、残りのデータの印刷が始まります。 Windowsコンピューターのプリンターの設定で、通常使うプリンターがオフラインや一時停止になっている場合は、オンラインにしてください。 出力先のプリンターやポートを正しく選択してください。

チェックポイント	対処
使いたいメニューが表示されない	管理者によって利用者制限が設定されている場合があります。利用するために必要な情報を管理者に問い合わせてください。 ご利用になるには別契約が必要な機能があります。お使いのプリンターが利用可能な状態にあるか、管理者にご確認ください。
ファクスできない	設定に関する困りごとは、ファクス関連のトラブル対処方法をご覧ください。
コピーやスキャンができない	設定に関する困りごとは、コピーやスキャン関連のトラブル対処方法 をご覧ください。

関連情報

- ➡ 「印刷待ちのジョブが残っています。」 386ページ
- ➡ 「プリンターが一時停止やオフラインになっています。」 385ページ
- ➡ 「プリンターが使用するポート」 529ページ
- ➡ 「コピーできない」 391ページ
- ➡ 「接続できているのにスキャンできない」 390ページ
- ➡ 「ファクスの送信も受信もできない」 391ページ

印刷、コピー、スキャン、ファクスができない

アプリやプリンタードライバーが正常に動作しない

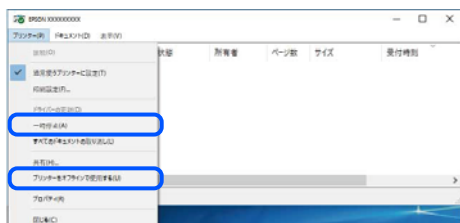
接続できているのに印刷できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

- プリンターが一時停止やオフラインになっています。

対処方法

プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブで「印刷待ち状態表示」をクリックします。
「プリンター」メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



■ ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー（EPSON XXXXX）がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピュータのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
- 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。
- ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。

- ➔ [「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」 363ページ](#)
- ➔ [「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」 365ページ](#)
- ➔ [「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」 362ページ](#)
- ➔ [「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」 477ページ](#)

■ プリンターの状態に問題があります。

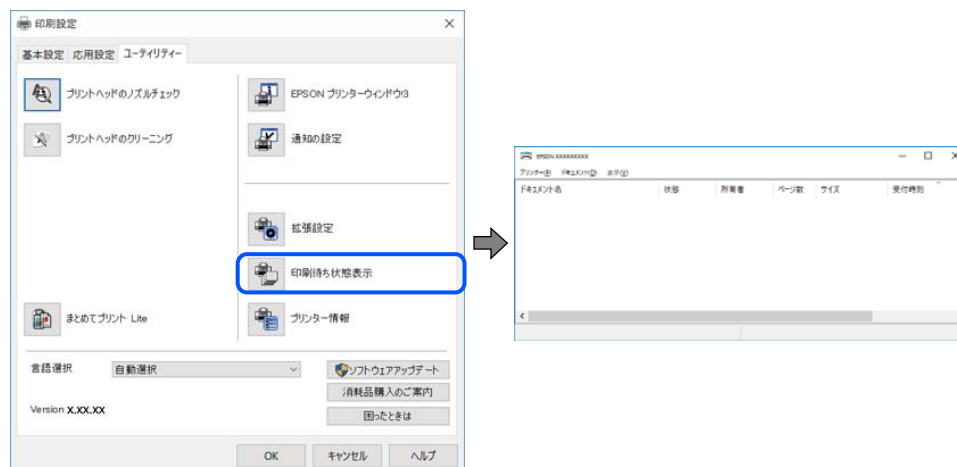
対処方法

プリンタードライバーで [ユーティリティ] タブの [EPSON プリンターウィンドウ!3] をクリックしてプリンターの状態を確認してください。この機能を有効にするには [EPSON プリンターウィンドウ!3] をインストールする必要があります。エプソンのウェブサイトからダウンロードできます。

■ 印刷待ちのジョブが残っています。

対処方法

プリンタードライバーの [ユーティリティ] タブで [印刷待ち状態表示] をクリックします。不要な印刷データが残っている場合は、[プリンター] メニューで [すべてのドキュメントの取り消し] を選択してください。



■ 通常使うプリンターに設定されていません。

対処方法

［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）でお使いになるプリンターアイコンを右クリックして［通常使うプリンターに設定］をクリックします。

参考 複数プリンターアイコンがある場合は、以下を参考にして選んでください。

例)

USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series

ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）

何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、［デバイスの削除］をクリックしてください。

■ 正しいポートが選択されていません。

対処方法

プリンタードライバーの［ユーティリティー］タブで［印刷待ち状態表示］をクリックします。

［プリンター］メニューの［プロパティ］ - ［ポート］で、以下の正しいポートを選択してください。

USB ケーブルで接続：［USBXXX］、ネットワーク接続：［EpsonNet Print Port］

ポートを変更できないときは、［プリンター］メニューの［管理者として実行］を選択してください。［管理者として実行］が表示されないときは、システム管理者に問い合わせてください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

■ 印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで［印刷言語］を［Auto］または［PS］に設定してください。

■ 大量のジョブを送信しました。

対処方法

Windowsの場合、大量のジョブを送信すると印刷できないことがあります。プリンターのプロパティの［詳細設定］タブで、［プリンターに直接印刷データを送る］を選択してください。

接続できているのに印刷できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

■ ソフトウェアやデータに問題があります。

対処方法

- エプソン純正プリンタードライバー（EPSON XXXXX）がインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。
 - データサイズが大きい画像を印刷しようとすると、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。
 - 全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。
 - ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。
- ➔ [「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Windows）」 363ページ](#)
- ➔ [「エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認する（Mac OS）」 365ページ](#)
- ➔ [「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」 362ページ](#)
- ➔ [「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア（Epson Software Updater）」 477ページ](#)

■ プリンターの状態に問題があります。

対処方法

プリンターのステータスが「一時停止」になっていないか確認してください。
アップルメニューの「システム環境設定」（または「システム設定」） - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。
「一時停止」になっているときは、「再開」をクリックしてください。

■ プリンターの利用者制限が有効になっています。

対処方法

利用者制限されたプリンターでは印刷できないことがあります。プリンターの管理者に問い合わせてください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない（Mac OS）

■ 印刷言語の設定変更が必要です。

対処方法

操作パネルで「印刷言語」を「Auto」または「PS」に設定してください。

接続できているのに印刷できない（iOS）

以下の原因が考えられます。

■ 設定画面自動表示が無効になっています。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで「設定画面自動表示」を有効にしてください。
「設定」 - 「本体設定」 - 「プリンター設定」 - 「給紙装置設定」 - 「設定画面自動表示」

■ AirPrintの設定が無効になっています。

対処方法

Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

➔ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」](#) 475ページ

Document Capture Pro/Document Captureでスキャンできない

以下の原因が考えられます。

■ 必要なソフトウェアがコンピューターにインストールされていません。

対処方法

お使いのコンピューターに、以下のソフトウェアが2つともインストールされている必要があります。

- Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS)
- Epson Scan 2

インストールされているソフトウェアを確認するためには、以下を参照してください。

- Windows 11：スタートボタンをクリックし、[すべてのアプリ] - [Epson Software] フォルダーに [Document Capture Pro] があること、および [EPSON] フォルダーに [Epson Scan 2] があることを確認します。
- Windows 10：スタートボタンをクリックし、[Epson Software] フォルダーに [Document Capture Pro] があること、および [EPSON] フォルダーに [Epson Scan 2] があることを確認します。
- Windows 8.1/Windows 8：検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを確認します。
- Windows 7：スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[Epson Software] フォルダーに [Document Capture Pro] があること、および [EPSON] フォルダーに [Epson Scan 2] があることを確認します。
- Mac OS：[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択します。

ソフトウェアがインストールされていないときは、インストールしてください。

■ ネットワーク機器に何らかの問題があります。

対処方法

コンピューターとプリンターがネットワークで通信できていない可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。

■ ソフトウェアに何らかの問題があります。

対処方法

以下のソフトウェアをアンインストールして、もう一度インストールしてください。

- Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS)
- Epson Scan 2

■ 全ての対処方法を試しても解決しないとき

対処方法

全ての対処方法を試してもうまくいかない場合は、ファイアウォールなどの影響が考えられます。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。

<https://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「ファイアウォール」などのキーワード入力で検索できます。

接続できているのにスキャンできない

■ ネットワーク接続で、高解像度のスキャンをしようとしています。

対処方法

解像度を下げてスキャンしてください。

USB接続できない

以下の原因が考えられます。

■ USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

■ USBハブに問題があります。

対処方法

USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。

■ USBケーブルが差し込み口に問題があります。

対処方法

USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

■ プリンターをSuperSpeed USBポートに接続しています。

対処方法

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。その場合は次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB 3.0ケーブルを使用する（対応機種のみ）
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生する以外のSuperSpeed USBポートに接続する

➡ [「インターフェイスの仕様」531ページ](#)

コピーできない

- 利用者制限された機能を利用するには、登録されたユーザーでログインする必要があります。

対処方法

パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

- プリンターエラーが発生しています。

対処方法

紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生しているとコピーできません。プリンターの操作パネルを確認し、メッセージに従いエラーを取り除いてください。

ファクスの送信も受信もできない

ファクスの送信も受信もできない

ファクスの送信も受信もできない場合は、プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「ファクスの送信も受信もできない」139ページ](#)

ファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

- 構内交換機が設置された環境で、外線発信番号を付けずに発信しています。

対処方法

外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#を付けて送信してみてください。

- 送信先のファクス番号が間違っています。

対処方法

アドレス帳に登録したファクス番号や、直接入力したファクス番号が正しいか確認してください。または、ファクス番号が正しいか、送信先に確認してください。

- ご契約の回線でファクス送信時に必要な番号「0009」を付けないまま発信しています。

対処方法

ご契約の回線によっては、ファクス番号の前に「0009」が必要です。詳しくはご契約の回線事業者へお問い合わせください。

■ プリンターのメモリーが不足しています。

対処方法

受信文書がいっぱいだったり、未処理のファクス文書が溜まっていたりしていてプリンターのメモリーが不足すると、ファクスを送信できなくなります。未処理文書の処理、受信ボックスや親展ボックスに溜まっているファクス文書を削除するなどして、プリンターのメモリーを空けてください。

■ 送信データのサイズが大きすぎます。

対処方法

以下の方法でデータサイズを小さくして送信できます。

- モノクロファクス送信の場合は、[ファクス] - [ファクス設定] の [送信設定] から [ダイレクト送信] を有効にして送信する
「[大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）](#)」308ページ
- 外付け電話機からダイヤルして送信する
「[外付け電話機からダイヤルして送信する](#)」306ページ
- プリンターのオンフック機能を使って送信する
「[送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）](#)」305ページ
- 原稿を小分けにして送信する

■ 送信先のファクス機がファクスを受信できない状態です。

対処方法

送信先に確認してください。

■ 意図せずにFコードを使ってファクスを送信しています。

対処方法

Fコード（Fコードやパスワード）送信になっていないか確認してください。アドレス帳から、Fコードやパスワード付きで登録した宛先を選択すると、Fコード送信になります。

■ 送信先のファクス機がFコード受信に対応していません。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、送信先のファクスがFコード受信に対応しているかを確認してください。

■ Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使った送信の場合、登録されたFコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが送信先のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信先に確認してください。

■ プリンターで受信専用を設定した回線ポートからファクス送信しようとしています。

対処方法

[回線別通信設定] で [送受信兼用] か [送信専用] に設定した回線からファクス送信してください。プリンターの設定状態を確認するには、[ファクス機能設定リスト] を印刷します。プリンターの操作パネルから以下の順に操作してください。

[ファクス] -  (応用) - [ファクスレポート印刷] - [ファクス機能設定リスト]

■ お使いの電話番号が非通知に設定されています。

対処方法

ファクス番号の先頭に186を付けてダイヤルしてみてください。送信先によっては非通知で送られた ファクスを受け付けないことがあります。送信先によっては電話番号を通知することで受信できる ことがあります。

■ 以上の対処をしてもファクスを送信できないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「ファクスを送信できない」 140ページ](#)

ファクスを受信できない

以下の原因が考えられます。

また、プリンターが現在ファクス受信中かなどのプリンターの状態を [ジョブ/状態] から確認することをお勧めします。

■ プリンターの操作パネルで （電源ボタン）を押したため電源がオフになっています。

対処方法

電源がオンのときにファクス受信できます。操作パネルの （電源ボタン）を押して電源をオンにしてください。

省電力モードに切り替えたい（画面を非表示にしたい）ときは、 （電源ボタン）でなく、画面の  で操作してください。

■ 省電力設定で設定した自動電源オフ時間中のため電源がオフになっています。

対処方法

操作パネルの （電源ボタン）を押して電源をオンにしてください。

■ プリンターで送信専用を設定した回線の番号に、送信元からファクス送信しようとしています。

対処方法

こちらで [回線別通信設定] で [送受信兼用] か [受信専用] に設定した回線の番号にファクス送信するように、送信元に依頼してください。

プリンターの設定状態を確認するには、[ファクス機能設定リスト] を印刷します。プリンターの操作パネルから以下の順に操作してください。

[ファクス] -  (応用) - [ファクスレポート印刷] - [ファクス機能設定リスト]

■ 受信ボックスと親展ボックスのメモリーが不足しています。

対処方法

受信ボックスと親展ボックスの受信文書の合計が200件（最大値）に達しています。不要になった文書を削除してください。

■ 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されていません。

対処方法

設定を有効にしていると、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。送信元のファクス番号をアドレス帳に登録してください。

■ 発信元情報のないファクスが送信されてきています。

対処方法

発信元情報のないファクスを受信拒否するように設定されています。送信元に、発信元情報を付けてファクスを送信してもらってください。

■ 受信ファクスの保存先のコンピューターが起動していません。

対処方法

受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動しておいてください。受信文書はコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーから削除されます。

■ Fコードおよびパスワードが間違っています。

対処方法

Fコードを使って受信する場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが送信元のファクス機に登録されたものと一致しているか、送信元に確認してください。

■ 以上の対処をしてもファクスを受信できないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「ファクスを受信できない」141ページ](#)

特定の送信先にファクスを送信できない

以下の原因が考えられます。

■ 送信先の応答に時間がかかっています。

対処方法

ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。（[オンフック]）機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ボー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。

50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズはをタップして入れます。タップするとポーズマークとしてハイフンが入力されます。1ポーズは約3秒です。ポーズの数で調整してください。

■ アドレス帳の通信モード設定が間違っています。

対処方法

アドレス帳から送信先を選択して、[編集]で[通信モード]を[9.6kbps(G3)]にして再送信してみてください。

指定の時間にファクスを送信できない

日付と時刻が正しく設定されていません。プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「指定の時間にファクスを送信できない」 143ページ](#)

原稿サイズと違うサイズで送信された

以下の原因が考えられます。

■ 送信先のファクス機がA3サイズに対応していません。

対処方法

A3サイズで送信するときは、事前に相手機がA3サイズに対応しているか確認してください。通信結果レポートに「OK(縮小)」と表示されていたら相手側はA3サイズに対応していません。通信結果レポートは、[ファクス] -  (応用) - [ファクスレポート印刷] - [通信結果レポート] から印刷できます。

■ 原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ [「原稿のセット」 195ページ](#)

■ 原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

[「原稿台の汚れを拭き取る」 355ページ](#)

外部メモリーに受信文書を保存できない

以下の原因が考えられます。

■ 外部メモリーがプリンターに挿入されていません。

対処方法

保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信ファクスが外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。

■ 外部メモリーの空き容量が不足しています。

対処方法

不要なデータを削除し、空き容量を増やしてください。または、空き容量に余裕のある外部メモリーをセットしてください。

■ 外部メモリーが書き込み禁止になっています。

対処方法

書き込み禁止を解除してください。

■ 受信ファクスを外部メモリーに保存する設定が無効になっています。

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「外部メモリーに受信文書を保存できない」 144ページ](#)

A3ファクスを受信できない

A3サイズのファクスを受信できない場合は、一部の設定を確認する必要があります。プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「A3ファクスを受信できない」 144ページ](#)

受信ファクスが印刷されない

以下の原因が考えられます。

■ 紙詰まりなどのエラーが発生しています。

対処方法

プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

➡ [「プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された」 424ページ](#)

➡ [「用紙が詰まった」 433ページ](#)

■ 以上の対処をしても受信ファクスを印刷できないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「受信ファクスが印刷されない」 144ページ](#)

接続できているのにファクスを送受信できない（Windows）

以下の原因が考えられます。

■ ソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。確認方法は以下です。

［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとFAX］）フォルダーを表示する手順は以下です。

- Windows 11
スタートボタンをクリックし、［設定］ - ［Bluetoothとデバイス］ - ［プリンターとスキャナー］の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックし、［Windowsシステムツール］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］の順に選択します。

■ Windows UpdateによってWindowsのセキュリティ設定が変更されています。

対処方法

Windows 7以降、ネットワーク接続に対する共有の設定やファイヤーウォールが構成された、「ネットワークの場所」が設定されています。PC-FAX受信をする設定にしているのに、プリンター側にデータが溜まりコンピュータで受信できなくなってしまった場合、「ネットワークの場所」が変更されていることが原因のことがあります。ホーム／社内ネットワークに接続するときの「ネットワークの場所」が、公共の場所で公衆無線LAN（Wi-Fi）を使って接続するときの［パブリック ネットワーク］に変更されているときは、［プライベートネットワーク］に切り替えてみてください。

■ プリンター本体のファクス接続、または設定に問題があります。

対処方法

プリンター本体のファクス接続や、設定のトラブル解決をお試してください。

接続できているのにファクスを送受信できない（Mac OS）

以下の原因が考えられます。

■ ソフトウェアがインストールされていません。

対処方法

PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。確認方法は以下です。

アップルメニューの[システム環境設定]（または[システム設定]）- [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、[+] をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。

■ PC-FAXドライバーが一時停止の状態になっています。

対処方法

アップルメニューの[システム環境設定]（または[システム設定]）- [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。一時停止になっているときは、[再開] をクリックしてください。

■ プリンター本体のファクス接続、または設定に問題があります。

対処方法

プリンター本体のファクス接続や、設定のトラブル解決をお試しく下さい。

給紙や排紙が正しくできない

はじめに確認すること

以下の項目を確認してから、現象に応じた対処方法をお試しく下さい。

■ プリンターの設置場所に問題があります。

対処方法

プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。

➔ [「動作時と保管時の環境仕様」 539ページ](#)

■ 印刷できない用紙を使用しています。

対処方法

本製品で印刷できる用紙を使用してください。

➔ [「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)

➔ [「印刷できない用紙」 465ページ](#)

■ 用紙の取り扱いに問題があります。

対処方法

用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

➔ [「用紙取り扱い上のご注意」 188ページ](#)

■ 用紙のセット枚数が多すぎます。

対処方法

セット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。

➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」458ページ](#)

■ プリンターに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

➡ [「用紙サイズと種類の登録」189ページ](#)

■ プリンタードライバーに登録した用紙情報が間違っています。

対処方法

プリンタードライバーの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

■ 給紙ローラーに紙粉が付いて、用紙が滑って給紙できません。

対処方法

今まで使用していた用紙が給紙できなくなった場合は、給紙ローラーに紙粉が付いていることがあります。給紙ローラーをクリーニングしてください。

➡ [「用紙カセットからの給紙不良を改善する」348ページ](#)

斜めに給紙される

以下の原因が考えられます。

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ [「用紙をセットする」191ページ](#)

重なって給紙される

以下の原因が考えられます。

■ 用紙が湿っています。

対処方法

新しい用紙をセットしてください。

■ 静電気で用紙がくっついていきます。

対処方法

印刷用紙をさばいてからセットしてください。それでも重なって給紙される場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。

給紙ローラー交換後に正しく給紙できなくなった

■ 給紙ローラーが正しく取り付けられていないことがあります。

対処方法

正しく取り付けられているか確認してください。

用紙なしのエラーが発生する

■ 用紙が手差しトレイの中央にセットされていません。

対処方法

手差しトレイに用紙をセットしているのに用紙なしのエラーが発生するときは、用紙を手差しトレイの中央にセットし直してください。

ADFから給紙できない

以下の原因が考えられます。

■ ADFに対応していない原稿です。

対処方法

ADFに対応している原稿を使用してください。

➔ [「ADFの仕様」528ページ](#)

■ 原稿が正しくセットされていません。

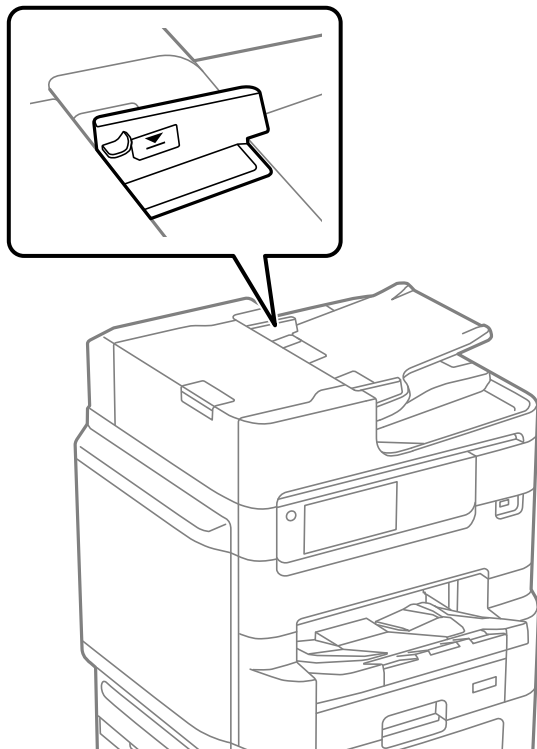
対処方法

原稿を正しい方向でセットして、原稿の側面にADF原稿ガイドを合わせてください。

■ 原稿のセット枚数が多すぎます。

対処方法

ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



■ ローラーに紙粉が付いて、原稿が滑って給紙できません。

対処方法

ADFの内部をクリーニングしてください。

➔ [「ADFをクリーニングする」 356ページ](#)

■ 原稿が検知されていません。

対処方法

コピー、スキャン、またはファクス画面で、ADFアイコンが点灯しているか確認してください。点灯していないときは、原稿をセットし直してください。

用紙が順番通りにならない、バラバラに重なる

■ 排紙トレイの右側のレバーを引いていません。

対処方法

排紙トレイの右側のレバーを手前に引くと、問題が解決することがありますが、排紙容量は少なくなります。

排紙の向きが思い通りにならない

- 「ファイリングしやすい方向に排紙する」を無効にしました。

対処方法

横長のページと縦長のページが混在したり、両面印刷と片面印刷が混在したりすると、排紙の向きが思い通りにならないことがあります。このようなときは、プリンタードライバーの「ファイリングしやすい方向に排紙する」設定を有効にしてください。用紙を同じ向きに排紙してファイリングしやすくなります。

- Windows
「ユーティリティ」タブの「拡張設定」で「ファイリングしやすい方向に排紙する」を選択します。
- Mac OS
アップルメニューの「システム環境設定」-「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」-「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「ファイリングしやすい方向に排紙する」で「オン」を選択します。

増設カセットユニットから給紙できない

- プリンタードライバーでオプションの設定がされていません。

対処方法

プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。

- ➡ [「オプションの給紙装置を使えるようにする」60ページ](#)

ステープルできない

- フチなし画像が印刷されています。

対処方法

フチなし画像が印刷された用紙の場合、センサーが感知できず、ステープルできません。約2mm以上のフチがある用紙をセットしてください。

きれいに印刷、コピー、スキャン、ファクスできない

きれいに印刷できない

印刷結果で出ない色がある、スジ（線）が入る、色合いがおかしい



■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

〔印刷トラブル解決〕を実施してください。長期間使用していない場合、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。

➡ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

約3.3cm間隔で色の付いたスジが入る



以下の原因が考えられます。

■ 用紙種類の設定がセットした用紙に合っていない。

対処方法

用紙種類の設定は、セットした用紙に合わせてください。

➡ [「用紙種類の設定値」189ページ](#)

■ 印刷品質が低い設定になっています。

対処方法

普通紙に印刷しているときは、きれいモードで印刷してください。

- 操作パネル
印刷設定で [応用設定] タブがある場合は [応用設定] タブを選択して、[印刷品質] で [きれい] を選択します。
- Windows
プリンタードライバーの [基本設定] タブで [印刷品質] を [きれい] にします。
- Mac OS
プリント画面の [印刷設定] メニューにある [印刷品質] で [きれい] を選択します。

■ プリントヘッドの位置がずれています。

対処方法

[印刷トラブル解決] でプリントヘッドの位置を調整してください。

➡ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



enthalten alle
Aufdruck. W
↓ 5008 "Regel

以下の原因が考えられます。原因を確認して、上から順番に対処方法をお試してください。

■ プリントヘッドの位置がずれています。

対処方法

[印刷トラブル解決] でプリントヘッドの位置を調整してください。

➡ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

■ 双方向印刷設定が有効になっています。

対処方法

プリントヘッドの位置を調整しても印刷品質が改善されないときは、双方印刷設定を無効にしてください。

双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷位置が左右で異なると罫線がずれたりぼやけたりすることがあります。このため、双方向印刷設定を無効にすると、印刷速度は遅くなりますが品質は向上します。

- 操作パネル

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔プリンター設定〕の順に選択して、〔双方向印刷〕を無効にします。

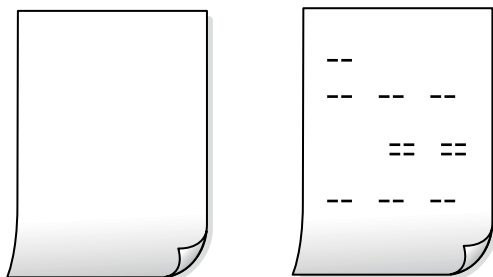
- Windows

プリンタードライバーの〔応用設定〕タブで〔双方向印刷〕のチェックを外します。

- Mac OS

アップルメニューの〔システム環境設定〕 - 〔プリンタとスキャナ〕（または〔プリントとスキャン〕、〔プリントとファクス〕）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。〔オプションとサプライ〕 - 〔オプション〕（または〔ドライバ〕）の順にクリックします。〔双方向印刷〕で〔オフ〕を選択します。

白紙のまま出てくる、一部線がある



■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

おまかせクリーニングを実行してください。

➡ [「おまかせクリーニングをする」351ページ](#)

■ 印刷設定と、セットされている用紙のサイズが異なります。

対処方法

セットした用紙サイズに合わせて印刷設定を変更してください。または印刷設定に合った用紙をセットしてください。

■ 用紙が重なって給紙されています。

対処方法

重なって給紙されるのを防ぐには以下をご確認ください。

➡ [「重なって給紙される」399ページ](#)

用紙が汚れる、こすれる



以下の原因が考えられます。

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

印刷方向に対して垂直に（横方向に）スジが入ったり、用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

■ 用紙経路が汚れています。

対処方法

印刷方向と水平に（縦方向に）スジが入ったり、用紙が汚れたりするときは、用紙経路をクリーニングしてください。

➔ [「用紙経路の汚れを拭き取る」354ページ](#)

■ 用紙が反っています。

対処方法

平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。

■ プリントヘッドが用紙の表面をこすっています。

対処方法

厚手の用紙に印刷すると、プリントヘッドが印刷面と近くなり、用紙表面をこすって汚れが発生することがあります。その場合は、こすれ軽減機能を有効にしてください。ただし、印刷品質や印刷速度が低下することがあります。

- 操作パネル
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] の順に選択して、[こすれ軽減] を有効にします。
- Windows
プリンタードライバーの [ユーティリティー] タブで [拡張設定] をクリックして、[印刷こすれを軽減する] をチェックします。
[印刷こすれを軽減する] をチェックしても印刷用紙がこすれるときは、プリンタードライバーの [拡張設定] 画面で [再生紙の印刷こすれを軽減する] をチェックしてください。
- Mac OS
アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。[こすれ軽減] で [オン] を選択します。

■ 印刷した面が十分に乾く前に裏面に印刷しました。

対処方法

印刷した面のインクが乾いていない状態で裏面に印刷すると、インクがプリンターのローラーに付いて、次の印刷時、用紙に転写することがあります。手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。

■ ハガキの通信面から先に印刷しました。

対処方法

ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

■ 自動両面印刷時に印刷濃度が濃く、乾燥待ち時間が短く設定されています。

対処方法

画像やグラフなど高密度のデータを自動両面印刷するときは、印刷濃度を薄く、乾燥待ち時間を長く設定してください。

➡ [「両面に印刷する」210ページ](#)

写真を印刷するとインクがベタベタする



■ 写真用紙の裏面に印刷しました。

対処方法

用紙のセット向きを確認し、おもて面に印刷し直してください。裏面に印刷した場合は、用紙経路をクリーニングしてください。

➡ [「用紙経路の汚れを拭き取る」354ページ](#)

画像や写真が意図しない色合いになる



以下の原因が考えられます。

■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

〔印刷トラブル解決〕を実施してください。長期間使用していない場合、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。

➡ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

■ 色補正がされています。

対処方法

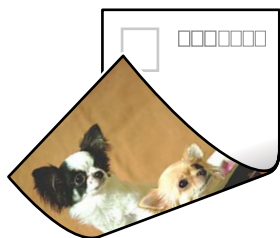
操作パネルの購入時の設定、またはWindowsプリンタードライバーの初期設定では、用紙種類によってはエプソンの自動画質補正が有効になっています。設定を変更してみてください。

- 操作パネル
〔自動画質補正〕で〔オートフォトファイン!EX(自動)〕以外を選択します。効果がない場合は、〔自動画質補正〕で〔自動補正なし〕を選択してください。
- Windowsプリンタードライバー
〔応用設定〕タブの〔色補正〕で〔ユーザー設定〕を選択して〔設定〕をクリックします。〔補正モード〕で〔標準(自動)〕以外を選択します。効果がない場合は、〔カラー調整〕で〔オートフォトファイン!EX〕以外の補正方法を選択してください。

➡ [「JPEG印刷：」260ページ](#)

➡ [「色補正をして印刷する」227ページ](#)

ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる

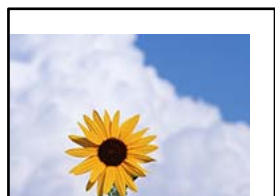


■ 縦長写真のデータは撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって上下（天地）が異なります。

対処方法

ハガキを上下逆にセットしてください。

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない



以下の原因が考えられます。

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でヤットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ 「用紙をセットする」191ページ

■ 用紙のサイズが正しく設定されていません。

对処方法

用紙のサイズを正しく設定してください。

■ アプリケーションソフトの余白設定が印刷領域内になっていません。

对処方法

アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

➡ 「印刷可能領域」 526ページ

文字が正しく印刷されない、文字化けする

<B000 L0·0斥彗二 ZA才銖·コ i2 蕪·」・サ-8Q0/70
 0b8 0!\$ NB0X0· B7kBCt,0· B ·x;」EE0P000」2; ·01ツ
 M0u

06æA‘HcIG—0è0‘00;Cð%!“A;éè0‘r0
 ÓÓicr‘maLo=%+u)”‘má•N-hf0háSÁ0xw0æ
 rny0z0H,Ü0‘0-CÉáS—É00f0w0Z0X0‘0‘0-C
 0NÁ0‘N=0PÉ“!0?0-C“æuz‘záa;”(ÜÉ=0é0

以下の原因が考えられます。

■ USBケーブルがしっかりと差し込まれていません。

対処方法

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。

■ 待機中のジョブが残っています。

対処方法

待機中のジョブがあるときに印刷すると、文字化けすることがあります。

➡ 「印刷待ちのジョブが残っています。」 386ページ

■ 印刷中に、コンピューターを手動で [休止状態] または [スリープ] にしました。

对処方法

印刷中はコンピューターを手動で〔休止状態〕または〔スリープ〕にしないでください。次回コンピューター起動時に、文字化けしたデータが印刷されることがあります。

■ 違う製品のプリンタードライバーを使っています。

対処方法

お使いのプリンタードライバーがこのプリンター用のものか確認してください。プリンタードライバー画面上部のプリンター名を確認してください。

画像が反転する



■ 左右反転するように設定されています。

対処方法

プリンタードライバーやアプリケーションソフトで、左右反転設定を解除してください。

- Windows
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「左右反転」のチェックを外します。
- Mac OS
プリント画面の「印刷設定」メニューで「左右反転」のチェックを外します。

モザイクがかかったように印刷される



■ 解像度の低い画像や写真のデータが印刷されました。

対処方法

画像や写真は、解像度の高いデータを印刷してください。ウェブページの画像は解像度の低いことが多く、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られないことがあります。

片面印刷したいのに両面印刷になる

■ 両面印刷の設定が有効になっています。

対処方法

プリンタードライバーの両面印刷の設定を無効にしてください。

- Windows
プリンタードライバーの「基本設定」タブで「両面印刷」を「オフ」にします。
- Mac OS
プリント画面の「自動両面印刷設定」メニューで「自動両面印刷」を「オフ」にします。

PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない

以下の原因が考えられます。

■ データに問題があります。

対処方法

- Adobe Photoshopなどのデータ形式を変更できるアプリケーションソフトでデータを作成したときは、プリンタードライバーの設定を作成したデータ形式と合わせてください。
- バイナリー形式で作成したEPSファイルは正常に印刷できないことがあります。アプリケーションソフトでEPSファイルを作成するときはASCII形式にしてください。
- Windowsの場合、USB接続時にはバイナリー形式のデータが印刷できません。プリンターのプロパティの「デバイスの設定」タブで、「出力プロトコル」を「ASCII」または「TBCP」に設定してください。
- Windowsの場合、プリンターのプロパティの「デバイスの設定」タブで、適切な代替フォントを選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い

■ カラーの設定がされていません。

対処方法

プリンタードライバーの「用紙/品質」タブでは色の設定ができません。「詳細設定」をクリックして、「カラーモード」を設定してください。

きれいにコピーできない

コピー結果で出ない色がある、スジ（線）が入る、色合いがおかしい



■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

〔印刷トラブル解決〕を実施してください。長期間使用していない場合、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。

➡ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

約3.3cm間隔で色の付いたスジが入る



以下の原因が考えられます。

■ 用紙種類の設定がセットした用紙に合っていないせん。

対処方法

用紙種類の設定は、セットした用紙に合わせてください。

➡ [「用紙種類の設定値」189ページ](#)

■ プリントヘッドの位置がずれています。

対処方法

〔印刷トラブル解決〕でプリントヘッドの位置を調整してください。

➡ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

コピー結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



enthalten alle
Aufdruck. W
↓ 5008 "Regel

以下の原因が考えられます。

■ プリントヘッドの位置がずれています。

対処方法

[印刷トラブル解決] でプリントヘッドの位置を調整してください。

➔ [「印刷トラブルを解決する」349ページ](#)

■ 双方向印刷設定が有効になっています。

対処方法

プリントヘッドの位置を調整しても印刷品質が改善されないときは、双方印刷設定を無効にしてください。

双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷位置が左右で異なると罫線がずれたりぼやけたりすることがあります。このため、双方向印刷設定を無効にすると、印刷速度は遅くなりますが品質は向上します。

操作パネルで、[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] の順に選択し、[双方向印刷] を無効にします。

■ 原稿に折り目やしわが付いています。

対処方法

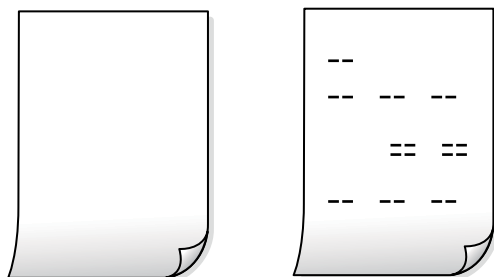
- ADF使用時

ADFにはセットせずに、原稿台にセットしてください。

- 原稿台使用時

原稿の折り跡やしわを伸ばしてください。原稿をセットするときは、原稿からはみ出さないように台紙などを載せて、原稿台に密着するようにセットしてください。

白紙のまま出てくる、一部線がある



■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。

対処方法

おまかせクリーニングを実行してください。

➔ [「おまかせクリーニングをする」351ページ](#)

■ 印刷設定と、セットされている用紙のサイズが異なります。

対処方法

セットした用紙サイズに合わせて印刷設定を変更してください。または印刷設定に合った用紙をセットしてください。

■ 用紙が重なって給紙されています。

対処方法

重なって給紙されるのを防ぐには以下をご確認ください。

➡ [「重なって給紙される」399ページ](#)

用紙が汚れる、こすれる



以下の原因が考えられます。

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

印刷方向に対して垂直に（横方向に）スジが入ったり、用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

■ 用紙経路が汚れています。

対処方法

印刷方向と水平に（縦方向に）スジが入ったり、用紙が汚れたりするときは、用紙経路をクリーニングしてください。

➡ [「用紙経路の汚れを拭き取る」354ページ](#)

■ 用紙が反っています。

対処方法

平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。

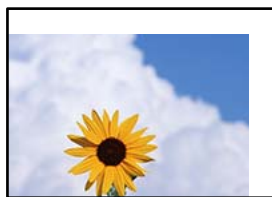
■ プリントヘッドが用紙の表面をこすっています。

対処方法

厚手の用紙にコピーすると、プリントヘッドが印刷面と近くなり、用紙表面をこすって汚れが発生することがあります。その場合は、こすれ軽減機能を有効にしてください。

操作パネルで、〔設定〕 - [本体設定] - [プリンター設定] の順に選択し、〔こすれ軽減〕を有効にします。ただし、コピー品質や速度が低下することがあります。

コピー位置、サイズ、余白が思い通りにならない



以下の原因が考えられます。

■ 用紙が正しくセットされていません。

対処方法

用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

➡ [「用紙をセットする」191ページ](#)

■ 原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

➡ [「原稿のセット」195ページ](#)

■ 原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿台に原稿をセットするときは、原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。

➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」355ページ](#)

■ 用紙のサイズが正しく設定されていません。

対処方法

用紙のサイズを正しく設定してください。

■ コピー設定の原稿サイズが間違っています。

対処方法

コピー設定の「原稿サイズ」を正しく設定してください。

ムラやシミ、斑点、線がコピー結果に現れる



以下の原因が考えられます。

■ 用紙経路が汚れています。

対処方法

通紙（給排紙）をして、給紙経路をクリーニングしてください。

➡ [「用紙経路の汚れを拭き取る」 354ページ](#)

■ 原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」 355ページ](#)

■ ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ [「ADFをクリーニングする」 356ページ](#)

■ 原稿を強く押さえつけています。

対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ [「原稿のセット」 195ページ](#)

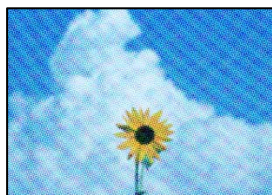
■ コピー濃度が高く設定されています。

対処方法

コピー濃度を低く設定してください。

➡ [「コピー時のメニューの説明」 276ページ](#)

モアレ（網目状の陰影）がコピー結果に現れる



■ 原稿が印刷物（雑誌、カタログなど）の場合、網点パターンが干渉してモアレが現れます。

対処方法

拡大縮小の設定を変えてください。それでもモアレが現れる場合は、原稿の角度を少し変えてセットしてください。

➡ [「コピー時のメニューの説明」276ページ](#)

コピーすると裏写りする



以下の原因が考えられます。

■ 薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

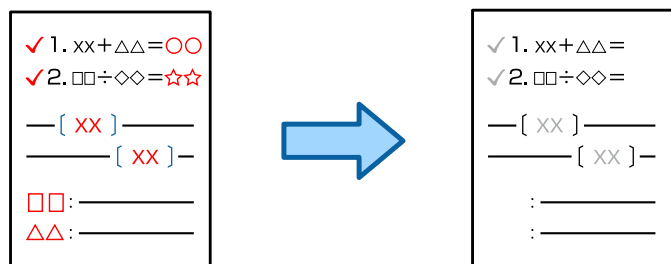
■ コピー濃度が高く設定されています。

対処方法

コピー濃度を低く設定してください。

➡ [「コピー時のメニューの説明」276ページ](#)

赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにコピーされる



■ 原稿によっては赤色を完全に消去できないことがあります。

対処方法

操作パネルの以下のメニューで「背景除去」を「+3」または「+4」に設定すると、赤色を消去することができます。

「コピー」 - 「応用設定」 - 「詳細画質調整」 - 「背景除去」

きれいにスキャンできない

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが画像に現れる



■ 原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」 355ページ](#)

■ 原稿を強く押さえつけています。

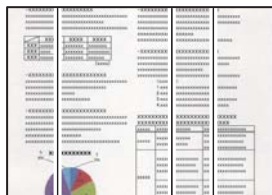
対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ [「原稿のセット」 195ページ](#)

スキャンした画像に直線が現れる



■ ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

対処方法

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

➡ [「ADFをクリーニングする」 356ページ](#)

スキャン結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



enthalten alle
Aufdruck. W
↓ 5008 "Regel

■ 原稿に折り目やしわが付いています。

対処方法

- ADF使用時
ADFにはセットせずに、原稿台にセットしてください。
- 原稿台使用時
原稿の折り跡やしわを伸ばしてください。原稿をセットするときは、原稿からはみ出さないように台紙などを載せて、原稿台に密着するようにセットしてください。

原稿の裏面がスキャンした画像に写る



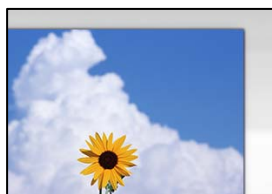
■ 薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

➔ [「原稿のセット」195ページ](#)

原稿台からスキャンするとき、正しい範囲でスキャンできない



■ 原稿が原稿台の適切な位置にセットできていません。

対処方法

- 原点マークに合わせて原稿をセットしてください。
- スキャン結果の端が欠けたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。原稿台の隅から約1.5 mmの範囲はスキャンできません。

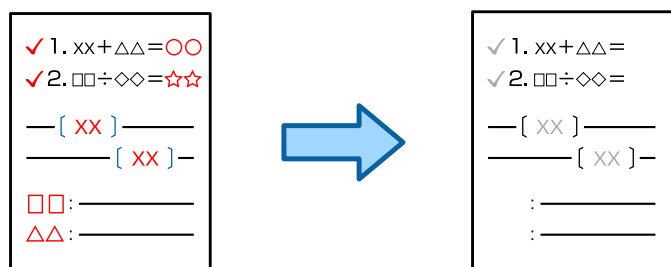
➡ [「原稿のセット」195ページ](#)

■ 原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

赤色消去機能を使用しても、赤色が完全に消えずにスキャンされる



■ 原稿によっては赤色を完全に消去できないことがあります。

対処方法

操作パネルのスキャン設定メニューで「背景除去」を「+3」または「+4」に設定すると、赤色を消去できることがあります。

スキャン品質のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、以下を確認してください。

■ スキャンソフトウェアの設定に問題があります。

対処方法

スキャンソフトウェアの設定を、Epson Scan 2ユーティリティを使って初期化します。

参考 Epson Scan 2ユーティリティは、スキャンソフトウェアに付属してインストールされるソフトウェアです。

参考 Windows Server OSをお使いの場合、[デスクトップエクスペリエンス] がインストールされていることを確認してください。

1. Epson Scan 2ユーティリティを起動します。

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。

2. [その他] タブを選択します。

3. [初期化] をクリックします。

設定を初期化してもトラブルを解決できないときは、スキャンソフトウェアをアンインストールして、再インストールしてください。

➔ [「ソフトウェアを個別にインストールまたはアンインストールする」362ページ](#)

ファクスをきれいに送信できない

ファクスをきれいに送信できない



以下の原因が考えられます。

■ 原稿や原稿台にゴミや汚れが付いています。

対処方法

原稿に付いているゴミや汚れを取り除き、原稿台をクリーニングしてください。

➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」355ページ](#)

■ 原稿を強く押さえつけています。

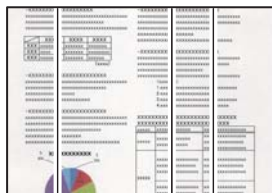
対処方法

原稿を強く押さえつけると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

原稿や原稿カバーを強く押さえつけないでください。

➡ [「原稿のセット」195ページ](#)

ADFからファクス送信すると直線が現れる



ADFや原稿にゴミや汚れが付いています。

ADFをクリーニングして、原稿に付着したゴミや汚れを取り除いてください。

関連情報

➡ [「ADFをクリーニングする」356ページ](#)

送信したファクスの画質が粗い



以下の原因が考えられます。

■ 原稿種類の設定が間違っています。

対処方法

操作パネルで、[ファクス] - [ファクス設定] - 読み取り設定 - [原稿種類] を選択し、原稿の種類に合わせて設定を変更してください。文字と写真が混在した原稿は[写真]の設定で送信してください。

■ 解像度が低く設定されています。

対処方法

相手機の性能がわからないときは、以下どちらも設定してファクスを送信してください。

- [ファクス] - [ファクス設定] の [画質] で最高品質の設定を選択する
- [ファクス] > [ファクス設定] で [ダイレクト送信] を有効にする。
[画質] を [高精細] か [超高精細] にしても、[ダイレクト送信] を無効にしてモノクロ送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。

■ 以上の対処をしても送信したファクスの画質が粗いときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「ファクスをきれいに送受信できない」 144ページ](#)

送信したファクスに原稿の裏面が写る



以下の原因が考えられます。

■ 薄い原稿の場合、スキャン時に裏面の画像が読み取られます。

対処方法

原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて、原稿台にセットしてください。

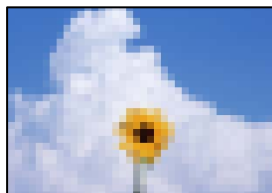
■ ファクス送信時に、濃度が高く設定されています。

対処方法

操作パネルで、[ファクス] - [ファクス設定] - [読み取り設定] - [濃度] を選択し、濃度を低く設定してください。

ファクスをきれいに受信できない

受信したファクスの画質が粗い



以下の原因が考えられます。

■ 送信元で画質が低く設定されています。

対処方法

送信元に、より高い画質で送信できないか確認してください。

■ 以上の対処をしても受信したファクスの画質が粗いときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「ファクスをきれいに送受信できない」 144ページ](#)

プリンター画面にメッセージやエラーコードが表示された

プリンター画面にメッセージが表示された

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない場合にメッセージが表示されたときは、以下の関連情報をご覧ください。

	メッセージ	対処方法
あ	アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
い	インク量が限界値以下のためインクバック交換が必要です。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクバックと交換してください。

	メッセージ	対処方法
こ	このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
	コンピューターでプリンターのポート設定 (IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	【プリンター】メニューの【プロパティ】 - 【ポート】 で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB接続：【USBXXX】 ネットワーク接続：【EpsonNet Print Port】
	コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
せ	設定画面自動表示をオフにします。一部の機能が使えなくなります。詳しくはマニュアルをご覧ください。	【設定画面自動表示】設定が無効になっているとAirPrintは使用できません。
た	ダイヤルトーンが検出できません。	【設定】 - 【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【基本設定】 - 【接続回線】の順にタップして、【構内交換機(PBX)】を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、【構内交換機(PBX)】を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示されるときは、【ダイヤルトーン検出】を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
ふ	プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 エラーコード：XXXXXX	- プリンター内部や用紙カセットに用紙や保護材が入っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示されるときは、エラーコードを控えてから保守サービス実施店にご連絡ください。 - 以下のエラーコードが表示されたときは、各給紙装置のセット可能枚数を確認してください。 000181、000184、000201、000204、000221、000224
	プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。印刷以外の機能は使用できます。	プリンターが故障している可能性があります。保守サービス実施店に修理を依頼してください。ただし、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できます。
	プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターが故障している可能性があります。保守サービス実施店に修理を依頼してください。
	ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押して確認してください。	以下の理由で処理が済んでいない受信文書を処理してください。 - プリンターのエラーなどで印刷されていないプリンターのエラーを解除してください。エラーの内容と対処方法は、 ボタンを押して【プリンター】をタップすると確認できます。 - 保存先のコンピューターまたは外部メモリーに保存されていない保存されていない受信文書は、 ボタンを押して【ジョブ】をタップすると確認できます。保存するには、保存先のコンピューターを起動するか、または外部メモリーをプリンターに接続してください。

	メッセージ	対処方法
-	XXに用紙を補充してください。用紙サイズ：XX用紙種類：XX	用紙を補充して、用紙力セットを奥までセットしてください。
	XXが故障したため、印刷できません。別の給紙装置からは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙力セットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、保守サービス実施店に修理を依頼してください。
	XXの給紙ローラーが交換時期に近付いています。	給紙ローラーは定期交換部品です。交換時期に達すると、手差しトレイや表示された給紙ローラーから正しく給紙できなくなります。お早めに保守サービス実施店に交換を依頼してください。
	XXの給紙ローラーが交換時期に達しました。	給紙ローラーの交換が必要です。保守サービス実施店へ連絡してください。
-	Recovery Mode Update Firmware	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとプリンターをUSB 接続します(リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません)。 2. エプソンのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

関連情報

➡ [「ネットワークフォルダーへのスキャン時に操作パネルにメッセージが表示される」75ページ](#)

ジョブ確認メニューにエラーコードが表示された

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。[ジョブ/状態] - [ジョブ] を選択すると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-
101	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

コード	状況	対処
102	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
103	プリンターのメモリー不足で印刷品質を下げて印刷しました。	印刷品質を下げずに印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
104	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
106	コンピューターからの印刷が制限されているため、印刷できません。	プリンターの管理者に問い合わせてください。
107	ユーザー認証に失敗したため、ジョブがキャンセルされました。	- ユーザー名とパスワードが正しいか確認してください。 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔管理者用設定〕 - 〔セキュリティー設定〕 - 〔利用者制限〕の順にタップします。利用者制限を有効にして、認証情報がないジョブを許可してください。 - プリンタードライバーにユーザーアカウントを登録してください。 「プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する（Windows）」375ページ
108	プリンターの電源が切られたため、パスワード印刷データが破棄されました。	-
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。
111	プリンターのメモリー不足で、途中で排紙しました。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

コード	状況	対処
120	OpenPlatformで接続するサーバーと正常に通信できません。	サーバーとネットワークに問題がないか確認してください。
130	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
131	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
132	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷サイズを小さくする - 印刷データ内の画像や、フォントの種類を減らすなどして、印刷データを簡略化する
133	プリンターのメモリー不足で両面印刷できません。片面で印刷します。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷サイズを小さくする - 印刷データ内の画像や、フォントの種類を減らすなどして、印刷データを簡略化する
141	プリンターのストレージ故障により、ジョブがキャンセルされました。	保守サービス実施店に、ストレージ交換を依頼してください。
151	ログオン中のユーザー名とパスワード印刷のユーザー名が一致しなかったため印刷できませんでした。	パスワード印刷のユーザー名と一致するユーザー名でログオンしてから印刷を行ってください。
161	Epson Print Admin Serverlessでページ数管理されています。残ページ数が不足しているため印刷できませんでした。	システム管理者にお問い合わせください。
201	文書を送信または受信中にプリンターのメモリーがいっぱいになりました。	【ジョブ/状態】の【ジョブ】で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 【ジョブ/状態】の【ジョブ】で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 1件の宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 - 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信してください。

コード	状況	対処
203	ダイヤルトーンが検出できません。	- モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 「プリンターを電話回線に接続する」114ページ - プリンターを構内交換機（PBX）またはターミナルアダプターに接続しているときは、[接続回線] 設定を [構内交換機(PBX)] に変更してください。 [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤルトーン検出] の順にタップして、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話し中です。	- しばらくしてから再送信してください。 - 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤル種別] を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの [ファクスレポート印刷] で [通信管理レポート] か、直前のジョブの場合は [通信結果レポート] を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。 [送信失敗文書保存] 設定を有効にしていると、[ジョブ/状態] の [ジョブ] から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	- 外部メモリーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	スキャンした画像の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
307	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoメモリー）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。

コード	状況	対処
311	DNSエラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
312	認証エラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
313	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 ・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 ・ 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。[オフ]を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	・ スキャン設定の[添付最大ファイルサイズ]を大きくしてください。 ・ スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
316	メール暗号化エラーが発生しました。	・ 暗号化用証明書が正しく設定されているか確認してください。 ・ プリンターの時間が正確か確認してください。
317	メール署名エラーが発生しました。	・ 署名用証明書が正しく設定されているか確認してください。 ・ プリンターの時間が正確か確認してください。
318	ドメイン制限エラーが発生しました。	メールの宛先のドメインが制限されていないか、管理者に確認してください。
321	DNSエラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	[保存先] の設定を確認してください。
323	通信エラーが発生しました。	・ [保存先] の設定を確認してください。 ・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。

コード	状況	対処
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在していません。	- 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 〔ファイル設定〕でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。
325 326	保存先フォルダーの容量が不足しています。	- 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	転送先フォルダーが見つかりません。	〔保存先〕の設定を確認してください。
329	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoフォルダー）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
330	FTPS/HTTPSセキュア接続エラーが発生しました。	- 宛先設定の保存先が正しいか確認してください。 - Web Configを起動してルート証明書を更新してください。 - WebConfigを起動してCA証明書をインポートまたは更新してください。 それでも解決しない場合は、宛先設定の証明書の検証をオフにしてください。
331	通信エラーが発生しました。	プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	- プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 - Document Capture Proがインストールされているか確認してください。
342	スキャンした原稿が全て白紙と判定されました。	- 原稿の表裏が合っているか確認してください。 - 誤って白紙と判定される場合は、〔白紙ページスキップ〕 - 〔白紙検知レベル〕で白紙検知レベルを下げてみてください。

コード	状況	対処
350	FTPS/HTTPS証明書エラーが発生しました。	- 日時と時差の設定が正しいか確認してください。 - Web Configを起動してルート証明書を更新してください。 - WebConfigを起動してCA証明書をインポートまたは更新してください。 それでも解決しない場合は、宛先設定の証明書の検証をオフにしてください。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
405	受信文書保存中に書き込みエラーが発生しました。	- 外部メモリーを再度挿入してください。 〔保存専用フォルダー作成〕でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕の順にタップして、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔メールサーバー〕 - 〔サーバー設定〕の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
413	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔メールサーバー〕 - 〔サーバー設定〕の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 - 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。〔オフ〕を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 - プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
421	DNSエラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕の順にタップして、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕 - 〔保存・転送設定〕の順にタップして、〔転送先〕で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

コード	状況	対処
423	通信エラーが発生しました。	- プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 - 設定-本体設定-ファクス設定-受信設定の順にタップして、保存・転送設定で指定されているフォルダーの設定を確認して、ボックスに登録されている ➤ を選択してください。[保存・転送先（必須項目）]で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。
428	転送先フォルダーが見つかりません。	設定-本体設定-ファクス設定-受信設定の順にタップして、保存・転送設定で指定されているフォルダーの設定を確認して、ボックスに登録されている ➤ を選択してください。[保存・転送先（必須項目）]で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

用紙が詰まった

操作パネルのエラー表示を確認し、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンターの画面に、詰まった用紙を取り除く方法の動画が表示されます。[OK] を選択してエラーを解除してください。

⚠ 注意 内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンターが動作してけがをするおそれがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

！重要 ・ 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンターが故障することがあります。

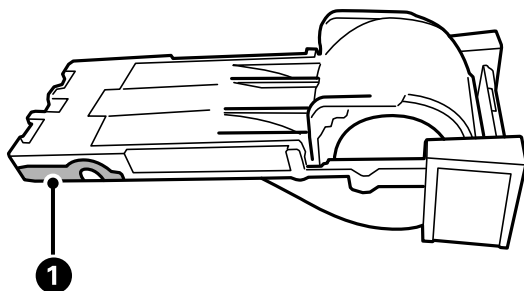
参考 紙片が内部に残ってしまったときは、エラー解除後に、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [紙片取り除き] を選択してください。紙片が取り除きやすくなります。

針が詰まった

操作パネルのエラー表示を確認し、詰まった針を取り除いてください。プリンターの画面に、詰まった針を取り除く方法の動画が表示されます。その後、[OK] を選択してエラーを解除してください。

！重要

- 針詰まりや針交換以外はカートリッジを外さないでください。
- 下図の①の部分は指示のない限り開けないでください。



- 針が残っている状態でカートリッジを外さないでください。セットし直しても針詰まりなどが発生しやすいため、新しいカートリッジに交換が必要です。
- 針詰まり後は、2回程度空打ちします。

紙詰まりを防ぐには

紙詰まりが頻繁に起こる場合は、以下を確認してください。

- プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。
「動作時と保管時の環境仕様」539ページ
- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
「印刷できる用紙とセット枚数」458ページ
- 用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
「用紙取り扱い上のご注意」188ページ
- 用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
「用紙をセットする」191ページ
- 用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- 複数枚セットしてうまく給紙できないときは、1枚ずつセットしてください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。
「用紙種類の設定値」189ページ
- 印刷中に背面カバーを開けないでください。用紙が詰まる原因になります。
- プリンター内部のローラーをクリーニングしてください。
「用紙カセットからの給紙不良を改善する」348ページ

インクパックの交換が必要になった

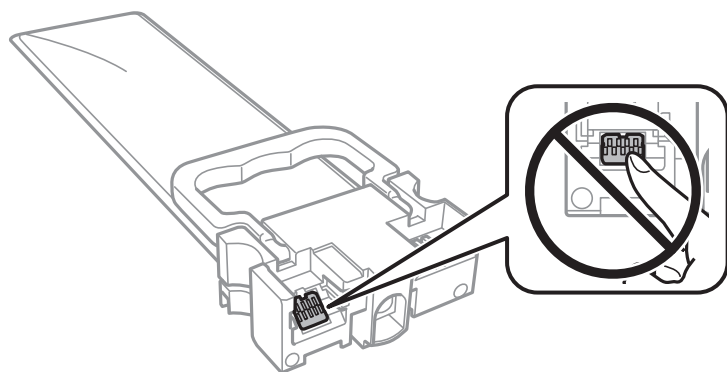
インクパック取り扱い上のご注意

インク保管時のご注意

- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- インクパックは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- インクパックは個装箱の底面を下にして保管してください。
- インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、5時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパックからインクが漏れることがあります。

インクパック交換時のご注意

- イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- インクパックは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インクパックを取り外した状態でプリンターを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用中で取り外したインクパックは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクパックはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用中に取り外しても再装着して使用できます。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内にインクが残ります。
- インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- プリンターに付属のインクパックは、交換には使えません。
- インクパックを落とすなどして大きく変形した場合は、形状を整えてからセットしてください。変形したままだとセットできないことがあります。

インクの消費

- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。プリントヘッドを良好な状態に保つため、ヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。また、電源投入時にも消費されることがあります。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクパックよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

インクパックを交換する

インクパック交換のメッセージが表示されたら、[操作方法を見る] を選択して操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

関連情報

- ➡ 「純正インクパックの型番」 466ページ
- ➡ 「インクパック取り扱い上のご注意」 435ページ
- ➡ 「使用済みインクパックの回収」 436ページ
- ➡ 「使用済みインクパックの廃棄」 436ページ

使用済みインクパックの回収

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

使用済みインクパックの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

メンテナンスボックスの交換が必要になった

メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

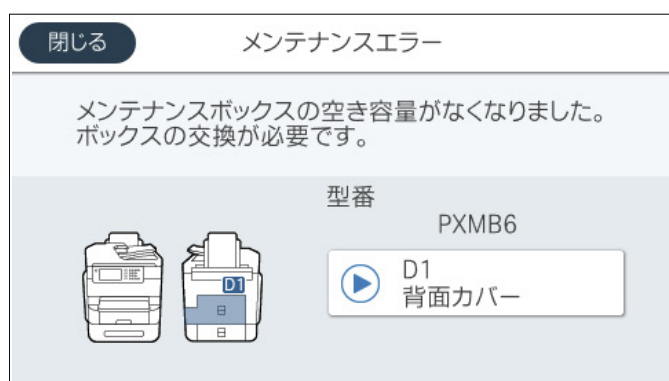
メンテナンスボックスを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

- メンテナンスボックスのICチップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。
- 天面のフィルムは剥がさないでください。インクが漏れることがあります。
- メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- 印刷中は交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。
- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。

メンテナンスボックスを交換する

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。
メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、画面の指示に従って交換してください。



- 参考**
- インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷やクリーニングはできませんが、スキャンなどのインクを使わない操作はできます。

関連情報

- ➔ 「メンテナンスボックスの型番」 466ページ
- ➔ 「メンテナンスボックス取り扱い上のご注意」 436ページ
- ➔ 「使用済みメンテナンスボックスの回収」 437ページ
- ➔ 「使用済みメンテナンスボックスの廃棄」 437ページ

使用済みメンテナンスボックスの回収

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

使用済みメンテナンスボックスの廃棄

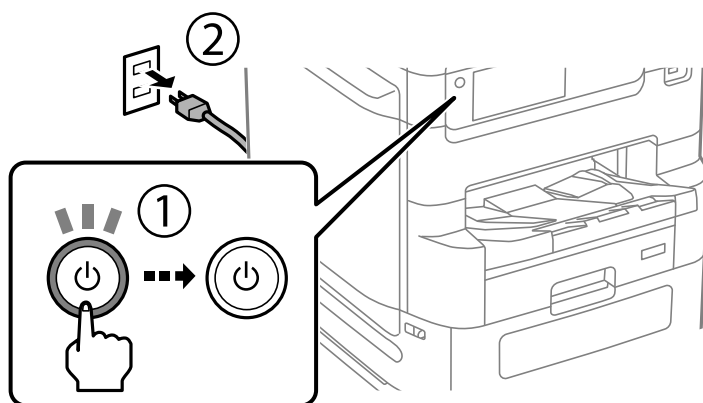
一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

給紙ローラーの交換が必要になった

用紙カセット1の給紙ローラーを交換する

給紙ローラーは本体の背面側（2個）と用紙カセット側（1個）の2か所にあります。

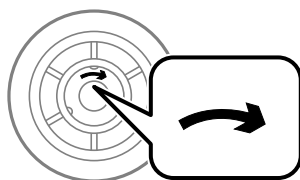
1. 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



2. 新しい給紙ローラーを箱から取り出します。

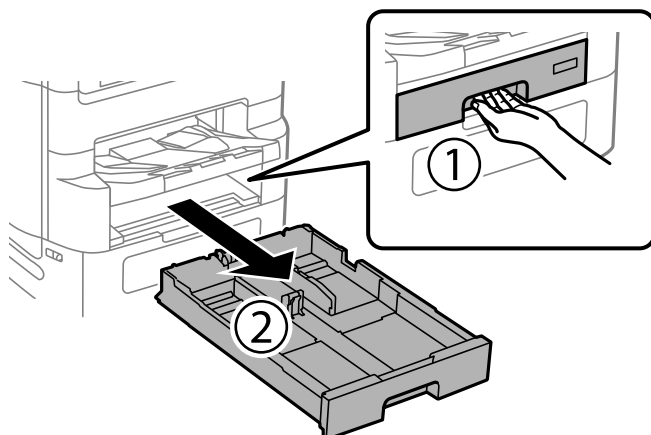
！重要

- 用紙カセット1用と用紙カセット2～4用の給紙ローラーは異なります。中央の矢印の向きを確認して、用紙カセット1用の給紙ローラーであることを確認してください。異なる給紙ローラーを取り付けると給紙できません。

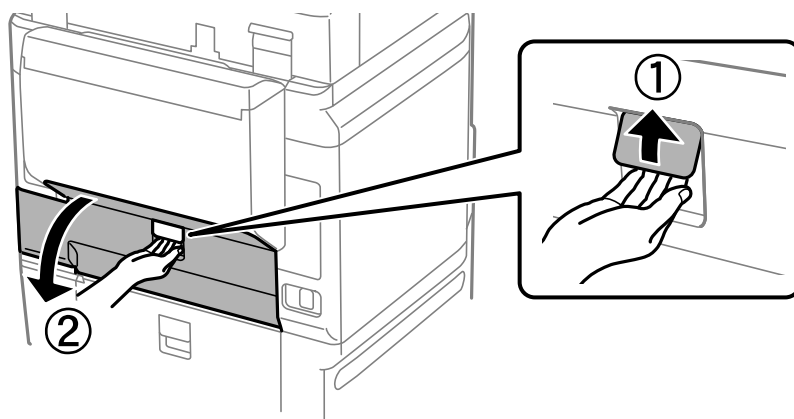


- 給紙ローラーを汚さないように注意して交換してください。給紙ローラーに塵やホコリなどが付着したとき、固く絞った柔らかい布で拭いてください。乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。

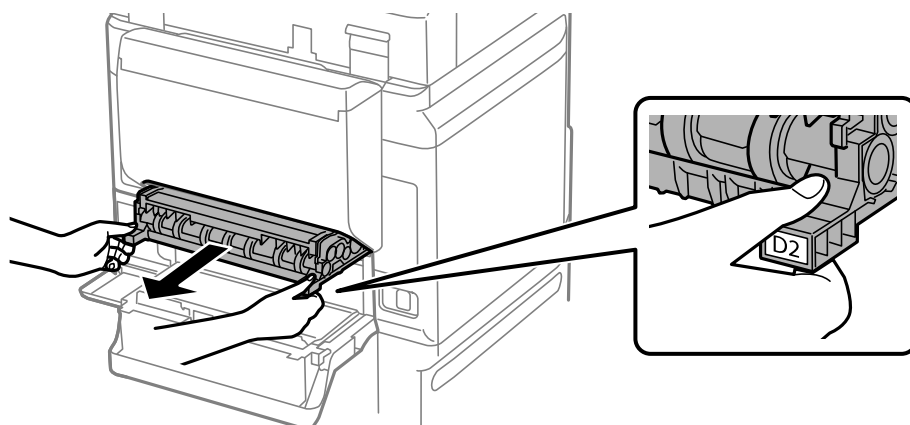
3. 用紙カセット1を引き抜きます。



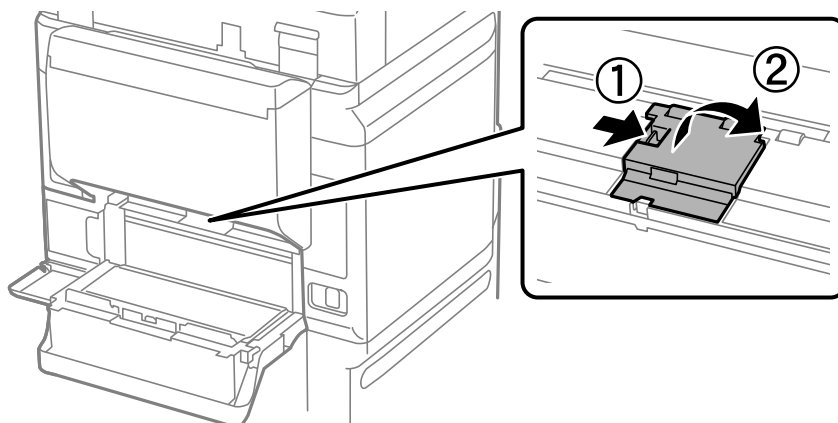
4. プリンターの向きを変えて、本体の背面カバーを開けます。



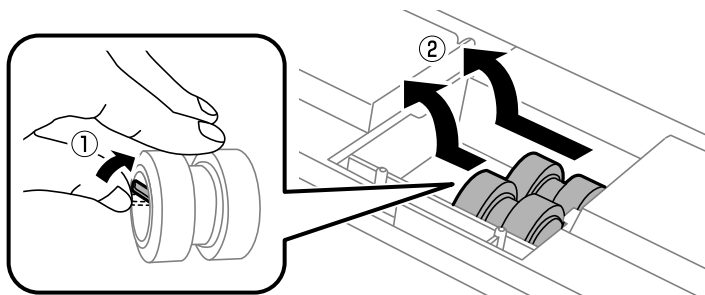
5. 両面印刷ユニットを取り外します。



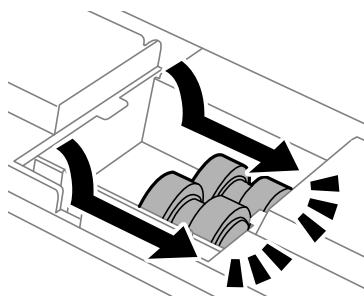
6. 本体背面内部のカバーを取り外します。



7. 使用済み給紙ローラーをスライドして2個とも取り外します。

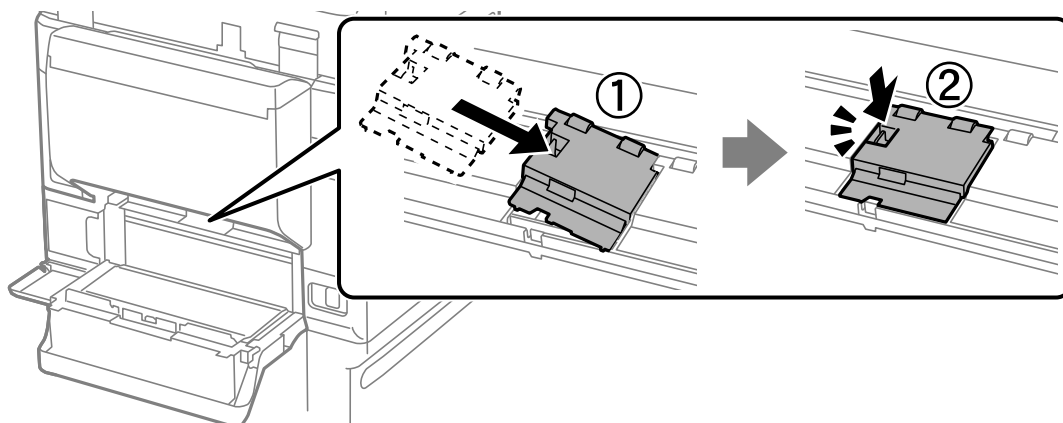


8. 2個の新しい給紙ローラーを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

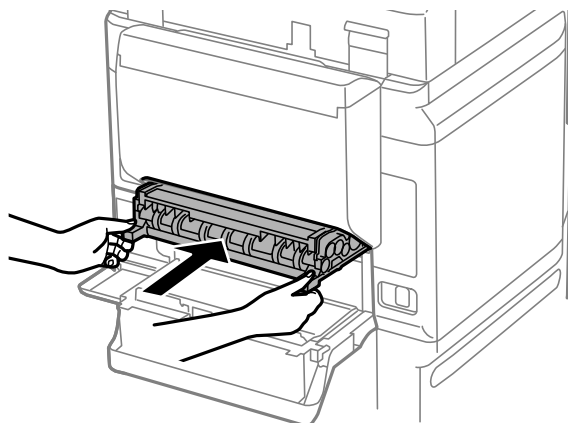


参考 給紙ローラーを回転させながら差し込むと、差し込みやすくなります。

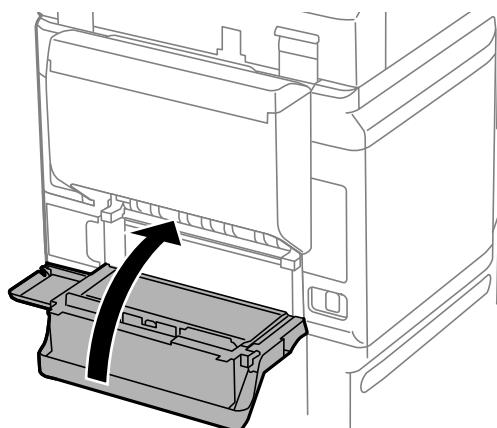
9. 本体背面内部のカバーを取り付けます。



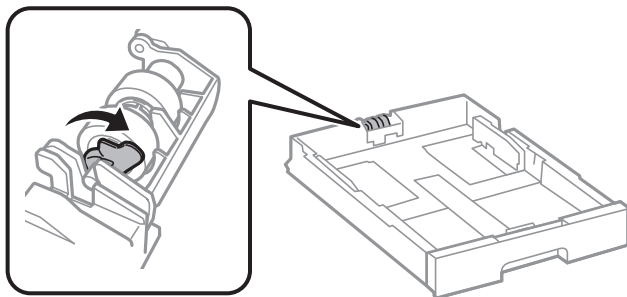
10. 両面印刷ユニットを取り付けます。



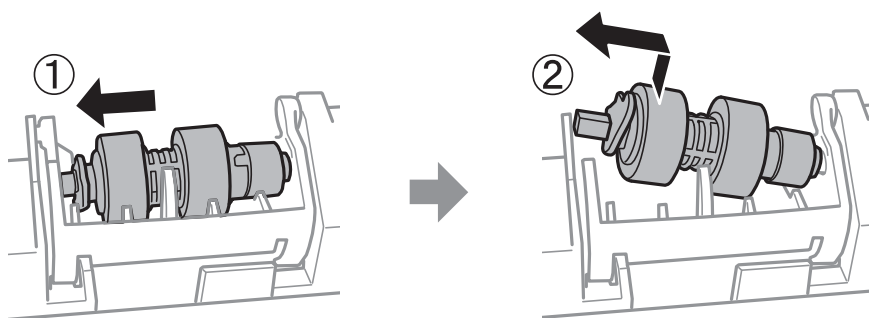
11. 背面カバーを閉めます。



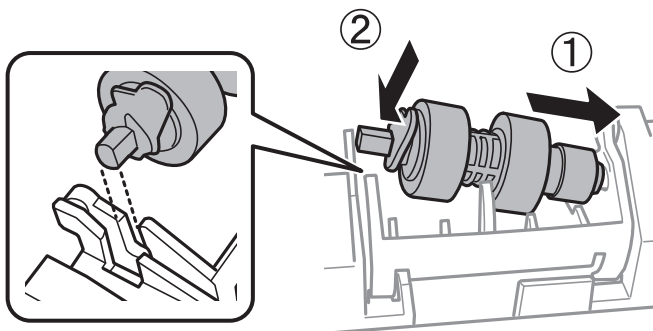
12. 用紙カセットにあるレバーのロックを外します。



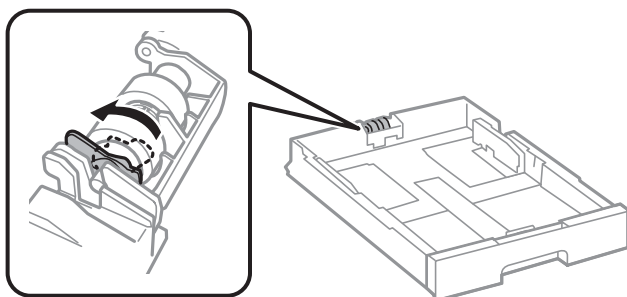
13. 給紙ローラーをレバー側にスライドさせて、軸をホルダーから抜きながら取り外します。



14. 新しい給紙ローラーの軸をホルダーの穴に差し込みます。レバー側の軸は、平らな面を手前に向けて溝に差し込んでください。



15. レバーをロックします。



16. 用紙カセットをセットします。

17. 電源を入れ、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [給紙ローラー情報] - [カウンターリセット] の順に選択して、給紙ローラーを交換した用紙カセットを選択します。

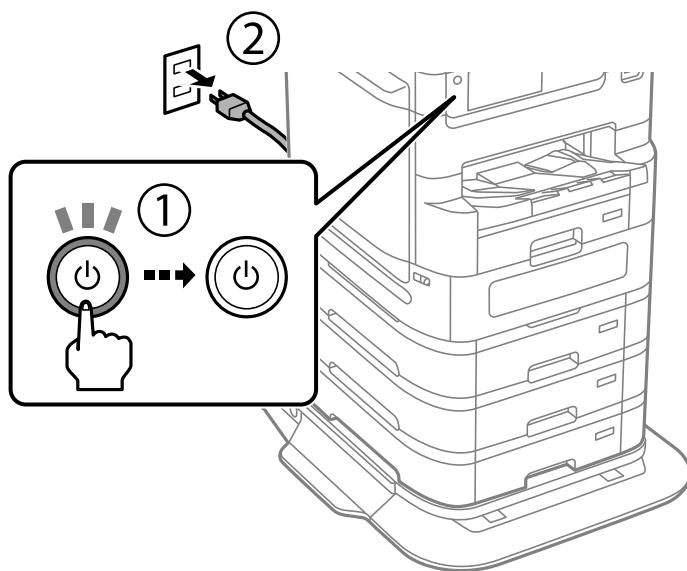
関連情報

➡ [「給紙ローラーの型番」467ページ](#)

用紙カセット2～4の給紙ローラーを交換する

給紙ローラーは本体の背面側（2個）と用紙カセット側（1個）の2か所にあります。

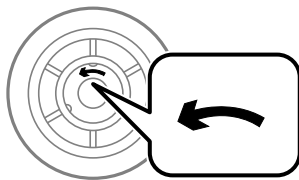
1. 電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



2. 新しい給紙ローラーを箱から取り出します。

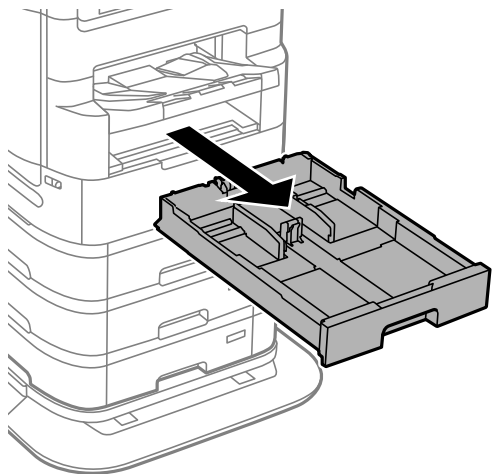
！重要

- 用紙カセット1用と用紙カセット2～4用の給紙ローラーは異なります。中央の矢印の向きを確認して、用紙カセット2～4用の給紙ローラーであることを確認してください。異なる給紙ローラーを取り付けると給紙できません。

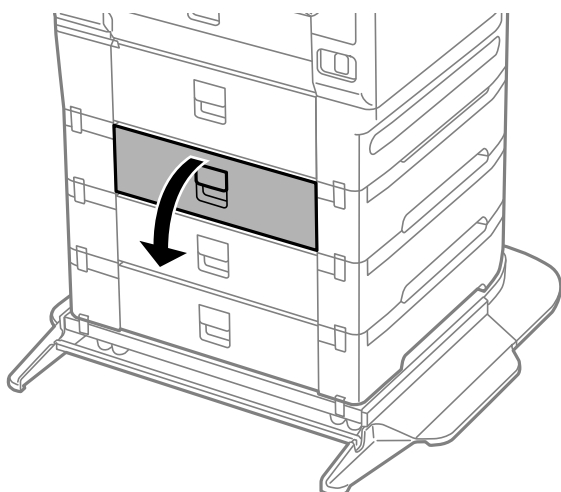


- 給紙ローラーを汚さないように注意して交換してください。給紙ローラーに塵やホコリなどが付着したときは、固く絞った柔らかい布で拭いてください。乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。

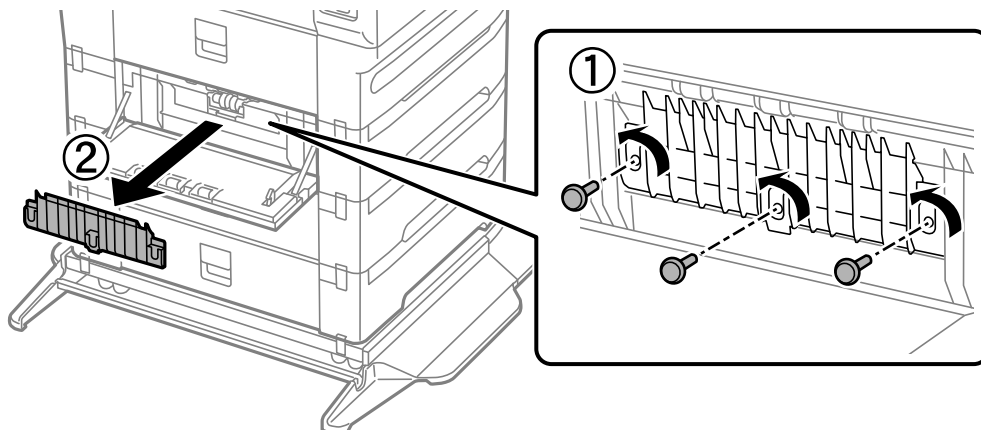
3. 交換したい用紙カセットを引き抜きます。



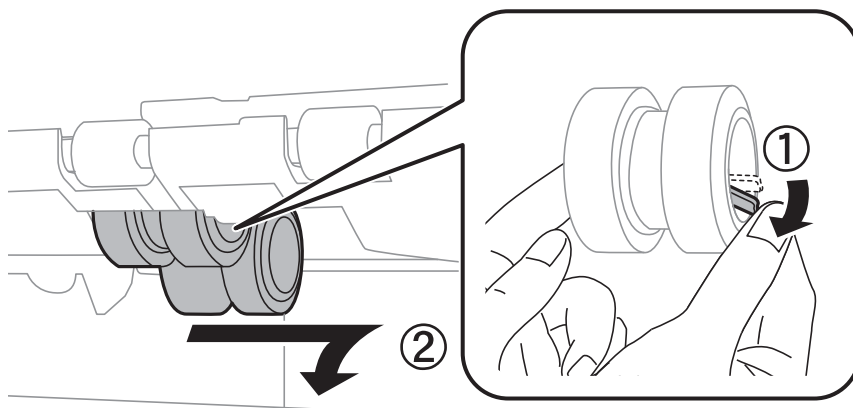
4. プリンターの向きを変えて、本体の背面カバーを開けます。



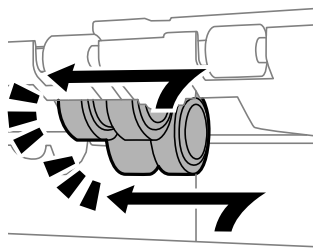
5. ドライバーでネジを取り外し、背面内部にあるカバーを取り外します。



6. 使用済み給紙ローラーをスライドして2個とも取り外します。

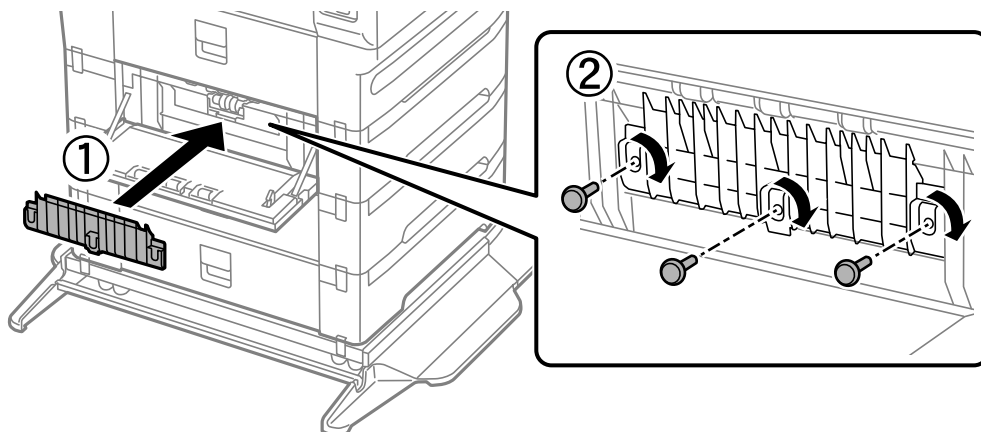


7. 2個の新しい給紙ローラーを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

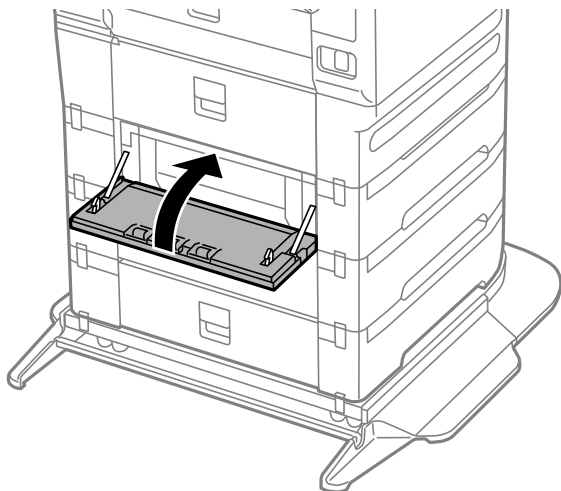


参考 給紙ローラーを回転させながら差し込むと、差し込みやすくなります。

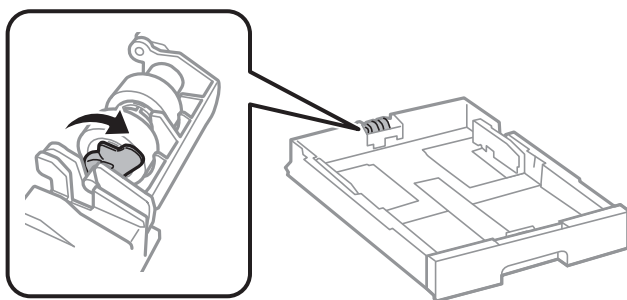
8. ネジを締めてカバーを再度取り付けます。



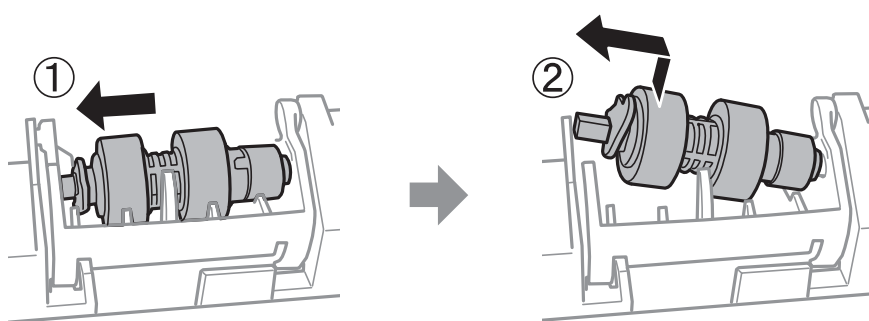
9. カバーを開めます。



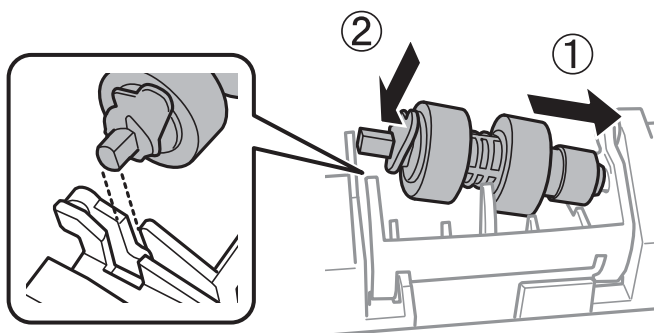
10. レバーのロックを外します。



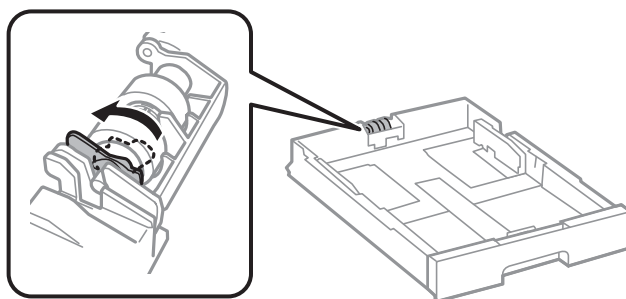
11. 給紙ローラーをレバー側にスライドさせて、軸をホルダーから抜きながら取り外します。



12. 新しい給紙ローラーの軸をホルダーの穴に差し込みます。レバー側の軸は、平らな面を手前に向けて溝に差し込んでください。



13. レバーをロックします。



14. 用紙カセットをセットします。

15. 電源を入れ、[設定] - [プリンターのお手入れ] - [給紙ローラー情報] - [カウンターリセット] の順に選択して、給紙ローラーを交換した用紙カセットを選択します。

関連情報

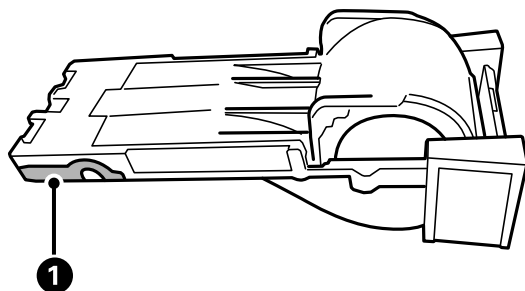
➡ [「給紙ローラーの型番」 467ページ](#)

ステープルカートリッジを交換する

ステープルカートリッジの交換時期になると、メッセージが画面に表示されます。画面の指示に従ってカートリッジを交換してください。

！重要

- 針詰まりや交換時以外はカートリッジを取り外さないでください。
- 以下の①の部分は開かないでください。



関連情報

➡ [「ステابلカートリッジの型番」 467ページ](#)

思い通りに操作できない

電源が入らない、切れない

電源が入らない

以下の原因が考えられます。

■ 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていません。

対処方法

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

■  ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

 ボタンを少し長めに押してください。

電源が切れない

■  ボタンを押している時間が不十分です。

対処方法

 ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直して、 ボタンで切ってください。

使用中に電源が切れてしまう

- 過電流保護機能が働いています。

対処方法

電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでから電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、保守サービス実施店にご連絡ください。

動作が遅い

印刷速度が遅い

以下の原因が考えられます。

- 不要なアプリケーションソフトを起動しています。

対処方法

コンピューターやスマートデバイスで、不要なアプリケーションソフトを終了してください。

- 印刷品質が高い設定になっています。

対処方法

印刷品質を下げても印刷してください。

- 双方向印刷設定が無効になっています。

対処方法

双方向印刷設定を有効にしてください。双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷速度が速くなります。

- 操作パネル
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] の順に選択して、[双方向印刷] を有効にします。
- Windows
プリンタードライバーの [応用設定] タブで [双方向印刷] をチェックします。
- Mac OS
アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。[双方向印刷] で [オン] を選択します。

■ 動作音低減モードが有効になっています。

対処方法

【動作音低減モード】を無効にしてください。動作音低減動作中は印刷速度が遅くなります。

- 操作パネル

ホーム画面で  を選択して【オフ】にします。

- Windows

プリンタードライバーの【応用設定】タブで【動作音低減モード】を【オフ】にします。

- Mac OS

アップルメニューの【システム環境設定】 - 【プリンタとスキャナ】（または【プリントとスキャン】、【プリントとファクス】）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。【オプションとサプライ】 - 【オプション】（または【ドライバ】）の順にクリックします。【動作音低減モード】でオフを選択します。

■ 両面印刷は乾燥に時間がかかります。

対処方法

両面印刷では、用紙の片面を印刷して乾燥した後でもう片面を印刷します。乾燥時間は温度や湿度などの環境により変わるため、印刷速度が遅くなることがあります。

連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった

■ 高温によるプリンター内部の損傷を防ぐための機能が働いています。

対処方法

印刷は継続できます。印刷速度を回復させるには、電源を入れたまま印刷しない状態で30分以上放置してください。電源を切って放置しても回復しません。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷速度が遅い

■ 印刷品質が高く設定されています。

対処方法

プリンタードライバーで、【印刷品質】を【はやい】に設定してください。

スキャン速度が遅い

■ 高解像度でスキャンしています。

対処方法

解像度を下げてスキャンしてください。

プリンターの画面が暗くなった

- スリープモードになっています。

対処方法

画面をタップすると元の明るさに戻ります。

「タッチパネルで復帰」を無効にしている場合は、を押してください。

➡ [「スリープ復帰方法：」482ページ](#)

プリンターの画面が反応しない

以下の原因が考えられます。

- プリンターの画面にフィルムが貼られています。

対処方法

プリンターの画面にフィルムを貼ると、光学タッチパネルのため反応しなくなります。フィルムを剥がしてください。

- プリンターの画面が汚れています。

対処方法

電源を切って、プリンターの画面を乾いた柔らかい布で拭いてください。画面が汚れていると反応しなくなります。

それでも解決しないときは、保守サービス実施店にご連絡ください。

操作パネルから操作できない

- 利用者制限された機能を利用するには、登録されたユーザーでログインする必要があります。

対処方法

パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。

画面に「×」が表示されて写真を選択できない

- 対応していない画像ファイルです。

対処方法

本製品に対応していない画像ファイルは「×」で表示されます。対応しているファイルを使用してください。

➡ [「印刷できるファイルの仕様」537ページ](#)

- ファイル名が長いためプリンターで認識できません。

対処方法

外部メモリー内の画像ファイルを、コンピューターやスマートデバイスに保存すると、写真を印刷できます。スマートデバイスの場合はEpson Smart Panelで印刷できます。

印刷が中断される

- カバー類を開けたままになっています。

対処方法

印刷中にカバー類を開けたらすぐに閉めてください。

外部メモリーが認識されない

- 外部メモリーが無効に設定されています。

対処方法

操作パネルの〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔プリンター設定〕 - 〔外部メモリー設定〕で外部メモリーを有効にしてください。

外部メモリーにデータを保存できない

以下の原因が考えられます。

- 外部メモリーに保存する設定がされていません。

対処方法

ホーム画面で〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕 - 〔保存・転送設定〕の順に選択します。設定を変更する項目を選び、〔外部メモリーに保存〕の〔保存専用フォルダー作成〕を実行してください。この設定をしない外部メモリーは使用できません。

- 外部メモリーが書き込み禁止になっています。

対処方法

書き込み禁止を解除してください。

- 外部メモリーの空き容量が少なくなっています。

対処方法

不要なデータを削除するか、別の外部メモリーを使用してください。

動作音が大きい

■ 動作音低減モードが無効になっています。

対処方法

動作音が大きいときは「動作音低減モード」を有効にしてください。ただし、動作速度が遅くなります。

- 操作パネル

ホーム画面で  を選択して「オン」にします。

- Windows

プリンタードライバーの「応用設定」タブの「動作音低減モード」で「オン」を選択します。

- Mac OS

アップルメニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」 - 「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「動作音低減モード」でオンを選択します。

日付や時刻がずれている

■ 電源供給に異常が発生しました。

対処方法

落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。「設定」 - 「本体設定」 - 「基本設定」 - 「日付/時刻設定」で日付と時刻を正しく設定してください。

ルート証明書の更新が必要になった

■ ルート証明書の有効期限が切れています。

対処方法

Web Configを起動し、「ネットワークセキュリティ」タブ-「ルート証明書更新」を選択して、ルート証明書を更新してください。

➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」475ページ](#)

印刷設定メニューが表示されない (Mac OS)

■ エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。

対処方法

macOS Catalina (10.15) 以降、macOS High Sierra (10.13)、macOS Sierra (10.12)、OS X El Capitan (10.11)、OS X Yosemite (10.10)、OS X Mavericks (10.9) で [印刷設定] メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。以下の方法で設定してください。

アップルメニューの [システム環境設定] (または [システム設定]) - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。

macOS Mojave (10.14) はテキストエディットなどアップル社製アプリケーションソフトで [印刷設定] できません。

➡ [「エプソン純正プリンターを追加する \(Mac OSのみ\)」 366ページ](#)

意図しないコピーやファクス送信がされた

■ 画面に異物が接触しました。

対処方法

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ復帰方法] の順に選択して、[タッチパネルで復帰] を無効にしてください。スリープ (省電力) モードの復帰は  ボタンを押すため、異物などの接触による誤動作を防ぎます。

発信者番号表示機能 (ナンバー・ディスプレイ対応) が働かない

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のリンクのトラブルシューティングを確認してください。

[「発信者番号表示機能 \(ナンバー・ディスプレイ対応\) が働かない」 144ページ](#)

■ ナンバー・ディスプレイサービスが契約されていません。

対処方法

発信元のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示するには、ナンバー・ディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者に問い合わせてください。

■ 以上の対処をしても発信者番号表示機能 (ナンバー・ディスプレイ対応) が働かないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「発信者番号表示機能 \(ナンバー・ディスプレイ対応\) が働かない」 144ページ](#)

送信元のファクス番号が表示されない

- 送信元のファクス機に送信元のファクス番号が設定されていません。

対処方法

送信元でファクス番号を設定していない可能性があります。送信元に連絡してください。

受信ファクスに表示された送信元のファクス番号が間違っている

- 送信元のファクス機に登録された送信元のファクス番号が違います。

対処方法

送信元で登録したファクス番号が間違っている可能性があります。送信元に連絡してください。

外付け電話機から電話ができない

外付け電話機とプリンターの接続と設定の状態について、プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「外付け電話機から電話ができない」 145ページ](#)

留守番電話が応答しない

以下の原因が考えられます。

- 留守番電話の呼び出し回数が、プリンターの呼び出し回数以上に設定されています。

対処方法

留守番電話の呼び出し回数を、プリンターの「呼び出し回数」より少なくなるように設定してください。プリンターの設定状態を確認するには、「ファクス機能設定リスト」を印刷します。プリンターの操作パネルから以下の順に操作してください。

「ファクス」 -  (応用) - 「ファクスレポート印刷」 - 「ファクス機能設定リスト」

- 以上の対処をしても留守番電話が応答しないときは

対処方法

プリンターの管理者に問い合わせてください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「留守番電話が応答しない」 455ページ](#)

迷惑ファクスがよく届く

プリンターの管理者に問い合わせ設定を確認してください。プリンターの管理者は、以下のファクスのトラブル対処をご覧ください。

[「迷惑ファクスがよく届く」 146ページ](#)

どうしても解決できないときは

印刷やコピーの問題が解決できないときは、以下の関連情報もご確認ください。

全ての対処方法を試しても問題が解決できないときは、エプソンのウェブサイトで「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。

www.epson.jp/support/faq/

それでも解決できないときは、保守サービス実施店にお問い合わせください。

関連情報

➡ [「印刷やコピーの問題が解決できない」 456ページ](#)

印刷やコピーの問題が解決できない

問題が解決できるまで、以下の項目を上から順番に実行してください。

- プリンターにセットした用紙の用紙種類と、プリンターに登録した用紙種類、プリンタードライバで設定した用紙種類を全て同じに設定します。
[「用紙サイズと種類の登録」 189ページ](#)
- 操作パネルやプリンタードライバで、印刷品質を「きれい」に設定します。
- プリンターにセットしているインクパックを装着し直します。
インクパックを装着し直すと、プリントヘッドのノズルの目詰まりが解消されてインクが出るようになることがあります。
ただし、インクパックを装着し直すとインクが消費されるため、インク残量によってはインクパック交換のメッセージが表示されることがあります。
- 「印刷トラブル解決」を実施してください。
[「印刷トラブルを解決する」 349ページ](#)
- プリンター内部にちぎれて残っている紙片がないか確認します。
- 用紙に問題ないか確認します。
用紙が反っていないか、用紙の表裏を間違えてセットしていないかなどを確認します。
[「用紙取り扱い上のご注意」 188ページ](#)
[「印刷できる用紙とセット枚数」 458ページ](#)
[「印刷できない用紙」 465ページ](#)

全て確認しても問題が解決しない場合は、修理が必要な可能性があります。保守サービス実施店にご相談ください。

関連情報

➡ [「保守サービスの種類」 626ページ](#)

➡ [「お問い合わせ先」 627ページ](#)

製品情報

用紙情報	458
消耗品情報	466
オプション品情報	467
ソフトウェア情報	468
設定メニュー一覧	479
製品仕様	526
オプションの仕様	550
規格と規制	552

用紙情報

印刷できる用紙とセット枚数

以下は2024年12月現在の情報です。

エプソン製専用紙(純正品)

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙(純正品)のご使用をお勧めします。

- 参考
- 両面印刷に対応している用紙は以下をご覧ください。
[「両面印刷できる用紙」464ページ](#)
 - エプソン製専用紙（純正品）をユーザー定義サイズで印刷するときは、印刷品質は〔標準〕のみとなります。ただし、一部のドライバーでは高品質の印刷設定を選択できますが、その場合も〔標準〕の品質で印刷されます。

文書の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット 1	用紙カセット 2～4	手差しトレイ
ビジネス普通紙	A3ノビ	-	-	120
	A3、A4	250*	500*	150
インクジェット普通紙	A5	250*	500*	150
両面上質普通紙<再生紙>	A3、A4	200*	400*	90

*： 用紙ガイドの三角マークが示す線までセット可能

文書と写真の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット 1	用紙カセット 2～4	手差しトレイ
スーパーファイン紙	A3ノビ、A3、A4	-	-	130
フォトマット紙	A3ノビ、A3、A4	-	-	35

写真の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット 1	用紙カセット 2～4	手差しトレイ
写真用紙クリスピー<高光沢>	A3ノビ、A3、四切、A4、六切、2L判、KGサイズ、L判	-	-	35
写真用紙<光沢>	A3ノビ、A3、四切、A4、六切、2L判、ハイビジョン、KGサイズ、L判	-	-	35
写真用紙<絹目調>	A3ノビ、A3、A4、2L判、L判	-	-	35
写真用紙ライト<薄手光沢>	A3ノビ、A3、A4、2L判、KGサイズ、L判	-	-	35

年賀状や挨拶状の印刷に適した用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット 1	用紙カセット 2～4	手差しトレイ
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	-	-	50
写真用紙<絹目調>ハガキ	ハガキ	-	-	35
PMマットハガキ	ハガキ	-	-	35

その他の用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット 1	用紙カセット 2～4	手差しトレイ
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	-	-	1
両面マット名刺用紙*	A4	-	-	1
長尺用紙 (LPCCJY2)	297×1200 mm	-	-	1

*： 両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフトが必要です。

市販の印刷用紙

 両面印刷に対応している用紙は以下をご覧ください。
[「両面印刷できる用紙」464ページ](#)

普通紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット1	用紙カセット2 ～4	手差しトレイ
普通紙、コピー用紙 プレプリント*1 レターヘッド 色つき用紙 再生紙	A3ノビ	-	-	120
	A3 B4 Letter A4 Executive*3 B5 A5 US B (11×17 in.)*3 8K (270×390 mm)*4 16K (195×270 mm)*4	250*2	500*2	150
	Legal	250*2	500*2	120
	A6 B6	250*2	-	150
	ユーザー定義サイズ (mm) 100～297×148～ 431.8	250*2	-	50
	ユーザー定義サイズ (mm) 148～297×210～ 431.8	250*2	500*2	50
	ユーザー定義サイズ (mm) 55～329×127～ 1200	-	-	50 (1) *5

*1： 伝票などあらかじめ各種の書式が印刷された用紙

*2： 用紙ガイドの三角マークが示す線までセット可能

*3： プリンタードライバーからの印刷は非対応

*4： プリンタードライバー、PostScriptプリンタードライバーからの印刷は非対応

*5： () 内は長さ431.9 mm以上の場合のセット枚数

厚紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	手差しトレイ
厚紙 (91～150 g/m ²)	A3ノビ	-	-	70
	A3 B4 Legal US B (11×17 in.) *2 8K (270×390 mm)*3	150*1	250*1	70
	Letter A4 Executive*2 B5 A5 16K (195×270 mm)*3		300*1	70
	B6 A6	150*1	-	70
	ユーザー定義サイズ (mm) 100～297×148～431.8	150*1	-	35
	ユーザー定義サイズ (mm) 148～297×210～431.8	150*1	250*1	35
	ユーザー定義サイズ (mm) 55～329×127～1200	-	-	35 (1) *4

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	手差しトレイ
厚紙 (151～200 g/m ²)	A3ノビ	-	-	50
	A3 B4 Legal US B (11×17 in.) *2 8K (270×390 mm)*3	120*1	200*1	50
	Letter A4 Executive*2 B5 A5 16K (195×270 mm)*3		250*1	50
	B6 A6	120*1	-	50
	ユーザー定義サイズ (mm) 100～297×148～431.8	120*1	-	25
	ユーザー定義サイズ (mm) 148～297×210～431.8	120*1	200*1	25
	ユーザー定義サイズ (mm) 55～329×127～1200	-	-	25 (1) *4

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	手差しトレイ
厚紙 (201～256 g/m ²)	A3ノビ A3 B4 Legal Letter A4 Executive*2 B5 A5 B6 A6 US B (11×17 in.) *2 8K (270×390 mm)*3 16K (195×270 mm)*3	-	-	35
	ユーザー定義サイズ (mm) 55～329×127～1200	-	-	20 (1) *4

*1： 用紙ガイドの三角マークが示す線までセット可能

*2： プリンタードライバーからの印刷は非対応

*3： プリンタードライバー、PostScriptプリンタードライバーからの印刷は非対応

*4： () 内は長さ431.9 mm以上の場合のセット枚数

ハガキ用紙（日本郵便株式会社製）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット1	用紙カセット2～4	手差しトレイ
郵便ハガキ	ハガキ	100	-	50
郵便ハガキ（インクジェット紙）*	ハガキ	100	-	50
往復ハガキ	往復ハガキ	-	-	30

*： 郵便ハガキ（インクジェット写真用）は対応していません。

封筒

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数		
		用紙カセット1	用紙カセット2 ～4	手差しトレイ
長形封筒*1	3号、4号	-	-	15
洋形封筒*2	1号、2号、3号、4号	-	-	15
角形封筒*1	2号、20号	-	-	1

*1： Mac OSからの印刷は非対応

*2： 宛名面のみ対応

両面印刷できる用紙

エプソン製専用紙（純正品）

- ビジネス普通紙
- インクジェット普通紙
- 両面上質普通紙＜再生紙＞

関連情報

➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」458ページ](#)

市販の印刷用紙

- 普通紙、コピー用紙、プレプリント、レターヘッド、再生紙、色つき用紙*1
- 厚紙 (91～150 g/m²) *1
- 厚紙 (151～200 g/m²) *2
- 厚紙 (201～256 g/m²) *2
- 郵便ハガキ*2
- 郵便ハガキ（インクジェット紙）*2
- 往復ハガキ*2

*1 A3ノビ、A6、B6サイズの内紙は自動両面印刷には対応していません。

ユーザー定義サイズ（148～297×210～431.8 mm）の内紙は自動両面印刷に対応しています。

*2 手動両面印刷のみ

関連情報

➡ [「印刷できる用紙とセット枚数」458ページ](#)

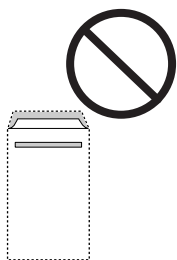
印刷できない用紙

以下の用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

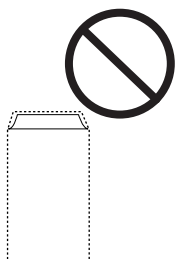
- 波打っている用紙
- 破れている用紙、切れている用紙
- 折りがある用紙
- 湿っている用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- シールなどが貼ってある用紙

以下の封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

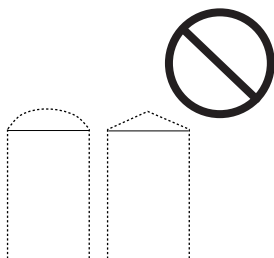
- のり付けおよび接着の処理が施された封筒



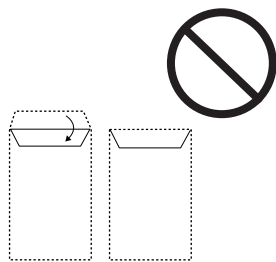
- 二重封筒



- ふたが円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒

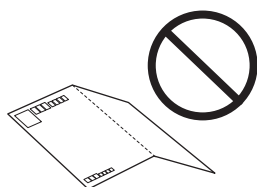


- ふたを一度折った長形封筒や折り跡のある封筒、反った封筒



- 薄い封筒
印刷中に丸まる可能性があります。

折り跡のある往復ハガキや写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキは使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



消耗品情報

純正インクパックの型番

純正品の型番は以下の通りです。

BK: ブラック	C: シアン	M: マゼンタ	Y: イエロー
PX3BK01 PX3BK02	PX3C01 PX3C02	PX3M01 PX3M02	PX3Y01 PX3Y02

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- 参考**
- インクパックに再生材を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
 - インクパックの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

メンテナンスボックスの型番

メンテナンスボックスは、お客様ご自身で購入・交換が可能な部品です。

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。
純正品の型番は以下の通りです。
PXMB6

給紙ローラーの型番

エプソン純正品の給紙ローラーを使用することをお勧めします。
純正品の型番は以下の通りです。
用紙カセット1の給紙ローラー：PXPFR3A
用紙カセット2～4の給紙ローラー：PXPFR3B

ステープルカートリッジの型番

エプソン純正品のステープルカートリッジを使用することをお勧めします。
純正品の型番は以下の通りです。
ステープルカートリッジ：PR3SC1*
*：内容量1000本以上

オプション品情報

オプションの型番

ご契約のプランによっては、基本構成に含まれているオプション品があります。ご契約時に内容をご確認ください。

オプション品	型番
認証デバイス台・P2	PR3AT1
マニュアルステープル	PR3MS1
増設カセット	PXA3CU2
専用プリンター台	PR3PS1
専用キャビネット	PXA3CBN2
増設ネットワークインターフェイスボード	PR3NW1
増設G3ファクスボード	PR3FB1

ソフトウェア情報

プリンターが対応しているソフトウェアの一部を紹介します。対応しているソフトウェアの一覧は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。最新版をダウンロードできます。

www.epson.jp/support/

関連情報

➔ [「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア \(Epson Software Updater\) 」](#) 477ページ

コンピューターから印刷するためのソフトウェア (Windowsプリンタードライバ)

プリンタードライバは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

参考 プリンタードライバの言語は変更できます。[ユーティリティ] タブの [言語選択] から言語を選択してください。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。

[ファイル] メニューの [印刷] または [印刷設定] を選択します。お使いのプリンターを選択して [詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルなどからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、以下の手順で表示します。

- Windows 11
スタートボタンをクリックし、[設定] - [Bluetoothとデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。
お使いのプリンターをクリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

プリンターアイコンをクリックして、[プリンターのプロパティ] を選択すると、コントロールパネルから表示したときと同様の印刷設定画面が表示します。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示します。

参考 タスクバーにプリンターアイコンが表示しないときは、プリンタードライバーの画面を表示して [ユーティリティ] タブの [通知の設定] をクリックして、[呼び出しアイコンをタスクバーに登録する] をチェックしてください。

ユーティリティの起動方法

プリンタードライバーの [ユーティリティ] タブをクリックします。

関連情報

➡ [「プリンタードライバーのメニュー説明」203ページ](#)

Windowsプリンタードライバー画面の見方

EPSON プリンターウィンドウ!3

プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを表示できます。消耗品の状態、印刷の進行状況も確認できます。使用するには本ソフトウェアのインストールが必要です。

コンピューターから印刷するためのソフトウェア（Mac OSプリンタードライバー）

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

アプリケーションソフトからの表示方法

[ファイル] メニューの [ページ設定] または [プリント] をクリックします。必要に応じて [詳細を表示] （または ▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては [ファイル] メニューに [ページ設定] がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティの起動方法

アップルメニューの [システム環境設定] （または [システム設定] ） - [プリンタとスキャナ] （または [プリントとスキャン] 、 [プリントとファクス] ）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

関連情報

➡ [「プリンタードライバーのメニュー説明」236ページ](#)

Mac OSプリンタードライバー画面の見方

Epson Printer Utility

〔EPSONプリンターウィンドウ〕を起動してプリンターの状態やエラーを確認したりできます。



PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア（Windows PostScript プリンタードライバー）

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピューターから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

使用中のアプリケーションソフトだけに設定を反映したいときは、アプリケーションソフトから表示します。

〔ファイル〕メニューの〔印刷〕または〔印刷設定〕を選択します。お使いのプリンターを選択して〔詳細設定〕または〔プロパティ〕をクリックします。

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

コントロールパネルからの表示方法

全てのアプリケーションソフトに設定を反映したいときは、コントロールパネルから表示します。

- Windows 11
スタートボタンをクリックし、〔設定〕 - 〔Bluetoothとデバイス〕 - 〔プリンターとスキャナー〕の順に選択します。お使いのプリンターをクリックして〔印刷設定〕を選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックし、〔Windows システムツール〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ハードウェアとサウンド〕の〔デバイスとプリンターの表示〕の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして〔印刷設定〕を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
〔デスクトップ〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ハードウェアとサウンド〕の〔デバイスとプリンターの表示〕の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして〔印刷設定〕を選択します。

- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

プリンターアイコンをクリックして、[プリンターのプロパティ] を選択すると、コントロールパネルから表示したときと同様の印刷設定画面が表示します。ダブルクリックすると、プリンターの状態を確認する画面が表示します。

関連情報

➡ [「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」 230ページ](#)

PostScriptフォントなどが印刷できるソフトウェア (Mac OS PostScriptプリンタードライバー)

PostScriptプリンタードライバーを使用すると、コンピュータから送られるページ記述言語による印刷指示をプリンターは解釈して適切に印刷できます。DTPに使用するPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。

アプリケーションソフトからの表示方法

[ファイル] メニューの [ページ設定] または [プリント] をクリックします。必要に応じて [詳細を表示] (または ▼) をクリックして詳細設定画面を開きます。

参考 アプリケーションソフトによっては [ファイル] メニューに [ページ設定] がなかったり、印刷画面を開く手順が異なったりすることがあります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

ユーティリティの起動方法

アップルメニューの [システム環境設定] (または [システム設定]) - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

関連情報

➡ [「PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明」 248ページ](#)

書類をスキャンするソフトウェア (Document Capture Pro)

Document Capture Pro*は、書類や帳票などの原稿を目的に合わせて簡単に効率よく電子化できるソフトウェアです。

保存方法は、このソフトウェアに『ジョブ』として登録されています。事前に、よく使う一連の動作をジョブとして登録しておくことで、ジョブを選ぶだけで一連の動作を実行できます。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブがあらかじめ登録されています。

詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

参考 ジョブはコンピューターからだけでなく、コンピューターとネットワークで接続しているプリンターの操作パネルからも実行できます。

*Windowsでの名称です。Mac OSでの名称は「Document Capture」です。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Document Capture] の順に選択します。

DCP Enhanced OCR

Document Capture Proの一部機能を利用するためのオプションです。ライセンスを購入すると、スキャン機能が搭載された複合機で、以下の機能を使用できます。

詳しくはDocument Capture Proのヘルプをご覧ください。

参考 DCP Enhanced OCRは、Windows ServerおよびMac OSには対応していません。

- 保存形式の選択肢追加：
Microsoft® Word、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®の保存形式を使用できます。
- 高品質な変換機能を使用可能：
検索可能PDFで、さらに高品質な変換機能をお使いいただけます。
- ユーザー定義インデックスの追加：
ジョブを作成するとき、ユーザー定義インデックスを作成できます。バーコードやOCRを元にユーザー定義インデックスを設定し、インデックスデータとして出力することができます。
- インデックス項目の出力設定の選択肢追加：
ジョブを作成するとき、インデックス項目で以下の設定が利用できるようになります。
 - 保存単位：[ドキュメント]
インデックスを出力する画像ファイル単位で保存できます。
 - ファイル名：[ファイル名]
スキャン画像のファイル名をインデックスファイルにも付けることができます。

スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)

Epson Scan 2は、スキャナーを制御するソフトウェア (スキャナードライバー) です。画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

参考 Windows Server OSをお使いの場合、[デスクトップエクスペリエンス] がインストールされていることを確認してください。

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア (FAX Utility)

FAX Utility (ファクス ユーティリティ) は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- 参考**
- Windows Server OSは非対応です。
 - FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバー (PostScriptプリンタードライバーを除く) がインストールされている必要があります。
 - お使いのコンピューターにFAX Utilityがインストールされているか確認してください。確認の仕方は、下の「Windowsでの起動方法」か「Mac OSでの起動方法」をご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

アップルメニューの[システム環境設定]（または[システム設定]） - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く]の順にクリックします。

関連情報

- ➡ [「コンピューターからファクスを送信する」335ページ](#)
- ➡ [「コンピューターでファクスを受信する」340ページ](#)

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXドライバーはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- PC-FAXドライバーがインストールされているか確認してください。下の「Windowsでの表示方法」か「Mac OSでの表示方法」をご覧ください。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル]メニューの[印刷]（または[印刷設定]など）を選択します。お使いのプリンター（FAX）を選択して[詳細設定]（または[プロパティ]）をクリックします。

Mac OSでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル]メニューの[プリント]（または[印刷]など）を選択します。[プリンタ]でお使いのプリンター（FAX）を選択して、ポップアップメニューから[ファクス設定]または[送付先設定]を選択します。

関連情報

- ➡ [「コンピューターからファクスを送信する」335ページ](#)

アドレス帳変換ツール（Windowsのみ）

アドレス帳変換ツールは、お客様のテキストアドレス帳ファイル（.csvや.txt）を、エプソン製プリンターで読み込み（インポート）できるアドレス帳ファイルに変換するツールです。宛先に関する以下の基本情報に対応しています。

- 各宛先共通の登録名/検索名
- ファクス宛先のファクス番号
- スキャンtoメール機能の宛先のメールアドレス
- フォルダー（SMB）宛先のネットワークパス/ユーザー名/パスワード
- フォルダー（FTP）宛先のサーバーURL/ユーザー名/パスワード/接続モード/ポート番号

詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

アドレス帳変換ツールの起動方法

- 参考**
- Windows Server OSは非対応です。
 - Mac OSは非対応です。
- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[全てのプログラム] - [EPSON] - [アドレス帳変換ツール] の順に選択します。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [アドレス帳変換ツール] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[全てのプログラム] (または [プログラム]) - [EPSON] - [アドレス帳変換ツール] の順に選択します。

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)

Web Config (ウェブ コンフィグ) は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からMicrosoft EdgeやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。

以下のブラウザーに対応しています。最新バージョンでお使いください。

Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

- 参考** 本製品を使用中に管理者パスワードの入力を求められることがあります。管理者パスワードについて、詳しくは以下を参照してください。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

ホーム画面のネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

- 参考** IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

書式：

IPv4：http://プリンターのIPアドレス/

IPv6：http://[プリンターのIPアドレス]/

例：

IPv4：http://192.168.100.201/

IPv6：http://[2001:db8::1000:1]/

参考 スマートデバイスでは、Epson Smart Panelの製品情報画面からもWeb Configを起動できます。

HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されますが、問題ありません。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 50ページ](#)
- ➡ [「Epson Smart Panelで印刷する」 254ページ](#)

自己署名証明書をインポートする (Windows)

自己署名証明書をインポートすると、Web Configを起動するときにブラウザーに警告が表示されなくなります。自己署名証明書の詳細やセキュリティについては管理者にお問い合わせください。

- 参考**
- 自己署名証明書のインポート方法はお使いの環境によって異なります。
 - OSのバージョンによって操作方法が異なる場合があります。

1. プリンターのIPアドレスをブラウザーに入力して、Web Configにアクセスします。
2. [ネットワークセキュリティ] タブを選択します。
3. [ダウンロード] をクリックします。
自己署名証明書がダウンロードされます。
4. ダウンロードした証明書を右クリックして[証明書のインストール] を選択します。
5. 表示された[証明書のインポートウィザードの開始] 画面で[ローカルコンピューター] を選択します。
6. [次へ] をクリックして、表示された画面で[はい] をクリックします。
7. [証明書ストア] 画面で[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択します。
8. [参照] をクリックし、表示された画面で[信頼されたルート証明機関] を選択して[OK] をクリックします。
9. [証明書ストア] 画面で[次へ] をクリックします。
10. [証明書のインポートウィザードの完了] 画面で、設定した内容を確認して[完了] をクリックします。
11. 続いて表示された画面で[OK] をクリックして完了します。
ブラウザーを再起動するとインポートした自己署名証明書が反映されます。

関連情報

- ➡ [「WebブラウザーからWeb Configを起動する」 475ページ](#)

➔ [「使用できる電子証明書」589ページ](#)

自己署名証明書をインポートする (Mac OS)

自己署名証明書をインポートすると、Web Configを起動するときにブラウザーに警告が表示されなくなります。自己署名証明書の詳細やセキュリティについては管理者にお問い合わせください。

- 参考**
- 自己署名証明書のインポート方法はお使いの環境によって異なります。
 - OSのバージョンによって操作方法が異なる場合があります。

1. プリンターのIPアドレスをブラウザーに入力して、Web Configにアクセスします。
2. [ネットワークセキュリティ] タブを選択します。
3. [ダウンロード] をクリックします。
自己署名証明書がダウンロードされます。
4. ダウンロードした証明書をダブルクリックします。
自己署名証明書がインポートされてキーチェーンアクセスが起動します。
5. キーチェーンアクセス画面で[証明書] をクリックして、インポートした証明書をダブルクリックします。
6. 表示された画面で以下の順に選択します。
[信頼] - [この証明書を使用するとき] - [常に信頼]
7. 画面を閉じて完了します。
ブラウザーを再起動するとインポートした自己署名証明書が反映されます。

ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater)

Epson Software Updaterはインターネット上にある新しいソフトウェアのインストールやファームウェアを更新するソフトウェアです。定期的に更新情報を確認したい場合は、Epson Software Updaterの確認の間隔設定で更新を確認する間隔を設定できます。

- 参考** Windows Server OSは非対応です。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EPSON Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。
- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[EPSON Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON Software] - [Epson Software Updater] の順に選択します。

 **参考** EPSON Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

関連情報

➡ [「ソフトウェアを個別にインストールする」362ページ](#)

ネットワーク上のデバイスを設定するソフトウェア (EpsonNet Config)

EpsonNet Config (エプソンネット コンフィグ) は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 11
スタートボタンをクリックして、[すべてのアプリ] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 10/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

ネットワーク上のデバイスを管理するソフトウェア (Epson Device Admin)

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターやスキャナーの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームウェアアップデート機能

- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプをご覧ください。

エプソン 認証印刷システム (Epson Print Admin)

Epson Print Adminは、Epsonデバイスを管理し、コスト削減と運用効率をサポートしてセキュリティを確保できる認証システムです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。詳細は販売店にお問い合わせください。

- デバイスで認証した後に印刷します。
- ユーザーがアクセスできるデバイス、機能、および期間を制限します。
- 全てのユーザーとデバイスの記録を保存します。
- 事前にスキャン設定を登録することで、より少ないステップでスキャンを実行できます。
- Active DirectoryまたはLDAPサーバーのユーザー情報を使用してユーザーを登録します。

EPA Advanced Workflows

Epson Print Adminの機能を拡張するためのオプションです。EPA Advanced Workflowsを利用すると、定型スキャンで以下の機能が使用できるようになります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

- 保存ファイル名のカスタマイズ
- テキスト検索可能なPDFの作成
- スキャン保存ファイルの仕分け
- スキャン時の情報を出力

設定メニュー一覧

操作パネルのホーム画面で「設定」を選択すると、プリンターのいろいろな設定ができます。ファームウェアのバージョンによって機能名称や設定メニューの項目が変更になることがあります。

本体設定

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [基本設定]

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。（初期値は [9] ）

音の設定：

ミュート：

有効にすると、[操作音] などの音を消音します。

通常時：

操作音などの音の設定をします。

ファクス：

以下のファクス機能の音量を設定します。

着信音：

ファクス受信時の音量を設定します。

受信完了音：

ファクスの受信が完了したときの音量を設定します。

受信印刷完了音：

受信したファクスの印刷が完了したときの音量を設定します。

ダイヤル中スピーカー音：

ファクス送信時のダイヤル音の音量を設定します。

送信完了音：

ファクスの送信が完了したときの音量を設定します。

操作音：

操作パネルの画面で項目をタップしたときの音量を設定します。

ADFセット音：

原稿をADFにセットしたときの音量を設定します。

正常終了音：

正常に動作が完了したときの音量を設定します。

エラー音：

エラー発生時の音量を設定します。

エラー音の繰り返し：

エラー音を繰り返し鳴らすかを設定します。

音の種類：

音の種類を設定します。

動作音低減モード時：

動作音低減モードの音の設定をします。

ファクス：

以下のファクス機能の音量を設定します。

着信音：

ファクス受信時の音量を設定します。

受信完了音：

ファクスの受信が完了したときの音量を設定します。

受信印刷完了音：

受信したファクスの印刷が完了したときの音量を設定します。

ダイヤル中スピーカー音：

ファクス送信時のダイヤル音の音量を設定します。

送信完了音：

ファクスの送信が完了したときの音量を設定します。

操作音：

操作パネルの画面で項目をタップしたときの音量を設定します。

ADFセット音：

原稿をADFにセットしたときの音量を設定します。

正常終了音：

正常に動作が完了したときの音量を設定します。

エラー音：

エラー発生時の音量を設定します。

エラー音の繰り返し：

エラー音を繰り返し鳴らすかを設定します。

音の種類：

音の種類を設定します。

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は [1分]）

スリープ復帰方法：

タッチパネルで復帰：

有効にすると、タッチパネルをタップしてスリープ（省電力）モードから復帰します。無効のときは、操作パネルのボタンを押して復帰します。この機能を無効にすると異物などの接触による誤動作を防ぎます。有効時間の設定もできます。（初期値は [する]）

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間を設定します。（初期値は [設定しない]）

日付/時刻設定：

日付/時刻：

日付と時間を設定します。

時差：

協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は [日本語]）

初期モード：

プリンターの電源を入れたときや [無操作タイマー設定] を有効にしたときに、初期画面として表示するモードを指定します。（初期値は [ホーム]）

ホーム画面編集：

操作パネルの画面で表示するアイコンの配置を変更します。アイコンの追加、消去、移動ができます。（レイアウトの初期値は [1行]）

レイアウト：

ホーム画面のレイアウトを選択します。

アイコンの追加：

アイコンをホーム画面に追加します。

アイコンの消去：

ホーム画面からアイコンを削除します。

アイコンの移動：

ホーム画面のアイコンを移動します。

クイックアクション設定：

ホーム画面に、コピーまたはスキャンのお気に入り設定を呼び出すショートカットアイコンを追加しているときに設定できます。ホーム画面のアイコンをタップするだけで、コピーまたはスキャンがすぐに実行できるようになります。

アイコン表示を初期状態に戻す：

ホーム画面のアイコン表示を初期状態に戻します。

無操作タイマー設定： 

［オン］にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。（初期値は［オン］）

ジョブ/状態の初期画面： 

 ボタンを押したときに表示する情報を選択します。（初期値は［プリンター状態］）

原稿サイズ自動検知オプション： 

用紙サイズの自動検知で優先するサイズを設定します。

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。

［設定］ - ［本体設定］ - ［プリンター設定］

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。［用紙サイズの自動検知］を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。（初期値は各給紙装置ともに用紙サイズ［A4］、用紙種類［普通紙］、用紙サイズの自動検知［オン］）

手差しトレイ優先：

［オン］を選択すると、手差しトレイからの給紙を優先します。（初期値は［オフ］）

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は［オフ］）

給紙口自動選択：

用紙がなくなったときに、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動で給紙します。コピー、ファクス、その他（印刷全般）の機能ごとに、各給紙装置に対して自動選択の対象にするか設定できます。全てをオフには設定できません。（初期値は各給紙装置ともに［オン］）印刷ジョブの用紙設定で特定の給紙装置を選択したときは、この設定が無効になります。プリンタードライバーの［基本設定］タブにある用紙種類の設定によっては、自動で給紙されない場合があります。

用紙なし時の給紙口自動切換：コピー：

有効にすると、指定した給紙装置の用紙がなくなったときに、用紙がある他の給紙装置から自動で給紙されます。コピー時に適用されます。〔給紙口自動選択〕で選択されていない給紙装置や、指定した給紙装置と異なる用紙設定（用紙種類、用紙サイズ）の給紙装置からは自動で給紙されません。（初期値は〔オフ〕）

以下の場合には本機能が適用されません。

〔給紙口自動選択〕で選択されていない給紙装置を、コピー時の給紙装置に設定していたとき

エラー通知：

用紙サイズエラー：

〔オン〕にすると、印刷設定で指定したサイズと給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示させます。（初期値は〔オン〕）

用紙種類エラー：

〔オン〕にすると、印刷設定で指定した用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示させます。（初期値は〔オン〕）

設定画面自動表示：

有効にすると、給紙装置に用紙をセットするときに〔用紙設定〕を表示します。（初期値は〔オン〕）
この設定を無効にすると、iPhone、iPad、iPod touchからAirPrintを使った印刷ができません。

ユーザー定義サイズリスト：

ユーザー定義サイズの設定を変更できます。頻繁に使用する不定形の用紙サイズを設定しておくとう便利です。

印刷言語： 

USBからの印刷：

USB接続時の印刷言語を選択します。（初期値は〔Auto〕）

ネットワークからの印刷：

ネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は〔Auto〕）

増設ネットワークからの印刷： 

増設ネットワークインターフェイスボードで接続時の印刷言語を選択します。（初期値は〔Auto〕）

外部機器(PC)印刷設定： 

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。印刷位置調整は、プリンタードライバーからの印刷でも有効にすることができます。

上印刷位置調整：

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は〔0.0〕）

左印刷位置調整：

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は〔0.0〕）

裏面上印刷位置調整：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は [0.0] ）

裏面左印刷位置調整：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は [0.0] ）

紙幅チェック印刷：

[オン] にすると、印刷前に用紙幅をチェックします。用紙サイズ設定の間違いなどで用紙から印刷がはみ出すなどのトラブルを回避できます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。（初期値は [オフ] ）

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを印刷しないことで、用紙を節約することができます。（初期値は [オフ] ）

本体色補正：

本体色補正：

明るさやコントラストなどの設定をして、外部機器から印刷するときに色補正をします。有効の場合はプリンタードライバーで設定した色補正よりも優先されます。（初期値は [オフ] ）

明るさ調整：

画像の明るさを調整します。（初期値は [0] ）

コントラスト：

画像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。（初期値は [0] ）

鮮やかさ調整：

画像の鮮やかさを調整します。（初期値は [0] ）

色調補正 レッド：

赤色の色調を調整します。この値を大きくすると、色調は赤色へ補正されます。小さくすると、赤色の補色であるシアンへ補正されます。（初期値は [0] ）

色調補正 グリーン：

緑色の色調を調整します。この値を大きくすると、色調は緑色へ補正されます。小さくすると、緑色の補色であるマゼンタへ補正されます。（初期値は [0] ）

色調補正 ブルー：

青色の色調を調整します。この値を大きくすると、色調は青色へ補正されます。小さくすると、青色の補色である黄色へ補正されます。（初期値は [0] ）

PDL印刷設定： 

共通設定：

用紙サイズ：

印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は [A4] ）

用紙種類：

印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は [普通紙] ）

用紙方向：

印刷時の印刷方向を選択します。（初期値は [縦] ）

印刷品質：

印刷品質を選択します。（初期値は [標準] ）

インクセーブモード：

[オン] を選択すると、印刷濃度を薄くしてインクを節約します。（初期値は [オフ] ）

印刷順序：

最初のページから印刷するか、最後のページから印刷するかを選択します。（初期値は [正順印刷] ）

正順印刷：

1ページ目から印刷します。

逆順印刷：

最終ページから印刷します。

コピー枚数設定：

コピー枚数を選択します。（初期値は [1] ）

とじ位置：

用紙のとじ位置を選択します。（初期値は [左右開き] ）

自動排紙設定：

[オン] を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。（初期値は [オフ] ）

両面印刷：

[オン] を選択すると、用紙の表裏に印刷します。（初期値は [オフ] ）

PS設定：

PS印刷の設定をします。

PSエラーシート：

［オン］を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。（初期値は［オフ］）

Coloration：

PostScript印刷のカラーモードを選択します。（初期値は［カラー］）

Binary：

バイナリー形式の画像が含まれるデータの印刷時に［オン］を選択します。ドライバーの設定がASCIIになっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがありますが、この設定を有効にすると印刷できます。（初期値は［オフ］）

PDF印刷 用紙サイズ：

PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。（初期値は［自動］）

自動エラー解除： 

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は［オフ］）

- オン
両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー設定： 

プリンターに挿入した外部メモリーへの接続について設定します。

外部メモリー：

有効にすると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続できるようになります。無効にすると、プリンターに挿入した外部メモリーのデータの読み込み、印刷、および外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は［有効］）

ファイル共有：

USB接続されたコンピューターまたはネットワーク接続されたコンピューターのどちらから、プリンターに挿入された外部メモリーに書き込みできるかを選択します。（初期値は［USB接続優先］）

こすれ軽減： 

有効にすると印刷時のこすれを軽減します。ただし、印刷速度が遅くなることがあるため、印刷結果にこすれがあるときだけ有効にしてください。（初期値は［しない］）

動作音低減モード： 

［オン］にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、動作速度が遅くなる場合があります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。動作音低減を優先するときは［オン］を選択します。印刷速度を優先するときは［オン(低減度：小)］を選択します。（初期値は［オフ］）

両面印刷待ち時間:

両面印刷時の乾燥時間を設定します。両面印刷では、片面を印刷後、乾燥のための時間を少しおいてからもう一方の面を印刷します。印刷結果がこすれて汚れるときは、この時間を長めに設定してください。（初期値は「標準」）

双方向印刷:

有効にすると、プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。無効にすると罫線のズレが改善されることがありますが、印刷に時間がかかります。（初期値は「する」）

排紙トレイ自動延長:

有効にすると、A4サイズより大きい用紙に印刷するときに、排紙トレイが自動的に延長します。（初期値は「オン」）

コンピューターのUSB接続:

「有効」にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。「無効」にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。（初期値は「有効」）

USB I/Fタイムアウト時間設定:

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了します。（初期値は「60秒」）

関連情報

- ➡ [「用紙をセットする」191ページ](#)
- ➡ [「簡単な設定で印刷する」202ページ](#)
- ➡ [「外部メモリー内のJPEGデータを印刷する」258ページ](#)
- ➡ [「外部メモリー内のTIFFデータを印刷する」259ページ](#)

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定]

無線LAN接続設定:

ルーター:

無線LANルーターを検索:

SSIDとパスワードを入力して無線LANの設定をします。

プッシュボタンで設定(AOSS/WPS):

プッシュボタンでAOSS/WPSを設定して、無線LANの設定をします。

その他：

- PINコード自動設定(WPS)
PINコード自動設定(WPS)で無線LANの設定をします。
- カンタン自動設定
コンピューターやスマートデバイスの無線LAN情報を使って無線LAN接続をします。
- 無線LANを無効にする
無線LANを無効にします。インフラストラクチャー接続が切断されます。

Wi-Fi Direct：

 (Menu)：

- 接続名を変更する
Wi-Fi DirectのSSID（ネットワーク名）を変更します。
- パスワードを変更する
Wi-Fi Direct接続のパスワードを変更します。
- 周波数帯を変更する
Wi-Fi Direct接続の周波数帯を選択します。周波数帯を変更すると接続しているデバイスは切断されます。
使用可能なチャンネルとこれらのチャンネルでの屋外使用可否については、地域によって異なります。
<https://support.epson.net/wifi5ghz/>
- Wi-Fi Directを無効にする
Wi-Fi Directを無効にします。
- 初期設定に戻す
Wi-Fi Directの設定を初期値に戻します。

別の方法でつなぐ：

- iOSデバイスとつなぐ
iPhone、iPad、iPod touchからQRコードを読み取り、Wi-Fi Directで接続します。
- その他スマートデバイスとつなぐ
SSIDとパスワードを入力してWi-Fi Directの設定をします。

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

有線・無線接続状態：

プリンターのネットワークの情報を表示します。

Wi-Fi Direct接続状態：

Wi-Fi Direct設定の内容を表示します。

メールサーバー設定確認：

メールサーバー設定情報を表示します。

ステータスシート印刷：

ネットワークステータスシートを印刷します。
有線LAN、無線LAN、Wi-Fi Directなどの情報が2ページ以上にわたって印刷されます。

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

デバイス名：

デバイス名を2～53文字で変更します。

TCP/IP:

固定IPアドレスの場合は、IPの設定をします。
自動で割り当てられる場合は、DHCP機能によって割り当てられたIPアドレスを使用します。
手動で設定する場合は、[手動設定] に変更して割り当てたいIPアドレスを入力します。
(初期値は [自動設定])

プロキシサーバー：

お使いのネットワーク環境でプロキシサーバーを使用していてプリンターにも設定したい場合にこの設定をします。

メールサーバー：

メール転送機能を使用する場合のメールサーバー情報の設定と接続確認をします。

IPv6アドレス：

IPv6アドレスを有効にするかどうかを設定します。
(初期値は [有効])

MS Network共有：

ファイル共有機能を使用したい場合に設定します。
(初期値は [有効])

Link Speed & Duplex：

適切な有線LANの速度とduplexの設定を選択します。自動以外を選択した場合、ご使用のハブに合った設定になっているかを確認してください。
(初期値は [自動])

HTTPをHTTPSにリダイレクト：

HTTPからHTTPSへのリダイレクトを有効にするか無効にするかを設定します。
(初期値は [有効])

IPsec/IPフィルタリングの無効化：

IPsec/IPフィルタリングの設定を無効にします。
(初期値は [無効])

IEEE802.1Xの無効化：

IEEE802.1Xの設定を無効にします。
(初期値は [無効])

iBeacon対応機器からの探索：

iBeacon対応機器からの探索を有効にするか無効にするかを選択します。有効にすると、iBeacon対応機器からプリンターを探索できます。
(初期値は [無効])

関連情報

- ➡ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 48ページ
- ➡ 「プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS) 」 48ページ
- ➡ 「PINコードで設定する (WPS) 」 49ページ
- ➡ 「プリンターのネットワーク接続状態を調べたい (ネットワーク接続診断) 」 368ページ

ネットワーク設定 (増設ネットワーク使用時)

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定]

標準

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [標準]

無線LAN接続設定：

ルーター：

無線LANルーターを検索：

SSIDとパスワードを入力して無線LANの設定をします。

プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)：

プッシュボタンでAOSS/WPSを設定して、無線LANの設定をします。

その他：

- PINコード自動設定(WPS)
PINコード自動設定(WPS)で無線LANの設定をします。
- カンタン自動設定
コンピューターやスマートデバイスの無線LAN情報を使って無線LAN接続をします。
- 無線LANを無効にする
無線LANを無効にします。インフラストラクチャー接続が切断されます。

Wi-Fi Direct :

 (Menu) :

- 接続名を変更する
Wi-Fi DirectのSSID（ネットワーク名）を変更します。
- パスワードを変更する
Wi-Fi Direct接続のパスワードを変更します。
- 周波数帯を変更する
Wi-Fi Direct接続の周波数帯を選択します。周波数帯を変更すると接続しているデバイスは切断されます。
使用可能なチャンネルとこれらのチャンネルでの屋外使用可否については、地域によって異なります。
<https://support.epson.net/wifi5ghz/>
- Wi-Fi Directを無効にする
Wi-Fi Directを無効にします。
- 初期設定に戻す
Wi-Fi Directの設定を初期値に戻します。

別の方法でつなぐ:

- iOSデバイスとつなぐ
iPhone、iPad、iPod touchからQRコードを読み取り、Wi-Fi Directで接続します。
- その他スマートデバイスとつなぐ
SSIDとパスワードを入力してWi-Fi Directの設定をします。

有線LAN接続設定:

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報 :

有線・無線接続状態 :

プリンターのネットワークの情報を表示します。

Wi-Fi Direct接続状態 :

Wi-Fi Direct設定の内容を表示します。

メールサーバー設定確認 :

メールサーバー設定情報を表示します。

ステータスシート印刷 :

ネットワークステータスシートを印刷します。
有線LAN、無線LAN、Wi-Fi Directなどの情報が2ページ以上にわたって印刷されます。

接続診断 :

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

デバイス名：

デバイス名を2～53文字で変更します。

TCP/IP：

固定IPアドレスの場合は、IPの設定をします。

自動で割り当てる場合は、DHCP機能によって割り当てられたIPアドレスを使用します。

手動で設定する場合は、〔手動設定〕に変更して割り当てたいIPアドレスを入力します。

（初期値は〔自動設定〕）

プロキシサーバー：

お使いのネットワーク環境でプロキシサーバーを使用していてプリンターにも設定したい場合にこの設定をします。

メールサーバー：

メール転送機能を使用する場合のメールサーバー情報の設定と接続確認をします。

IPv6アドレス：

IPv6アドレスを有効にするかどうかを設定します。

（初期値は〔有効〕）

MS Network共有：

ファイル共有機能を使用したい場合に設定します。

（初期値は〔有効〕）

Link Speed & Duplex：

適切な有線LANの速度とduplexの設定を選択します。自動以外を選択した場合、ご使用のハブに合った設定になっているかを確認してください。

（初期値は〔自動〕）

HTTPをHTTPSにリダイレクト：

HTTPからHTTPSへのリダイレクトを有効にするか無効にするかを設定します。

（初期値は〔有効〕）

IPsec/IPフィルタリングの無効化：

IPsec/IPフィルタリングの設定を無効にします。

（初期値は〔無効〕）

IEEE802.1Xの無効化：

IEEE802.1Xの設定を無効にします。

（初期値は〔無効〕）

iBeacon対応機器からの探索：

iBeacon対応機器からの探索を有効にするか無効にするかを選択します。有効にすると、iBeacon対応機器からプリンターを探索できます。

（初期値は〔無効〕）

増設

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [増設]

ネットワーク情報：

有線接続状態：

増設ネットワークのネットワーク情報を表示します。

ステータスシート印刷：

増設ネットワークのネットワークステータスシートを印刷します。

詳細設定：

増設ネットワーク用の管理者パスワードの入力が必要です。

TCP/IP：

増設ネットワークのIPの設定をします。

IPv6アドレス：

増設ネットワークのIPv6アドレスを有効にするかどうかを設定します。
(初期値は [有効])

Link Speed & Duplex：

増設ネットワークの適切な有線LANの速度とduplexの設定を選択します。
(初期値は [自動])

HTTPをHTTPSにリダイレクト：

増設ネットワークで、HTTPからHTTPSへのリダイレクトを有効にするか無効にするかを設定します。
(初期値は [有効])

IPsec/IPフィルタリングの無効化：

増設ネットワークのIPsec/IPフィルタリングの設定を無効にします。
(初期値は [無効])

IEEE802.1Xの無効化：

増設ネットワークのIEEE802.1Xを無効にします。
(初期値は [無効])

初期設定に戻す：

増設ネットワーク回線の設定を初期値に戻します。
増設ネットワーク用の管理者パスワードの入力が必要です。

ネットワーク送信経路：

ネットワーク送信経路を標準と増設のいずれかから選択します。

LDAPサーバー：

アドレス帳や認証システムでLDAPサーバーを利用する場合、LDAPサーバーとの接続に標準、または増設のどちらのネットワークを使うか選択します。（初期値は〔標準〕）

Webサービス設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔Webサービス設定〕

Epson Connect設定：

Epson Connectサービスへの登録状態を表示します。

〔登録する〕を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。

Epson Connect サービス利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

登録すると以下の設定ができます。

サービスの一時停止/再開：

Epson Connectサービスの利用を一時停止するか、または停止していたサービスを再開するかを設定します。

登録削除：

Epson Connectサービスからプリンターの登録を解除します。

ファクス設定（ファクス対応機のみ）

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕

参考

- Web Configからもアクセスできます。Web Config画面の〔ファクス〕タブをクリックしてください。
- Web Configでのメニュー名や表示場所は、プリンターの操作パネルの〔ファクス設定〕と異なることがあります。

関連情報

- ➔ [「基本設定」 496ページ](#)
- ➔ [「送信設定」 501ページ](#)
- ➔ [「受信設定」 503ページ](#)
- ➔ [「レポート設定」 512ページ](#)
- ➔ [「セキュリティ設定」 514ページ](#)
- ➔ [「ファクス診断」 515ページ](#)

➡ [「ファクス設定ウィザード」 515ページ](#)

クイック操作ボタン

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [クイック操作ボタン] の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは設定画面を表示できません。

クイック操作ボタン1、クイック操作ボタン2、クイック操作ボタン3：

ファクス送信時によく使う項目を3つまで登録できます。登録した項目は、[ファクス] メニューの [ファクス設定] タブの先頭に表示されます。

初期設定：[クイック操作ボタン1] は [通信履歴表示]、[クイック操作ボタン2] と [クイック操作ボタン3] は [使用しない]

基本設定

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは [ファクス] タブ- [基本設定] の順にクリックすると表示されます。

通信モード：

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは [9.6kbps(G3)] をお勧めします。

初期設定：[33.6kbps(スーパーG3)]

エラー訂正(ECM)：

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します (ECM機能)。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。

初期設定：[オン]

ダイヤルトーン検出：

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX (構内交換機) やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は [接続回線] を [構内交換機(PBX)] にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

初期設定：[オン]

ダイヤル種別：

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線の種類がわからないときは、[ファクス] 画面の  (オンフック) をタップしてダイヤルトーンが聞こえたら117 (時報) や自分の携帯電話などにダイヤルし、[プッシュ] → [ダイヤル(20PPS)] → [ダイヤル(10PPS)] の順に設定を変えて、つながるかどうか試してください。

初期設定：[プッシュ]

ナンバー・ディスプレイ対応：

ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは下の関連情報をご覧ください。

[「発信元の電話番号を表示する設定にする」 127ページ](#)

初期設定：[オフ]

接続回線：

プリンターを接続した回線の種類を選択します。

初期設定：[一般回線（PSTN）]

一般回線(PSTN)：

プリンターを公衆交換電話網（PSTN）に接続したときに[一般回線(PSTN)]を選択します。

構内交換機(PBX)：

内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)]を選択して外線発信番号を登録します。ターミナルアダプターなどを使用している環境でも[構内交換機(PBX)]に設定することをお勧めします。

外線発信番号：

[使用する]を選択して、「0」や「9」などの外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#を入力します。[アドレス帳]に登録するときも、「0」や「9」などの代わりに#を付けて宛先を登録します。

[「構内交換機（PBX）の設定」 121ページ](#)

初期設定：[使用しない]

発信元設定：

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。

発信元番号：

0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。Web Configでは、30文字以内で入力できます。

発信元名：

40文字以内で21件まで入力できます。Web Configでは、Unicode（UTF-8）で表せる文字で入力します。

受信モード：

受信モードを選択します。

初期設定：[自動]

[「相手先から送られてきたファクスを受信する」 312ページ](#)

呼び出し回数：

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。

初期設定：[1] 回

電話呼び出し回数：

〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。

初期設定：〔8〕回

リモート受信：

リモート受信：

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。

初期設定：〔オフ〕

起動コード：

〔リモート受信〕の開始コードです。0～9 * #を使用し、2文字で入力します。

初期設定：〔**〕

着信・ファクス受信拒否：

着信拒否：

迷惑ファクスの着信拒否を設定します。G3回線で着信拒否をする場合は回線とは別にナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

拒否番号リスト：

拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。

初期設定：〔オフ〕

非通知：

送信元情報が設定されていないファクスの着信を拒否します。

初期設定：〔オフ〕

拒否SIP URIリスト：

拒否SIP URIリストに載っているSIP URIの着信を拒否します。

初期設定：〔オフ〕

ファクス受信拒否：

迷惑ファクス拒否の設定をします。

拒否番号リスト：

拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。

初期設定：〔オフ〕

非通知：

送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。

初期設定：〔オフ〕

アドレス帳未登録：

アドレス帳に登録されていない番号の受信を拒否します。

初期設定： [オフ]

拒否番号リスト編集：

拒否番号リストに登録できるのは30件までです。0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。

拒否SIP URIリスト編集： 

拒否SIP URIリストに登録できるのは30件までです。A～Z a～z 0～9 ! # \$ % & ' () * + , - . / : ; = ? _ ` @ []を使用し、127文字以内で入力します。

受信紙宣言：

ファクス受信に使う最大の用紙サイズを選択します。

設定した用紙サイズは、受信可能な最大用紙サイズとして、ファクス受信の際に送信側に通知されます。

例えば、[A3/11x17in] に設定すると送信側に [A3/11x17in] を通知します。送信側の原稿がA3サイズのときはA3のまま送信してきます。

[自動] に設定すると、[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択] -

[ファクス] で選択している用紙カセットのなかで最大の用紙サイズを送信側に通知します。

初期設定： [自動]

保存・転送時のファイル形式：

保存・転送時のファイル形式：

保存・転送するファクスのファイル形式を、[PDF] と [TIFF] から選択します。

なお、クラウド宛先へ転送したファクスは、ここでの設定に関わらずPDFで保存されます。

初期設定： [PDF]

PDF設定：

この設定は [保存・転送時のファイル形式] で [PDF] を選択しているときに有効です。

文書を開くパスワード：

- パスワード設定：
文書を開くためのパスワードを有効にします。
初期設定： [設定しない]
- パスワード：
文書を開くパスワードを設定します。

権限パスワード：

- パスワード設定
PDFファイルの印刷や編集を許可するためのパスワード設定を有効にします。
初期設定： [設定しない]
- パスワード
権限パスワードを設定します。
- 印刷許可
PDFファイルの印刷を許可します。
初期設定： [許可する]

- 編集許可
PDFファイルの編集を許可します。
初期設定：〔許可する〕

クラウド宛先リスト：

Epson Connectを利用している場合、Epson Connectの管理するクラウドサービスの宛先の中から5件までをリストに登録できます。リストに登録した宛先をファクス転送先に指定すると、受信ファクスをファイル化してアップロードできます。

国や地域によってはオンラインサービスを利用できない場合があります。

増設回線設定：

G3-2：

各項目の機能は、標準のファクスと同じです。

- 通信モード
- エラー訂正(ECM)
- ダイヤルトーン検出
- ダイヤル種別
- ナンバー・ディスプレイ対応
- 接続回線
- 発信元番号
- 呼び出し回数

G3-3：

各項目の機能は、標準のファクスと同じです。

- 通信モード
- エラー訂正(ECM)
- ダイヤルトーン検出
- ダイヤル種別
- ナンバー・ディスプレイ対応
- 接続回線
- 発信元番号
- 呼び出し回数

IPファクス：

各項目の機能は、標準のファクスと同じです。

- 通信モード
- エラー訂正(ECM)
- 発信元番号(LAN) 
- 発信元番号(NGN)
- 発信元番号(VoIPゲートウェイ) 
- 認定番号

回線別通信設定:

このメニューは、プリンターに複数の FAX ポートが接続されている場合に表示され、各ポートの使用方法を選択できます。

このプリンターは複数の FAX ポートをサポートしています。

G3-1 :

標準で使用する回線（G3-1）の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。ファクスが増設されていないときは送受信兼用です。

初期設定：[送受信兼用]

G3-2 :

増設回線（G3-2）の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。

初期設定：[送受信兼用]

G3-3 :

増設回線（G3-3）の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。

初期設定：[送受信兼用]

IPファクス :

IPファクス回線の用途（送信専用、受信専用、送受信兼用）を選択します。

初期設定：[送受信兼用]

関連情報

➡ [「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」137ページ](#)

送信設定

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [送信設定] の順に選択すると表示されます。

 Web Config画面からは [ファクス] タブ- [送信設定] の順にクリックすると表示されます。

回転送信 :

ADFまたは原稿台に、A4サイズの前稿の長辺を左側にして縦置きにセットすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書になるように回転して送信できます。長辺を左側に縦置きにセットしたA4サイズの原稿と、A3サイズの原稿を混在してADFにセットした場合でも、[ダイレクト送信] を [オフ] のまま送信すれば、A4サイズの原稿はA4サイズの原稿となるように回転して送信されます。

初期設定：[オン]

クイックメモリー送信 :

クイックメモリー送信は1ページ目の原稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。この設定を無効にすると、全てのページをスキャンしてメモリーに保存した後にファクス送信します。この設定を有効にすると、スキャンとファクス送信を並行して行うので、スキャン開始から送信完了までの時間を短縮できます。

初期設定：[オン]

バッチ送信：

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計200ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。

初期設定：[オフ]

自動リダイヤル回数：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数を選択します。

初期設定：[3] 回

自動リダイヤル間隔：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤルする間隔を選択します。

初期設定：[3] 分

送信失敗文書保存：

送信失敗文書保存：

[オン] にすると、送信に失敗した文書をプリンターのメモリーに保存します。[ジョブ/状態] から再送信できます。

初期設定：[オフ]

文書保存期間の設定：

[オン] にすると、送信失敗文書を保存期間後に削除します。

初期設定：[オフ]

保存期間：

送信失敗文書を保存しておく期間を設定します。

初期設定：[7日]

原稿追加待ちタイマー：

原稿追加待ちタイマー：

◇をタップして原稿を読み取った後、次の原稿をセットしないまま一定時間が経過すると、ファクス送信が開始されます。

初期設定：[オン]

時間：

セットした原稿のスキャン後に次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。

初期設定：[60] 秒

送信プレビュー無操作タイマー：

送信プレビュー無操作タイマー：

読み取った原稿のイメージを画面に表示してから、パネルの操作がないまま一定時間が経過すると、ファクス送信が開始されます。

初期設定：[オン]

時間：

読み取った原稿イメージを送信するまでの、画面で確認できる時間を設定します。

初期設定：[60] 秒

送信毎のバックアップ送信設定：

[許可する] を選択しておく、[ファクス] メニューの [ファクス設定] でバックアップ送信設定ができます。

初期設定：[許可する]

受信設定

関連情報

- ➡ [「保存・転送設定」503ページ](#)
- ➡ [「印刷設定」510ページ](#)

保存・転送設定

条件なし保存・転送：

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順に選択すると表示されます。

 **参考** Web Config画面からは、[ファクス] タブ - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順にクリックすると表示されます。

受信ファクスを、受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。これらは全て同時に使用できます。プリンターの操作パネル上で全ての設定が無効のときは、受信ファクスは印刷されます。

受信ボックスに保存：

受信ファクスをプリンターの受信ボックスに保存します。最大で200件の文書を保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

この設定をオンにすると、受信ファクスは自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。ただし、[条件なし保存・転送] の他の項目（[PC-FAXで受信] など）で [オン(印刷もする)] が選択されている場合は、自動で印刷されます。

初期設定：[オフ]

PC-FAXで受信：

受信したファクスをPDFかTIFFに変換してプリンターに接続されているコンピューターに保存します。この設定はFAX Utility（アプリケーション）を使って有効にできます。プリンターの操作パネルからは有効にできません。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。[オン(印刷もする)] は、FAX Utilityから [オン] に設定後に変更できます。

初期設定：[オフ]

外部メモリーに保存：

外部メモリーに保存：

受信したファクスをPDFかTIFFファイルに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。〔オン(印刷もする)〕を選択すると、外部メモリーに保存と同時に印刷もします。

初期設定：〔オフ〕

受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

- 保存専用フォルダー作成
画面の指示に従って、外部メモリーにフォルダーを作成してファクスを保存します。

転送：

転送：

以下の宛先に受信ファクスを転送します。

- 他のファクス機へ転送
- PDFまたはTIFFで、ネットワーク上の共有フォルダーまたはメールアドレスへ転送
- PDFで、クラウドのアカウントへ転送

転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。〔オン(印刷もする)〕を選択すると、転送と同時に印刷もします。

転送先をメールアドレスまたはネットワーク上の共有フォルダーにするときは、事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーを設定してください。

転送先をクラウドのアカウントにするときは、事前に**Epson Connect**で〔Fax to Cloud〕を選択して、〔ファクス宛先リスト〕にユーザー、プリンター、クラウドの宛先を登録します。また、プリンターの操作パネルで〔クラウド宛先リスト〕に転送先を追加します。

初期設定：〔オフ〕

転送先:

転送先をアドレス帳またはクラウド宛先リストから選択します。

ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。

[「受信ファクスを転送する設定」130ページ](#)

転送失敗時の動作：

転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。

受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。速やかに文書を確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

初期設定：〔印刷する〕

メール通知設定：

指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。

送信先：

プロセスが終了したときのメールの送付先です。

受信終了通知：

ファクス受信が完了するとメールで通知します。

初期設定：[オフ]

印刷終了通知：

受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。

初期設定：[オフ]

外部メモリー保存終了通知：

受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。

初期設定：[オフ]

転送終了通知：

ファクスの転送が完了するとメールで通知します。

初期設定：[オフ]

関連情報

➡ [「受信ファクスを保存する設定」 129ページ](#)

➡ [「受信ファクスを転送する設定」 130ページ](#)

条件保存・転送：

プリンターの操作パネルから以下の順に選択すると表示されます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件保存・転送]

 **参考** Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。
[ファクス] タブ - [保存・転送設定] - [条件保存・転送]

受信ファクスを、受信ボックスや親展ボックス、外部メモリーに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。

複数の条件（条件保存・転送）を設定した場合、項目（1～100）順に参照され、最初に一致した「条件保存・転送」が実行されます。

設定した条件を有効または無効にするには、その項目の  以外の場所をタップします。初期設定は「無効」です。

[「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」 132ページ](#)

[「特定の条件で受信ファクスを転送する設定」 134ページ](#)

名称(必須項目)：

条件名を入力します。

条件：

条件を選択して設定します。

相手先ID一致：

相手先ID一致：

ファクス番号など、相手先のIDが一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定： [オフ]

ID：

ファクス番号やSIP URIなど、相手先のIDを指定します。

Fコード(SUB)完全一致：

Fコード(SUB)完全一致：

Fコードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定： [オフ]

Fコード(SUB)：

相手先のFコード (SUB) を入力します。

パスワード(SID)完全一致：

パスワード(SID)完全一致：

パスワードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定： [オフ]

パスワード(SID)：

相手先のパスワード (SID) を入力します。

受信回線一致：

回線が一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。
初期設定： [オフ]

受信時間の設定：

受信時間の設定：

指定した時間帯に受信ファクスを保存・転送します。
初期設定： [オフ]

適用開始時刻：

受信ファクスの保存・転送を開始する時刻を指定します。

適用終了時刻：

受信ファクスの保存・転送を終了する時刻を指定します。

保存・転送先（必須項目）：

条件に一致した受信ファクスを保存・転送するための保存先を選択します。これらは全て同時に使用できます。

ボックスに保存：

ボックスに保存：

受信したファクス文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存します。
受信したファクス文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに最大で200件保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。
初期設定： [オフ]

受信ボックス：

受信ファクスをプリンターの受信ボックスに保存します。

親展XX：

受信した文書をプリンターの親展ボックスに保存します。

外部メモリーに保存：

外部メモリーに保存：

受信したファクスをPDFかTIFFファイルに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。

初期設定： [オフ]

受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。

- 保存専用フォルダー作成
画面の指示に従って、外部メモリーにフォルダーを作成してファクスを保存します。

転送：

転送：

以下の宛先の1つに受信ファクスを転送します。

- 他のファクス機へ転送
- PDFまたはTIFFで、ネットワーク上の共有フォルダーまたはメールアドレスへ転送
- PDFで、クラウドのアカウントへ転送

転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。[オン(印刷もする)] を選択すると、転送と同時に印刷もします。

転送先をメールアドレスまたはネットワーク上の共有フォルダーにするときは、事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーを設定してください。

転送先をクラウドのアカウントにするときは、事前に**Epson Connect**で [Fax to Cloud] を選択して、[ファクス宛先リスト] にユーザー、プリンター、クラウドの宛先を登録します。また、プリンターの操作パネルで [クラウド宛先リスト] に転送先を追加します。

初期設定： [オフ]

転送先：

転送先をアドレス帳またはクラウド宛先リストから選択します。

ネットワーク上のフォルダーやメールアドレス、クラウドのアカウントを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかテストすることをお勧めします。

[「特定の条件で受信ファクスを転送する設定」134ページ](#)

転送失敗時の動作：

転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。

初期設定：[印刷する]

印刷：

ファクスを受信したら印刷します。

初期設定：[オフ]

保存・転送時のファイル形式：

ファクスを保存したり転送したりするときのファイル形式を設定できます。

なお、クラウド宛先へ転送したファクスは、ここでの設定に関わらずPDFで保存されます。

初期設定：[ファクス設定に従う]

PDF設定：

この設定は[保存・転送時のファイル形式]で[PDF]を選択しているときに有効です。

文書を開くパスワード：

- パスワード設定：
文書を開くためのパスワードを有効にします。
初期設定：[設定しない]
- パスワード：
文書を開くパスワードを設定します。

権限パスワード：

- パスワード設定
PDFファイルの印刷や編集を許可するためのパスワード設定を有効にします。
初期設定：[設定しない]
- パスワード
権限パスワードを設定します。
- 印刷許可
PDFファイルの印刷を許可します。
初期設定：[許可する]
- 編集許可
PDFファイルの編集を許可します。
初期設定：[許可する]

メール通知設定：

指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。

送信先：

プロセスが終了したときのメールの送付先です。

受信終了通知：

ファクス受信が完了するとメールで通知します。
初期設定：[オフ]

印刷終了通知：

受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。
初期設定：[オフ]

外部メモリー保存終了通知：

受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。
初期設定：[オフ]

転送終了通知：

ファクスの転送が完了するとメールで通知します。
初期設定：[オフ]

結果レポート印刷：

受信ファクスの保存や転送時に、結果レポートを印刷します。
[エラー時のみ]を選択すると、受信ファクスの保存や転送をしたときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。
初期設定：[エラー時のみ]

関連情報

- ➡ [「特定の条件で受信ファクスを保存する設定」 132ページ](#)
- ➡ [「特定の条件で受信ファクスを転送する設定」 134ページ](#)

共通設定：

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] - [共通設定] の順に選択すると表示されます。

 **参考** Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。

- [ファクス] タブ - [ファクスボックス] - [受信ボックス]
- [ファクス] タブ - [保存・転送設定] - [共通設定]

受信ボックス設定：

容量限界時の動作：

受信ボックスがいっぱいのときに受信したファクスを印刷するか受信拒否するか選択します。
初期設定：[受信しない]

パスワード設定：

誰でも簡単に受信ボックスを開いて見ることができないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは [変更] を、パスワード設定を解除するときは [設定クリア] を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。
[容量限界時の動作] で [受信して印刷する] を選んだときは、パスワードは設定できません。

Eメール転送時の件名：

転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名を指定できます。

ボックス内文書削除設定：

受信文書自動削除：

［オン］を選択すると、受信後一定時間が経過したファクスを自動的に削除します。

初期設定：［オフ］

削除までの期間：

受信ボックスに文書が保存されてから削除するまでの期間を設定します。

初期設定：［7日］

削除対象：

削除対象とする文書を［既読文書のみ］、［未読文書のみ］、［全ての文書］から選択します。

初期設定：［既読文書のみ］

メニュー：

メニュー (Menu) は、プリンターの操作パネルから［設定］ - ［本体設定］ - ［ファクス設定］ - ［受信設定］ - ［保存・転送設定］ (Menu) の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは印刷できません。

条件保存・転送リスト印刷：

条件保存・転送リストを印刷します。

印刷設定

プリンターの操作パネルから［設定］ - ［本体設定］ - ［ファクス設定］ - ［受信設定］ - ［印刷設定］の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは［ファクス］タブ - ［印刷設定］の順にクリックすると表示されます。

自動縮小印刷：

受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙のサイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。

初期設定：［オン］

ページ分割設定：

受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページの分割方法を設定します。用紙長からはみ出す量が［分割後の印刷破棄］ - ［しきい値］以下のときは、はみ出し分を削除して印刷します。用紙からはみ出す量が［しきい値］を超えるときは、はみ出し分を別のページに印刷します。

分割後の印刷破棄：

分割後の印刷破棄：

はみ出し分が [しきい値] 以下のときに破棄するデータの領域を指定します。

初期設定： [下を破棄]

しきい値：

はみ出し量がこの値以下のとき、はみ出し分のデータは破棄され印刷されません。

初期設定： [15] mm

分割時の重ねあわせ：

分割時の重ねあわせ：

用紙長からはみ出す長さが [分割後の印刷破棄] - [しきい値] を超えるためデータを分割して印刷するときに、 [重ね幅] で指定した長さだけデータを重複して印刷します。

初期設定： [オン]

重ね幅：

この値の分だけ重ねてはみ出し分のデータを印刷します。

初期設定： [10] mm

代行印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法を設定します。

[オン (分割して印刷)] を選択すると受信文書を長辺方向に分割して印刷します。 [オン (縮小して印刷)] を選択すると最小で50%まで縮小して印刷します。

初期設定： [オフ]

自動回転印刷：

A4 (またはレター、B5、A5) サイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転してA4 (またはレター、B5、A5) サイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの用紙サイズ設定がA4 (またはレター、B5、A5) のときに適用されます。

[オフ] を選択した場合、A4横長 (またはレター、B5、A5) の文書を受信すると、同じ横幅のA3 (またはタブロイド、B4、A4) サイズの文書を受信したとみなして印刷します。

初期設定： [オン]

ファクス印刷に使用できる給紙装置と、その給紙装置の用紙サイズ設定は、 [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] から以下を表示すると確認できます。

- [給紙口自動選択]
- [用紙設定] - [用紙サイズ]

受信情報の付加：

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID (#001など) やページ番号 (P1など) が含まれます。受付IDで、通信管理レポートの通信履歴やファクスジョブ履歴と照合することができます。 [ページ分割設定] を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。

初期設定： [オフ]

両面印刷：

両面印刷：

複数ページの受信ファクスを両面印刷します。

初期設定：[オフ]

とじ位置：

とじ位置を選択します。

初期設定：[長辺]

印刷開始設定：

受信したファクス文書の印刷を開始するタイミングを設定します。

- 全ページ受信後：全ページを受信後に印刷を開始します。印刷を最初のページからするか最後のページからするかは、[正順印刷] の設定に従います。[正順印刷] の説明をご覧ください。
- 最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。

初期設定：[全ページ受信後]

正順印刷：

受信したファクス文書を、最後のページから印刷します。1ページ目が最後に印刷されて、文書はページ順に並びます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。

初期設定：[オン]

印刷停止時間の設定：

印刷停止時間の設定：

指定の時間帯に受信したファクス文書を印刷せずにメモリーに保存します。夜間の騒音防止や不在時の機密漏えい防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、[ジョブ/状態] から確認して個別に印刷できます。

初期設定：[オフ]

停止する時刻：

指定時刻になると印刷を中止します。

再開する時刻：

指定時刻になると自動的に印刷を再開します。

動作音低減モード：

ファクス印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度は遅くなることがあります。

初期設定：[オフ]

レポート設定

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは [ファクス] タブ - [レポート設定] の順にクリックすると表示されます。

転送結果レポート：

受信ファクスが転送されたときのレポートを印刷します。 [オン] を選択すると、転送のたびにレポートを印刷します。

初期設定： [エラー時のみ]

バックアップエラーレポート：

[バックアップ先] が有効のとき、送信した文書をバックアップできなかったときにレポートを印刷します。バックアップ先は、送信ごとに [ファクス] - [ファクス設定] タブ - [バックアップ送信設定] で指定できます。以下のときに使用できます。

- モノクロ (白黒) で送信する
- [時刻指定送信] で送信する
- [バッチ送信] で送信する
- [待機文書蓄積] で送信する

初期設定： [オン]

通信管理レポート：

通信管理レポートを自動で印刷します。 [オン(100件毎)] を選択すると、通信履歴が100件に達したときに印刷されます。 [オン(指定時刻)] を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が100件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。

初期設定： [オフ]

受信結果レポート：

ファクス受信すると受信結果レポートを印刷します。

[エラー時のみ] を選択したときは、ファクス受信時にエラーが発生すると受信結果レポートを印刷します。

初期設定： [オフ]

レポート内画像添付：

[通信結果レポート印刷] に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。 [添付する(画像大)] を選択すると、ページの一部 (冒頭部分) を縮小せずに印刷します。 [添付する(画像小)] を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。

初期設定： [添付しない]

通信管理レポートレイアウト：

[送受信混在] を選択すると、送信結果と受信結果が混在した状態の通信管理レポートが印刷されます。

[送受信別] を選択すると、送信結果と受信結果が分けられた状態の通信管理レポートが印刷されます。

初期設定： [送受信混在]

レポート形式：

[ファクス] -  ([応用]) - [ファクスレポート印刷] から印刷できる、[プロトコルログ] 以外のファクスレポートの表示形式を選択します。 [詳細情報] にするとエラーコードも印刷されます。

初期設定： [簡易情報]

通信管理レポート出力先：

通信管理レポート出力先：

〔外部メモリーに保存〕などから出力先を選択します。〔転送〕を選択したときは、アドレス帳から〔転送先〕を選択してください。

初期設定：〔印刷〕

- 保存専用フォルダー作成
画面の指示に従って、外部メモリーにフォルダーを作成してファクスを保存します。

転送先：

レポートの転送先を指定します。

セキュリティ設定

プリンターの操作パネルから〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔セキュリティ設定〕の順に選択すると表示されます。

 **参考** Web Config画面からは〔ファクス〕タブ-〔セキュリティ設定〕の順にクリックすると表示されます。

直接ダイヤル制限：

〔オン〕にすると、ファクス番号を直接入力できません。アドレス帳かクイックダイヤル、または履歴から宛先を選択できます。

〔2回入力〕にすると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。誤送信のリスクが軽減します。

〔オフ〕にすると、ファクス番号を直接入力できます。

初期設定：〔オフ〕

複数宛先送信制限：

〔オン〕を選択すると、宛先に指定できるファクス番号を1件のみに制限します。

初期設定：〔オフ〕

宛先一覧確認：

〔オン〕にすると、送信開始前に宛先確認の画面を表示します。

初期設定：〔オン〕

宛先確認画面を表示する条件を、〔全て〕または〔複数宛先送信時のみ〕から選択できます。

初期設定：〔複数宛先送信時のみ〕

バックアップデータ自動消去：

停電や誤操作による電源オフに備え、送受信文書のデータはメモリー内に一時保存しています。

〔オン〕にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になると自動的に消去します。

初期設定：〔オフ〕

バックアップデータを消去：

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに行ってください。

Web Config画面からは設定できません。

ファクス診断

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [ファクス診断] の順に選択すると表示されます。

 Web Config画面からは実行できません。

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断します。診断後、A4サイズの普通紙に結果レポートを印刷できます。

関連情報

➡ [「ファクス機能診断レポートの見方」119ページ](#)

ファクス設定ウィザード

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [ファクス設定ウィザード] の順に選択すると表示されます。

 Web Config画面からは実行できません。

ファクス送受信に必要な基本設定を、画面に従って設定します。

関連情報

➡ [「基本設定」496ページ](#)

➡ [「プリンターでファクス送受信できるようにする」118ページ](#)

スキャン設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [スキャン設定]

読み取り前宛先確認：

スキャンする前に宛先を確認します。（初期値は [オフ] ）

Document Capture Pro設定：

操作パネルの [コンピューター] メニューからスキャンする前に、Document Capture Pro/Document Captureがインストールされているコンピューターと一致するように設定してください。

グループ設定：

プリンターのグループ設定を有効にします。Document Capture Proでグループ設定を有効にしたときに設定します。（初期値は [オフ] ）

有効にしたときは、[グループ] にグループ番号を入力します。

メールサーバー：

スキャン to メール 機能で使用するメールサーバーを設定します。

プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定するには、[サーバー設定] を選択します。

[「メールサーバーを登録する」62ページ](#)

[コネクションテスト] を選択すると、メールサーバーとの接続確認ができます。

実行後自動リセット：

それぞれのスキャン終了後に宛先とスキャン設定を初期値に戻します。（初期値は [オン] ）

管理者用設定

システム管理者としてプリンターを管理するときに使用します。オフィスなどでプリンターを共有する際に、個人が使用できる機能を制限できます。

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定]

アドレス帳管理：

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン to メール 機能、スキャン to ネットワークフォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。（初期値は [タイトル表示] ）

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。（初期値は [前方一致] ）

カテゴリー名編集：

カテゴリー名を変更します。

カラーカウント：

自動判別：

カラーかモノクロのどちらでページ数をカウントするかを自動で判別してカウントします。

カラー固定：

必ずカラーで送信されたデータとしてカウントします。

コピーカラー判定：

〔自動〕でコピーしたとき、原稿がモノクロかカラーかを判定する度合いを設定します。
〔モノクロより〕から〔カラーより〕の5段階で設定できます。
〔モノクロより〕に近づけるほどモノクロの原稿と認識しやすくなり、〔カラーより〕に近づけるほどカラーの原稿と認識しやすくなります。

定期クリーニング：

有効にすると、一定のページ数を印刷したときやヘッドクリーニングが必要と検知したときに定期クリーニングをします。〔オフ〕以外に設定しておくことをお勧めします。ただし、以下の場合は手動で〔プリントヘッドのノズルチェック〕と〔プリントヘッドのクリーニング〕をしてください。（初期値は〔印刷終了後〕）

- 印刷結果がおかしいとき
- 〔定期クリーニング〕を〔オフ〕にしているとき
- 写真などを高い品質で印刷したいとき

オフ：

定期クリーニングを無効にします。

印刷終了後：

印刷終了後に定期クリーニングをします。

スキャナー清掃通知：

設定を無効にすると、スキャナー読み取り部の清掃時期を通知する案内は表示されません。（初期値は〔オン〕）

消費電力表示：

〔オン〕にすると、推定消費電力量を画面に表示します。（初期値は〔オン〕）

印刷ページ数のリセット：

標準ネットワーク、増設ネットワーク、その他のインターフェイスごとにカウントされたカラーおよびモノクロページの総数をリセットします。

ただし、総印刷ページ数や、用紙サイズ別の印刷ページ数はリセットされません。

オプションの増設ネットワークインターフェイスからの印刷ページ数は「増設ネットワーク」として、USBインターフェイスからの印刷や、ファクス、コピーなどの印刷ページ数は「その他」としてカウントされます。

インターフェイスごとの印刷ページ数は、使用履歴シート（〔設定〕 - 〔情報確認/印刷〕 - 〔本体ステータスシートの印刷〕）で確認できます。

内部メモリーデータ削除：

PDLのフォントとマクロと作業領域：

ダウンロードしたフォント、マクロ、および内蔵メモリー内のコピーデータを削除します。

本体メモリー内のジョブの全削除：

本体メモリー内のジョブを全て削除します。

ストレージフォーマット：

内蔵ストレージに保存されているデータの処理を設定します。

本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にストレージにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

メモリー全消去：

ストレージ内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：

専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

3回上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

セキュリティ設定：

機能制限:

パネルロックを有効にしたときに、表示や設定変更を個別に制御できます。

[「個別に制御できる項目」 564ページ](#)

利用者制限：

利用者制限:

有効にすると、使用できる機能をユーザーごとに制限します。利用者制限された機能を利用するには、登録されているユーザーでログオンする必要があります。（初期値は［オフ］）

利用者情報がないジョブの許可設定：

認証情報のないジョブの実行を許可するかどうかを設定します。（初期値は［オフ］）

管理者設定：

管理者パスワード:

管理者パスワードの変更、初期化をします。

管理者ロック：

操作パネルの設定を変更できないように［管理者パスワード］でロックします。（初期値は［オフ］）

パスワード暗号化：

有効にするとパスワードを暗号化します。再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損してプリンターの設定が初期化されるおそれがあります。その場合はパスワード情報を再設定してください。

監査ログ：

有効にすると監査ログを保存します。（初期値は［オフ］）

起動時のプログラム検証：

有効にすると起動時にプリンターのプログラムを検証します。（初期値は［オフ］）

本体寿命の警告：

有効にすると、本体寿命が近づいているときにメッセージを表示します。（初期値は［オフ］）

お客様利用情報：

お客様利用情報の提供に同意いただくと、印刷枚数など製品の利用情報がセイコーエプソン株式会社に送信されます。

収集された情報は製品やサービスの改善のために使用されます。

利用情報の提供：

お客様の利用情報の提供を許可しているかどうかを表示します。

初期状態に戻す：

ネットワーク設定：

ネットワークに関する設定を初期状態に戻します。

コピー設定：

コピーに関する設定を初期状態に戻します。

スキャン設定：

スキャンに関する設定を初期状態に戻します。

ファクス設定：

ファクスに関する設定を初期状態に戻します。

メモリー全消去

ストレージ内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：

専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

3回上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

全メモリー/設定の初期化：

プリンターの設定を初期値に戻して、ストレージ内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：

専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

3回上書き：

専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

ファームウェアのアップデート：

プリンターのファームウェア情報を確認できます。

アップデート：

手動でファームウェアをアップデートします。

自動ファームウェアアップデート：

自動ファームウェアアップデート：

有効にすると、ファームウェアを自動でアップデートし、アップデートする曜日/開始時間を設定します。（初期値は「オフ」）

曜日選択：

ファームウェアをアップデートする曜日を選択します。

時間：

ファームウェアのアップデート開始時間を設定します。

通知設定：

「オン」にすると、ファームウェアアップデートアイコンをホーム画面に表示します。（初期値は「オン」）

ファームウェアバージョン：

増設ネットワークボードが装着されているときは、増設ネットワークボードのファームウェアのバージョンも表示します。

拡張機能：

赤色消去：

この機能の名称、状態、ライセンス情報を表示します。

IPファクス：

この機能の名称、状態、ライセンス情報を表示します。

印刷ページ数の確認

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [印刷ページ数の確認]

プリンター購入時からのステータスシートなどを含む総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。[シートを印刷]を選択すると使用履歴シートが印刷されます。

使用履歴シートで、その他の機能または外部メモリーからの印刷ページ数を確認することもできます。

消耗品情報

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [消耗品情報]

インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。



マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。✕

マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。

関連情報

➡ [「インクパックの交換が必要になった」435ページ](#)

プリンターのお手入れ

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [プリンターのお手入れ]

印刷トラブル解決:

印刷結果に問題があるときにこの設定を選択してください。プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングを実施します。また、印刷品質を改善するためにパラメーターの調整を行います。

プリントヘッドのノズルチェック：

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。

プリントヘッドのクリーニング：

おまかせクリーニング：

自動でノズルチェックとプリントヘッドのクリーニングを繰り返し、ノズルの目詰まりを改善します。

参考 おまかせクリーニングは、目詰まりが改善されるまでクリーニングを数回繰り返すため、時間がかかったり大量のインクを消費したりする場合があります。

通常クリーニング：

プリントヘッドのノズルをクリーニングします。

縦罫線ずれの改善：

線の調整をして、縦線のがたつきを解消させます。

内部ローラークリーニング：

内部のローラーにインクが付着したときに選択します。普通紙を給紙して内部のローラーをクリーニングします。

紙片取り除き：

詰まった用紙を取り除いた後、プリンター内部にまだ紙片が残っているときに選択します。プリンターのヘッドと通紙面の距離を広げて紙片を取り除きやすくします。

給紙ローラー情報：

各用紙カセットの給紙ローラーの交換時期を確認できます。給紙ローラーのカウンターをリセットすることもできます。

用紙ごとの印刷トラブル解決：

用紙種類によってインクののじみ方に違いがあります。特定の用紙種類で色合いがおかしかったり、印刷ズレがあったりするときに使用してください。

関連情報

➡ [「プリントヘッドのノズルチェックとクリーニングをする」 352ページ](#)

言語選択/Language

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔言語選択/Language〕

画面に表示する言語を選択します。（初期値は〔日本語〕）

情報確認/印刷

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [情報確認/印刷]

本体ステータスシートの印刷：

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

PSフォントリスト：

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

ネットワークからの印刷：

現在のネットワーク設定の内容を表示します。また、ステータスシートを印刷することもできます。
増設ネットワークボードが設置されている場合は、標準または増設からそれぞれのネットワーク設定を確認できます。

有線・無線接続状態：

プリンターのネットワークの情報を表示します。

Wi-Fi Direct接続状態：

Wi-Fi Direct設定の内容を表示します。

メールサーバー設定確認：

メールサーバー設定情報を表示します。

ステータスシート印刷：

ネットワークステータスシートを印刷します。
有線LAN、無線LAN、Wi-Fi Directなどの情報が2ページ以上にわたって印刷されます。

ファクス：

通信結果レポート：

最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。

通信管理レポート：

送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [通信管理レポート]

ファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口にお問い合わせをするときは、事前に通信管理レポートを印刷しておくことをお勧めします。以下のメニューでレポート形式を〔詳細情報〕に変更してから印刷すると、エラー情報が増えて診断に役立ちます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔レポート設定〕 - 〔レポート形式〕

蓄積文書リスト：

プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書（未完了のジョブなど）のリストを印刷します。

ファクス機能設定リスト：

現在のファクス設定を印刷します。

条件保存・転送リスト：

条件保存・転送リストを印刷します。

プロトコルログ：

最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。特定の相手とのファクス送受信でよくエラーが発生する場合でエプソンの問い合わせ窓口にお問い合わせをするときは、事前に、通信管理レポートの印刷に加え、エラー直後のプロトコルログも印刷しておくことをお勧めします。

アドレス帳管理

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔アドレス帳管理〕

アドレス帳登録・変更： 

ファクス、スキャン to メール 機能、スキャン to ネットワークフォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷： 

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

カテゴリー名編集： 

カテゴリー名を変更します。

ユーザー設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔ユーザー設定〕

スキャン to ネットワークフォルダー 機能：

スキャン to ネットワークフォルダー 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。

[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)

スキャン to メール 機能：

スキャン to メール 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。

[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)

スキャン to 外部メモリー 機能：

スキャン to 外部メモリー 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。

[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)

スキャン to クラウド 機能：

スキャン to クラウド 機能のメニュー項目の初期値を変更できます。

[「スキャンの設定メニューの説明」 288ページ](#)

コピー設定：

コピーのメニュー項目の初期値を変更できます。

[「コピー時の基本設定メニュー」 276ページ](#)

[「コピー時の応用設定メニュー」 278ページ](#)

ファクス：

ファクスのメニュー項目の初期値を変更できます。

[「ファクス設定」 320ページ](#)

認証装置ステータス

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔認証装置ステータス〕

認証装置の状態を表示します。（初期値は〔非接続〕）

Epson Open Platform情報

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔Epson Open Platform情報〕

Epson Open Platformの情報を表示します。

製品仕様

以下は2024年12月現在の情報です。

プリンター部の仕様

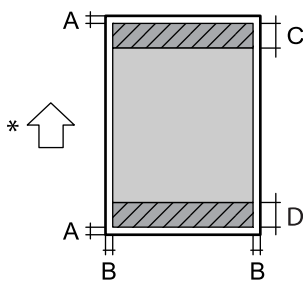
ノズル配列		黒インク：800ノズル カラーインク：各色800ノズル
用紙厚*	普通紙	64～90 g/m ²
	厚紙	91～256 g/m ²
	封筒	75～100 g/m ²

*： 範囲内の厚みの用紙であっても、紙の特性や品質などによって給紙できないことがあります。また、印刷結果に影響が出ることもあります。

印刷可能領域

定形紙の印刷可能領域

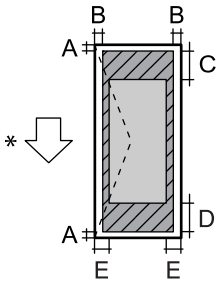
プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

	A	3.0 mm
	B	3.0 mm
	C	46.0 mm
	D	51.0 mm

*：用紙の搬送方向

封筒（洋形1、2、3、4号）の印刷可能領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

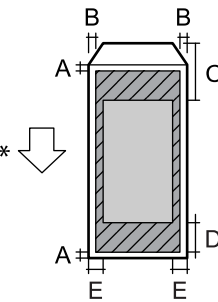
	A	3.0 mm
	B	3.0 mm
	C	18.0 mm
	D	46.0 mm
	E	5.0 mm

*：用紙の搬送方向

封筒（長形3、4号、角形2、20号）の印刷可能領域

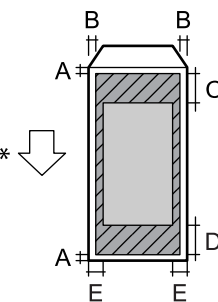
プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

宛名面

	A	3.0 mm
	B	3.0 mm
	C	54.0 mm
	D	46.0 mm
	E	5.0 mm

*用紙の搬送方向

裏面

	A	3.0 mm
	B	3.0 mm
	C	51.0 mm
	D	46.0 mm
	E	5.0 mm

*用紙の搬送方向

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャナー部の仕様

スキャナータイプ	フラットベッド
センサー	CIS
有効画素数	7020×10200 pixels (600 dpi)
最大原稿サイズ	297×431.8mm A3, Legal
スキャン解像度	600dpi (主走査) 600dpi (副走査)
出力解像度	50～9600 dpi (1 dpiで設定可能)
階調	カラー • 30bit入力 (RGB各色10bit入力) • 24bit出力 (RGB各色8bit出力) グレースケール • 10bit入力 • 8bit出力
光源	LED

ADFの仕様

タイプ	自動両面読取対応
対応用紙サイズ	A6  , A5  , A4  , A3  , B6  , B5  , B4  , Executive  , Letter  , Legal  , 11×17 in.  (最大297×431.8 mm)
用紙種類	普通紙、上質紙、再生紙
紙厚 (坪量)	38～128 g/m ²
セット可能枚数	150枚 (64 g/m ²)、または16.5 mm

ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによって通紙できないことがあります。また、読み取り品質に影響を及ぼすこともあります。

ファクス部の仕様

ファクス型式	送受信兼用デスクトップ (スーパーG3、カラーファクス)

対応回線		一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）
解像度	モノクロ	- 普通：8 pel/mm×3.85 line/mm - 精細：8 pel/mm×7.7 line/mm - 高精細：8 pel/mm×15.4 line/mm - 超高精細：16 pel/mm×15.4 line/mm
	カラー	200×200 dpi
通信速度		最大33.6kbps
圧縮方式	モノクロ	JBIG/MH/MR/MMR
	カラー	JPEG
通信規格		スーパーG3、G3
送信原稿サイズ	原稿台	A5～A3、11×17 in.
	ADF	A5～A3、11×17 in.
記録用紙サイズ		A5、A4、A3、B5、B4、Letter、Legal、11×17 in.
電送速度*1		約3秒（ITU-T標準原稿、モノクロ標準モード、SUPER G3送信時）
受信ファクス最大保存ページ数*2		約550ページ（ITU-T標準原稿をモノクロ標準モードで受信した場合）
アドレス帳機能	アドレス帳	最大2000件
	グループダイヤル	最大200件
再ダイヤル回数		0～15回(0～15分間隔)
コネクター形状		回線ライン（RJ-11）、外部電話機接続ライン（RJ-11）

*1 ：実際の電送時間は原稿の内容、相手の機種、回線状況により異なります。

*2 ：停電時も保持

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめ管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）がプリンターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（プリンター本体のスキャン to ネットワークフォルダー機能利用時）	FTP/FTPSサーバー	FTP/FTPS (TCP)	20
			21
	ファイルサーバー	SMB (TCP)	445
		NetBIOS (UDP)	137
			138
	WebDAVサーバー	NetBIOS (TCP)	139
		Protocol HTTP (TCP)	80
メール送信（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	SMTPサーバー	Protocol HTTPS (TCP)	443
		SMTP (TCP)	25
		SMTP SSL/TLS (TCP)	465
POP before SMTP接続（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	SMTPサーバー	SMTP STARTTLS (TCP)	587
		POP3 (TCP)	110
Epson Connect機能	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
		XMPP	5222
スマートチャージ機能	スマートチャージサーバー	Protocol HTTPS (TCP)	443
		Protocol MQTT (TCP)	443
ユーザー情報取得（プリンター本体のアドレス帳利用時）	LDAPサーバー	LDAP (TCP)	389
		LDAP SSL/TLS (TCP)	636
		LDAP STARTTLS (TCP)	389
ユーザー認証機能	KDCサーバー	Kerberos	88
WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD (TCP)	5357
Document Capture Proからのプッシュスキャン時のコンピューター探索	クライアントコンピューター	Network Push Scan Discovery	2968

送信元（クライアント）がクライアントコンピューターの場合

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
ファイル送信（プリンター本体のFTP印刷利用時）	プリンター	FTP (TCP)	20
			21

用途	送信先(サーバー)	プロトコル	ポート番号
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC (UDP)	3289
EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP (UDP)	161
LPRデータの転送	プリンター	LPR (TCP)	515
RAWデータの転送	プリンター	RAW (Port9100) (TCP)	9100
AirPrint (IPP/PPS印刷) のデータの転送	プリンター	IPP/PPS (TCP)	631
WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery (UDP)	3702
Document Capture Proからのスキャンデータの転送	プリンター	Network Scan (TCP)	1865
Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得	プリンター	Network Push Scan	2968
Web Config	プリンター	HTTP (TCP)	80
		HTTPS (TCP)	443
ファクスデータの転送	プリンター	IPP FaxOut (TCP)	631
PC-FAX	プリンター	HTTP (TCP)	80

インターフェースの仕様

コンピューター接続用	SuperSpeed USB
外部機器接続用	Hi-Speed USB

ネットワークの仕様

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n ^{*1} /ac
周波数帯	IEEE802.11b/g/n : 2.4 GHz、IEEE802.11a/n/ac : 5 GHz

チャンネル	Wi-Fi	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52 (36/40/44/48) *2、W53 (52/56/60/64) *2、W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140)
	Wi-Fi Direct	2.4 GHz	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13
		5 GHz	W52 (36/40/44/48) *2
接続モード	インフラストラクチャー、Wi-Fi Direct (シンプル AP) *3*4		
無線セキュリティ*5	WEP (64/128bit)、WPA2-PSK (AES) *6、WPA3-SAE (AES)、WPA2/WPA3-Enterprise		

*1: IEEE802.11n (2.4GHz) はHT20のみ対応

*2: 屋外使用不可

*3: IEEE802.11bは非対応

*4: シンプルAPモードは、無線LAN (インフラストラクチャー) または有線LANとの併用可能

*5: Wi-Fi DirectはWPA2-PSK (AES) のみ対応

*6: WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) *1 IEEE802.3u (100BASE-TX) *1 IEEE802.3ab (1000BASE-T) *1 IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet) *2
通信モード	Auto、10 Mbps Full duplex、10 Mbps Half duplex、100 Mbps Full duplex、100 Mbps Half duplex
コネクタ	RJ-45

*1: 社団法人 VCCI協会の技術基準への適合及び電磁障害のリスク低減のため、カテゴリ 5e 以上のSTP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること

*2: IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応

機能			対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print (Windows)	IPv4	○	-
	Standard TCP/IP (Windows)	IPv4、IPv6	○	-
	WSD印刷 (Windows)	IPv4、IPv6	○	-
	Bonjour印刷 (Mac OS)	IPv4、IPv6	○	-
	IPP印刷 (Windows、Mac OS)	IPv4、IPv6	○	-
	FTP印刷	IPv4、IPv6	○	-
	Epson Connect (メールプリント、リモートプリント)	IPv4	○	-
	AirPrint (iOS、Mac OS)	IPv4、IPv6	○	iOS 5以降、OS X Mavericks (10.9.5) 以降 ^{*1}
	Mopria印刷 (Android、Windows)	IPv4、IPv6	○	Android 8.0以降、Windows 10以降 ^{*2}
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	○	-
	Document Capture Pro (Windows) Document Capture (Mac OS)	IPv4	○	-
	Epson Connect (スキャン to クラウド機能/スキャンしてクラウドへ)	IPv4	○	-
	AirPrint (スキャン機能)	IPv4、IPv6	○	OS X Mavericks (10.9.5) 以降 ^{*1}
	Mopriaスキャン (Android、Chromebook、Windows)	IPv4、IPv6	○	Android 12.0以降、Windows 10以降 ^{*2} 、ChromeOS 89以降 ^{*3}

機能			対応	備考
ファクス機能	PC送信	IPv4	○	-
	PC受信	IPv4	○	-
	Epson Connect（ファクス to クラウド機能）	IPv4	○	-
	AirPrint（ファクス機能）	IPv4、IPv6	○	OS X Mavericks（10.9.5）以降 ^{*1}

*1：最新のiOSまたはMac OSを使用することをお勧めします。

*2：最新のWindowsを使用することをお勧めします。

*3：最新のChromeOSを使用することをお勧めします。

セキュリティのプロトコル

IEEE802.1X ^{*1}	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）
	IPPS
TLSバージョン	1.3、1.2、1.1 ^{*2} 、1.0 ^{*2}
SMTPS（STARTTLS、SSL/TLS）	
SNMPv3	

*1：IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

*2：初期設定では無効

ネットワーク増設時の機能一覧

機能		標準	増設	関連情報
印刷	コンピューターからの印刷	○	○	

機能		標準	増設	関連情報
スキャン	コンピューターからのスキャン	○	○	
	スキャン to メール機能	○*3	○*3	「メールサーバーを登録する」62ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」50ページ
	スキャン to フォルダー機能	○*3	○*3	「ネットワークフォルダーを作成する」66ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」50ページ
	スキャン to Document Capture Pro機能	○*3	○*3	「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」50ページ
	スキャン to クラウド機能	○	×	「原稿をスキャンしてクラウドに転送する」286ページ
ファクス	コンピューターからのファクス送受信	○	×	
	ファクス to メール機能	○*3	○*3	「メールサーバーを登録する」62ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」50ページ
	ファクス to フォルダー機能	○*3	○*3	「ネットワークフォルダーを作成する」66ページ 「ネットワーク送信経路を選択する（ネットワーク増設時）」50ページ
外部メモリーのデータ共有		○	○	「外部メモリーのデータを共有する」200ページ
Epson Connect		○	×	「クラウドサービスで印刷する」264ページ
EPSON Software Updater		○	×	「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater)」477ページ
ファームウェアの更新		○	×	「ソフトウェアやファームウェアを更新するソフトウェア (Epson Software Updater)」477ページ
ネットワーク設定	IPアドレスの設定	○*1	○*1	「IPアドレスを設定する」45ページ
	プロキシサーバーの設定	○	×	「プロキシサーバーを設定する」46ページ
Web Configからの設定		○*1	○*1	「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)」475ページ
LDAPサーバーの設定		○*3	○*3	「LDAPサーバーを設定する」94ページ 「利用するLDAPサーバーがある回線を選択する（ネットワーク増設時）」93ページ

機能		標準	増設	関連情報
メール通知		○*2	○*2	「メールサーバーを登録する」 62ページ 「イベント発生時にメール通知を受け取る」 560ページ
管理者パスワードの設定		○*1	○*1	「操作パネルから管理者パスワードを変更する」 41ページ 「コンピューターから管理者パスワードを変更する」 41ページ 「Web Configから管理者パスワードを変更する」 580ページ
高度なセキュリ ティー設定	IPsec/IPフィルタ リング	○*1	○*1	「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 599ページ
	IEEE802.1X	○*1	○*1	「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 611ページ
Epson Open Platform		○	×	「Epson Open Platformを利用する」 623ページ

○＝利用できます。

×

*1 ：ネットワーク回線ごとに設定が必要です。

*2 ：宛先ごとに、送信先のネットワーク回線を標準または増設から選択できます。

*3 ：標準、増設のいずれかのネットワーク回線のみで使用できます。

PostScript Level 3との互換性

このプリンターのPostScriptはPostScript Level 3の互換です。

対応している他社サービス

サービス		対応	備考
AirPrint	印刷	○	iOS 5以降、OS X Mavericks (10.9.5)以降*1
	スキャン	○	OS X Mavericks (10.9.5)以降*1
	ファクス機能	○	OS X Mavericks (10.9.5)以降*1
Mopria	印刷	○	Android 8.0以降、Windows 10以降*2
	スキャン	○	Android 12.0以降、Windows 10以降*2、ChromeOS 89以降*3

サービス	対応	備考
ユニバーサル プリント (Microsoft)	○	Windows 10 (21H2)以降

*1：最新のiOSまたはMac OSを使用することをお勧めします。

*2：最新のWindowsを使用することをお勧めします。

*3：最新のChromeOSを使用することをお勧めします。

対応外部メモリーの仕様

外部メモリーの種類	サポートする最大容量
HDD*1 USBフラッシュメモリー	2TB (FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの)
マルチカードリーダー*2	2TB (FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの)

*1：バスパワーでの電源供給不可。ACアダプターを接続してください。

*2：複数のカードを同時に接続したマルチカードリーダーは非対応です。メモリーカードは1枚のみ挿入してください。

以下の外部メモリーは使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの
- USBハブ機能が内蔵されているもの

全ての動作を保証するものではありません。

印刷できるファイルの仕様

ファイルフォーマット	DCF*1 Version 1.0または2.0*2規格準拠のデジタルカメラで撮影した、JPEG形式（Exif Version 2.31準拠）の画像データ（*.jpg） TIFF6.0準拠の以下の画像 • RGBフルカラー（非圧縮） • 2値（非圧縮もしくは2値CCITT2値エンコーディング） PDF1.7 準拠のデータファイル
有効画像サイズ	横：80～10200ピクセル 縦：80～10200ピクセル
有効ファイルサイズ	2GB未満

最大ファイル数	JPEG：9990個*3 TIFF：999 PDF：999

- *1： 社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称
- *2： デジタルカメラの内蔵メモリーに保存されている画像には非対応
- *3： 一度に表示できるファイル数は999 個まで（999 個を越えるとグループ単位で表示）

参考 プリンターで認識できない画像ファイルは、プリンターの画面上に「×」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）では、空白（印刷されない）になります。

外形寸法と質量の仕様

外形寸法*1	保管時 - 幅：621 mm *2 - 奥行き：751 mm - 高さ：711 mm 印刷時 - 幅：621 mm *2 - 奥行き：941 mm - 高さ：760 mm
質量*1	約76.8 kg

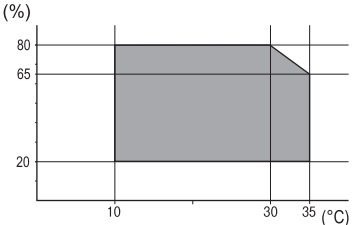
- *1：プリンター本体に増設力セットユニット1段装着した状態の外形寸法および質量です。質量にインクパック、電源コードは含みません。
- *2：認証台を取り付けたときは726 mm

電氣的仕様

定格電圧	AC 100-240 V*1
定格周波数	50-60 Hz
定格電流	1.6-0.8 A
消費電力（USB接続時）*2	コピー時：約60.0 W（ISO/IEC24712印刷パターン） レディー時：約32.0 W スリープモード時：約0.9 W 電源オフ時：約0.1 W

- *1 付属の電源コードはAC100 V用
- *2 用紙力セット4段（C1～C4）装着時

動作時と保管時の環境仕様

動作時	グラフで示した範囲の温度（℃）と湿度（％）、および結露がない環境で使用してください。 
保管時	温度（インク初期充填実施後）：-15～40℃* 温度（インク初期充填実施前）：-20～40℃* 湿度：5～85%（非結露）

*： 40℃では1カ月間保管可能

設置場所と設置スペース

以下の条件を満たす場所に設置してお使いください。

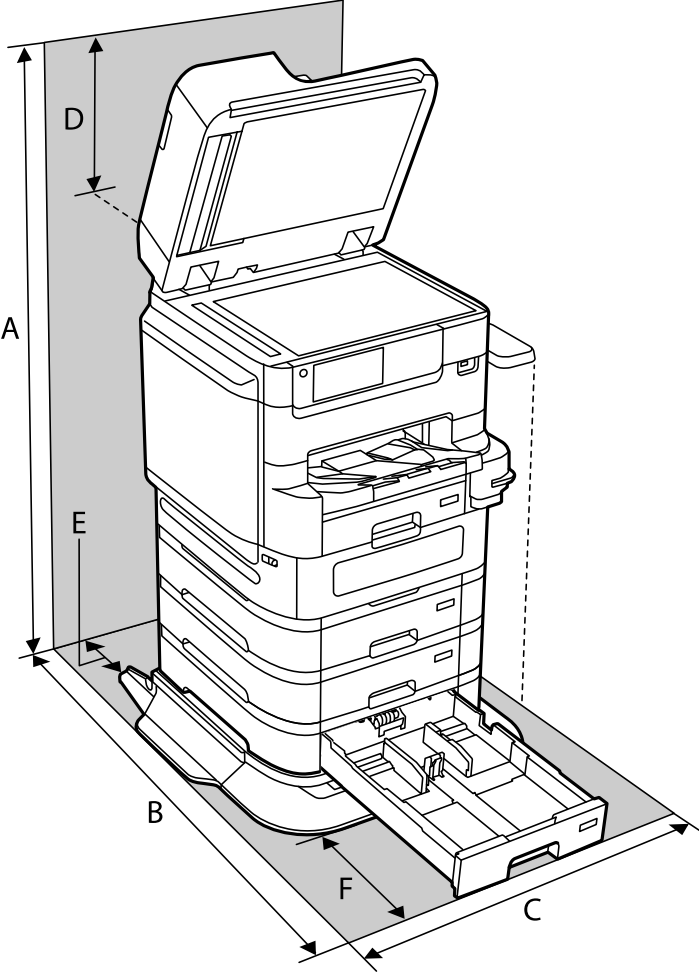
- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 本製品の通気口を塞がない場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 本書『動作時と保管時の環境仕様』を満たす場所

！重要 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所
- 温湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動の多い場所
- テレビ・ラジオに近い場所
- ホコリや塵の多い場所
- 水に濡れやすい場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 加湿器に近い場所

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

本製品をお使いいただくために必要なスペースを確保してください。



A	1559mm
B	1162mm
C	780mm
D	525mm
E	66mm
F	299mm

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows
 - Windows 7～
 - Windows Server 2008 ～

- Mac OS
Mac OS X 10.9.5～、macOS 10.12～
- Chrome OS
Chrome OS 89～



OS標準の機能でのみ動作します。

フォントの仕様

対応フォント（PostScript 3対応）

フォント名	ファミリー	HP互換
NimbusMono	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Courier
LetterGothic	Medium, Bold, Italic	Letter Gothic
NimbusMonoPS	Regular, Bold, Oblique, Bold Oblique	CourierPS
NimbusRomanNo4	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Times
URWClassico	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	CG Omega
URWCoronet	-	Coronet
URWClarendon-Condensed	-	Clarendon Condensed
URWClassicSans	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers
URWClassicSans-Condensed	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Univers Condensed
AntiqueOlive	Medium, Bold, Italic	Antique Olive
Garamond	Antiqua, Halbfett, Kursiv, Kursiv Halbfett	Garamond
Mauritius	-	Marigold
Algiers	Medium, Extra Bold	Albertus
NimbusSansNo2	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Arial
NimbusRomanNo9	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times New Roman
NimbusSans	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica
NimbusSans-Narrow	Medium, Bold, Oblique, Bold Oblique	Helvetica Narrow
Palladio	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	Palatino
URWGothic	Book, Demi, Book Oblique, Demi Oblique	ITC Avant Garde
URWBookman	Light, Demi, Light Italic, Demi Italic	ITC Bookman

フォント名	ファミリー	HP互換
URWCenturySchoolbook	Roman, Bold, Italic, Bold Italic	New Century Schoolbook
NimbusRoman	Medium, Bold, Italic, Bold Italic	Times
URWChancery-MediumItalic	-	ITC Zapf Chancery Italic
Symbol	-	Symbol
URWDingbats	-	Wingdings
Dingbats	-	ITC Zapf Dingbats
StandardSymbol	-	SymbolPS

和文フォント

- 明朝体
- ゴシック体

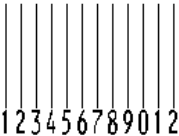
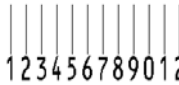
Epsonバーコードフォント

データキャラクター（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクター以外のコードやマージン、OCR-Bフォント（バーコード下部の文字）などの入力が必要です。

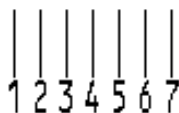
各バーコードの規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

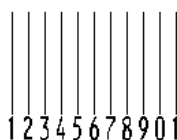
フォント名	EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B	あり	
チェックデジット	あり	
キャラクター種類	数字（0～9）	
桁数	12	
入力可能サイズ	60～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ	60 pt、75 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報 （入力不要）	• レフト/ ライトマージン • レフト/ ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	

例	入力	123456789012	
	画面表示		
	印刷		
備考		JIS X 0501	・ JAN-13 のバーの高さを低くしたもの ・ 日本国内でのみ使用可能

JAN（短縮バージョン）

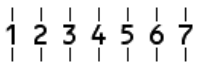
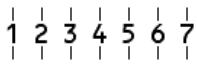
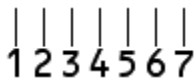
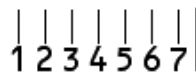
フォント名		EPSON JAN-8	EPSON JAN-8 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0～9）	
桁数		7	
入力可能サイズ		52～96 pt	36～90 pt
読み取り保証サイズ		52 pt、65 pt（標準）	36 pt、45 pt（標準）、67.5 pt、90 pt
自動設定される情報 （入力不要）		・ レフト/ ライトマージン ・ レフト/ ライトガードバー ・ チェックデジット ・ OCR-B ・ センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示		
	印刷		
備考		—	・ JAN-8 のバー高さを低くしたもの ・ 日本国内でのみ使用可能

UPC

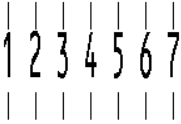
フォント名		EPSON UPC-A	EPSON UPC-E
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクター種類		数字（0～9）	
桁数		11	6
入力可能サイズ		60～96 pt	
入力可能サイズ		60 pt、75 pt（標準）	
自動設定される情報 （入力不要）		・ レフト/ ライトマージン ・ レフト/ ライトガードバー ・ チェックデジット ・ OCR-B ・ センターバー	・ レフト/ ライトマージン ・ レフト/ ライトガードバー ・ チェックデジット ・ OCR-B ・ ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示		
	印刷		
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な0 を削除）

Code39

フォント名	EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	英数字 (A～Z、0～9)、記号 (- . スペース \$ / + %)			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26～96 pt		36～90 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	

自動設定される情報 (入力不要)		・ 左/ 右クワイエットゾーン ・ スタート/ ストップキャラクター ・ チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		・ JIS X 0503 ・ スペースを表すバーコードを入力したいときは、「<u> </u>」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

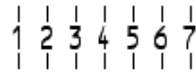
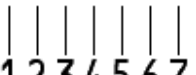
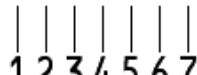
フォント名		EPSON Code128			
OCR-B		なし			
チェックデジット		あり			
キャラクター種類		全てのASCII 文字（95文字）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96 pt			
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt			
自動設定される情報 (入力不要)		・ 左/ 右クワイエットゾーン ・ スタート/ ストップキャラクター ・ コードセットの変更キャラクター ・ チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		・ JIS X 0504 ・ コードセットA、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。			

Interleaved 2 of 5

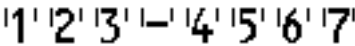
フォント名		EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクター種類		数字（0～9）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96 pt		36～96 pt	
読み取り保証サイズ		26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報 （入力不要）		・ 左/ 右クワイエットゾーン ・ スタート/ ストップキャラクター ・ チェックデジット ・ 文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		キャラクターを2個一組で扱います。キャラクターの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクターの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

フォント名	EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、記号（－ \$: / . +）			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26～96 pt		36～96 pt	
読み取り保証サイズ	26 pt、52 pt、78 pt		36 pt、72 pt	
自動設定される情報 （入力不要）	・ 左/ 右クワイエットゾーン ・ スタート/ ストップキャラクター（入力しない場合） ・ チェックデジット			

例	入力	1234567			
	画面表示				
	印刷				
備考		・ JIS X 0503 ・ スタート/ ストップキャラクターのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート/ ストップキャラクターを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。			

郵便番号（カスタマーバーコード）

フォント名		EPSON J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0～9）、英文字（A～Z）、記号（-）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8～11.5 pt
読み取り保証サイズ		8 pt、9 pt、10 pt、11.5 pt
自動設定される情報 （入力不要）		・ バーコードの上下左右2 mm の空白 ・ 入力時の-（ハイフン）の削除 ・ スタート/ ストップコード ・ 住所表示番号の13桁調整 ・ チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	
	印刷	
備考		・ 郵便番号（3桁）－郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後13桁まで）を入力します。 住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また、住所表示番号が13桁に満たないときは、13桁になるように末尾にコードが挿入されます。 ・ 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

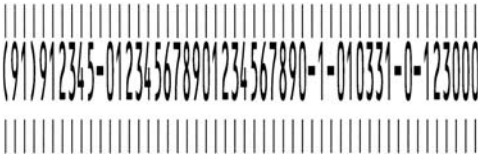
GS1-128 (EAN-128)

フォント名	EPSON EAN128
OCR-B	あり

チェックデジット		あり
キャラクター種類		数字（0～9）、英文字（A～Z） 括弧（ ） は、アプリケーション識別子(AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートしますが、入力は小文字で行います。
桁数		アプリケーション識別子(AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 4桁「（01）」 + 13桁（数字） 17：パッチ/ ロットナンバー 4桁「（17）」 + 6桁（数字） 10：保証期限日 4桁「（10）」 + 最大20 桁（英数字） 30：数量 4桁「(30)」 + 最大8桁（数字）
入力可能サイズ		36 pt 以上
読み取り保証サイズ		36 pt、72 pt
自動設定される情報 （入力不要）		・ 左／右クワイエットゾーン ・ スタート／ストップキャラクター ・ FNC1 キャラクター （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） ・ コードセットの変更キャラクター ・ チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
	印刷	 (01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
備考		コードセットA、B、C をサポートしています。入力するキャラクターのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名	EPSON EAN128_AI91
OCR-B	あり
チェックデジット	あり
キャラクター種類	数字（0～9）、記号（-） 括弧（ ） は、アプリケーション識別子(AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレーターとして使用します。
桁数	4桁「(91)」 + 46桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ	48 pt 以上
読み取り保証サイズ	48 pt

自動設定される情報 (入力不要)		・左/ 右クワイエットゾーン ・スタート/ ストップキャラクター ・FNC1 キャラクター (Code128 との識別のために挿入します。) ・チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	
	印刷	
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

バーコード作成時と印刷時のご注意

作成時は以下に注意してください。

- ・文字の装飾（ボールド/ イタリック/ アンダーラインなど）、網掛けはしないでください。
- ・背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- ・文字の回転は、90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- ・文字間隔は変更しないでください。
- ・文字の縦あるいは横方向のみを拡大/縮小しないでください。
- ・アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

例) 文字間隔の自動調整

行末に存在するスペース削除

連続する複数個のスペースをタブなどに変換

記号の変換

- ・入力した文字をバーコードに変換するときに、バーコードとして必要なキャラクターを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- ・一行に2つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- ・入力したキャラクターの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。
(Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/GS1-128、標準料金代理収納)
- ・アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

印刷時は以下に注意してください。

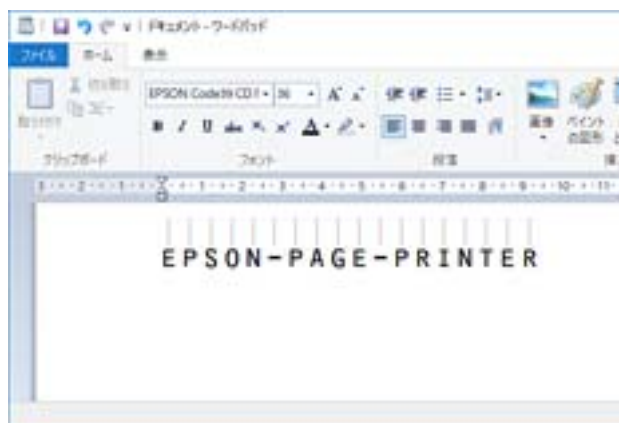
- ・インクの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。

- Epson バーコードフォントは、本機に付属しているプリンタードライバーでのみ印刷できます。
- プリンタードライバーの設定は「グレースケール」、「印刷品質」を「標準」、「きれい」に設定してください。

バーコードの作成と印刷の手順

ここではWindows 10のワードパッドを例にEpsonバーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

1. ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を全て半角（1Byte）で入力します。
2. 入力した文字を選択します。
選択した範囲が反転表示になります。
3. 「ホーム」タブの「フォント」グループで、印刷したいEpson バーコードフォントを選択します。
4. フォントサイズを変更します。
推奨または使用できるフォント（キャラクター）サイズは、バーコードフォントの種類とOS のバージョンによって異なります。入力した文字が設定したように表示されます。



5. 印刷を実行します。
入力したデータがバーコードとして印刷されます。

参考 入力したデータが不適当な場合などプリンタードライバーがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

オプションの仕様

以下は 2024年12月現在の情報です。

増設カセットユニットの仕様

対応用紙	「印刷できる用紙とセット枚数」458ページ

セット可能枚数	最大550枚 (64 g/m ²)
外形寸法	- 幅：567 mm - 奥行き：568 mm - 高さ：160 mm
質量	約11.7 kg

専用プリンター台の仕様

外形寸法と質量の仕様	- 幅：772 mm - 奥行き：797 mm - 高さ：116 mm
質量	約30.5 kg

専用キャビネットの仕様

外形寸法	- 幅：772 mm - 奥行き：797 mm - 高さ：320 mm
質量	約24.1 kg

増設G3ファクスボードの仕様

最大増設数	2 (標準含め3)

その他の仕様は、標準のファクスと同じです。以下の関連情報を参照してください

関連情報

➡ [「ファクス部の仕様」 528ページ](#)

増設ネットワークインターフェイスボード仕様

詳細については、以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ [「ネットワーク増設時の機能一覧」 534ページ](#)

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
(社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

IPファックスの認可番号

本製品の IP ファックスは、電気通信事業法に基づく、NTT 東日本・西日本の技術的条件に適合しています。
認定番号は、本製品の操作パネルから、以下の順に操作すると確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ファックス設定] - [基本設定] - [増設回線設定] - [IPファックス] - [認定番号]

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
(関連法律) 刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること

- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

管理者向け情報

プリンターの管理	555
本体のセキュリティー設定	574
ネットワークセキュリティー設定	584
Epson Open Platformを利用する	623

プリンターの管理

遠隔地にあるプリンターの情報を確認する

Web Configの【情報確認】から、以下の情報を確認できます。

- 製品情報
ステータス、クラウドサービス、ファームウェアバージョン、ルート証明書のバージョン、シリアルナンバー、MACアドレスなどが確認できます。
【デバイス管理】タブの【管理者名/連絡先】に情報を登録している場合は、ステータスタブに管理者情報が表示されます。
- ネットワーク情報
ネットワーク、Wi-Fi Directの情報を確認できます。
- 使用状況
初回印刷日、基本印刷情報、サイズ別印刷ページ数、機能別印刷ページ数、言語別印刷ページ数、ページ数(ファクス)、インターフェイスごとの印刷ページ数などを確認できます。
- 初回印刷日、基本印刷情報、サイズ別印刷ページ数、機能別印刷ページ数、言語別印刷ページ数、インターフェイスごとの印刷ページ数などを確認できます。
- ハードウェア情報
プリンターの各機能のステータスを確認できます。
- ジョブ履歴
印刷ジョブ、送信ジョブなどの履歴を確認できます。
- パネルのスナップショット
デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

ネットワーク接続を管理する

ネットワーク設定の確認や変更ができます。

基本的なネットワークの確認や設定をする

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - （【標準】または【増設】） - 【ネットワーク情報】 - 【有線・無線接続状態】
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
【ネットワーク】タブ - 【基本】

4. 各項目を設定します。
5. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
6. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの設定項目」 556ページ](#)

ネットワークの設定項目

項目	設定値と説明
デバイス名	デバイス名を表示します。デバイス名を変更するときは、新しいデバイス名をテキストボックスに入力します。
ロケーション	デバイスのロケーションを入力します。
TCP/IP設定	IPアドレスの設定方法を自動または手動から選択します。手動設定を選択したときは、IPアドレス、サブネットマスクなどの入力が必要です。
BOOTPによる設定	BOOTPによる設定機能の有効・無効が指定できます。
プライベートIP自動指定 (APIPA) による設定	プライベートIP自動指定 (APIPA) による設定による設定機能の有効・無効が指定できます。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。 IPアドレスがネットワーク上の他の機器と競合していないか確認します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
DNSサーバー設定	DNSサーバー設定の方式を自動設定または手動設定から選択します。手動設定はTCP/IP設定で手動設定を選択したときに選択できます。
プライマリーDNSサーバー	プライマリーDNSサーバーを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
セカンダリーDNSサーバー	セカンダリーDNSサーバーを入力します。 xxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力します。xxxには0～255までの数字を入力します。
DNSホスト名の取得方法	DNSホスト名の取得方法を自動または手動から選択します。
DNSホスト名	現在のDNSホスト名を表示します。
DNSドメイン名の取得方法	DNSドメイン名を自動または手動から選択します。

項目	設定値と説明
DNSドメイン名	[DNSドメイン名] を以下の規則に従って入力します。 - 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて2～249文字以内で入力します。 - 数字、ハイフン、ピリオド (.) は先頭文字にできません。 - ハイフン、ピリオド (.) は末尾文字にできません。 - ドメイン名の各ラベルは、1～63文字で、ピリオドで区切る必要があります。 ホスト名とドメイン名の合計文字数は251文字を超えてはなりません。
ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する機能の有効・無効が指定できます。ダイナミックDNSをサポートするDHCPサーバーを介して、ホスト名とドメイン名をDNSサーバーに登録するときに有効にします。 [有効にする] を選択した場合は、ホスト名とドメイン名を設定する必要があります。
プロキシサーバー設定	プロキシサーバー設定を使用するかを設定できます。これを選択したときは、後のプロキシサーバー設定を構成する必要があります。
プロキシサーバー	プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。
プロキシサーバーポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。
プロキシサーバー認証ユーザー名	プロキシサーバー名をASCII (0x20-0x7E) で表せる255文字以内で入力します。
プロキシサーバー認証パスワード	プロキシサーバーのパスワードをASCII (0x20-0x7E) で表せる255文字以内で入力します。
IPv6設定	IPv6設定機能の有効・無効が指定できます。
IPv6匿名アドレス	IPv6匿名アドレス機能の有効・無効が指定できます。
IPv6DHCPサーバー設定	IPv6DHCPサーバー設定機能の有効・無効が指定できます。
IPv6アドレス	[IPv6アドレス] を使用するときは、以下の形式で入力します。 - xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx / プレフィックス - xxxxには1～4桁の16進数で、プレフィックスは1～128の10進数です。 - xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IPv6デフォルトゲートウェイ	[IPv6デフォルトゲートウェイ] を割り当てるときは、以下の形式で入力します。 - xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx - xxxxには1～4桁の16進数です。 - xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IPv6リンクローカルアドレス	有効なIPv6リンクローカルアドレスを表示します。
IPv6ステートフルアドレス	有効なIPv6ステートフルアドレスを表示します。
IPv6ステートレスアドレス1	有効なIPv6ステートレスアドレス1を表示します。
IPv6ステートレスアドレス2	有効なIPv6ステートレスアドレス2を表示します。
IPv6ステートレスアドレス3	有効なIPv6ステートレスアドレス3を表示します。

項目	設定値と説明
IPv6プライマリーDNSサーバー	IPv6プライマリーDNSサーバーを次の形式で入力します。 • xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx • xxxxには1～4桁の16進数です。 • xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IPv6セカンダリーDNSサーバー	IPv6セカンダリーDNSサーバーを割り当てるときは、以下の形式で入力します。 • xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx • xxxxには1～4桁の16進数です。 • xxxxが全て0である連続したブロックがある場合は、::として省略できます（1か所のみ）。
IEEE802.11k/v	IEEE802.11k/v機能の有効・無効が指定できます。 無線LAN機能が有効の場合に表示されます。
IEEE802.11r	IEEE802.11r機能の有効・無効が指定できます。 無線LAN機能が有効の場合に表示されます。

無線LAN

無線LAN（Wi-Fi）またはWi-Fi Directの接続状況が確認できます。

Wi-Fi Directの状態を表示するには、[Wi-Fi Direct] タブをクリックします。

参考 無線LAN（Wi-Fi）対応機種で、無線LANインターフェイスが認識されると表示されます。

- 設定ボタン
設定をクリックすると、プリンターに接続できる接続名（SSID）の一覧が表示されます。接続名（SSID）、パスワードを指定して接続します。
- 無効にするボタン
無効にするをクリックすると、Wi-Fi（インフラストラクチャーモード）機能が無効になります。
無線LAN（Wi-Fi）接続から接続方法を変更して、Wi-Fiを利用しなくなった場合にはWi-Fiを無効にすることができます。また、プリンターの待機電力使用量の負荷を軽減することもできます。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （[標準] -） [無線LAN接続設定]

有線LANの設定をする

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （[標準] または [増設]） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワーク] タブ - [有線LAN]

4. 各項目を設定します。

- Link Speed & Duplex
一覧から通信モードを選択します。
- IEEE 802.3az
IEEE 802.3az機能の有効・無効が指定できます。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Directの設定の確認や変更ができます。

 **参考** 無線LAN（Wi-Fi）対応機種で、無線LANインターフェイスが認識されると表示されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （[標準]） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワーク] タブ - [Wi-Fi Direct]

4. 各項目を設定します。

- Wi-Fi Direct
Wi-Fi Direct機能の有効・無効が設定できます。
- ネットワーク(SSID)
SSID（ネットワーク名）を変更できます。
- パスワード
Wi-Fi Directのパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力してください。
- 周波数帯
Wi-Fi Directで使用する周波数帯を選択します。

- IPアドレス

IPアドレスの設定方法を自動または手動から選択します。手動設定を選択した場合は、IPアドレスを入力します。

5. **【次へ】** をクリックします。

確認画面が表示されます。



Wi-Fi Direct設定をリセットするには、購入時の設定に戻すをクリックします。

6. **【設定】** をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

イベント発生時にメール通知を受け取る

印刷停止やプリンターエラーなどのイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールが送信されるようにメール通知を設定できます。宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。電子メールの送信で利用するネットワーク回線（「標準」または「増設」）に電子メールサーバーを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - （【標準】） - 【ネットワーク情報】 - 【有線・無線接続状態】

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

【デバイス管理】 タブ - 【メール通知】

4. メール通知の件名を設定します。

2つのプルダウンメニューで件名に表示する内容を選択します。

- 選択された内容が【件名】の横に表示されます。
- 左右に同じ内容は設定できません。
- 【ロケーション】の文字数が多い場合は、32バイト以降の文字が省略されます。

5. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。

A-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { | } ~ @, を使用し、1～255文字以内で入力します。

増設ネットワークインターフェイスボードが取り付けられているときは、【送信先ネットワーク】で送信するネットワーク回線を指定します。

6. メール通知の言語を選択します。

7. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
[通知設定] の番号は [宛先設定] の宛先の番号に対応しています。

メール通知

メール通知を使用するには事前にメールサーバー設定を行ってください。

宛先設定

宛先1: testpaper_support@support.net.com

宛先2:

宛先3:

宛先4:

宛先5:

通知設定

チェックを付けた項目の状態のときにメールを送信します。

	1	2	3	4	5
インク残量限界値以下	☐	☐	☐	☐	☐
インク残量少	☐	☐	☐	☐	☐
メンテナンスボックス空き容量なし	☐	☐	☐	☐	☐
メンテナンスボックス空き容量少	☐	☐	☐	☐	☐
管理者パスワード変更	☒	☐	☐	☐	☐
用紙なし	☐	☐	☐	☐	☐
用紙残量少	☐	☐	☐	☐	☐
印刷停止 (※)	☐	☐	☐	☐	☐
プリンターエラー	☐	☐	☐	☐	☐
スキャナーエラー	☐	☐	☐	☐	☐
ファクスエラー	☐	☐	☐	☐	☐

用紙がなくなった場合の通知を [宛先設定] の1に設定したアドレスに送信したいときは、[用紙なし] の行にある [1] の列のチェックボックスにチェックを付けます。

8. [設定] をクリックします。
何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。
例) 用紙をセットしていない 給紙方法 を指定して印刷

関連情報

- ➡ 「管理者パスワードの初期値」 18ページ
- ➡ 「メールサーバーを登録する」 62ページ

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
インク残量限界値以下	インク残量が限界値以下になった場合に通知します。
インク残量少	インク残量が限界値に近づいた場合に通知します。
メンテナンスボックス空き容量なし	メンテナンスボックスがいっぱいになった場合に通知します。
メンテナンスボックス空き容量少	メンテナンスボックスがいっぱいになる手前で通知します。
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
用紙なし	印刷指定の給紙装置で用紙なしエラーが発生した場合に通知します。
印刷停止	紙詰まり、用紙カセットがセットされていない場合など、印刷が停止したときに通知します。

項目	設定値と説明
プリンターエラー	プリンターエラーが発生した場合に通知します。
スキャナーエラー	スキャナーエラーが発生した場合に通知します。
ファクスエラー	ファクスエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。
内蔵SDカード故障	内蔵SDカードに関するエラーが発生した場合に通知します。
TPM(セキュリティーチップ)故障	TPMチップにエラーが発生した場合に通知します。
ストレージ エラー	内蔵ストレージにエラーが発生した場合に通知します。
PDL基板故障	PDLの基板に関するエラーが発生した場合に通知します。
増設ネットワーク故障	増設ネットワークインターフェイスボードにエラーが発生した場合に通知します。この項目は増設ネットワークインターフェイスカードを装着しているときに表示されます。

関連情報

➡ [「イベント発生時にメール通知を受け取る」560ページ](#)

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[デバイス管理] タブ- [パネル]

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。

- 表示言語
操作パネルの表示言語を選択します。
- パネルロック
[オン] にすると、操作パネルで管理者権限が必要な項目は選択できなくなります。選択するにはプリンターに管理者としてログオンします。
- 無操作タイマー設定
[オン] にすると、利用者制限の利用者または管理者としてログオンしている場合、設定した時間内に操作パネルの操作がなかったときに、自動でログオフして初期画面に移行します。
10秒～240分まで1秒単位で設定できます。



プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 表示言語：[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [言語選択/Language]
- パネルロック：[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティ設定] - [管理者設定] - [管理者ロック]
- 無操作タイマー設定：[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [無操作タイマー設定]（オン/オフのみ設定できます。）

5. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

パネル操作を制限する

管理者パスワードを設定してパネルの管理者ロックを有効にすると、プリンターのシステム設定に関する項目をユーザーが変更できないようにロックできます。

管理者ロックの対象項目

[設定] メニュー内のロック項目

ロックされるメニュー項目には  マークが付いています。下層のメニューもロックされます。

[設定] メニュー以外のロック項目

[設定] メニュー以外でも、[お気に入り] メニューの以下の項目でロック設定が有効になります。

- 新規登録
- 並び順変更
-  (削除)
- 追加/消去

関連情報

➔ [「設定メニュー一覧」479ページ](#)

➔ [「個別に制御できる項目」564ページ](#)

表示や機能を個別に制御する

管理者ロックの対象項目の一部は、個別に有効、無効が設定できます。

アドレス帳の登録や変更、ジョブ履歴の表示など、必要に応じてユーザーが情報を操作することができるようになります。

1. プリンターの操作パネルで [設定] を選択します。

2. [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティ設定] - [機能制限] の順に選択します。
3. 設定を変更したい機能の項目を選択し、[オン] または [オフ] にします。

個別に制御できる項目

以下の項目は、個別に管理者が表示や設定変更を許可できます。

- ジョブ履歴表示：[ジョブ/状態] - [履歴]
ステータスマニターのジョブ履歴の表示を制御します。[オン] にするとジョブ履歴表示を許可します。
- アドレス帳の登録・変更許可：[設定] - [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更]
アドレス帳の登録、変更を制御します。[オン] にすると登録や変更ができるようになります。
- ファクスの宛先履歴表示：[ファクス] - [宛先] - [宛先履歴]
ファクスの発信、着信の宛先の表示を制御します。[オン] にすると宛先を表示します。
- ファクスの通信履歴表示：[ファクス] -  - [通信履歴表示]
ファクスの通信履歴の表示を制御します。[オン] にすると通信履歴を表示します。
- ファクスのレポート印刷許可：[ファクス] -  - [ファクスレポート印刷]
ファクスのレポートの印刷を制限します。[オン] にすると印刷が許可されます。
- スキャン to ネットワークフォルダー機能 保存履歴の印刷許可：[スキャン] - [ネットワークフォルダー] - [宛先] - [保存先]
スキャン to フォルダー機能の保存履歴の印刷を制限します。[オン] にすると履歴の印刷が許可されます。
- スキャン to メール機能 宛先履歴表示：[スキャン] - [メール] - [宛先]
スキャン to メール機能の履歴の表示を制御します。[オン] にすると履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴表示：[スキャン] - [メール] - [メニュー] - [送信履歴の表示]
スキャン to メール機能のメール送信履歴の表示を制御します。[オン] にすると送信履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴の印刷許可：[スキャン] - [メール] - [メニュー] - [送信履歴の印刷]
スキャン to メール機能のメール送信履歴の印刷を制限します。[オン] にすると履歴の印刷が許可されます。
- 言語選択の変更許可：[設定変更] - [本体設定] - [基本設定] - [言語選択]
操作パネルの表示言語の変更を制御します。[オン] にすると言語変更できるようになります。
- こすれ軽減の変更許可：[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [こすれ軽減]
こすれ軽減の設定変更を制御します。設定を変更する場合は [オン] を選択します。
- 動作音低減モードの変更許可：[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [動作音低減モード]
動作音低減モードの設定変更を制御します。設定を変更する場合は [オン] を選択します。
- 宛先情報の保護：
短縮ダイヤル登録にある宛先情報の表示を制御します。[オン] にすると宛先が伏字 (***) で表示されます。

関連情報

- ➡ [「表示や機能を個別に制御する」563ページ](#)
- ➡ [「設定メニュー一覧」479ページ](#)

無操作時の省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間と自動で電源を切る時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順で選択してください。

[デバイス管理] タブ- [省電力]

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。

- スリープ移行時間設定

操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ移行時間設定]

- 自動電源オフ時間

プリンターが特定の時間に非アクティブになった後、自動的に電源を切る時間を選択します。ファクス機能を使用している場合は、[なし]を選択します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [自動電源オフ]

- タッチパネルで復帰

タッチパネルのスリープモードからの復帰方法を設定できます。[時刻指定]を選択した場合は、スリープモードの開始時刻と終了時刻を設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ復帰方法] - [タッチパネルで復帰]

5. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

音の設定をする

パネル操作やプリンター、ファクスの動作時の音に関する設定をします。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [音の設定]

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[デバイス管理] タブ - [音の設定]

4. 必要に応じて以下の項目を設定します。

- 通常時
[通常時] の音を設定します。
- 動作音低減モード時
[動作音低減モード] の音を設定します。
以下のいずれかがオンになっている場合に有効です。
 - プリンターの操作パネル：
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [動作音低減モード]
[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [印刷設定] - [動作音低減モード]
 - Web Config：
[ファクス] タブ - [印刷設定] - [動作音低減モード]

5. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

内蔵ストレージのデータ消去方法を設定する

内蔵ストレージに保存されているデータ消去の設定ができます。

本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的に内蔵ストレージにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

メモリー全消去

内蔵ストレージ内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

- 高速：専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。
- 3回上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを3回上書きして全データを消去します。

内蔵ストレージをフォーマットする

1. 操作パネルのホーム画面で [設定] を選択します。

2. [本体設定] - [管理者用設定] - [ストレージフォーマット] の順に選択します。
3. [メモリー全消去] を選択します。
4. 目的に応じて [高速]、[上書き]、[3回上書き] を選択します。
5. 確認画面で [はい] を選択します。

プリンター設定をバックアップやインポートする

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。Web Configを使ってプリンターにエクスポートしたファイルをインポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。

バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート]
4. エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
5. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。
6. [エクスポート] をクリックします。

！重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは [本体ごとの個別設定を選択可能にする] にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

！重要 プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート]
4. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
5. [次へ] をクリックします。
6. インポートする設定を選択して [次へ] をクリックします。
7. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

ファームウェアをアップデートする

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続されていると、操作パネルでプリンターのファームウェアが更新できます。新しいファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。

2. [本体設定] - [管理者用設定] - [ファームウェアのアップデート] - [アップデート] の順に選択します。

参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、[通知設定] - [オン] の順に選択します。

3. 画面に表示されるメッセージを確認し、利用可能なアップデートの検索を開始します。
4. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
 1. エプソンのウェブサイトからファームウェアをコンピューターにダウンロードする
 2. コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
 3. ファームウェアを更新するwww.epson.jp/support/
詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

プリンターのファームウェアを自動で更新する

プリンターがインターネットに接続されているときは、ファームウェアが自動でアップデートされるように設定できます。
パネルロックが有効な場合は、管理者パスワードがないと実行できません。プリンターの管理者にお問い合わせください。

1. プリンターの操作パネルで [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [管理者用設定] - [ファームウェアのアップデート] の順に選択します。
3. [自動ファームウェアアップデート] を選択して、設定画面を表示します。
4. [自動ファームウェアアップデート] を選択して、機能を有効にします。
確認画面で [同意する] を選択すると、設定画面に戻ります。
5. 更新する日時を設定して、[OK] を選択します。

参考 複数の曜日を選択できますが、各曜日の時刻を指定することはできません。

サーバーとの接続が確認できたら設定完了です。

！重要

- アップデート中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示されて、プリンターを操作できなくなることがあります。
- 「Recovery Mode」と表示されたときは、以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。
 1. コンピューターはUSBケーブルでプリンターに接続します。（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません。）
 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

参考

Web Configからもファームウェアが自動でアップデートされるように設定できます。[デバイス管理] タブ - [自動ファームウェアアップデート] の順に選択し、設定を有効にしてから曜日と時間を設定してください。

Web Configでファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[デバイス管理] タブ - [ファームウェアアップデート]

4. [確認開始] をクリックし、画面の案内に従って操作します。

ファームウェアの確認が始まり、アップデートされたファームウェアがあるとファームウェアの情報が表示されます。

参考

Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

プリンターをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。
www.epson.jp/support/
2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターと、プリンターをUSBケーブルで接続します。
3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。
Epson Firmware Updaterが起動します。
4. この後は、画面の指示に従って操作します。

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

タイムサーバー（NTPサーバー）と連携すると、プリンターとネットワーク上のコンピューターとの時刻を同期できます。タイムサーバーは、組織内で運用している場合やインターネット上に公開している場合があります。CA証明書やKerberos認証を使っている場合、連携すると時間に関するトラブルを防ぐことができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [タイムサーバー]
4. [タイムサーバーを使用する] を [使用する] にします。
5. [タイムサーバーアドレス] にタイムサーバーのアドレスを入力します。
IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
6. [更新間隔（分）] を入力します。
1分単位で10,080分まで設定できます。
7. [設定] をクリックします。



[タイムサーバーステータス] でサーバーとの接続状態を確認できます。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」18ページ

内蔵メモリーのデータを消去する

プリンターの内蔵メモリーにダウンロードした印刷用フォントやマクロの印刷ジョブ、パスワード印刷のジョブを削除します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [内部メモリーデータ削除] - [PDLのフォントとマクロと作業領域]

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順番で操作してください。
[デバイス管理] タブ - [内部メモリーデータ削除]
4. [PDLのフォントとマクロと作業領域] の [削除] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

アドレス帳を管理する

アドレス帳の表示や検索方法の設定ができます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [アドレス帳管理]
4. [アドレス帳表示方法設定] を選択します。
5. [アドレス帳検索設定] を選択します。
6. [設定] をクリックします。
7. この後は、画面の指示に従って操作してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

Web Configを使ってプリンターの電源を管理する

コンピューターがプリンターから離れた場所にある場合でも、Web Configを使用して、コンピューターの電源をオフにしたり、コンピューターから再起動したりできます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [電源]
4. [電源オフ] または [電源再起動] を選択します。
5. [実行] をクリックします。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

ホーム画面のレイアウトを編集する

ホーム画面のメニューのレイアウトを編集できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[デバイス管理] タブ - [ホーム画面編集]
4. レイアウトを選択し、アイコンとそのレイアウトを選択します。
ホーム画面のページネーションは、レイアウトによって異なります。
プリセットを登録している場合は、プリセットを選択してホーム画面に表示できます。
5. [確認] をクリックします。

本体のセキュリティー設定

利用できる機能を制限する

プリンターにユーザーアカウントを登録して機能と紐付け、ユーザーが利用できる機能を制御できます。
利用制限を有効にした場合、ユーザーは操作パネルからパスワードを入力してログオンするとコピーやファクスなどプリンター上の機能が利用できるようになります。
ユーザーが利用できない機能は選択できなくなります。
コンピューターからは、プリンタードライバーやスキャナードライバーに認証情報を登録すると印刷やスキャンができるようになります。ドライバーの設定方法はドライバーのヘルプやマニュアルをご覧ください。

ユーザーアカウントを作成する

利用者制限のアカウントを作成します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティー] タブ- [利用者制限設定] - [ユーザー設定]

4. 登録する番号の [登録] をクリックします。

！重要

エプソン製や他社製の認証システムでプリンターを利用する場合、利用者制限設定のユーザー名は2番～10番に登録してください。

1番は認証システムなどアプリケーションソフトが使用するので、プリンターのパネルにユーザー名が表示されません。

5. 各項目を設定します。

- ユーザー名：
ユーザー名一覧への表示名を1～14文字以内の半角英数字を使って入力します。
- パスワード：
ASCII (0x20-0x7E) の70文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は空白にします。
- 以下の機能の使用を許可する。
使用を許可する機能にチェックを付けます。
[モノクロ印刷のみ許可] で [コンピューターから印刷] を選択した場合は、プリンターはコンピューターからのカラー印刷を受け付けなくなります。

6. [適用] をクリックします。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

[ユーザー名] に登録したユーザー名が表示されていて、[登録] が [編集] に変わったことを確認してください。
利用者制限で設定したアカウント情報や利用できる機能の範囲は、設定した管理者から利用者へ通知してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

ユーザーアカウントを編集する

登録した利用者制限のアカウントを編集します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定]
4. 編集する番号の [編集] をクリックします。
5. 内容を変更します。
6. [適用] をクリックします。
一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

ユーザーアカウントを削除する

登録した利用者制限のアカウントを削除します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定]
4. 削除する番号の [編集] をクリックします。

5. 「削除」をクリックします。

！重要 「削除」をクリックすると、確認メッセージなしでユーザーアカウントが削除されます。削除は慎重に作業してください。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

利用者制限を有効にする

利用者制限を有効にすると設定したユーザーアカウント以外でプリンターを使用できなくなります。

参考 利用者制限設定を有効にしたときは、ユーザーにアカウント情報を通知する必要があります。
コンピューターから印刷する場合は、プリンターに登録されているユーザー情報をクライアントのコンピューターで設定してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔本体セキュリティー〕 タブ- 〔利用者制限設定〕 - 〔基本〕

4. 「利用者制限を有効にする」を選択します。

利用者制限を有効にした場合、認証情報のないスマートデバイスから印刷またはスキャンをするには、〔コンピューターからの認証情報を持たない印刷/スキャンを許可する〕を選択してください。

エプソンのWindows用のプリンタードライバーでは、事前にユーザー情報を登録することができます。Mac OSでは、印刷ごとにユーザー情報を入力する必要があります。

5. 「設定」をクリックします。

一定時間経過すると設定終了のメッセージが表示されます。

プリンターの操作パネルでコピーやスキャンなどのアイコンが選択できない状態になっていることを確認してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

➡ [「プリンタードライバーからユーザーアカウントを登録する（Windows）」375ページ](#)

USB接続や外部メモリーの接続を制限する

プリンターにデバイスを接続するインターフェイスを無効にできます。ネットワーク経由以外の印刷やスキャンを制限する場合に設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 外部メモリー： [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [外部メモリー設定] - [外部メモリー]
- コンピューターのUSB接続： [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [コンピューターのUSB接続]

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティー] タブ - [外部インターフェイス]

4. 制限したい機能で [無効] を選択します。

制限を解除する場合は [有効] を選択してください。

- 外部メモリー
外部機器接続用USBポートを経由する外部メモリーへのデータ保存を禁止します。
- コンピューターのUSB接続
コンピューターからのUSB 接続を制限できます。制限する場合は [無効] に設定します。

5. [設定] をクリックします。

6. 無効にしたポートが使用できなくなっているか確認します。

- 外部メモリー
USBメモリーなどストレージを外部機器接続用USBポートに接続し、反応がないことを確認します。
- コンピューターのUSB接続
確認するコンピューターにドライバーがインストールされている場合：
プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続し、印刷やスキャンができないことを確認します。
確認するコンピューターにドライバーがインストールされていない場合：
Windows)
デバイスマネージャーを表示したままプリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、デバイスマネージャーの表示内容が変化しないことを確認します。
Mac OS)
プリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、 [プリンターとスキャナー] からプリンターを追加しようとしてもプリンターがリストに表示されないことを確認します。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

監査ログ機能を利用する

監査ログ機能の有効化や、ログデータをエクスポートできます。

監査ログを定期的にチェックすると、不適切な使用法を早期に特定し、考えられるセキュリティー問題を追跡するのに役立ちます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティー] タブ- [監査ログ]

4. 必要に応じて設定を変更します。

- [監査ログの記録]
[オン] を選択して、[設定] をクリックします。



プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [監査ログ]

- [記録されている監査ログをcsv形式で出力します。]
[出力] をクリックするとCSVファイルとしてログがエクスポートされます。
- [記録されている全ての監査ログを消去します。]
[消去] をクリックすると全てのログが削除されます。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

パスワード暗号化の設定

パスワード暗号化を設定すると、プリンターに保存されている機密情報（全てのパスワード、証明書の秘密鍵、HDD/SSD認証鍵）を暗号化できます。暗号化した機密情報を復元するための暗号鍵がTPM（Trusted Platform Module）チップに保存されます。TPMチップにはプリンター外部からアクセスできないので、暗号鍵が漏えいすることがなく暗号化した機密情報を守ることができます。

！重要

TPMチップが故障して暗号鍵が使用できなくなると、プリンター内の機密情報を復元できず、プリンターが使用できなくなります。そのため、必ず暗号鍵をUSBメモリーにバックアップしてください。

パスワードを暗号化する

パスワードを暗号化する場合は、暗号鍵をバックアップする必要があります。あらかじめバックアップ用のUSBメモリーを用意してください。USBメモリーの空き容量は1MB以上必要です。

！重要 暗号鍵をバックアップしたUSBメモリーは、TPMチップを交換するときに必要になります。大切に保管してください。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「管理者用設定」 - 「セキュリティー設定」 - 「パスワード暗号化」の順に選択します。
3. 「パスワード暗号化」を「オン」にします。
メッセージが表示されたら確認して「OK」をタップします。
4. 「バックアップに進む」を選択します。
暗号鍵のバックアップ画面が表示されます。
5. プリンターの外部機器接続用USBポートに、USBメモリーを挿入します。
6. 「バックアップを開始する」をタップします。
USBメモリーへの書き込みを開始します。USBメモリーに暗号鍵がすでに保存されている場合は上書きされます。
7. バックアップ完了のメッセージが表示されたら「閉じる」をタップします。
8. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
9. 電源ボタンを押してプリンターの電源を入れ直します。
パスワードが暗号化されます。
通常よりもプリンターの起動に時間がかかる場合があります。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

パスワード暗号鍵をリストアする

TPMチップが故障した場合、暗号鍵のバックアップを使用して、交換したTPMチップに暗号鍵をリストアできます。パスワードを暗号化した状態でTPMチップを交換したときは、以下の手順で操作します。

1. 電源ボタンを押してプリンターの電源を入れます。
プリンターの操作パネルに、TPMが交換されましたというメッセージが表示されます。
2. 「バックアップから更新」を選択します。
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して「OK」をタップします。
3. プリンターの外部機器接続用USBポートに、暗号鍵をバックアップしたUSBメモリーを挿入します。
4. 「バックアップから更新」をタップします。
暗号鍵がTPMチップにリストアされます。

5. メッセージを確認して [OK] をタップします。

プリンターが再起動します。

PDLによるファイル操作を制限する

この機能は、不正なPDL操作からファイルを保護します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティ] タブ - [PDLによるファイル操作]

4. [PDLによるファイル操作] を許可するかどうかを設定します。

5. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

Web Configから管理者パスワードを変更する

Web Configを使ってメイン管理者パスワードを変更します。

パスワードを変更することで、ID、パスワード、ネットワーク設定、連絡先など、デバイスに保存されている情報の不正な読み取りや変更が防止されます。また、ネットワーク環境での情報漏えいやセキュリティポリシーなど、さまざまなセキュリティリスクが軽減されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準] または [増設]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティ] タブ - [管理者設定] - [管理者パスワード変更]

4. [現在のパスワード] に現在のパスワードを入力します。

5. [ユーザー名] に管理者のユーザー名を入力します。

管理者のユーザー名とパスワードで認証をする場合は、[ユーザー名] を入力します。

6. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に新しいパスワードを入力します。

7. [設定] をクリックします。



管理者パスワードを初期パスワードに戻すには、[管理者パスワード変更] 画面で [購入時の設定に戻す] をクリックします。

サブ管理者アカウントを設定する

プリンターに複数の管理者アカウントを登録できます。

サブ管理者を作成する

以下の作業は、メインの管理者でログオンして操作してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティー] タブ- [管理者設定] - [ユーザー設定]

4. 登録または編集したい番号を選択して [編集] を選択します。

5. 各項目を設定します。

- [ユーザー名] :
ユーザー設定の表示名をASCII (0x20-0x7E) で表せる1~20文字以内で入力します。
- [パスワード] :
ASCII (8x20-0x7E) の70文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は空白にします。
- [以下の機能の使用を許可する。]
サブ管理者に許可する管理者権限機能を選択します。ここで選択した機能が、Web Configにサブ管理者でログオンしたときに表示されます。

6. [確認] をクリックします。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

サブ管理者には、登録した管理者の情報を通知してください。

管理者ロックが有効の場合は、管理者ログオンからサブ管理者名を選択してログオンします。

サブ管理者アカウントを削除する

特定のサブ管理者、またはサブ管理者全てを削除します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[本体セキュリティー] タブ- [管理者設定] - [ユーザー設定]
4. 削除する番号を選択して [削除] をクリックします。サブ管理者全てを削除する場合は [全削除] をクリックします。
一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

サブ管理者パスワードの変更

Web Config にサブ管理者としてログオンすると、サブ管理者のパスワードを変更できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. サブ管理者のユーザー名とパスワードを入力して、サブ管理者としてログインします。
3. [本体セキュリティー] タブ- [ユーザー設定] を選択します。
4. [現在のパスワード] に現在のパスワードを入力し、[新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に新しいパスワードを入力します。
5. [設定] を選択します。

起動時のプログラム検証を有効にする

プログラム検証機能を有効にすると、起動時に不正なサードパーティーのプログラムに改ざんされていないかどうかを確認します。問題が検出された場合、プリンターは起動しません。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティー] タブ - [起動時のプログラム検証]



プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [起動時のプログラム検証]

4. [オン] を選択すると、[起動時のプログラム検証] が有効になります。

5. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

宛先ドメイン制限を設定する

ドメイン名に制限ルールを適用することで、誤送信による情報漏えいのリスクを軽減できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[本体セキュリティー] タブ - [宛先ドメイン制限]

4. 必要に応じて設定を変更します。

- [制限方法]
電子メール送信の制限方法を選択します。
- [ドメイン名]
制限するドメイン名を追加または削除します。

5. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

ネットワークセキュリティ設定

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。
また、複合機であればネットワークスキャンやPC-FAXが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。
使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティリスクを軽減できます。
以下の手順に従って、プロトコルを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[ネットワークセキュリティ] タブ - [プロトコル]
4. 各項目を設定します。
5. [次へ] をクリックします。
6. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「有効・無効が設定可能なプロトコル」 584ページ](#)
- ➡ [「プロトコルの設定項目」 585ページ](#)

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷などに使われます。
iBeacon設定	iBeacon対応機器からの探索の有効・無効が設定できます。有効にするとiBeacon対応機器からの探索ができるようになります。 この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

プロトコル	説明
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではブッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷ができるようになります。
LLTD設定	LLTD機能の有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNR機能の有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW (Port9100) 設定	RAWポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (Port9100) からの印刷ができるようになります。
RAW(任意ポート)設定	RAWポート (任意ポート) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (任意ポート) からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPP機能の有効・無効が設定できます。インターネット経由で印刷できるようになります。ネットワーク上でデバイスを探索するときに表示されます。
FTP設定	FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバーからの印刷ができるようになります。
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

関連情報

- ➡ [「利用するプロトコルを制御する」 584ページ](#)
- ➡ [「プロトコルの設定項目」 585ページ](#)

プロトコルの設定項目

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。

項目	設定値と説明
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。 この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

iBeacon設定

この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

項目	設定値と説明
iBeacon対応機器からの探索を有効にする	チェックを入れるとiBeacon対応機器からの探索が有効になります。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。 EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	選択するとWSDによるデバイス追加とWSDポートからの印刷ができるようになります。WSDによるデバイス検索を無効にしたい場合は、この項目を無効にし、併せて「IPPを有効にする」の項目も無効にしてください。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

LPR設定

項目	設定値と説明
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW (Port9100) 設定

項目	設定値と説明
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート (Port9100) からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW (Port9100) 印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW(任意ポート)設定

項目	設定値と説明
RAW(任意ポート)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート (任意ポート) からの印刷を許可します。
ポート番号	RAW印刷のポート番号を1024～65535以内の数字 (9100、1865、2968を除く) で入力します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW (任意ポート) 印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

IPP設定

項目	設定値と説明
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。インターネット経由で印刷できるようになります。ネットワーク上でデバイスを探索するときに表示されます。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。
非セキュア通信を許可する	「許可する」を選択すると非セキュア (IPP) で通信します。
通信タイムアウト (秒)	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。
IPP印刷時にPINコードを必須とする	IPP印刷時にPINコードによる認証をするかどうか設定します。[はい] を選択すると、PINコードが設定されていないIPP印刷ジョブはプリンターに保存されません。

項目	設定値と説明
URL（ネットワーク）	ネットワークに接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
URL（Wi-Fi Direct）	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。 この項目は、増設ネットワークでは表示されません。
プリンター名	IPPのプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

FTP設定

項目	設定値と説明
FTPサーバーを有効にする	チェックを入れるとFTP通信が有効になります。FTP印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。
通信タイムアウト（秒）	FTP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1を有効にする	チェックを入れるとSNMPv1が有効になります。
SNMPv2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv2cが有効になります。
アクセス権限	SNMPv1またはSNMPv2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。[読み込み専用] または [読み書き可能] を選択します。
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII (0x20～0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII (0x20～0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
Epsonツールからのアクセスを許可する	Epson Device Adminなどのエプソン製ツールからの書き込みを許可するかどうかを設定します。 この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

SNMPv3設定

項目	設定値と説明
SNMPv3を有効にする	チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名	1バイト文字を使って1～32文字以内で入力します。
認証設定	

項目		設定値と説明
	アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
	パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定		
	アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
	パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名		Unicode (UTF-8) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

関連情報

- ➡ [「利用するプロトコルを制御する」 584ページ](#)
- ➡ [「有効・無効が設定可能なプロトコル」 584ページ](#)

電子証明書を使う

使用できる電子証明書

- CA署名証明書
認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はプリンターの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。
SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。
IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1X、S/MIMEに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。
- CA証明書
CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザが、プリンターの証明書パスを検証するために使用されます。
相手サーバー検証用のCA証明書は、プリンターからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。プリンターでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。
プリンターのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

- 自己署名証明書
プリンター自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。
- SSL/TLS通信に使用する場合
セキュリティ設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。ブラウザに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でプリンターにアクセスするとセキュリティ警告が出ることがあります。
- S/MIMEに設定する場合
CA署名証明書の代わりに自己署名証明書も利用できます。企業内ネットワークのように外部接続（インターネット接続）しないネットワーク環境などで、CA署名証明書取得のコストをかけずにS/MIMEの機能を使用できます。ただし、安全性が低いため、外部接続する場合はCA署名証明書の利用をお勧めします。

関連情報

- ➡ [「自己署名証明書を更新する」 594ページ](#)
- ➡ [「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」 595ページ](#)

CA署名証明書を設定する

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔ネットワークセキュリティ〕 タブ

4. 次のいずれかを選択します。

- 〔SSL/TLS〕 - 〔証明書〕
- 〔IPsec/IPフィルタリング〕 - 〔クライアント証明書〕
- 〔IEEE802.1X〕 - 〔クライアント証明書〕
- 〔S/MIME〕 - 〔クライアント証明書〕

5. 〔生成〕の〔CSR〕をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

6. 各項目を設定します。

参考 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

7. 「設定」をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

8. 「ネットワークセキュリティ」タブを選択します。[SSL/TLS] - 「証明書」または [IPsec/IPフィルタリング] - 「クライアント証明書」または [IEEE802.1X] - 「クライアント証明書」または [S/MIME] - 「クライアント証明書」を選択します。

9. CA局規定のファイル形式に従い [CSR] のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

10. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

11. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

CSRの設定項目

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って1～5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。識別名 (CN) はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。

項目	設定値と説明
送信元アドレス	メールサーバー設定の送信元アドレスを入力できます。[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の [送信元アドレス] と同じメールアドレスを入力してください。 [ネットワークセキュリティ] タブ - [S/MIME] - [クライアント証明書] でCSRを生成する場合は、メールサーバー設定の送信元アドレスが自動設定されるので入力不要です。事前にメールサーバー設定で送信元アドレスを設定しておいてください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」590ページ](#)

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をプリンターにインポートします。

！重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効になる場合があります。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。
- [ネットワークセキュリティ] タブ - [S/MIME] - [クライアント証明書] でCA署名証明書をインポートすると、[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] の [送信元アドレス] が変更できなくなります。[送信元アドレス] を変更したい場合は、[ネットワークセキュリティ] タブ - [S/MIME] - [基本] の署名設定を全て [署名しない] に変更してから、インポートしたCA署名証明書を削除してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワークセキュリティ] タブ。

4. 以下のいずれかを選択します。

- [SSL/TLS] - [証明書]
- [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書]
- [IEEE802.1X] - [クライアント証明書]
- [S/MIME] - [クライアント証明書]

5. [インポート] をクリックします。

証明書インポート設定画面が開きます。

6. 各項目を設定します。[CA証明書1]、[CA証明書2] はプリンターにアクセスするブラウザで証明書のパスを検証する場合に設定してください。

インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：プリンターで保持しているため設定しない
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：任意
- コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定する
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：任意
- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定しない
 - [パスワード]：任意
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：設定しない

7. [設定] をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

 **参考** [表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

CA署名証明書のインポート設定項目

項目	設定値と説明
サーバー証明書 または クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X、S/MIMEの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が[秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)] の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が[証明書 (PEM/DER)] の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が[証明書 (PEM/DER)] の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 592ページ](#)

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔ネットワークセキュリティ〕 タブ

4. 次のいずれかを選択します。

- 〔SSL/TLS〕 - 〔証明書〕
- 〔IPsec/IPフィルタリング〕 - 〔クライアント証明書〕
- 〔IEEE802.1X〕 - 〔クライアント証明書〕
- 〔S/MIME〕 - 〔クライアント証明書〕

5. 〔CA署名証明書〕または〔クライアント証明書〕の〔削除〕をクリックします。

6. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

自己署名証明書を設定する

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はプリンターが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。

SSL/TLSの自己署名証明書とS/MIMEの自己署名証明書は別々に発行されています。必要に応じてそれぞれの自己署名証明書を更新してください。

！重要 〔ネットワークセキュリティ〕タブ - 〔S/MIME〕 - 〔クライアント証明書〕で自己署名証明書を更新すると、〔ネットワーク〕タブ - 〔メールサーバー〕 - 〔基本〕の〔送信元アドレス〕が変更できなくなります。〔送信元アドレス〕を変更したい場合は、〔ネットワークセキュリティ〕タブ - 〔S/MIME〕 - 〔基本〕の署名設定を全て〔署名しない〕に変更してから、S/MIMEの自己署名証明書を削除してください。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブを選択し、【SSL/TLS】 - 【証明書】または【S/MIME】 - 【クライアント証明書】を選択します。
2. 【更新】をクリックします。
3. 【コモンネーム】を入力します。
IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って5個まで、1～128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。
記入例：
プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3
コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
4. 証明書の有効期間を選択します。
5. 【次へ】をクリックします。
確認画面が表示されます。
6. 【設定】をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

 **参考** 【ネットワークセキュリティ】タブを選択し、【SSL/TLS】 - 【証明書】 - 【自己署名証明書】または【S/MIME】 - 【クライアント証明書】 - 【自己署名証明書】にある【表示】をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

S/MIMEの自己署名証明書を削除する

S/MIMEの署名機能を使用していないとき、S/MIMEの自己署名証明書は削除できます。
S/MIMEの自己署名証明書を削除しても、SSL/TLSの自己署名証明書は削除されません。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブ - 【S/MIME】 - 【クライアント証明書】を選択します。
2. 【自己署名証明書】の【削除】をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、プリンターがアクセスするサーバーのCA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。
相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

以下のようなときは相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートしてください。

- IEEE802.1X (無線LAN)を利用する
- IEEE802.1X (有線LAN)で証明書の検証をする
- IPsec/IPフィルタリングを証明書で認証する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順で選択してください。

〔ネットワークセキュリティ〕 タブ - 〔相手サーバー検証用CA証明書〕

4. 〔インポート〕 をクリックします。

5. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。

6. 〔設定〕 をクリックします。

インポートされると〔相手サーバー検証用CA証明書〕に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

関連情報

- ➡ [「プリンターのサーバー証明書を設定する」 598ページ](#)
- ➡ [「IEEE802.1Xを設定する」 611ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔ネットワークセキュリティ〕 タブ - 〔相手サーバー検証用CA証明書〕

4. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の「削除」をクリックします。
5. 確認のメッセージを確認して、削除します。
6. 「ネットワーク再起動」をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

➡ 「管理者パスワードの初期値」18ページ

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているプリンターはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったプリンターの設定や管理のための通信を安全に行えます。

基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[ネットワークセキュリティ] タブ- [SSL/TLS] - [基本]
4. 各項目を設定します。
 - 暗号強度
暗号の強度を選択できます。
 - HTTPをHTTPSにリダイレクト
有効または無効を選択します。初期値は有効。
 - TLS 1.0
有効または無効を選択します。初期値は無効。
この項目は、増設ネットワークでは表示されません。
 - TLS.1.1
有効または無効を選択します。初期値は無効。
この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

- TLS.1.2
有効または無効を選択します。初期値は有効。
この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

プリンターのサーバー証明書を設定する

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書]

4. [使用するサーバー証明書] に使用する電子証明書を選択します。

- 自己署名証明書
プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
- CA署名証明書
プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書を設定する」 590ページ](#)
- ➡ [「自己署名証明書を更新する」 594ページ](#)

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティ通信ができます。

 Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本]
4. 各項目を設定します。
5. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
6. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

基本ポリシーの設定項目

[基本ポリシー]

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- [通信処理]
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- [IKEバージョン]
[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。
- IKEv1
[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると [証明書] が選択できるようになります。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

項目		設定値と説明
リモート認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると「証明書」が選択できるようになります。
	IDの種類	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 「識別名」：ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 「IPアドレス」：IPv4またはIPv6形式で入力します。 「FQDN」：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 「メールアドレス」：ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 「任意の文字列」：ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- 「カプセル化」
「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 「リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)」：「カプセル化」で「トンネルモード」を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- 「セキュリティプロトコル」
「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

• [アルゴリズム設定]

全ての設定で[任意]を選択するか、個別に[任意]以外を選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定[任意]にして、一部を[任意]以外で選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル]が[ESP]のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル]が[ESP]のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル]が[AH]のときに選択できます。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （[標準]または[増設]） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本]

4. 設定したい番号のタブをクリックします。

5. 各項目を設定します。

6. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

7. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

個別ポリシーの設定項目

項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

〔通信処理〕

IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

〔ローカルアドレス（プリンター）〕

お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、〔自動取得したIPv4アドレスを使用する〕が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

〔リモートアドレス（ホスト）〕

通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

〔ポート指定方法〕

ポートの指定方法を設定します。

• サービス名

〔ポート指定方法〕で〔サービス名〕を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。

- トランスポートプロトコル
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

- ローカルポート番号
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
例) 20,80,119,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。
- リモートポート番号
[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] または [UDP] を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
例) 25,80,143,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

[IKEバージョン]

[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1
[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2
[IKEバージョン] で [IKEv2] を選択すると表示されます。

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (0x20～0x7E) で表せる1バイト文字で1～255文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

[カプセル化]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときを選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 [リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)] : [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

[セキュリティプロトコル]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

[アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、個別に [任意] 以外を選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を [任意] にして、一部を [任意] 以外で選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [AH] のときに選択できます。

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせ

	ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
	IPv4	IPv6*2	使用可能な全てのアドレス*3

リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 : [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 : [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 : IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

参考 非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定
LPR	TCP	515	任意	LPRデータの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAWデータの転送
IPP/IPPS	TCP	631	任意	IPP/IPPS印刷のデータ転送
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのプリンター探索
Network Scan	TCP	1865	任意	スキャンソフトウェアからのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	スキャンソフトウェアからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	スキャンソフトウェアからのプッシュスキャン時のコンピューター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTPサーバー（FTP印刷のデータ転送）

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTPサーバー (FTP印刷の制御)
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTPクライアント (スキャンデータまたは受信ファクスのFTP転送) ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTPクライアント (スキャンデータや受信ファクスのFTP転送の制御)
CIFS (ローカル)	TCP	445	任意	CIFSサーバー (ネットワークフォルダー共有)
CIFS (リモート)	TCP	任意	445	CIFSクライアント (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
NetBIOS Name Service (ローカル)	UDP	137	任意	CIFSサーバー (ネットワークフォルダー共有)
NetBIOS Datagram Service (ローカル)	UDP	138	任意	
NetBIOS Session Service (ローカル)	TCP	139	任意	
NetBIOS Name Service (リモート)	UDP	任意	137	CIFSクライアント (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
NetBIOS Datagram Service (リモート)	UDP	任意	138	
NetBIOS Session Service (リモート)	TCP	任意	139	
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント (Epson Connectの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーのみ使われます。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔IPsecの使用〕
- 〔認証方式〕：〔事前共有キー〕
- 〔事前共有キー〕：1～127文字以内の任意文字

〔個別ポリシー〕：設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる
- 〔通信処理〕：〔通信を通過〕
- 〔リモートアドレス（ホスト）〕：印刷クライアントのIPアドレス
- 〔ポート指定方法〕：〔サービス名〕
- 〔サービス名〕：〔ENPC〕、〔SNMP〕、〔HTTP（ローカル）〕、〔HTTPS（ローカル）〕、〔RAW（Port9100）〕にチェックを入れる

参考 HTTP（ローカル）、HTTPS（ローカル）を受け付けないためには、〔個別ポリシー〕でチェックを外します。その場合、プリンター設定を変更するには、プリンターの操作パネルで一時的にIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる
- 〔通信処理〕：〔通信を通過〕
- 〔リモートアドレス（ホスト）〕：管理者用クライアントのIPアドレス

参考 ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書]

4. [クライアント証明書] 画面で証明書をインポートします。

CA局が発行した証明書をインポートしている場合は証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を使うか選択して [コピー] をクリックしてください。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書を設定する」 590ページ](#)
- ➡ [「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」 595ページ](#)

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

プリンターにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。

TLSバージョン1.3はこの機能をサポートしていません。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [基本]

4. 各項目を設定します。

無線LANで使う場合は[無線LAN設定] をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

参考 ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

IEEE802.1Xの設定項目

項目	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	[IEEE802.1X] - [基本] 画面で設定した値をIEEE802.1X（有線LAN）に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X（無線LAN）の接続状態が表示されます。 この項目は、増設ネットワークでは表示されません。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	EAP-TTLS	パスワードを設定する必要があります。
	PEAP/MSCHAPv2	
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。WindowsサーバーをRADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII（1x20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。	

項目	設定値と説明	
証明書の検証(有線LAN)	〔IEEE802.1X (有線LAN)〕を使用して〔証明書の検証〕を実行する場合は、〔有効〕を選択します。有効にした場合は関連情報を参照して〔相手サーバー検証用CA証明書〕をインポートしてください。 なお、IEEE802.1X (無線LAN)では証明書の検証は常に有効です。必ず相手サーバー検証用CA証明書をインポートしてください。	
Anonymous名	〔認証方式〕が〔PEAP-TLS〕、〔EAP-TTLS〕、〔PEAP/MSCHAPv2〕の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。ASCII (1x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

関連情報

- ➡ [「IEEE802.1Xを設定する」 611ページ](#)
- ➡ [「相手サーバー検証用CA証明書をインポートする」 596ページ](#)

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で〔EAP-TLS〕と〔PEAP-TLS〕が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、〔相手サーバー検証用CA証明書〕で行います。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
 プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。
 IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。
 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕
2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。
3. 以下の順に選択します。
 〔ネットワークセキュリティ〕 タブ - 〔IEEE802.1X〕 - 〔クライアント証明書〕
4. 〔クライアント証明書〕に使用する電子証明書を設定します。
 CA局が発行した証明書をインポートしている場合は証明書をコピーしてIEEE802.1Xで使用できます。コピーする場合は、〔コピー元〕からどの証明書を使うか選択して〔コピー〕をクリックしてください。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書を設定する」 590ページ](#)
- ➡ [「相手サーバー検証用CA証明書を設定する」 595ページ](#)

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Disable	IEEE802.1X機能が無効になっています。
EAP Success	IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。
Authenticating	IEEE802.1Xの認証中です。
Config Error	ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。
Client Certificate Error	クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。
Timeout Error	RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。
User ID Error	プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。
Server ID Error	サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。
Server Certificate Error	サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 - 証明書の有効期限切れ - 証明書のチェーンの異常
CA Certificate Error	CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 - CA証明書の指定が間違っている - 正しいCA証明書がインポートされていない - CA証明書の有効期限切れ
EAP Failure	プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 - クライアント証明書に何らかの不備がある（〔認証方式〕が〔EAP-TLS〕または〔PEAP-TLS〕の場合） - ユーザーIDまたはパスワードの間違い（〔認証方式〕が〔EAP-TTLS〕または〔PEAP/MSCHAPv2〕の場合）

関連情報

➡ [「有線・無線接続状態：」489ページ](#)

S/MIMEの設定

S/MIMEの基本設定をする

使用する機能ごとに、メールの暗号化とメールへのデジタル署名添付を設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - （〔標準〕または〔増設〕） - 〔ネットワーク情報〕 - 〔有線・無線接続状態〕

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

〔ネットワークセキュリティ〕 タブ - 〔S/MIME〕 - 〔基本〕

4. 各項目を設定します。

5. 〔次へ〕 をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. 〔設定〕 をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

S/MIMEの設定項目

メールの暗号化

- メールの暗号化を使用するには、アドレス帳に登録されている宛先ごとに暗号化証明書のインポートが必要です。
[「メール宛先に暗号化証明書をインポートする」617ページ](#)
- 暗号化証明書がインポートされていない宛先には、暗号化しない平文メールを送信します。
- この項目は、増設ネットワークでは表示されません。

項目		設定値と説明
スキャン to メール機能		スキャン to メール機能を使用するときのメールの暗号化設定をします。 〔実行時に選択する〕を選択すると、メールを送信するときに暗号化の選択ができます。
	実行時の初期値	メールを送信するときの暗号化の初期値を選択します。 〔実行時に選択する〕を選択した場合は、〔スキャン to メール 機能〕の送信時に暗号化するかどうかを選択できます。
ボックス to メール機能		ボックス to メール機能を使用するときのメールの暗号化設定をします。 〔実行時に選択する〕を選択すると、メールを送信するときに暗号化の選択ができます。
	実行時の初期値	メールを送信するときの暗号化の初期値を選択します。 〔実行時に選択する〕を選択した場合は、〔ボックス to メール 機能〕の送信時に暗号化するかどうかを選択できます。
ファクス to メール 機能		ファクス to メール機能を使用するときのメールの暗号化設定をします。
アルゴリズム		メールの暗号化アルゴリズムを選択します。

デジタル署名

S/MIMEの署名機能を使用するには、[ネットワークセキュリティ] タブ - [S/MIME] - [クライアント証明書] で [使用するクライアント証明書] を設定する必要があります。

[\[S/MIMEで使用する証明書を設定する\] 616ページ](#)

項目		設定値と説明
スキャン to メール機能		スキャン to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。 [実行時に選択する] を選択すると、メールを送信するときデジタル署名添付の選択ができます。
	実行時の初期値	メールを送信するときのデジタル署名添付の初期値を選択します。 [実行時に選択する] を選択した場合は、[スキャン to メール 機能] の送信時に暗号化するかどうかを選択できます。
ボックス to メール機能		ボックス to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。 [実行時に選択する] を選択すると、メールを送信するときデジタル署名添付の選択ができます。
	実行時の初期値	メールを送信するときのデジタル署名添付の初期値を選択します。 [実行時に選択する] を選択した場合は、[ボックス to メール 機能] の送信時に暗号化するかどうかを選択できます。
ファクス to メール 機能		ファクス機能 to メール機能を使用するときのメールへのデジタル署名添付を設定します。
アルゴリズム		デジタル署名のアルゴリズムを選択します。

S/MIMEで使用する証明書を設定する

S/MIMEの署名機能を使用するために、クライアント証明書を設定します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、設定したいネットワーク（標準または増設）のIPアドレスを入力してください。

IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - （ [標準] または [増設] ） - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[ネットワークセキュリティ] タブ - [S/MIME] - [クライアント証明書]

4. [使用するクライアント証明書] で使用する電子証明書を選択します。

- 自己署名証明書
プリンターで自己署名証明書を生成すると選択できます。
- CA署名証明書
プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

メール宛先に暗号化証明書をインポートする

メールの暗号化を使用するには、アドレス帳に登録されている宛先ごとに暗号化証明書のインポートが必要です。ここではすでにアドレス帳に登録されているメール宛先に、宛先の暗号化証明書をインポートする手順を説明します。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[スキャン/コピー]、または [ファクス] タブ- [アドレス帳]

4. 暗号化証明書をインポートしたい宛先の番号を選択して [編集] をクリックします。

5. [暗号化証明書] または [暗号化証明書の変更] で、宛先の暗号化証明書をインポートします。

6. [適用] をクリックします。

暗号化証明書がインポートされると、宛先に鍵アイコンが表示されます。

 **参考** 暗号化証明書をインポートした宛先の番号を選択して [編集] をクリックすると、[暗号化証明書の状態] で証明書の情報が確認できます。

ネットワークセキュリティのトラブルを解決する

セキュリティ設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティ機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

操作パネルからセキュリティ機能を無効にする

操作パネルを使ってIPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xを無効に設定します。

1. [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] の順に選択します。

2. [詳細設定] を選択します。

3. 無効にしたい機能を選択します。

- [IPsec/IPフィルタリングの無効化]
- [IEEE802.1Xの無効化]

4. 確認画面で「設定を開始する」を選択します。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの「ネットワークセキュリティ」タブ - 「IPsec/IPフィルタリング」 - 「基本」 - 「基本ポリシー」または「個別ポリシー」の画面でキーを変更します。

事前共有キーを変更したら、相手先コンピューターの事前共有キーの設定もやり直してください。

関連情報

- ➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)
- ➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 599ページ](#)

IPsec通信ができない

プリンターまたはコンピューターがサポートしていないアルゴリズムを指定している

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピューターの設定を確認してください。

セキュリティメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

*：IKEv2のみ対応

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 599ページ](#)

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの「ネットワークセキュリティ」タブ-「IPsec/IPフィルタリング」-「基本」-「個別ポリシー」-「ローカルアドレス（プリンター）」に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの「ネットワークセキュリティ」タブ-「IPsec/IPフィルタリング」-「基本」-「個別ポリシー」-「リモートアドレス（ホスト）」に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」 18ページ](#)

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 599ページ](#)

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

SSL/TLS通信のサーバー証明書に正しい証明書が指定されていない

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていない

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ [「プリンターのサーバー証明書を設定する」 598ページ](#)

IPsec/IPフィルタリング設定したのにつながらない

IPsec/IPフィルタリングの設定が間違っている

プリンターの操作パネルからIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 599ページ](#)

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

IEEE802.1Xの設定が間違っている

プリンターの操作パネルから無線LANとIEEE802.1Xを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➡ [「IEEE802.1Xを設定する」 611ページ](#)

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成したか
再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えている

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 592ページ](#)

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

「コモンネーム」は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

【コモンネーム】にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると【コモンネーム】はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「自己署名証明書を更新する」594ページ](#)

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

【コモンネーム】は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると【コモンネーム】はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」590ページ](#)

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	原因： インポートするファイルが指定されていません。 対処： ファイルを選択してから【インポート】をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。 対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	原因： プリンターに日付や時刻が設定されていません。 対処： Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。

メッセージ	原因と対処
パスワードが正しくありません。	原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 対処： 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	原因： 証明書の有効期限が切れています。 対処： - 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 - 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。 対処： - コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 - コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしてしました。 対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。

メッセージ	原因と対処
設定に失敗しました。	原因： プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

関連情報

➡ [「使用できる電子証明書」 589ページ](#)

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 592ページ](#)

➡ [「CA署名証明書を削除する」 594ページ](#)

Epson Open Platformを利用する

Epson Open Platformの概要

認証システムのサーバーが提供する機能を、エプソン製プリンターで利用するためのプラットフォームです。
サーバーと連携してデバイスや利用者別の履歴の取得、利用者や所属ごとに使用できるデバイス、機能の制限を設定できます。Epson Print Admin（エプソン製認証システム）や他社製の認証システムで利用できます。
認証装置を接続するとIDカードを利用したユーザー認証もできます。

関連情報

➡ [「エプソン 認証印刷システム（Epson Print Admin）」 479ページ](#)

Epson Open Platformを設定する

Epson Open Platformを有効にして認証システムからデバイスを使用できるようにします。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

プリンターと同じネットワークに接続されたコンピューターから、プリンターのIPアドレスを入力してください。
IPアドレスは操作パネルの以下のメニュー項目から確認できます。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - ([標準]) - [ネットワーク情報] - [有線・無線接続状態]

2. 管理者としてログオンするために、管理者パスワードを入力します。

3. 以下の順に選択します。

[Epson Open Platform] タブ- [プロダクトキー/ライセンスキー]

4. 各項目を設定します。

- 製造番号
デバイスの製造番号が表示されます。
- Epson Open Platformバージョン
Epson Open Platformのバージョンを選択します。認証システムによって対応するバージョンが異なります。
- プロダクトキー/ライセンスキー
専用のWebサイトから取得したプロダクトキーを入力します。プロダクトキーの取得方法などの詳細はEpson Open Platformのマニュアルをご覧ください。

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「管理者パスワードの初期値」18ページ](#)

Epson Open Platformを検証する

以下のいずれかの方法で、Epson Open Platformの有効性を確認できます。

- Web Config
[Epson Open Platform] タブ- [プロダクトキー/ライセンスキー] - [プロダクトキー/ライセンスキー] にプロダクトキーが入力されていると、[Epson Open Platform] タブの左側のメニューツリーに [認証システム] が表示されます。
- 操作パネル
ホーム画面- [設定] - [Epson Open Platform情報] にプロダクトキーが表示されます。

サービスとサポートのご案内

サービスとサポートのご案内	626
保守サービスのご案内	626
保守サービスの種類	626
お問い合わせ先	627

サービスとサポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、関連情報をご覧ください。

関連情報

➡ [「お問い合わせ先」 627ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

➡ [「困ったときは」 382ページ](#)

保守サービスの提供について

本製品で故障が発生した場合は、スマートチャージ契約に基づき修理いたします。
修理のお申し込みは、製品本体に記載された保守サービス実施店にて承ります。
保守サービス実施店が不明な場合は、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後10年間です。
予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めいただいた販売店までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	- 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 - 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 (出張料+技術料+部品代) 修理完了後、その都度お支払いください

*： 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●保守サービス実施店

サービス担当者 連絡先
販売店 電話番号 担当部門 担当者

●エプソンのウェブサイト

epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのウェブサイトです。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。最新の情報はエプソンのウェブサイト（epson.jp）にてご確認ください。

エプソン販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

スマートチャージ 2023.12